

インターネット資源の管理体制と 活用に関する調査研究

平成21年3月

社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

目次

第1部 インターネット資源の国際的な管理体制とその在り方に関する議論の動向

1	インターネット資源に関する概説、概況	12
1-1	ドメイン名	12
1-1-1	ドメイン名の種類と性質	12
1-1-2	ドメイン名の登録状況	14
1-2	IPアドレス	18
1-2-1	IPv4アドレス	18
1-2-2	IPv6アドレス	21
1-3	AS番号	23
1-4	ルートサーバ	25
1-4-1	ルートサーバの性質	25
1-4-2	ルートサーバの配置状況	28
2	インターネット資源管理体制の現状およびそれに関する議論の動向	34
2-1	インターネット資源管理体制の概要	34
2-1-1	IPアドレスの管理体制の現状	36
2-1-2	ドメイン名の管理体制の現状	38
2-2	インターネット資源管理体制全般に関する議論の動向	50
2-2-1	第3回IGFハイデラバード会合に至るまでの議論	50
2-2-2	第3回IGFハイデラバード会合での議論	53
2-2-3	共同プロジェクト合意書(JPA)の今後の見通し	68
3	インターネット資源管理ポリシーの現状及びそれに関する議論の動向	78
3-1	IPアドレスに関する管理ポリシーの現状および議論の動向	78
3-1-1	IPv4アドレスポリシー	78
3-1-2	IPv6アドレスポリシー	89
3-1-3	AS番号ポリシー	96

第2部 ドメイン名の管理と活用に関する世界的な動向および各国における動向調査

1	ドメイン名の競争環境整備に関する動向	102
1-1	スポンサ付きトップレベルドメイン(sTLD)の導入の状況	102
1-2	新gTLDの導入に関する議論の動向	107
1-3	ccTLDに関する国際的な議論	140

2	ドメイン名の登録方針に関する動向	144
2-1	gTLDにおけるドメイン名登録方針の動向	144
2-1-1	.com	144
2-1-1-1	登録組織の歴史及び性質	144
2-1-1-2	登録管理組織の運営形態	145
2-1-1-3	レジストラ数	146
2-1-1-4	登録可能ドメイン名数の制限の有無	146
2-1-1-5	予約ドメイン名	146
2-1-1-6	IDNの登録申請の可否等	146
2-1-1-7	登録件数	147
2-1-1-8	料金	147
2-1-2	.net	147
2-1-2-1	登録組織の歴史及び性質	147
2-1-2-2	登録管理組織の運営形態	149
2-1-2-3	レジストラ数	149
2-1-2-4	登録可能ドメイン名数の制限の有無	149
2-1-2-5	予約ドメイン名	149
2-1-2-6	IDNの登録申請の可否等	150
2-1-2-7	登録件数	150
2-1-2-8	料金	150
2-1-3	.org	150
2-1-3-1	登録組織の歴史及び性質	150
2-1-3-2	登録管理組織の運営形態	152
2-1-3-3	レジストラ数	152
2-1-3-4	登録可能ドメイン名数の制限の有無	152
2-1-3-5	予約ドメイン名	152
2-1-3-6	IDNの登録申請の可否等	153
2-1-3-7	登録件数	153
2-1-3-8	料金	153
2-2	各国におけるドメイン名登録方針の動向	154
2-2-1	概況	154
2-2-2	各TLDの登録管理体制およびドメイン名登録方針	154
2-2-2-1	.jp (日本)	157
2-2-2-2	.au (オーストラリア)	166
2-2-2-3	.be (ベルギー)	171
2-2-2-4	.ca (カナダ)	175

2-2-2-5 .ch (スイス)	178
2-2-2-6 .cn (中国)	182
2-2-2-7 .de (ドイツ)	187
2-2-2-8 .eu (欧州連合)	191
2-2-2-9 .fr (フランス)	195
2-2-2-10 .hk (香港)	200
2-2-2-11 .kr (韓国)	205
2-2-2-12 .nl (オランダ)	209
2-2-2-13 .no (ノルウェー)	212
2-2-2-14 .nz (ニュージーランド)	215
2-2-2-15 .sg (シンガポール)	218
2-2-2-16 .tw (台湾)	222
2-2-2-17 .uk (イギリス)	228
2-2-2-18 .us (米国)	233
2-3 WHOIS を巡る ICANN での議論の動向	237
2-3-1 WHOIS に関する議論の背景	237
2-3-2 WHOIS に関する過去の議論	237
2-3-3 2008 年 4 月以降の議論	243
2-4 ドメイン名テストスティングに関する議論の動向	246
2-5 ドメイン名のフロントランニングに関する議論の動向	256
2-6 ドメイン名を巡る紛争および紛争処理体制の動向	262
2-6-1 2008 年におけるドメイン名紛争の概況	262
2-6-2 gTLD におけるドメイン名紛争	264
2-6-2-1 gTLD におけるドメイン名紛争の概況	264
2-6-2-2 紛争処理機関の比較	266
2-6-2-3 WIPO II を巡る動き	273
2-6-2-4 ドメイン名の移転に関する紛争処理 (TDRP)	275
2-6-2-5 ccTLD におけるドメイン名紛争	276
2-6-3 JP ドメイン名におけるドメイン名紛争	280
2-6-3-1 JP ドメイン名におけるドメイン名紛争と 2008 年の概況	280
2-6-3-2 手数料	281
2-6-3-3 JP ドメイン名紛争処理方針のための手続規則の補則	282
2-6-3-4 裁定結果の割合	283
2-6-3-5 パネリスト	284
2-6-3-6 答弁書提出割合	285
2-6-3-7 JP-DRP の改訂	286

3 国際化ドメイン名の導入及び実装に関する取り組み状況	290
3-1 国際化ドメイン名(IDN)とは.....	290
3-2 国際化ドメイン名導入のための前提とその仕組み	291
3-3 国際化ドメイン名の技術標準.....	293
3-4 国際化ドメイン名における言語問題.....	296
3-5 各国の導入状況.....	297
3-5-1 .com/.net (VeriSign, Inc) の導入状況.....	298
3-5-2 .org (Public Interest Registry) の導入状況	300
3-5-3 .info (Afilias) の導入状況.....	301
3-5-4 .museum (MuseDoma) の導入状況	302
3-5-5 .biz (NeuLevel) の導入状況	303
3-5-6 .cat (Fundacio puntCat) の導入状況	303
3-5-7 .jp (日本) (JPRS) の導入状況	304
3-5-8 .kr (韓国) (Korea Network Information Center) の導入状況.....	306
3-5-9 .pl (ポーランド) (NASK : Research and Academic Computer Network) の導 入状況.....	307
3-5-10 .th (タイ) (ThNIC) の導入状況.....	308
3-5-11 .de (ドイツ) (DENIC eG) の導入状況.....	308
3-5-12 .ch/.li (スイス/リヒテンシュタイン) (SWITCH Teleinformatics Services) の 導入状況	308
3-5-13 .at (オーストリア) (NIC.AT Internet Verwaltungs und Betriebsgesellschaft m.b.H) の導入状況.....	309
3-5-14 .dk (デンマーク) (DK Hostmaster A/S) の導入状況	309
3-5-15 .lt (リトアニア) (KTU Information Technology Development Institute) の導 入状況.....	310
3-5-16 .se (スウェーデン) (NIC-SE) の導入状況.....	311
3-5-17 .tw (台湾) (TWNIC) の導入状況.....	311
3-5-18 .cn (中国) (CNNIC) の導入状況	311
3-5-19 .hu (ハンガリー) (ISZT Kht) の導入状況.....	312
3-5-20 .is (アイスランド) (ISNIC - Internet Iceland ltd.) の導入状況	312
3-5-21 .ac (アセンション島) (Ascension Island Network Information Centre) の導 入状況.....	313
3-5-22 .br (ブラジル) (Comite Gestor da Internet no Brasil) の導入状況	313
3-5-23 .cl (チリ) (NIC Chile) の導入状況	313
3-5-24 .fi (フィンランド) (Finnish Communications Regulatory Authority) の導入 状況	314

3-5-25 .gr (ギリシャ) (ICS-FORTH GR) の導入状況	314
3-5-26 .io (英領インド洋地域) (IO Top Level Domain Registry) の導入状況	314
3-5-27 .lv (ラトビア) (University of Latvia) の導入状況	315
3-5-28 .no (ノルウェー) (UNINETT Norid A/S) の導入状況	315
3-5-29 .nu (ニウエ) (Internet Users Society - Niue) の導入状況	315
3-5-30 .sh (セントヘレナ島) (Government of St. Helena) の導入状況	316
3-5-31 .hk (香港) (Hong Kong Internet Registration Corporation Ltd.)の導入状況	316
3-5-32 .vn (ベトナム) (VNNIC)の導入状況	317
3-5-33 .ae (アラブ首長国連邦) (UAEnic)の導入状況	317
3-5-34 .tm (トルクメニスタン) (TM Domain Registry Limited)の導入状況	317
3-5-35 .tr (トルコ) (Middle East Technical University)の導入状況	318
3-5-36 .es (スペイン) (Red.es) の導入状況	318
3-5-37 .ir (イラン) (Institute for Studies in Theoretical Physics & Mathematics) の導入状況	319
3-5-38 .pe (ペルー) (Red Científica Peruana) の導入状況	319
3-5-39 .pt (ポルトガル) (Fundacao para a Computacao Cientifica Nacional) の導入状況	319
3-5-40 .ar (アルゼンチン) (MRECIC (Ministerio de Relaciones Exteriores, Comercio Internacional y Culto)) の導入状況	320
3-5-41 .md (モルドバ) (MoldData S.E.) の導入状況	320
3-5-42 .pr (プエルトリコ) (Gauss Research Laboratory Inc.) の導入状況	321
3-5-43 .sa (サウジアラビア) (Communications and Information Technology Commission) の導入状況	321
3-6 IDN に関する動向	322
3-6-1 IDN TLD のポリシーに関する検討状況	322
3-6-1-1 IDN gTLD	322
3-6-1-2 IDN ccTLD	323
3-6-2 IDN TLD の技術および運用に関する検討状況	327
3-6-2-1 「.test」試験プログラム	327
3-6-2-2 IDN、DNSSEC、IPv6 などの影響重畳の実証	328
3-6-3 IDN 標準およびアプリケーションの対応に関する状況	329
3-6-3-1 IDNA プロトコルの見直し	329
3-6-3-2 IDN 実装ガイドラインの更新	330
3-6-3-3 IDN 対応アプリケーションの状況	330
3-6-3-4 メールアドレスの国際化	330

3-7 アプリケーションの国際化ドメイン名への対応	332
---------------------------------	-----

第3部 IPアドレスの管理と活用に関する世界的な動向

1 IPv4アドレスの消費状況と、枯渇に関する議論の動向	342
1-1 IPv4アドレスの消費状況と今後の予測	342
1-2 IPv4アドレス在庫の枯渇に関する議論の状況	345
1-2-1 IPv4アドレス在庫の枯渇に関するポリシー提案とその議論	345
2 IPv6アドレスの導入状況と、普及に関する議論の動向	366
2-1 IPv6アドレスの導入状況	366
2-2 IPv6普及に関する議論の動向	367

第4部 参考資料

1 ドメイン名関連統計資料	378
1-1 gTLDレジストラ間のマーケットシェア状況	378
1-2 レジストラ別ドメイン名登録数一覧	379
1-3 ccTLD別ドメイン名登録数一覧（2009年1月時点）	423
2 国毎のIPアドレス割当量等、IPアドレスに関する各種統計資料	428

第1部 インターネット資源の国際的な管理体制とそ
の在り方に関する議論の動向

1 インターネット資源に関する概説、概況

1 インターネット資源に関する概説、概況

1-1 ドメイン名

1-1-1 ドメイン名の種類と性質

ドメイン名は、トップレベルドメイン (TLD) を基準として分類すると、分野別トップレベルドメイン (generic Top Level Domain: gTLD) と、国コードトップレベルドメイン (country code Top Level Domain: ccTLD) に大別される。

gTLDは本来分野別に割り当てられたTLDであり、一般的に登録者の居住する地理的制限無しに世界のどこからでも登録することができる¹。現在gTLDは、従来からある.com / .net / .org などに2001年以降新たに13種類が加わり、計20種類存在する(2009年2月時点)。この13の新gTLDのうち、.museum / .aero / .coop / .jobs / .travel / .mobi / .cat / .asia/.tel の9つは「スポンサー付きTLD」(sponsored TLD: sTLD) と呼ばれ、それぞれの業界・分野を代表するスポンサー組織が定める方針の下、関係メンバーのみに登録が制限されている。こうした制限のないその他のgTLDは、「スポンサー無しTLD」(unsponsored TLD: uTLD) と呼ばれていて、.com/.net/.orgなどの従来から馴染みのあるgTLDは、スポンサー無しのgTLDである。

一方、ccTLDは、ISO (国際標準化機構) のISO3166-1 リストで規定されている2文字の国コードをもとにして²各国・地域に割り当てられたTLDであり、現在252種類³存在する(2009年2月時点、.su/旧ソビエト連邦、.tp/ティモール、.yu/ユーゴスラビアなど削除予定のものも含む)。ccTLDは、各国・地域の事情や管理機関の方針によりその性質はさまざまであるが、大きく分類すると、登録を国・地域内に限定しているccTLD (.jp / .au / .usなど) と、全世界からオープンに登録できるccTLD (.tv / .to / .ccなど) に分けることができる。

gTLD と ccTLD の他に、インターネットインフラ用のトップレベルドメイン (Infrastructure TLD) が存在するが、これはユーザーの登録対象とはなっていない。

¹ .edu / .gov / .mil については、歴史的経緯により米国内の (もしくは米国を中心とした) 関係者/組織に使用が限定されている。

² これはあくまで原則であり、UK (本来ならばGB) などの例外も存在する。

³ .eu の追加やセルビア・モンテネグロの分離など、状況の変化に併せ適宜増減している。

表 1 ドメイン名の種類

gTLD	ccTLD	Infrastructure TLD
《従来からある gTLD》 .com (商業組織用) .net (ネットワーク用) .org (非営利組織用) .edu (教育機関用) .gov (米国政府機関用) .mil (米国軍事機関用) .int (国際機関用)	.jp (日本) .au (オーストラリア) .kr (韓国) .uk (イギリス) .us (米国) .de (ドイツ) .ca (カナダ) .cc (ココス諸島)	.arpa .e164.arpa .ip6.arpa .in-addr.arpa (いずれも インターネット インフラ用)
《新 gTLD》 .info (制限なし) .biz (ビジネス用) .name (個人名用) .pro (専門家用) .museum (博物館、美術館等用) .aero (航空運輸業界用) .coop (協同組合用) .jobs (人事管理業務関係者用) .travel (旅行関連業界用) .mobi (モバイル関係用) .cat (カタロニアの言語／文化コ ミュニティ用) .asia (アジア太平洋地域の企業／ 個人／団体等用) .tel (IP ベースの電話番号用)	.to (トンガ) .tv (ツバル) ・ ・ ・ ・	

1-1-2 ドメイン名の登録状況

現在、全世界におけるドメイン名の登録総数は約 1 億 7,400 万件以上になっている⁴。これは昨年の 1.2 倍ほどの数字である。一昨年から昨年にかけては前年比で 1.3 倍ほどの伸び、さらに一昨年から一昨年にかけては 1.5 倍ほどの伸びを示していたので、ここ 2～3 年は徐々に増加のペースが落ち着いて来ていると言える。この 1 億 7,400 万件強のうちの約半数を占めるのが .com であり、2008 年 10 月時点での登録数は約 7,990 万件で、8,000 万件突破は時間の問題となっている。 .com は 1 か月あたり 50～70 万件程度のペースで増加しているので、おそらく 2008 年 11 月の統計では 8,000 万件を超えるものと思われる。なお、昨年度の調査では約 6,900 万件であり、この 1 年で約 1,000 万件程度増加したことになる。なお、 .com が全体に占める割合については、昨年度の調査に引き続き、今年度もほんの僅かながら減少しており、 .com の登録数が増加した以上に、他のドメイン名の登録が増えた形である。

その他、登録数の多い大規模な TLD としては、 .cn (中国)、 .de (ドイツ)、 .net、 .uk (イギリス)、 .org など挙げられる。依然として根強い人気の .com を除くと、 .cn と .de、 .net の登録数がほぼ同程度で続いており、そこからまたやや間が開いて、 .uk と .org がこれまたほぼ同程度で並んでいるような状況である。昨年度の調査時点では、 ccTLD の中で唯一 1,000 万件以上の登録数があったのは .de だけであるが、今年度の調査では .cn も 1,000 万件を突破するとともに、 .de どころか、昨年度の時点で 1,000 万件を超える登録数に達していた .net まで軽々と追い抜き、全 TLD の中で .com に次いで第 2 位の登録数となっている。また、3 位の .de も、 .cn ほどでは無いものの順調に登録数を増やし、昨年度の調査時点から 200 万件ほどの増加となっている。

.cn と .de の登録が好調な理由だが、 .cn については、中国政府が中国語ドメイン名の普及を目指して積極的に活動を行っていることや、CNNIC が昨年度から引き続き実施している、初年度の登録料を 1 元とするキャンペーンを度々延長したことなどが大きく影響しているものと思われる。また、北京オリンピックと絡めて、ドメイン名関連のイベントやキャンペーンが多く実施された影響も考えられる。

一方、 .de については特に大きな動きは見あたらないが、従来通り登録にあたっての制限が緩く、世界中に登録をオープンにしていることや、また、ISP などと提携してユーザのドメイン名登録にも力を入れていることなどが主な原因と考えられる。

⁴ “Registrar Connections November 2008”
http://www.verisign.com/Resources/Naming_Services_Resources/Registrar_Connections/page_044338.html

今後の.cn と.de の動きであるが、CNNIC が実施していた登録料を 1 元とするキャンペーンが、昨年末をもって終了したこともあり、これまでと同様のペースで増加し続けることは難しいのではないかと考えられる。この 1 年で.de に追いつくどころか 100 万件ほどの差を付けた.cn であるが、今後は.cn の登録ペースが落ち、じわじわと.de との差が詰まってくるのではないと思われる。もしかすると、2009 年度中に再び ccTLD の登録数首位の座が入れ替わることもあるかもしれない。ただ、仮にそのような展開になったとしても、.cn の登録数は一昨年度の調査では 180 万件であり、ccTLD 全体の中でも 5 番目に過ぎなかったことを考えると、この 2 年ほどの間に登録数を 7 倍以上に増やした増加ペースはまったくもって驚異的なものである。

新 gTLD の中では、.pro が順調に登録数を伸ばし始めたのが特徴である。これまでは、どちらかというとなり登録数の少ない部類に入る gTLD で、登録に際して要件として定められているいくつかの資格の中のどれかを、実際に持っていることを証明しなければならないという制約から、この状況は当分変わらないものと思われていた。しかし、昨年後半に要件が緩和され、資格の証明が紙ベースではなくオンラインベースで良いことになったということと、エンジニアを意味するセカンドレベルの「.eng」など、いくつか新しいセカンドレベルドメインが新設されたことから、登録数を伸ばし始めたようである。登録数自体は、2008 年 10 月時点で 2 万 5,000 件程度とまだまだだが、日本からの登録も徐々に増えているようで、今後の増加に期待が持てる。

また、.pro だけでなく.travel も大きく登録数を増やしている、これも登録数全体では約 20 万件程度ではあるが、2007 年 10 月時点の登録数が 3 万件程度であることを考えると、かなりの増加ペースであると言えよう。

それ以外の gTLD については、大幅な増加も無い代わりに、大きく登録数が落ち込んだ TLD もなく、微増程度の TLD も含め、全体としては増加基調という感じである。昨年登録が開始された.asia についても、当初の数ヶ月はかなりの増加ペースを見せたものの、ある程度需給のバランスが取れたのか、そのペースは鈍りつつある。

ただ、登録数の増減傾向については特に TLD ごとの有意な差異はないとはいえ、登録数自体にはやはり TLD によって大きな差があり、二極化の傾向が見られるという点ではこれまでの調査とあまり変わらない。下記の表でいうと.cat までと.coop から大きく傾向が異なっている。前者はどの TLD に関しても、多少の程度の差はあれ順調に登録数を伸ばしているが、後者に関しては、昨年度の調査時点からほぼ横ばいの登録数となっている。これは、後者の TLD が新 gTLD の中でも比較的狭い範囲を登録対象としていることから、ある意味当然の状況と言えなくもない。したがって、今後も傾向としては変わらないので

はないかと思われる。

表 2 gTLD別登録数ランキング (2008年10月現在) 5

順位	gTLD		登録数
1	.com	(商業組織用)	79,898,475
2	.net	(ネットワーク用)	12,185,364
3	.org	(非営利組織用)	7,277,897
4	.info	(制限なし)	5,029,779
5	.biz	(ビジネス用)	2,086,460
6	.mobi	(モバイル関係用)	958,976
7	.name	(個人名用)	294,038
8	.asia	アジア太平洋地域の企業/ 個人/団体等用	236,805
9	.travel	(旅行関連業界用)	203,670
10	.cat	(カタロニア言語/文化用)	32,065
11	.pro	(専門家用)	24,901
12	.coop	(協同組合用)	5,917
13	.aero	(航空運輸業界用)	5,802
14	.museum	(博物館、美術館等用)	544

※データが公開されていない.edu/.gov/.int/.mil は除く。

⁵ 登録数データは各レジストリ (またはスポンサー組織) が ICANN に提出する月間報告書<<http://www.icann.org/tlds/monthly-reports/>>に基づくが、報告書の公開が数ヶ月遅れとなるため、2008年10月時点 (.aero については2008年9月時点) のデータが最新のものとなっている。

表 3 ccTLD別登録数ランキング (2009年1月現在)⁶

順位	ccTLD	国/地域	登録数
1	.cn	(中国)	13,572,326
2	.de	(ドイツ)	12,590,112
3	.uk	(イギリス)	7,312,276
4	.nl	(オランダ)	3,234,134
5	.eu	(欧州連合)	3,025,548
6	.ru	(ロシア)	1,714,682
7	.it	(イタリア)	1,635,500
8	.br	(ブラジル)	1,551,184
9	.us	(アメリカ)	1,436,713
10	.fr	(フランス)	1,322,351

⁶ 登録数データは各レジストリの公開データに基づく。

1-2 IPアドレス

IPを使用してインターネットに接続するコンピュータを識別するための番号が、IPアドレスである。「IP」とは「Internet Protocol」の略であり、インターネットで用いられる、OSIのネットワーク層に対応するプロトコルである。現在広く用いられているIPは、「バージョン4(IPv4)」と呼ばれるものであるが、アドレスの空間を大幅に拡張した「バージョン6(IPv6)」の利用も進んできている。

IPアドレスは、コンピュータのネットワークインターフェース毎に割り当てられる。IPのバージョン毎に特に区別する際は、IPv4アドレス、IPv6アドレスと呼ぶこととなる。IPv4は32ビットのアドレス空間 (2^{32} 個のアドレス) を持つが、IPv6は128ビットのアドレス空間 (2^{128} 個のアドレス) を持つ。

1-2-1 IPv4 アドレス

前項で述べた通り、IPv4アドレスは32ビットのアドレス空間を持つ。2進数では32桁の数字(0か1)で表されるので、IPv4アドレスの総数は 2^{32} 個となり、10進数表記すると、約43億個⁷となる。IPv4アドレスの表記は、一般に、8ビットごとに4つに区切って10進数に直し、ピリオドで区切った表記が用いられる。

例えば、11000000.10101000.00000000.00000001は、192.168.0.1と表記される。この表記で表すと、IPv4アドレスの範囲は0.0.0.0から、255.255.255.255までということになる。

IPv4アドレスには、プライベートアドレスとグローバルアドレスという2つの概念がある。前者はインターネットに直接接続されていないネットワークで自由に使って良いとされるアドレスであり、それ故に複数の利用者で重複があっても問題はない。一方、後者はインターネットに直接接続されているネットワークで、コンピュータを一意に識別するために付けられるアドレスであり、それ故に複数の利用者間での重複は許されない。グローバルアドレスの一意性を保つことは、IPアドレス管理組織の重要な役割である。

IPv4アドレスは、ネットワークを識別する部分(ネットワーク部)と、そのネットワーク内のホストを識別する部分(ホスト部)に分かれている。以前はこの境界をIPv4アドレスの上位の数ビットによって決定する方式が採られていた。これがクラスと呼ばれる概念で

⁷ 正確には、 $2^{32}=4,294,967,296$ 個となる。

ある。

クラスはその規模によって、主に「クラス A」「クラス B」「クラス C」に分けられる。これらを 10 進数のアドレスで表記した場合、それぞれのクラスの上位ビット、アドレス範囲、ネットワーク部のビット数と利用できる最大ホスト数は以下の表のようになる。

表 4 クラスフルの割り当て

クラス	上位ビット	アドレス範囲	ネットワーク部のビット数 (ホスト数)
A	0	0.0.0.0 – 127.255.255.255	8 ビット(16,777,216)
B	10	128.0.0.0 – 191.255.255.255	16 ビット(65,536)
C	110	192.0.0.0 – 223.255.255.255	24 ビット(256)

この他に、マルチキャスト用の「クラス D」、実験用の「クラス E」というアドレスも存在する。クラス E は将来的な利用のために予約されたアドレスだが、IPv4 アドレスの枯渇が叫ばれるようになった 2005 年以降、このクラス E アドレスをグローバルアドレス、もしくはプライベートアドレスとして利用できないかという議論がなされるようになり、2007 年 8 月よりユニキャストアドレス空間として再定義するインターネットドラフトが提出されている。

表 5 クラス D、クラス E

クラス	上位ビット	アドレス範囲
D	1110	224.0.0.0 – 239.255.255.255
E	1111	240.0.0.0 – 255.255.255.255

上記で説明したような方式を「クラスフル」と呼ぶ。以前は、ネットワークの規模すなわちネットワークに接続されるコンピュータの数に応じ、クラスのアドレスが分配されていた（これを「クラスフル」の割り当てという）しかし、この方式は世の中のネットワークの規模をあまりに大雑把に分けており、実際には膨大な余剰アドレスを生む原因となった。こうした分配は「歴史的な割り当て (historical assignment)」とも呼ばれ、現在の分配とは区別して語られている。

そこで現在では、8 ビットごとという単位に縛られることなく、任意のビットでネットワーク部とホスト部の境界を定めることができる「クラスレス」と呼ばれる技術が用いられるようになった。クラスレスでは、ネットワーク部のビット長（プリフィクス長という）を

明示する必要があるため、アドレスのあとに / で区切ってプリフィクス長を表記する。

表 6 クラスフル表記の例

192.168.0.0/28 = 192.168.0.0~192.168.0.15 (16 ホスト)

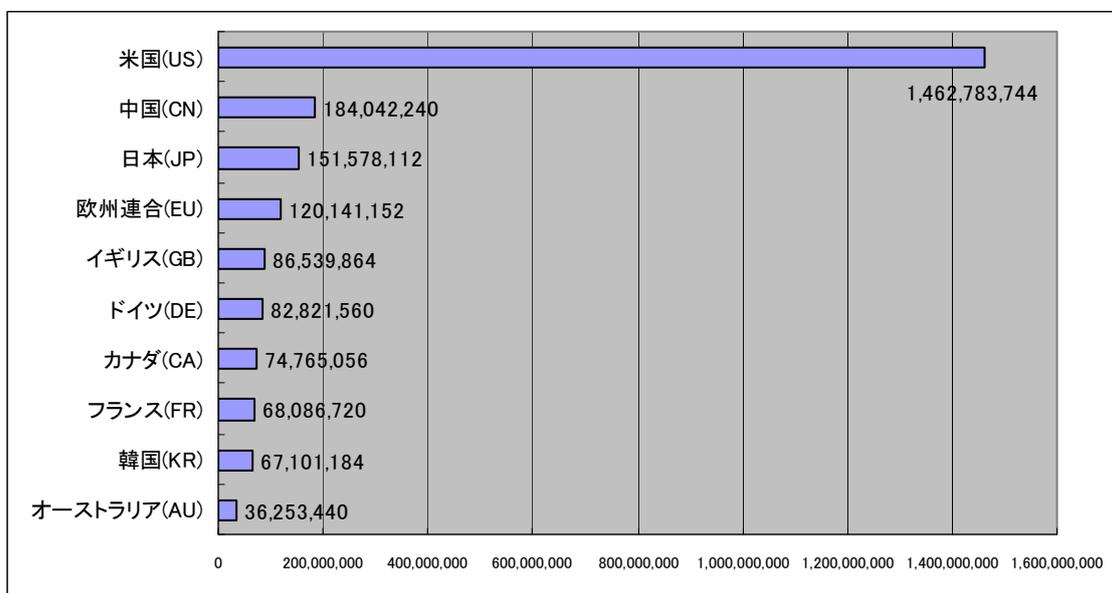
→ネットワーク部 28 ビット、ホスト部 4 ビット

192.168.0.0/27 = 192.168.0.0~192.168.0.31 (32 ホスト)

→ネットワーク部 27 ビット、ホスト部 5 ビット

この技術によってネットワークの規模に応じた適切なアドレスの分配ができるようになり、クラスフルの概念は過去のものとなった。現在 IPv4 アドレスはクラスレスの考え方によって分配されており、IPv4 アドレスの節約に大きく貢献している。しかし 2005 年前後から、IPv4 アドレスの枯渇時期についての予想及びその分析が各方面から発表されるようになり、再び IPv4 アドレスの枯渇が現実感を帯びて語られるようになった。

以下に IPv4 アドレス割り振り量が多い上位 10 ヶ国を示す。詳細については第 4 部の参考資料に詳しくまとめているので、そちらもあわせて参照いただきたい。



1-2-2 IPv6 アドレス

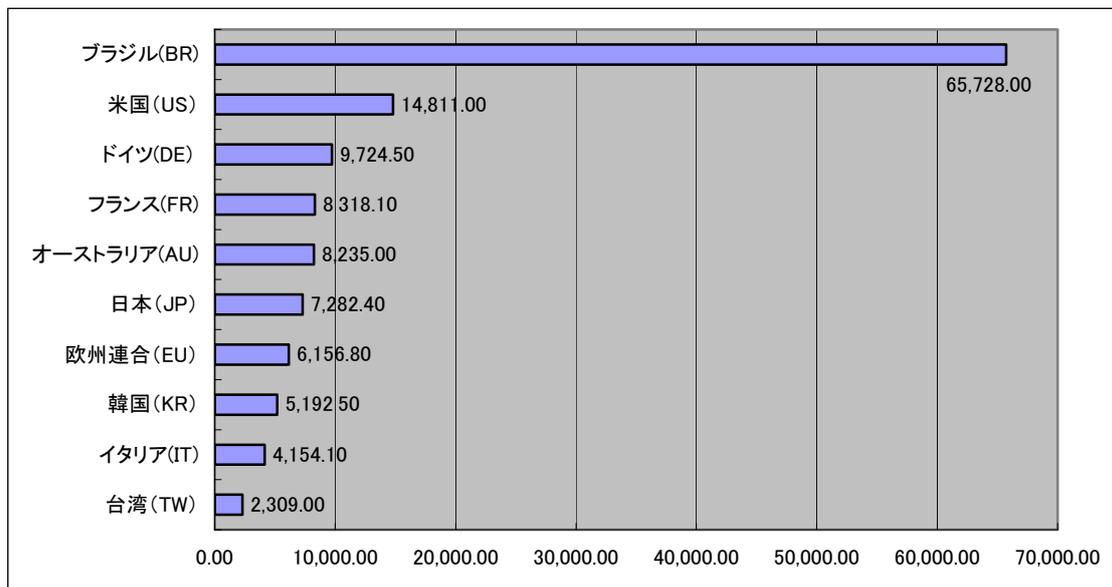
IPv6 アドレスは 128 ビットからなるアドレスであり、単純計算ではおよそ 43 億の 4 乗個のアドレスが利用可能となる。32 ビットからなる IPv4 アドレス（約 43 億個）よりも格段に多くのアドレスが利用可能であることがその最大の特徴である。

IPv4 アドレスは 8 ビットごとに 4 つに区切って 10 進数に直し、ピリオド(.)で区切った表記を行うが、IPv6 アドレスではこの表記だと長くなり過ぎるので、16 ビットごとに 8 つに区切って 16 進数に直し、コロン(:)で区切った表記を行う。その際、連続して 0 が続く場合、表記を省略できるというルールがある。また、IPv4 と同様にプリフィクス長を表すための「/」を使った表記も使われている。IPv6 アドレスで「/32」と表記した場合、ネットワーク部が 32 ビット、ホスト部が 96 ビットとなるので、ホスト数（アドレス数）としては、 2^{96} 個となる。現在、一般の ISP が受ける IPv6 アドレス割り振りで最も小さな単位がこの「/32」である。また、レジストリから直接 IPv6 アドレスを割り当てることも行われており、現在、その最も小さな単位は「/48」（/32 の $\frac{1}{65536}$ のサイズ）である。

当初、ISP からユーザーへの割り当てサイズは一般的には「/48」とアドレス管理ルール（アドレスポリシー）で定められていた。しかし個人ユーザーや企業ユーザーの別を問わず一律に /48 (2^{80} 個) を割り当てることが果たして本当に妥当なのかという疑問が呈され、2006 年にはこのアドレスポリシーを変更する提案が出され、APNIC 地域においても変更が承認されている。

以下に IPv6 アドレス割り振り量が多い上位 10 カ国を示す。詳細については第 4 部の統計資料をあわせて参照いただきたい。

(単位 : /32)



1-3 AS番号

「AS」とは「Autonomous System」の略であり、日本語では「自律システム」とも呼ばれる。AS は、統一された運用ポリシーによって管理されたネットワークの集まりであり、BGP(Border Gateway Protocol)のような外部ネットワークとの経路制御を行うプロトコルによる管理対象となる。通常、規模の大きい ISP のネットワークは固有の AS を形成する。

AS 番号は AS に割り当てられた識別番号である。AS 番号は従来 2 バイト（10 進数で 0～65535）の範囲で運用されてきたが、AS 番号への需要の増加に伴い 4 バイト（10 進数で 0～4294967295）に拡張された。4 バイト AS 番号は 2007 年 1 月 1 日から各 RIR で配布が始まっており、既にいくつかの組織が拡張された 4 バイト AS 番号の割り当てを受けている。

4 バイト AS 番号は、現在の 2 バイト AS 番号のようにそのまま 10 進数で表記すると桁数が多くなってしまいうため、[(上位 2 バイトの 10 進数表記).(下位 2 バイトの 10 進数表記)]のように、2 バイト毎に区切ってそれぞれをピリオド「.」でつなぐ表記方法(ASDOT)が取られていたが、ルーターなどの機器における互換性のため 2008 年 12 月に 10 進数表記(ASPLAIN)とするよう IETF で定められた。このように表記すると、4 バイト AS 番号の範囲は ASPLAIN では 0 から 4294967295、ASDOT では 0.0 から 65535.65535 と表される。

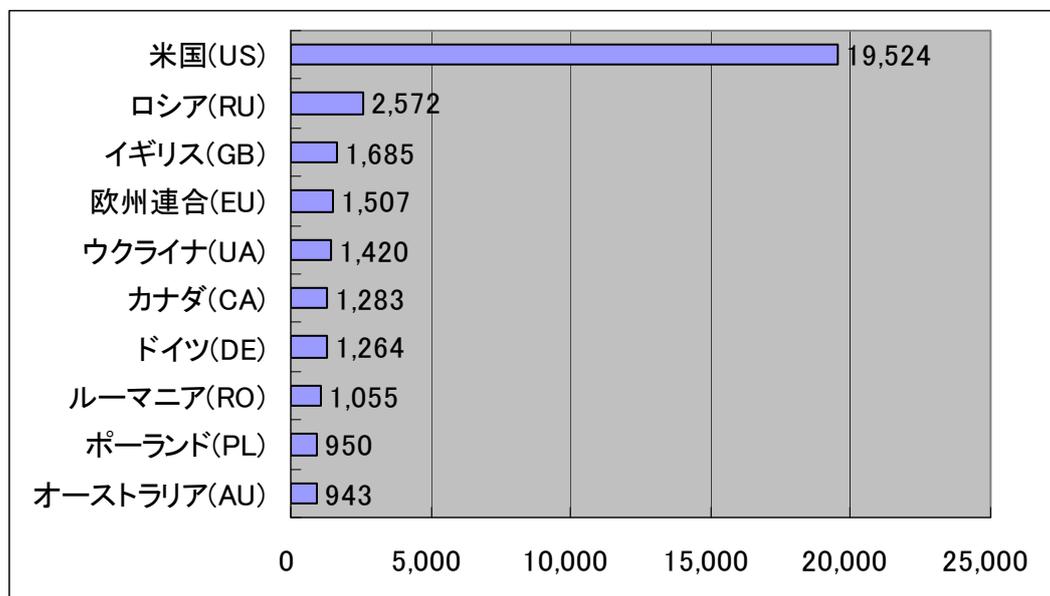
以下にいくつか例を示す。

表 7 4 バイト AS 番号表記方法

10 進数表記(ASPLAIN)	ドット表記(ASDOT)
0	0.0
23456	0.23456
65535	0.65535
65536	1.0
63346	1.10
4294967295	65535.65535

従来の 2 バイト AS 番号で 23456 と表記されたものは、4 バイト AS 番号表記では 23456(ASPLAIN)、0.23456(ASDOT)と表される。逆に、4 バイト AS 番号表記(ASDOT)で x.y と表されるものは、10 進数表記(ASPLAIN)では、65536*x+y となる。

以下に AS 番号割り当て数が多い上位 10 ヶ国を示す。AS 番号の配布状況については、第 4 部の参考資料に詳しくまとめているので、そちらもあわせて参照いただきたい。



1-4 ルートサーバ

1-4-1 ルートサーバの性質

ルートサーバとは DNS(Domain Name System)の最上位に存在し、「ルートゾーン」を管理するネームサーバである。ルートゾーンとは、トップレベルの各ゾーンを管理するネームサーバがどこに位置しているのかを管理しているゾーンのこと、ここでは.jp や.com などの最上位のドメイン名(TLD)の DNS サーバとその IP アドレスなどが設定されている。

このルートサーバは、DNS の仕組み上非常に重要なサーバであり、ドメイン名を利用する際には必要不可欠な存在である。一般のユーザのほとんどは、Web サイトの閲覧やメールの送受信など、インターネットを利用する際に IP アドレスではなくドメイン名を利用していると思われるが、実際の通信を行う段階では通信相手の IP アドレスを知ることが必要不可欠であり、そのドメイン名と IP アドレスの対応関係を調べる（これを名前解決という）ために DNS は利用される。したがって、ルートサーバの存在はインターネットの運用においても大変重要であると言える。

なぜルートサーバが DNS の仕組みにおいて非常に重要かということの説明すると、一般に名前解決を行おうとするアプリケーション等のクライアントはまず自組織のネームサーバに問い合わせを行うが、通常、ネームサーバは自分が管理を行っているゾーンについてしか正しい答えを返すことが出来ない。DNS は分散型データベースであるので、各ネームサーバは自分が管理しているドメイン以外の情報は持っておらず、これは正しい挙動である。しかし、これでは自組織以外についての名前解決が出来ないので、ネームサーバは自分が管理しているドメイン以外に関する問い合わせが来た際には、IP アドレスとドメイン名の対応を返答として返す代わりに、ルートサーバの名前を IP アドレスを返すのである。すると次にクライアントはルートサーバに対して同じ問い合わせを行う。ルートサーバは、ルートゾーンの情報だけを管理しているので、直接問い合わせの答えを返すことは出来ないが、各 TLD を管理しているネームサーバについては答えることが出来るので、問い合わせを行ったドメイン名の TLD を管理しているネームサーバの名前と IP アドレスを返答として返す。それを受け取ったクライアントは、次に TLD を管理しているネームサーバにまた同じ問い合わせを行い、問い合わせを受けたネームサーバは、今度はその TLD にあるセカンドレベルドメイン(SLD)を管理しているネームサーバの名前と IP アドレスを返答として返す。このようにクライアントは次々と問い合わせを繰り返していき、最終的には目的の名前を解決することが出来るようになっている。

ちなみに、上記のような「自分が管理していないドメインに関する問い合わせに対しては、ルートサーバの名前と IP アドレスを返答として返す」という挙動を実現するために、世の中に存在する全てのネームサーバはルートサーバの名前と IP アドレスを設定したファイルをローカルに持っている。これは分散型 DB という DNS の仕組みの中で見ると、例外的ではあるが、このようにローカルにルートサーバの情報を持っていないと「ルートサーバの名前を解決するためにルートサーバに問い合わせる」「ルートサーバに問い合わせをしたいけれどルートサーバの IP アドレスがわからない」という一種のジレンマが発生してしまうためである。したがって、自ドメイン以外の情報を管理する必要がない DNS の仕組みにおいてこのルートサーバの名前と IP アドレスを設定したファイルだけは別で、ルートサーバの IP アドレスが変更された場合などは、手動でこのファイルを更新する必要がある。

ルートサーバの IP アドレス変更は、頻繁にはではないものの、これまでも何度か実施されており、最近では 2007 年 11 月に Lサーバの IP アドレスが変更された。この変更にとともに、それぞれの DNS サーバ管理者による、各 DNS サーバがローカルに持つルートサーバの IP アドレスを設定したファイルの更新が行われた。ただ、実際には全ての DNS サーバ管理者が更新を行っているとは限らず、一部には更新忘れられた DNS サーバも存在するものと思われる。とはいえ、そのことがすぐに名前解決が出来なくなる事態に繋がるわけではなく、13 あるルートサーバのうち 1 つの IP アドレスが変更されたとしても、残りの 12 の IP アドレスが正しければ、到達できないルートサーバに問い合わせってしまう確率は 12 分の 1 に過ぎず、また、問い合わせに失敗した場合は引き続き別のルートサーバに問い合わせが行われるので、利用者から見れば名前解決にかかる時間がやや増加したように見える程度である。また、DNS にはラウンドロビンと呼ばれる仕組みがあり、応答に時間がかかるルートサーバを避け、より応答の速いルートサーバを選んで問い合わせをするようになっているため、名前解決が遅くなるのも最初の 1 回の問い合わせだけである。さらに、ルートサーバの IP アドレス変更については、移行にかかる時間を越して十分に並行運用の期間が取っており、しばらくは古い IP アドレスを利用して問い合わせが行えるようになっている。Lサーバの場合だと、IP アドレスの変更が行われたのは 2007 年 11 月であるが、変更前の IP アドレスを用いた問い合わせが出来なくなるのは、最低でも 6 ヶ月後と事前に通知されていて、実際、2008 年 5 月 1 日に古い IP アドレスでの応答を終了する旨のアナウンスが ICANN から出された⁸。

ここまで説明したように、インターネット上で名前解決を行う際に、自ドメイン以外の名前を解決する際には、必ずルートサーバへの問い合わせが必要となり、そのルートサーバから順次下位のサーバに問い合わせを繰り返していくことで名前の解決が可能となっている。そのため、ルートサーバは非常に重要であると同時に負荷が高く、その負荷を下げる

⁸ <http://l.root-servers.org/ip-change-01may08.htm>

ために DNS にはキャッシュという仕組みが採用されている。各ネームサーバやクライアントは一度問い合わせを行ったらその結果をしばらく保存しておき、同じ問い合わせが発生した場合には、保存してある結果を利用して実際には問い合わせのための通信を行わないようになっている。このキャッシュという仕組みによって、ルートサーバを初めとした各ネームサーバの負荷が下がり、より安定した DNS の運用が可能となっている。

一方、安定性という意味ではルートサーバの運用が停止しないことも非常に重要で、上記のキャッシュという仕組みがあるので数時間程度なら特に大きな問題が起こらない可能性が高いとはいえ、ルートサーバが停止すると最終的にはインターネット上の名前解決は自ドメイン内を除いて出来なくなってしまう。

そのため、ルートサーバは世界で 13 用意されており、その全てが停止しない限り名前解決が出来るように配慮されている。13 のサーバは A サーバ(a.root-servers.net)から順番に M サーバ(m.root-servers.net)までアルファベット順に名前が付けられており、A サーバのデータがマスターであり、B から M サーバまでの残りの 12 のサーバは A サーバのデータのミラーが置かれている。

この 13 という数字は DNS のプロトコルによる技術的制限の上限であり、かつては実際に 13 台のサーバしか設置することが出来なかった。もっとも、13 台しか設置できないと言っても、実際に全てルートサーバが止まったことは一度もないわけではあるが、近年はさらなる安定性の向上を目指して、IP Anycast などの技術を利用することによってこの 13 台という制限はなくなっている。この IP Anycast という技術は、同一サービスを提供するノードに同一の IP アドレスを割り当てる技術であり、技術的制限であるルートサーバとして 13 の IP アドレスしか設定できないという制限はそのまま、実際には 13 台以上のサーバを稼働させることが出来るようになり、ルートサーバの稼働率をより高め、また各サーバの負荷を下げる事が可能となった。

また、13 台という制限が無くなったことにより、世界各地にルートサーバを設置することが出来るようになり、その結果各クライアントは（ネットワーク的に）距離の近いネームサーバに対して問い合わせが出来るようになることから、応答性を高めるという目的にも IP Anycast は一役買っている。

なお、上記の IP Anycast などの技術により各地にルートサーバが置かれるようにはなったものの、インターネットがアメリカ合衆国において発達した歴史的経緯から、ルートサーバの大半はアメリカ国内に置かれている。ちなみに、日本国内においては以前から M サーバが WIDE Project により運用されており、また近年では IP Anycast の導入によって、F

サーバおよび I サーバ、J サーバ、K サーバなどが日本国内でも運用されるようになっている。

1-4-2 ルートサーバの配置状況

2009 年 2 月時点でのルートサーバの配置状況は以下の通りとなっている。

表 8 ルートサーバの配置状況⁹

サーバ	オペレータ	所在地	IP アドレス
A	VeriSign, Inc.	Dulles; Ashburn	IPv4: 198.41.0.4 IPv6: 2001:503:BA3E::2:30
B	Information Sciences Institute	Marina Del Rey	IPv4: 192.228.79.201 IPv6: 2001:478:65::53
C	Cogent Communications	Herndon; Los Angeles; New York City; Chicago; Frankfurt; Madrid	192.33.4.12
D	University of Maryland	College Park	128.8.10.90
E	NASA Ames Research Center	Mountain View	192.203.230.10
F	Internet Systems Consortium, Inc.	Ottawa; Palo Alto; San Jose CA; New York City; San Francisco; Madrid; Hong Kong; Los Angeles; Rome; Auckland; Sao Paulo; Beijing; Seoul; Moscow; Taipei; Dubai; Paris; Singapore; Brisbane; Toronto;	IPv4: 192.5.5.241 IPv6: 2001:500:2f::f

⁹ <http://www.root-servers.org/>

		<p>Monterrey; Lisbon; Johannesburg; Tel Aviv; Jakarta; Munich;Osaka; Prague; Amsterdam; Barcelona; Nairobi; Chennai; London; Santiago de Chile; Dhaka; Karachi; Torino; Chicago; Buenos Aires; Caracas; Oslo; Panama; Quito; Kuala Lumpur; Suva; Cairo</p>	
G	U.S. DOD Network Information Center	Columbus	192.112.36.4
H	U.S. Army Research Lab	Aberdeen Proving Ground	IPv4: 128.63.2.53 IPv6: 2001:500:1::803f:235
I	Autonomica /NORDUnet	<p>Stockholm; Helsinki; Milan; London; Geneva; Amsterdam; Oslo; Bangkok; Hong Kong; Brussels; Frankfurt; Ankara; Bucharest; Chicago; Washington DC; Tokyo; Kuala Lumpur; Palo Alto; Jakarta; Wellington; Johannesburg; Perth; San Francisco; New York; Singapore; Miami; Ashburn (US); Mumbai; Beijing; Beijing; Manila;</p>	192.36.148.17

		Doha; Colombo	
J	VeriSign, Inc.	Dulles (3 sites); Vienna; Miami, Atlanta; Seattle; Chicago; New York; Los Angeles; Mountain View (2 sites); San Francisco (2 sites); Dallas; Amsterdam; London; Stockholm (2 sites); Tokyo; Seoul; Beijing; Singapore; Dublin; Kaunas; Nairobi; Montreal, Quebec; Sydney; Cairo; Warsaw; Brasilia; Sao Paulo; Sofia; Prague; Johannesburg; Toronto; Buenos Aires; Madrid; Vienna; Fribourg; Hong Kong; Turin; Mumbai; Oslo; Brussels; Paris; Helsinki; Frankfurt; Riga	IPv4: 192.58.128.30 IPv6: 2001:503:C27::2:30

K	Reseaux IP Europeens Network Coordination Centre	London; Amsterdam; Frankfurt; Athens; Doha; Milan; Reykjavik; Helsinki; Geneva; Poznan; Budapest; Abu Dhabi; Tokyo; Brisbane; Miami; Delhi; Novosibirsk	IPv4: 193.0.14.129 IPv6: 2001:7fd::1
L	Internet Corporation for Assigned Names and Numbers	Los Angeles; Miami	IPv4: 199.7.83.42 IPv6: 2001:500:3::42
M	WIDE Project	Tokyo (3sites); Seoul; Paris; San Francisco	IPv4: 202.12.27.33 IPv6: 2001:dc3::35

2 インターネット資源管理体制の現状およびそれ
に関する議論の動向

2 インターネット資源管理体制の現状およびそれに関する議論の動向

2-1 インターネット資源管理体制の概要

ドメイン名は IP アドレスやプロトコル番号などと同様に、インターネット上の論理資源の一つであり、インターネット上で一意 (unique) である必要がある。また、2011 年にも IANA 在庫が枯渇するとされている IPv4 アドレスほどではないが、ドメイン名もラベルに使用できる文字数には技術上の制限があるなど、取り得る文字列の組み合わせは有限である。

このうち、「インターネット上で一意である」ことは非常に重要である。複数の同一ドメイン名が存在しうる事態となってしまうと、通信相手はどちらを相手として通信を行えばいいのかわからなくなってしまう。たとえば、同じドメイン名を持つ Web サイトが 2 つ存在するようなことが起これば、通信を行いたいサイトを特定する術がなくなってしまい、ユーザーは非常に混乱することになるだろう。

このような理由から、インターネット上における資源管理に関しては、一元的に管理する組織がどうしても必要であり、そのような管理を行っているのが ICANN(The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)である。ICANN は IP アドレスやプロトコル番号などと同様に、ドメイン名も一元的に管理している。実際にドメイン名の管理を行っている各 gTLD・ccTLD レジストリに対しては、ICANN からそのドメイン名の管理が委任されており、その委任された権限に基づいて各レジストリは各 TLD を管理している。

とはいえ、ICANN が当初からドメイン名の管理を行っていたわけではない。ICANN が設立される以前は、南カリフォルニア大学のジョン・ポステル氏を中心に、米国政府の援助も受けつつも基本的に技術者や研究者のボランティアで運営されていた IANA(Internet Assigned Numbers Authority) がインターネット資源管理の責任を担っていた。しかし、1990 年代後半になるとドメイン名の登録数の爆発的増加にみられるようにインターネットが急速に発展し、社会への影響力が非常に大きくなり、また NSF (全米科学財団) からの委託を受けてドメイン名の管理を行っていた NSI (ネットワークソリューションズ社) に対して「独占的」との批判が高まる状況となった。

このような状況を受けてインターネットにおける資源管理のあり方についての議論が高まる中で発表された、米国政府による「インターネットの名前およびアドレスの技術的管理の改善についての提案 (通称：グリーンペーパー¹⁰)」や、それに対するさまざまな批判や意見を反映して再度米国政府が作成した「インターネットの名前およびアドレスの管理 (通

¹⁰ 「インターネットの名前およびアドレスの技術的管理の改善についての提案」
<http://www.nic.ad.jp/ja/translation/icann/bunsho-green.html>

称：ホワイトペーパー¹¹⁾」の発表を経て、インターネットの資源管理については、新しい非営利法人を作り、その法人の管理の下で民間主導・ボトムアップという方針に基づき管理されていくことになった。

この非営利法人が ICANN であり、IANA はその役割を ICANN に引き継ぎ、現在では ICANN の資源管理における機能の名称としてその名前を残している。

このように、インターネットの資源管理はカリフォルニア州の非営利法人である ICANN が行っており、米国政府も民間主導の資源管理を認めているが、一方でインターネットが米国政府の投資の下で成立したという主張は崩しておらず、インターネットの元々の管理権限は米国政府が有しており、それを民間組織である ICANN に委譲するのだというスタンスをとっている。

事実、現在のルートゾーンの管理権限は米国商務省から ICANN に対して契約に基づき期限付きで認められており、ルートゾーンの変更にあたっては商務省の最終承認が必要となっている。もちろん、承認といってもあくまで形式的なものであり、実際に ICANN 側が行おうとした変更に対し商務省が承認しなかった例は聞かないが、一方で形式的とはいえルートゾーンの管理というドメイン名の管理における根本の部分に対して、米国政府が一定の権限を今なお有しているのもまた事実である。

ただし、インターネットの資源管理に関して、いつまでも米国商務省が権限を持つと定められているわけではない。ICANN と商務省の間の覚書では、DNS の管理権限は最終的に ICANN に委譲されることが定められており、覚書中に定められている管理権限移管のための条件が整えば ICANN に全ての管理権限が移管されることが規定されている。逆に言えば条件が整わない限りは移管されないということであるが、両者の間の覚書は期限を延長する形でたびたび改訂されており、最新の改訂は「Joint Project Agreement の変更」という題目で、2006年9月29日に行われている。この最新の覚書では、2009年9月30日が新たな期限として定められており、ICANN としてはこの期日までに条件を整え、米国商務省からの管理権限の移管を実現させるべく活動していくことになる。2007年10月から2008年2月にかけて、この延長された覚書に関する中間評価のためのパブリックコメント募集がされている。その内容については、項を改めて報告する。

¹¹ 「インターネットの名前およびアドレスの管理」
<http://www.nic.ad.jp/ja/translation/icann/bunsho-white.html>

2-1-1 IPアドレスの管理体制の現状

IP アドレス、及び AS 番号の分配は階層的に行われている。管理階層の最上位となっているのが ICANN(Internet Corporation of Assigned Names and Numbers)/IANA (Internet Assigned Numbers Authority)であり、次の階層がアドレス管理において実質的に支配的な役割を果たす5つの地域インターネットレジストリ (RIR: Regional Internet Registry) と、一部地域の RIR 配下に存在する国別インターネットレジストリ (NIR: National Internet Registry) である。

RIR は ICANN/IANA からある程度大きなアドレスブロックの割り振りを受け、それをさらに下位の階層へ再分配する。現在定められているアドレスポリシーでは、ICANN/IANA から RIR へは、IPv4 アドレスでは/8 単位で、IPv6 アドレスでは/12 単位で割り振りが行われる。

RIR/NIR はさらに次階層に位置するインターネットレジストリ (LIR: 後述) に対して、申請に応じて IP アドレスの分配を行う。RIR は事前に決められた公開ポリシーに従って申請元の需要を精査した上で、正当化された需要に応じたアドレスの分配を行う。LIR への分配の最小単位は、IPv4 では/22 もしくは/21 (地域によって異なる)、IPv6 では/32 である。

RIR の配下で、特定の国内の IP アドレス、AS 番号の管理を行っているのが国別インターネットレジストリ (NIR) である。NIR は地域内の文化的・言語的差異という特殊事情に特に対応するために存在し、それ故に特に使用言語が多様なアジア地域において発展した。

日本国内でIPアドレス、AS番号の管理を行っているのは、社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC) である。JPNICは、ここでいうNIRにあたる。アジア地域のNIRは、以前はAPNICからまとまった量のIPアドレスの割り振りを受け、そのアドレスからLIRに対して再割り振りを行っていた。しかし、そうした運用だと各NIRに分割損としての在庫が残ることから、APNICの在庫から直接NIR配下のLIRに対してアドレス割り振りを行う運用に変更された。こうした運用は、APNICのポリシー文書として規定されている。¹²

RIR や NIR から IP アドレスの分配を受ける ISP をローカルインターネットレジストリ (LIR: Local Internet Registry) といい、この LIR がユーザーに対して IP アドレスの分

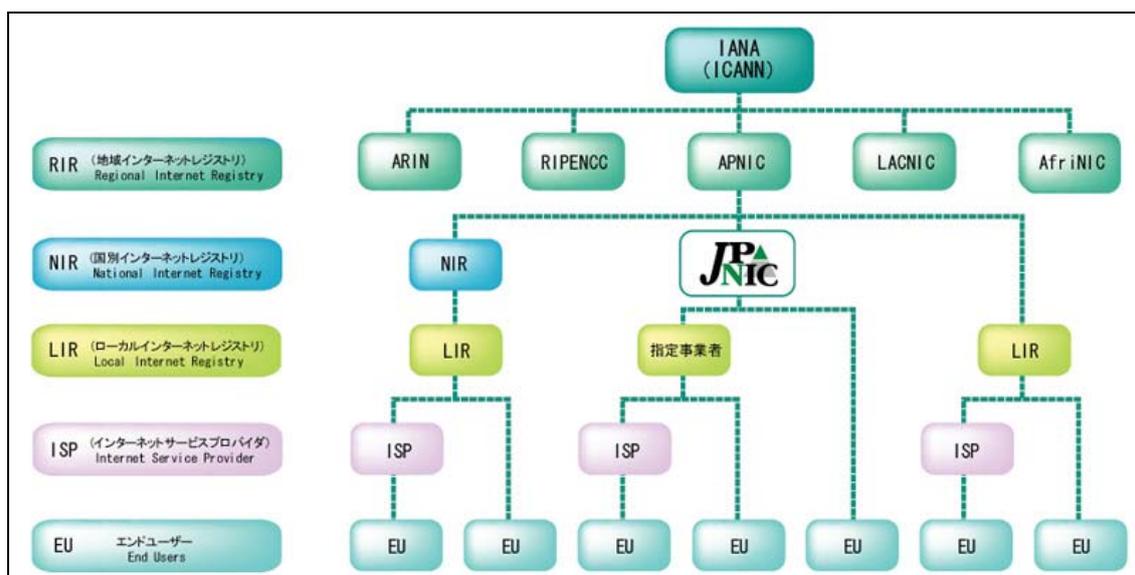
¹² <http://www.apnic.net/policy/operational-policies-nirs.html>

配を行うこととなる。従って、LIRはIPアドレス管理構造の一翼を担うと言える。実際にエンドユーザーのIPアドレスの需要を把握し、割り当てを行う作業はLIRが行うことから、LIR無しではIPアドレスの管理は成り立たないと言っても過言ではない。

日本国内においてLIRの役割を担っている組織は「IPアドレス管理指定事業者」と呼ばれている。IPアドレス管理指定事業者はLIRとなるための一定の基準を満たし、JPNICからIPアドレス登録管理業務の委任を受けている組織である。日本国内におけるIPアドレスの分配は、一部例外を除き、IPアドレス管理指定事業者がJPNICから委任を受けたIPアドレスの中から顧客や自組織のネットワークに対して行われている。

これまで説明したIPアドレス・AS番号の管理構造を、以下に図で示す。

図1 IPアドレス・AS番号の管理構造



2-1-2 ドメイン名の管理体制の現状

ドメイン名の管理体制においても、IP アドレスなどと同様に、ICANN が階層構造の頂点に位置し、管理を行っている。しかし、実際のドメイン名の管理については、各 gTLD・ccTLD ごとにレジストリに管理が委任されており、実際の管理は各レジストリが行っている。また、レジストリは資源管理に特化しており、ユーザーとの窓口となるのはレジストラやリセラと呼ばれる組織である。

ドメイン名の管理についても、他のインターネット資源同様、世界中で一意であることが保証されることが求められており重複は許されない。具体的には同一の階層では同じレベルを持つドメイン名は存在できないことになっている。

その一意性を保証するために、TLD ごとにレジストリは 1 組織となっているのが普通である。このようにレジストリは自然独占の傾向を持つことになるが、これはデータベースの一元管理という目的から考えるとある程度やむを得ないことといえる。

このような自然独占を生じさせる仕組みの一方で、ドメイン名の管理構造においては、ICANN 設立の経緯などからもわかるように、積極的に競争原理も導入されている。これは、公正・中立の原則は守りつつも、サービスや価格面でユーザーである登録者が不利益を被らないようにすることが目的である。

ドメイン名の管理構造におけるこのような競争原理の中でおそらく一番有名なものが、gTLD などに導入されている「レジストリ＝レジストラモデル」である。これはデータベースの一意性を守るためにレジストリに独占的な管理を認めるものの、一方でレジストリはレジストリデータベースの管理に専念し、登録の受け付けなどのサービスはレジストラが提供することにより、一定のルールの下でレジストラ同士で自由に競争を行わせることによって、より良いサービスを登録者が受けられるようにしようという考え方である。

さて、このように IP アドレスの管理構造とは異なり、積極的に競争原理を導入しているドメイン名登録の世界であるが、やはり公平・中立を守るために一定のルールは必要であり、競争が行われる中でもそのルールが守られるようにする仕組みが求められる。いくら安価な登録サービスを提供する業者が現れても、それが既存の枠組みやユーザーにとって悪影響を与えるものであってはいけなし、本来ユーザーが受けられるサービスが低価格と引き替えに受けられないということであってはならないからである。

そういった、レジストリやレジストラの権利と責務、言い換えればレジストリが守らなければならないルールや各レジストラが守らなければならないルールをポリシーと呼ぶが、これらポリシーの制定のされ方は gTLD と ccTLD では若干異なっている。次はこのポリシー策定に関する仕組みについて解説していきたい。

■ gTLD の管理構造

まず、gTLD の場合は少し特殊な事情があり、RGP(Redemption Grace Period : 削除済ドメイン名のための「請戻猶予期間」)や、AGP(Add Grace Period : 登録猶予期間)、WLS(Wait Listing Service)など、gTLD 関連のポリシーはレジストリ・レジストラ双方に深く関わってくるものが大半である。ポリシーを策定するにあたっては、レジストリとレジストラが互いに納得できるものである必要がある。

したがって、gTLD のポリシー策定にあたっては、レジストリ・レジストラのどちらか一方だけで決定することはできず、一般的に ICANN の支持組織のひとつである GNSO (Generic Names Supporting Organization 「分野別ドメイン名支持組織」) でレジストリ・レジストラ双方の議論によって検討される。まず、GNSO 自らの発議、もしくは理事会からの要請に従いポリシー策定の是非やその内容について検討し、その結果を理事会に提案する。そして、その内容を理事会が承認すれば正式なポリシーとなる。また、理事会は GNSO に提案するだけでなく自らポリシーを策定することも可能となっている。

なお、GNSO は、GNSO 評議会と「gTLD レジストリ部会」、「レジストラ部会」、「ビジネスユーザー部会」、「非商用ユーザー部会」、「知的財産権関係者部会」、「ISP 部会」の 6 部の部会から成り立っており、2009 年 2 月現在、GNSO 評議会のメンバーは以下の通りとなっている。

表 9 GNSO 評議委員一覧 (2009 年 2 月時点)

選出母体	氏名	出身
チェア	Avri Doria	北アメリカ
ビジネスユーザー部会	Philip Sheppard	ヨーロッパ
	Mike Rodenbaugh	北アメリカ

選出母体	氏名	出身
	Zahid Jamil	アジア太平洋
gTLD レジストリ部会	Chuck Gomes	北アメリカ
	Jordi Iparraguirre	ヨーロッパ
	Edmon Chung	アジア太平洋
ISP 部会	Tony Harris	ラテンアメリカ
	Tony Holmes	ヨーロッパ
	Greg Ruth	北アメリカ
非商用ユーザー部会	William Drake	北アメリカ
	Mary Wong	アジア
	Carlos Souza	ラテンアメリカ
レジストラ部会	Tim Ruiz	北アメリカ
	Stéphane van Gelder	ヨーロッパ
	Adrian Kinderis	アジア太平洋
知的財産権関係者部会	Ute Decker	ヨーロッパ
	Cyril Chua	アジア太平洋
	Kristina Rosette	北アメリカ
指名委員会選出委員	Terry Davis	北アメリカ
	Avri Doria	北アメリカ
	Olga Cavalli	ラテンアメリカ
リエゾン	Suzanne Sene	GAC
	Pierre Bonis	ccNSO
	Alan Greenberg	ALAC

これらの手順を経て定められたポリシーは、gTLD レジストリおよびレジストラにとっては拘束力をもったルールとなり、必ず守られることになる。なぜならレジストリやレジストラは ICANN との契約に基づいて業務を行っており、その契約の中でポリシーの遵守もレジストラやレジストリの責務として定められているからである。もし守らない場合は、その契約の条項に基づいて契約解除も含めた何らかのペナルティが課せられることになる。

一方、このように ICANN との契約に基づき多くの制約が課されており、ICANN で定めら

れたポリシーに対しても厳格に遵守を求められるレジストリやレジストラと違い、リセラは直接的にポリシーに縛られることはない。これは、リセラは ICANN とは何の契約も結んでいないことが一般的なため、直接 ICANN によって定められたポリシーに従う義務は無いためである。とはいえ、ほとんどのリセラはどこかしらかのレジストラの下に入って業務を行っているため、その上位レジストラが影響を受けるポリシーについては、リセラも同じような影響を受けると考えて良い。また、たとえリセラ自身はポリシーに従う必要がなく違反をしたところで ICANN から処罰されないとしても、レジストラはポリシーに縛られるため、そのようにポリシー違反をするリセラと契約を継続するとは考えにくい。そのような意味では、リセラにも間接的にはポリシーに従う強制力が働いているとも言える。

■ ccTLD の管理構造

一方、ccTLD に関しては gTLD とは大きく雰囲気異なる。

元々、ICANN の設立以前から IANA から直接管理を委任されていた ccTLD も多く、そのような歴史的経緯から ccTLD については、各国・地域による独自のポリシー策定が認められている。

また、GNSO のように各 ccTLD 管理者が集まって統一されたポリシーを策定する場もない。一応、GNSO にならって ccNSO (Country Code Names Supporting Organization : 国コードドメイン名支持組織) という支持組織が ICANN の内部に設立されたが、元々 ccTLD の管理者の中には ICANN の中央集権的な管理体制に対して否定的な感情を抱いている者もまだまだ多く、また金銭的な負担の問題等からも、全ての ccTLD 管理者が参加するという状況にはいまだなっていない。

とはいえ、2009 年 2 月現在での ccNSO のメンバー数は 89 となっており、以前と比べると ccNSO に参加する ccTLD 管理者の数も増えてきている。そういう意味では、一時期に比べると随分と ccNSO でポリシー策定を行うための状況は整いつつあると言えるが、全 ccTLD の総意を反映できるまでのメンバー数ではなく、ccNSO で ccTLD 共通のポリシーを策定するようになるにはまだもう少し時間がかかりそうである。また、もし仮に全ての ccTLD 管理者が ccNSO に参加するようになったとしても、ccTLD の管理には各国・地域ごとの言語や文化の問題、歴史的背景などの違いから、統一的なルールを作るのが難しい部分も残るだろう。そのような点を考慮すると、GNSO とは違い、全ての分野にわたるポリシーを ccNSO で策定するのではなく、各 ccTLD で共通であることが求められる部分については ccNSO で策定し、各国・地域の事情に合わせた方がよい部分は各 ccTLD の裁量

に任せるといふ方向性になるのではないだろうか。そういう意味では、従来通り ccTLD については各 ccTLD ごとに独自にポリシーを策定するという、大元の部分は大きくは変わらないのではないかと思われる。

なお、2009年2月現在の ccNSO 評議委員の一覧は以下の通りである。

表 10 ccNSO 評議委員一覧(2009年2月時点)

氏名	出身
Victor Ciza	アフリカ地域
Paulos B. Nyirenda	アフリカ地域
Mohamed El Bashir	アフリカ地域
Young Eum Lee	アジア太平洋地域
Christopher Disspain (チェア)	アジア太平洋地域
Hirofumi Hotta	アジア太平洋地域
Olivier Guillard	ヨーロッパ地域
Lesley Cowley	ヨーロッパ地域
Ondrej Filip	ヨーロッパ地域
Patricio Poblete	ラテンアメリカ地域
Oscar Alejandro Robles-Garay	ラテンアメリカ地域
Patrick Hosein	ラテンアメリカ地域
Keith Drazek	北アメリカ地域
Oscar Moreno	北アメリカ地域
Dotty Sparks de Blanc	北アメリカ地域
リエゾン	
Becky Burr	北アメリカ地域
Nashwa Abdelbaki	アフリカ地域
Jian Zhang	アジア太平洋地域

■ ICANN/IANA

ドメイン名の管理体制における ICANN(The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)の関わりは IP アドレスやプロトコルポート番号といった他の分野に比べ、

比較的大きいといえる。

これは ICANN の設立経緯とも深く関わっており、ICANN が設立される以前は IANA が (Internet Assigned Numbers Authority) がインターネット資源管理の責任を担っていたわけだが、1990 年代後半になると、

- .com ドメイン名の登録数の爆発的増加に象徴的に見られるようにインターネットが社会へ急速に浸透したこと
- 当時 NSF からの委託を受けて.com ドメイン等の管理を行っていた NSI に対し、独占だとの批判が高まったこと
- gTLD をもっと増やすべきだとの意見が強まったこと
- サイバースクワッティングへの対策が強く求められていたこと

などの複合的な要因から、今後、インターネット資源の世界規模での調整をどのように行えばよいか問題として取り上げられるようになり、それらの問題を解決するために正解中で議論が行われた結果、最終的にアメリカ政府から発表されたホワイトペーパーにより ICANN の設立へと繋がることとなった。現在、IANA は ICANN の機能のひとつとして存在しており、そう言う意味では「ICANN=IANA」と言えなくもないが、厳密に言えば ICANN の業務と IANA の業務は区別されるべきものである。

このような経緯で ICANN が設立されたわけであるが、当時問題とされたことの多くがドメイン名と関連しており、それらの問題に対処するために設立された組織である ICANN が、ドメイン名とより深く関わりを持つことはある意味当然と言える。

次に実際に ICANN がドメイン名の分野において果たす役割であるが、まずは上記の「gTLD をもっと増やすべき」という問題への対応として行われた、新 gTLD の承認作業が挙げられる。ICANN が設立されて以降、それまで 7 つだった gTLD は現在では 20 となっている。また、ICANN では新 gTLD の導入に大変積極的であり、今後は従来と比べ、TLD の申請要件を大幅に緩和する方向で検討が進められている。この TLD 申請の自由化であるが、早ければ 2009 年の後半にも TLD の申請が受け付けされる予定となっている。

なお、2001 年以降に新設された gTLD をはじめ、各 gTLD のレジストリはレジストリ業務を行うにあたって ICANN と契約を結ぶことが必要とされており、VeriSign 社をはじめとした各 gTLD レジストリは ICANN と契約を結んでいる。これらの契約は無期限ではなく、2005 年に.net のレジストリ業務において ICANN と VeriSign 社との間の契約が更新されたよ

うに、一定期間毎に見直しが行われることになっている。

一方、ccTLD については全てのレジストリが ICANN と契約を結んでいるわけではない。歴史的な経緯などから、ccTLD の管理権限は ICANN 設立以前に IANA から個人に委任されていることも多く、お互いの権利と責務を明確にするためにも ICANN と ccTLD 管理者の間で契約締結を進めようという動きはあるものの、現時点では日本などいくつかの ccTLD が契約を結ぶに留まっている。

レジストリの監督以外に ICANN が果たす責務としては、レジストラの管理も挙げられる。ドメイン名市場の独占に対する対応として、ICANN は gTLD の管理にレジストリ-レジストラモデルと呼ばれる仕組みを導入した。これはドメイン名の登録はレジストリではなくレジストラと呼ばれる業者が行い、そのレジストラ同士に自由に競争を行わせることにより、ユーザーが価格やサービス面でのメリットを享受できるようにしようという仕組みである。

gTLD の登録業務を行おうとするレジストラは、レジストリのみならず ICANN とも契約をする必要があり、ICANN が定めた様々な規則やポリシーを遵守することが求められる。これは競争環境の導入を行いつつも、ユーザが不利益を被るような不正等がレジストラによって行われないようにするためである。

また、ICANN は gTLD に関する各種ポリシーの策定にも関わっている。たとえば、登録者やレジストラによるミス、または不正行為(ドメイン名ハイジャッキング等)などの理由で、ドメイン名が登録者の意図によらず削除されてしまった場合に、登録者を救済する目的で導入された **Redemption Grace Period; RGP**(削除済ドメイン名のための「請戻猶予期間」)や、一定期間内であれば登録を取り消すことができる **Add Grace Period; AGP**(登録猶予期間)、登録者が自由にレジストラ間でドメイン名を移転できるレジストラ変更のポリシーなどが例として挙げられる。

■ レジストリ

レジストリとは、ドメイン名の登録管理機関であり、主な役割は各 TLD における登録ドメイン名のデータベースを管理することである。

ドメイン名は世界中で一意であることが求められることから、そのデータベースは一元管理される必要があり、よってレジストリは自然独占の性質を持っている。したがって、レジストリは1つのトップレベルドメインにつき1つしか存在しない。

レジストリには、大きくわけて gTLD レジストリと ccTLD レジストリがあり、その大きな違いは ICANN との関わり方の違いである。gTLD レジストリは ICANN との契約が必須であり、レジストリとして業務を行うには ICANN の承認が必要であるが、ccTLD レジストリの多くは、ICANN 設立前に IANA から直接管理権限の委任を受けているなどの歴史的経緯から、ICANN とは直接契約関係には無いレジストリが大半である。

これは ICANN の資金的な問題にも影響を与えており (gTLD は ICANN に対してドメインあたり一定のフィーを支払うことが規定されている)、また ccTLD 管理責任の所在が曖昧であるということとも併せて、ICANN と ccTLD との間で契約を締結することを ICANN は積極的に進めている。

ただ、ccTLD 管理者の中には、ICANN との契約に否定的な考え方の者も多く、また ICANN が契約にあたって当該国の政府当局のエンドース（承認）を求めていることから、そのことによる政治的ハードルの高さとも相まって契約締結は遅々として進んでいないのが現状である。現時点においては、ICANN と ccTLD スポンサー契約と呼ばれる正式な契約を結んでいるのは、日本をはじめとした以下の 9 カ国だけである。

表 11 ICANN と正式に契約を締結した ccTLD の一覧 (2009 年 2 月現在)

締結日		ccTLD 名	
2000 年	12 月	.au	オーストラリア
2001 年	11 月	.jp	日本
2002 年	3 月	.sd	スーダン
	4 月	.tw	台湾
	6 月	.ke	ケニア
	10 月	.uz	ウズベキスタン
2003 年	6 月	.ky	ケイマン諸島
		.pw	パラオ
		.eu	ヨーロッパ連合

これに対して ICANN は、厳格な契約だけでなく、ICANN と ccTLD 管理者の間で覚書を

結ぶことによって一定の関係を構築できるようにやや方針転換を行った。これによって若干 ICANN と覚書を結ぶ ccTLD は増えたものの、それでも関係構築は十分には進まなかった。こちらも現在までで以下の 7 カ国に留まっている。

表 12 ICANN と覚書を交わした ccTLD の一覧 (2009 年 2 月現在)

締結日		ccTLD 名	
2002 年	5 月	.bi	ブルンジ
	6 月	.mw	マラウイ
	12 月	.la	ラオス
2003 年	1 月	.af	アフガニスタン
	12 月	.md	モルドバ
2004 年	6 月	.ng	ナイジェリア
		.ps	パレスチナ

そこで、ICANN はさらにアカウントビリティ・フレームワークと呼ばれる仕組みを導入し、ICANN と各 ccTLD の正式な関係構築を進めるための起爆剤としようとしている。幸い、この思惑は現在のところ期待通りの成果を挙げつつあるようで、2009 年 2 月の時点で、ICANN とアカウントビリティ・フレームワークを利用して関係を構築した ccTLD は 45TLD に上っている。一昨年の調査時点では 18TLD、昨年の調査時点では 37TLD だったことから考えると、順調に増加していると言える。

このアカウントビリティ・フレームワークには、ICANN と ccTLD 管理者双方の役割を規定し合意したものを文書にするという形式を取る「2 者間契約」と、ICANN と ccTLD 管理者それぞれが、自組織の役割について一方的に宣言する形式を取る「書簡の交換」の 2 つの枠組みが存在する。ICANN と ccTLD 管理者双方の責務について合意し明文化するという役割については変わらないものの、後者の書簡の交換の方がより簡素化された、言い換えればより合意までの敷居が低い枠組みであると言える。

なお、以下が 2009 年 2 月時点での、アカウントビリティ・フレームワークを利用して ICANN と関係を構築した ccTLD の一覧である。

表 13 アカウンタビリティ・フレームワークに基づき ICANN と関係を構築した ccTLD の一
覧 (2009 年 2 月現在)

種別	構築日		ccTLD 名			
2 者間契約	2006 年	6 月	.nf	ノーフォーク島		
			.cx	クリスマス島		
			.cl	チリ		
			7 月	.hn	ホンジュラス	
			8 月	.pe	ペルー	
			9 月	.gt	グアテマラ	
		.ni		ニカラグア		
			11 月	.kz	カザフスタン	
		.cz		チェコ		
			12 月	.pa	パナマ	
			2007 年	5 月	.mn	モンゴル
				6 月	.sv	エルサルバドル
		.pr			プエルトリコ	
		.fj			フィジー	
		.nl			オランダ	
		2008 年	1 月	.nu	ニウエ	
			3 月	.az	アゼルバイジャン	
			6 月	.cr	コスタリカ	
書簡の交換	2006 年	3 月	.de	ドイツ		
			.uk	イギリス		
			.lv	ラトビア		
		6 月	.na	ナミビア		
		7 月	.no	ノルウェー		
		8 月	.hu	ハンガリー		
			12 月	.fi	フィンランド	
		.be		ベルギー		
	2007 年	2 月	.ly	リビア		
		3 月	.ci	コートジボアール		
			.ru	ロシア		
		4 月	.am	アルメニア		
.sn			セネガル			

種別	構築日	ccTLD 名		
		5月	.br	ブラジル
		9月	.se	スウェーデン
		10月	.ck	クック諸島
			.fm	ミクロネシア
			.rs	セルビア
			.nz	ニュージーランド
			.sb	ソロモン諸島
		.it	イタリア	
	2008年	3月	.za	南アフリカ共和国
		5月	.is	アイスランド
		7月	.th	タイ
		9月	.pl	ポーランド
			.cc	ココス諸島
		11月	.eg	エジプト

■ レジストラ

レジストラとは、ICANN 設立後に導入された「レジストリ・レジストラ」モデルの導入によって新しくできた組織で、gTLD レジストリと登録者の間に立ち、登録者からドメイン名の登録申請を受け付け、その登録データをレジストリのデータベースに登録する組織である。

レジストラはレジストリと違い、1つのgTLDに複数存在し、また複数のgTLDを扱うことが出来る。レジストラは価格面やサービス面で自由に競争を行い、ドメイン名の登録がNSIの独占状態であった時とは違い、登録者はそれらの価格やサービスを見比べて自由にレジストラを選ぶことが可能である。

ただし、過度な競争や不正な手段により登録者が不利益を被ることが無いように、レジストラはICANNと契約を結ぶことが義務付けられており、権利と責務が明確に定められている。また、ICANNが定める共通ポリシーにも従うことが求められており、ICANN認定レジストラを利用する限りは、登録者はどのレジストラを使っているにしても共通のポリシーの適

用を受けることが出来る。

また、競争を促進する手段として、レジストラ移管というポリシーがある。これは登録者がよりレジストラを選びやすくして、レジストラ間の競争を高めるための仕組みで、登録者は移管先のレジストラに申請するだけで、移管元のレジストラの許可などは必要無しにレジストラを移管することが出来る。登録者から移管したいという意思を伝えられた移管元レジストラは移管を拒否することが出来ない。この仕組みによって、登録者は価格やサービス面に優れたレジストラにより容易に移管することができ、また移管元レジストラは登録者を不当な手段で引き留めることが出来ない仕組みになっている。

さらにレジストラの下にリセラというものも存在する。こちらは ICANN との契約関係は特になく、レジストラとのみ契約し、レジストラの下請けのような感じで登録受付を行っている。リセラはレジストラと違って、ICANN が定めるポリシーに従う必要はなく、またレジストラと違い、直接レジストリのデータベースにアクセスする権限も無い。ユーザから登録などの申請は受付けるものの、実際の処理は自分が傘下に入っているレジストラにデータベース変更などの処理は任せることになる。

2-2 インターネット資源管理体制全般に関する議論の動向

2-2-1 第3回IGFハイデラバード会合に至るまでの議論

国連事務総長によってマルチステークホルダー諮問委員会(Multi-stakeholder Advisory Group, MAG)が設立され、第3回IGFのための準備会合が2008年2月26日に開催され、引き続き諮問委員会が開催された。その後、公聴会が5月13日、9月16日に開催され、それぞれ引き続き諮問委員会が5月14日～15日、9月17日～18日に開催された。

■ 2月の準備会合

2月26日に開催された最初の準備会合では、第2回IGFリオデジャネイロ会合の反省点、次回に向けた提案をまとめた資料がIGF事務局によって用意され、これを元に議論が進められた。議長はニティン・デサイ氏およびハディル・ビアナ氏が共同で務めた。用意された資料のうち、第3回IGF会合に向けた議論がなされている部分を以下に要約する。

[チュニスアジェンダとの整合性]

チュニスアジェンダ、その中でもとりわけ以下の点を満たしていないのではないかと指摘があった。

- 全てのステークホルダーへの助言
- 勧告の作成
- 解決策探索の援助
- インターネットガバナンスプロセスにおけるWSISの原則の具体化についての促進および評価の継続的实施

同じ参加者より具体的な勧告の作成ができるようにするために、IGFの本体に正式にリンクしたワーキンググループの設立について提言があった。

[会議の進め方について]

提案者によれば意志決定を必要とするものではないが、IGFマルチステークホルダーコミュニティがポリシーについて議論し提案することのできるような会議の進め方を提唱している。

IGF が今までのテーマよりもより内容が限定されたワーキンググループを設立し、WGIG や IETF のような運営形式として新たなかつ複雑な問題を扱うようにしてはどうかという提案もあった。

[諮問委員会について]

諮問委員会（正式にはマルチステークホルダー諮問委員会、Multi-stakeholder Advisory Group/MAG）については、約 40 名の委員という現在の委員会については概ね妥当な大きさとの合意となったものの何名かの委員はより小さな規模を希望する意見を述べた。IGF への委任期間中ニティン・デサイー氏が議長を続投することについて提案があった。

■ 2008 年 2 月の諮問委員会

2 月 27 日から 2 月 28 日にはマルチステークホルダー諮問委員会(MAG)が開催された。議論の焦点は、委員のローテーション、手続きの透明性、およびハイデラバード会合への準備であった。

■ 2008 年 5 月の公聴会・諮問委員会

5 月 13 日には諮問委員会のための公聴会が実施され、様々な意見が述べられた。その結果を受け 5 月 14 日～15 日には諮問委員会が開催された。議論された内容は次の通り。

- 全体テーマ
- アジェンダ案
- アジェンダ毎のセッション案

その他、類似ワークショップの統合などについても議論された。

■ 2008 年 9 月の公聴会・諮問委員会

9 月 16 日には公聴会が実施され、その結果を受け 9 月 17～18 日には諮問委員会が開催された。メインセッションは 2 種類とし、午前中のはパネルディスカッション、午後のは自由対話(Open Dialogue)と命名することとなった。

パネルディスカッションはチェアおよび 4 名のパネリストからなり、開かれた対話(**Open Dialogue**)セッションは参加者が最大限に対話できるよう、パネリストは設けないこととなった。動的な連携(**Dynamic Coalition**)に関しては、前年の活動が特筆すべき内容であることを報告してきたところのみ枠を設定することとなった。

2-2-2 第3回IGFハイデラバード会合での議論

■ 全般

- 開催時期： 2008年12月3日～6日
- 場所： インド・ハイデラバード
- 参加者： 94ヶ国より1280人（うち133人がメディア関係者）

会期直前の11月26日にムンバイで発生した同時多発テロの影響で、参加を取りやめた人も現れた。登壇者にも参加をキャンセルした人が相次いだため、事務局は直前の調整に追われていたようであった。テロの直後ということで、参加者が被害者およびインド政府に対して弔慰の意を表明した。具体的にはオープニングセレモニーの冒頭で犠牲者に黙祷を捧げ、各スピーチでも追悼の意が数多く表明された。

今回のIGFは3回目となり、チュニスアジェンダで設定された5年という期間の折り返し点となっているため、試行錯誤の中後半における着地点が意識され始めているようである。IGFと同様の試みを地域および国単位で行ったのがラテンアメリカ地域、東アフリカ地域および英国であり、その流れで英国の国会議員がIGFに複数名参加し積極的に意見を述べていた。

次回（第4回）のIGFは、2009年11月15日より18日までエジプトのシャルム・エル・シェイクにて開催される予定であり、そのための準備会合が2009年2月23日から24日まで開かれることが決定している。なお2010年のIGFはリトアニアのビリニュスで開催されることが決定した。

■ テーマ

今回は「万人のためのインターネット(Internet for All)」が全体のテーマとなり、前回までと多少異なり次の3大テーマと各2つのサブテーマとして議論が行われた。第2回リオデジャネイロ会合に引き続き重要なインターネット上の資源(Critical Internet Resources)が議論のテーマの1つとなった。

1. 次の数十億人への到達(Reaching the Next Billion)

- 多言語インターネットの実現(Realizing a Multilingual Internet)
- アクセス: 次の数十億人への到達

2. サイバーセキュリティの推進および信頼向上への取り組み
 - サイバーセキュリティおよびサイバー犯罪の情勢
 - セキュリティ、プライバシー、開放性の促進
3. 重要なインターネット上の資源(Critical Internet Resources)の管理
 - IPv4 から IPv6 への移行
 - グローバル、地域別、国別の準備状況
4. 新たな課題：明日のインターネット～インターネットのイノベーションと進化 (Emerging Issues - the Internet of Tomorrow)
5. 実績評価と今後(Taking Stock and the Way Forward)

■ オープニングセレモニーおよびオープニングセッション

冒頭で国連経済社会局事務次長補のサンダラム氏により、ムンバイテロ犠牲者の家族へのお悔やみメッセージが発せられ、犠牲者に黙祷を捧げた。その後各組織を代表して挨拶が続いた。

オープニングセッションでは、IGF に関連するすべてのステークホルダーグループをそれぞれ代表して 9 名の話者によりスピーチが行われた。どのスピーチもメインテーマである「万人のためのインターネット(Internet for All)」に関連づけられており、インターネットがもたらす潜在的に大きな経済的および社会的なメリットについて言及があった。同時に、有害な目的でのインターネット利用の際にもたらされる問題から人々を守る必要性について、および IGF がすべてのステークホルダー相互間での対話およびアイディアの交換という機会を与えることについても指摘があった。

■ メインセッション

最初の 3 日間は次のメインテーマについて議論するメインセッションとなり、それぞれ午前中に背景共有のためのパネルディスカッション、午後はそれを元に会場の意見を取り入れる、開かれた対話(Open Dialogue)という形式で進められた。以下、各テーマについて述べる。メインセッションおよびサブセッションの様子は次ページ以降で報告する。メインセッションについては、IGF最終日の議長総括¹³を要約し報告する。また、サブセッションについては特に正式な報告書が出ていないため、概要を報告する。

¹³ <http://www.intgovforum.org/cms/hydera/Chairman%27s%20Summary.10.12.2.pdf>

● 次の数十億人への到達(Reaching the Next Billion)

[セッション名] 多言語インターネットの実現(Realizing a Multilingual Internet)

[開催日時] 2008年12月3日(水) 9:30~11:00

[概要]

パネルディスカッションでは、モデレータと6名のパネリストにより、多言語化に関連する課題について、およびインターネットでの多様性の推進について議論された。

バラクリシュナン議長より、まずインドでの状況について説明があった。現在インドにおけるインターネット利用者は約4000万人ほどで、今後増加が期待されるインターネットユーザー十億人の中に2億5千万人ほどが含まれることになるという見通しを示した。現在のインターネット利用者の9割以上は英語を利用しているものの、初中等教育はインド固有の言語で行われている矛盾した状況があり、さらに主要言語だけでも16から17もあるなど、状況が複雑であることを伺わせた。

その後の議論を通じて、午後の「開かれた対話」向けに次の5つの課題が特定された。

- コンテンツをローカルな言語で持つことの重要性
- ローカライゼーションおよびツールの可用性の重要性
- 多言語ドメイン名についての取り組み：技術面およびポリシー面
- オンラインでのコミュニケーションが重要になってきていること、およびモバイルメディアにおける多言語化への配慮が求められること
- これらの課題を明らかにするに当たって共通のフレームワークや「言語」がないため、IGFが議論を次に進めるに当たって考慮が必要なこと

[セッション名] アクセス：次の数十億人への到達

[開催日時] 2008年12月3日(水) 11:00~12:30

[概要]

議長がまず指摘したことは、次の数十億人に対してどのようにインターネットへのアクセスを増やすかだけでなく、次の数十億人すべては未だにインターネットへのアクセスの外側にあるということであった。インターネットはビジネスについてだけではなく、人々への励ましまたは能力を与えること（エンパワーメント）でもあるということである。

2番目に、アクセスはいくつもの要素、例えば接続性、入手容易性などがあるが、入手が容易なことというのはコストが低いことのみを指すものではない。これは携帯電話のような

既存のデバイスを使うこと、さらに重要なことはアクセスを供給するための新しい方法を、コミュニティ経由で、もしくはアクセスが効果的に別の人によって支払われるような新しいビジネスモデルを通じて編み出すことが含まれる。

本セッションは 3 つの主な領域（供給、需要、開発）において、アクセスについての課題を明らかにし、かつ多くの分野でコンセンサスに至ることができた。それとともに鍵となるメッセージはアクセスを生態系（エコシステム）の文脈で見ることと、様々な面を見ることなくアクセスギャップに取り組むことはできないということである。このような生態系の一面は政策と規制であって、これらは政府、民間、およびその他の仕組みからなる複数のソースによる投資に伴う市場構造を誘発するものである必要がある。

2 番目に鍵となるのはリーダーシップであり、投資及び受容能力の開発のための政策と規制の側面と連動している。持続可能性を実現するには制度化プロセスが必要であり、一度限りの政策の改善では長続きする解決策にならず、規制機関は継続的にもたらされる変化に適応できなければならない。また、次の数十億人に到達するには、莫大な投資が必要であり、そのため公共政策により投資を奨励することも必要と指摘された。

3 番目に鍵となるメッセージは、異なったステークホルダー（国家、民間セクター、市民社会、および技術専門家）の役割についての合意である。どのようにこれらのステークホルダーが協調して取り組み、また補完性を確保するのかが問われる。今回（第 3 回）の IGF およびその中で開催されたセッションがこの側面を明確にする解決策の一部だったといえる。

エンパワーメントの観点より、インターネットに入ってくる多数の新規ユーザーに手を差し伸べるための移動体通信の重要性について強調されていた。

〔セッション名〕 開かれた対話セッション

〔開催日時〕 2008 年 12 月 3 日(水) 15:30~18:00

〔概要〕

本セッションのモデレータは日本より日本放送協会(NHK)の藤澤秀敏氏が務め、もう 2 名が共同モデレータを務めた。このセッションは午前中に行われた 2 つのセッション（多言語インターネットの認識、アクセス：次の数十億人への到達）と関連しており、参加者が議論を深める機会を提供した。

次の十億人をインターネットに接続するというテーマを検討する際には、途方もない累積

需要が存在するということが、最後の十億人にとって重大な障壁となり得るということがこの対話において鍵となるメッセージであった。

多くの国では、市場参入という観点での既存の障壁が手の届く価格でのアクセスを供給できない主な理由となっており、その障壁とは政策課題であって解決することが可能でありかつ必要である。しかしながら、市場の自由化は明確な解決策であるとはいえ、その過程における手順は重要である。インフラ業界では完全な競争を実現するのは難しいため、市場の自由化は市場開放の問題より重要である。そのため確実性と安定性を供給する規制の枠組み、および投資へのインセンティブが必要とされる。これらの公共政策の枠組みには市場構造、競争、および規制についての取り組みが必要で、かつ市場が失敗したときの問題点について、およびアクセスの公平性ならびにユニバーサルサービスについての質問に対処する必要がある。

アクセスの増大における有望な経験について議論が行われた。この中には途上国において、移動体通信サービスがインターネットへのアクセスにおける第一義的なプラットフォームとなる見通しが含まれる。接続の連鎖全体、つまり国際接続、インターネット相互接続点（IX もしくは IXP）を通じた地域でのトラフィック交換の最大化、インターネットと VoIP (Voice over Internet Protocol) のビジネスでの利用価値、などを通じての競争が重要であるという寄稿があった。

規制形態については、極力柔軟かつ適応可能なものにすべきということがブロードバンドの普及の成功例としてデンマークの例が挙げられた。

多言語化については、アクセスおよびコンテンツ制作を考慮する必要がある、次の十億人は単なる情報の受け手ではなくコンテンツの作り手かつイノベーションの元となるべきという指摘があった。

● サイバーセキュリティの推進および信頼向上への取り組み(Promoting Cyber-Security and Trust)

2 日目はセキュリティ関連の上記テーマに焦点を絞った一日となった。午前中は次の 2 点のサブテーマについてパネルディスカッションを行い、午後は開かれた対話セッションとなった。

[セッション名] サイバーセキュリティおよびサイバー犯罪の動向

[開催日時] 2008 年 12 月 4 日(木)

9:30~11:00

[概要]

本セッションではインド政府より情報技術特命相の Chandershekhhar 氏が議長を務め、モデレータはフランス外務省情報技術特使の Chapelle 氏が務めた。議論はまず、政府、商取引、経済全般、市民社会、そして研究者にとってインターネットがどれだけ成長し、どれだけ重要になったかについての注意喚起より始まった。次にインターネットへの依存がもたらす問題点に議論が進んだ。インターネットはセキュアなものとしてではなく、オープンなものとして構築された。オープンであること自体は元来よいものではあるが、攻撃に対して脆弱となってしまっている。最悪の場合データが失われたり、改ざんされてしまう可能性がある。これらのうちいくつかは偶発的なものであるが、中には犯罪行為もある。攻撃者の方が問題を解決する人よりも技術的に上回っている場合がしばしばで、とりわけ発展途上国ではそれが当てはまることが多い。

たいていの実社会の犯罪が、オンラインへ移ってきていることは特筆すべきであるが、それに加えてインターネット特有の犯罪、たとえばハッキングやフィッシングが現れている。また、各国の重要な情報インフラへの攻撃、たとえば分散サービス拒否攻撃(DDoS)などが発生している。この文脈では例として下水道システムや航空管制システムへの攻撃が挙げられる。一般的にどんな社会でも犯罪および犯罪行為は法執行機関によって扱われるが、インターネット上での国境のない性質は取締りを難しくしている。実社会では犯行が行われた現場まで犯人を追跡することが可能だが、オンラインの世界ではもはや当てはまらない。法執行機関は管轄および地理的境界の問題に直面している。加えて、立法は一般的に言って速いペースで変化する技術環境に適応するのは遅い。

議論はインターネット上の脅威の出現についての認識について行われ、違法な目的でのインターネットの利用が、サイバー犯罪を扱うにあたって新しい解決策を必要とする。

さまざまなレベルのステークホルダーが存在し、本セッションで今まで述べてきた問題を解決するにはこれらステークホルダーすべての協力が必要である。発表者のうち幾人かは、すべてのユーザーはインターネットの一部をなすため、知らずにこの問題の一部となっていることもある。そのため、すべてのユーザーが解決策の一部となることが重要である。

基本的な認識として、マルチステークホルダーでの協力、協調、および調整がすべてのレベル、つまり国単位、地域単位、そして国際的に必要である。国際電気通信連合(International Telecommunication Union, ITU)の代表は、ITU のグローバルなサイバーセキュリティについての検討課題を紹介した。すべてのステークホルダーを代表する 100 名からなる高レベル専門家グループが設置され、次の 5 つの柱に沿って検討が行われた。

- 法的手段
- 技術的および手続き的手段
- 組織構造
- 収容能力構築
- 国際協力

問題はグローバルではあるが、対策はローカルレベルでなされる必要があるため、ITU はトップダウンとボトムアップとの混合アプローチにより取り組んだということである。パネルディスカッションで議論された内容は、以下に要約される。

- 予防の必要性。改善だけでなく、攻撃を難しくするための先を見越した対策
- より弾力的なアーキテクチャーの必要性
- 予防、インシデントの分析、改善を結んだフィードバックループの確立
- 予防および改善に関わる関係者間の調整

サイバー犯罪と戦うための努力を増大させる必要について全般的な合意が得られた。最後に懸念される点として、この分野における IGF の役割、およびさまざまな組織をどのように支援するかが挙げられた。

[セッション名] セキュリティ、プライバシー、開放性の促進

[開催日時] 2008 年 12 月 4 日(木) 11:00~12:30

[概要]

議長はインドデータセキュリティ協議会会長の Ghosh 氏、モデレータは米国国務省国際情報通信政策コーディネーターの Gross 氏が務めた。

本セッションははじめに国家安全保障とプライバシーおよび情報へアクセスする権利のためのセキュリティとの対立についての言及から始まった。そして利用者のセキュリティとプライバシーのレベルがどのくらい増大したか、インターネットの利用によって秘密と信頼がどのくらい引き起こされたか、そして意見の自由な表明が引き起こされたかという点について言及があった。

議長はインターネットがどのくらいグローバルかということに対し、プライバシーはローカル、地方の、または国家的なものとなりうることについて述べた。インターネットが生活の一部となりつつあるため、解決が必要な社会的な問題が浮上してきた。インドの事情という面では、利用者が毎年 900 万人ずつ追加されているということについて説明があっ

た。

本セッションは下記のいくつかの重要な宣言および文書を元に行っている。

- 世界人権宣言(Universal Declaration of Human Rights, UDHR)
- チュニスアジェンダは情報の自由な流通について明言している (第 4 及び 42 段落)。
- OECD においても、情報の自由な流通について多数の声明を出している。
- 世界電気通信標準化総会(World Telecommunication Standardization Assembly)にて国際電気通信連合(International Telecommunications Union, ITU)が決議 69 の中で情報の自由な流通について声明を発しており、加盟国が公共のインターネットサイトへのアクセスに対して他の加盟国を妨害するような一方的もしくは差別的な行為を慎むよう求めている。
- 数多くの非政府機関(NGO)および企業を集め、表現の自由および利用者のプライバシーを守るために課題に取り組む Global Network Initiative
- 国連子供の権利条約
- 欧州評議会サイバー犯罪条約

表現の自由、プライバシー及びセキュリティについては、女性の人権という次元にてあるパネリストが説明を行った。2008 年 5 月にソウルで開催された OECD 閣僚級会議との関連について、情報の流れ、イノベーション、および経済成長の観点から、インターネット関連技術を使うことによるリスクについても認識しながら、触れたパネリストもいた。インターネットでの児童保護の観点では、次の 5 点に分類されるリスクが指摘された。

- 内容
- 連絡
- 依存
- 業界
- プライバシー

個人の生活圏の保護だけではなく自由そのものであるという、データ保護についての重要性の認識について指摘があった。内部および国際的なセキュリティへの要求、および市場の関心はプライバシーと自由についての安全の保護手段を侵害してしまう可能性がある。1 つの目的のために集められたデータが、しばしば他の目的のための利用が可能となることがあり、またデータを受け取る意図のない公共組織もしくは私企業が利用できるようになってしまっていることもある。

次に表現の自由について、そして利用者の信用の欠如へと議論が進み、後者は電子商取引などにおいて、利用者がサイバー世界での脅威、例えばウィルス、トロイの木馬、身元詐称などについて心配していることが浮き彫りとなったのに対し、組織はデータの盗難について心配していることが明らかになった。さらに、モデレータが指摘したのはインターネットでの匿名性の役割とそのプライバシーとの関連で、特に医療情報などの分野ではとりわけ重要となると思われる。

最後に議長より緊張または対立のある分野から収束(convergence)の分野へ転換する挑戦について言及があり、セキュリティとプライバシーは適切な展望の中で対処が可能と述べて締めくくった。

[セッション名] 開かれた対話

[開催日時] 2008年12月4日(木) 15:00~18:00

[概要]

2名の議長および2名のモデレータによって進められた。

議論はセキュリティ、プライバシー、そして開放性の間で多次元のバランスを取る道について始まった。

議論での主なテーマは異なった種類の権利間で発生する対立であった。多くの国や組織が、社会をテロリズムもしくは児童(チャイルド)ポルノから防ぐ必要性和釣り合いを取りながら世界人権宣言での約束を守ることの難しさを感じている。セキュリティとプライバシーの対立についてではなく、互いに強めあうことが可能な方法について議論すべきという意見の発言が複数あった。セキュリティとプライバシーの対立については、権利と義務の対立に再概念化すべきという議論があった。この議論はまた教育、およびメディアに対する視聴覚能力について焦点を当てた。

課題は法執行機関だけでなく、国会議員、市民社会、政府間組織、民間セクター、および技術コミュニティへの挑戦として表される。サイバーセキュリティについての異なる定義について議論があり、特に情報へのアクセスに関連する場合を扱う際には、法執行機関が常に最良の選択肢というわけではないのではないかという意見も述べられた。

児童ポルノに関する質問も出されたが、このトピックがIGFにふさわしいものかどうかということについて疑問が呈された。

なお、解決策についての決定がIGFでできるのかについて懐疑的な意見が出されたのに対し

し、IGF での議論がよりよい理解をもたらすことができるという感触が得られたようである。

最後に、これは法執行に基づくものだけではなく教育の質による長期的な解決策の必要性が指摘されて議論が締めくくられた。

● 重要なインターネット上の資源(Critical Internet Resources)の管理

3 日目は重要なインターネット上の資源(Critical Internet Resources)の管理に焦点が当てられ、パネルディスカッションが2つとその後このテーマ全般に対して対話セッションが行われた。

[セッション名] IPv4 から IPv6 への移行

[開催日時] 2008 年 12 月 5 日(金) 9:30～11:00

[概要]

全 6 名のパネリストの 1 名として、日本から総務省データ通信課の柳島智企画官が参加した。

まずさまざまな話者により現在の地域インターネットレジストリ (Regional Internet Registry, RIR)による現在の IP アドレス分配プロセスについて説明があった。さらに IPv4 アドレスの在庫が 2011 年頃枯渇するという予測が示された。IPv6 の普及は継続的なプロセスであるものの、現在の技術的なプロセスへの影響はいくらか発生する可能性があることが示された。

IPv4 および IPv6 との移行・共存については、普及という観点では IPv6 に対応した製品が市場に出てきているものの、オペレーターの理解が遅れているということが指摘された。その理由は数多くの挑戦に直面しているためであり、例えばネットワークオペレーターが IPv6 に移行するための明確な経済的要因がなく、移行に伴う収益はないことがネックになっている。

マルチステークホルダーによる寄与事例として、日本での IPv4 アドレス枯渇対応タスクフォースの取り組みについて、IPv4 と IPv6 の共存のためのスムーズな移行と標準化メカニズムのためのモデルとして紹介された。併せて総務省の研究会(インターネットの円滑な IPv6 移行に関する調査研究会)の紹介もなされた。

単に IPv6 の優位性を訴える発表も多い中で、欧州連合(EU)は、具体的で包括的な取り組みを行っているようである。例として、まず ICT メディア総局が具体的な行動計画として、2010 年までに 25%のインターネットユーザーが IPv6 アドレスを持ち、すべての一般的なコンテンツが IPv4 と同品質で IPv6 によりアクセス可能とすることを挙げている。次に、インドとの共同プロジェクト 6choice では「認知度向上、教育、普及計画策定」に重点を置いている。

この急を要する状況では、RIR の役割も変化するのではないかという指摘があった。具体的には IPv4 アドレスの不足のため、RIR に対して今までとは違った要求がなされる可能性があるのではないかということである。例えば IP アドレス空間の移転についての方法論、使われていないアドレス空間を管理下に置く、などのポリシー策定の促進、およびアドレスの流通市場の出現への対処、リソース PKI のガバナンスなどである。

[セッション名] グローバル、地域別、国別のインターネットガバナンス準備状況

[開催日時] 2008 年 12 月 5 日(金) 11:00~12:30

[概要]

議論は最初に「重要なインターネット上の資源(Critical Internet Resources)」の定義の確認から始まり、ドメインネームシステム(DNS)とインターネットプロトコル(IP)アドレスの管理と捉えることをモデレータが推奨したのに対し、2005 年にインターネットガバナンスワーキンググループ(WGIG)で拡張された定義、すなわちルートサーバシステムの管理、技術標準、ピアリング、相互接続、電気通信基盤（これにはイノベティブで複数の分野が融合した技術、そして多言語化が含まれる）と取る参加者も存在した。

国連経済社会局の代表によれば、「更なるコミュニケーション」に関連した進捗が見られたとのことである。具体的には、国連経済社会局事務次長の沙祖康(Sha Zukang)氏がチュニスアジェンダに従っているかの年次報告を提供するよう次の組織に文書で求めた。

- 国際電気通信連合 (International Telecommunication Union, ITU)
- 国際連合教育科学文化機関(United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization, UNESCO)
- 世界知的所有権機関(World Intellectual Property Organization, WIPO)
- 経済協力開発機構 (Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)
- 欧州評議会(Council of Europe)
- ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)

- Internet Society (ISOC)
- Number Resource Organization (NRO)
- World Wide Web Consortium (W3C)

得られた情報からは次の 4 点の主な分野への関心が明らかになった。

- 関与している組織の大半にとっては「更なるコミュニケーション」の意味がマルチステークホルダー対話に構築および寄与するものとなっている
- これらの協力の目的は情報および経験の共有、合意形成、資金調達から技術知識の移転および資格トレーニングまで多岐にわたる。
- 上記組織によってカバーされるこれらの処理での主題の焦点は、IGF で議論されるものと非常に調和している。
- それらの組織間では協調的な準備がすでに行われており、他のパートナーおよびこれらの 9 組織とでさらなる進展があった。

国連経済社会局は 2009 年 5 月に開催される国連貿易開発会議 (UNCTAD) の Commission on Science & Technology for Development (CSTD) の次回会合に提出する予定の、WSIS の追跡調査となる事務総長の報告書中に要約を含める予定である。

ある講演者はチュニスアジェンダの第 69 段落の語句である、「各政府が同等の立場で」を強調し、これは「更なるコミュニケーション」が政府の寄与するプロセスであるということの意味する、という見方を支持した上で「ステークホルダーをそれぞれの役割の範囲において」関与させるということに言及し、ステークホルダー各自の役割における寄与について言及したチュニスアジェンダの第 71 段落への反応をもたらした。

「更なるコミュニケーション」が行われるのにふさわしい組織についてはパネリストの間でも意見が分かれ、ある参加者は ICANN がふさわしいと考え、他の参加者は OECD と ITU を例に挙げた上でふさわしいと強調した。

ブラジル政府代表の発言では、「更なるコミュニケーション」が入れられた理由は ICANN が一国の政府によって監督されているためであり、ICANN への開発途上国の関与は不十分とし、現行の ICANN 政府諮問委員会(GAC)については「更なるコミュニケーション」をもたらすものではなかったとして、評価が必要とコメントした。また、ICANN は Internet Engineering Task Force (IETF)、W3C、NRO などのように、政府の関与が全くない組織になるか、または ITU や UNESCO などのように政府間組織構造を持つものとなるべきという意見を述べた。

これに対し、米国政府代表は、インターネットの利用において政府、民間企業、市民社会が新たな形の「更なるコミュニケーション」を前例のないレベルで開始したと述べた上で IGF はその特筆すべき例だと述べたにとどまり、直接の反論はなかった。

議長がセッションを締めくくるに当たって、インターネットが偉大な財産であること、そして貧困の解消、教育、健康その他にとってすることに役立つ可能性があるため我々の全てがこの財産を上手に管理する集合的な責任があることについて述べた。

[セッション名] 開かれた対話セッション

[開催日時] 2008年12月5日(金) 15:00~18:00

[概要]

午前中の2つのパネルディスカッションにて提起された論点に焦点が当てられた。

議論された内容の1つは、IPv4 アドレス在庫枯渇に間に合うようにするのであれば責任の共有が必要とされる、IPv4 から IPv6 への移行期間についてであった。また、関連するリスクについて広範囲な議論が行われ、主なリスクは技術的なものではなく IPv6 普及が前に進まないことによるものだという意見があった。教育および啓蒙についても議論され、政府が助言および情報提供すること、また政府が先陣を切って IPv6 を自組織ネットワークで利用することの必要性について発言があった。

次に、利用されていない IPv4 アドレスの扱いについて議論があった。合法的な市場の創設が必要で、それにより闇取引や灰色取引のみに限定されなくなるという意見がある一方、これらのアドレスが利用可能になったとしても、対象アドレスの移行プロセスを開始する必要性があることについて指摘があった。

2番目のセクションでは、「更なるコミュニケーション」、重要なインターネットの資源、および IGF 自身の役割及び価値について様々な観点を交換しあう場となった。IGF および他のプロセスについてのフラストレーションの表現がいくつかあり、付随して ICANN への言及が頻繁にあった。IGF 自身が「更なるコミュニケーション」の例であるとする発言者があり、IGF は従来の境界を越えて様々なステークホルダーの視点を引き合わせるものであるという意見がある一方で、IGF は開発目的を達成するためのものという意見もあった。

ICANN の進化についての議論の際に、ICANN への関与および政府諮問委員会 (Government Advisory Committee, GAC) についての失望感を表明した参加者があった一

方、プロセスはオープンであり万人に参加及び貢献の機会が与えられていると述べた参加者もあった。多くの話者が、米国政府は先駆者かつ重要なインターネット資源を監視する役割、および共同プロジェクト合意書（JPA : Joint Project Agreement）を通じた ICANN との関係から降りるべきとの要望を表明し、JPA は継続すべきでない提案した。それに対して、JPA の代わりに説明責任の手法が必要であるという意見が出され、IGF がその構想を前に進めるための場になり得るとの提案もあった。

〔セッション名〕 新たな課題：「明日のインターネット：インターネットのイノベーションと進化」

〔開催日時〕 2008年12月6日(土) 10:00～12:30

〔概要〕

本セッションでは今まで IGF では議論されてこなかった主題を扱うことを目標として取り入れられ、エジプトで開催される次回 IGF への提案および議題についてモデレータより依頼があった。これらのトピックは次の5つのテーマに適合することが求められた。

- 社会的ネットワークおよび利用者生成コンテンツの人気の高まり
- 起業家的な観点からの、創造性およびイノベーションにおける政策の枠組みの影響
- 「万人のためのインターネット」を確実にするための、政策の努力目標およびフレームワーク
- インターネットのグローバルな性質による司法権および立法権への影響
- 環境面で持続的なインターネットを提供するための政策課題

デジタルコンテンツは大きな論点となりうるが、何が課題なのかというモデレータの問いかけがあり、インターネットにおける規制の効果についても問題提起があった。

最後の十億人の状況はどうなっているのかということが見通しの1つとして挙げられ、全世界的な不況、および不況が次の十億人またはそれ以上に手を差し伸べる際に与える影響についての懸念が示された。

幾人かの話者が提起した主題は、リオデジャネイロ会合（第2回 IGF）にて提起された持続性であり、地球温暖化の研究において研究者がデータの共有を容易にできたことから、インターネットが重要な役割を担ったことが指摘された。

次の数十億人および最後の十億人の課題は、最初の十億人に対するものとは非常に異なるものとなり、社会の主流から取り残されより貧しい社会の区分となることが想定されるため技術的でない課題が鍵となるものと思われる。

議長より、フォーラムが情報通信技術を活用して何万人もの人々に同時に教えるための新たな教育モデルを考慮することについて言及があった。我々がこれらの課題に取り組むに当たってどのように技術を活用すればよいのかの理解が欠けているという意見や、帯域や技術が問題なのではなくどのように運営すればよいのかである、といった意見があった。欧州協議会作成のビデオ上映があり、多国間条約を結ぶことにより国家間の連帯および協調を商取引の域を越えて人権問題関連を含む国際法を尊重しつつ推進できるとしているが、パネリストの1人がIGFは新たな条約を作り出すよりも既存の合意や条約の強化を目指すべきであると強く主張した。

■ その他セッション

メインセッションと並行して87のセッションが開催された。内訳およびそれぞれのセッション数は次の通りである。

- ワークショップ（個別のテーマ毎に実施）：61
- ベストプラクティスフォーラム（成功事例の検証）：9
- 動的な連携(Dynamic Coalition)：10
- オープンフォーラム：7

ワークショップでは背景情報の説明に終始したものもあったようである。動的な連携においては、インターネットと気候変動に関するもの、および障害とアクセシビリティについてのものとの2つが開催された。前者は今回初めての試みで、日本より総務省の参加者による発表があった。本稿では以下セッションについて概要を記載する。

[セッション名] The Future of ICANN: After the JPA, What?

[開催日時] 2008年12月4日(木) 11:00~12:30

[概要]

ICANNと米国政府の間で締結されており2009年9月に失効する、Joint Project Agreement (JPA)について、ICANNが米国政府の監督から自由にするかどうか、および米国政府による監督が終了した場合で外部からの監督が必要となった場合、どんな種類の監督が必要なのかについての議論が行われた。

試みとして挙手によるJPA更新の賛否表明を行ったところ、更新に反対する参加者が多数を占めた。

2-2-3 共同プロジェクト合意書（JPA）の今後の見通し

2-2 で既述した通り、「共同プロジェクト合意書（JPA : Joint Project Agreement）」の中間評価として米国商務省の NTIA（National Telecommunications and Information Administration）が ICANN のパフォーマンスについて 10 項目からなるパブリックコメントを求めている。パブリックコメントは、DNS 管理の民間部門への完全委譲という最終的な JPA の目標に向け、ICANN が 2006 年 10 月 1 日以降いかなる進歩を遂げたかを問うものである。パブリックコメント要請は 2007 年 10 月 30 日付で公開され、2008 年 2 月 15 日がコメント提出の締め切りとされている。NTIA のウェブサイトには提出されたコメントが掲載されており、確認すると 172 通のコメントが寄せられたようである。以下に NTIA によるコメント要請項目を掲載するとともに、主なコメントを紹介する。

■ NTIAからのコメント要請項目¹⁴

1. JPA では、ICANN はインターネットのセキュリティと安定性について「世界で一意性を持つインターネット上の識別子の全体的な調整を行う。特に、インターネット上の識別子システムの安定した安全な運用について調整する」ことを実行するとしているが、2006 年 10 月 1 日以降、ICANN はこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野で ICANN がもっと取り組めたであろう事項は何か。
2. JPA では、ICANN は透明性に関して「ICANN 運営の予算立て、およびインターネット DNS の技術的調整に関するポリシーの検討および採用における透明性、アクセス可能性、効率性、適時性の向上のため、ICANN はプロセスおよび手続の策定、試行、向上を引き続き行う。ICANN は民間部門において管理に関わる組織の透明性の分野で先駆者たる役割を担うことを望む」としているが、2006 年 10 月 1 日以降、ICANN はこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野で ICANN がもっと取り組めたであろう事項は何か。
3. JPA では、ICANN は説明責任（accountability）に関して「インターネット DNS の技術的調整に関するポリシーの検討および採用において、インターネットの世界的な利害関係者に対する責任を果たすべく、説明責任のメカニズムの策定、試行、向上を引き続き行う。これには、ICANN のボトムアップ参加型のポリシー策

¹⁴ http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/frnotices/2007/ICANN_JPA_110207.html

定プロセスへのさらなる参加に向けた公開制およびアクセス可能性の向上を含む」としているが、2006年10月1日以降、ICANNはこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野でICANNがもっと取り組めたであろう事項は何か。

4. JPAでは、ICANNはルートサーバのセキュリティおよび関係構築に関し「ICANNはルートネームサーバの運用者並びに適切な専門家と、ルートゾーンの安全かつ安定した調整、危機管理計画の策定、ルートゾーン変更の明確なプロセス維持に関し、物理層、ネットワーク層の運用およびセキュリティ上の調整を続ける。ICANNはまた、ルートサーバの運用者と正式関係を構築するよう取り組む」としているが、2006年10月1日以降、ICANNはこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野でICANNがもっと取り組めたであろう事項は何か。
5. JPAでは、ICANNはTLDの管理に関して「ICANNは新TLDの実装やIDNの導入などTLD管理の意思決定を行う際には、競争環境、消費者の利益、インターネットDNSの安定、セキュリティ上の問題を特定し、検討することを保証するプロセスを維持、構築する。ICANNは現在のポリシー策定プロセスを発展させ、ICANNの諮問委員会や支持組織、他の関係専門家による諮問パネル、組織から勧告を考慮に入れるプロセスを策定する。ICANNはWHOISに関する既存のポリシーの執行を進め、そのポリシーが求めている、登録者、技術担当者、経理担当者、管理責任者を含む正確で完全なWHOIS情報に適時、非制限、公開でアクセスできるような手段をICANNが実装するようにする。ICANNはまた、国コードトップレベルドメイン(ccTLD)運用者との間で安定した合意書を取り交わせるよう今後も努める。」としているが、2006年10月1日以降、ICANNはこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野でICANNがもっと取り組めたであろう事項は何か。
6. JPAでは、ICANNはマルチステークホルダーモデルについて「ICANNは、マルチステークホルダーモデル、全ての利害関係者の世界的な参加の維持および向上を行う。これには、既存の諮問委員会や支持組織の見直しも含まれる。また、ボトムアップのポリシー策定プロセスの有効性向上にも引き続き取り組む。ICANNは、ICANNのポリシーに影響を受ける人々の参加を促す追加的メカニズムを策定し、民間部門の関与を向上させるよう努める」としているが、2006年10月1日以降、ICANNはこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのか

を説明すること。また、この分野で ICANN がもっと取り組めたであろう事項は何か。

7. JPA では、ICANN は政府の役割について「ICANN は、インターネットの技術的な調整の公共政策的観点に立った政府諮問委員会（GAC）の助言を効果的に検討する助けとして、GAC のメンバーと協力し、GAC の ICANN 内での役割について再検討を行う。」としているが、2006 年 10 月 1 日以降、ICANN はこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野で ICANN がもっと取り組めたであろう事項は何か。
8. JPA では、ICANN は IP アドレス分配について「ICANN は地域インターネットレジストリ（RIR）での技術的取り組みの継続を許容しつつ、RIR のポリシー策定作業を ICANN プロセスに組み入れるため、世界的、地域的レベルでの協調を今後続ける。ICANN はこの取り組みを反映させた RIR（もしくは他の適切な組織）との法的合意書を維持する。」としているが、2006 年 10 月 1 日以降、ICANN はこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野で ICANN がもっと取り組めたであろう事項は何か。
9. JPA では、ICANN は法人の責任について「ICANN は良好な企業統治、安定した国際的民間組織を保つための組織的手段を含めた運営の優秀さ、効率性を維持し、関連する技術上またはビジネス上の経験を理事、執行陣、スタッフの間で維持する。ICANN は適切なメカニズムを実装し、インターネットの世界的な利害関係者がより ICANN に参加しやすくなるようにする。例えば、教育のためのサービス提供や、部会構成員間での情報共有、産業毎でのベストプラクティスの奨励などである。」としているが、2006 年 10 月 1 日以降、ICANN はこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野で ICANN がもっと取り組めたであろう事項は何か。
10. JPA では、ICANN は法人の管理構造について「組織および法人の統治に関するベストプラクティスを考慮に入れた、契約執行への適切な資源投入を含め、安定性を保証するための法人の管理構造に関する見直しを行う、必要であれば変更を行う。」としているが、2006 年 10 月 1 日以降、ICANN はこれらの責任を果たすにあたりどのような成果を挙げたか。進捗があったとすれば、どのような進捗があったのか、何故進捗があったと思うのかを説明すること。また、この分野で ICANN がもっと取り組めたであろう事項は何か。

■ ICANN からのコメント要約

ICANNは2008年1月9日付けで、NTIAのパブリックコメント募集に対し回答を行った¹⁵。JPAの定める義務については着実に履行されており、DNSの速やかな民間への完全移行を求める内容となっている。

[2008年1月9日付]

ICANN 理事会は、以下の通り確信する。

- 当初の MoU と同様、JPA は ICANN が安定した組織となる支援となっている。
- 2006 年 9 月に発効した JPA の契約条件を、ICANN は実行してきている。
- ICANN は、JPA で定められている義務を果たしている。
- JPA はもはや必要ではなくなっている。これを終結することは、DNS の調整を民間に移行させるための次のステップである。
- このステップによって、ホワイトペーパー¹⁶によって示された当初の目標が達成されつつあることが今後も確信できる。
- JPA を終結させることは、IANA 契約に規定されている既存の説明責任には影響を与えない。米国政府の GAC を通じた参加も、同様に影響を受けない。

■ 国際商業会議所からのコメント要約

国際商業会議所（ICC : International Chamber of Commerce）は2008年2月6日付けでNTIAのパブリックコメント募集に対し回答を行った¹⁷。ICC自体、ICANNのGNSO（分野別ドメイン名支持組織）の一員として活動を行っていることもあってか、ICANNを支持し、DNS管理の民間への完全移行に向けた取り組みを行うべきとしている。

[2008年2月6日付]ICC は、インターネットがうまく機能することを保証するというICANNの非常に大きな役割を十分に認識している。我々は、ICANNが与えられた責任を全うし続けられるよう、完全に独立した組織となり、将来さらにこの組織を強化するために、ICANNを適切なマルチステークホルダーモデルおよび組織構成へと移行させるということを決断するための真剣な議論を今すぐ始めるべきであると確信する。ICC および世界的かつ多様な会員は、引き続き ICANN と密接かつ生産的な取り組みを行う関係であるよう期待している。

¹⁵ http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/jpacomments2007/jpacomment_004.pdf

¹⁶ 1998年6月5日に発表されたインターネットの管理体系に関する提案が記述されている、米国政府による文書の通称。原文は http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/6_5_98dns.htm、日本語訳は <http://www.nic.ad.jp/ja/translation/icann/bunsho-white.html>

¹⁷ http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/jpacomments2007/jpacomment_032.pdf

■ NRO からのコメント要約

NRO (Number Resource Organization) もNTIAのパブリックコメント募集に対し回答を行っている¹⁸。現在のICANN体制を支持し、JPAを終了させ、DNS管理の民間への完全移行を求める内容となっている。

NRO は、現行のインターネットのドメイン名およびアドレス割り振りシステムの管理調整モデルへの支持を再確認する。近年 ICANN は、安定的かつ信頼に足る組織であろうとするコミットメントを示しており、これを実現するにあたり長足の進歩を遂げた。NRO は、米国商務省と ICANN との間の JPA は終了させるべきと確信する。このため、我々は ICANN と米国商務省に対し、インターネットの調整業務の民間への包括的な移管を完了させるため、相互に積極的に取り組むことを望む。このプロセスにあたっては、ICANN はコミュニティに対し適宜助言を求めるべきである。NRO はまた、常に変化していくインターネットの環境においてはどの政府もインターネット上の資源管理に関して特別な役割を負うべきではないと主張する。既存のメカニズムが他の政府、複数の政府、もしくは条約機構によって置き換わることがあってはならない。

■ カナダ政府からのコメント要約

カナダ政府は 2 月 15 日付でNTIAのパブリックコメント募集に対し回答を行った¹⁹。インターネットの技術的な調整については民間主導のまま行うべきとする内容である。

カナダは、インターネットの技術的な調整は民間主導のまま行うべきであり、ボトムアップでマルチステークホルダーの参加のあるポリシー策定プロセスによって行われるべきであるという見方を保っている。カナダの考えでは、ICANNの「説明責任と透明性に関する枠組み」文書などの手段、原則を実際に実行に移すことが次の段階として非常に重要である。カナダは、GAC (政府諮問委員会) はインターネット上の名前およびアドレスの調整を民間に移行するという目的にかなうよう、助言を行うという役割に留意しながら、現在の組織見直しの努力を続けていくべきだと確信する。ICANNにおける政府の役割は、情報提供や能力開発への貢献など、限定されたものであるべきである。NTIAは、現行のJPAを基に、ICANNの民営化(privatization)²⁰における次のステップに関する諸課題について、ICANNと議論を開始すべきである。

■ 日本政府からのコメント要約

¹⁸ http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/jpacomments2007/jpacomment_085.pdf

¹⁹ http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/jpacomments2007/jpacomment_162.pdf

²⁰ 政府による関与の終了という意味で使用されたと思われる。

日本政府もNTIAのパブリックコメント募集に対し回答を行った²¹。ICANN体制を支持しつつも、さらなる改善を行っていくことが必要とする内容になっている。

日本政府はインターネット上の資源管理のメカニズムは、情報社会のためのチュニスアジェンダにおいてインターネットガバナンスの既存の取り決めが効果的に機能していることが認識されている通り、既存のICANNを中心とする体制を基礎として、漸進的に向上を続けるべきであると確信する。日本政府は、民間部門が主導してインターネットの資源管理において透明性を向上させ、責任説明をよりよく果たしていくようにすることの重要性など、JPAの中に規定されている責務を果たすための努力をICANNが行っていることを認識している。特に日本政府は、ICANNミーティングにおける奨学金制度や即時翻訳、教育的サービスや全世界との情報共有などの取り組みを、インターネットに関する全世界の利害関係者の参加を促し、国際化を果たすための効果的な活動として認識している。未割り振りのIPv4アドレス空間はここ数年で枯渇することが予想されており、これはすぐにでも取り組まなければならない問題である。インターネットの持続的成長が可能であるよう、かつ、全世界がその利益に預かれるよう、ICANNはIPv6へのスムーズな採用を積極的に奨励するよう取り組むべきであるし、例えば、IPv4アドレスがより効率的に使用されるよう、歴史的な経緯を持つアドレスを含め、使われていないIPv4アドレスの回収についても取り組むべきである。日本政府は、JPAに規定されている責務を果たしていることでICANNが満足するべきではなく、ICANNは今後もインターネットの拡張に伴う課題に速やかに対処するため、向上を続けていくべきである。

■ NTIAによるJPA中間評価に関する声明

2008年4月2日にNTIAはJPAの中間評価に関する声明を発表した²²。以下にその内容の概要を記載する。

DNSのセキュリティと安定性を維持する必要性があることと、ICANNがインターネットのDNSの技術的な調整を行う適切な組織であることが大多数の意見である。しかしその上で、ICANNの制度信頼性の向上という重要な作業が残っていることについて、ほとんどの関係者が認めている。なお、Internet Assigned Numbers Authority (IANA)機能についての契約はJPA中間レビューの対象外である。次の18ヶ月で、NTIAはICANNがJPAに記載されている義務を満たしているかどうかという点について引き続きICANNの実績を監視する。

²¹ http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/jpacomments2007/jpacomment_111.pdf

²² http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/ICANN_JPA_080402.html

さらに、NTIAは引き続き 2005 年に発表された「インターネットのドメイン名とアドレス割り当てに関する米国政府の原則²³」に全力を傾ける。

なお、ICANN の制度信頼性の向上については次項に記載する。

今回の中間評価は、2009 年 9 月 30 日に満了を迎える現行の JPA の履行状況を世に問うものである。このパブリックコメントによって直ちに ICANN 体制の行く末が決定されるわけではないが、2009 年には、このまま JPA を終了させて DNS 管理を完全に民間へ、すなわち ICANN へ移行するのか、それとももう一度 JPA の延長を行って様子を見るのか、関係者を巻き込んだ議論になるであろう。

■ ICANN における制度信頼性の改善コンサルテーション関連動向

JPA の中間レビューに伴い、ICANN 理事長 Peter Dengate Thrush 氏により 2008 年 2 月 28 日に「制度信頼性の改善 (Improving Institutional Confidence, IIC)」コンサルテーションについての構想が発表された。この中で理事長は事務総長戦略委員会(President's Strategy Committee)に移行フレームワークの作成計画をまとめるよう要請した。これは JPA 終了を見据えて ICANN における制度の信頼性を向上させるためのものである。

その後作成された移行アクションプランを元に、2008 年 6 月より 9 月まで制度信頼性の改善に関する 1 度目の意見募集が行われ、その結果を盛り込み文書改定を行った。それを受けてミーティングを各地域（アフリカ、北米、欧州、ラテンアメリカ、アジア太平洋地域）で行った。

次に 2008 年 9 月より 10 月まで 2 度目の意見募集が行われ、その結果およびアフリカ地域の地域インターネットレジストリ(RIR)であるAfriNICの会合時およびIGFハイデラバード会合のそれぞれと同時開催されたミーティングでの議論を含めた上で文書が改定され、2009 年 2 月 27 日に暫定実施計画として発表²⁴された。この実施計画は続いて 2009 年 3 月に開催されたICANNメキシコシティ会議において特別セッションを設けて議論され、また一般会員(At Large)サミット、各支持組織、各諮問委員会においても議論され、さまざまな意見が表明された²⁵。以下に暫定実施計画²⁶のうち、勧告部分の抜粋を記す。

1) ICANN は十分なドメイン名乗っ取り対策を講じる

²³ http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/usdnsprinciples_06302005.htm

²⁴ <http://www.icann.org/en/jpa/iic/>

²⁵ <http://mex.icann.org/briefing-note>

²⁶ <http://www.icann.org/en/jpa/iic/draft-iic-implementation-26feb09-en.pdf>

- 乗っ取り対策はすべての種類の乗っ取りに対応しなければならない
 - 政府諮問委員会(GAC)の関与を増す
 - 厳しい独占禁止法および競争関連法が施行されている地域での存在感を維持
 - ICANN の支持部分である透明性を維持増強
 - 不適切な職員の行為による乗っ取りからの保護手段を講じる
- 2) ICANN は、複数の利害関係（マルチステークホルダー）コミュニティに対して十分に責任を持つ
- 公共政策事項に関して政府諮問委員会(GAC)の助言を十分考慮する
 - コンサルテーションドキュメントはアクセスが容易で理解が容易なものとする
 - レビュー見直しプロセスの再構築に当たっては独立専門家からなる委員会からの助言を得る
 - 明確に定義されたプロセスに基づいて、コミュニティが理事会に対して決定の再検討を要求できるような追加の仕組みを確立する
 - 特別な状況下では理事会を廃止し置き換えることができる臨時の仕組みを設ける
- 3) ICANN は、将来のグローバルインターネットコミュニティのニーズを満たすことができるように国際化する
- 将来の改善の必要性を見極めるため翻訳および通訳手段、および支出の評価を行う
 - 組織構造のいかなる変更にもかかわらず、本部および運営上のプレゼンスはカリフォルニアに維持すること
 - 事前に十分検討した上で、国際的な非営利組織としての地位を獲得するため ICANN の法的資格を管轄区域で確立する
- 4) ICANN は財政上および運営上の安定と信頼性を確保する
- 5) ICANN はインターネットの一意の識別情報に関して安全で安定した運営を行う
- ICANN はインターネットの安定およびセキュリティに関連する問題に関し議論のリーダーとなり認識を高めるべきである
 - ICANN は米国商務省との IANA に関する合意に基づき効率的な運営上の施策を実施する

本実施計画については 2009 年 3 月 12 日より 60 日間の意見募集期間が設けられている。ICANN としては、JPA が終了する 9 月までに本実施計画が承認されることで、スムーズにどのような形態であれ JPA 後の状況に対応できるよう準備を整えておきたいものと思われる。

3 インターネット資源管理ポリシーの現状
及びそれに関する議論の動向

3 インターネット資源管理ポリシーの現状及びそれに関する議論の動向

3-1 IPアドレスに関する管理ポリシーの現状および議論の動向

IPアドレスの管理ルールをIPアドレスポリシー、または単にアドレスポリシーというが、このアドレスポリシーには大きくわけて2つの種類がある。それは、主にICANN(IANA)とRIR間でのアドレス管理ルールを定めるグローバルポリシー(Global Policy)と、RIR配下でのアドレス管理ルールを定める地域ポリシー(Regional Policy)である。グローバルポリシーは主にIANAからRIRへのアドレス割り振りポリシーを定めるものであるから、必然的に1つの資源に対して定義されるアドレスポリシーはただ1つとなる。

これに対して地域ポリシーは、世界に5つあるRIRがその配下のアドレスをどう管理するのかを定めるものである。したがって、その地域の事情を反映したポリシーが地域ごとに定まることになる。従い、同じIPv4アドレスを管理するアドレスポリシーでも、その中身は地域ごとに微妙に異なる。

ここでは、IPv4アドレスポリシー及びIPv6アドレスポリシーが現在どのような内容になっており、また、どのような提案がなされているかに関して、グローバルポリシー及び地域ポリシー双方の観点から見ていくものとする。

3-1-1 IPv4 アドレスポリシー

● グローバルポリシー

IPv4アドレスのグローバルポリシーは、各RIRでの提案、承認のプロセスを経て、2005年4月にICANNで承認されたポリシーが現在(2009年2月)も有効である。その内容を以下に示す。

[割り振りの原則]

- ▶ IANAは各RIRへ、/8単位で割り振りを行う。
- ▶ IANAは各RIRへ、当該RIRの少なくとも18ヶ月分の需要を満たす量の割り振りを行う。
- ▶ IANAは各RIRがその配下のNIR/LIRに対する独自の割り振りや予約の手法を適用することを認める。

[初期割り振りサイズ]

- 新たに承認された RIR が出た場合、当該 RIR は/8 の割り振りを IANA から受けることができる。

[追加割り振りサイズ]

- 利用可能なアドレス空間(AVAILABLE SPACE)が、/8 の 50%を切ったとき、もしくは、利用可能なアドレス空間が、今後9ヶ月に必要なアドレス空間(NECESSARY SPACE)の大きさよりも小さくなったとき、IANA は当該 RIR が 18 ヶ月で必要とするアドレス空間に見合う割り振りを、/8 単位で行う。

[利用可能なアドレス空間(AVAILABLE SPACE)の定義]

- 利用可能なアドレス空間は、現在使われていないアドレスの数と今後 3 ヶ月の間に予約が切れるアドレス数の和から、断片化したアドレスの数(RIR の最小割り振りサイズ以下のアドレス空間)を引いたものである。

[必要なアドレス空間(NECESSARY SPACE)の定義]

- 必要なアドレス空間は、過去 6 ヶ月に割り振ったアドレス数の月間平均数に、月数を乗じたものである。(18 ヶ月に必要なアドレス空間は、過去 6 ヶ月に割り振ったアドレス数の月間平均数に 18 を乗じた大きさとなる。)
- 過去 6 ヶ月の月間平均割り振りアドレス数とはまた別の必要がある場合、必要なアドレス空間は、当該需要を満たすアドレス数と定義される。ただし、RIR はこの需要を正当化するための資料を提出しなければならない。

2005年4月以降はこのポリシーに従って IANA から RIR への IPv4 アドレス割り振りが行われているが、2007年1月に APNIC が IANA から一度に 5つの/8の割り振りを受けたことや、近年高まる IPv4 アドレス在庫枯渇の議論の高まりを受け、RIR 側が自発的に「一度に割り振りを受ける空間は、2個の/8まで」といういわば自主規制を打ち出し、現在はそれに沿った割り振りが行われている。

また、IPv4 アドレスのグローバルポリシーについては 2007年に提案が提出された後 2008年2月の第25回 APNIC ミーティングではコンセンサスに至らなかった。その後内容が改定された上で、2008年9月の第26回 APNIC ミーティングにてコンセンサスに至り、2008年11月に APNIC 理事会にて承認され、他 RIR でもコンセンサスに至った。最初にオリジナルの提案内容を以下に示し、以下順に他地域での検討状況、最後にコンセンサスに至った提案内容を記す。

[提案趣旨]

- IPv4 アドレスの在庫枯渇が目前に迫る中、IANA に残存している IPv4 アドレスの在庫を各 RIR へ公平に分配することを目的とする。

[オリジナル提案内容]

- IANA から RIR への最後の割り振り分として、/8 を 25 個分あらかじめ確保する。
- IANA の IPv4 アドレスの在庫がその確保分だけになった時点で、5 つの RIR に/8 を 5 個ずつ一斉に割り振り、IANA の在庫を終了させる。

この提案は、ラテンアメリカ地域およびアフリカ地域の有志に (Roque Gagliano 氏 (ウルグアイ)、Francisco Obispo 氏 (ベネズエラ)、Haitham EL Nakhal 氏 (エジプト)、Didier Allain Kla 氏 (コートジボワール))、および JPNIC IPv4 枯渇期ポリシー検討専門家チームメンバー11 名によって提出されたものである。

この提案の前身となるポリシーは、まず 2007 年 5 月の LACNIC ミーティングで提示され、会場の賛同を得てコンセンサスに至った。グローバルポリシーとして成立するためには、5 つの全ての RIR でコンセンサスを得る必要があるので、この後残り 4 つの RIR でも同様の提案が議論されることとなった。

LACNIC ミーティングの次に開催された APNIC ミーティング (2007 年 8 月) では、「最後の割り振りのために 25 個も確保するのは多すぎるのではないか」との懸念を受け、上記の提案への対案として、最後の割り振り分を 5 個の/8 とし、最後は各 RIR が 1 つずつ/8 の割り振りを受けることではどうかとの提案が提出された。提案を行ったのは、2007 年 1 月に JPNIC が設立した「IPv4 アドレス枯渇期ポリシー検討専門家チーム」である。

その後メーリングリスト上での議論でも「25 個 (各 RIR が 5 個ずつ割り振りを受ける) は多すぎる」という意見が出たのを受け、当初の提案はミーティング直前に「10 個 (各 RIR が最後に 2 個ずつ割り振りを受ける)」に修正された。

こうして迎えた APNIC ミーティングであるが、会場の意見としては「こういった IANA の在庫をどう終わらせるかに関する何らかのポリシーが必要」という声がわずかに優勢という程度で、コンセンサスを得るには至らなかった。また、「IANA 在庫に関するポリシーがあったという前提で、最後に各 RIR に 2 個ずつ配るのが良いのか、1 個ずつ配るのが良いのか」という議長の問いに対しては、挙手した者のほとんどが「各 RIR に 1 個ずつ配るべき」という反応であった。

この結果、APNIC ミーティングではラテンアメリカ地域・アフリカ地域有志の提案も、IPv4 アドレス枯渇期ポリシー検討専門家チームの提案も、双方ともコンセンサスに至ることはなく継続議論扱いとされた。

APNIC ミーティングの次に開催された AfriNIC ミーティング（2007年9月）でも、両者の提案は当初の文案のまま並列で提出された。すなわち、ラテンアメリカ地域・アフリカ地域有志提案が「25個（各 RIR が5個ずつ割り振りを受ける）」を主張し、IPv4 アドレス枯渇期ポリシー検討専門家チーム提案が「5個（各 RIR が1個ずつ割り振りを受ける）」を主張するという図式となった。

会場の議論では、IANA から RIR への最終割り振りに関するポリシーが必要なこと、および、最後は各 RIR に同じ量のアドレスを割り振ることについては、概ね妥当であるとの結論となった。そして、最後に RIR が受け取るべき/8 の個数をどうするかが次の議論の焦点となり、出席者の挙手を求めた結果、1個が妥当とする意見と、2個が妥当とする意見が拮抗する結果となった。3個～5個についても挙手を求めたが、3個以上に挙手をするものは皆無であった。結局、その場の結論として、「最後に各 RIR が割り振りを受ける/8 の個数として『1もしくは2』をミーティングでのコンセンサスとし、その値を最終的にどちらにするかはメーリングリスト上の議論で決定する」ということとなった。

AfriNIC ミーティングの次に開催されたのは ARIN ミーティング（2007年10月）である。この時のラテンアメリカ地域・アフリカ地域有志提案は、APNIC ミーティングに提出された修正提案として提出された。つまり、「10個（各 RIR が最後に2個ずつ割り振りを受ける）」として提案された。この ARIN ミーティングでも IPv4 アドレス枯渇期ポリシー検討専門家チームによる「5個（各 RIR が1個ずつ割り振りを受ける）」の提案は提出され、両者をあわせて議論することとなった。

ミーティングの結果としては、IANA における IPv4 アドレス在庫の最後数ブロックを、一律 RIR へ同じサイズで分配する枠組みについては参加者の支持が得られたが、分配するサイズについては結論を出すことなく、継続議論という扱いになった。

ARIN ミーティングの翌週に開催された RIPE ミーティング（2007年10月）でも、ラテンアメリカ地域・アフリカ地域有志による「10個（各 RIR が最後に2個ずつ割り振りを受ける）」提案と、IPv4 アドレス枯渇期ポリシー検討専門家チームによる「5個（各 RIR が1個ずつ割り振りを受ける）」の提案が並列で議論された。会場の出席者の反応としては「そもそもこのような提案が必要かどうか疑問」という意見もあったが、「必要であるとしたら、

5 個（各 RIR が 1 個ずつ割り振りを受ける）」を支持するという意見が多数を占めた。2007 年 10 月の RIPE ミーティングではその場で結論を出すことはせず、継続議論という結果になった。

こうして APNIC を始めとした 5RIR での最初の議論が終了した。この結果、全ての RIR で合意獲得することを目指し、ラテンアメリカ地域・アフリカ地域有志の提案と IPv4 アドレス枯渇期ポリシー検討専門家チームの提案とを統一する調整が行われ、最終的に「最後に全ての RIR が 1 個ずつ割り振りを受ける」という案で一本化されることで両者が合意し、提案の修正が行われた。

修正案はまず 2008 年 2 月 25 日から行われた APNIC ミーティングで議論された。会場の議論では、前回のミーティングの結果を受けた提案の修正、一本化がなされたことを評価する意見があった一方で、「最後に APNIC が割り振りを受ける/8 の使い道を決めておくべき」など、反対意見も表明された。賛否を問う挙手では賛成が反対を上回ったもののコンセンサスとまでは至らず、議長判断で継続議論となった。

その後この統一修正提案は、ARIN（2008 年 4 月）、RIPE（2008 年 5 月）、LACNIC（2008 年 5 月）、AfriNIC（2008 年 6 月）、APNIC（2008 年 9 月）の順で議論され、すべて承認に至った。最後のプロセスとして、2009 年 3 月 6 日の理事会にて ICANN 理事会による承認がなされ、グローバルポリシーとして成立することとなった。

[最終承認内容]

- IANA から RIR への最後の割り振り分として、/8 を 5 個分あらかじめ確保する。
- IANA の IPv4 アドレスの在庫がその確保分だけになった時点で、5 つの RIR に/8 を 1 個ずつ一斉に割り振り、IANA の在庫を終了させる。

● 地域ポリシー

前述した通り、各RIRではそれぞれ異なるIPv4 アドレスポリシーを採用している。以下では各RIRのIPv4 アドレスポリシーの主な違いを見ていくこととするが、これについてはRIRの連合体として活動しているNRO(Number Resource Organization)が比較表をウェブサイトに掲載²⁷している。以下にIPv4 アドレスポリシーにおける主要項目の比較を示すが、詳細についてはNROの比較表を参照いただきたい。

²⁷ <http://www.nro.net/documents/nro47.html>

[初回割り振りについて]

RIR	分野	内容
AfrinIC	サイズ	原則/22（直後の需要が/22 を超えることが正当化できる場合、この限りではない）
	要件	申請者は現在上位 ISP から割り当てを受けている IP アドレスを効率的に使っていることを証明しなければならない。また、新たに割り振りを受ける際には、既に受けている割り当てアドレスからリナンバする必要がある。
	期間	1 年後 ²⁸ までの需要を認める。
APNIC	サイズ	原則/21 ²⁹ （直後の需要が/21 を超えることが正当化できる場合、この限りではない）
	要件	1) APNIC 会員契約を締結しているか、非会員費用を支払っていること。2) 直後に/23 を使用することを証明できること。3) 過去に割り当てを受けたアドレスをポリシーに従って管理していること。4) 1 年以内に/22 を利用する詳細な計画があること。5) 過去に割り当てを受けたアドレスからリナンバすることに同意すること。
	期間	1 年後までの需要を認める。
ARIN	サイズ	マルチホームしているネットワークには最小/22、それ以外は最小/20 の割り振り。（直後の需要がこれを超える場合、この限りではない）

²⁸ 2007 年までは「2 年後までの需要」であった。

²⁹ 2008 年 2 月の APNIC ミーティングで、これを「/22」へ変更する提案が提出されコンセンサスを得た。

RIR	分野	内容
	要件	<p>/22 の割り振りを受ける場合：上位 ISP から/23 の割り当てを受け、効率的に使用していること、マルチホームする意思があること、及びリナンバに合意すること。</p> <p>/21 の割り振りを受ける場合：上位 ISP から/22 の割り当てを受け、効率的に使用していること、マルチホームする意思があること、及びリナンバに合意すること。</p> <p>/20 の割り振りを受ける場合：上位 ISP から/21 の割り当てを受け、効率的に使用していること、マルチホームする意思があること、及びリナンバに合意すること。</p> <p>もしくは、上位 ISP から/20 の割り当てを受け、効率的に使用していること。（リナンバは要件ではない）</p>
	期間	3 ヶ月後までの需要を認める。
LACNIC	サイズ	/21 もしくは/20。（直後の需要がこれを超える場合、この限りではない。）
	要件	<p>/21 の割り振りを受ける場合：/23 の需要があることを証明すること。</p> <p>/20 の割り振りを受ける場合：上位 ISP から/22 の割り当てを受け、マルチホームしており、12 ヶ月以内にリナンバすること。</p> <p>マルチホームしていない場合、上位 ISP から/21 の割り当てを受け、使用していること、及び 12 ヶ月以内にリナンバすることに合意すること。</p> <p>もしくは、直後の需要があることを証明すること。</p>
	期間	3 ヶ月後までの需要を認める。
RIPE NCC	サイズ	/21（直後の需要がこれを超える場合、この限りではない）
	要件	RIPE NCC との契約、及び需要の証明
	期間	1 年後までの需要を認める。

[追加割り振りについて]

RIR	分野	内容
AfrinIC	サイズ	最小サイズ /22
	要件	それまでに割り振りを受けたアドレス総量の 80%を効率的に使用していること。
	期間	1年後 ³⁰ までの需要を認める。
APNIC	サイズ	最小サイズ /21、最大サイズの定め無し。
	要件	それまでに割り振りを受けたアドレス総量の 80%を効率的に使用していること。
	期間	1年後までの需要を認める。
ARIN	サイズ	マルチホームネットワークについては/22 が最小サイズ、それ以外の場合/20。最大サイズの定め無し。
	要件	それまでに割り振りを受けたアドレス全てを効率的に使っていること、及び、最後に割り振りされたアドレスの少なくとも 80%を効率的に使用していること。
	期間	3ヶ月後までの需要を認める。1年以上 ARIN の会員である ISP は 6ヶ月後までの需要量を申請できる。
LACNIC	サイズ	最小サイズ/20、最大サイズの定め無し。
	要件	それまでに割り振りを受けたアドレス総量の 80%を効率的に使用していること。
	期間	1年後までの需要を認める。
RIPE NCC	サイズ	最小サイズ/21、最大サイズの定め無し。
	要件	それまでに割り振りを受けたアドレス総量の 80%を効率的に使用していること。
	期間	1年後まで ³¹ の需要を認める。

³⁰ 2007年までは「2年後まで」だった。

³¹ 2007年までは「最大2年後まで」だった。

[RIR による IP アドレス割り当て (プロバイダ非依存アドレス)]

RIR	分野	内容
AfrinIC	サイズ	最小サイズ/24、最大サイズの定め無し。
	要件	現在/25 を使用しているか、1 年後に使うアドレス空間の 50%を割り当て直後に使うことを証明すること。
APNIC	サイズ	最小サイズ、最大サイズ共に定め無し。
	要件	マルチホームすることを証明し、それまでに割り当てられたアドレスからリナンバすることに同意すること。直後に割り当てアドレスの 25%を使用し、1 年以内に 50%を使用するという基準に従い、サイズが決定される。
ARIN	サイズ	マルチホームネットワークは最小サイズ/22、それ以外は /20。最大サイズの定め無し。
	要件	直後に割り当てアドレスの 25%を使用し、1 年以内に 50%を使用するという基準に従い、サイズが決定される。
LACNIC	サイズ	最小サイズ/24、最大サイズの定め無し。
	要件	マルチホームしている組織は上位 ISP から/25 の割り当てを受けている場合、/24 の割り当てを受けることができる。 マルチホームしていない組織は、/21 の需要があることを証明した上で/20 の割り当てを受けることができる。
RIPE NCC	サイズ	最小サイズ、最大サイズ共に定め無し。
	要件	需要があることを証明すること。

[RIR による割り当て審査]

RIR	内容
AfriNIC ARIN	該当ポリシー無し。
APNIC LACNIC RIPE NCC	LIR が RIR に承認を得ることなく割り当てができるサイズが (アサインメントウィンドウ : Assignment Window) が定められており、これを超えるサイズの割り当てを行う場合、割り当て前に RIR の承認を得る手続きが必要である。APNIC には、自社インフラへの割り当てに関するアサインメントウィンドウの適用の定めはない。RIPE では初回割り振りを受けた後 6 ヶ月経過すると、自動的にアサインメントウィンドウが /21 に設定される。

● ポリシー提案の状況

2008 年 4 月から 2009 年 2 月までの間に、各 RIR へ提出された IPv4 アドレスポリシー提案は以下の通りである。

提案提出先	提案概要	2009 年 3 月 現在の状況
APNIC	IANA の IPv4 アドレス (/8) の在庫が 5 となった時点で、各 RIR へ 1 個ずつ /8 を配り、割り振りを終了	コンセンサス(APNIC 26)
	APNIC における最後の IPv4 /8 在庫の利用を次に限定 : <ul style="list-style-type: none"> • /16 1 個を予想外の事態のために予約 • 新規、既存とも事業者への割り振りは最小サイズ(/22)に限定 	コンセンサス(APNIC 26)
	追加割り振り審議申請の際に歴史的 PI アドレスの利用状況を含める	コンセンサス(APNIC 26)
	IPv4 割り振り承認期間の短縮 : 割り振り申請時に現在は最大 1 年分まで承認されている需要を、6 カ月分に短縮	却下(APNIC 27)
	IANA の IPv4 アドレスの在庫が少なくなるに従い、IPv4 アドレスの最大割り振りサイズを小さくする	却下(APNIC 27)

	APNIC 会員（NIR を含む）同士、もしくは APNIC 会員（NIR を含む）と他 RIR 会員との IPv4 アドレスの移転を認める	コンセンサス(APNIC 27)
	回収された IPv4 アドレスの IANA から RIR への分配方法を次の通り定義： <ul style="list-style-type: none"> 第 1 段階：各 RIR が回収したアドレスは IANA の「回収プール」へ蓄積 第 2 段階：IANA 在庫枯渇後「回収プール」から各 RIR へ半期に一度割り振りを実施 	コンセンサス(APNIC 27)
ARIN	/29 より小さな割り当ての登録対応	コンセンサス(ARIN 21)
	RIR 間での調整による IPv4 アドレス在庫枯渇期の統一	否決(ARIN 21)
	IANA から RIR への最後の IPv4 アドレス分配ポリシー	コンセンサス(ARIN 21)
	歴史的 PI アドレスの合意書締結促進と部分返却	コンセンサス(ARIN 22)
	資源の審査プロセス	継続議論(ARIN 21)
	カリブ海地域に限定した最小割り振りサイズ引き下げ	コンセンサス(ARIN 22)
	IPv4 アドレスの移転	コンセンサス(ARIN 22)
	Whois データベースの完全性向上：歴史的 PI アドレスデータ変更の際合意書を必須とする	継続議論(ARIN 22)
RIPE NCC	RIPE 地域内での IPv4 アドレスの再割り振り	承認（2008 年 12 月）
	エンドユーザーへのアドレス資源直接割り当て	承認（2008 年 10 月）
	IPv4 在庫枯渇期における RIR 間アドレスプール融通	提案者取り下げ（2008 年 9 月）
LACNIC	最後の IPv4 アドレス(サイズ/12)を新規事業者への分配に限定	コンセンサス（LACNIC 11）
AfriNIC	（該当なし）	

3-1-2 IPv6 アドレスポリシー

- グローバルポリシー

IPv6 アドレスのグローバルポリシーは、各 RIR での提案、承認のプロセスを経て、2006 年 9 月に ICANN で承認されたポリシーが現在（2009 年 2 月）も有効である。その内容を以下に示す。

[割り振りの原則]

- IANA は各 RIR へ、/12 単位で割り振りを行う。
- IANA は各 RIR へ、当該 RIR の少なくとも 18 ヶ月分の需要を満たす量の割り振りを行う
- IANA は各 RIR が独自の割り振りや予約の手法を適用することを認める。

[初期割り振りサイズ]

- 新たに承認された RIR が出た場合、当該 RIR は/12 の割り振りを IANA から受けることができる。

[追加割り振りサイズ]

- 利用可能なアドレス空間(AVAILABLE SPACE)が、/12 の 50%を切ったとき、もしくは、利用可能なアドレス空間が、今後 9 ヶ月に必要なアドレス空間(NECESSARY SPACE)の大きさよりも小さくなったとき、IANA は当該 RIR が 18 ヶ月で必要とするアドレス空間に見合う割り振りを、/12 単位で行う。

[利用可能なアドレス空間(AVAILABLE SPACE)の定義]

- 利用可能なアドレス空間は、現在使われていないアドレスの数と今後 3 ヶ月の間に予約が切れるアドレス数の和から、断片化したアドレスの数(RIR の最小割り振りサイズ以下のアドレス空間)を引いたものである。

[必要なアドレス空間(NECESSARY SPACE)の定義]

- 必要なアドレス空間は、過去 6 ヶ月に割り振ったアドレス数の月間平均数に、月数を乗じたものである。
- 過去 6 ヶ月の月間平均割り振りアドレス数とはまた別の需要がある場合、必要なアドレス空間は、当該需要を満たすアドレス数と定義される。ただし、RIR はこの需要を正当化するための資料を提出しなければならない。

このポリシーの内容は、割り振るアドレスの大きさを除いては IPv4 のグローバルポリシーと同一である。2009 年 2 月現在、このポリシーを見直す動きは出てきていない。

- 地域ポリシー

IPv4 アドレスポリシーの項でも記述した通り、各RIRではそれぞれ異なるIPv6 アドレスポリシーを採用している。以下、各RIRのIPv6 アドレスポリシーの主な違いを見ていくこととするが、これについてもIPv4 アドレスポリシーと同様、RIRの連合体として活動しているNRO(Number Resource Organization)が比較表をウェブサイトに掲載³²している。以下にIPv6 アドレスポリシーにおける主要項目の比較を示すが、詳細についてはNROの比較表を参照いただきたい。

[初回割り振りについて]

RIR	分野	内容
AfrinIC	サイズ	/32
	要件	1) LIR であること。2) エンドサイトでないこと。3) AfrinIC 地域の組織に対し、IPv6 の接続性を提供する詳細な計画があること。4) 12 ヶ月以内に合理的な数の/48 の割り当てを行う計画があり、その割り当てを 1 つの集成されたブロックで 12 ヶ月以内に広報する計画があること。
	期間	1 年後までの需要を認める。
APNIC	サイズ	/32
	要件	1) LIRであること。2) エンドサイトでないこと。3) /48 を割り当てた組織に対し、IPv6 の接続性を提供する計画があり、その経路広告を、割り振られたアドレス一つに集成して行うこと。4) 2 年以内に最低でも 200 の/48 の割り当てを行う計画があること。 ³³ また、閉域網であっても上記の条件を満たす場合には割り振りを行うことが認められている。

³² <http://www.nro.net/documents/nro41.html>

³³ 2008 年 2 月の APNIC で、「200 の/48 の割り当てを行う計画があること」に修正を加える提案が提出され、コンセンサスを得ている。

	期間	2年後までの需要を認める。
ARIN	サイズ	/32
	要件	1) LIR であること。2) エンドサイトでないこと。3) 割り当てを行った組織に対し IPv6 の接続性を提供する計画があり、その経路広告を、割り振られたアドレス一つに集成して行うこと。4) ARIN 地域において既存、既知の ISP であるか、もしくは5年以内に最低でも200の/48の割り当てを行う計画があること。
	期間	5年後までの需要を認める。
LACNIC	サイズ	/32
	要件	1) LIR もしくは ISP であること。2) 他組織に対して IPv6 の接続性を提供する詳細な計画を文書化すること。3) 12ヶ月以内に、割り振りを受けたアドレスの経路広告を割り振られたアドレス一つに集成して行うこと。4) 24ヶ月以内に、LACNIC 地域に位置する顧客に対し、IPv6 サービスを提供すること。
	期間	1年後までの需要を認める。
RIPE NCC	サイズ	/32
	要件	1) LIR であること。2) 割り振られたアドレスを単一のプリフィクスに集成してインターネット上で使用すること。3) 他組織への割り振り、もしくはエンドサイトへの割り当てを2年以内に行う計画があること。
	期間	2年後までの需要を認める。

[追加割り振りについて]

RIR	分野	内容
AfrinIC	サイズ	初回割り振りサイズと同じサイズ。それを超える場合、正当化が必要。
	要件	$HD\text{-}ratio=0.94$ という式を満たす数の/48 の割り当てを行う必要がある。
	期間	1年後までの需要を認める。
APNIC ARIN	サイズ	初回割り振りサイズと同じサイズ。それを超える場合、正当化が必要。
	要件	$HD\text{-}ratio=0.94$ という式を満たす数の/56 の割り当てを行う必要がある。
	期間	2年後までの需要を認める。
LACNIC	サイズ	初回割り振りサイズと同じサイズ。それを超える場合、正当化が必要。
	要件	$HD\text{-}ratio=0.94$ という式を満たす数の/48 の割り当てを行う必要がある。
	期間	2年後までの需要を認める。
RIPE NCC	サイズ	初回割り振りサイズと同じサイズ。それを超える場合、正当化が必要。
	要件	$HD\text{-}ratio=0.8$ という式を満たす数の/48 の割り当てを行う必要がある。
	期間	2年後までの需要を認める。

[RIR による IP アドレス割り当て (プロバイダ非依存アドレス)]

(クリティカルインフラストラクチャへの割り当て)

RIR	分野	内容
AfrinIC	サイズ	最小サイズ/48
	要件	DNS サーバ、ルートサーバの実際の運用者
APNIC	サイズ	最大サイズ/32
	要件	ルート DNS、ccTLD、gTLD、IANA、RIR、NIR の実際の運用者
ARIN	サイズ	最小サイズ/48

	要件	ルート DNS、ccTLD、gTLD、IANA、RIR、IXP の実際の運用者
LACNIC	サイズ	最小サイズ/48、最大サイズ/32
	要件	NAP、ルート DNS、ccTLD、gTLD、IANA、RIR、NIR の実際の運用者
RIPE NCC	サイズ	ルート DNSについては申請時に決定。エニキャスト、gTLD の場合、/48
	要件	ルート DNS、gTLD、エニキャストを利用する ccTLD

[RIR による IP アドレス割り当て（プロバイダ非依存アドレス）]
（エンドユーザへの割り当て）

RIR	分野	内容
AfriNIC	サイズ	最小サイズ/48
	要件	1) LIR でないこと。2) AfriNIC から IPv4 のプロバイダ非依存アドレスの割り当てを受ける要件を満たすこと、3) AfriNIC の既存メンバーであること、もしくはメンバーになることを計画していること。4) 申請承認後 12 ヶ月以内に割り当てられた IPv6 アドレスを使用し、広報する計画があること。
APNIC	サイズ	最小サイズ/48
	要件	既にマルチホームしている、もしくは 3 ヶ月以内にマルチホームする計画があること。
ARIN	サイズ	最小サイズ/48
	要件	1) IPv6 の LIR でないこと。2) ARIN の IPv4 ポリシー上で割り当てもしくは割り振りを受ける資格があること。
LACNIC		(該当ポリシー無し)
RIPE NCC		(該当ポリシー無し)

● ポリシー提案の状況

2008年4月から2009年2月までの間に、各RIRへ提出されたIPv6アドレスポリシー提案は以下の通りである。

提案提出先	提案概要	2009年3月 現在の状況
APNIC	IPv6アドレスの初回割り振りを受ける要件に「既にIPv4の割り振りを受けているLIRで、他組織に対してIPv6の割り当てを行う予定があり、割り振りを受けたIPv6アドレスを2年以内に広報する」という条件を追加する。	ミーティングでのコンセンサスを得て、最終コメント期間中。
ARIN	歴史的PIアドレス保有者へのIPv6PIアドレスの割り当て	コンセンサス(ARIN 21)
	コミュニティネットワーク向けのIPv6アドレス割り振り	継続議論(ARIN 22)
RIPE NCC	「Unique Local Address」をRIRが割り振り可能とする。	継続議論
	RIPEデータベースに登録されている全てのエンドユーザに対して、RIPEが/56の割り当てを行う。	継続議論
	RIPEの全LIRに対して、RIPEがIPv6の割り振りを行う。	継続議論
	IPv6アドレスをすべてのLIRに割り当て	提案者取り下げ(2008年5月)
	IPv6アドレスをすべてのRIPE地域におけるIPv4アドレスブロック保持者に割り当て	提案者取り下げ(2008年5月)
LACNIC	IPv6初期割り振りポリシー変更: IPv6アドレスポリシー中の「まとまったブロック1つに集成しなければならない」という制限を撤廃	継続議論(LACNIC 11)
	「Unique Local Address」をRIRが割り振り可能とする。	継続議論
	プロバイダ非依存IPv6アドレスをプロバイダ非依存IPv4アドレスエンドユーザー組織へ割り当て	コンセンサス(LACNIC 11)

	プロバイダ非依存 IPv6 アドレスをエンドユーザー組織へ割り当て	コンセンサス (LACNIC 11)
AfriNIC	(該当なし)	

3-1-3 AS番号ポリシー

- グローバルポリシー

AS 番号のグローバルポリシーについては、2007 年 5 月に RIPE に提案されたのを始めとして、同月に LACNIC、7 月には APNIC、8 月に AfriNIC および ARIN に提案が提出された。今まで IANA と RIR で行ってきた割り振り手順を文書化しただけの内容ということもあって、各地域とも特に異論が出ることなく承認されている。その後 2008 年 7 月に ICANN 理事会により承認が行われ正式にグローバルポリシーとして成立した。

AS 番号のグローバルポリシーの内容は、以下の通りである。

[割り振りの原則]

- IANA は各 RIR へ、1024 個を 1 単位として AS 番号の割り振りを行う。
- 2009 年 12 月 31 日までは、2 バイト AS 番号と 4 バイト AS 番号とを区別し、別々の割り振りを RIR が IANA から受けることができる。
- IANA は各 RIR が独自の割り振りや予約の手法を適用することを認める。

[追加割り振りの原則]

- RIR は次のいずれかの条件を満たせば IANA から追加の AS 番号の割り振りを受けることができる。
 - 以前受けた AS 番号の 80%を割り当てたとき
 - 各 RIR の在庫が、2 ヶ月の需要分を切ったとき。この数字は、過去 6 ヶ月行った AS 番号割り振り数の平均数から算出するが、RIR 側がそれよりも少ない数を申告した際は、その限りでない。

- 地域ポリシー

AS 番号の割り当てに関するポリシーは全地域ほぼ共通で、マルチホーム接続を既に行っているか、すぐにマルチホームを行う計画があること、とされている。AS 番号に関して 2008 年 4 月～2009 年 3 月に提案されたポリシーは、上記のグローバルポリシー提案以外には下記の通りである。

RIR	内容	2009 年 3 月現在の状況
AfriNIC	(該当ポリシー提案無し)	

RIR	内容	2009年3月現在の状況
APNIC	4バイトAS番号の割り当て方法の変更 <ul style="list-style-type: none"> 2009年1月～5月 デフォルトで4バイトASを分配(希望者には2バイトASを分配) 2009年6月～12月【このステップを追加】 デフォルト4バイトASを分配(2バイトASの希望者は4バイトでは対応できない技術的な証明が必要) 2010年1月～ 2バイトASと4バイトASの区別をしない分配を開始(申請者は2バイト、4バイトの指定はできない) 	コンセンサス (APNIC 26)
	4バイトAS番号表記の変更 ASDOT フォーマット (16ビットで10進数に変換し「.」で区切る表記) から ASPLAIN フォーマット (32ビットをそのまま10進数に変換する表記) に変更	コンセンサス (APNIC 26) 後IETFにてRFC化 (RFC 5396 ³⁴ 、種別: Standards Track)
	文書記述用の4バイトAS番号の定義 文書記述用の2バイトAS番号は64496～64511であるが、同様の目的で4バイトAS番号65536～65551を予約	コンセンサス (APNIC 26)
ARIN	(該当ポリシー提案無し)	
LACNIC	4バイトAS番号表記の変更 ASDOT フォーマット (16ビットで10進数に変換し「.」で区切る表記) から ASPLAIN フォーマット (32ビットをそのまま10進数に変換する表記) に変更	ML への提案のみ (2009年3月)
RIPE NCC	4バイトAS番号表記の変更	RFC化されたため提案者取り下げ (2009年2月)

³⁴ <http://tools.ietf.org/html/rfc5396>

第 2 部 ドメイン名の管理と活用に関する世界的な動
向および各国における動向調査

1 ドメイン名の競争環境整備に関する動向

1 ドメイン名の競争環境整備に関する動向

1-1 スポンサー付きトップレベルドメイン（sTLD）の導入の状況

スポンサー付き gTLD（sTLD）の導入は 2002 年 12 月の ICANN アムステルダム会議で承認され、導入プロセスが開始された。その後、選定のための基準策定、申請に関する詳細事項の作成、提案依頼書の作成等の作業を経て、2003 年 12 月に募集が開始された。

この募集に対して 10 組織が応募を行い、順次 ICANN による評価選定作業が進められている。2009 年 2 月末現在、ICANN との交渉が継続しているのは .post に関するもののみであり、他 TLD については選定・評価が済んでいる。以下に申請された sTLD との選定・評価状況を示す。

選定・評価状況	申請 TLD	申請組織	用途
最終承認済み	.asia	DotAsia Organization Limited	アジア太平洋地域の企業、個人、団体専用
	.cat	Associacio puntCAT	カタロニア地域の言語、文化コミュニティ用
	.jobs	Employ Media LLC	人事管理業務関係者用
	.mobi	Nokia/Vodafone/Microsoft	モバイル機器、サービス用等
	.tel	TELNIC	個人または企業の連絡先表示、ナビゲーション用
	.travel	Tralliance Corporation	旅行関連業界用
業務・技術面での交渉段階	.post	Universal Postal Union (UPU)	郵便事業関係者用
却下	.tel	NetNumber, Inc,	IP ベースの電話番号用
	.mail	The Anti-spam Community Registry	スパムフリー電子メールの送信者用
	.xxx	ICM Registry, LLC (ICM)	アダルトサイト用

次々に新しいスポンサー付き gTLD の導入が決定された 2005 年とは異なり、2006 年はそれほど大きな動きはなかった。しかしながら、2007 年に入り、3 月のリスボン会議で 3 年にわたって交渉が続けられ、またアダルトコンテンツを対象とする点で注目を集めていた .xxx の申請が却下されたことは、コミュニティにインパクトを与えた。以下では、申請 TLD 毎に 2009 年 2 月までの動きを概観する。

- .asia

2005年12月のICANNバンクーバー会議において、業務面・技術面の交渉段階へ入ることがICANN理事会によって承認された後、契約書内容の交渉を経て、2006年10月18日のICANN理事会において本申請が最終承認された。その後ICANNサンパウロ会議期間中の2006年12月6日に正式契約が締結され、2007年5月に本sTLDがルートゾーンに追加され、運用が開始された。

登録スケジュールについては、2007年10月9日からの段階的な優先登録期間（政府向け、登録済み商標権者向け、企業名や事業名の権利保持者向け）を設けただけでなく、ドメイン名の活用案募集に対する優れた提案者には、対象ドメイン名を優先的に登録できる権利を付与するAsia Pioneer Domains Program³⁵や、登録意欲の一番高い者に登録してもらうためのオークションの実施など、新たな取り組みへの挑戦も行われた。2008年2月20日から2008年3月12日の間は、期間内に行われた申請を全て同一のタイミングで行われたものとみなすランドラッシュ（同時登録）の期間を設定し、ランドラッシュの間に同一の文字列に対して2つ以上の申請があった場合には、オークションが実施され、最高額を提示した申請者が申請した文字列を登録する権利を得ることとした。ランドラッシュを経て、2008年3月26日からは、先願登録の申請を受け付けるゴーライブが開始した。

- .cat

.catの申請は2005年9月にICANN理事会によって最終承認された。その後2005年10月にICANNと申請者との間で正式契約を締結し、2005年12月に本sTLDがルートゾーンに追加され、運用が開始された。2006年4月23日からは一般登録が開始され、現在に至っている。

- .jobs

.jobsの本申請は2005年4月のICANNマルデルプラタ会議でのICANN理事会で最終承認された。2005年5月にはICANNと申請者との間で正式契約を締結し、2005年9月には本sTLDがルートゾーンに追加され、運用が開始された。2005年9月9日から一般登録が開始され、現在に至っている。

³⁵ <http://pioneer.domains.asia/>

- .mobi

.mobiの申請は2005年6月のICANN理事会によって最終承認を受けた。2005年7月にはICANNと申請者との間で正式契約を締結し、2005年10月には本sTLDがルートゾーンに追加され、運用が開始された。2006年9月26日から一般登録が開始され、現在に至っている。

- .travel

.travelの申請は2005年4月のICANN マルデルプラタ会議でのICANN理事会において最終承認を受けた。その後2005年7月には正式契約が締結され、同月に本sTLDがルートゾーンに追加され、運用が開始された。2006年1月2日からは一般登録が開始され、現在に至っている。

- .tel (TELNIC)

TELNICによる.telの申請は、2005年6月のICANN理事会において業務面・技術面の交渉段階へ入ることが承認された後、契約書内容の交渉を経て、2006年5月10日のICANN理事会において最終承認された。その後2006年5月30日に正式契約を締結し、2007年3月に本sTLDがルートゾーンに追加され、運用が開始された。2008年12月3日から2009年2月2日までの間は登録済み商標権者向けの優先登録期間、2009年2月3日から2009年3月23日までの間は優先登録期間中に登録できなかった者がプレミアム価格で先願登録申請を行うことができるランドラッシュの期間を設けており、一般の先願登録申請の受付は2009年3月24日より開始した。

- .post

.postの申請は2004年7月に業務面・技術面の交渉段階へ入ることが承認されており、2007年1月4日には、2007年6月30日までに交渉を完了することを目標に作業を進めているとICANNよりアナウンス³⁶されたが、現在まで交渉はまとまっていない。2007年9月6日には、UPUからの書簡が掲示³⁷され、そこにはUPUのビジネスモデルや希望する契約上の取り決め等が記されており、2007年10月6日まで意見募集も行われた。2008年1月23日の理事会議事録において、ICANNとUPUとの交渉は継続しており、ニューデリー会議に

³⁶ <http://www.icann.org/announcements/announcement-04jan07.htm>

³⁷ <http://www.icann.org/announcements/announcement-2-06sep07.htm>

て理事会に対し更なる情報を寄せると記されているが、ニューデリー会議にて公開で行われた理事会においてUPUとの交渉に関する報告は行われなかった。その後、2008年7月31日の理事会において、UPUとの交渉に関する進捗がICANNスタッフより報告された。UPUとの交渉は継続して行っており、UPUが政府間組織(IGO)であるがゆえに、ICANNのコンセンサスポリシーに従う必要があるという要件が、交渉における重要な問題となっているということであった。その理由として、UPUは、UPUの法令や規則に反することになる可能性もあるコンセンサスポリシーに従うことに対して、事前に同意する権限を加盟国から与えられておらず、UPUが加盟国に対してコンセンサスポリシーを従わせる力は限られているため、ということが説明されている。この場では、引き続き前向きに交渉を続けていくことが伝えられた。2008年12月11日の理事会のアジェンダには、.postの契約交渉の進捗状況について報告する項目が記されていたが、実際の議事では行われなかった模様であり、議事録には記されていない。2009年2月末時点において、交渉の進捗は把握できていないが、現在もICANNとUPUとの交渉が継続しているものと推測される。

● .xxx

.xxxの申請は、ICMから2004年3月に提出されたが、アダルトコンテンツを対象としたsTLD申請のため、各方面から承認に慎重論が出て作業が遅れ、2005年6月のICANN理事会でようやく業務面・技術面の交渉段階へ入ることが承認された。

2005年8月9日に最初の契約書案が公開されると、すぐさま2005年8月12日にはICANN政府諮問委員会(GAC)のチェアより、GACを代表して.xxxに対する懸念が寄せられた。また、懸念を示す多くのパブリックコメントも寄せられ、2005年9月15日の理事会では、法令順守に関する問題点などを理由に不承認とした。

その後の契約書内容の交渉を経て、修正契約書案が2006年4月18日に公開され、2006年5月10日のICANN理事会に提出された。しかし同理事会は、本契約案を再び不承認としている。この不承認に対して、ICMは2006年5月19日に再考を求める文書³⁸を提出しているが、2006年10月29日にはその要求を取り下げている。

ICANNと申請者との間で再交渉に入り、修正契約案は2007年1月5日に再度パブリックコメントへ付され、3度目の審議に持ち込まれた。2007年3月9日まで行われたパブリックコメント期間では、かなりの数のコメントが寄せられた。ICANNのウェブサイトによれば、これまでに.xxxについて寄せられたコメントや文書類は9万件を超え、アーカイブを提供できないほどの数となっている。コメントは賛否両論を含んではいたが、アダルトコ

³⁸ <http://www.icann.org/committees/reconsideration/icm-06-4/petition-20may06.pdf>

コンテンツは各国の法律により捉え方が異なるため、.xxxの導入に懸念を示すとするGACの公式声明に代表されるように、.xxxに寄せられたコメントは実質的には否定的な内容が多数であったと言える。このような状況下、2007年3月30日の理事会で修正契約案が審議された。審議の結果、申請内容がGACの懸念を払拭できるものとはなっておらず、またICANNが.xxxを承認するという事は、.xxxへの掲載に適するか否かといったコンテンツに関する判断を伴うことにもなり、ICANNが負っている技術的な役割を超える判断を伴うということを理由に、ICANN理事会は修正契約案のみならず、ICMによる申請そのものも却下することを決議した。

- .tel (NetNumber, Inc.)

NetNumber, Inc.による.telの申請は、2004年11月に評価基準に達しないとの判断がされ、却下となっている。

- .mail

.mailの申請は、2005年7月に評価基準に達しないとの判断がされ、却下となっている。

2003年12月に始まったsTLD募集のプロセスは、.postの申請1つを残すのみとなった。かつては、交渉期限が2007年6月30日に設定されたことによって、交渉が促されることが見込まれたが、その後の大きな進捗は見られず今後の見通しも不明瞭である。

2002年12月に始まったsTLD募集のプロセスは、開始から既に6年以上が経過しており、承認プロセスでは常に「進みが遅い」との批判が続きまってきた。目下進行中の新gTLD導入プロセスでは、sTLD承認プロセスでの教訓を活かすことが期待されていたが、当初のスケジュールよりもポリシー実装に時間を要しており、やはり新TLDの導入は一筋縄ではいかないという感じが感じられる状況となっている。

1-2 新gTLDの導入に関する議論の動向

ICANN では 2003 年 12 月以降、順次スポンサ付き新 gTLD (sTLD) の導入が進んでいる。新しい gTLD を順次導入してその数を増やすことは、ICANN が設立された当初から ICANN に課せられた責務であり、そのプロセスの第一弾としてまず 2000 年 11 月に 7 つの新 gTLD (.info / .biz / .name / .pro / .aero / .coop / .museum) を導入することが決定された。当初はこれらの gTLD の導入状況を評価、検証して、その後続く gTLD をどのように導入していくかを検討していく予定であった。しかし、折しも ICANN 改革についての議論が沸騰していたこともあり、これら新 gTLD の評価が遅々として進まない状況となった。そこで 2002 年 11 月に、まずは規模が比較的程度小さいと思われるスポンサ付き新 gTLD の導入を先に進めようという提案が当時の ICANN 事務総長であった Stuart Lynn 氏からなされ、2002 年 12 月の理事会でその進め方が承認されたのである。

このように、当初は新gTLDの導入を目指して始まった議論は、sTLDの導入に関する議論と、今後新たなgTLDをどのようなポリシーに基づいて選定、導入していくのかという議論とに分化した。前者に関しては「スポンサ付きトップレベルドメイン (sTLD) の導入の状況」において進捗を報告したので、そちらを参照されたい。後者の議論に関しては、2004 年 9 月 30 日に「戦略：新たな分野別トップレベルドメインの導入」という報告書が発表³⁹され、ポリシー策定のための手順が提示された。それ以降、新gTLDの導入の手続き等に関する議論が深まり、2005 年には新gTLDに関する課題報告書の公開⁴⁰、評価依頼事項の公開⁴¹と矢継ぎ早に新gTLD導入に関する議論が進み、2006 年 2 月にはICANNのGNSOから新gTLDの導入に関してそれまでの検討をまとめた初回レポート⁴²が提出された。その後は、2006 年 2 月に初回レポートドラフト、2006 年 7 月に初回レポート、2006 年 9 月に勧告のドラフト、2007 年 2 月に勧告のドラフトを元にした最終レポートドラフトが提出されるにつれ、評価委任事項に沿った検討が深化し、新gTLD導入に関する条件が明確になっていった。続いて、GNSO評議会メンバーの議論等を反映させた最終レポートドラフトが 2007 年 3 月、2007 年 6 月と再度提出され、GNSO評議会におけるこれまでの議論の集大成として、2007 年 8 月に最終報告書が提出され、GNSOの勧告がまとめられた。その後、ICANN理事会はGNSOの勧告に対するの決議を 2 回見送ったが、2008 年 6 月のパリ会議で採択し、2009 年 2 月にはRFPとなる”Draft Applicant Guidebook”の第 2 ドラフト版が公開されるまでに至った。ここでは、各段階における議論の内容を振り返りつつ、2009 年 3 月までの動きについて報告する。

³⁹ <http://www.icann.org/tlds/new-gtld-strategy.pdf>

⁴⁰ <http://gns0.icann.org/issues/new-gtlds/gns0-issues-rpt-gtlds-05dec05.pdf>

⁴¹ <http://www.icann.org/announcements/announcement-06dec05.htm#TOR>

⁴² <http://icann.org/topics/gns0-initial-rpt-new-gtlds-19feb06.pdf>

- 新 gTLD 導入に関する GNSO の初回レポートドラフトを公開（2006 年 2 月）

2006 年 2 月 19 日に、GNSO は新 gTLD 導入に関する初回レポートのドラフトを公開した。本ドラフトの結論は概ね以下の通りである。

- 新 gTLD の導入は、その頻度や条件に関しては実に幅広い意見があったにも関わらず、導入自体に反対する意見は無かった。ほとんどの意見は、gTLD の創設は ICANN の義務だとするものであった。
- 一方、新 gTLD をいくつ、どのような頻度で創設するか、スポンサ付きとするのかしないのか、またどのような文字列が割り振られるべきかについては合意が無かった。
- レジストリ運用にあたり、標準化された契約条件を契約前に公開すべきという点については概ね合意が得られた。
- 2 つのシナリオについて検討する必要がある。1 つは、新 gTLD の導入を 1 つに制限すべきとするもので、もう 1 つは、より幅広い申請を認めていこうというものである。
- 新 gTLD の導入に伴い、総額でどれくらいのコストが発生するのか（法務担当や理事会のコストも含む）運用上のインパクトをさらに分析することが必要である。
- 新 gTLD の導入の要望度に関して、エンドユーザからの観点からの事実に基づいた市場分析が有用である。
- gTLD を「公認」「非公認」に分類するというのも試してみる価値があるかもしれない。

- ICANN ウェリントン会議での議論（2006 年 3 月）

2006 年 3 月の ICANN ウェリントン会議では、上記ドラフトレポートを元に議論が行われた。会期中、この議論の進捗を GNSO 評議会チェアで当時の新 gTLD 検討委員会のチェアでもある Bruce Tonkin 氏が報告⁴³している。その内容は以下の通りである。

- 新 gTLD の導入の是非については、導入すべきという意見でほぼコンセンサスに至った。しかし、妥当な選定基準があるのならという条件付きである。
- 既に選定基準を提案してきている部会もある。強い支持を受けたのは、技術的要件に適合すること（IDN 標準や、業務に関連する IETF の RFC）、申請費用を支払うこと、財政的に安定していることを示すこと、新 gTLD 設立の目的において、他の gTLD と明確に区別可能なことという諸条件である。

⁴³ <http://gns0.icann.org/issues/new-gtlds/new-gtld-pdp-28mar06.pdf>

- この他にも、ICANN 認定レジストラを利用すること、当該 gTLD のチャーター、目的に沿うことを保証する仕組みがあること、ICANN のポリシーに従うことという諸条件も強い支持を得ている。
- 選定基準で強い支持とまではいかないが概ね支持を受けた事項としては、申請者がきちんと定義されたコミュニティを代表する組織であり、かつ登録者はそのコミュニティに属する者であるべきというもの、登録資格の正確な検証を行うことというものなどが挙げられる。
- gTLD 名の割り当てについては、早い者勝ちにするのか、比較評価を行うかのどちらかであるがまだ結論は出ていない。
- 新 gTLD の契約条件についてはまだ議論中で結論が出ていない。

- ICANN 理事会の決議（2006 年 3 月）

上記報告を受け、ICANN 理事会は「ICANN は 2007 年 1 月までに新 gTLD 募集のプロセスを開始する意図がある」ということ、及び「GNSO は次回の ICANN マラケシュ会議（2006 年 6 月）までに本件に関する正式な初回レポートを提出するよう、努力すること」という決議を行った。

ICANN 理事会側から GNSO に対してプロセスを早めるよう要求する決議が出るというのは、これまでの ICANN からすると異例のことであり、ICANN 理事会が新 gTLD プロセスを早く進めたがっていることの現れと解釈することもできる。当時の ICANN 理事の一人である伊藤穰一氏からは、これが実現すると、VeriSign の半独占とも言える状況を将来的には変えていくことができるのではないかという期待を持った発言もなされている。

- GNSO 初回レポートの提出（2006 年 7 月）

2006 年 6 月のマラケシュ会議での議論を受け、GNSO は 2006 年 7 月にそれまでの議論の結果をまとめた初回レポートの最終版⁴⁴を提出した。以下、2005 年 12 月に出されている評価委任事項⁴⁵に沿ってその内容を見ていく。

- 新しい gTLD は導入されるべきか。
 - ◇ 新しい gTLD は導入されるべきであり、後述する勧告を考慮に入れた上で、導入を実現させるための作業が進められるべきである。

⁴⁴ <http://gns0.icann.org/drafts/newgtlds-issues-report-01-28jul06.htm>

⁴⁵ <http://www.icann.org/announcements/announcement-06dec05.htm>

- 導入されるべきとした場合、その選択の基準はどのようなものか。
 - ◇ プロセスに関する基準として、申請費用の支払い、申請にあたっての信義則、申請終了までの明確な締め切りが設けられるべきである。
 - ◇ 技術的な基準としては、IETF の RFC その他の技術標準に準拠すること、IDN を提供する場合、関連する IETF 標準及び ICANN の IDN ガイドラインの内容を遵守することが必要である。申請者が gTLD に ASCII に基づいた文字列を提案するか、その他の文字列を提案するかに関わらず一貫した取り扱いをするべきかについては更なる議論を要する。
 - ◇ 申請者は ICANN のコンセンサスポリシーに従わなければならない。
 - ◇ 申請する gTLD は、その目的において明確に既存のものと区別できるものでなければならない。IDN トップレベルドメインに関してこの要求がどのような影響を持つかは議論が尽くされたわけではなく、更なるインプットが必要である。
 - ◇ 申請者は、当該 TLD に関してその目的等を遵守するための仕組み、及び違反の登録に対処する仕組みを持たなければならない。
 - ◇ 申請者は、レジストリ業務を行うに必要な財政面、運用面でのリソースを持っていることを示さなければならない。

- どのような割り振りの手法が適切か
 - ◇ 原則は早い者勝ちとして申請を進めるべきであるが、同じ文字列の申請が来た際もしくは審査するスタッフのリソースが足りない等の事情がある場合において議論がある。この場合、オークションまたはくじによって優先度を定めるか、もしくは申請内容の相互比較によって優先度を定めるかの 2 つの選択肢が提示されているが、この 2 つはそれぞれほぼ同じ程度の支持を得ており、決着はついていない。

- 契約条件を詰める指針となるべきポリシーはどのようなものか
 - ◇ 法令遵守の手法の確立についてさらに検討が必要であり、現時点では結論は出していない。

この報告書において、gTLD の選択基準はその大枠が定まってきたように見える。しかし細部においてまだ詰めるべき点があることも報告書内で認めているという状況である。

● GNSO による勧告ドラフトの公開（2006 年 9 月）

GNSO では上記初回レポート提出の後にさらに検討を重ね、2006 年 9 月に GNSO としての

勧告ドラフトをまとめ、公開⁴⁶した。その内容を再度評価委任事項に沿って見ていく。

- 新しい gTLD は導入されるべきか。
 - ◇ 新しい gTLD は導入されるべきであり、後述する勧告を考慮に入れた上で、導入を実現させるための作業が進められるべきである。(初回レポートに同じ)

- 導入されるべきとした場合、その選択の基準はどのようなものか。
 - ◇ (初回レポートの内容から、gTLD の文字列についての要件が追加された。)
 - ◇ ICANN は、gTLD の申請が文字列の要件に従っているか予備的に判断する期間を設ける。その期間内には、専門家の助言を受けることができる。
 - ◇ 新しい文字列の要件については、ICANN はパブリックコメント期間を設けるものとする。
 - ◇ 申請された gTLD の文字列が要件を満たさない可能性があるとして ICANN が判断した際は、ICANN は専門家からなるパネルに当該申請を付託することができる。
 - ◇ gTLD の文字列は、既存の TLD の文字列と混同を引き起こすほど類似してはならない。
 - ◇ gTLD の文字列は、他のいかなる第三者の法的権利を侵害するものであってはならない。
 - ◇ gTLD の文字列は、技術的な問題を引き起こすものであってはならない。
(.localhost や、.exe などは gTLD の文字列としては認められない。)
 - ◇ gTLD の文字列は、国内及び国際法に抵触するものであってはならない。
 - ◇ ICANN は、当該文字列が既存の gTLD 文字列と混同を引き起こすほど類似しているかどうかの争い(既存のレジストリからの申立)を、独立した紛争解決機関を使って解決するためのプロセスを提供しなければならない。紛争解決機関によって混同を引き起こすほど類似していると判断された文字列は、その後いかなる組織も申請できない。
 - ◇ ICANN は、当該文字列が既存の商標と混同を引き起こすほど類似しているかどうかの争い(既存の商標権者からの申立)を、独立した紛争解決機関を使って解決するためのプロセスを提供しなければならない。この紛争解決のプロセスは、既存の UDRP のプロセスを用いて行われる。

- どのような割り振りの手法が適切か
 - ◇ 早い者勝ち(First Come, First Served)の原則を採用するが、複数回のラウンドに分けて募集する。

⁴⁶ <http://gns0.icann.org/issues/new-gtlds/recom-summary-14sep06.htm>

- ◇ 新 gTLD 募集の初回ラウンドは、募集をかけることを決議した理事会の日から少なくとも 4 ヶ月後以降に開始することとし、ICANN は募集開始日を広く周知する。
 - ◇ 申請は受け付けたものから日付順に整理される。
 - ◇ 初回ラウンドの締め切り日は、開始日から少なくとも 30 日後以降の日とする。
 - ◇ 申請された文字列は、締め切り日まで公開されないものとする。
 - ◇ 同じ文字列の申請があった場合、もしくは混同を引き起こすほど類似している文字列の申請があった場合、まずそれらの申請が文字列要件を満たしているかの審査を行う。
 - ◇ 次に申請者同士で協議を行う（異なる文字列を選択する、一緒に申請するなど）時間を設定する。
 - ◇ 申請者間で協議が成立しなかった場合、ICANN はそれぞれの申請者がコミュニティからどれほどのサポートを得ているかを評価する。申請者は追加資料を提出するための 90 日の猶予が与えられる。この評価で却下された申請者は、次回の申請ラウンドまで新しい申請を行うことはできない。
 - ◇ ICANN スタッフがどちらの申請が良いか判断出来ない場合、ICANN 理事会が ICANN の使命と主たる価値に基づいて判断を行う。この評価で却下された申請者は、次回の申請ラウンドまで新しい申請を行うことはできない。
 - ◇ 申請を承認された申請者は、その文字列を使ったサービスを適切な期間内に開始しなければならない。
- 契約条件を詰める指針となるべきポリシーはどのようなものか
- ◇ ある程度の一貫性を保つため、レジストラ契約のように大枠となる契約があるべきである。その契約の枠内であれば、ICANN スタッフが承認の権限を与えられるべきで、枠内に止まらない契約になれば、パブリックコメントに付した上で ICANN 理事会が判断するべきである。
 - ◇ 契約内容は、市場プレイヤーと ICANN との間で変化する市場や技術、ポリシー上の条件を十分カバーできるようなものであるべきである。
 - ◇ 新 gTLD の初期契約期間は商慣習的に合理的な長さであるべきである。（例えば 10 年。ただし、ケース毎に判断する場合がある）
 - ◇ 契約は重大な違反が無い限りは自動延長されるべきである。
 - ◇ 契約違反の場合に契約を打ち切ることが出来る条項を明確に設けておくべきである。
 - ◇ ICANN でコンセンサスとなったポリシーに準拠させる条項を設けるべきである。
 - ◇ レジストリが IDN を提供する場合は、契約上でその旨明記しておくべきである。

る。

- ◇ 最初の契約時は、競争を管轄する政府当局等に対し、契約中に法令違反が無いかどうか確認するものとする。
- ◇ ICANN はレジストリ料金について、地域や経済、ビジネスモデルの違いを考慮に入れた上で、一貫したアプローチを取るべきである。
- ◇ 個人情報の取り扱いについては、それが第三者から入手可能になるのはどのような場合かについて、レジストリは定義しておかなければならない。

上記を見れば分かるとおり、初回レポートの内容からはかなり要件が詳細にわたり詰まってきた。

● GNSO による最終レポートドラフト提出（2007 年 2 月）

GNSO の作業部会ではさらに議論を進め、上記勧告ドラフトの内容を元に最終レポートのドラフトを 2007 年 2 月に公開⁴⁷した。ここに至り gTLD の各種選定条件がほぼ整ってきている。以下に最終レポートドラフト内で示されている選定条件を列挙する。

➤ 文字列の条件

- ◇ 既存の gTLD と混乱を引き起こすほど類似してはならない。
- ◇ 第三者の権利を害するものであってはならない。
- ◇ 技術的不安定をもたらすものであってはならない。
- ◇ 予約語（ICANN との関係において。ASO や IANA など）であってはならない。
- ◇ 公共政策に反するものであってはならない。（GAC の助言による）

➤ 申請者の条件

- ◇ 申請者は自らの技術的能力を示さなければならない。
- ◇ 申請者は自らの財政、運営能力を示さなければならない。

➤ プロセスの条件

- ◇ 明確で前もって公開された、客観的で計測可能な基準が示されなければならない。
- ◇ プロセスの始めに、基本契約書が申請者には示されなければならない。
- ◇ 申請に関して予備的決定を行うために、専門家からなるパネルの使用とともにスタッフがその任にあたり、決断を行う。

⁴⁷ <http://gns0.icann.org/drafts/GNSO-PDP-Dec05-FR13-FEB07.htm>

- ◇ プロセスに先立ち、紛争解決や異議申し立てのプロセスを確立しておく必要がある。
- 割り振りの条件
 - ◇ 申請は複数のラウンドにわけて行われる。
 - ◇ 申請された文字列は申請締め切り後に公開される。
 - ◇ 複数の申請が同じ文字列に対してなされた場合、まず申請者間である特定の時間内に調整ができるかを試み、調整出来なかった場合はこれを解決するためのプロセスを進める。
 - ◇ 最終判断は、スタッフ及び専門家からなるパネルの助言に基づき、ICANN 理事会が行う。
- 契約条件
 - ◇ 基本契約書が RFP の一部として提供されるべきである。
 - ◇ 初期契約期間は、商慣習に照らして合理的な長さであるべきである。
 - ◇ 自動更新の仕組みを取り入れるべきである。
 - ◇ 法令遵守や制裁のプロセスを明確に基本契約書に盛り込み、契約破棄ができるようにすべきである。
 - ◇ レジストリは既存のコンセンサスポリシーに従い、今後成立するコンセンサスポリシーも採用することをコミットするべきである。
 - ◇ レジストリが IDN を提供する場合、ICANN の IDN ガイドラインに従わなければならない。
 - ◇ レジストリは ICANN 認定レジストラを利用しなければならない。
- 実施にあたってのガイドライン
 - ◇ コスト回収のための申請費用はあるべきである。申請費用は申請者毎に異なっても良い。
 - ◇ 早い者勝ちを原則としてプロセスの順番を決定する。
 - ◇ 申請は受け付けた日付と時間を記録する。
 - ◇ 申請提出の日付は、RFP を出してから少なくとも 4 ヶ月後とする。
 - ◇ ICANN は申請受け付けを広く周知するものとする。
 - ◇ 申請期間は少なくとも開始してから 30 日とする。
 - ◇ 申請者は申請が承認された場合、当該 gTLD を合理的な時間内に利用開始しなければならない。
 - ◇ 基本契約書は ICANN が変化する市場や技術、ポリシー上の条件を十分カバーできるようなものであるべきである。

- ☆ ICANN はレジストリ料金に関して一貫したアプローチを取るべきである。
- ☆ 個人情報の使用は、それを収集する目的の範囲内でのみ制限される。

2006年9月の勧告ドラフトの内容とそれほど変化はないものの、条件の記述がより簡潔に、かつ具体的な方向に変わってきたことがわかる。

この後、続いて、GNSO評議会メンバーの議論等を反映させた最終レポートドラフトが2007年3月⁴⁸、2007年6月⁴⁹と再度提出され、GNSO評議会におけるこれまでの議論の集大成として、2007年8月に最終報告書⁵⁰が提出された。

● GNSOによる最終レポート提出（2007年8月）

2007年3月以降のレポートは、冒頭の要約部分にてGNSO評議会メンバーが新gTLDを導入する上で優先事項と考えている事柄からなる原則（Principles）、勧告、およびICANNスタッフが2007年3月のリスボン会議でGACより提示された原則⁵¹も考慮しつつGNSOメンバーとも協調して作成した実施にあたってのガイドライン（Implementation Guidelines）の3要素が整然とまとめられた内容となっている。また、これら3要素の中の各項はそれぞれ、ICANNの付属定款に記されるICANNのミッションと基本的価値観に対応付けされている。

以下に、最終報告書における勧告とガイドライン（略称IG）を列挙する。

- 勧告 1： 全ての GNSO 部会は、新 gTLD 導入を支持する。
- 勧告 2： 既存の TLD 文字列と混乱を引き起こすほど類似してはならない。
- 勧告 3： 文字列が、一般的に受容され国際的に認知されている法の原則の下で法的効力を持つ第三者の権利を害するものであってはならない。
- 勧告 4： 技術的不安定をもたらすものであってはならない。
- 勧告 5： 予約語であってはならない。
- 勧告 6： 文字列は、国際的な法の原則の下で考えられる公序良俗に関連して一般的に受容されている法的規範に反するものであってはならない。
（GAC の助言による）

⁴⁸ <http://gnso.icann.org/drafts/pdp-dec05-draft-fr.htm>

⁴⁹ <http://gnso.icann.org/drafts/pdp-dec05-fr-a-18jun07.pdf>

⁵⁰ <http://gnso.icann.org/issues/new-gtlds/pdp-dec05-fr-parta-08aug07.htm>
<http://gnso.icann.org/drafts/pdp-dec05-fr-b-18jun07.pdf>

⁵¹ http://gac.icann.org/web/home/gTLD_principles.pdf

- 勧告 7 : 申請者は自らの技術的能力を示さなければならない。
- 勧告 8 : 申請者は自らの財政、運営能力を示さなければならない。
- 勧告 9 : 明確で前もって公開された、客観的で計測可能な基準が示されなければならない。
- 勧告 10 : プロセスの始めに、基本契約書が申請者には示されなければならない。
- 勧告 11 : (欠番)
- 勧告 12 : プロセスに先立ち、紛争解決や異議申し立てのプロセスを確立しておく必要がある。
- 勧告 13 : 申請の希望数が明確になるまでは、初めのうちは申請は複数のラウンドに分けて行われなければならない。
- 勧告 14 : 初期契約期間は、商慣習に照らして合理的な長さであるべきである。
- 勧告 15 : 自動更新の仕組みを取り入れなければならない。
- 勧告 16 : レジストリは既存のコンセンサスポリシーに従い、今後成立するコンセンサスポリシーも採用しなければならない。
- 勧告 17 : 法令遵守や制裁のプロセスを明確に基本契約書に盛り込み、契約破棄ができるようにしなければならない。
- 勧告 18 : レジストリが IDN を提供する場合、ICANN の IDN ガイドラインに従わなければならない。
- 勧告 19 : レジストリは ICANN 認定レジストラを利用しなければならず、不公平な取り扱いを受けるレジストラがあってはならない。
- 勧告 20 : 応募のあった文字列に対して、当該文字列を登録するのに相応しいと思われるコミュニティからの反対が投じられたと専門家パネルが判断すれば、その応募は却下される。
-
- IG A : 申請プロセスにおいて、新 gTLD の申請提出を促進できるよう申請者向けのロードマップを事前に明示する。
- IG B : コスト回収のための申請費用はあるべきである。申請費用は申請者毎に異なっても良い。
- IG C : ICANN は、申請者やコミュニティとのコミュニケーションの場を、コメントフォーラムも含めて頻繁に用意する。
- IG D : 申請期間中および必要あらば進行中のプロセスの間も、先願制を原則とする。申請は受け付けた日付と時間を記録する。
- IG E : 申請提出の日付は、RFP を出してから少なくとも 4 ヶ月後とし、ICANN は申請期間の開始を促す。
- IG F : 複数の申請が同じ文字列に対してなされた場合、
i) まず申請者間である特定の時間内に調整ができるかを試み、

ii) 調整出来なかった場合は、あるコミュニティをサポートすると主張する組織が申請への優先権を認められると考える。そのような主張や相互調整が無い場合は、これを解決するためのプロセスを進める。

iii) 最終判断は、スタッフ及び専門家からなるパネルの助言に基づき、ICANN 理事会が行う。

IG H⁵² : sTLDや特定のコミュニティのためのTLDのように、申請するTLDがある特定のコミュニティをサポートするものであると申請者が主張する場合、信用することとするが、次は例外とする：

(i)別の申請にも影響を与える文字列に関する主張や、コミュニティをサポートするという主張が申請において優先権を獲得するための場合

(ii)正式な異議申し立てのプロセスが開始した場合

これらの例外が出た場合、スタッフである評価者は主張を調査するための基準や手順を策定する。

例外(ii)については、専門家パネルが「IG P」に記載の手順、ガイドライン、定義を適用する。

IG H : 外部の紛争処理機関が異議申し立てへの裁定を下す。

IG I : 申請者は申請が承認された場合、当該 gTLD を申請期間中に指定される予め決められた時間内に利用開始しなければならない。

IG J : 基本契約書は ICANN が変化する市場や技術、ポリシー上の条件を十分カバーできるようなものであるべきである。

IG K : ICANN はレジストリ料金に関して一貫したアプローチを取るべきである。

IG L : 個人情報の使用は、それを収集する目的の範囲内にのみ制限しなければならない。

IG M : ICANN は、参加者が英語を読み書きできなくても、重要かつ技術的なインターネットガバナンス機能に関するコミュニケーションを効果的に行えるようにするための能力開発やサポート体制を構築することもある。

IG N : ICANN は、国連が後発発展途上国と分類する経済圏にある gTLD 申請者に対しては、料金値下げの仕組みを導入することもある。

IG O : ICANN は、gTLD プロセスに関する情報を提供できるようなシステムを、6つの国連公用語等のような英語以外の主要言語で導入することもある。

IG P : 次の手順、定義、ガイドラインは、勧告 20 について触れる手順

異議申し立ては、反対意見をもっておこなわれること。

裁定は、紛争解決のために組成された紛争解決パネルにより下される。

申し立てをする者は、自組織がコミュニティにおいて確立された組織であ

⁵² 「G」の間違いと思われるが、最終報告書内の表記のままとする。

ることを立証できる証拠を提出しなければならない。

ガイドライン

パネルのタスクは、反対意見に対する判断を下すことである。(判断項目の解釈の仕方については割愛)

IG Q: ICANN スタッフは、異議申し立ての手順についてパブリックコメントを投じる人すべてに自動応答する。

IG R: 正式な異議申し立てや紛争が審理のために受理されると、パネルの審理前に当事者間で紛争や異議申し立てを解決できるクーリングオフ期間が設けられる。

2007年2月の最終レポートドラフトと比較すると、勧告の部分の内容は大筋で同様であるが、要求の度合いが高まって語調が厳しくなっている点と、一部がガイドラインの項目となった点が異なっている。ガイドラインは、より明確になり、項目も追加された。

GNSOによる最終レポートは、2007年8月10日～30日のパブリックコメント期間を経て、2007年9月6日のGNSO評議会にて特別多数にて採択され、理事会に提出することが決議された。理事会レポート⁵³は、GNSO評議会のウェブサイトを見ると、次項に記すロサンゼルス会議の最終日である2007年11月2日に掲示されているが、本文を見ると2007年9月11日の日付が記されており、GNSO評議会会議の後5営業日で提出することとなっている付属定款に則り作成されたものと思われる。

● ICANN ロサンゼルス会議での議論 (2007年10～11月)

ロサンゼルス会議では、GNSO 評議会が採択した最終報告書に関して、6時間にわたるワークショップが開催され、内容についての網羅的な説明や、コミュニティとのディスカッションが行われた。参加者からは多くのコメントが上がり、新 gTLD 導入に多くの関心が寄せられていることが窺えた。しかしながら、好意的な反応よりも、勧告6と勧告20に対する否定的なコメントが目立ったことが特徴的であったと言える。この2つの勧告は、各国で捉え方が異なる公序良俗に関する判断や文字列の選別を ICANN が行うといった内容を含んでおり、これらは ICANN が負っている技術的な役割を超えた、恣意的、政治的な判断を伴うため適当ではない、というのが反対意見が投げられた主な理由である。

理事会は、新 gTLD 導入について特段の決議は行わず、ICANN スタッフに対して、勧告の実装に関する分析を進めると共に、2008年1月の理事会までに理事会とコミュニティにフィードバックするよう要請し、会議を終えた。

⁵³ <http://gns0.icann.org/issues/new-gtlds/council-report-to-board-pdp-new-gtlds-11sep07.pdf>

- ICANN ニューデリー会議での議論（2008年2月）

ニューデリー会議では新 gTLD 導入に関する目立った進捗はなく、ロサンゼルス会議以降理事会の決議待ちの状況から大きな進展は生じなかった。前述のごとく、GNSO が提出した勧告が倫理的、政治的な判断を要する内容等を含んでいたため、理事会での判断に時間を要していることが想像された。本会議においても、理事会は ICANN スタッフに対して、勧告の実装に関する分析を引き続き進めるよう要請して終わった。

ただ、会期中の ICANN Public Forum では、ICANN スタッフより資料「New gTLD Program Status⁵⁴」を用いて、その時点で ICANN が想定する新 gTLD 実装のタイムラインが以下の通りであることが説明された。

- 2008年4月～6月： 理事会が勧告を承認
- 2008年6月中旬： ドラフト RFP の提示
- 2008年9月中旬： パブリックコメント期間や修正期間を経て、理事会が最終 RFP と実装計画を承認
- 2008年10月： RFP 公示開始(90日間公開)

また、ニューデリー会議前にも、2007年12月には紛争解決サービス機関からの関心表明の募集、RFP策定を依頼する業者の選定（Deloitte Audit & Enterprise Risk Services（ベルギー）と Interisle Consulting Group（米国）の2社を選定）、2008年1月にはオークション設計の専門家からの関心表明の募集、2008年2月には新 gTLD 導入が DNS の安定性に与える影響についての意見募集⁵⁵、過去の新 gTLD 導入ラウンドで採用されなかった申請に関する情報の公開などが行われており、ICANN スタッフレベルでの準備が順次進められている様子を感じ取ることができた。

- ICANN パリ会議での議論（2008年6月）

ICANN スタッフにより時間をかけて検討が行われた結果、GNSO から提出された勧告は実装可能であると判断され、パリ会議において理事会により GNSO の勧告が承認されるに至った。これにより、2005年12月に開始された新 gTLD 導入に関するポリシー策定プロセス（PDP）は、約2年半を経て終息した。理事会が GNSO の勧告を採択したことは、新 gTLD 導入のプロセスにおいて一歩前進したと言うことができ、メディアの中には理事会が

⁵⁴ <http://delhi.icann.org/files/NewgTLDPresentationPublicForum.pdf>

⁵⁵ <http://www.icann.org/announcements/announcement-06feb08.htm>

GNSO の勧告を採択したことをセンセーショナルに報道しているものも見受けられた。しかしながら、PDP が終息したということは、ポリシー実装に向けて詳細を詰め具体的な実装計画に落とし込んでいく作業にやっと取り掛かれる段階に入ったということであり、その後直ぐに新 gTLD が導入されることを意味するものではないことに留意する必要がある。

パリ会議において、その時点でICANNが想定している新gTLD実装のスケジュールとして、資料”New gTLD Implementation Model⁵⁶”に基づきICANNスタッフより下記の説明があった。

- 2008 年第 4 四半期： ドラフト RFP の公開
(3~4 ヶ月間)： 意見募集期間やドラフト RFP 修正期間を経て、理事会が最終 RFP を承認
- 2009 年第 1 四半期： 最終 RFP の公開
 この後、新 gTLD 導入プロセスに関する公示期間を少なくとも 4 ヶ月設ける
- 2009 年第 2 四半期頃： 申請受け付け開始

このスケジュールは、前回のニューデリー会議で説明されたスケジュールよりも、全体的に 3~4 ヶ月程度繰り下げられていた。パリ会議の後に、ICANN スタッフにより実装計画が策定され、その実装計画は新 gTLD 導入プロセスの開始前に、コミュニティからの意見募集に付され、理事会により承認される必要がある。ICANN スタッフによる実装計画の策定はもとより、理事会承認を得るまでの過程でも想定より時間を要することが予想され、今後もスケジュールが変更される可能性はあると見る向きも少なからずあった。

- ドラフト版 RFP ”Draft Applicant Guidebook”の公開 (2008 年 10 月)

2008 年 11 月上旬のカイロ会議での議論に向けて、2008 年 10 月 23 日には、ICANN より新gTLD導入に関するドラフト版RFPとなる”Draft Applicant Guidebook (以下、ガイドブックドラフト版)⁵⁷”が公開され、2008 年 12 月 15 日まで意見募集が行われた。ICANN スタッフにより実装計画の策定が進められ、その内容を反映させたものとして公開されたのがこのガイドブックドラフト版であり、新gTLDの申請手続きや評価プロセス等について記されている。ガイドブックドラフト版は、6 部構成で 97 ページから成り、各部についての詳細資料となる説明覚え書き (Explanatory Memoranda) もガイドブック本体とは別に 7

⁵⁶ <https://par.icann.org/files/paris/gTLDUpdateParis-23jun08.pdf>

⁵⁷ New gTLD Program: Draft Applicant Guidebook (Draft RFP)
<http://www.icann.org/en/topics/new-gtlds/draft-rfp-24oct08-en.pdf>

点公開された⁵⁸。

以下に、ガイドブックドラフト版の概要を記す。

➤ 新 gTLD を申請するにあたっての要件

- ◇ 申請する gTLD は、Open gTLD か Community-based gTLD であること (IDN の申請も可能)

1.2.2.1 Definitions

For purposes of this RFP, an open gTLD is one that can be used for any purpose consistent with the requirements of the application and evaluation criteria, and with the registry agreement. An open gTLD may or may not have a formal relationship with an exclusive registrant or user population. It may or may not employ eligibility or use restrictions.

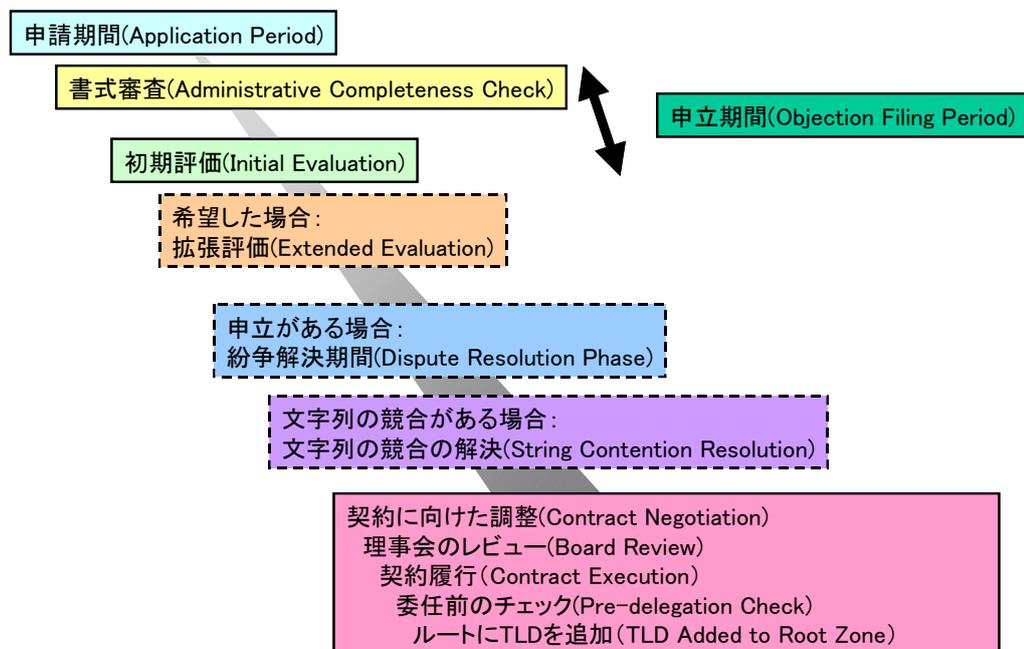
For purposes of this RFP, a community-based gTLD is a gTLD that is operated for the benefit of a defined community consisting of a restricted population. An applicant designating its application as community-based will be asked to substantiate its status as representative of the community it names in the application, and … (以下略)

- ◇ すでに設立されている優良な法人、組織、機関からの申請が受け付けられ、個人や個人事業主からの申請は考慮されない。

⁵⁸ <http://www.icann.org/en/topics/new-gtld-program.htm>

➤ 新 gTLD 申請フロー

新 gTLD 申請フローの概略は、下記の通りとなっている。破線で囲まれたプロセスは、必ずしも起こるとは限らない。



➤ 申請期間 (Application Period)

- ◇ 申請者は、オンライン申請システム (ICANN's TLD Application System, TAS) 経由で申請する。ユーザー登録費用は USD 100。TAS が ICANN とのインターフェースとなり進捗等を確認できる。
- ◇ 申請期間中に申請料金 (gTLD Evaluation Fee) USD 185,000 を支払い、必要書類を揃えて提出すること。
- ◇ 申請期間後の提出は受け付けられず、必要書類の追加提出も基本的に受け付けられない。
- ◇ 申請期間開始と共に、意見募集期間も開始する。寄せられたコメントは、初期評価 (Initial Evaluation) ・拡張評価 (Extended Evaluation) の評価者や紛争処理機関 (DRSP) にも届けられ、参考にされることもある。

➤ 書式審査 (Administrative Completeness Check)

- ◇ 申請内容に不備がないか (すべての質問事項に回答しているか、添付書類を揃えて提出しているか、申請料金 (gTLD Evaluation Fee) が振り込まれているか) について、ICANN がチェックする。

- ◇ 書式審査が済むと、ICANN は次の評価に進める申請のリストを公開する。(この後に、申立期間 (Objection Filing Period) が開始し、初期評価期間 (Initial Evaluation Period) の終了後まで続く。)

- 初期評価 (Initial Evaluation) / 拡張評価 (Extended Evaluation)

初期評価 (Initial Evaluation) においては、評価者が主に 2 点についてレビューを行う。

 - ◇ 文字列のレビュー
 - ・ 既存 TLD および他の申請文字列 (IDN ccTLD Fast Track の ccTLD も含む) との類似性を、アルゴリズムによるスコアと共にパネルが判断
 - ・ DNS の安全性・安定性をおびやかさないか
 - ・ 地理的名称であるか (国・地域 (ISO 3166-1)、郡・省・州 (ISO 3166-2)、市、大陸、国連地域の名称の申請には、政府もしくは公的機関が支持もしくは反対しないことを記す文書が必要)
 - ◇ 申請者に関するレビュー
 - ・ 技術面および運用面の能力
 - ・ 財政能力
 - ・ レジストリサービス案
 - ◇ 初期評価に合格した申請者のリストを ICANN が公開
 - ・ 初期評価に合格しなかった場合

下記の場合には、申請者が不合格通知受領後 15 営業日以内に要求すれば、1 回のみ拡張評価 (Extended Evaluation) を受けることができる

 - 技術面および運用面の能力の証明に合格できなかった場合
 - 財政能力の証明に合格できなかった場合
 - DNS の安全性・安定性をおびやかさないかという点について、レビューが更に必要であると ICANN が判断した場合
 - レジストリサービス案について、レビューが更に必要であると ICANN が判断した場合 (申請者は、Registry Service Review Fee (約 USD 50,000 もしくはそれ以上) を支払う必要がある)
 - ・ 初期評価に合格しなかった場合、申請の撤回も可能。拡張評価を通過できなければ、先のプロセスには進めない

- 紛争解決期間 (Dispute Resolution Phase)

下記の 4 つの理由による申立が起こりうる。

 1. 文字列の混同による申立 (String Confusion Objection)
 2. 法的権利に基づく申立 (Legal Rights Objection)

3.公序良俗に関する申立 (Morality and Public Order Objection)

4.コミュニティからの申立 (Community Objection)

(Open gTLD にもコミュニティからの申立が行われることもある)

◇ 1.文字列の混同による申立 (String Confusion Objection)

申立理由	申請文字列が既存の gTLD もしくは他に申請されている gTLD 文字列に誤認混同を引きおこすほど類似している
申立者	既存の TLD 運用者もしくは他の新 gTLD 申請者が申立できる
紛争処理機関 (DRSP)	International Centre for Dispute Resolution
パネル	パネリスト 1 名
料金	固定料金となる予想

◇ 2.法的権利に基づく申立 (Legal Rights Objection)

申立理由	申請文字列が申立者の既存の法的権利を侵害する
申立者	権利者が申立できる
紛争処理機関 (DRSP)	The Arbitration and Mediation Center of the World Intellectual Property Organization
パネル	パネリスト 1 名
料金	固定料金となる予想

◇ 3.公序良俗に関する申立 (Morality and Public Order Objection)

申立理由	申請文字列が国際的な法の原則に基づく公序良俗に反している
申立者	未定
紛争処理機関 (DRSP)	International Chamber of Commerce
パネル	パネリスト 3 名
料金	時間給の課金となる予想 (見積りで請求、追加課金もあり得る)

☆ 4.コミュニティからの申立 (Community Objection)

申立理由	申請文字列が対象としているコミュニティの大部分から申請文字列に対して反対がある
申立者	既存の団体(Established Institution)が申立できる
紛争処理機関 (DRSP)	申立する団体は、世界的認知度、存続期間、組織が存在することの証明等を提出しなければならない
パネル	International Chamber of Commerce
料金	パネリスト 1 名

- 申立を受けた申請者は、下記の方法を選択できる
 - 答弁し手続きに参加する
 - 申請を取り下げる (⇒申立が認められる)
 - 答弁しない (⇒申立が認められる)
- 申立書・答弁書は英語で記述する。紛争処理手続きは原則英語で進められるが、紛争処理機関の定めによっては他の言語で行われることもある。
- 和解のための時間 (cooling off period) を取ることも可能。
- ICANN では、原則として、パネルの指名から 45 営業日以内に裁定がでることを希望している。
- パネルによる裁定は、専門家の判断として ICANN の最終判断の際に考慮される。
- 申立・答弁費用 (Dispute Resolution Filing Fee) は、約 USD 1,000～USD 5,000 (もしくはそれ以上) となることが想定されるが、あくまで ICANN の試算であり、DRSP の定めにより異なる。
- 手続きに要する費用となる裁定費用 (Dispute Resolution Adjudication Fee) は、両者が前払いする。勝った方は返金され、負けたほうがコストを負担する。
 - 固定料金の場合 (ICANN の試算)
 - 1 件につき、USD 2,000～USD 8,000 (もしくはそれ以上)
 - 時間給の課金となる場合 (ICANN の試算)
 - 1 人パネルだと、USD 32,000～USD 56,000 (もしくはそれ以上)
 - 3 人パネルだと、USD 70,000～USD 122,000 (もしくはそれ以上)

➤ 文字列の競合の解決 (String Contention Resolution)

- ☆ 同一もしくは類似の文字列の申請が 2 つ以上ある場合を「文字列の競合 (String Contention)」という。
- ☆ 同一もしくは類似の文字列の申請をまとめて「contention set」という。

contention set に自身の申請が含まれる場合、初期評価期間の間に申請者に知らせられる。

- ◇ 文字列の競合の解決は、評価や紛争解決が全て済んでから行われる。
 - ◇ ICANN が申請内容を公開して以降、いずれの段階においても競合関係にある申請者間で和解できるが、申請内容を変更したりジョイントベンチャーを作ったりして解決してはならない。
 - ◇ **Community-based** の申請の場合は、解決のための手続きとして比較評価のみを行うことができる。
 - ・ contention set にある **Community-based** の申請者は、比較評価費用を払わなければならない。
 - ・ 4 項目についてレビューし採点する（1 項目 3 点で 12 点満点）。
 - 11 点以上の申請者が合格
 - 11 点以上の申請者が複数ある場合、よりコミュニティを代表していると思われるほうが選ばれる
 - ◇ **Open** の申請の場合、および比較評価で決まらない **Community-based** の申請の場合
 - ・ 競合者間で和解する（最も効果的で経済的であると考えられる手段）。
 - ・ ラストリゾートとしてオークションを行う。なお、オークションの収入は、ICANN の予算とは分けて、コミュニティ用の資金として取っておく。
 - ・ 文字列の競合において勝者となった申請者が、決定から 90 日以内に契約を履行しなければ、ICANN の判断により、次点の申請者が契約できる場合がある。
- 契約に向けた調整（Contract Negotiation）～ルートに TLD を追加（TLD Added to Root Zone）
- ◇ 契約に向けた調整段階に入ると、下記の 2 点を新 gTLD の委任前に行う必要がある。
 - ・ ICANN とのレジストリ契約履行
 - ・ 委任前の技術的チェック
 - ◇ レジストリ契約が定める期間内に技術的要件が満たされなければ、ICANN はレジストリ契約を終了することもできる。
 - ◇ レジストリとなった場合、ICANN に支払う手数料（Registry-Level Fee）は四半期で少なくとも USD 18,750（年間で USD 75,000）。

- ICANN カイロ会議での議論 (2008 年 11 月)

カイロ会議では、並行して議論が進められている IDN ccTLD Fast Track の件と共に、前述のガイドブックドラフト版の内容や新 gTLD の導入に関する話題が議論の中心となった。(なお、IDN ccTLD Fast Track については、「IDN に関する動向」の項を参照されたい。) 新 gTLD の導入に関する背景を説明するセッションと、ガイドブックドラフト版および説明覚え書きに関して、説明と質疑応答を行うワークショップが開催されると共に、ALAC、ccNSO、GAC、GNSO の合同セッションやパブリックフォーラムなど多くの場でも、新 gTLD 導入に関する議論が行われた。それらの場で述べられたコメントは、立場によって異なり内容は多様であったが、次の 3 項目については複数のコメントが寄せられた。なお、ガイドブックドラフト版はカイロ会議の直前に公開され、まだ意見募集期間中であったということもあり、GAC や GNSO といった ICANN 内の各組織からの正式なコメントは控えられた。

- スケジュールについて
 - ◇ いつから申請受け付けが開始するのかといった詳細が分からず、スケジュールの全体像がつかめない。
 - ◇ 新 gTLD 導入を心待ちにしているので、とにかくスケジュールを遅らせないで速やかに進めてほしい。
- 手数料について
 - ◇ 申請にあたって最初に払う手数料 (gTLD Evaluation Fee) が US\$185,000、レジストリに選ばれた場合に ICANN に支払う手数料が四半期で少なくとも US\$18,750 であるなど、既存の TLD に関する手数料と比較して高い。これらの料金設定は、新 gTLD の導入を促進しようとする動きとはかけ離れており、最終的には登録者の負担になるだけである。
 - ◇ 手数料が高いのは、申請を希望する者を排除してしまうという悪影響よりも、むしろ真剣味の足りない申請を抑制する効果があるのではないか。
 - ◇ 手数料算出にあたっての、明確な根拠の提示を求める。
- 新 gTLD と IDN ccTLD との関係について
 - ◇ 新 gTLD と IDN ccTLD が導入される時期は、これまでの予定通り、ほぼ同時期と考えて良いのか。もし IDN ccTLD のほうが先に導入されると、新 gTLD よりも、市場での優位性を得てしまうのではないかと懸念する。

新 gTLD 導入のスケジュールについては、カイロ会議の前後に ICANN のウェブサイトを確認できた ICANN が想定するスケジュール 2008 年 10 月アップデート版⁵⁹と、2008 年 6 月

⁵⁹ <http://www.icann.org/en/topics/new-gtlds/timeline-oct08-en.pdf>

のパリ会議の際に発表されたICANNの想定スケジュールを比較すると、最終版ガイドブックの公開時期および申請受け付け開始時期が、それぞれ1ヶ月半から2ヶ月ほど繰り下がっていた。最終版ガイドブックの公開時期が2009年3月上旬のICANNメキシコシティ会議前後に、申請受け付け開始時期が2009年第2四半期の終わりから2009年第3四半期の初めごろとなっていた。

しかしながら、カイロ会議最終日の理事会会議では、下記の内容が今後のスケジュール案としてICANNスタッフから理事会メンバーに対して説明されており、2008年10月アップデート版のスケジュールよりも、さらに繰り下がることもあり得るということを示唆していた。

2008年10月23日～12月8日：	ガイドブックドラフト版(RFP)の意見募集
2009年2月15日頃：	修正を反映したガイドブック第2ドラフト版を公開
2009年3月中旬：	ガイドブックドラフト第2版の意見募集を終了(メキシコ会議直後)
2009年5月はじめ：	最終版ガイドブックが完成し、2009年5月の理事会で審議
2009年5月終わり：	最終版ガイドブックを公開
2009年9月30日：	最終版ガイドブックを公開後、公示期間を4ヶ月設定した場合、2009年9月30日以降に申請受け付けが可能となる

ガイドブックドラフト版への反響を鑑み、ICANNスタッフとしては、最終版ガイドブックを公開する前に、意見募集期間に寄せられた意見等を反映し改めてガイドブックドラフト版(ガイドブックドラフト第2版)を公開する予定であることが伝えられた。早く新gTLDの申請を開始してほしいと望むコミュニティの要請に応えるべく、申請受け付け開始までのスケジュールを早めるためには、改めてガイドブックドラフト版を公開せずに、最終版を公開してしまうという考え方もあるものの、コミュニティの反応を考えると、ICANNスタッフとしては、次のドラフト版を出したほうが良いと考えているという説明があった。また、GNSOの勧告に従い、最終版ガイドブックが公開されてから申請受け付け開始までには、内容を理解してもらうための期間として、4ヶ月の公示期間(communications period)を設定することになるが、ガイドブックドラフト第2版が最終形に近いと考えられる場合には、ガイドブックドラフト第2版が公開されるのと同時に、公示期間を開始することもできるかもしれないので引き続き検討していく、との説明もあった。

- ガイドブックドラフト第2版の公開（2009年2月）

2009年3月上旬のメキシコシティ会議での議論に向けて、2009年2月18日には、ICANNよりガイドブックドラフト第2版となる”Draft Applicant Guidebook, Version 2⁶⁰”が公開され意見募集に付された（意見募集期限は2009年4月13日まで）。ガイドブックドラフト版と同様に6部構成であり構成上に変化は無いが、カイロ会議や意見募集期間およびGNSOやGACとの会議等で寄せられた300件を超えるコメントが反映された内容となっている。

なお、ガイドブックドラフト版に寄せられたコメントには、内容に関するコメントのみならず、新gTLDの導入に関わる重要な問題についてもコメントも含まれていた。そこで、ICANNスタッフがコメントの内容を検討した結果、下記の点については新gTLD導入前に更に検討、研究、協議等が必要であるという判断を下した。

- 商標保護
- ルートゾーンの処理能力に関連する安全性や安定性の問題
- 新gTLD導入に伴いフィッシングやなりすましなどの悪質行為が増加する可能性
- 新gTLDが要求されていることの証明と市場への影響に関する分析

そこで、それらの問題についてもガイドブックに反映するために、2009年第3四半期にガイドブックドラフト第3版を出すこととした。それに伴い、2009年12月よりも前に申請受付を開始する見込みはないことも告知された。⁶¹

以下では、ガイドブックドラフト第2版の概要を確認する。

- 新gTLDを申請するにあたっての要件
 - ◇ 申請するgTLDは、Open gTLDかCommunity-based gTLDであること（IDNの申請も可能）。その定義の書きぶりは、ガイドブックドラフト版の内容から下記の通りになっているが、意図する内容は変わらない。Community-basedはOpenの対義語ではないといったコメントがガイドブックドラフト版に対して寄せられたが、ここではOpenとはCommunity-basedではないことを意味しており、この時点では他に適当な言葉が見当たらないと説明されている。

1.2.2.1 Definitions

For purposes of this Applicant Guidebook, a community-based gTLD is a gTLD that is operated for the benefit of a defined community consisting of

⁶⁰ <http://www.icann.org/en/topics/new-gtlds/draft-rfp-clean-18feb09-en.pdf>

⁶¹ Draft Applicant Guidebook: What You Told Us

<http://www.icann.org/en/announcements/announcement-3-18feb09-en.htm>

a restricted population. An applicant designating its application as communitybased will be asked to substantiate its status as representative of the community it names in the application, and additional information may be requested in the event of a comparative evaluation (refer to Section 4.2 of Module 4). An applicant for a community-based gTLD is expected to:

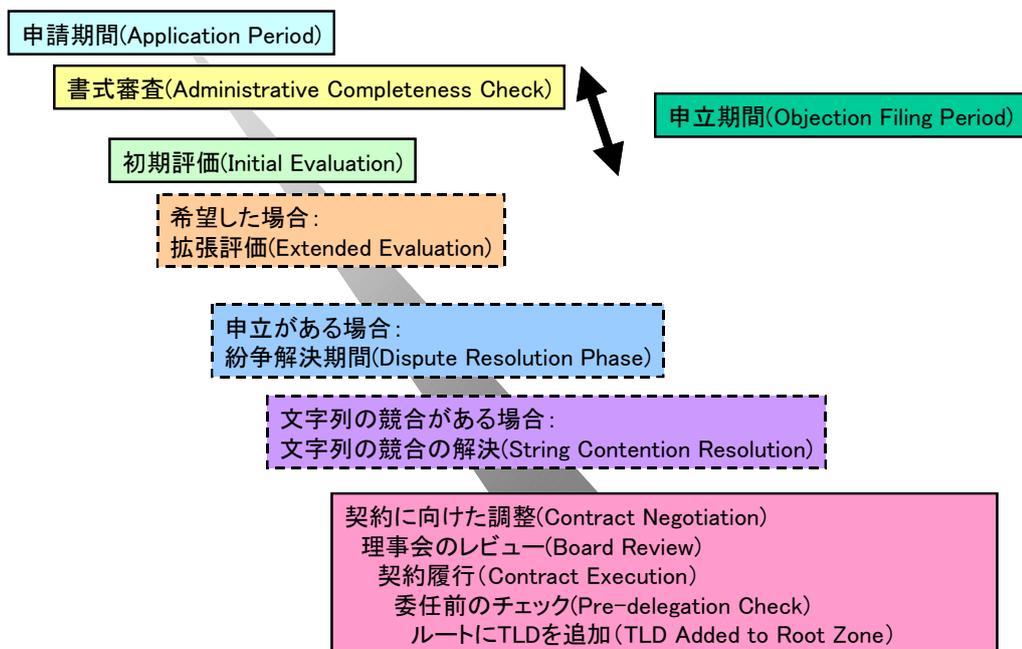
1. Demonstrate an ongoing relationship with a defined community that consists of a restricted population.
2. Have applied for a gTLD string strongly and specifically related to the community named in the application.
3. Have proposed dedicated registration and use policies for registrants in its proposed gTLD.
4. Have its application endorsed in writing by an established institution representing the community it has named.

For purposes of differentiation, an application that has not been designated as community-based will be referred to hereinafter in this document as an open gTLD. An open gTLD can be used for any purpose consistent with the requirements of the application and evaluation criteria, and with the registry agreement. An open gTLD may or may not have a formal relationship with an exclusive registrant or user population. It may or may not employ eligibility or use restrictions.

- ◇ すでに設立されている優良な法人、組織、機関からの申請が受け付けられ、個人や個人事業主からの申請は考慮されない。

➤ 新 gTLD 申請フロー

新 gTLD 申請フローの概略は、下記の通りとなっている。破線で囲まれたプロセスは、必ずしも起こるとは限らない。



➤ 申請期間 (Application Period)

- ◇ 申請者は、オンライン申請システム (ICANN's TLD Application System, TAS) 経由で申請する。ユーザー登録費用は USD 100。TAS が ICANN とのインターフェースとなる。
- ◇ 申請期間中に申請料金 (gTLD Evaluation Fee) USD 185,000 を支払い、必要書類を揃えて提出すること。なお、申請を途中で取り下げる場合、段階に応じて下記の通り一部の申請料金が返金される。
 - ・ 申請後から初期評価までの間：70% (USD130,000)
 - ・ 初期評価終了後：35% (USD65,000)
 - ・ 初期評価以降のステージの後：20% (USD37,000)
- ◇ 申請期間後の提出は受け付けられず、必要書類の追加提出も基本的に受け付けられない。なお、財務状況の変更やオーナーの交代といった申請者に関わる情報に変更があった場合には、直ちに ICANN に知らせること。重要な変更があった場合には、ICANN は申請内容を再評価してもらう権利を有する。
- ◇ 申請期間開始と共に、意見募集期間も開始する。寄せられたコメントは、初期評価 (Initial Evaluation) ・ 拡張評価 (Extended Evaluation) ・ 文字列競合

の比較評価の評価者や紛争処理機関（DRSP）にも届けられ、寄せられたコメントに関する適正評価が行われ参考にされる。

➤ 書式審査（Administrative Completeness Check）

- ◇ 申請内容に不備がないか（すべての質問事項に回答しているか、添付書類を揃えて提出しているか、申請料金（gTLD Evaluation Fee）が振り込まれているか）について、ICANN がチェックする。
- ◇ 書式審査が済むと、ICANN は次の評価に進める申請書をいっぺんに公開する。財務やセキュリティに関連する項目等を含むいくつかの質問事項は、ICANN 側で秘密扱いとする。（この後に、申立期間（Objection Filing Period）が開始し、初期評価期間（Initial Evaluation Period）の終了後まで続く。）

➤ 初期評価（Initial Evaluation）/拡張評価（Extended Evaluation）

初期評価（Initial Evaluation）においては、評価者が主に 2 点についてレビューを行う。

◇ 文字列のレビュー

- ・ 既存 TLD および他の申請文字列（IDN ccTLD Fast Track の ccTLD も含む）との類似性を、アルゴリズムによるスコアと共にパネルが判断する。（見た目に似ているかどうかのチェックは、Module3 に記されている紛争解決プロセスを補強する目的で行う。なお、見た目の類似性のチェックを通ったとしても、Module3 の紛争解決プロセスに記されているように、聴覚的に類似していたり意味が似通っている場合に申立を受けることもあり得る。）
- ・ DNS の安全性・安定性をおびやかさないか
- ・ 地理的名称であるか
 - ISO 3166-1 にリストされている国名・地域名（国名・地域名の一部や国名・地域名の短縮形を含み、全ての言語で記されているもの）、ISO 3166-2 にリストされている郡名・省名・州名等（完全一致であるもの）、ISO 3166-1 にリストされている国・地域の首都名（全ての言語で記されているもの）、市名（申請者が市名として申請していると宣言しているもの）、大陸、国連地域の名称の申請には、政府もしくは公的機関が支持もしくは反対しないことを記す文書が必要（大陸および国連地域を表す文字列の申請の場合には、当該大陸および国連地域に関連する政府もしくは公的機関からの支持もしくは反対しないことを記す文書が必要）となる。また、政府もしくは公的機関が支持もしくは反対しないことを記す文書には、文字列は gTLD

として申請されているものであり、コンセンサスポリシーを遵守したり ICANN への費用の支払いが必要となるレジストリ契約を ICANN と締結する必要があるといった条件を申請者が受け入れる意向にあることを、政府もしくは公的機関が理解しているということも記されていないなければならない。

- gTLD に申請された文字列が地理的名称を表しているかどうか判断する Geographic Names Panel (GNP) は、地理的名称として申請されているもののみならず、全ての申請を確認し、地理的名称であると判断した申請については、関係する政府もしくは公的機関が支持もしくは反対しないことを記す文書が提出されているかを確認する。文書が伴っていない場合には、所定の期間内に提出するよう告知され、提出できない場合には初期評価を通過できない。申請者が希望するならば、今後行われる申請ラウンドに改めて申請を提出することは可能である。

◇ 申請者に関するレビュー

- ・ 技術面および運用面の能力
- ・ 財政能力
- ・ レジストリサービス案

申請された gTLD 文字列が、IDN ccTLD Fast Track で申請された IDN ccTLD の文字列と類似している場合の取り扱い：

- ・ gTLD および IDN ccTLD とともに、一方が先に理事会で承認された場合は、他方が後から申請してきても承認が取消されることはない。
- ・ gTLD の申請に政府もしくは公的機関の支持文書が伴っていない場合、有効な IDN ccTLD の申請が承認される。
- ・ gTLD の申請および IDN ccTLD の申請がともに政府もしくは公的機関の支持文書を伴っている場合、例えば政府が調整するなどして両者間の争いが合意をもって解決されるまで保留される。

◇ 初期評価の結果を ICANN が公開

- ・ 初期評価に合格しなかった場合（ICANN より申請者に連絡がある）
下記の場合には、申請者が不合格通知受領後 15 営業日以内に要求すれば、1 回のみ拡張評価（Extended Evaluation）を受けることができる
 - 技術面および運用面の能力の証明に合格できなかった場合（追加費用不要）
 - 財政能力の証明に合格できなかった場合（追加費用不要）

- DNS の安定性に関する文字列のレビュー（追加費用不要）
- DNS の安定性に関するレジストリサービス案（申請者は、Registry Service Review Fee（約 USD 50,000 もしくはそれ以上）を支払う必要がある）
- ・ 初期評価に合格しなかった場合、申請の撤回も可能。拡張評価を通過できなければ、先のプロセスには進めない。

➤ 紛争解決期間（Dispute Resolution Phase）

下記の 4 つの理由による申立が起こりうる。

- 1.文字列の混同による申立（String Confusion Objection）
- 2.法的権利に基づく申立（Legal Rights Objection）
- 3.公序良俗に関する申立（Morality and Public Order Objection）
- 4.コミュニティからの申立（Community Objection）
（Open gTLD にもコミュニティからの申立が行われることもある）

◇ 1.文字列の混同による申立（String Confusion Objection）

申立理由	申請文字列が既存の gTLD もしくは他に申請されている gTLD 文字列に誤認混同を引きおこすほど類似している
申立者	既存の TLD 運用者もしくは他の新 gTLD 申請者が申立できる
紛争処理機関（DRSP）	International Centre for Dispute Resolution
パネル	パネリスト 1 名
料金	固定料金となる予想

◇ 2.法的権利に基づく申立（Legal Rights Objection）

申立理由	申請文字列が申立者の既存の法的権利（登録商標および未登録商標）を侵害する
申立者	権利者が申立できる
紛争処理機関（DRSP）	The Arbitration and Mediation Center of the World Intellectual Property Organization
パネル	パネリスト 1 名
料金	固定料金となる予想

◇ 3.公序良俗に関する申立 (Morality and Public Order Objection)

申立理由	申請文字列が国際的な法の原則に基づく公序良俗に反している
申立者	未定 (公序良俗に関する申立を行える当事者適格の要件を引き続き策定中)
紛争処理機関 (DRSP)	International Center of Expertise of the International Chamber of Commerce
パネル	パネリスト 3 名
料金	時間給の課金となる予想 (見積りで請求、追加課金もあり得る)

◇ 4.コミュニティからの申立 (Community Objection)

申立理由	申請文字列が対象としているコミュニティの大部分から申請文字列に対して反対がある
申立者	既存の団体(Established Institution)が申立できる
紛争処理機関 (DRSP)	申立する団体は、世界的認知度、存続期間、組織が存在することの証明等を提出しなければならない
パネル	International Center of Expertise of the International Chamber of Commerce
料金	パネリスト 1 名

- ・ インターネットユーザである個人で、豊富な経験を積みインターネットコミュニティを尊重しており、いずれの gTLD 申請者とも無関係であれば、公共の利益を目的とした場合のみ申立を行うことができる。ただし、公共の利益を目的とした場合のみであることを考慮し、公序良俗に関する申立およびコミュニティからの申立のみ行えることとする。ICANN スタッフや ICANN 理事メンバーは、個人の申立者に指示や命令をする権限はなく、また申立をすることもできない。
- ・ 申立を受けた申請者は、下記の方法を選択できる
 - 答弁し手続きに参加する
 - 申請を取り下げる (⇒申立が認められる)
 - 答弁しない (⇒申立が認められる)
- ・ 申立書・答弁書は英語で記述する。紛争処理手続きは原則英語で進められるが、紛争処理機関の定めによっては他の言語で行われることもある。
- ・ 友好的解決のために、紛争処理機関の調停役となる専門家を通じて申請者と申立者が和解し、申立や申請を取り下げることもできる。

- ・ パネルによる裁定は、専門家の判断として ICANN の最終判断の際に考慮される。
- ・ 申立・答弁費用 (Dispute Resolution Filing Fee) は、約 USD 1,000～USD 5,000 (もしくはそれ以上) となることが想定されるが、あくまで ICANN の試算であり、DRSP の定めにより異なる。
- ・ 手続きに要する費用となる裁定費用 (Dispute Resolution Adjudication Fee) は、両者が前払いする。勝った方は返金され、負けたほうがコストを負担する。複数の申立が併合されて 2 つ以上の組織が関係するようになった場合の前払い費用や返金額は、紛争処理機関の定めによる。
 - 固定料金の場合 (ICANN の試算)
 - 1 件につき、USD 2,000～USD 8,000 (もしくはそれ以上)
 - 時間給の課金となる場合 (ICANN の試算)
 - 1 人パネルだと、USD 32,000～USD 56,000 (もしくはそれ以上)
 - 3 人パネルだと、USD 70,000～USD 122,000 (もしくはそれ以上)
- ・ 複数の申立に関わった場合、すべてにおいて勝てなければ次のステップに進めない。

➤ 文字列の競合の解決 (String Contention Resolution)

- ◇ 同一もしくは類似の文字列の申請が 2 つ以上ある場合を「文字列の競合 (String Contention)」という。
- ◇ 同一もしくは類似の文字列の申請をまとめて「contention set」という。contention set に自身の申請が含まれる場合、初期評価期間の間に申請者に知らせられる。
- ◇ 文字列の競合の解決は、評価や紛争解決が全て済んでから行われる。
- ◇ ICANN が申請内容を公開して以降、いずれの段階においても競合関係にある申請者間で和解できるが、申請内容を変更したりジョイントベンチャーを作ったりして解決してはならない。
- ◇ Community-based の申請の場合は、解決のための手続きとして比較評価のみを行うことができる。
 - ・ contention set にある Community-based の申請者は、比較評価費用をデポジットとして前払いしなければならない。なお、比較評価で勝者となった場合および 14 点以上のスコアを獲得した場合は、前払いした費用は返金される。
 - ・ 4 項目についてレビューし採点する (1 項目 4 点で 16 点満点)。
 - 14 点以上の申請者が合格
 - 14 点以上で合格した申請者が複数ある場合、ガイドブックドラフト

第 2 版 4.2.2 項の手続きで競合を解決する。

- ・ 申請文字列が直接的に競合していない (=indirect contention、同一もしくは類似ではない) 場合、次のステージに進める。

- ・ 申請文字列が直接的に競合しており (=direct contention、同一もしくは類似)、申請文字列が同じコミュニティを対象としている場合、そのコミュニティの大半を代表していると明らかに証明できる申請の方に優先権が与えられる。そのような証明ができる申請がなければ、オークションに進むことになる。

- ・ 申請文字列が直接的に競合しており (=direct contention、同一もしくは類似)、申請文字列が別のコミュニティを対象としている場合、オークションで解決する。

- ・ **Community-based** の申請で比較評価に合格しない場合、**contention set** にあるすべての申請 (**Open gTLD** および **Community-based** の申請両方とも) はオークションに進む。

◇ **Open** の申請の場合、および比較評価で決まらない **Community-based** の申請の場合

- ・ 競合者間で和解する。
- ・ ラストリゾートとしてオークションを行う。なお、オークションの収入は、ICANN の予算とは分けて、コミュニティ用の資金として取っておく。
- ・ 文字列の競合において勝者となった申請者が、決定から 90 日以内に契約を履行しなければ、ICANN の判断により、次点の申請者が契約できる場合がある。

➤ 契約に向けた調整 (**Contract Negotiation**) ~ ルートに TLD を追加 (**TLD Added to Root Zone**)

◇ 契約に向けた調整段階に入ると、下記の 2 点を新 gTLD の委任前に行う必要がある。

- ・ ICANN とのレジストリ契約履行
- ・ 委任前の技術的チェック

◇ レジストリ契約が定める期間内に技術的要件が満たされなければ、ICANN はレジストリ契約を終了することもできる。

◇ レジストリとなった場合、ICANN に支払う手数料 (**Registry-Level Fee**) は四半期で少なくとも USD 6,250 (年間で USD 25,000)。

- ICANN メキシコシティ会議での議論（2009年3月）

カイロ会議と同様に、メキシコシティ会議においても、前述のガイドブックドラフト第2版の内容や新gTLDの導入について多くの議論が行われた。

”New gTLD 2nd Applicant Guidebook Q&A”というセッションでは、新gTLDの導入に関する背景と、ガイドブックドラフト第2版における変更点の概要が説明され、質疑応答の時間が設けられた。質疑応答においては、今後の作業においてガイドブックの構造を大きく変え得るような内容は特段含まれていなかったと言える。今後のスケジュールについて質問があった際には、ガイドブック最終版を2009年10月に公開し、4ヶ月の公示期間を設定するために公示期間の開始を2009年8月とすれば、申請受け付けを2009年12月に開始できると計画されていたことがICANNスタッフより説明された。しかしながら、商標保護などの今後対応すべき問題も出てきたため、それらが2009年6月に解決していれば計画通りに進めることも可能だが、7月や8月になってしまうと申請受け付け開始は2010年2月になるだろうということが付け加えられている。

パブリックフォーラムでは、かなりの時間を割いて新gTLDの導入に関する質問やコメントが受け付けられた。前回のカイロ会議にて寄せられたコメントと同様に、メキシコシティ会議においても、スケジュール、申請料金、新gTLDとIDN ccTLDとの関係については引き続き複数のコメントが寄せられた。また、ICANNが今後検討や協議を行っていくこととした商標保護、消費者保護の問題への対応や経済調査の実施についても、是非とも進めていくべきであるというコメントが寄せられた。以下に、コメントの一部を記す。

- 次にガイドブックドラフト第3版を出すということだが、申請に向けて準備を整えている者からすると、これ以上新gTLDの導入を遅らせないでほしい。
- かなり複雑な手続きになっており、時間がかかる原因にもなっていると考えられるので、もっと簡素化すべきだ。
- 申請料金をUSD 185,000に設定したままだと、営利目的で多数の登録者を見込める申請者のみが申請できて、小さなコミュニティのためにTLDを申請することは難しくなる。地域コミュニティのために、別の料金を設定するという考え方もあるのではないか。
- 新gTLD導入のためのコストを計算し、費用回収できるような料金設定にしたということだが、どうしてそこまでコストがかかると計算されてしまうのか理解できない。
- 中国語、日本語、ハングルでは、1文字や2文字でも意味を成す単語となることもある。IDN TLDにASCII TLDと同様の規則をあてはめて、新gTLDは3文字以

上でなければならないとする制限は不適當である。

- 商標保護や消費者保護の問題に対応してから、新gTLD導入を進めるべきである。
- **Open** と **Community-based** が対義語として使われているのは誤解を招くと思う。また、**Community-based** の申請で、比較評価で決まらなかった場合に **Open** の申請とあわせて評価を行うという方法の在り方も再考すべきだ。

最終日のICANN理事会会議では、新gTLDの導入に関する決議が行われた。ICANNスタッフがガイドブックドラフト版に寄せられたコメントを検討した結果、商標保護を含む実装課題についてコミュニティから更に意見を寄せてもらい分析を行う必要があるとの判断を下したため、ICANN理事会会議は、商標、消費者保護等の専門性を有する国際的に多様なメンバーから成る実装勧告チーム（IRT）を結成し、新gTLD導入に関連する商標保護の問題についての解決策を提案するようGNSOの知的財産部会に対して要請することを決議したのである⁶²。新gTLD応募者用ガイドブックの最初の意見募集期間に解決策を提出した者はIRTを構成するメンバーとなり、意見募集の際に寄せた解決策を手始めに検討を始めるようにということも伝えている。また、ICANN理事会は、2009年4月24日までに意見募集用の報告書ドラフトを提出し、2009年6月のシドニー会議で検討できるように2009年5月24日までには最終報告書を提出するよう、IRTに要請した。

パリ会議においてPDPが終息し、ポリシー実装フェーズに入ったのも束の間、上記の理事会決議により、部分的ではありながらも再びポリシー策定議論が行われることとなった。商標保護の問題を含め、今後検討や協議が行われる問題の解決具合によっては、ガイドブック最終版の公開や申請受け付け開始の時期が更に繰り下がっていく可能性も大きくあり、今後の動向が注視される。

⁶² Adopted Board Resolutions | Mexico 6 March 2009
7. Protection for Trademarks in New gTLDs
<http://www.icann.org/en/minutes/resolutions-06mar09.htm#07>

1-3 ccTLDに関する国際的な議論

ccTLDに関連した国際的な議論は、ICANN（Internet Corporation for Assigned Names and Numbers）において行われることが多い。ここでは、ccTLDに関して主に2008年にICANNで議論された話題として、ccTLDレジストリのICANNおよびccNSOへの参加拡大、IANAのサービスの改善、IDN ccTLDの早期導入について説明する。

1. ccTLDレジストリのICANNおよびccNSOへの参加拡大

ccTLDは、ISO3166-1リストにしたがって国や地域に付与されているものであり、そのレジストリは、インターネットの発展の中で、相互信頼をベースに決められてきた。このため、ccTLDレジストリは、ICANNとの間で契約などの正式な関係がないまま運営しているところも多い。しかし、関係正式化がインターネット全体の安定性を高めることにつながるという認識から、正式な関係を結ぶccTLDレジストリが増加しており、2009年3月10日現在で248あるccTLD中、65のccTLDレジストリが、ICANNとの間で契約など何らかの正式関係を持つ。

また、ccTLDがグローバルなインターネットの中でどのようなポリシーを持つべきかを議論し、ICANN理事会に提案することを一つの役割とするccNSOにも、まだccTLDレジストリの参加が少ない状況である。これについては、ccTLDレジストリがccNSOに参加することの意義やインターネット上の責任をコミュニティに知らしめるための活動をする作業部会がccNSOの中に作られ、教育活動を実施してきた。この活動が功を奏し、インターネット全体のポリシー策定に参加すべきであるという認識が徐々に広がってきており、2009年3月10日現在でccNSOのメンバーであるccTLDは、248中90となった。

2. IANAのサービスの改善

ccTLDにとって、IANAの業務の迅速化はかねてから大きな課題であった。たとえば、あるccTLDがルートゾーンファイルに登録されたそのTLDのネームサーバ情報の書き換えをIANAに申請したとき、その書き換えが実際にルートゾーンに反映されるまでには、「申請者の本人性の確認」「申請者の正統性の確認」「申請者の意図の確認」「ネームサーバに関する技術的な確認」「米国政府（商務省）の承認」などの多くのステップがあり、早い場合でも申請から1週間、遅い場合は数ヶ月かかっていた。各ccTLDが管理するTLDのネームサーバの追加や変更を行う際に大きな時間を要することになり、結果としてccTLDの安定運用に支障をきたす原因のひとつになることがあった。

この申請処理は電子メールを用いたやり取りを通じて行われる業務であり、IANA 内で多くの人手がかかるものであるが、効率化の検討などの努力により、サービスの改善が図られた。現在、IANA 業務は、以前と比べると IANA への申請がルートゾーンに反映されるスピードが飛躍的に上がるなど、サービスレベルの改善が大きな成果をあげてきている。

また、.pl(ポーランド)のレジストリである NASK などが中心となって開発・提案した IANA とのやり取りを自動化するインターフェースについて、現在 IANA が最終試験中である。このシステムが導入されることにより、申請処理の更なる効率化、プロセスの明確化、利便性の向上が期待される。この一連の動きは、ccTLD コミュニティと ICANN が協力してインターネット全体をより良くしていく努力の一例ととらえられている。

今後は、DNSSEC や IDN が普及する際に、IANA への情報登録や IANA での情報管理、取り出しが重要となるため、それらの検討も、ccNSO をはじめ多様なステークホルダが参加して進められていく予定である。

3. IDN ccTLD の早期導入

IDN ccTLD の早期導入は、ここ 1 年、ICANN において最も注目された話題の一つであった。これを検討するため、ccTLD のみならず GAC、GNSO および ALAC などからもメンバーを集めた IDNC WG という作業部会が設立された。IDNC WG は 2008 年 6 月、ICANN 理事会に対して IDN ccTLD 導入方法の提案書を提出した。

2008 年 10 月以降、その提案書に基づき検討を進めた ICANN から実装計画や関連資料が次々と提案され、それに対する意見募集も行なわれている。

現状、技術についてあまり大きな課題は残っていないが、主に非技術的な課題が残存しており、引き続き検討が行われている。この課題を含む IDN ccTLD の検討状況については、第 2 部 3-6 で詳述する。

2 ドメイン名の登録方針に関する動向

2 ドメイン名の登録方針に関する動向

2-1 gTLDにおけるドメイン名登録方針の動向

2-1-1 .com

2009年2月現在での、.comの登録管理組織はVeriSign, Inc.である。

2-1-1-1 登録組織の歴史及び性質

ドメイン名を含むインターネットの資源管理については、米国政府の援助も受けつつも、基本的には技術者や研究者のボランティアで運営されていたIANA(Internet Assigned Numbers Authority)が責任を担う時代が長く続いていたが、1993年、米国政府機関である全米科学財団(NSF)がIANAの活動の一部に対して資金援助を行い、拡大し続けるインターネットに対応しようとするプロジェクトが始まった。この、NSFNETにおけるネットワークインフォメーションセンター(NIC)機能強化のためのプロジェクトはInterNICと呼ばれ、またInterNICはこのプロジェクトによって提供されるサービスの総称でもあった。また、具体的なサービスについては、ディレクトリ&データベースサービスをAT&Tが、情報サービスをGeneral Atomics(契約途中で解約になり、後にAT&Tが担当)、そして登録サービスをNetwork Solutions, Inc.に委託されることとなった。

NSFから委託を受けたNetwork Solutions, Inc.は、InterNICのサービスである.com、.net、.org、.edu、.govの登録サービスおよびIPアドレスの登録サービスを開始した。ドメイン名の登録サービスは当初は無料であったが、1995年に有料化され、それとともにNetwork Solutions, Inc.が独占的にドメイン名の登録サービスを提供することに対し、価格・サービス面での競争がないことや、登録ビジネスへの新規参入が阻害されるなどの批判が強まるようになった。

このような批判を受け、1998年の設立当初から「ドメイン名登録サービスに競争を導入する」ことを責務の一つに掲げ、レジストリ・レジストラ制度の導入などの取り組みを行ってきたICANNにより、ドメイン名およびIPアドレスの管理に関する改革が実行された。まず、1997年12月に、IPアドレスの割り振りがARIN(American Registry for Internet Numbers)に移行され、1999年11月には、ICANNとNetwork Solutions, Inc.の間で.comに関するレジストリ契約が締結された。この契約にあたっては4年間という期間が設けら

れており、Network Solutions, Inc.がレジストリ業務を行えるのは2003年までということになっていたのだが、もし18ヶ月以内にNetwork Solutions, Inc.がレジストリ部門とレジストラ部門を分離し、一方を売却した場合は、さらに4年間（つまり2007年まで）延長されるという条件付きの契約となっていた。このレジストリ部門とレジストラ部門を分離するという条件は、レジストラ間の競争をより健全なものにするためのさらなる対策として意図されたものであったのだが、その後導入された共有レジストリシステムが当初想定していた以上の効果を発揮し、レジストラ間の競争環境が急速に改善されるようになったという状況の変化もあり、それほど重要な意味合いを持たなくなってきたのではないかと考えられるようになっていた。

そのような状況を受け、2000年にNetwork Solutions, Inc.を買収したVeriSign, Inc.から、2001年にICANNに対してレジストリ契約改訂の提案がなされ、以下のような新しいレジストリ契約が締結された。

- 「.org」についてはレジストリ業務を2002年12月31日に終了し、他の組織へ移管する。
- 「.com」についてはレジストリ業務を2007年11月10日に終了する。
（ただし、基準を満たせば4年間の更新が可能）
- 「.net」についてはレジストリ業務を2005年6月30日に終了する。
（ただし、VeriSign, Inc.も次期レジストリへの入札は可能）

この新しい契約により、VeriSign, Inc.はレジストリ部門とレジストラ部門を分離しないことの引き換えとして2002年12月末に.orgの登録管理業務を、2005年には.netの登録管理業務を手放すこととなった（ただし、.orgについては新しい登録管理組織が選定されたものの、.netについては再び応募したVeriSign, Inc.が登録管理組織が選定されており、現在もVeriSign, Inc.が登録管理業務を行っている）。

なお、Network Solutions, Inc.は、2003年11月までVeriSign, Inc.のレジストラ部門として機能していたが、2003年11月にPivotal Private Equityに買収され、以来、VeriSign, Inc.は.comのレジストリ事業のみを行っている。

2-1-1-2 登録管理組織の運営形態

CEOを含む9名の取締役から構成される取締役会と、担当役員が会社を運営している。.comドメイン名に関するポリシーは、ICANNとの契約に基づいており、ICANNのポリシー策

定プロセスにしたがって定められる。

2-1-1-3 レジストラ数

2009年2月時点での、.comドメイン名を取り扱うレジストラ数は、886社となっている。

2-1-1-4 登録可能ドメイン名数の制限の有無

登録可能なドメイン名の数に特に制限は無い。

2-1-1-5 予約ドメイン名

ICANNとの契約に基づき、以下のドメイン名が予約されている。

(1) 全レベルでの予約語

- ICANNに関連する名前
- IANAに関連する名前

(2) セカンドレベルでの予約語

- 1文字のドメイン名
- 2文字のドメイン名
- ICANNが定めるTLD名

(3) タグ付きドメイン名(3、4文字目にハイフンを含むドメイン名)

(4) レジストリ運用のための予約語

2-1-1-6 IDNの登録申請の可否等

2000年11月より試験登録を開始した。標準化に対応した仕様でのサービスは2003年12月より開始し、2004年4月に標準化を完了した。350種類以上の文字による登録が可能となっている。

2-1-1-7 登録件数

79,898,475 (2008年10月現在)

2-1-1-8 料金

2009年2月現在、VeriSign, Inc. がレジストラに課すドメイン名登録料金は、1ドメイン名あたり年間6.86米ドルとなっている。

2-1-2 .net

2009年2月現在での、.netの登録管理組織はVeriSign, Inc.である。

2-1-2-1 登録組織の歴史及び性質

現在の.netの登録管理業務については、.comと同様にVeriSign, Inc.によって行われている。したがって、登録組織の歴史および性質については、.comと同様である。したがって、詳細については.comの項目も併せて参照されたい。

.netの登録管理についても、米国政府の支援を受けつつも、基本的には技術者や研究者のボランティアで運営されていたIANA(Internet Assigned Numbers Authority)が責任を担う時代が長く続いていたが、1993年に米国政府機関である全米科学財団(NSF)がIANAの活動の一部に対して資金援助を行い、InterNICと呼ばれるプロジェクトがスタートした。また、実際のInterNICのサービス提供については、3つの組織にそれぞれ委託され、ドメイン名およびIPアドレスの登録サービスについては、Network Solutions, Inc.に委託されることとなった。

Network Solutions, Inc.は、InterNICのサービスである.com、.net、.org、.edu、.govの登録サービスおよびIPアドレスの登録サービスを開始し、その後、独占的サービスを提供するNetwork Solutions, Inc.に対する批判が高まるとともに、1997年12月にIPアドレスの割り振りがARIN(American Registry for Internet Numbers)に移行され、1999年11月

には、ICANN と Network Solutions, Inc の間で .net に関するレジストリ契約が締結された。

この契約にあたっては 4 年間という期間が設けられており、Network Solutions, Inc がレジストリ業務を行えるのは 2003 年までということになっていたのだが、もし 18 ヶ月以内に Network Solutions, Inc がレジストリ部門とレジストラ部門を分離し、一方を売却した場合は、さらに 4 年間（つまり 2007 年まで）延長されるという条件付きの契約となっていた。このレジストリ部門とレジストラ部門を分離するという条件は、レジストラ間の競争をより健全なものにするためのさらなる対策として意図されたものであったのだが、その後導入された共有レジストリシステムが当初想定していた以上の効果を発揮し、レジストラ間の競争環境が急速に改善されるようになったという状況の変化もあり、それほど重要な意味合いを持たなくなってきたのではないかと考えられるようになっていた。

そのような状況を受け、2000 年に Network Solutions, Inc を買収した VeriSign, Inc から、2001 年に ICANN に対してレジストリ契約改訂の提案がなされ、以下のような新しいレジストリ契約が締結された。

- 「.org」についてはレジストリ業務を 2002 年 12 月 31 日に終了し、他の組織へ移管する。
- 「.com」についてはレジストリ業務を 2007 年 11 月 10 日に終了する。
（ただし、基準を満たせば 4 年間の更新が可能）
- 「.net」についてはレジストリ業務を 2005 年 6 月 30 日に終了する。
（ただし、VeriSign, Inc も次期レジストリへの入札は可能）

この新しい契約により、VeriSign, Inc はレジストリ部門とレジストラ部門を分離しないことの引き換えとして 2002 年 12 月末に .org の登録管理業務を、2005 年には .net の登録管理業務を手放すこととなった。

そして、2005 年に .net の新たな登録管理組織選定のための入札が行われたが、上記の通り VeriSign, Inc も応札することが可能であり、様々な観点から応募した数多くの組織について評価が行われた結果、VeriSign, Inc が再度 .net のレジストリとして選出された。

このような経緯を経て、2009 年 2 月時点においても、VeriSign, Inc が .net のレジストリ業務を行っている。また、この新しい契約については、期間が 6 年と定められていることから、2011 年までは現在の体制が継続されることになる。

なお、Network Solutions, Inc は、2003 年 11 月まで VeriSign, Inc のレジストラ部門とし

て機能していたが、2003年11月に Pivotal Private Equity に買収され、以来、VeriSign, Inc. は.net のレジストリ事業のみを行っている。

2-1-2-2 登録管理組織の運営形態

CEO を含む9名の取締役から構成される取締役会と、担当役員が会社を運営している。.net ドメイン名に関するポリシーは、ICANN との契約に基づいており、ICANN のポリシー策定プロセスにしたがって定められる。

2-1-2-3 レジストラ数

2009年2月時点での、.net ドメイン名を取り扱うレジストラ数は、886社となっている。

2-1-2-4 登録可能ドメイン名数の制限の有無

登録可能なドメイン名の数に特に制限は無い。

2-1-2-5 予約ドメイン名

ICANN との契約に基づき、以下のドメイン名が予約されている。

(1) 全レベルでの予約語

- ICANN に関連する名前
- IANA に関連する名前

(2) セカンドレベルでの予約語

- 1文字のドメイン名
- 2文字のドメイン名
- ICANN が定める TLD 名

(3) タグ付きドメイン名(3、4文字目にハイフンを含むドメイン名)

(4) レジストリ運用のための予約語

2-1-2-6 IDNの登録申請の可否等

2000年11月より試験登録を開始した。標準化に対応した仕様でのサービスは2003年12月より開始し、2004年4月に標準化を完了した。350種類以上の文字による登録が可能となっている。

2-1-2-7 登録件数

12,185,364 (2008年10月現在)

2-1-2-8 料金

2009年2月現在、VeriSign, Inc. がレジストラに課すドメイン名登録料金は、1ドメイン名あたり年間6.86米ドルとなっている。

2-1-3 .org

2009年2月現在での、.orgの登録管理組織はPublic Interest Registry(PIR)である。

2-1-3-1 登録組織の歴史及び性質

.orgの登録管理についても、.comや.netと同様に、元々は米国政府の支援を受けつつも、基本的には技術者や研究者のボランティアで運営されていたIANA(Internet Assigned Numbers Authority)によって行われていた。しかし、1993年に米国政府機関である全米科学財団(NSF)がIANAの活動の一部に対して資金援助を行い、InterNICと呼ばれるプロジェクトがスタートすることとなった。また、実際のInterNICのサービス提供については、3つの組織にそれぞれ委託され、ドメイン名およびIPアドレスの登録サービスについては、Network Solutions, Inc.に委託されることとなった。

NSF から委託を受けた Network Solutions, Inc. は、InterNIC のサービスである .com、.net、.org、.edu、.gov の登録サービスおよび IP アドレスの登録サービスを開始し、その後、独占的サービスを提供する Network Solutions, Inc. に対する批判が高まるとともに、1997 年 12 月に IP アドレスの割り振りが ARIN(American Registry for Internet Numbers)に移行され、1999 年 11 月には、ICANN と Network Solutions, Inc. の間で .org に関するレジストリ契約が締結された。

この契約にあたっては 4 年間という期間が設けられており、Network Solutions, Inc. がレジストリ業務を行えるのは 2003 年までということになっていたのだが、2000 年に Network Solutions, Inc. を買収した VeriSign, Inc. から、2001 年に ICANN に対してレジストリ契約改訂の提案がなされ、さらに以下のような新しいレジストリ契約が締結された。

- 「.org」についてはレジストリ業務を 2002 年 12 月 31 日に終了し、他の組織へ移管する。
- 「.com」についてはレジストリ業務を 2007 年 11 月 10 日に終了する。
(ただし、基準を満たせば 4 年間の更新が可能)
- 「.net」についてはレジストリ業務を 2005 年 6 月 30 日に終了する。
(ただし、VeriSign, Inc. も次期レジストリへの入札は可能)

この新しい契約により、VeriSign, Inc. はレジストリ部門とレジストラ部門を分離しないことの引き換えとして 2002 年 12 月末に .org の登録管理業務を手放すこととなり、2003 年からは新しい組織が .org の登録管理業務を行うこととなった。

この新しい .org の登録管理組織募集に応募するために、ISOC によって設立された組織が PIR(Public Interest Registry)である。ISOC は非営利の国際組織であり、インターネット技術およびシステムに関する標準化、教育、ポリシーに関する課題や問題を議論し、解決することを目的とした組織である。1992 年から、インターネットの普及促進と関連技術の開発促進という観点から、国際的な調整機関としての役割を果たしてきており、下部組織として IETF(Internet Engineering Task Force)や IAB(Internet Architecture Board)などが存在している。

新レジストリ募集には、この PIR の他に、「.biz」と「.us」のレジストリである NeuLevel, Inc. と日本の ccTLD レジストリである日本レジストリサービス(JPRS)によって設立された Sentan Registry Services, Inc.、スイスの ccTLD レジストリである SWITCH、また今回の応募のために新たに設立された組織などが応募したが、2 位の Sentan Registry

Services, Inc.を僅差で抑え、PIR が.org の新しいレジストリとして選出された。

PIR はただちに.org ドメイン名の移管に取りかかり、2003年1月1日から.org の登録管理業務が VeriSign, Inc.から PIR に移されることとなったが、移行のための期間として2003年1月1日から25日までの25日間が設定され、この間については VeriSign, Inc.が継続して技術面のバックエンドサービスを提供することとなった。この移行期間終了後は、PIR が単独で.org のサービスを提供している。

なお、PIR と ICANN の間で締結された.org のレジストリ契約期間は2013年6月までとなっているが、延長が可能な契約となっている。また、PIR は技術的な運用面において、.info のレジストリである Affilias Limited.から技術面でのサポートを受けつつ、.org の登録管理業務を行っている。

2-1-3-2 登録管理組織の運営形態

PIR には5名の理事からなる理事会が存在する。また、.org の運用にあたり、ポリシー策定や新規事業の実施などに際して、非商用のインターネットユーザから幅広い意見を取り入れることを目的として、諮問委員会が設置されている。この諮問委員会は、世界各地から選ばれた16名の委員によって構成されている。

2-1-3-3 レジストラ数

2009年2月時点での、.org ドメイン名を取り扱うレジストラ数は、317社となっている。

2-1-3-4 登録可能ドメイン名数の制限の有無

登録可能なドメイン名の数に特に制限は無い。

2-1-3-5 予約ドメイン名

ICANN との契約に基づき、以下のドメイン名が予約されている。

(1) 全レベルでの予約語

- ICANN に関連する名前
- IANA に関連する名前

(2) セカンドレベルでの予約語

- 1文字のドメイン名
- 2文字のドメイン名
- ICANN が定める TLD 名

(3) タグ付きドメイン名(3、4文字目にハイフンを含むドメイン名)

(4) レジストリ運用のための予約語

2-1-3-6 IDNの登録申請の可否等

.com や.net と同様、VeriSign, Inc.が登録管理業務を行っていたことから、2000年11月より試験登録を開始している。その後、2003年の VeriSign, Inc.から PIR への登録管理業務の移管を受けて、しばらくの間は国際化ドメイン名は新規の登録受付および既存の登録ドメイン名の変更が一切できない状態とされていた。さらに、既存の国際化ドメイン名の登録を廃止する旨のアナウンスが突然出され、それがすぐに覆されるというようなやや混乱した状況と経た後、2005年からドイツ語文字のウムラウトを使用した国際化ドメイン名の登録を開始している。その後さらに対応言語を増やし、現在では10の言語による国際化ドメイン名の登録が可能となっている。

2-1-3-7 登録件数

7,330,856 (2008年10月現在)

2-1-3-8 料金

2009年2月現在、PIR がレジストラに課すドメイン名登録料金は、1ドメイン名あたり年間6.75米ドルとなっている。

2-2 各国におけるドメイン名登録方針の動向

2-2-1 概況

IANA (Internet Assigned Numbers Authority) の発表によれば、2009年3月3日現在、世界には248のccTLD (country code Top Level Domain : 国別コードトップレベルドメイン) が存在する⁶³。ドメイン名の登録件数としては、.cn (中国) が最も多く、1,360万件近くに達している。以下、.de (ドイツ) が約1,250万件、.uk (イギリス) が約730万件、.nl (オランダ) が約320万件と続く。(以上は2009年1月末現在の登録件数)

2-2-2 各TLDの登録管理体制およびドメイン名登録方針

■ はじめに

本項では、18のccTLD (.jp (日本)、.au (オーストラリア)、.be (ベルギー)、.ca (カナダ)、.ch (スイス)、.cn (中国)、.de (ドイツ)、.eu (欧州連合)、.fr (フランス)、.hk (香港)、.kr (韓国)、.nl (オランダ)、.no (ノルウェー)、.nz (ニュージーランド)、.sg (シンガポール)、.tw (台湾)、.uk (イギリス)、.us (米国)) について、以下に示す項目ごとに調査した結果をまとめた。

■ 調査項目

(1)登録管理組織の歴史および性質

登録管理組織の設立の経緯、法的位置付け。

(2)登録管理組織の運営形態

登録管理組織の組織運営の方法、特に当該ドメイン名に関するポリシー決定に関わる意思決定方法。

(3)会員

登録管理組織が会員制組織の形態をとっているか否か、会員制度を採用している場合はその会員数。

⁶³ <http://mex.icann.org/files/meetings/mexico2009/tld-update-03mar09-en.pdf>

(4)登録管理業務の委任体制

登録業務についての委任体制がとられているか否か。委任体制がとられている場合はその内容およびレジストラ（登録代行業者）の数。

(5)ドメイン名の構成

登録可能なドメイン名の種類と登録対象および登録可能文字数など。

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

同一の申請者（組織あるいは個人）が登録できるドメイン名の数に制限を設けているか否か。制限がある場合はその定義。

(7)ローカルプレゼンス要件

ドメイン名の登録を自国・地域内に制限する「ローカルプレゼンス要件」を採用しているか否か。採用している場合はその定義。

(8)個人用ドメイン名

個人用のドメイン名のカテゴリを設けているか。設けている場合は、その種類と登録要件。また、公開されている場合は、個人用ドメイン名の登録件数。

(9)予約ドメイン名

予約ドメイン名の有無、種類、予約ドメイン名リストが公開されている場合はその参照先 URI。

(10)IDN

IDN（国際化ドメイン名）の登録申請を受け付けているか否か、受け付けている場合は登録可能文字などの詳細。

(11)登録件数

登録ドメイン名の累積総数。

(12)料金

ドメイン名の登録にかかる料金。主としてレジストリがレジストラまたは登録者に課す料金を指す。料金額が公開されている場合のみ記載する。

(13)紛争処理

ドメイン名登録に関して、登録者と第三者との間に紛争が生じた場合の処理方針を特に定めているか否か。定めている場合は紛争処理方針文書と紛争処理機関の名称。

(14)その他

その他の特記事項。

(15)出典

本調査で参照した URI。

■ 調査方法

調査は、各 TLD 登録管理組織が発行している文献の調査および各登録管理組織への聞き取りによって行った。

■ 調査期間

2008 年 12 月から 2009 年 3 月である。

2-2-2-1 .jp（日本）

登録管理組織：JPRS（株式会社日本レジストリサービス）

(1)登録管理組織の歴史および性質

.jp は村井純氏に 1980 年代中盤頃に委任され、1986 年 8 月に IANA (Internet Assigned Numbers Authority) のデータベースに登録された。 .jp の登録管理は 1989 年 4 月に JUNET において開始されたが、その後、JNIC (Japan Network Information Center)、JPNIC (JaPan Network Information Center) へと引き継がれた。1990 年代後半になると、社会におけるインターネット利用の拡大に伴い、JP ドメイン名に対するニーズが多様化した。この多様化に対応するため、2000 年 12 月に行われた JPNIC の総会決議に基づき、JPRS が株式会社として設立された。そして、2002 年 2 月に JPNIC と JPRS との間で「登録管理業務移管契約」が締結され、同年 4 月、JPRS は JPNIC から JP ドメイン名の登録管理業務の移管を受けた。

(2)登録管理組織の運営形態

JPRS は、株式会社として日本の会社法に基づき運営されている。また、JPRS が行う JP ドメイン名登録管理業務の公平性および中立性を実現するため、JPRS 内に外部委員で構成する「JP ドメイン名諮問委員会（以下「諮問委員会）」が設置されている。諮問委員会の委員は、JPNIC、JP ドメイン名指定事業者、インターネットサービスプロバイダ（以下「ISP」）、企業、学識経験者、インターネットユーザからの代表各 1 名（合計 6 名）となっている。諮問委員会は、ドメイン名登録規則その他関連規則、指定事業者の選定や契約終了に関する基準などに関して、JPRS 取締役会の諮問に対する答申および取締役会への勧告を行う。その答申または勧告を受け、取締役会が対応方針を決定する。

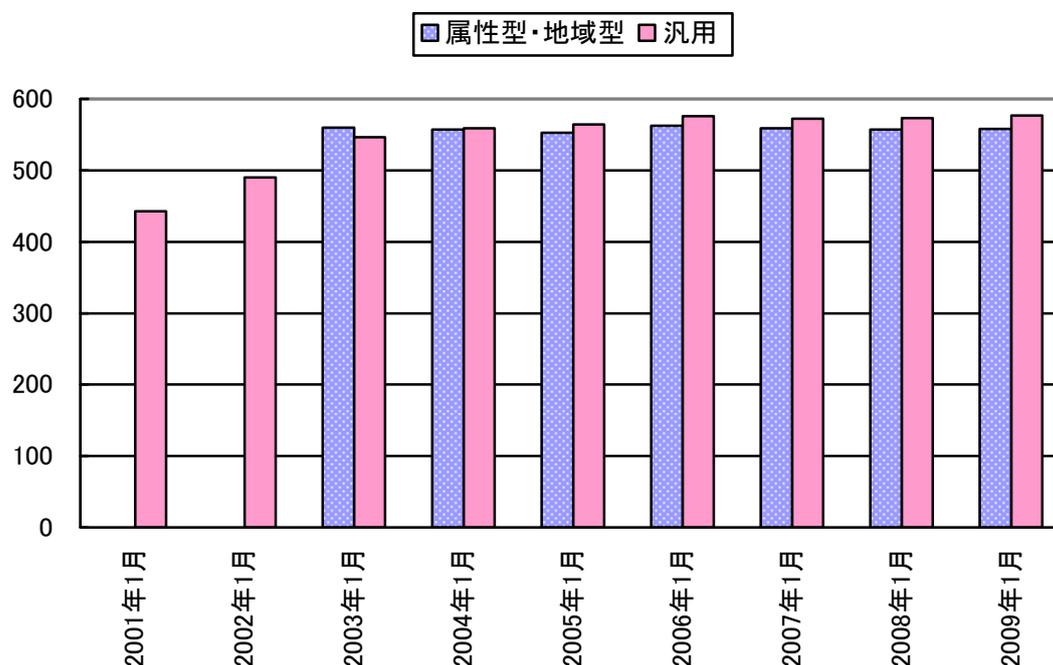
(3)会員

なし。

(4)登録管理業務の委任体制

JPRS は、JP ドメイン名登録申請や DNS 登録申請などの取次を行う事業者を指定事業者として認定し、その取次に関する業務を指定事業者に委任している。なお、地方公共団体とそれらの組織が行う行政サービスに登録資格を限定した LG.JP の登録申請等の取次に関する業務は、財団法人地方自治情報センターに委任している。

以下は、JP ドメイン名指定事業者の数。



(単位：社)

年月	属性型・地域型 JP ドメイン名	汎用 JP ドメイン名	合計(のべ数)
2001年4月	---	443	443
2002年1月	---	490	490
2003年1月	560	546	1,106
2004年1月	557	559	1,116
2005年1月	553	564	1,117
2006年1月	562	576	1,138
2007年1月	559	572	1,131
2008年1月	557	573	1,130
2009年1月	558	577	1,135

(5) ドメイン名の構成

第2、第3、第4レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字、ハイフン。また、日本語 JP ドメイン名では漢字、平仮名、カタカナ。登録可能な文字数は、ASCII のドメイン名が3文字以上63文字以下、日本語 JP ドメイン名が1文字以上15文字以下。以下の通

り分類される。

a) 属性型（組織種別型）JP ドメイン名

- ・ CO.JP：企業（株式会社、有限会社など）
- ・ OR.JP：AC.JP、CO.JP、ED.JP、GO.JP、地方公共団体ドメイン名のいずれにも該当しない日本国法に基づいて設立された法人（財団法人、社団法人など）
- ・ NE.JP：ネットワークサービス
- ・ AC.JP：高等教育機関（大学、学術研究機関など）
- ・ AD.JP：JPNIC 会員の組織
- ・ ED.JP：初等中等教育機関（小学校、中学校など）
- ・ GO.JP：政府機関、各省庁所轄研究所、独立行政法人、特殊法人（特殊会社を除く）
- ・ GR.JP：任意団体
- ・ LG.JP：地方公共団体など

b) 地域型 JP ドメイン名

b-1) 一般地域型ドメイン名

- ・ <組織ラベル>.<市区町村ラベル>.<都道府県ラベル>.JP：
AD.JP、CO.JP、ED.JP、GO.JP、OR.JP、NE.JP、GR.JP のいずれかの属性型（組織種別型）ドメイン名の登録資格を満たす組織、病院、日本に在住する個人

b-2) 地方公共団体ドメイン名

- ・ <都道府県属性ラベル>.<都道府県ラベル>.JP：
都道府県・政令指定都市（例：東京都 metro.tokyo.jp）
- ・ <組織ラベル>.<都道府県属性ラベル>.<都道府県ラベル>.JP：
都道府県・政令指定都市がドメイン名を登録していない場合に、その下部組織が暫定的に登録できる
- ・ <市区町村属性ラベル>.<市区町村ラベル>.<都道府県ラベル>.JP：
市町村・東京都特別区（例：千代田区 city.chiyoda.tokyo.jp）
- ・ <組織ラベル>.<市区町村属性ラベル>.<市区町村ラベル>.<都道府県ラベル>.JP：
市町村・東京都特別区がドメイン名を登録していない場合に、その下部組織が暫定的に登録できる

c) 第2レベルドメイン名（以下「汎用 JP ドメイン名」）（ASCII）

- ・ .JP：日本国内に住所をもつ個人・法人・その他の組織

d) 汎用 JP ドメイン名（日本語）

- ・ .JP：日本国内に住所をもつ個人・法人・その他の組織

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

NE.JP と GO.JP を除く属性型（組織種別型）および地域型 JP ドメイン名では、1つの組織が登録できるドメイン名の数は1つ。NE.JP の場合は、1つのネットワークサービスごとに1つのドメイン名を登録することができ、GO.JP については、政府機関に限り1つの組織で複数のドメイン名を登録することができる。汎用 JP ドメイン名では、登録できるドメイン名の数に制限はない。

(7)ローカルプレゼンス要件

全ての JP ドメイン名はローカルプレゼンス要件を備えている。具体的な条件は以下の通り。

a) 属性型（組織種別型）JP ドメイン名

- ・日本に在住する個人、任意団体、または日本国法に基づいて設立された組織であること。CO.JP は日本で外国会社の登記を行っている外国会社も登録可能。

b) 地域型 JP ドメイン名

b-1) 一般地域型 JP ドメイン名

- ・AC.JP、CO.JP、ED.JP、GO.JP、OR.JP、NE.JP、GR.JP のいずれかの属性型（組織種別型）ドメイン名の登録資格を満たす組織であること、または（日本に所在する）病院または日本に在住する個人であること。

b-2) 地方公共団体ドメイン名

- ・（日本の）普通地方公共団体およびその機関、特別区およびその機関であること。

c) 汎用 JP ドメイン名

- ・日本国内に住所を有する個人、法人その他の組織であること。

(8)個人用ドメイン名

個人を登録対象と定義したドメイン名カテゴリは設けていないが、汎用 JP ドメイン名は個人でも登録可能。

(9)予約ドメイン名

a) 属性型（組織種別型）・地域型 JP ドメイン名

- ・インターネットで使用されている特定の TLD（「com」、「org」、「net」など）
- ・都道府県ラベル、JP ドメイン名のサービスなどで予約を必要とする名称
- ・3、4文字目にハイフンを含む文字列
- ・その他 JPRS が指定する文字列

b) 汎用 JP ドメイン名（ASCII）

- ・ccTLD 以外の TLD として ICANN が定めている以下の文字列
「com」、「org」、「net」、「edu」、「gov」、「mil」、「int」、「arpa」、「biz」、「info」、「name」、

「pro」、「museum」、「aero」、「coop」

- ・地域型 JP ドメイン名における「都道府県属性ラベル」および「市区町村属性ラベル」
（「pref」、「metro」、「city」、「town」、「vill」）
- ・都道府県名および政令指定都市名のアルファベット表記
- ・中核市かつ県庁所在地である都市名のアルファベット表記
- ・インターネットの管理に関連する組織名（「ICANN」、「IANA」、「WIPO」など）
- ・3、4文字目にハイフンを含む文字列
- ・JP ドメイン名のサービスなどで予約を必要とするドメイン名（「example」、「example」
の後に1桁の数字（0から9）がつく文字列）

c) 汎用 JP ドメイン名（日本語）

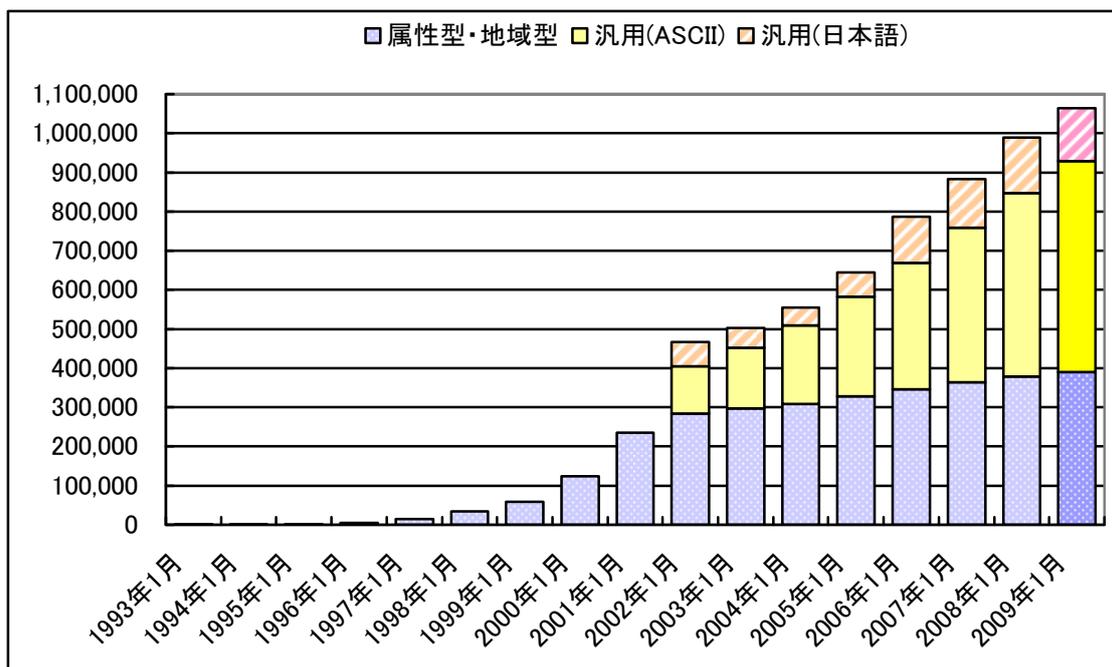
- ・都道府県名および政令指定都市名
- ・中核市かつ県庁所在地である都市名
- ・平仮名、片仮名、漢数字、記号などによる1文字
- ・初等中等教育機関などの名称
- ・国際的な政府間機関（国際連合など）の名称
- ・行政・司法・立法に関連する名称
- ・日本語普通名詞
- ・JP ドメイン名のサービスなどで予約を必要とするドメイン名（「ドメイン名例」）
- ・その他 JPRS がドメイン名登録に適さないと判断する文字列

(10)IDN

汎用 JP ドメイン名で IDN（日本語 JP ドメイン名）を導入している。2001年2月から4月にかけて段階的なサンライズ期間を設けた後、2001年5月7日から先願に基づく一般向け登録申請の受付を開始した。日本語 JP ドメイン名の登録件数は、134,921（2009年1月1日現在）。

(11)登録件数

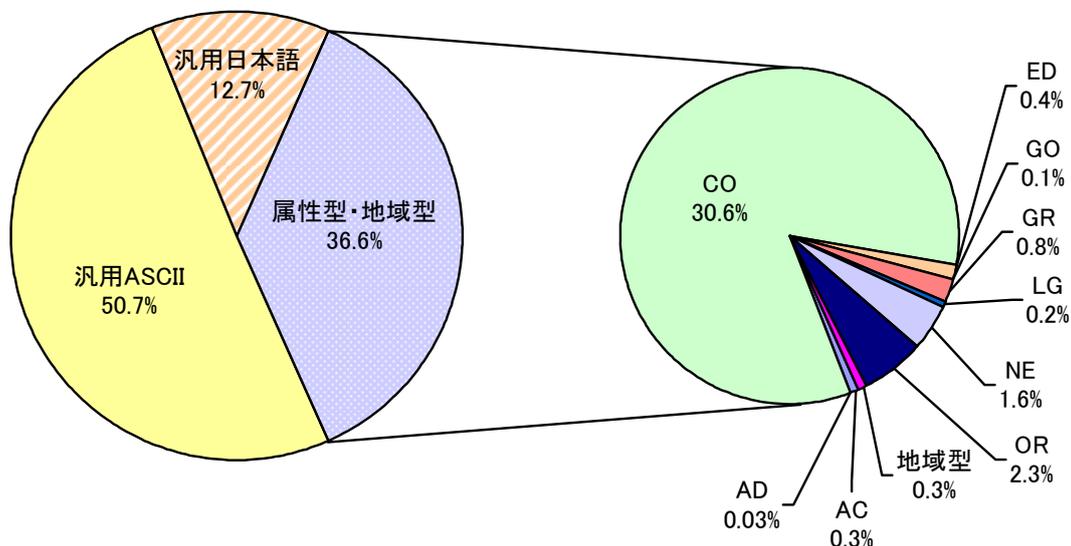
JP ドメイン名の累計登録数は、1,063,731（2009年1月1日現在）となっている。以下は、JP ドメイン名登録件数累計の推移である。



年月	属性型・地域型 JP ドメイン名	汎用JP ドメイン名 (ASCII)	汎用 JP ドメイン名 (日本語)	合計
1993年1月	953	---	---	953
1994年1月	1,341	---	---	1,341
1995年1月	2,206	---	---	2,206
1996年1月	4,781	---	---	4,781
1997年1月	15,477	---	---	15,477
1998年1月	33,739	---	---	33,739
1999年1月	58,549	---	---	58,549
2000年1月	124,573	---	---	124,573
2001年1月	234,294	---	---	234,294
2002年1月	283,340	121,992	61,507	466,839
2003年1月	297,413	153,949	51,544	502,906
2004年1月	309,193	199,698	45,402	554,293
2005年1月	327,742	254,131	63,324	645,197
2006年1月	346,340	323,182	116,602	786,124
2007年1月	363,768	394,404	124,153	882,325
2008年1月	378,903	468,125	141,858	988,886
2009年1月	389,598	539,212	134,921	1,063,731

以下は JP ドメイン名登録累計の内訳。

※2009年1月1日現在



(単位：件)

JP ドメイン名種類		2009年1月1日 登録数	2008年1月1日 登録数	増減数
属性型・ 地域型 JP ドメ イン名	AC：大学など教育機関	3,482	3,421	+61
	AD：JPNIC 会員	273	282	-9
	CO：一般企業	325,639	315,374	+10,265
	ED：小・中・高校	4,500	4,505	-5
	GO：政府機関	887	878	+9
	GR：任意団体	8,103	8,329	-226
	LG：地方公共団体	1,931	2,087	-156
	NE：ネットワークサービス	17,327	17,398	-71
	OR：会社以外の法人	24,470	23,518	+952
	地域型	2,986	3,111	-125
汎用 JP ドメ イン名	ASCII	539,212	468,125	+71,087
	日本語	134,921	141,858	-6,987
JP ドメイン名登録数合計		1,063,731	988,886	+74,845

(12)料金

汎用 JP ドメイン名の年間登録料金は1件あたり 2,500 円(消費税および地方消費税別)。

日本語 JP ドメイン名では上記よりもさらに低いキャンペーン料金を設定している。ただし、これらは指定事業者が JPRS に支払う料金であり、登録者が指定事業者に支払う料金は各指定事業者の提供するサービスによって異なる。

(13)紛争処理

JPNIC が策定する「JP ドメイン名紛争処理方針」および「JP ドメイン名紛争処理方針のための手続規則」を採用している。現在、JP ドメイン名紛争処理手続きは、JPNIC の認定を受けた日本知的財産仲裁センターが実施している。

(14)その他

- ・ 2008 年 6 月より、JPRS は、CO.JP ドメイン名について、指定事業者との間に新たなドメイン名登録申請方法を導入し、当該申請方法を用いて行われた申請については即時に処理を行うようにした。
- ・ 2008 年 6 月に、JPRS は、CO.JP ドメイン名の登録者が組織の閉鎖等により「存在しない」状態になっている場合、登録されている CO.JP ドメイン名を削除する手順を以下のように定めた。
 - 1)該当するドメイン名の管理指定事業者に、JPRS が確認依頼を行う。管理指定事業者は、登録情報に誤りがあった場合、最新の情報に更新する申請を行う。登録情報が正しい場合には、そのことを確認できる書類を JPRS へ提出する。登録情報が正しく修正された場合や、登録組織の存在が確認できた場合、ドメイン名は削除されない。
 - 2)管理指定事業者が登録組織を確認できない場合や、情報の更新が行えない場合、JPRS から登録者へ、ドメイン名の削除を行うことを郵便で連絡する。その連絡が登録者に到達した場合は到達の翌日に、到達しなかった場合は一定期間経過後、ドメイン名が削除される。
- ・ ICANN における IDN ccTLD の検討と並行する形で、JPRS は、2008 年 8 月に開催した諮問委員会において、日本を表す IDN ccTLD (仮に「.日本」)を JPRS にて管理することになった場合の「.日本」と.jp との関連付けに関する方針を諮問した。諮問委員会では、「.日本」と.jp の関連付けを行うことが適切か、また、関連付けを行う場合、どのような関連付けを行うのは適切かなどが議論されている。
- ・ フィッシング被害防止においてドメイン名レジストリが担うべき活動の方針に関して 2008 年 3 月に出された諮問委員会からの答申を受け、JPRS は、ドメイン名レジストリのフィッシング防止への取り組みとして、JPCERT/CC やインターネットホットラインセンター、指定事業者と協力し、フィッシングに使われた Web サイトを迅速に使用不可能とする対処を開始した。

(15)出典

- ・ JPRS

<http://jprs.co.jp/>

- JPRS JP ドメイン名サービス案内

<http://jprs.jp/>

- 社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

<http://www.nic.ad.jp/>

- 日本知的財産仲裁センター

<http://www.ip-adr.gr.jp/>

2-2-2-2 .au (オーストラリア)

登録管理組織：auDA (.au Domain Administration Ltd.)

(1)登録管理組織の歴史および性質

メルボルン大学のネットワークプログラマを務めていた Robert Elz 氏が、1986 年に IANA から .au の登録管理を委任された。その後、.au の登録管理責任を Elz 氏から民間組織に移すべきとの議論が国内でなされた結果、1997 年、.au の登録管理を担う組織として ADNA (Australian Domain Name Administration) が設立され、その後 1999 年に非営利法人 auDA (.au Domain Administration) へと再編された。auDA は、2000 年 12 月にオーストラリア政府と契約を締結し、政府から .au の登録管理組織として認定された。

(2)登録管理組織の運営形態

auDA 理事会は、Supply Class 会員によって選ばれた 4 名、Demand Class 会員によって選ばれた 4 名、CEO (投票権無し)、理事に任命された 3 名以下の独立理事から成る。また、課題ごとに、必要に応じ諮問パネルまたは委員会が設置され、理事会へポリシーの提案を行っている。

(3)会員

auDA の会員は、Supply Class および Demand Class で構成される。Supply Class 会員は、レジストリ、レジストラ、リセラから成る。Demand Class 会員は、登録者、インターネットユーザなど。会員になるためには、理事会の承認が必要となる。会員は、総会での投票権を持ち、Supply Class および Demand Class からそれぞれ理事を選出する。Supply Class 会員は 25、Demand Class 会員は 75 となっている (2009 年 1 月 13 日現在)。

(4)登録管理業務の委任体制

auDA が実施した競争入札の結果に基づき、AusRegistry が、ASN.AU、COM.AU、EDU.AU、GOV.AU、ID.AU、NET.AU、ORG.AU のドイン名について、2010 年 6 月末までレジストリ業務の委任を受けている。さらに、27 社のレジストラが AusRegistry に対する登録申請の取次を行っている (2009 年 2 月現在)。登録者はレジストラ経由でドメイン名の登録をすることができるが、レジストリへ直接申し込みをすることはできない。また、以下(5)に挙げた一部の SLD (Second Level Domain : 第 2 レベルドメイン名) については、ポリシー策定機能を auDA から他組織に委任している。

(5) ドメイン名の構成

.au のドメイン名空間は、次の 3 種類の SLD に分割されており、登録者は第 3 レベルのドメイン名を登録することになる。.au において登録されるドメイン名ラベルには 2 文字以上の文字が必要であり、登録可能な文字列は英数字およびハイフンとなっている。

a) Open SLD (組織種別により登録資格を設定している第 2 レベルドメイン名)

- ・ ASN.AU : 非営利法人、政党、労働組合、特別利益団体など
- ・ COM.AU : 企業
- ・ ID.AU : 個人
- ・ NET.AU : 企業 (COM.AU と同様の規定)
- ・ ORG.AU : 慈善団体、非営利組織
- ・ INFO.AU : 現在は新規登録を受け付けていない。
- ・ CONF.AU : 現在は新規登録を受け付けていない。

b) Closed SLD (特定組織に登録が限定されている第 2 レベルドメイン名)

- ・ EDU.AU : 国または州レベルで登記された教育機関。この空間のポリシーの策定は、AICTEC (Australian Information and Communications Technology in Education Committee) が行っている。レジストラは Education.au.Ltd。国の管轄下にある大学および教育機関は、通常第 3 レベルに登録するが、その他の学校等は州名の第 3 レベルの下に設けられた第 4 レベルに登録する。
- ・ GOV.AU : 政府組織。この空間のポリシー策定は、AGIMO (Australian Government Information Management Office) が行っている。
- ・ CSIRO.AU : CSIRO (Commonwealth Science and Industry Research Organisation : 豪州科学工業研究機構) 専用。この空間のポリシー策定は、CSIRO が行っている。

c) Community Geographic SLD (6 つの州と特別区域に登録が限定されている第 2 レベルドメイン名)

- ・ CGDN (Community Geographic Domain Names) (ACT.AU、QLD.AU、NSW.AU、NT.AU、SA.AU、TAS.AU、VIC.AU、WA.AU) : 非営利法人でローカルコミュニティを代表する組織。この空間のポリシー策定は auDA が行っている。

※auDA 設立以前に取り扱いドメイン名に含まれていた Closed SLD の OZ.AU、TELEMEMO.AU は、取扱いドメイン名には含まれていない。

(6) 登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

全てのドメイン名の登録にローカルプレゼンスが必要。ローカルプレゼンスの具体的な条件は、SLD ごとに定められている。たとえば COM.AU においては、登録者はオーストラリアで登記された会社、オーストラリアでの操業ライセンスを得ている外国会社、オーストラリアでの商標保持者、オーストラリアで法人化された団体などに限定されている。

(8)個人用ドメイン名

個人用のドメイン名である ID.AU を設けている。登録者は、オーストラリア市民であるか、またはオーストラリアに居住していなければならない。登録者の氏名およびその略称または次のいずれかに該当し登録者と密接に関係していると判断できる文字列が登録可能。登録件数：9,438（2009年1月現在）。

- a) 登録者の氏名に含まれている1語以上を含むまたはその1語以上から派生した文字列
- b) 登録者の通称

(9)予約ドメイン名

- a) 3、4文字目にハイフンを含むドメイン名
- b) 「commonwealth」、「federal」
- c) 「Anzac」（退役軍人大臣の承認が必要）
- d) 「Geneva Cross」、「Red Crescent」、「Red Cross」、「Red Lion and Sun」
（国防大臣の承認が必要）
- e) 「United Nations」（外務大臣の承認が必要）
- f) 「University」
（文部科学大臣の承認が必要）
- g) 「Olympic (s)」、「Olympiad (s)」、「Olympic Games」
（オーストラリアオリンピック委員会の承認が必要）

(10)IDN

導入していない。

(11)登録件数

1,303,887（2009年1月現在）。内訳は以下の通り。

Domains					
	Score	%	Jan-09	Jan-08	Jan-07
Registrations	▲	2.31	26597	25996	25327
Transactions	▲	16.24	59621	51293	48258
Renewals	▲	26.68	27773	21923	17510
Registrant Transfers	▲	100.00	333	0	0
Drop-off	▼	32.93	9342	7028	6633
Total Domains					
.au	▲	27.31	1303887	1024176	822474
com.au	▲	26.78	1125712	887924	714672
net.au	▲	36.55	127535	93397	71054
org.au	▲	21.10	37616	31061	25979
asn.au	▲	7.37	3586	3340	3050
id.au	▲	11.64	9438	8454	7719

(「AusRegistry EOM Report for General Release - High-Level Scorecard, January-09
(<http://www.ausregistry.com.au/reports/2009/PUBLIC-200901.pdf>)」より)

(12)料金

レジストラに課される1ドメイン名あたりの登録料金は以下の通り。なお、登録期間は2年間である。

(単位：オーストラリアドル)

	AusRegistry への支払 (税込)	auDA への支払 (税込)	合計 (税込)
com.au	16.50	3.85	20.35
net.au	16.50	3.85	20.35
asn.au	5.50	3.85	9.35
id.au	11.00	3.85	14.85
org.au	5.50	3.85	9.35

(13)紛争処理

auDA は、ASN.AU、COM.AU、ID.AU、NET.AU、ORG.AU の紛争処理のため「auDRP (.au Dispute Resolution Policy)」を定め、2002年8月1日に実施した。また、2003年6月には、EDU.AU のケースも取り扱うようになった。auDA 認定の紛争処理機関は、LEADR (Leading Edge Association of Dispute Resolvers)、CIArb (The Chartered Institute of Arbitrators)、IAMA (The Institute of Arbitrators and Mediators Australia)、WIPO (World Intellectual Property Organisation) の4組織。それぞれ

の組織では、1名または3名のパネルを任命して裁定を行っている。

(14)その他

- ・ 2007年に auDA 理事会が承認した勧告に基づき、2008年6月1日から、ドメイン名の登録者間移転（売買）に関する制限が緩和された。それまでは、登録者が登録したドメイン名を第三者に売却することは禁じられていたが、このポリシー変更により、登録後6ヶ月を経過しており、ドメイン名の移転先が登録資格要件を満たしていれば、売買その他の方法でドメイン名を移転できるようになった。
- ・ 2008年5月の AusCERT 会合での発表「Cyber Hack Update 2008」によれば、2007年から2008年にかけて、au ドメイン名全体でのハッキング被害件数は24,444件（2006年から2007年にかけては20,113件）であった。また、オーストラリアのインターネット利用者の634人に1人が攻撃を受ける可能性があることがわかった（2006年から2007年にかけては732人に1人）。このことから、au ドメイン名に対するサイバー攻撃が増加しているとオーストラリア国内メディアが報じた。

(15)出典

- ・ auDA
<http://www.auda.org.au>
- ・ AusRegistry
<http://www.ausregistry.com.au/>

2-2-2-3 .be (ベルギー)

登録管理組織：DNS Belgium (DNS BE)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.be は、1998 年 8 月に IANA データベースに登録された。.be におけるドメイン名の登録は、1989 年より、Katholieke Universiteit Leuven の Pierre Verbaeten 教授が開始した。1999 年 2 月、Verbaeten 教授の要請によって非営利法人 DNS Belgium (以下「DNS BE」) が設立され、2000 年 1 月 1 日には.be の登録管理が Verbaeten 教授から DNS BE へ移管された。

(2)登録管理組織の運営形態

DNS BE の運営に関する方針は理事会が決定する。また、理事会を支援する組織として、戦略委員会 (Strategic Committee) がある。戦略委員会は創立会員 (Founding Member)、有効会員 (Effective Member) および顧問会員 (Advisory Member) の代表で構成され、理事会で決定する方針案の策定や組織運営に関する助言を行う。

(3)会員

DNS BE の会員は、以下のように分類される。

a) 創立会員

- ・ Agoria (技術関係の業界団体)
- ・ ISPA Belgium (ISP の業界団体)
- ・ Beltug (Belgian Telecommunications Users Group) (電気通信サービスを利用する企業ユーザの団体)

b) 有効会員

- ・ Pierre Verbaeten 教授

c) 顧問会員

- ・ BIPT (Belgian Institute of Postal and Telecommunications Services)

(4)登録管理業務の委任体制

DNS BE は 2000 年 12 月 7 日に直接登録の受付を停止し、それ以来登録業務を全てレジストラに委任している。レジストラは 386 社 (2009 年 1 月現在)。

(5)ドメイン名の構成

第 2 レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字およびハイフン。登録可能な文字数は 2 文字以上 63 文字以下。

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

なし。

(8)個人用ドメイン名

特に個人用に限定したドメイン名カテゴリは設けていない。個人でも.beのドメイン名を登録することができる。

(9)予約ドメイン名

3、4文字目にハイフンを含むドメイン名は登録することができないが、このほかに予約や登録制限などの措置はとられていない。ドメイン名の登録システムは自動化されており、申請したドメイン名が既に他者に登録されていない限り、登録できる。しかし、ベルギーの商取引法などにおいて、商標権が設定されている文字列を権利保持者以外が登録できないと定められていることから、こうした条項に抵触する形で登録されたドメイン名は、差し止められる可能性がある。

(10)IDN

導入していない(2009年1月現在)。

(11)登録件数

以下は 2008 年における月ごとの登録件数。

Period	Total Registrations	New Registrations
jan 2008	746022	19845
feb 08	757663	18137
mar 2008	769014	18898
avr 08	781911	19573
mai 2008	791737	17368
jun 08	802287	18938
jul 2008	811066	16713
aug 08	819908	16379
sep 2008	831168	19139
oct 08	842842	21461
nov 2008	852049	19796
dec 08	859474	16668

(「Statistics (<http://www.dns.be/en/home.php?n=4>)」より)

(12)料金

DNS BE がレジストラに課す登録料金は、1年間あたり 3.025 ユーロ (税込)。

(13)紛争処理

DNS BE が定める「General Terms and Conditions」第 10 条に基づき、紛争処理が行われる。紛争処理機関は、DNS BE の認定を受けた Cepina (Belgian Centre for Mediation and Arbitration)。

(14)その他

- ・2008 年 1 月 30 日、DNS BE は、個人登録者のプライバシー保護強化を目的として、「Terms and Conditions」を改定した。実施は 2008 年 3 月 1 日から。変更の主旨は以下の通り：
 - a) 個人登録者について、Whois で公開される項目を更に限定した。前回の改定で電話およびファックス番号を非表示にしたが、今回は登録者名、住所も非表示とした。電子

メールアドレスのみ表示される。

- b) そのドメイン名について裁判となった場合には、登録者の情報開示を請求できる手順が定められた。提出された開示請求は、DNS BE の法務部が審査する。
- 2007年11月13日、DNS BE は、ベルギーの公用語であるオランダ語、フランス語、ドイツ語のアクセント記号がついた文字 (à, é, è, ê, â など) を使ったドメイン名の登録を2008年より開始すると発表した。しかし、その後実施した公開意見募集の結果を受け、2008年7月4日、このIDN導入を一旦中止すると発表した。中止した具体的な理由は明らかにされていない。
 - 2009年1月15日、DNS BE は、「Terms and Conditions」の紛争処理に関する条項を改定した。ADRで移転裁定がなされた場合、ADRの手続きにかかった費用が申立人に全額返還されるというもの。返還した分の費用は、DNS BE から旧登録者へ請求される。実施は2009年2月15日から。
 - 2009年2月2日、DNS BE は、治安判事の命令に従い、いわゆる fast flux に利用され、フィッシングサイトへリダイレクトされていた163件にのぼる be ドメイン名の登録を取り消した。

(15)出典

DNS Belgium

<http://www.dns.be/en/home.php>

2-2-2-4 .ca (カナダ)

登録管理組織：CIRA (Canadian Internet Registration Authority)

(1)登録管理組織の歴史および性質

1988年、.caは、IANAからブリティッシュコロンビア大学情報工学科コンピュータセンターのマネージャであったJohn Demco氏に割り当てられた。その後、1998年12月に、カナダ政府およびブリティッシュコロンビア大学などが共同し、.caの登録管理を改革するための非営利法人としてCIRAを設立した。CIRAはブリティッシュコロンビア大学から業務を引き継ぎ、2000年12月から正式な登録管理組織として業務を開始した。

(2)登録管理組織の運営形態

CIRAを運営する理事会は、15名の理事から構成される。内訳は、個人インターネットユーザ、企業ユーザおよび認定レジストラの各コミュニティから選出された合計3名の理事(任期1年)、会員の選挙により選出された9名の理事(任期最長3年)、理事会創設者のJohn Demco氏、投票権を持たない職権上の理事としてのカナダ政府の代表とCIRA Presidentとなっている。

(3)会員

.caのドメイン名を1つ以上登録している登録者には、会員資格が与えられる。各会員には、年次総会への出席の権利、規則の変更に関する投票権、取締役の選挙での投票権および会員と取締役に対する問題や懸念事項を提出する権利が与えられる。

(4)登録管理業務の委任体制

102社の認定レジストラへ登録業務を委任している(2009年1月現在)。

(5)ドメイン名の構成

第2、第3、第4レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字およびハイフン。登録文字数は2文字以上50文字以下。以下の通り分類される。

a) 第2レベルドメイン名

- ・.CA

b) 第3、第4レベルドメイン名(地域別ドメイン名)

- ・<province>.CA
- ・<city>.<province>.CA

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

.ca のドメイン名には、ローカルプレゼンス要件がある。具体的には、登録者は以下の要件を満たさなければならない。カナダ国民(成人)、「Immigration and Refugee Protection Act (Canada) S.C. 2001, c.27」に定める永住者およびその法定代理人、カナダの法律で定める法人、トラスト、パートナーシップ、労働組合、政党、教育機関、図書館、博物館、病院、エリザベス 2 世とその後継者、インディアン、カナダ先住民、政府、カナダで登録された商標、メンバーまたは運営者の 80%以上がカナダ居住者である団体など。

(8)個人用ドメイン名

特に個人用に限定したドメイン名は設けていない。個人でも.ca の第 2 レベルドメイン名を登録することができる。

(9)予約ドメイン名

.ca における予約ドメイン名は、以下のように分類される。

- a) 「ca.ca」、3 文字 gTLD の TLD ラベルを含むドメイン名(「com.ca」、「org.ca」、「net.ca」、「edu.ca」、「gov.ca」、「int.ca」、「mil.ca」など)。「mil.ca」は、国防省用に予約されている。
- b) 「village.ca」、「hamlet.ca」、「hameau.ca」、「town.ca」、「city.ca」、「ville.ca」、「municipal.ca」
- c) その他 CIRA の裁量によって定める文字列
- d) カナダの国名、州名、地域名およびその短縮形、CGNDB (Canadian Geographical Names Database) に記載された都市名、町名、村名、その他行政地区の名称。

(10)IDN

導入していない。

(11)登録件数

1,139,877 (2009 年 01 月 08 日現在)。

(12)料金

CIRA からレジストラに対して 1 ドメイン名あたり年間 8.5 カナダドルの登録料金を課している。

(13)紛争処理

CIRA では、2002 年より「CDRP (CIRA Domain Name Dispute Resolution Policy)」を実施している。紛争処理機関として、Resolution Canada, Inc. および BCICAC (British Columbia International Commercial Arbitration Center) が任命されている。2006 年 6 月 30 日から 8 月 31 日まで、CDRP の公平性、利便性、効率などの観点から改善を加えるため、公開意見募集を実施した。改訂版の CDRP は、2008 年 5 月 9 日に公開され、6 月 10 日に実施された。

(14)その他

・2008 年 6 月 11 日、CIRA はドメイン名登録者（個人）の個人情報保護強化を目的とした新 WHOIS プライバシーポリシーを実施した。このポリシーにより、特別な場合または登録者の同意がある場合を除き、名前、自宅住所、電話番号、電子メールアドレスといった個人情報は公開されなくなる。なお、登録者が企業である場合、その企業に関する情報は公開される。

(15)出典

CIRA

<http://www.cira.ca>

2-2-2-5 .ch (スイス)

登録管理組織：SWITCH (Swiss Academic and Research Network)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.ch の登録管理業務は、1987年10月から開始された。登録管理を行っているのは、スイス連邦と大学のある8つの州（バーゼル市、ベルン、フリブール、ジュネーブ、ヌシャテル、サン・ガル、ボー、チューリッヒ）により設立された非営利の財団法人である SWITCH。なお、SWITCH は、.ch に加えて.li（リヒテンシュタイン公国）のドメイン名登録管理業務も行っている。

(2)登録管理組織の運営形態

SWITCH は、業務を統括する執行理事会と、執行理事会を監視する理事会によって運営されている。

(3)会員

なし。

(4)登録管理業務の委任体制

.ch におけるドメイン名の登録業務は、SWITCH の認定を受けた29社のパートナーが行っている（2009年1月現在）。また、SWITCH でもドメイン名の登録申請を受け付けている。

(5)ドメイン名の構成

.ch のドメイン名は第2レベルへ登録される。登録可能な文字列は、英数字、ハイフンおよびIDN。登録可能な文字数は、3文字以上63文字以下。

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

なし。

(8)個人用ドメイン名

特に個人用に限定したドメイン名カテゴリは設けていない。.ch のドメイン名は個人でも登録することができる。

(9)予約ドメイン名

以下のドメイン名は登録することができない。

- a) 1文字目および3、4文字目にハイフンを含むドメイン名
- b) 文字列の最後にハイフンを含むドメイン名
- c) スイス連邦通信庁によって予約された語

(10)IDN

2004年3月1日以降、以下の31文字を含むドメイン名の登録が可能となった。

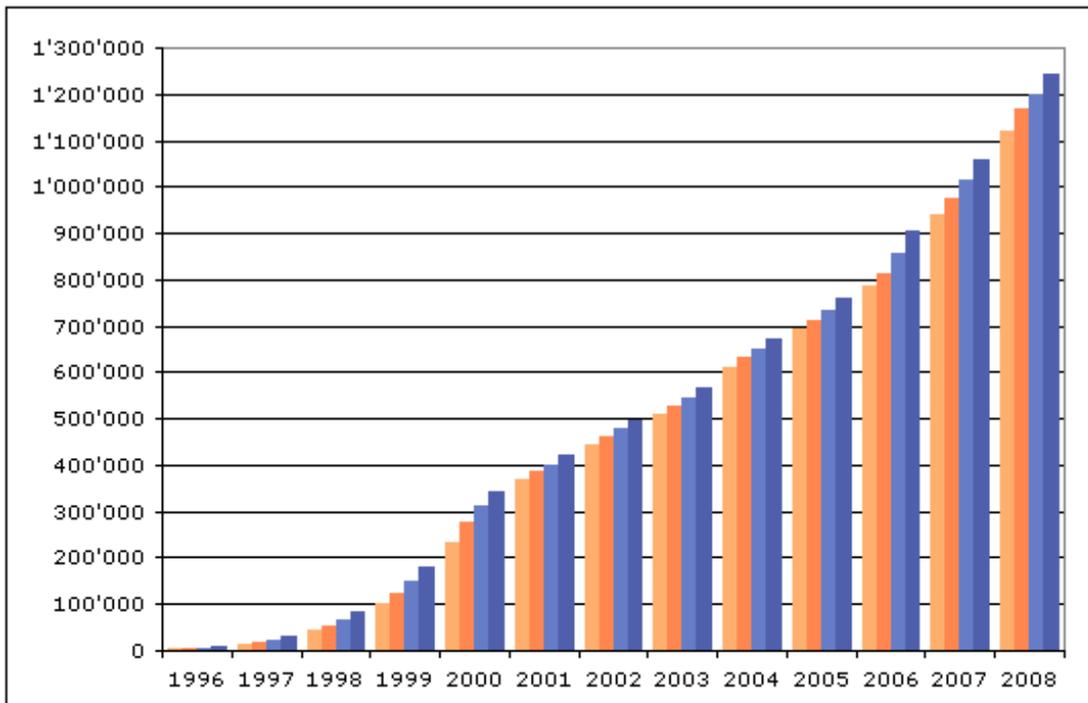
à, á, â, ã, ä, å, æ, ç, è, é, ê, ë, ì, í, î, ï,
ð, ñ, ò, ó, ô, õ, ö, ø, ù, ú, û, ü, ý, þ, ÿ

また、2005年12月1日には、以下の1文字もドメイン名ラベルに利用できるようになった。

œ

(11)登録件数

1,244,567 (2008年12月31日現在)。1995年以来の登録件数の推移は以下の通り。



	31 March	30 June	30 September	31 December
1995	412	601	881	1472
1996	2462	4126	6287	8906
1997	12'327	17'475	23'683	32'221
1998	41'871	53'631	66'884	83'656
1999	102'364	123'387	148'677	180'774
2000	232'701	275'730	313'075	342'347
2001	369'599	384'348	401'760	422'851
2002	442'203	461'265	479'808	496'635
2003	510'451	527'638	544'228	564'873
2004	612'151	630'258	650'941	673'529
2005	693'617	713'682	734'165	759'183
2006	786'933	814'683	857'584	903'669
2007	939'570	975'357	1'015'576	1'056'751
2008	1'119'012	1'169'074	1'198'105	1'244'567

(「Statistics for Domain Names Ending in .ch and .li (<http://www.switch.ch/id/stat>)」より)

(12)料金

SWITCH に直接登録申請をする場合、1 ドメイン名あたり年間 17 スイスフランが課される。この料金は、2008 年 2 月 1 日に 22 スイスフランから値下げされた。

(14)その他

2008年4月21日、SWITCHはスイス国内10都市のドメイン名登録数統計を発表した。チューリッヒが1999年に23,850件を記録して以来トップの座を守り続け、2007年には102,334件を記録したという。

(15)出典

SWITCH

<http://www.switch.ch/en/>

2-2-2-6 .cn (中国)

登録管理組織：CNNIC (China Internet Network Information Center)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.cn を登録管理する CNNIC は、CAS (Chinese Academy of Sciences : 中国科学院) が国務院の委任を受け 1997 年 6 月に設立した非営利組織。CNNIC の主な事業は、.cn の登録管理のほかに、IP アドレスおよび AS 番号の割り振り、技術研究、調査、情報サービス、ISC (Internet Society of China) におけるインターネットポリシーおよび資源委員会の事務局などがある。

(2)登録管理組織の運営形態

CNNIC は、中国政府 (情報産業部) の監督下にある。また、CNNIC の組織運営は CAS によって行われている。さらに、インターネットに関する専門家および中国国内のインターネット業界の代表者で構成する CNNIC 運営委員会が、CNNIC の業務を監督、評価している。

(3)会員

ISP が IP アドレスの申請を行うために CNNIC 会員となっているが、この会員は CNNIC のガバナンスとは関係がない。

(4)登録管理業務の委任体制

国内認定レジストラおよび国外認定レジストラへ登録業務を委任している。米国 NeuLevel 社が、唯一の「Registry Gateway」として国外認定レジストラをとりまとめている。国内認定レジストラは 54 社、国外認定レジストラは 91 社 (2009 年 1 月現在)。

(5)ドメイン名の構成

第 2、第 3 レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字、ハイフン、IDN (中国語文字)。登録可能文字数は 63 文字以下。第 3 レベルへの登録は 20 文字以下。氏名の登録 (ASCII または中国名のピンイン表記) は第 3 レベルへの登録が望ましいとされる。登録者は、組織でなければならないとされる。.cn のドメイン名は、以下のように分類される。

a) 第 2 レベルドメイン名 (ASCII)

- ・.CN

b) 第 2 レベルドメイン名 (中国語文字)

- ・.CN

c) 組織種別ドメイン名

- ・ AC.CN : 科学技術の研究機関
- ・ COM.CN : 企業
- ・ EDU.CN : 教育機関
- ・ GOV.CN : 政府機関
- ・ MIL.CN : 国防関係組織
- ・ NET.CN : ISP など
- ・ ORG.CN : 非営利組織

d) 行政区ドメイン名

- ・ <地域略号>.CN (例: 北京は BJ.CN) : 34 の省、自治区、直轄市、特別行政区の組織

e) その他

- ・ .中国、.公司、.网络

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

なし。

(8)個人用ドメイン名

なし。

(9)予約ドメイン名

a).CN (第 2 レベルドメイン名)、COM.CN、NET.CN および ORG.CN について

- ・ 国名、ISO3166 による国名の 3 文字表記
- ・ 中国政府機関および指導者名
- ・ 国家安全保障のための名称
- ・ 州および都市名
- ・ 「001」などの特定電話番号
- ・ 全ての gTLD および一部の第 2 レベル空間 (「biz.cn」、「kids.cn」など)
- ・ 特定の著名商標 (約 350)
- ・ 世界文化、遺産を促進するために国連が指定した名称
- ・ 中国の大学、単科大学の名称
- ・ 国のニュース局に承認されたニュースメディア

b) その他の第 3 レベルドメイン名について

- ・ 中国の名称に関連する語 (「China」、「Chinese」、「CN」など)

- ・ 著名な外国の国名/地域名など

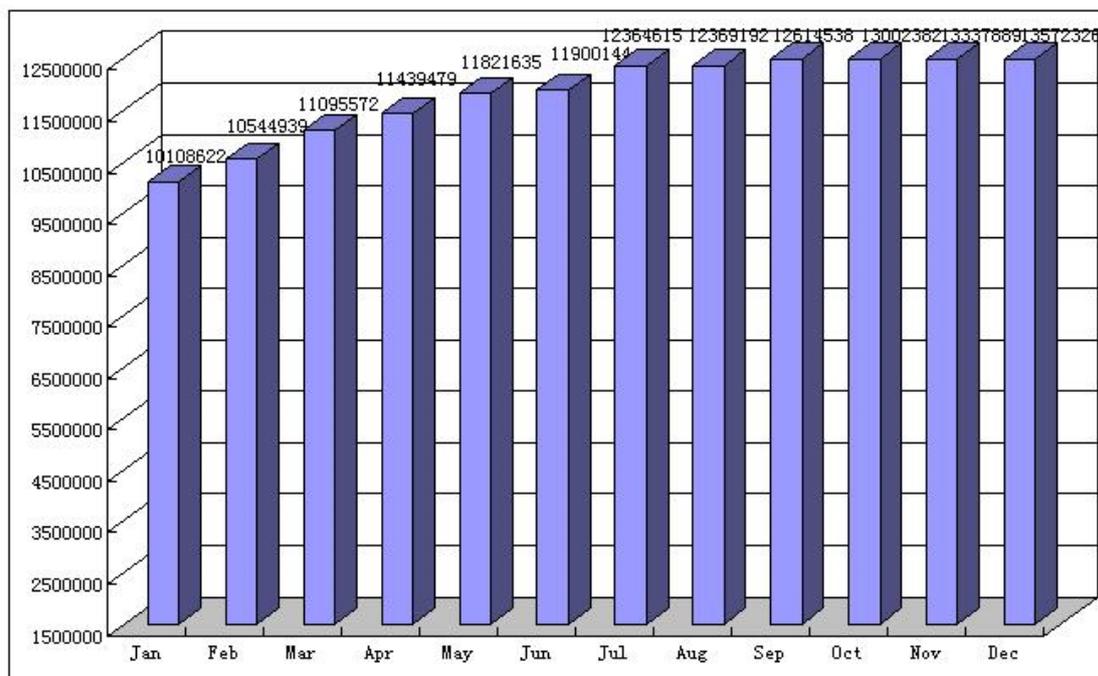
(10)IDN

2000年1月18日から中国語文字によるドメイン名（例：<中国語文字>.cn）の試験登録を、2000年11月7日から政府の承認を受けた正式登録を行っている。その後、2005年1月17日に、中国語文字ドメイン名を海外市場に開放した。また、2003年からは、トップレベルドメインに似た独自の.中国、.公司、.网络を導入した。これは、クライアント側で専用プラグインをインストールすることにより、.中国、.公司、.网络を使用したドメイン名にアクセスしようとする、自動的にそのドメイン名の末尾に.cnが付加された上でアクセスする仕組みである。この仕組みにおいては、例えば「中国語.公司」を登録した場合、レジストリのデータベースでは「中国語.公司.cn」というドメイン名として管理されることになる。

(11)登録件数

13,572,326 (2008年12月末現在)。内訳は、COM.CN：3,629,375、NET.CN：505,333、ORG.CN：218,703、GOV.CN：45,555、AC.CN：13,438、EDU.CN：3,441、.CN（第2レベルドメイン名）：8,878,139、行政区ドメイン名：278,336、MIL.CN：6。また、以下は2008年の登録件数の推移。

2008年域名增长趋势



(「2008年域名增长趋势 (<http://www.cnnic.cn/html/Dir/2008/02/26/4997.htm>)」より)

(13)紛争処理

「CNNIC Domain Name Dispute Resolution Policy」を定めている。紛争処理は、CNNICが認定した CIETAC (China International Economic Trade Arbitration Commission) および HKIAC (Hong Kong International Arbitration Center) が行う。

(14)その他

- ・ 2008年3月28日、CNNICは、中国の農村部での2007年12月末時点におけるインターネット普及状況調査の結果を発表した。それによれば、インターネットの利用人口は農村部で5,262万人(前年同月比127.7%増)、都市部で1億5,738万人であった。普及率は、農村部が7.1%、都市部が27.3%で、教育水準や収入の格差を反映した結果となった。また、農村部では電子政府の利用が進んでいないことも明らかになった。具体的には、約3万4,000ある行政区のうち、Webサイトを設置しているのは10%以下にとどまった。
- ・ 2008年5月12日に発生した四川大地震の後、CNNICは、2008年5月13日から6月13日までの期間に登録期間が終了する全てのcnドメイン名の登録期間を無条件に1ヶ月

延長すると発表した。

- 2008年7月18日、cnドメイン名を用いたフィッシングの問題に対応するため、CNNIC、レジストラ、中国国内の銀行およびセキュリティ関連企業などの共同により、Anti-phishing Alliance of China (APAC) が設立された。CNNICはAPACの事務局を務めることになった。CNNICは、フィッシングの報告を受け事実を確認できた場合、そのドメイン名の名前解決をただちに停止する権限を持つことになった。その後、2008年10月末までに、CNNICはフィッシングに悪用されていた約300件のドメイン名の登録を停止した。
- CNNICは、2009年1月14日に「第23回中国インターネット発展状況報告」を発表した。同報告によれば、中国のインターネット普及率は、2008年末時点で前年比41.9%増えて22.6%に達し、世界平均の21.9%を上回った。また、中国国内のインターネット利用者数は2億9800万人にのぼり、国際水準を超え、3億人に近づいている。また、ブロードバンド利用者数も2億7000万人に達した。さらに、中国を示す.cnのドメイン名登録数は、1,357万2000件に達し、世界第1位の件数となった。

(15)出典

CNNIC

<http://www.cnnic.net.cn>

2-2-2-7 .de (ドイツ)

登録管理組織：DENIC (DENIC eG)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.de は、IANA によりトップレベルドメインとして 1986 年 11 月に登録された。当時、.de の登録管理はドルトムント大学のボランティアによって行われていた。1993 年 8 月になると、.de のネームサーバを運営するために、ドイツにある 3 社の ISP が主導して IV-DENIC (Interessenverbund Deutsches Network Information Center) を設立した。1996 年 12 月、会員数が 36 社に達したことを機に、IV-DENIC が共同組合としての DENIC eG (以下「DENIC」) を設立した。DENIC はそれまで IV-DENIC からカールスルーエ大学が受託していた業務を引継ぎ、1999 年 1 月に登録管理業務の移管を完了した。

(2)登録管理組織の運営形態

DENIC の運営は、執行理事会 (Executive Board)、監督委員会 (Supervisory Board) および総会によって行われている。執行理事会は、監督委員会が任命する 3 名以上の執行理事および 2 名の総会選出理事で構成され、DENIC 事務局が実施する事業、財務の状況を管理し、監督委員会に報告する。監督委員会は、総会で選出された 3～5 名の会員代表で構成される。会員は、総会での投票権を持つ。

(3)会員

.de のドメイン名を管理しており、既存の会員と財務上の関連がなく、かつ財務面での長期的な安定を証明できれば、執行理事会の承認によって DENIC 会員になることができる。ドメイン名の登録事業者および ISP が DENIC の会員となっている。会員数は 258 (2007 年 11 月現在)。

(4)登録管理業務の委任体制

会員へ登録業務を委任している。(上記(3)参照)

(5)ドメイン名の構成

.de のドメイン名は、第 2 レベルへ登録する形式のみとなっている。登録可能な文字は英数字、ハイフンおよび IDN (ドイツ語、フランス語、デンマーク語など)。登録できる文字数は 3 文字以上 63 文字以下。1 文字以上のアルファベットを使用する必要があり、数字のみで構成するドメイン名は登録できない。

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

なし。ただし、ドイツ国内に本拠を置いていない登録者は、ドイツ国内に居住し、送達される文書を受け取ることができる住所を有する登録担当者（**administrative contact**）を指定しなければならない。

(8)個人用ドメイン名

特に個人用に限定したドメイン名カテゴリは設けていない。個人でも.de のドメイン名を登録することができる。

(9)予約ドメイン名

以下のドメイン名は予約されている。

- a) 3、4文字目にハイフンを含むドメイン名
- b) 既存の gTLD および ccTLD
- c) 自動車のナンバープレートに表示される地域コード、または地域コード中のウムラウトをそれに相当する 2 文字の母音に置き換えた文字の組み合わせ（「ä」の場合は「ae」、
「ö」の場合は「oe」、「ü」の場合は「ue」）。

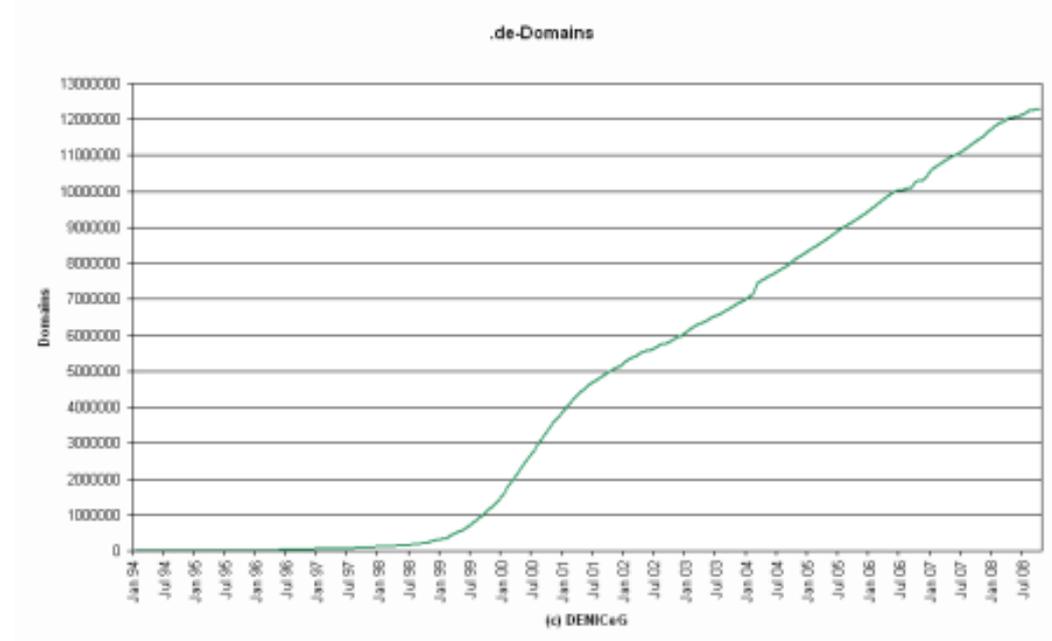
(10)IDN

2004年3月1日から.deにおけるIDNの登録が開始された。2007年12月時点ではドイツ語、フランス語、デンマーク語の特殊文字を含む92文字が登録可能であるが、ドイツ語文字のßはドメイン名ラベルに使用できない。登録件数は、434,222（2008年11月30日現在）。

(11)登録件数

登録総数は 12,402,383、うち IDN は 434,222。(2008 年 11 月 30 日現在)

以下は 1994 年 1 月以来の累計登録件数の推移。



(「Domain Count⁶⁴」より)

(12)料金

DENIC が会員に課すドメイン名登録料金は非公開となっている。登録者が DENIC に直接ドメイン名を申請できる DENIC のサービス「DENICdirect」における 1 ドメイン名あたりの新規登録料は、116 ユーロ。維持料は年間 58 ユーロ (付加価値税 19%込み)。

(13)紛争処理

.de では、ドメイン名に関する紛争は基本的に裁判によって処理されており、DENIC として紛争処理方針や手続きは特に定めていない。しかし、DENIC では、「DISPUTE-entry」というサービスを無料で提供している。DISPUTE-entry では、係属中のドメイン名の移転を制限でき、対象となるドメイン名が判決によってもとの登録者からリリースされた場合に、このサービスに申し込んだ者がそのドメイン名を自動的に登録できる。なお、このサービスは、第三者がドメイン名に対する権利を持つことを証明でき、当該ドメイン名の登録者との交渉や裁判などをこれから行う、もしくはすでに行っている場合に申し込むことができる。

(14)その他

⁶⁴ <http://www.denic.de/en/domains/statistiken/domainentwicklung/index.html>

- 2008年9月23日より、DENICは「Domaincheck」という新たな情報提供サービスを開始した。Domaincheckを用いて、.deおよびENUMドメインの登録状態を確認することができる。DENICは、Domaincheckが将来Whoisに替わるサービスになると位置づけている。Domaincheckは、IRIS (Internet Registry Information Service) という標準に基づいて開発されたもの。Whoisとの主な違いとして、XML (Extensible Markup Language) を用いた検索であることが挙げられる。

(15)出典

DENIC

<http://www.denic.de/en/index.html>

2-2-2-8 .eu (欧州連合)

登録管理組織：EURid (The European Registry of Internet Domain Names)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.eu の登録管理者である EURid は、.be (ベルギー) の登録管理組織 DNS Belgium、.it (イタリア) の登録管理組織 IIT CNR および.se (スウェーデン) の登録管理組織 IIS が共同で設立した非営利組織で、2003 年 4 月にベルギーで非営利法人として登記された。2005 年 6 月、EURid は ICANN と契約を締結し、正式に.eu の登録管理者となった。その後、.eu のドメイン名の運用は、EURid のもとで 2005 年 12 月から開始された。

(2)登録管理組織の運営形態

EURid は、創立会員 3 組織と賛助会員 4 組織から構成される。理事会は総会で任命された 3 名以上の理事で構成される。また、EURid の活動に関し、自発的に、または理事会の諮問に応じて助言する戦略委員会が設置されている。戦略委員会は理事および理事会によって任命された委員により構成され、その規模は 10 名以内と定められている。

(3)会員

a) 創立会員

DNS BE、IIT CNR および IIS。

b) 賛助会員

賛助会員として入会するには、理事会の承認が必要となっている。承認の条件は、インターネットに関わる人々の利益に貢献する、あるいは賛助会員の条件に関心を持つ法人または個人であること。2009 年 1 月時点の賛助会員は、.si (スロベニア) の登録管理組織 Arnes、.cz (チェコ) の登録管理組織 CZ NIC、ISOC-ECC (The European chapter of the Internet Society)、および 33 ヶ国、39 会員で構成する業界団体の BUSINESS EUROPE の 4 組織。

(4)登録管理業務の委任体制

.eu ドメイン名の登録は、レジストラを通じて行われる。EURid は、991 社のレジストラに登録業務を委任している (2009 年 1 月現在)。

(5)ドメイン名の構成

第 2 レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字およびハイフン。登録文字数は、2 文字以上 63 文字以下。

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

.eu においては、以下の資格のいずれかに該当しなければドメイン名を登録できない。

- a) EC 内に主たる事業所や登記された事務所をもつ企業
- b) EC 内に設立され、国内法の適用を阻害することのない組織
- c) EC 内に居住する自然人

(8)個人用ドメイン名

特に個人用に限定したドメイン名カテゴリは設けていない。個人でも.eu のドメイン名を登録することができる。

(9)予約ドメイン名

- a) 3、4 文字目にハイフンを含むドメイン名
- b) 地理的/地政学的概念を表す名称（各 EU 加盟国が指定したもの）
- c) 国の名称を表す 2 文字のコード
- d) EU 加盟国、加盟準備国、欧州経済地域に所属する非加盟国の政府機関の利用のために予約された名称
- e) 欧州委員会の利用のために予約された名称
- f) .eu 登録管理組織の利用のために予約された名称（「eurid.eu」、「registry.eu」、「nic.eu」、「dns.eu」など）

(10)IDN

導入していない。なお、EURid は.eu の IDN 導入にあたっては、23 言語ある EU の公用語の全てをサポートすると表明している。IDN 導入に向けた準備のため、2007 年 6 月、IDN の専門知識とともに知的所有権、商標権のバックグラウンドを持つメンバによる IDN 諮問委員会が設立された。2007 年 9 月末、諮問委員会は EURid がどのように IDN を導入するか、いくつかの選択肢を提示し、また、実装されるスクリプトの推奨を行い、作業を終了した。

(11)登録件数

2005年12月7日からサンライズ期間を開始、2006年4月7日より、一般の登録受付を開始した。2009年1月16日時点の登録件数は3,007,459件。登録者の所在する国ごとの登録件数（2009年1月16日時点）は以下の通り。

Aland Island	218	Germany	913238	Martinique	81
Austria	73261	Gibraltar	4532	Netherlands	407690
Belgium	90089	Greece	24367	Poland	172376
Bulgaria	8984	Guadeloupe	170	Portugal	11446
Cyprus	52965	Hungary	28140	Reunion	280
Czech Republic	77828	Ireland	59107	Romania	20045
Denmark	44176	Italy	161842	Slovakia	17637
Estonia	7973	Latvia	7242	Slovenia	6050
Finland	14377	Lithuania	9057	Spain	67937
France	242489	Luxembourg	27037	Sweden	80247
French Guiana	20	Malta	2665	United Kingdom	369192

（「.eu Statistics⁶⁵」より）

(12)料金

2008年2月1日より、EURid がレジストラに課すドメイン名登録料金は、1ドメイン名あたりそれまでの年間5ユーロから4ユーロへ引き下げられた。

(13)紛争処理

「.eu Alternative Dispute Resolution Rules」を定めている。紛争処理機関は、チェコ仲裁裁判所。

(14)その他

- ・2008年8月12日、EURid は、レジストラ満足度調査の結果を発表した。結果は以下の通りである。
 - a) 9割以上のレジストラが、EURid の電話/電子メールによるサービスに満足または予想以上に満足。EURid の対応の早さには満足または非常に満足と回答。
 - b) ドメイン名登録システムの機能に関しては、86%が改善点は見当たらないとしているが、ドメイン名の取引と移転に関する手続きおよびシステムの変更箇所のトラッキングについて改善を求める意見が寄せられた。
- ・2006年4月7日の登録開始以来2年間で、総計280万件、毎日2,500件のeuドメイン名が登録された。登録が最も多かったのはドイツ、次いでイギリス、オランダ。2007年登録数が最も伸びたのはポーランド（48.6%）、次いでリトアニア（48.5%）、フィンラン

⁶⁵ <http://www.eurid.eu/en/about/facts-figures/statistics/>

ド (39.8%) であった。

- 2008年2月29日、EURidは、Whoisの個人情報保護の強化を発表した。Whois検索を行うと、即座に「そのドメイン名が登録可能かどうか」または「登録が許されているかどうか」が表示されるように改善された。
- WhoisIrelandがWebサイト1,723,638件を調査したところ、.euを使用したWebサイトでアクティブなものは13.37%のみだった。その他、ブランド名の登録は7.78%、コンテンツが同じものは6.02%、リダイレクトされるものは16.68%、ウェアハウジングは14.22%、パーキング中のページは16.79%という結果となり、ccTLDとしては大失敗と評された。
- 2009年1月14日のEURidの発表によると、2009年1月11日付けで.euドメイン名の登録件数が300万件を突破した。

(15)出典

EURid

<http://www.eurid.eu/>

2-2-2-9 .fr (フランス)

登録管理組織： AFNIC (Association Française pour le Nommage Internet en Cooperation)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.fr は、1986 年 9 月に IANA データベースに登録され、INRIA (Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique) 内の NIC France が登録管理を開始した。1998 年 1 月、INRIA およびフランス政府の共同により非営利法人 AFNIC が設立され、NIC France の業務は AFNIC に引き継がれた。AFNIC は非営利法人で、.fr のほかに.re (レユニオン) など、11 の ccTLD を登録管理している。

(2)登録管理組織の運営形態

AFNIC は、理事会、執行部、総会、レジストラ協議会、ユーザ協議会によって運営されている。理事会は、5 名の政府代表、5 名の創立会員 (INRIA から 2 名、関係省庁から 3 名) と、総会で選出される 2 名のレジストラ会員、2 名のユーザ会員および 1 名の通信会員 (Correspondent Member) により構成される。理事の中から選出された議長が執行部の長である事務局長を任命する。理事会または執行部は、レジストラ協議会 (全てのレジストラ会員で構成) およびユーザ協議会 (全てのユーザ会員で構成) に対し、必要に応じて諮問することができる。

(3)会員

AFNIC の会員には、インターネットに関心があれば誰でもなることができる。なお、ドメイン名登録業務を行うにはレジストラ会員になる必要がある。AFNIC 会員の分類は以下の通り。

a) 創立会員

INRIA、郵便・電気通信省 (Ministere Delegee a la Poste aux Telecommunications et a l'Espace)、経済・財政・産業省 (Ministere de l'Economie, des Finances et de l'Industrie Secretariat d'Etat au Commerce exterieur) および教育・研究・技術省 (Ministere de l'Education nationale, de la Recherche et de la Technologie)

b) レジストラ会員

レジストラ

c) ユーザ会員

法人 (企業、団体) および個人

d) 通信会員

国外の関係団体など

f) 名誉会員

理事会が決定する個人

(4)登録管理業務の委任体制

.fr のドメイン名登録業務は、AFNIC からレジストラ会員へ委任されている。AFNIC に直接ドメイン名の登録を申し込むことはできない。

(5)ドメイン名の構成

.fr のドメイン名は、第 2 レベルまたは第 3 レベルへ登録される。登録可能な文字列は、英数字およびハイフン。登録可能な文字数は 255 文字以内で、各レベル 63 文字以内。.fr のドメイン名は、以下の通り分類される。

a) 第 2 レベルドメイン名

- ・ .FR : 組織および個人

b) 属性型ドメイン名 (Descriptive Domain Name)

- ・ ASSO.FR : INSEE (National Institute of Statistics and Economic Studies) に登録している団体
- ・ COM.FR : 法人または個人
- ・ NOM.FR : フランスに居住する個人およびフランス国外に居住するフランス国籍保持者
- ・ PRD.FR : 研究開発プロジェクト
- ・ PRESSE.FR : 報道関係の組織
- ・ TM.FR : 商標保持者

c) 部門別ドメイン名 (それぞれに管轄機関があり、機関ごとの規則に従ってドメイン名が登録される。ただし、審査は AFNIC が行う)

- ・ AEROPORT.FR : 空港
- ・ ASSEDIC.FR : 商工業雇用協会
- ・ AVOCAT.FR : 弁護士
- ・ AVOUES.FR : 事務弁護士
- ・ CCI.FR : 商工会議所
- ・ CHAMBAGRI.FR : 農業会議所
- ・ CHIRURGIENS-DENTISTES.FR : 歯科医
- ・ EXPERTS-COMPTABLES.FR : 専門家
- ・ GEOMETRE-EXPERT.FR : 幾何学者
- ・ GRETA.FR : 国立教育機関
- ・ GOUV.FR : 政府
- ・ HUISSIER-JUSTICE.FR : 廷吏

- ・ MEDECIN.FR : 医者
- ・ NOTAIRES.FR : 公証人
- ・ PHARMACIEN.FR : 薬剤師
- ・ PORT.FR : 港
- ・ VETERINAIRE.FR : 獣医

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無
なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

.fr におけるローカルプレゼンスの条件は以下の通り。

a) .FR (第2レベルドメイン名) の場合

- ・ フランスに本拠がある法人は以下のいずれかにより識別可能でなければならない。
 - 商事裁判所レジストリ
 - INPI (National Corporate and Trade Register)
 - INSEE
 - REFASSO (団体の場合)
- ・ 個人または法人で知的財産研究所にフランス市場向けの商標を登録している場合は、ICMARQUES (INPI) データベースで識別可能でなければならない。
- ・ 個人の場合、フランス国内に住所を持つ成人でなければならない。

b) 第3レベルドメイン名の場合

- ・ 属性ごとに指定されたフランス国内機関での登記または登録の証明書を提出しなければならない。ただし、NOM.FR はフランスに居住している個人のほか、外国に居住しているフランス国籍保持者も登録可能。COM.FR も、フランスに居住する 18 歳以上の個人のほか、外国に居住している 18 歳以上のフランス国籍保持者が登録可能となっている。

(8)個人用ドメイン名

個人専用のドメイン名空間として、NOM.FR を設けている (上記(5)b) 参照)。NOM.FR の登録件数は 1,256 (2009 年 1 月現在)。なお、COM.FR も 18 歳以上の個人による登録が可能。2006 年からは第 2 レベルドメイン名も個人が登録できるようになっている。

(9)予約ドメイン名

以下のドメイン名は登録することができない。

a) 1 文字の文字列

b) アルファベット 2 文字で構成された文字列

- c) ハイフンで始まる、または終わる文字列
- d) 「xn--」で始まる文字列
- e) 侮辱、人種差別、わいせつな用語、犯罪および違反行為に関することを表す単語
また、以下のドメイン名は特定の条件を満たす主体が登録できるよう予約されている。
- f) インターネットの運営に関わる技術的な用語
- g) 規制対象となっている職業名
- h) 国家機能に関連する用語
- i) パリ条約調印国の国名
- j) 国際機関の名称
- k) フランスの都市名など

(10)IDN

導入していない。

(11)登録件数

1,299,421 (2009年1月20日現在)

(12)料金

レジストラが AFNIC に支払うドメイン名登録料金は、レジストラ認定料として年間 1,450 ユーロを AFNIC に支払っている場合で 1 ドメイン名あたり年間 4.8 ユーロであり、レジストラ認定料として年間 500 ユーロを支払っている場合は 5.8 ユーロである。

(13)紛争処理

「PARL (Les Procédures Alternatives de Résolution des Litiges)」が定められている。紛争処理は、WIPO および CMAP (Centre de Mediation et d' Arbitrage de Paris) が行う。なお、個人により登録された.FR (第 2 レベルドメイン名) の紛争処理にあたっては、フランス政府の支援を受け運営されている Internet Rights Forum が、仲裁サービスを提供している。

(14)その他

- ・ 2008 年 2 月 5 日の AFNIC の発表によると、2007 年 11 月 27 日より、新規で登録された fr ドメイン名の情報は Whois に即座に反映されるようになった。AFNIC はまた、ネームサーバの更新頻度を週 7 日、1 日 5 回に増やしたことも併せて発表した。
- ・ AFNIC では、2000 年から新規登録ドメイン名のリストを登録後 30 日間、AFNIC の Web サイト上に公開していたが、2008 年 2 月 19 日以降は中止した。
- ・ AFNIC の諮問委員会は、2008 年 3 月 13、14 日の会合で、レジストラのニーズに応え、

業界の流れにも合わせるため、EPPの導入を決定した。

- ・仏経済産業省は2008年4月25日より、.frなどのレジストリの選定基準に関する意見募集を開始した。レジストリが管理する予定のドメイン名は、.fr（フランス）、.gf（ギアナ）、.gp（グアドループ島）、.mq（マルティニク）、.pm（サンピエール島・ミクロン島）、.re（Reunion Island）.tf（フランス領南方・南極地域）、.wf（ウォリス・フツナ）、.yt（マヨット島）、.bl（サン・バルテルミー島）（*）、.mf（サン・マルタン島）（*1）。なお、.blおよび.mfは未委任。
- ・フランス政府が2008年4月28日に開始した.fr、.re、.gp、.mqなどの登録管理に関するコメントの募集に対し、AFNICは2008年7月4日、将来のレジストリ候補として、現状分析で出された要素から10年間の実績報告を強調する内容のコメントを提出した。
- ・2009年3月30日より、AFNICは.frの登録規則・手続を簡素化することを発表した。変更点は以下。
 - a) EPPプロトコルを使用した新しい登録用インターフェースを実装し、レジストラとの手続きを標準化した。
 - b) 請戻猶予期間（Grace Period）を7日間から30日間へ延長。
 - c) ドメイン名の指定事業者変更・移転時の規則。
 - d) 登録者の識別（holder identification）。
ドメイン名登録者へ個別認可コード（unique authorization code）を付与。
 - e) 「登録」の定義の変更。ドメイン名を有効にするには、従来Whoisでの公開に付随してDNS設定が必須だったが、Whoisでの公開までを登録とし、DNS設定は任意となる。
 - f) 以下の属性型ドメイン名の新規登録中止（登録済みのドメイン名は継続可能）。
NOM.FR、NOM.RE、PRD.FR、PRESSE.FR
 - g) 以下の属性型ドメイン名は、認定された組織のみ登録可能とする。
AGGLO-NOM.FR、CC-NOM.FR、VILLE-NOM.FR、MAIRIE-NOM.FR、
CG-NOM.FR、CR-NOM.FR

(15)出典

- ・ AFNIC
<http://www.afnic.fr/index>
- ・ INRIA - History
<http://www.inria.fr/inria/historique.en.html>

2-2-2-10 .hk (香港)

登録管理組織：HKIRC (Hong Kong Domain Name Registration Company Limited)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.hk が最初に IANA データベースに登録されたのは、1990 年 1 月であった。.hk におけるドメイン名の登録管理は、1992 年から HKNIC (Hong Kong Network Information Centre) により行われていた。HKNIC を運営していたのは、香港大学、香港中文大学、香港理工大学を含む 8 校の公立大学の情報処理センターで構成された JUCC (Joint Universities Computer Center) という、大学間の調整を行う組織であった。JUCC はその後 HKDNR (Hong Kong Domain Name Registration Company Ltd.) を設立し、HKNIC の .hk 登録管理業務を移管した。HKDNR は 2001 年 6 月 1 日から登録管理業務を開始したが、2001 年 12 月に HKIRC (Hong Kong Internet Registration Corporation Ltd.) が設立されたこととともなって HKIRC の非営利子会社となった。以来、ドメイン名の登録管理に関する責任は HKIRC が、そしてレジストリとしての実務は HKDNR が担っている。なお、HKIRC は、中華人民共和国香港特別行政区 (以下「香港特別行政区」) のエンドースを受けている。

(2)登録管理組織の運営形態

HKIRC の方針は理事会で決定され、その方針に従って Chief Executive Officer 配下の執行部が HKIRC を運営している。HKIRC の理事会は 2008 年 12 月末に刷新され、議長を含み 4 名以上 8 名以下と定められた。理事は、HKIRC 会員 3 分類 (Demand Class、Supply Class、香港特別行政区政府) の代表として、HKIRC の年次総会において毎年選挙で決められる。また、名誉顧問が理事会に助言する。さらに、理事会は、監査委員会、執行委員会などの委員会を設置している。全ての委員会の議長および委員は理事が務める。

(3)会員

HKIRC の会員は .hk のドメイン名を最低 1 つ登録していなければならない。会員は、Demand Class、Supply Class、香港特別行政区政府に分類される。

(4)登録管理業務の委任体制

.hk のドメイン名の登録は、88 の香港内外の service partner (代行業者) を通じて行うことができる (2009 年 3 月 9 日現在)。また、HKDNR に直接ドメイン名の登録を申し込むことも可能。

(5)ドメイン名の構成

第 2、第 3 レベルへの登録。登録可能な文字は英数字およびハイフン。また、中国語文字によるドメイン名も登録可能。登録文字数は全体で 63 文字以内。以下の通り分類される。

a) 第 2 レベルドメイン名 (ASCII)

- ・ .HK : 香港内外の個人および団体

b) 第 2 レベルドメイン名 (中国語文字)

- ・ .HK : 香港内外の個人および団体

c) 組織種別ドメイン名

- ・ COM.HK/公司.HK : 有効な企業登録 (HKSAR) をしている企業
- ・ ORG.HK/組織.HK : 非営利組織
- ・ NET.HK/網絡.HK : PNET ライセンスを持つネットワーク関連事業者
- ・ GOV.HK/政府.HK : 香港特別行政区
- ・ EDU.HK/教育.HK : 教育機関
- ・ IDV.HK/個人.HK : 香港住民 (11 歳以上の HKID カード保持者)

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

.HK (第 2 レベル登録) では、ローカルプレゼンスは不要。その他のドメイン名の登録には香港の公的機関での登記や登録が必要。IDV.HK/個人.HK 申請者は香港特別行政区の住民でなければならない。

(8)個人用ドメイン名

IDV.HK を設けている。申請者は香港特別行政区の住民であることを証明する HKID カードまたは同等の書類を提出しなければならない。また、個人でも第 2 レベルにドメイン名を登録することができる。IDV.HK および.HK で登録できるドメイン名は、HKID カードに記載された申請者の氏名と同一の文字列 (フルネーム) に限られる。

(9)予約ドメイン名

以下のドメイン名は登録することができない。

ASCII ドメイン名 :

- a) 1 文字の文字列
- b) gTLD のトップレベルのラベル
- c) ISO 3166 に定める 2 文字の国別コード

- d) スポンサー付きドメイン名の文字列
- e) 技術用語
- f) 香港で一般的な中国語の名字 (idv.hk および Second-level.hk のみ)
- g) その他

中文ドメイン名：

- h) Sponsored TLD や gTLD のトップレベルラベルを中国語訳した文字列
- i) 中国文字を使用している国または地域の名称
- j) 一般的な技術用語、関連国際組織名
- k) 香港における「大學」、「中學」などの学校の分類およびレベル
- l) その他

ASCII および中文ドメイン名に共通：

- m) 予約ドメイン名リストに掲載された文字列

また、以下の文字列の登録には制限がある。申請者はそれらの文字列との関連性を示す証拠の提出や許可、または、ガイドラインへの適合が必要となる。

- n) 「government」または「政府」
- o) 「bank」または「銀行」
- p) 「insurance」、「assurance」または「保険」

(10)IDN

2007年3月8日から先願による中国語文字によるドメイン名の登録が行われている。登録できるドメイン名は、1文字以上の中国語文字を含み、.hk を除いた文字数が 15 以下のもの。登録件数は 7,919 (2009年1月31日時点)。

(11)登録件数

173,751 (2009年1月1日現在)。内訳は以下の通り。

ASCII DN		Chinese DN	
.com.hk	92,227	.公司.hk	2,646
.edu.hk	2,091	.教育.hk	75
.gov.hk	392	.政府.hk	114
.idv.hk	1,993	.個人.hk	176
.net.hk	205	.網絡.hk	76
.org.hk	3,841	.組織.hk	283
.hk	69,632	.hk	7,919

(「Statistics of Active '.hk' Domain Names⁶⁶」より)

(12)料金

料金は登録者が HKDNR に直接支払う。料金表は以下の通り (単位は香港ドル)。

Contract Period	Per Domain Name (HK\$) (.hk)	Per Domain Name (HK\$) (.idv.hk/.個人.hk)	Per Domain Name (HK\$) (.com.hk/.公司.hk .org.hk/.組織.hk .net.hk/.網絡.hk .gov.hk/.政府.hk .edu.hk/.教育.hk)
Registration Fee: - for 1-year contract - for 2-year contract - for 3-year contract - for 5-year contract	\$250 \$500 \$625 \$1,000	\$150 \$280 \$380 \$550	\$200 \$400 \$500 \$800
Type of Application	Per Application (HK\$)	Per Application (HK\$)	Per Application (HK\$)
Registration of New Domain Name / Renewal of Existing Domain Name	Based on the Contract Period selected	Based on the Contract Period selected	Based on the Contract Period selected
Transfer of Domain Name	\$500 + Annual Fee	\$500 + Annual Fee	\$500 + Annual Fee
Modification of Name Server	No charge	\$0	\$200 <i>(For domain names registered under the old agreement (HKNIC Registration Agreement Version 1.x or 2.xx))</i>
Late Charge	\$200 <i>(Within 14 days after domain name's suspension)</i>	\$100 <i>(Within 14 days after domain name's suspension)</i>	\$200 <i>(Within 14 days after domain name's suspension)</i>
Other Special Services	on request	on request	on request

(「Rules for .hk Domain and Sub-domains Version 5.0, 16.4 Fee Schedule⁶⁷」より)

(13)紛争処理

以下のそれぞれについて、HKDNR が紛争処理ポリシーを定めている。また、認定紛争処理機関は、HKIAC (Hong Kong International Arbitration Centre)。

- a) IDV.HK および個人.HK を除く全てのドメイン名
 - ・「Domain Name Dispute Resolution Policy」が適用される。
- b) IDV.HK および個人.HK

⁶⁶ <https://www2.hkdnr.hk/aboutHK/statistics.jsp>

⁶⁷ <https://www.hkdnr.hk/register/rules.jsp>

- ・「Domain Name Dispute Resolution Policy - .idv.hk and .個人.hk Domain Name」が適用される。

(14)その他

- ・2008年3月、HKDNRが発行した「Domain Name Spamvertising & Phishing Report 2007」（「ドメイン名におけるスパム広告およびフィッシング2007年調査」）によると、2007年1月～7月の期間に1日あたり59例あったスパム広告およびフィッシングが、同年8月～12月の期間には8例にまで減少した。
- ・2008年12月、.hkを管理するHKIRCの理事会が刷新され、理事の人数が13名から8名に減少した。また、香港特別行政区政府が、この8名のうち4名を任命し、加えて議長の選出においては投票権を持つことになった。

(15)出典

HKDNR & HKIRC

<https://www.hkdnr.hk/>

2-2-2-11 .kr (韓国)

登録管理組織：NIDA (National Internet Development Agency of Korea)

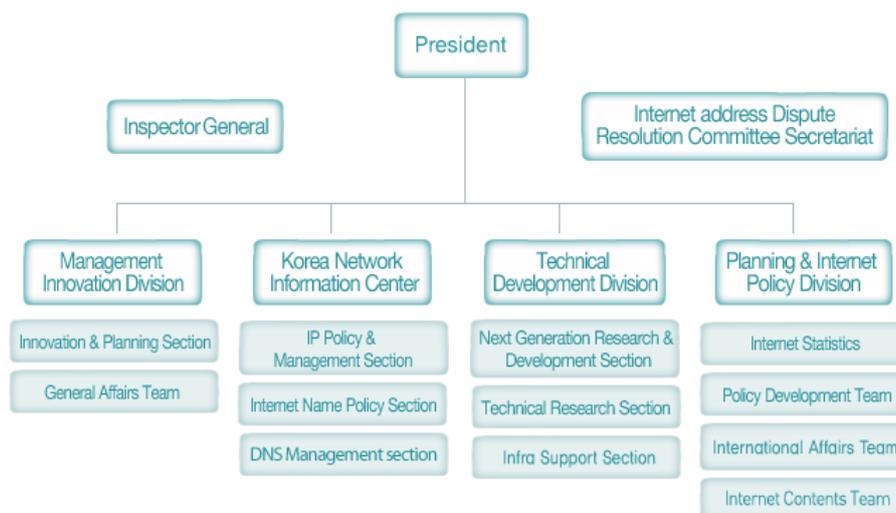
(1)登録管理組織の歴史および性質

.kr が IANA から韓国に割り当てられたのは、1986 年であった。それ以来、.kr は NCA (National Computerization Agency：韓国電算院) 内の KRNIC (Korea Network Information Center) により管理されていた。KRNIC は、1999 年 6 月に MIC (Ministry of Information and Commerce：情報通信部) の認可を受けて非営利の財団法人となった。2004 年 1 月には韓国でインターネットアドレス資源に関する法律が制定されたこととともない、KRNIC の事業は、同法に基づき 2004 年 7 月に設置された NIDA (National Internet Development Agency of Korea) に引き継がれた。

(2)登録管理組織の運営形態

NIDA には、ドメイン名登録管理の方針を策定する IAPC (Internet Address Policy Committee) およびドメイン名紛争を処理する IADRC (Internet Address Dispute Resolution Committee) という 2 つの専門家委員会が設置されている。2008 年 2 月に MIC は KCC (Korea Communications Commission：放送通信委員会) に再編され、NIDA の理事長と理事会は KCC によって任命されることになった。また、NIDA の定款、ドメイン名の登録料金を承認するのは KCC である。

NIDA の組織構造は以下の通り。



(「NIDA Organization⁶⁸」より)

⁶⁸ <http://www.nida.or.kr/english/aboutnida/organ.jsp?gubun=4&menu=4>

(3)会員

なし。NIDA は会員によって統治される組織ではない（ただし、NIDA の IP アドレスの割り振り事業において、割り振り先の国内 ISP を「Member ISP」と呼ぶことがある）。

(4)登録管理業務の委任体制

NIDA は、登録業務を担うレジストラを認定し、業務を委任している。レジストラは 29 社（2009 年 1 月現在）。

(5)ドメイン名の構成

第 2 レベル、第 3 レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字、ハイフン。第 2 レベルの場合ハングル文字での登録も可能。登録文字数は 2 文字以上 17 文字以下。以下の通り分類される。

a) 第 2 レベルドメイン名（ASCII）

- ・.KR

b) 第 2 レベルドメイン名（ハングル文字）

- ・.KR

c) 属性別ドメイン名

- ・CO.KR：企業、営利組織

- ・GO.KR：政府組織

- ・MIL.KR：韓国軍

- ・NE.KR：ネットワーク業者

- ・OR.KR：非営利組織/グループ

- ・PE.KR：個人

- ・RE.KR：研究機関

d) 教育機関用ドメイン名

- ・ES.KR、HS.KR、KG.KR、MS.KR、SC.KR、AC.KR

e) 16 の地域ドメイン名

- ・<地域名>.KR（例：京畿道：gyeonggi.kr）

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

全てのドメイン名の登録にローカルプレゼンスが必要。

(8)個人用ドメイン名

個人用ドメイン名として PE.KR を設けている。PE.KR の登録件数は 50,971 (2008 年 12 月現在)。また、.KR (第 2 レベル)、CO.KR、OR.KR、NE.KR、RE.KR および地域型 (全 16 地域) でも、個人の登録が可能となっている。

(9)予約ドメイン名

予約ドメイン名は、以下の Web サイト (韓国語版のみ) 上で公開されている。

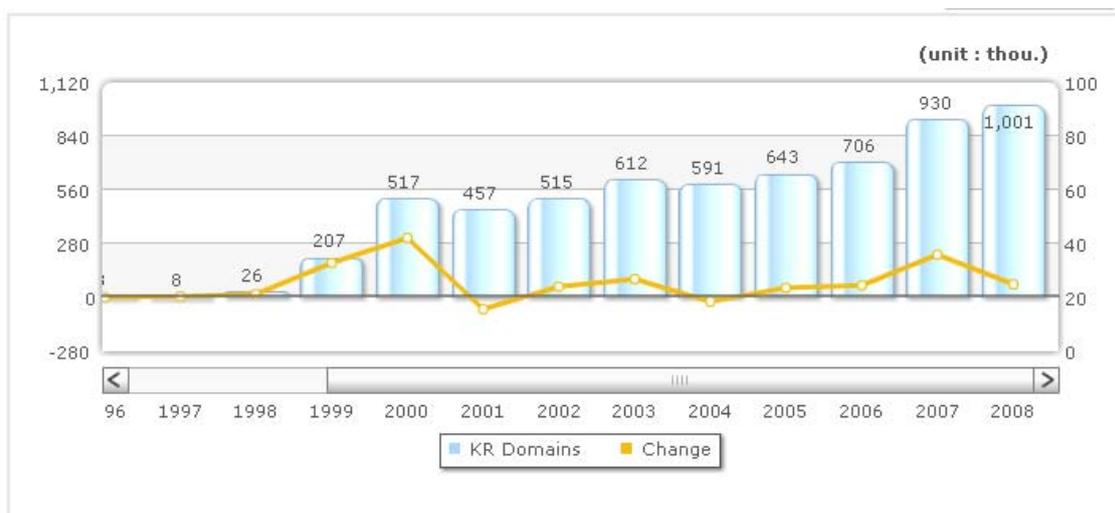
<http://domain.nida.or.kr/>

(10)IDN

2003 年 8 月より第 2 レベルへのハングル文字ドメイン名の登録を開始した。登録件数累計は 137,717 (2008 年 12 月現在)。

(11)登録件数

1,001,206 (2008 年 12 月現在)。以下は 1997 年 12 月末から 2008 年 12 月末までの年ごとの登録件数の推移。



(「Internet Infrastructure Statistics⁶⁹」より)

(12)料金

レジストラが NIDA に支払う登録料は、1 ドメイン名あたり年間 9,500 ウォン(税別)。ただし、個人用ドメイン名である PE.KR は、年間 7,000 ウォン(税別)。

⁶⁹ <http://isis.nida.or.kr/eng/sub01/?pageId=010100>

(13)紛争処理

ドメイン名と商標に関する紛争を処理する枠組みとして、「Internet Address Dispute Resolution Policy」を定めている。これに基づき、NIDA の専門家委員会 Internet Address Dispute Resolution Committee が判断している。

(14)その他

- ・ 2008 年 12 月 22 日、.kr が登録申請受付後 15 年で 100 万件を突破したことが聯合ニュース (韓国) で報じられた。同月 20 日現在では 100 万 2,429 件の登録となり、昨年末の、93 万 485 件から 7 万 1,000 件 (7.7%) 余り増加した。同年 11 月末現在の内訳では、CO.KR が 53 万 9,290 件と最多で、.KR (第 2 レベルドメイン名) は 20 万 5,282 件、ハングル.KR が 13 万 9,932 件で後に続いた。

(15)出典

NIDA

<http://www.nic.or.kr/index.jsp>

2-2-2-12 .nl (オランダ)

登録管理組織： SIDN (Stichting Internet Domeinregistratie Nederland : Foundation Internet Domain Registration in the Netherlands)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.nl は、1986 年に CWI (Centrum voor Wiskunde en Informatica: Centre for Mathematics and Information Technology) に委任された。その後、CWI を運営する Piet Berrtema 氏が 1996 年 1 月 31 日に SURFnet、NLnet と共に財団法人(foundation) SIDN を設立し、登録管理業務を SIDN に移管した。

(2)登録管理組織の運営形態

SIDN の方針は理事会 (Management Board) で決定される。また、理事会を監視する組織として、監督委員会 (Supervisory Board) が設置されている。

かつて監督委員会に助言を与える組織として CoP (Council of Participants) が設置されていた。しかし、2006 年の春に CoP が解体され、現在はレジストラの意見を聴取しつつ別の仕組みを検討している。新たな仕組みが確立するまでの間、ドメイン名および SIDN が定める規則にかかわる重要な問題については、逐次協議の場を設けて検討している。

(3)会員

かつては、SIDN の会員は、カテゴリ 1 とカテゴリ 2 に分類されていたが、現在は新たな枠組みを検討中である。(2009 年 2 月現在)

(4)登録管理業務の委任体制

レジストラに登録業務を委任している。レジストラ数は 2,088 (2009 年 3 月現在)。

(5)ドメイン名の構成

第 2、第 3 レベルへの登録。英数字およびハイフンを使用できる。登録文字数は 2 文字以上 63 文字以下。ドメイン名ラベルの先頭、末尾およびハイフンとハイフンの間にハイフンは使用できない。

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

なし。ただし、登録者がオランダ以外に拠点を置いている場合は、オランダ国内の住所を

連絡先として指定しなければならない。

(8)個人用ドメイン名

2000年11月15日より、第3レベルに登録する形の個人用ドメイン名が導入された。しかし、2003年に個人でも企業と同様に第2レベルに登録できるように規則が改訂されて以来、第3レベルの個人用ドメイン名のニーズが低下した。そのため、2005年11月1日、個人用ドメイン名の新規登録は中止された。

(9)予約ドメイン名

以下のドメイン名は登録できない。

「ftp.nl」、「mail.nl」、「nl.nl」、「www.nl」

(10)IDN

導入していない。

(11)登録件数

3,189,785 件 (2008年12月現在)。

(12)料金

SIDN が規定するドメイン名の新規登録にかかる卸料金は1ドメイン名あたり0.51ユーロ。

(13)紛争処理

2008年2月28日から新しい紛争処理ポリシーが実施された。商標権侵害などの紛争処理に関しては、「Dispute Resolution Regulations for .nl Domain Names」を定めている。紛争処理機関は、WIPO Arbitration and Mediation Center。

(14)その他

- 2008年3月、.nlの数字ドメイン名のランドラッシュが混乱した。登録受付開始と同時に申請のための1万件を超す電子メールがシステムに障害を起こしたため。後に大量の電子メールはオランダの企業によるドメイン名ハイジャックを目的とした大量登録だったことが判明した。対象となったドメイン名はSIDNに返還された。
- 2008年4月、大量申請のために登録者が決まらなかった数字ドメイン名は、アンケート調査の結果、登録者をくじ引きで決定することになった。
- 2008年8月30日より、SIDNはキャンセル後のnlドメイン名に対し40日間の請戻猶予期間を開始し、元の登録者のみが同じドメイン名の再登録を行える期間を設けた。

- ・ SIDN は、2008 年 6 月 26 日、その前日に多くの「co.nl」のサブドメイン名登録者から同ドメイン名に関する問い合わせを受けたため、このサブドメイン名が SIDN で登録されたドメイン名とならない点を強調する発表を行った。.nl のサブドメインの登録は誰でも可能なため、それがレジストラであれば独自に登録したサブドメインを使用したドメイン名を使用した場合、そのドメイン名は「.nl」で終了していても、レジストラが管轄する登録管理となる。
- ・ 2008 年 7 月 11 日、.nl の登録数が累計 300 万件を突破した。同時に SIDN は、nl ドメイン名について以下の発表を行った。
 - a) 平均文字数は 16（世界の平均は 13）。
 - b) 登録数が最も多いのはアムステルダムだが、大学があるフローニンゲン、エンスヘーデ、ナイメーヘン、アイントホーフェンでの登録も多い。
 - c) 登録者の 66% がドメイン名を個人用電子メールに使用。
 - d) 最初の.nl は 1986 年 5 月 1 日に登録された cwi.nl で、現在も使われている。
 - e) 毎日約 1,700 件の登録申請がある。（削除数の加算前）
 - f) 最も高値をつけたのは「vakantie.nl」。2007 年に 250 万ユーロで取引された。「vakantie」はオランダ語で休暇を意味する。
 - g) 2007 年、オークションでの平均売買価格は 1,000 ユーロから 1,500 ユーロへと 50% 上昇した。
 - h) .nl はオランダ国内のドメイン名の 70% を占める。.com（14%）、.eu（9%）が続く。
 - i) 2007 年 1 月 1 日時点の個人による登録は、nl ドメイン名全体の 29% だったが、2008 年 1 月 1 日には 33% と増加。

(15) 出典

SIDN

<http://www.sidn.nl/ace.php/c,728,122,,,,Home.html>

2-2-2-13 .no (ノルウェー)

登録管理組織：UNINETT Norid A/S

(1) 登録管理組織の歴史および性質

1973 年、ノルウェーの Royal Radar Establishment (王立レーダー施設) が、米国の ARPANET と国際接続され、GUI 型の OS 研究が始められた。その後、拡大した Internet との接続も開始され、1987 年、IANA との合意のもと、UNINETT が .no のレジストリとして登録管理業務を遂行した。しかし、その後に、RFC1591 に基づいて .no 運用の事実上の根拠が定まったことから、2003 年 7 月、非営利組織 Norid が設立され、レジストリ業務が引き継がれた。

(2) 登録管理組織の運営形態

.no の登録管理においては、Norid がレジストリを運用し、NPTA (Norwegian Post and Telecommunications Authority) とドメイン名紛争処理団体がレジストリの監督機能を果たしている。 .no のドメイン名に関する各種規則は、ノルウェー運輸通信省がインターネットコミュニティのハイレベルな枠組みを決定し、ノルウェー国会がその承認を行い、監督するという形式をとっている。さらに、ドメイン名ポリシーの策定は、コミュニティを代表してレジストリが行う。

(3) 会員

なし。

(4) 登録管理業務の委任体制

上記(2)で示した体制のもと、.no のレジストリ業務は Norid が行っている。ドメイン名の登録および関連する取次ぎ業務は、Norid が認定したレジストラが行う。また、レジストラは登録者に対し、ドメイン名登録に関する権利や義務の情報を伝える責任を持つ。Norid の認定を受けたレジストラは約 400。(2009 年 3 月 4 日現在)。

(5) ドメイン名の構成

第 3 レベルへの登録。登録可能な文字は英数字、現地文字およびハイフン。登録可能な文字数は 2 文字以上 63 文字以内。以下の通り分類される。

a) Norid が管理する第 2 レベルドメイン

Norid は、人口 5,000 人以上の地方自治体の第 2 レベルドメイン名を管理しているほか、属性により分類されるドメイン名も管理している。以下は共通の機能を持つ登録者をグループ化するために使用される第 2 レベルドメイン名である。これらのドメイ

ン名には、補足の登録規則が課せられる。

- ・ FHS.NO : 国内の公式でない教育を提供する大学
- ・ VGS.NO : 国内の高等学校
- ・ GS.[FYLKE].NO : 国内の小中学校
- ・ FYLKESBIBL.NO : 郡立図書館
- ・ FOLKEBIBLE.NO : 地方自治体の公立図書館
- ・ MUSEUM.NO : 国内の博物館や美術館
- ・ IDRETT.NO : 国内のスポーツ団体
- ・ PRIV.NO : 国内の個人

b) Norid が管理していない第 2 レベルドメイン

- ・ MIL.NO : ノルウェー国軍組織
- ・ STAT.NO/DEP.NO : ノルウェー政府組織
- ・ KOMMUNE.NO : ノルウェーの市政機関
- ・ HERAD.NO : ノルウェーの地方自治体

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

登録者 1 あたり登録できるドメイン名は 20 個までとされている。

(7)ローカルプレゼンス要件

登録者はノルウェー国内に所在していなければならない。

(8)個人用ドメイン名

個人による no ドメイン名の登録は不可。しかし、PRIV.NO は個人でも登録可能。

(9)予約ドメイン名

技術的理由により登録できないとされる「ftp」、「localhost」、「whois」、「www」のほか、公共の目的で使用される地理的名称などが予約されている。以下は予約ドメイン名のリスト。

Domain name policy for .no

Appendix A: Reserved and prohibited domain names under domains managed by Norid

<http://www.norid.no/regelverk/vedlegg-a.en.html>

(10)IDN

通常のアルファベットに加え、ノルウェー語で使用される 23 個の文字が登録可能。

(11)登録件数

421,341 (2009年3月現在)

(12)料金

Norid がレジストラに請求する登録料は、50 ノルウェー・クローネ。年間の更新料も同額。

(13)紛争処理

Norid は、ドメイン名登録申請前、申請者にドメイン名登録に関して他社の権利を侵害しないことを確認する宣誓書に署名させる。登録後にドメイン名紛争が生じた場合は、紛争処理機関または裁判により解決される。Norid は、これらの機関へ仲介する役割を果たす。紛争処理機関では、2003年10月1日以降に初めて登録または新たな登録者に移転されたドメイン名の紛争が処理される。

(14)その他

- ・2008年9月23日、.noにおけるドメイン名の登録件数が40万件を突破した。過去10年で10倍の成長を記録し、この傾向は続く模様。この割合で増加が進んだ場合、新規登録数は3、4年の間に倍増する見込み。ノルウェーの企業は、トップレベルドメインの中でも.noを好む傾向があり、毎年95%ものnoドメイン名が更新されている。また、米国のMcAfee社の調査では、.noが世界で最も安全なトップレベルドメインであると評価された。

(15)出典

Norid

<http://www.norid.no/>

2-2-2-14 .nz (ニュージーランド)

登録管理組織：InternetNZ

(1)登録管理組織の歴史および性質

1989年、ニュージーランド国内の複数の大学が提携し、教育および研究を目的としたインターネット基盤として、TUIA Net (1992年にTUIA Societyへ改名)を立ち上げた。1994年11月、TUIA Societyは、インターネットの商用化に対応するため、新たな公益団体を設置してインターネット基盤の開発を行なうことを決定した。そして、1995年11月、Internet Society of New Zealand (現在のInternetNZ)が設立された。

(2)登録管理組織の運営形態

.nzの登録管理においては、InternetNZが最終責任を負っている。nzドメイン名に関する各種規則は、InternetNZ内の専門委員会であるNZOC (.nz Oversight Committee)が決定する。さらに、NZOCの監督のもと、DNC (Domain Name Commission Ltd.)が、規則を実施し、レジストリの業務遂行管理、レジストラの認定、監督および認定取り消しを行なっている。また、InternetNZの100%子会社であるNZRS (New Zealand Domain Name Registry Limited)が、InternetNZとの契約に基づき、レジストリ業務を遂行している。

(3)会員

InternetNZには、以下の会員資格がある。

- a) Individual Membership (年会費税込 21 ニュージーランドドル)
- b) Professional Individual (年会費税別 50 ニュージーランドドル)
- c) Small Organisation (年会費税別 100 ニュージーランドドル)
- d) Large Organisation (年会費税別 500 ニュージーランドドル)

会員は、InternetNZの年次総会において、InternetNZの事業計画を立案する評議会の委員候補者を指名したり、自ら委員として立候補したりすることができる。また、会員は、年次総会で投票権を持つ。

(4)登録管理業務の委任体制

上記(2)で示した体制のもと、.nzにおけるレジストリ業務はNZRSが行っている。.nzのドメイン名登録および関連する手続きは、DNCが認定したレジストラがレジストリに取り次ぐ。DNCの認定を受けたレジストラは70組織。そのほか、DNCを含む5組織が特定のドメイン名または顧客のみ取り扱うレジストラ (Closed Registrar)として機能している (2008年11月19日現在)。

(5)ドメイン名の構成

第3レベルへの登録。登録可能な文字は英数字およびハイフン。以下の通り分類される。

a) 管理第2レベルドメイン (Moderated 2LD)

以下はドメイン名登録の審査や調整を行なう主体が定められている第2レベルドメイン名である。

- ・ BANK.NZ : Reserve Bank of New Zealand に登録された銀行
- ・ CRI.NZ : Crown Research Institutes に含まれる研究所
- ・ GOVT.NZ : 政府機関
- ・ IWI.NZ : 伝統的なマオリの部族またはその亜族による法人
- ・ MIL.NZ : 軍
- ・ PARLIAMENT.NZ : 議会

※Crown Research Institutes

ニュージーランド政府による科学関連政策の改革にともない、1992年に政府機関から独立した各研究所

b) 非管理第2レベルドメイン (Unmoderated 2LD)

- ・ AC.NZ : 高等教育機関および関連組織
- ・ CO.NZ : 商業活動に携わる組織、企業
- ・ GEN.NZ : 個人または他のいずれの分類にも該当しない組織
- ・ GEEK.NZ : コンピュータの専門家
- ・ MAORI.NZ : マオリ人、マオリ人のグループおよび組織
- ・ NET.NZ : ニュージーランドのインターネットサービスプロバイダ
- ・ ORG.NZ : 非営利団体
- ・ SCHOOL.NZ : 小学校、中学校、就学前教育機関及び関連組織

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし

(7)ローカルプレゼンス要件

なし

(8)個人用ドメイン名

GEEK.NZ、GEN.NZ、MAORI.NZ は個人でも登録可能。なお、個人は19歳以上でなければnzドメイン名を登録できない。

(9)予約ドメイン名

なし

(10)IDN

なし

(11)登録件数

348,571 (2008年12月現在)

(12)料金

1カ月あたり 1.50 ニュージーランドドル (税込 1.69 ニュージーランドドル)。

(13)紛争処理

DNCが「DRS (Dispute Resolution Service) Policies and Procedures」を定め、仲裁人による仲裁および専門家の判定などの方法による紛争処理サービスを運営している。

(14)その他

- ・ 2008年5月、ニュージーランド保健省が、医療機関などを対象とする HEALTH.NZ 創設の申請を DNC に提出した。同年5月から7月にかけて、DNCはこの申請書を公開し、意見募集を実施した。2009年2月現在、HEALTH.NZ の創設は決定していない。
- ・ 2008年7月、DNC がレジストラ認定ポリシーの改定案を公開、意見募集を行なった。改定の主旨は、レジストラ認定にあたって12ヶ月程度リセラとしての経験を有することを条件に追加すること、必要に応じ認定に先立ち現地視察できる条件を追加することであった。2009年2月現在、この改定は決定していない。

(15)出典

- ・ InternetNZ
<http://www.internetnz.net.nz/>
- ・ DNC (Domain Name Commission Ltd.)
<http://www.dnc.org.nz/>
- ・ NZRS (New Zealand Registry Services)
www.nzrs.net.nz/

2-2-2-15 .sg (シンガポール)

登録管理組織：SGNIC (Singapore Network Information Centre)

(1)登録管理組織の歴史および性質

.sg のドメイン名は、シンガポール国立大学内の研究ネットワーク TechNet によって登録管理されていた。1995 年 10 月、.sg の登録管理と、地元の ISP および規制当局がシンガポールにおけるインターネットサービスの運営に関する議論の促進を目的として SGNIC が設立され、TechNet の登録管理業務は SGNIC に引き継がれた。なお、1997 年 7 月までは、SGNIC の業務は政府の公的機関である IDA (Infocomm Development Authority of Singapore) の NMI (New Media and Internet Cluster) が運営していた。そして、1997 年 7 月、SGNIC は SGNIC Private Limited として法人登記した。

(2)登録管理組織の運営形態

SGNIC は、方針決定を行う理事会、専門分野について理事会に助言を行う DNRS Committee (Domain Name Registration Service Committee) と DNST Committee (Domain Name System Technical Committee) および日々のレジストリ業務を遂行する事務局で構成される。

(3)会員

なし。

(4)登録管理業務の委任体制

11 社のレジストラに登録業務を委任している (2009 年 2 月現在)。

(5)ドメイン名の構成

第 2 レベル、第 3 レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字およびハイフン。登録可能な文字の数は、1 文字以上 63 文字以下。.sg のドメイン名は、以下のように分類される。

a) 第 2 レベルドメイン名

- ・.SG : 個人、法人、組織。外国籍の個人、法人、組織はシンガポール国内に所在する代理人を管理連絡先として指定すれば登録が可能

b) 第 3 レベルドメイン名

- ・COM.SG : ACRA (Accounting and Corporate Regulatory Authority)、または IE Singapore (International Enterprise Singapore) へ登録している、または登録予定の企業。GOV.SG 下に登録している政府機関は、GOV.SG ドメイン名と同じ文字列を COM.SG 下で登録可能。

外国企業は、シンガポール国内の登録企業を管理連絡先として指定すれば登録可能。

- ・ **NET.SG** : シンガポールの情報通信事業者およびネットワークプロバイダ。 **GOV.SG** 下に登録している政府機関は、 **GOV.SG** ドメイン名と同じ文字列を **NET.SG** 下で登録できる。
- ・ **ORG.SG** : 協会登録局 (Registry of Societies) に登録している、または登録予定の組織。 **GOV.SG** 下に登録している政府機関は、 **GOV.SG** ドメイン名と同じ文字列を **ORG.SG** 下で登録できる。
- ・ **EDU.SG** : MOE (Ministry of Education, Singapore) に登録されている教育機関。 **GOV.SG** 下に登録している政府機関は、 **GOV.SG** ドメイン名と同じ文字列を **EDU.SG** 下で登録できる。
- ・ **GOV.SG** : シンガポール政府
- ・ **PER.SG** : シンガポール国民およびシンガポールでの永住権を保持する個人

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7)ローカルプレゼンス要件

.SG (第2レベルドメイン名) は、シンガポール国内に所在する代理人を管理連絡先として指定すれば、また、 **COM.SG** は、シンガポール国内の登録企業を管理連絡先として指定すれば登録可能。その他のドメイン名の登録者はシンガポール国内に所在し、シンガポールの公的機関に何らかの登録を行っている者でなければならない。

(8)個人用ドメイン名

シンガポール国民およびシンガポールでの永住権を保持する個人のためのドメイン名として、 **PER.SG** が設けられている。登録件数は 709 (2009年1月末現在)。

(9)予約ドメイン名

.sg では、以下のドメイン名の登録を禁止している。

- a) シンガポール国名および政府に関連する文字列 (「Singapore」、「President」など)
- b) 「SGNIC」、「NIC」およびこれらを変化させた文字列
- c) わいせつ、中傷、および法律または道徳に反する文字列
- d) 地理的名称、国名 (「Malaysia」、「Japan」など)
- e) gTLD の TLD ラベル
- f) 「www」、「http」、「https」、「http-www」
- g) 他の空間で登録済みの文字列と同一かまたは類似しており、SGNIC が望ましくないと思われる文字列

- h) その他 SGNIC が不適切と判断する文字列
- i) ISO 3166 リストに掲載された 2 文字の国コード
- j) PER.SG については、上記に加えてさらに「RPPG (Registration Policies, Procedures and Guidelines)」の Annex1 「Reserved Names of PER.SG Domain」に列挙された文字列。

なお、2007 年 4 月 18 日から 5 月 16 日の間に限り、.SG、ORG.SG、NET.SG、EDU.SG、GOV.SG、PER.SG において、それまで登録できなかった文字列「Temasek」の登録申請を受け付けた。

(10)IDN

導入していない。IDN の登録実験が 2005 年 7 月 4 日から 2006 年 1 月 3 日まで実施され、専用の IDN.SG 空間において中国語とタミル語のドメイン名が試験的に登録されたが、実験期間終了後は、全て消去された。その後、SGNIC は IDN の需要の程度などを勘案し、必要に応じて IDN を実装するとしていたが、現在のところ実装の是非の判断は行われていない。

(11)登録件数

115,039。内訳は、COM.SG： 63,162、EDU.SG： 603、GOV.SG： 482、NET.SG： 203、ORG.SG： 2,387、PER.SG： 709、.SG： 47,493 (2009 年 1 月 1 日現在)。

(12)料金

.SG、COM.SG、NET.SG、ORG.SG、EDU.SG、GOV.SG のレジストラ向け登録料金は、1 ドメイン名あたり年間 30 シンガポールドル。PER.SG は、1 ドメイン名あたり年間 15 シンガポールドル。

(13)紛争処理

「SDRP (Singapore Domain Name Dispute Resolution Policy)」が SGNIC により定められている。紛争処理の実務は、SMC (Singapore Mediation Centre) および SIAC (Singapore International Arbitration Centre) が共同で運営する紛争処理事務局が行っている。紛争処理事務局はパネルを任命し、パネルが裁定を下す。

(14)その他

- ・ SGNIC は、2007 年 12 月 28 日～2010 年 12 月の間、sg ドメイン名の初年度登録料値下げキャンペーンを実施している。このキャンペーンでは、シンガポールの会計・企業規制局 (ACRA: Accounting and Corporate Regulatory Authority) に登録する、ドメイン

名を持たない企業が ACRA の BizFile を利用して企業名を登録する際、ドメイン名の初年度登録料金が 30 シンガポールドル (約 2,294 円) となり、さらに COM.SG および.SG (第 2 レベルドメイン名) のドメイン名も同時に予約できる。予約は、3 カ月間のみ有効となり、この間に参加のレジストラにてドメイン名の登録手続きをする必要がある。

- ・ 2008 年 3 月 27 日、SGNIC は先願で数字ドメイン名の一般登録を開始した。登録は、.sg の全カテゴリのドメイン名で可能となり、認定レジストラを通じて行う。
- ・ 2008 年 9 月 1 日、SGNIC はレジストラ認定ポリシーの改定を発表した。主な改定点としては、これまで海外に拠点を置くレジストラはシンガポール国内に拠点を置く必要があったが、今後不要となり、代わりに ICANN の認定を受けなければならない。また、年間の最小管理ドメイン名数を 500 件から 100 件に引き下げた。
- ・ シンガポールの独立 43 周年を記念し、SGNIC は 2008 年 8 月 1 日～31 日の間「I Love .SG」キャンペーンを実施する。キャンペーンでは、.SG または PER.SG ドメイン名の初回登録料の上限が、参加レジストラを経由した場合 5 シンガポールドルとなる。国内外からの申請が可能。
- ・ 2008 年 11 月 12 日、SGNIC は 1 文字ドメイン名の登録申請受付を全てのカテゴリの sg ドメイン名で開始すると発表した。申請の受付は、以下のスケジュールによって行われる。
 - a) 申請期間 (2008 年 12 月 1 日～2009 年 1 月 9 日)
申請書は認定レジストラを通じて SGNIC へ提出する
 - b) 統合・確認 (2009 年 1 月 12 日～1 月 23 日)
入札ケースの確認、および入札者への通知
 - c) 入札期間 (2009 年 1 月 28 日～3 月 3 日)
 - d) 結果公表 (2009 年 3 月 6 日)
暫定割り当て、入札結果を Web 上に公開
 - e) 異議申し立て期間 (2009 年 3 月 9 日～3 月 20 日)
暫定割り当てへの異議申し立て受付
 - f) 入札結果確定 (2009 年 3 月 27 日まで)
異議のないドメイン名が有効となる

(15)出典

- ・ SGNIC
<http://www.nic.net.sg/>
- ・ TechNet
<http://www.technet.sg>

2-2-2-16 .tw (台湾)

登録管理組織：TWNIC (Taiwan Network Information Center)

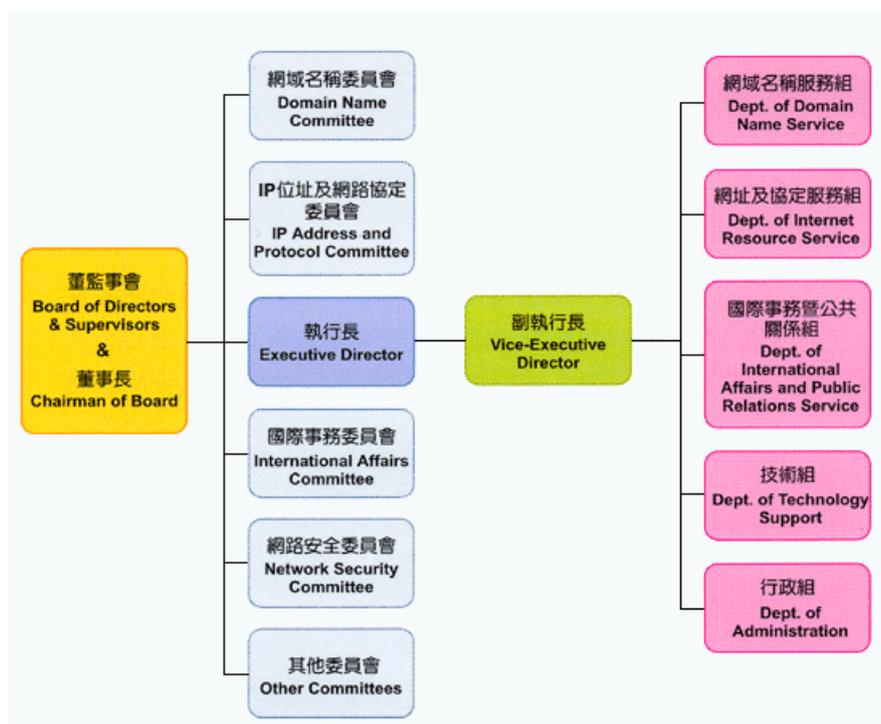
(1)登録管理組織の歴史および性質

1994年、TWNICは2年間の予定で試験的に資源管理業務を開始した。2年後の1996年から1998年までの間、TWNICはコンピュータ関係の学会であるCSROC (Computer Society of the ROC)の監督のもとで操業していたが、1998年から1999年までは政府の国家情報基盤政策の一環として、MOTC (Directorate-General of the Telecommunication)の監督下に置かれた。そして、1999年12月、CSROCおよびMOTCの出資により、TWNICは非営利法人に改編された。

(2)登録管理組織の運営形態

TWNICの方針決定は、ドメイン名およびIPアドレスなどの主要な専門委員会を監督する理事会によって行われる。ドメイン名登録管理に関する具体的な方針案は、外部委員で構成するドメイン名委員会が作成し、理事会に提案する。

以下はTWNICの組織図である。



(「TWNIC Organizational Structure⁷⁰」より)

⁷⁰ http://www.twNIC.net/english/about/about_03.htm

(3) 会員

なし。

(4) 登録管理業務の委任体制

10社のレジストラに登録業務を委任している（2009年2月現在）。海外レジストラへの窓口は米国 NeuLevel 社が一括して行っている。

(5) ドメイン名の構成

第2、第3レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字、ハイフンおよび中国語文字。登録できる文字数は、ASCIIドメイン名の場合は2文字以上63文字以下。中国語文字によるドメイン名の場合は4バイト（中国語の1文字）以上28バイト（中国語の14文字）以下。中国語文字のドメイン名の場合、使用できる文字はBig5のみ。

a) 第2レベルドメイン名（ASCII）

- ・.TW：個人、法人、組織

b) 第2レベルドメイン名（中国語文字）

- ・.TW：個人、法人、組織

c) 属性別ドメイン名（ASCII）

- ・COM.TW：登記された企業および企業
- ・EDU.TW：教育・学術機関
- ・GOV.TW：政府機関
- ・IDV.TW：個人
- ・MIL.TW：軍関係機関
- ・NET.TW：認可を受けた電気通信事業者
- ・ORG.TW：登記された団体および法人、外国の非営利組織
- ・GAME.TW、EBIZ.TW、CLUB.TW：登録資格制限なし

d) 属性別ドメイン名（中国語文字）

- ・商業.TW、網路.TW、組織.TW、軍事.TW、教育.TW、政府.TW

なお、商業.TW、網路.TW、組織.TW を登録するには、対応する ASCII ドメイン名（COM.TW、NET.TW、ORG.TW）を先に登録しておく必要がある。

(6) 登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7) ローカルプレゼンス要件

EDU.TW、GOV.TW、MIL.TW、NET.TW および網路.TW は、台湾の組織のみ登録可能。それ以外のドメイン名については、ローカルプレゼンス要件は設けられていない。

(8)個人用ドメイン名

個人専用のドメイン名として IDV.TW を設けている。IDV.TW の登録件数は 21,351 (2008 年 12 月現在)。

(9)予約ドメイン名

a) 全てのドメイン名について

- ・ 3 文字目および 4 文字目にハイフンを含む文字列

b) 第 2 レベルドメイン名 (中国語文字) について

- ・ 国家主権の行使に関連する名称 (「中華民国」など)、政府に関連する名称、県、市行政区に関連する名称、政府機関の名称および略称、学校名、および TWNIC が特に定める名称 (例: 現行の gTLD ラベルの中国語に相当する文字列)

c) 属性別ドメイン名 (中国語文字) について

- ・ 職業分類 (業界名)、国家、政府機関、地名 (県および市の名称) など (第 3 レベルへの登録の場合)

(10)IDN

2001 年 2 月 16 日から、繁体字中国語文字ドメイン名の登録申請を受け付けている。中国語文字ドメイン名の登録件数は 154,897 (2008 年 12 月末現在)。

(11)登録件数

406,669 (2008年12月末現在)。

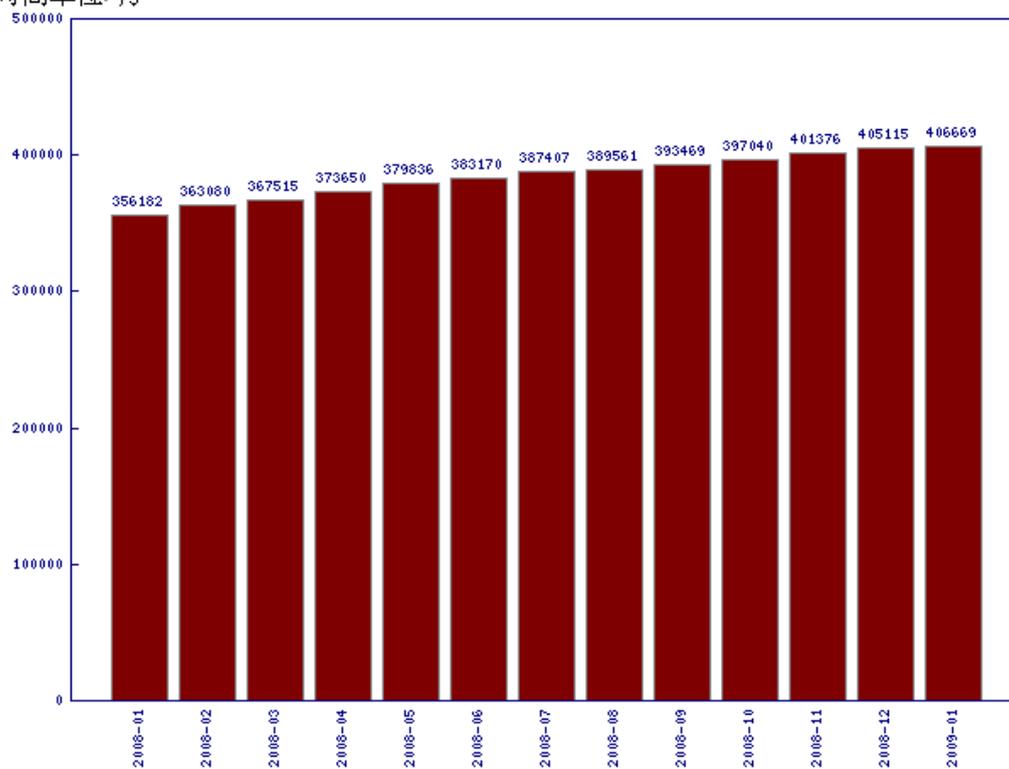
以下は2008年1月から2009年1月までのASCIIドメイン名の累計登録件数の推移。

查詢項目: 域名數量

查詢種類: 所有的.tw

查詢時間: 2008/01 ~ 2009/01

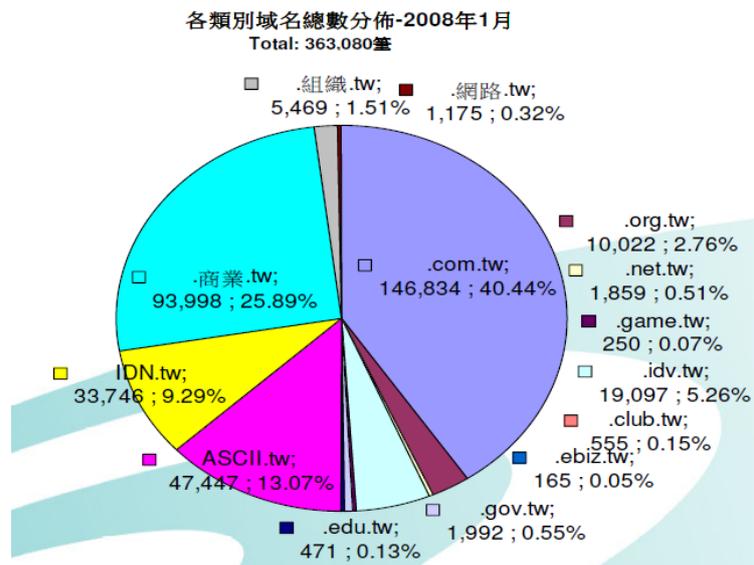
時間單位: 月



(「.tw域名統計查詢⁷¹」をもとに作成)

⁷¹ <http://statistics.twnic.net.tw/item02.htm>

以下は 2008 年 1 月時点のドメイン名登録数の内訳である。



(「TWNIC Current Status Update - APTLD Taipei Meeting 2008/02/25⁷²」より)

⁷² http://www.aptd.org/taipeifebruary2008/03-Update_on_TWNIC.pdf

(12)料金

.tw におけるドメイン名の登録料金は、その属性ごとに異なる。TWNIC からレジストラに対して課している料金は非公開。以下はレジストラが登録者に課すことのできる最高料金として TWNIC が指定している金額。

Type	Categories	Maximum Fee	Date of Enforcement
Specific English Domain Names	com.tw net.tw org.tw	Registration fee NT\$450/name Management fee NT\$900/year	Effective as of February 1, 2001
	game.tw		Effective as of October 1, 2002
	ebiz.tw club.tw		Effective as of March 2003 as scheduled
	idv.tw		Effective as of February 1, 2001
Generic Chinese Domain Name	xxxx.tw	Registration fee 450/name Management fee NT\$900/year	Effective as of September 1, 2001
Specific Chinese Domain Names	"商業.tw" "組織.tw" "網路.tw"	Free of charge for the time being	Effective as of May 1, 2000
TW English Second Level Domain Names	yourname.tw	Registration fee NT\$450/name Management fee NT\$1200/year	Effective as of NOV.1,2005

(「Standard Domain Name Registration Fee/Management Fee⁷³」より)

(13)紛争処理

「財団法人台湾網路資訊中心網域名稱爭議處理辦法 (TWNIC Domain Name Dispute Resolution Policy)」を定めている。紛争処理は、TWNIC の認定を受けた STLC (Science & Technology Law Center) および Taipei Bar Association が行っている。

(14)その他

特記事項なし。

(15)出典

TWNIC

<http://www.twnic.net.tw/>

⁷³ http://www.twnic.net.tw/english/dn/dn_02_c.htm

2-2-2-17 .uk (イギリス)

登録管理組織：Nominet UK

(1)登録管理組織の歴史および性質

.uk は、1985年7月にIANAデータベースに登録された。当時、.ukの登録管理は、Naming Committee というボランティア組織が行っていた。1980年代にイギリスの教育ネットワーク JANET (Joint Academic Network) が設立され、大学、国防省、研究所などの通信に利用されていたが、1990年代前半までには、ISPがこのネットワークに参加し、消費者に商業ベースでドメイン名を提供するようになった。この頃からドメイン名の登録件数が増加し、登録管理をボランティアによって担うことが困難になったため、1996年、登録管理組織として非営利有限責任保証会社 Nominet UK (以下「Nominet」) が設立された。

(2)登録管理組織の運営形態

Nominet の理事会は、2名の常任理事と会員から2年ごとに選出される4名の非常任理事で構成される。その理事会に対し、PAB (Policy Advisory Board) が会員の意見を反映した政策や規則を立案し、勧告する。PABは、2名の非常任理事、指名を受けた最大8つの組織の代表者、会員から選出された8名で構成される。会員は、非常任理事およびPAB委員を選出でき、総会での投票権を持っている。

(3)会員

入会金と年会費を払えば誰でも会員になることができる。会員数は2,800 (2009年2月現在)。会員のほとんどはISPであるが、法律事務所、警察、専門分野のコンサルタントなども会員となっている。

(4)登録管理業務の委任体制

4,318社のレジストラに登録業務が委任されている (2009年2月現在)。Nominetも登録申請を受け付けるが、Nominetに申し込む場合、登録者は2台のネームサーバのIPアドレスを自ら設定し、その情報をレジストリ (Nominet) に登録しなければならない。また、以下のドメイン名については、登録管理業務が各機関へ委任されている。

- ・ AC.UK および GOV.UK : JANET (the UK Education and Research Network)
- ・ NHS.UK : National Health Service
- ・ POLICE.UK: 警察
- ・ MOD.UK および MIL.UK : 国防省

(5)ドメイン名の構成

第3、第4レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字およびハイフン。登録可能文字数は、全レベルの文字数を合計して64文字まで。ドメイン名の分類は以下の通り。

a) Nominet が登録管理する SLD（第3レベルへの登録）

- ・ CO.UK：営利企業など
- ・ LTD.UK、PLC.UK：イギリス会社法に基づく有限責任会社および株式公開会社
- ・ ME.UK：個人
- ・ NET.UK：イギリスで登録された ISP
- ・ ORG.UK：非営利組織など

b) その他（Nominet 以外の組織に登録管理を委任）（第3レベルへの登録）

- ・ AC.UK：高等教育機関、学術研究機関
- ・ GOV.UK：政府、地方政府
- ・ POLICE.UK：警察
- ・ MOD.UK および MIL.UK：軍関係目的用
- ・ NHS.UK：National Health Service

c) Nominet が特定目的用に予約、管理している SLD

- ・ NIC.UK：ネットワーク（第3レベルへの登録）
- ・ <学校名>.<地域名>.SCH.UK：学校（第4レベルへの登録）

(6)登録可能ドメイン名数の制限の有無

PLC.UK、LTD.UK、SCH.UK に限り、1つの組織が1つのドメイン名しか登録できないという制限がある。

(7)ローカルプレゼンス要件

LTD.UK、PLC.UK のドメイン名は、イギリスで登記した法人でなければ登録できない。NET.UK を登録するには、イギリスの会社法人、学術機関、イギリスで登録された ISP である必要がある。また、SCH.UK のドメイン名はイギリスの学校のみ登録可能。

(8)個人用ドメイン名

ME.UK を設けている。

(9)予約ドメイン名

以下のドメイン名は登録できない。ただし、a)と b)は、Nominet が認める場合に限り登録可能となっている。

- a) NIC.UK
- b) SCH.UK

- c) 3、4文字目にハイフンを含むドメイン名
- d) 1文字のドメイン名（第3レベルに登録する場合）
- e) アルファベットのみ、またはアルファベットとハイフンのみの2文字で構成するドメイン名（CO.UK、ME.UK、ORG.UK、NET.UKの場合）※アルファベットと数字、または数字による2文字で構成するドメイン名は登録可能。
- f) 第2レベルドメイン名ラベルと同一の文字列（CO.UK、ME.UK、ORG.UK、NET.UKの場合）
- g) ICANNが定めるTLDラベル（CO.UK、ME.UK、ORG.UK、NET.UKの場合）

(10)IDN

2009年2月時点ではIDNを導入していないが、2007年1月、PAB会議において、以下の2段階のサンライズ期間を経てIDNを導入する案が採択された。具体的な導入時期は未定。

a) サンライズ1

対象ドメイン名：登録済みASCIIドメイン名と同一の語
 期間：限定される

b) サンライズ2

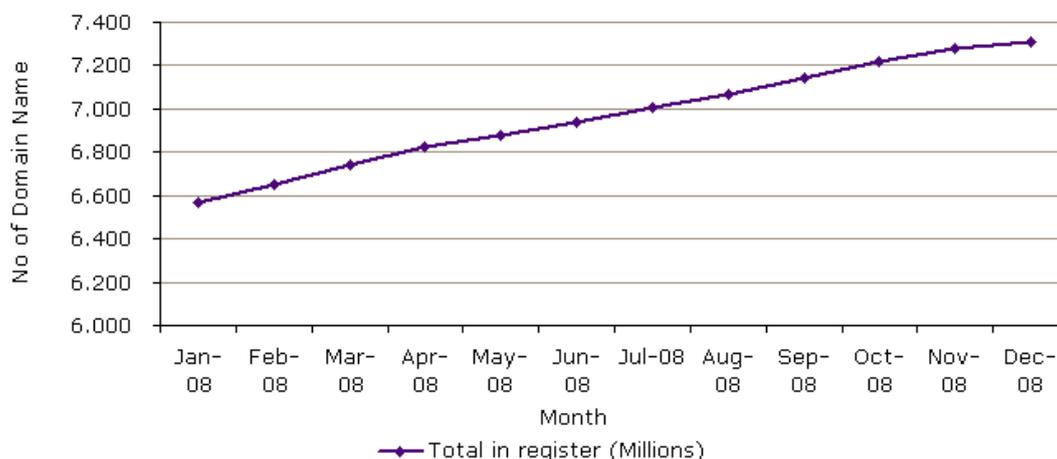
対象ドメイン名：登録しているASCIIドメイン名と同一の語
 期間：サンライズ1終了後より12ヶ月間

登録可能な言語文字は、原則としてUnicodeで規定された59種類（漢字、ひらがなおよびカタカナを含む）を想定している。

(11)登録件数

7,382,123（2009年2月現在）。

以下は2008年1月から2008年12月までの累計登録件数の推移である。



(「Registration Statistics (<http://www.nic.uk/intelligence/statistics/registration/>)」より)

(12)料金

Nominet で直接ドメイン名を登録する場合、1 ドメイン名あたりの登録料金は、2 年間で会員は 5 ポンド、非会員は 80 ポンド (付加価値税別)。Nominet がレジストラに課す料金は非公開となっている。

(13)紛争処理

ドメイン名と商標に関する紛争を処理する枠組みとして、「Dispute Resolution Service Policy」および「Dispute Resolution Service Procedure」を定めている。

Nominet は 2007 年 9 月 3 日から 10 月 3 日までの間、紛争処理ポリシーに対しパブリックコメント募集を行い、2008 年 7 月 29 日に新 DRS が開始された。

新 DRS では紛争処理手数料が引き下げられた。通常の 750 ポンドに対し、申立てに対し登録者の抗弁がない場合のみ、200 ポンドが適用される。

紛争処理は以下の 5 段階で構成される。

a) 第 1 段階

Nominet 所定の書式を用いて Nominet 経由で登録者に異議申立書を送付する

b) 第 2 段階

Nominet 職員の支援により、申立人と登録者との間で調停を行う

c) 第 3 段階

Nominet が任命する外部の専門家に判断を依頼する

d) 第 4 段階

専門家の判断に異議がある場合、申立を行い、再度の判断を依頼する

e) 第 5 段階

専門家の判断が Nominet の Web 上で公示される

(14)その他

- 2008 年 2 月 19 日に Nominet が発表した Jupiter Research 社の調査結果によると、英国では約 430 万ある従業員数 10 名以下の中小企業の半分程度、また、個人業主を含めた場合は 28%しか自社 Web サイトを運営していないことが分かった。
- Nominet はポリシー諮問委員会 (PAB) の勧告を受け、2008 年 5 月 28 日、一部の LTD.UK および PLC.UK で、DNS が参照できない文字列を含む企業名による新規のドメイン名登録を停止した。
- Nominet は、ドメイン名の更新率の増加を目的として、2008 年 8 月 11 日から 9 月末ま

で「keepyour.co.uk」キャンペーンを実施し、登録したドメイン名を更新する意義、更新のタイミングや方法等を説明した Web サイト (<http://www.keepyour.co.uk/>) を開設した。その後同年 10 月、このサイトはドメイン名を保護する情報発信サイトとして新たにデザインされ、公開された。

- 2008 年 8 月 21 日、Nominet はより品質の高いサービスを提供するため、会員およびレジストラ満足度調査、ドメイン名登録者満足度調査の 2 種類の調査を実施することを発表した。ドメイン名登録者については、サポートサービスを利用した登録者が対象となり、双方の調査は電子メールによるアンケートを通して行われる。
- uk ドメイン名の登録数は、2008 年 8 月に 700 万件を突破し、前年 7 月からの間に約 100 万件増加した。Nominet が同年 11 月に発表した 2008 年のドメイン名市場動向報告では、.uk の 2007 年 9 月～2008 年 9 月の成長率は、13.6%で、.cn（中国）、.de（ドイツ）に次ぎ、世界第 3 位であった。しかし、この報告によると、.uk の 2008 年前半における伸び率は鈍化していた。.uk は過去 5 年間平均 30%の伸びを記録していたが、2008 年前半は 15%まで落ち込んだ。Nominet のマーケティングディレクターは「世界経済の低迷の影響というより、市場が飽和状態に達したため」と説明している。
- 2008 年 12 月 18 日、Nominet は uk ドメイン名を更新する理由、または、更新しない理由に関する調査を、登録者を対象に実施することを発表した。調査は、uk ドメイン名登録システムへの顧客の要望の理解を目的として行われる。
- イギリス政府の VAT（付加価値税）が 2008 年 12 月 1 日～2009 年末まで、現行の 17.5% から 15%に引き下げられることに伴い、Nominet は 2008 年 12 月 1 日以降発行された請求書（ドメイン名登録料、更新料、会員登録料、DRS 料金など）の税率を 15%とした。

(15)出典

Nominet UK

<http://www.nic.uk>

2-2-2-18 .us (米国)

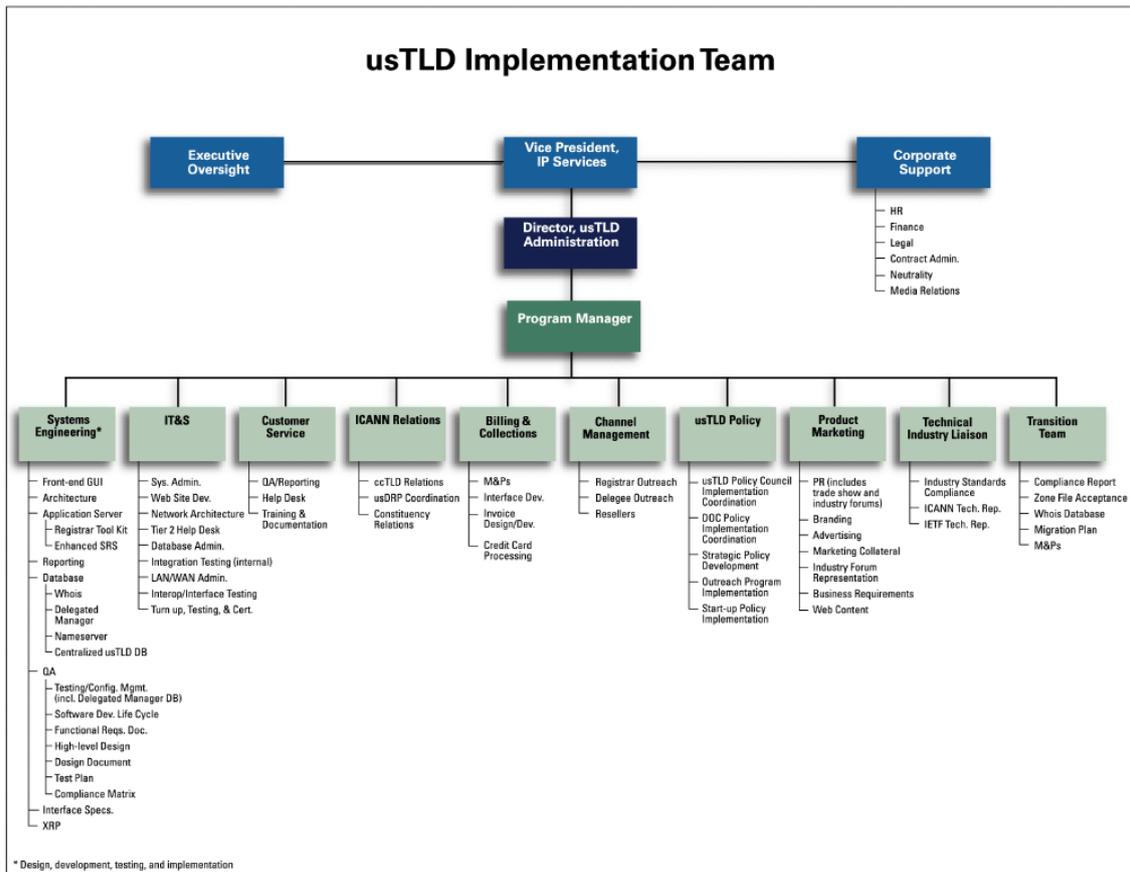
登録管理組織：NeuStar, Inc

(1)登録管理組織の歴史および性質

.us は、1985年2月にIANAデータベースに登録された。当時登録管理を行っていたのは、USC-ISI (University of Southern California Information Sciences Institute：南カリフォルニア大学情報科学研究所)であった。その後、米政府のNTIA (National Telecommunications and Information Administration：商務省電気通信情報局)が2001年6月に.usの運用管理者の公募、入札を行い、同年11月、米国のNeuStar, Inc.が落札した。NTIAとNeuStarとの契約は2007年10月25日までであったが、契約終了に先立つ再入札が行われた結果再びNeuStarが落札し、2010年10月25日までの3年契約を結んだ。この契約では、2010年10月26日以降について、1年間の契約延長を2回行うことができると定められている。

(2)登録管理組織の運営形態

Neustarでは、社内にusTLD実装チーム(「usTLDチーム」と呼ばれることもある)という特別なチームを編成し、.usの登録管理業務を行っている。このチームでは、NeuStarでインターネットの運用、システム開発、財務、広報、資源管理などを統括している幹部社員で構成するExecutive Oversight Committeeの監督のもと、同社のIPサービス担当Vice PresidentおよびusTLD管理担当Directorの配下で機能する実務部隊Implementation and Ongoing Operations Teamが日々の業務を遂行している。以下は、usTLD実装チームの構成図である。



(「NeuStar Response to SB1335-01-Q-0740⁷⁴」より)

.us においてドメイン名登録の技術的要件を変更する場合は、NTIA が指定する Contracting Officer の承認を受けなければならない。ポリシー面の要件を変更する場合は、諮問機関である US Policy Council が見直しを提案し、NeuStar を支援する。

(3) 会員

なし。

(4) 登録管理業務の委任体制

.US (第 2 レベルへ登録) の登録業務は、118 社のレジストラに委任されている。また、KIDS.US への登録業務は 16 社のレジストラに委任されている (2009 年 1 月現在)。さらに、地域ドメイン名はサブドメイン毎に、NeuStar の委任を受けた delegated manager が取り扱っている (delegated manager が不在のサブドメインは NeuStar が取り扱う)。

⁷⁴ <http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/usca/cafiles/SectionA.pdf>

(5) ドメイン名の構成

第2、第3レベルへの登録。登録可能な文字列は英数字およびハイフン。登録できる文字の数は63文字以下。**.us**におけるドメイン名は以下のように分類される。

a) 第2レベルドメイン名

- ・**.US**

b) 属性別ドメイン名

- ・**KIDS.US**：子供向けコンテンツ

c) 地域属性ドメイン名

- ・**K12.<州>.US**：公立学校（例：**k12.ny.us**）

- ・**PVT.K12.<州>.US**：市立学校

- ・**CC.<州>.US**：コミュニティカレッジ

- ・**TEC.<州>.US**：技術、職業訓練学校

- ・**LIB.<州>.US**：図書館

- ・**STATE.<州>.US**：州政府機関

- ・**GEN.<state-code>.US**：他の分類に適合しない州規模の主体（クラブなど）

- ・**DNI.US**：国立研究所など

- ・**<市>.FED.US**：連邦政府機関

- ・**<市/郡>.<州>.US**：ビジネス向け（例：**new-york.ny.us**）

- ・**CI.<市>.<州>.US**：市政府機関

- ・**CO.<郡>.<州>.US**：郡政府機関

※州名には2文字の州コードが用いられる。

(6) 登録可能ドメイン名数の制限の有無

なし。

(7) ローカルプレゼンス要件

.usにおけるドメイン名は、米国国民または居住者、米国に所在する企業または組織でなければ登録できない。

(8) 個人用ドメイン名

特に個人用に限定したドメイン名カテゴリは設けていない。個人でも**.us**ドメイン名を登録することができる。

(9) 予約ドメイン名

a) 3、4文字目にハイフンを含むドメイン名

b) 国内の地名およびインターネットの相互運用性を守るために必要な用語

c) 電話番号、「数字 5 桁-数字 4 桁」（郵便番号の形式）、5 桁以上の数字で構成されたドメイン名

上記のほか、以下のリストに掲載された約 52,000 件の文字列も NeuStar によって予約されている。

http://www.neustar.us/registrars/fcfs/dotus_reservedlist_v3.zip

(10)IDN

導入していない。

(11)登録件数

1,436,713（2009年1月現在。NeuStarが登録件数を公開していないため、Name Intelligenceによる「Domain Counts & Internet Statistics（<http://www.domaintools.com/internet-statistics/>）」を参照した）。

(12)料金

レジストラ向け料金は1ドメイン名あたり年間5.5米ドル。

(13)紛争処理

「usTLD Dispute Resolution Policy and Rules」および「usTLD Nexus Dispute Policy and Rules」を定めている。紛争処理機関はAAA（American Arbitration Association）およびNAF（National Arbitration Forum）。

(14)その他

特記事項なし。

(15)出典

.us（NeuStar）

<http://www.nic.us/>

2-3 WHOISを巡るICANNでの議論の動向

2-3-1 WHOISに関する議論の背景

WHOISとは、インターネットレジストリが管理するインターネット資源の登録情報を提供するサービスであり、その運営は、各レジストリによってそれぞれの情報公開ポリシーに基づいて行われている。

ICANNにおけるWHOISの議論の背景には、「プライバシー擁護派」対「情報公開派」の戦いともいえるべき利害の対立がある。そもそもWHOISサービスを提供する主たる目的は、当初はネットワーク運用（特にインターネット上での自律的なトラブル解決）や、登録データの確認、更新のために必要な情報の提供とされていたが、インターネットが社会で広く使われ始めるにつれ、実社会のルールとの違いが際立つようになり、プライバシー擁護の必要性などの論点が出てくるようになった。しかし、上記で触れた当初の目的のためにWHOISを提供することへの支持もなお根強く、それ故にWHOISに関する議論は容易には決着し難い問題をはらんでいると言える。

2-3-2 WHOISに関する過去の議論

ICANNでのWHOISの議論は以前より行われてきたが、2003年10月のICANNチュニス会議におけるGNSO評議会会議において、WHOIS問題を3つのタスクフォースにおいてそれぞれ検討を行うことが正式に決定されたことが、現在の議論に至る流れの源である。各タスクフォースの検討課題としては、(1)マーケティング目的のWHOIS利用の制限、(2)収集、公開するデータの見直し、(3)登録データの正確性の向上、が指定された。その後2004年9月にタスクフォース活動の方向性の整理が行われ、タスクフォース1およびタスクフォース2は、(1)登録者へのWHOISポリシーに関する明確な通知を行うことについて、(2)ICANNのポリシーと国家法が抵触する場合、レジストラとICANNはそのような抵触に対して何ができるか、(3)WHOIS登録データへの段階的なアクセスについては、その登録データの閲覧要請者が誰なのかを識別すること、を検討していくこととなった。

その後2005年3月のICANNマルデルプラタ会議までに具体的な提案を出すこと、初回レポートの作成を目指して作業が続けられたが、議論が難航し具体的な進展を見ることなく、2005年2月にタスクフォースが1つに統合された。このタスクフォースは、まずはWHOISの目的の定義について議論し、合意することを目指して結成されたが、タスクフォース内

でコンセンサスに至ることなく、結局 2 つの案を併記することとなった。それぞれの案を以下に示す。

(案 1・原文) The purpose of the gTLD Whois service is to provide information sufficient to contact a responsible party for a particular gTLD domain name who can resolve, or reliably pass on data to a party who can resolve, issues related to the configuration of the records associated with the domain name within a DNS nameserver.

(案 1・日本語訳) gTLD WHOIS サービスの目的は、ある特定の gTLD ドメイン名において責任を持ち、DNS ネームサーバ内の当該ドメイン名登録設定に関する問題を解決できる当事者自身、もしくは解決できる者へデータを確実に渡せる当事者にコンタクトするに十分な情報を提供することである。

(案 2・原文) The purpose of the gTLD Whois service is to provide information sufficient to contact a responsible party or parties for a particular gTLD domain name who can resolve, or reliably pass on data to a party who can resolve, technical, legal, or other issues related to the registration or use of a domain name.

(案 2・日本語訳) gTLD WHOIS サービスの目的は、ある特定の gTLD ドメイン名において責任を持ち、ドメイン名の登録もしくは利用に関する技術的問題、法的問題もしくはその他の問題を解決できる当事者または当事者集団自身、もしくは解決できる者へデータを確実に渡せる当事者にコンタクトするに十分な情報を提供することである。

GNSO 評議会では、レジストラ部会、レジストリ部会、非商用ユーザ部会が定義 1 への支持を表明した一方で、知的財産部会、ISP 部会、商用ユーザ部会は定義 2 への支持を表明し、GNSO 内でも意見が二つに分かれた。上記の 2 つの定義案を見れば分かる通り、定義 1 はあくまで技術的な問題解決のための情報提供を念頭に置いているのに対し、定義 2 はそれよりももっと広い、ビジネス的な問題をも解決するための情報提供を念頭に置いている。この定義の違いは、どのデータを公開するかという結論に直結し、定義 2 の方が定義 1 よりも多くの情報を提供する必要が出てくる。そういう意味では、ここでも「プライバシー擁護派 (定義 1 支持派)」対「情報公開派 (定義 2 支持派)」の戦いが生じているという見方もできよう。

結局 2006 年 4 月に、コンセンサスに至らぬまま多数決で GNSO は定義 1 を採択した。

その後この定義 1 に基づいて、WHOIS サービスに関する課題報告書の検討が行われ、2007

年 3 月 12 日に、WHOIS サービスに関する最終報告書が GNSO 評議会に提出されるに至った。この最終報告書の内容を要約すると、以下の通りである。

WHOIS タスクフォースは以下についてコンセンサスを得た。

- 登録者の多くが、WHOIS 上の連絡先の違いについてその意味や目的を理解していない（経理担当者、運用責任者、技術連絡担当者）
- WHOIS サービスに関して変更を行う際は、認知向上が必要となる
- 一部の連絡先情報は公開対象から外す新しいメカニズムを、プライバシー保護の観点に立って採用すべきである

WHOIS タスクフォースによる以下のポリシー勧告は、特別過半数での採択はされず、単純過半数での採択となった。支持したのは、レジストリ部会、レジストラ部会、非商用ユーザ部会、指名委員会が指名した委員、および、At-Large のリエゾンである。

[ポリシー勧告]

「運用上の連絡先（OPoC = Operational Point of Contact）」という項目を新たに作成し、現在の WHOIS 上の連絡先である運用責任者、技術連絡担当者に代える。この運用上の連絡先に登録された人（組織）が、実際の登録者に連絡を取る。

この WHOIS タスクフォースの最終報告書をもとに、2007 年の第 1 四半期もしくは第 2 四半期に GNSO 評議会が検討を行い、ICANN 理事会に対して何らかのポリシー勧告を行うものとされた。

WHOIS タスクフォースの最終報告書をもとに、2007 年の第 1 四半期もしくは第 2 四半期に GNSO 評議会が ICANN 理事会に対して何らかのポリシー提案を行うことで一旦は合意に至った WHOIS の議論であったが、その後も議論は紆余曲折を辿ることとなった。以下に時系列順の動きを記載する。

● WHOIS に関する作業部会（ワーキンググループ）の立ち上げ、検討作業

GNSO 評議会は WHOIS に関する検討を行う作業部会を立ち上げ、まずは作業部会の取り扱う範囲について議論した。2007 年 4 月 12 日の GNSO 評議会会議において作業部会のチャーターは承認され、作業がスタートすることとなった。このとき合意された作業部会のチャーターの概要は以下の通りである。

「作業部会の目的は、WHOIS タスクフォース最終報告書中で指摘された課題を分析し、それらの問題に関するポリシー勧告（つまり OPoC 項目の提案）をどのように向上させられ

るかについて勧告を行うことである」

作業部会はその後 2007 年 6 月 21 日付けで報告書のドラフト初版を公開した。そのドラフトをもとに 2007 年 6 月の ICANN サンファン会議での議論を経て、その後も細かい議論を経て報告書を改版していくこととなった。主な論点は、OPoC（運用上の連絡先）の役割や責任の明確化、公開されていないデータへのアクセスをどのように許可するか、WHOIS データの表示項目、表示方法等であった。当初 7 月下旬を目標に最終報告書をまとめる予定だったものが大幅に作業が遅れ、最終報告書 が提出されたのは結局 2007 年 8 月 20 日となった。最終報告書の概要を以下に示す。

[背景]

WHOIS 作業部会において検討した事項は以下の 3 項目である。

- (1) OPoC（運用上の連絡先）の役割、責任、要件を分析し、それらが満たされなかった場合には何が起こるか。
- (2) どのような正当性があれば、公開されていない登録データへのアクセスが許容されるか。
- (3) 連絡先情報の公開は、登録者の性質によって（法人/自然人）決まるのか、登録者のドメイン名利用によって決まるのかを分析する。

[項目(1)についての検討 - OPoC の役割]

OPoC の役割は、ある要請が存在するとき、その要請を登録者に適宜伝えることであり、実装上何らかの要件を満たしていなければならない。また、犯罪の正当な証拠がある場合や WHOIS の登録データが間違っているという正当な証拠がある場合、予め定めた期間中に連絡を取ることができなかった場合において、自然人に関する非公開情報を適宜開示することも OPoC の役割である。3 番目の役割として、登録者の同意がある場合に登録状況の改善策を決定し実施する、というものがあるが、これには反対意見もある。

[OPoC の特徴と要件]

OPoC は 2 人まで指名することができること、OPoC には登録者、レジストラ、もしくは登録者が指名する第三者がその任にあたることができること、全ての登録者（法人か自然人かを問わず）は OPoC を指名しなければならないことについては作業部会内での合意が取れた。また、OPoC は登録者と合意に基づいた関係を構築していなければならない。OPoC を実装することによって、現在 WHOIS で表示している連絡先情報が簡素化できることについても作業部会内での合意が取れた。一方、OPoC が正しく運用されているかの検証を行うべきかについては合意が取れていない。電子メールが正しく登録されているかの検証を行うことについては支持する声があるものの、レジストラや登録者に負担を強いるという

理由から反対を表明する声も大きい。

[OPoC の要件が満たされない場合に何が起こるかの分析]

OPoC が正しく機能しない場合に、何らかの要請を行いたい者は直接レジストラへ連絡することになるだろうということについては作業部会の合意を得た。その場合の懸念点や、OPoC が機能しない場合のコストを誰が負担するべきかについては合意が得られなかった。

[項目(2)についての検討 - 公開されていない登録データへのアクセス]

法執行機関は非公開データについて項目を指定したアクセス、及び指定しないアクセスの両方が必要であること、民間においては非公開データへの項目を指定したアクセスが必要であることについては作業部会の合意を得た。レジストラがそのようなアクセスを認める場合の課金の妥当性についても議論し、課金しても良いという結論を出した。ただしこの結論には異論もある。非公開データへのアクセスを認めるにあたって認証システムが必要かどうかについても議論となった。こうした認証は手続の遅れとコストを伴うという懸念がある。作業部会は認証方式については今後の検討に委ねるべきという結論を出した。

[項目(3)についての検討 - 連絡先情報の公開]

登録者が自然人の場合 WHOIS の表示項目は制限されるべきであり、法人の場合はそうした制限は必要ないということに関し、作業部会の合意を得た。作業部会としては、ドメイン名の利用によって表示項目を変えるのは難しいと感じている。

[実現可能性の検討]

作業部会のメンバーは、いくつかの問題については技術的にも法的にも不明確な点が多く解決することは難しいということを理解した。本報告書では、OPoC 提案を実施するに当たって発生するであろうコスト分析、OPoC がプライバシーに与える影響の検討、認証メカニズムの検討、gTLD 登録者や登録状況の分析、WHOIS データの利用及び不正使用の分析など、様々な検討を行うべきであると提案している。

GNSO 評議会はこの最終報告書を受けて議論を行ったが、いくつかの項目に関してコンセンサスに至っていないということもあり、2007年9月6日のGNSO評議会会議では「現時点ではWHOISおよびそれに関連するポリシー勧告は行わない」という決議を採択した。また、この会議においてICANNスタッフが今までのWHOISに関するプロセスの概要をまとめた報告書を9月13日までに作成し、GNSOの各部会へ送付することとなった。

この時点でGNSO評議会内部では、WHOISに関するポリシー策定プロセスのその後に關する決議案が3つ提出されていた。1つは「OPoC提案を支持し、ICANNスタッフに実施のための検討を要請する」もの、2つめは「OPoC提案をさらに検討し、ICANNスタッフ

に 90 日以内に検討報告書の提出を要請する。その検討報告書をもとに、OPoC 提案の採否を検討する」というものであった。3 つめは「コンセンサスが GNSO 内で得られないことから、WHOIS に関するポリシー策定プロセスはポリシー勧告を行うことなく終了する」というものである。

9 月 13 日に公開された ICANN スタッフによる報告書 には上記の GNSO 評議会決議案も掲載され、2007 年 10 月 30 日までのパブリックコメントに付されることとなった。その後 10 月 11 日に上記報告書が更新され、同日には ICANN スタッフにより OPoC 提案実施の実現可能性検討レポートも公開された。GNSO 評議会の要請に応じて作成されたレポートであったが、GNSO 評議会側の検討依頼事項が具体性に欠けるものであるため更なる詳細な指示が必要、とする項目が散見される内容であった。コメント期間終了後、ICANN スタッフがパブリックコメントの要約を行った が、それによると 238 のコメントが寄せられ、そのうち 223 が 2 つめの決議案「OPoC 提案をさらに検討し、ICANN スタッフに 90 日以内に検討報告書の提出を要請する。その検討報告書をもとに、OPoC 提案の採否を検討する」を支持し、現段階での OPoC 実装には反対するものであった。OPoC 提案を支持する意見は 13 であった。

これを受け開催された 2007 年 10 月 31 日の GNSO 評議会では、2 つめの決議案をもとに以下の決議 が採択された。

[決議要約]

- (1) この 4 年間 WHOIS ポリシーの検討に携わってきた全ての関係者に感謝する。
- (2) gTLD WHOIS に関するポリシー策定プロセスは、いかなるポリシー変更勧告を ICANN 理事会に対して行うことなく、正式に終了する。
- (3) 自然人に対するプライバシー保護の手段確保、権利執行機関によるデータへの法的アクセス、消費者保護、法執行機関や犯罪対策目的など、将来のポリシー策定プロセスの必要性を認識し、以下のような一連の行動を開始する。
 - 評議会はデータの収集や要件の検討に関するさらなる定義づけを行う
 - スタッフは評議会に対し、これらのデータ収集等にかかる概算コスト見積を 2008 年 2 月 15 日までに進行
 - 評議会はどのようなデータ収集や検討が必要かを検討する
 - スタッフはデータ収集、検討を行い、その結果を評議会へ報告する
- (4) 上記データ収集および検討が完了し、その結果次第ではこの分野に関するポリシー策定活動を開始する。

こうして、ここ 4 年間にわたり続けられてきた WHOIS に関するポリシー策定プロセスは、

何らのポリシー勧告を行うことなく、一旦終了した。しかし上記の決議を見ても分かる通り、WHOIS に関する課題は解決されておらず、近い将来に新たなポリシー策定活動が必要とされるであろうと想定されており、情報収集、実情調査の内容によっては、新たなポリシー策定活動を開始する可能性も残してはいる。

2-3-3 2008 年 4 月以降の議論

その後 GNSO 評議会は 2008 年 1 月 8 日に、今後の WHOIS に関するポリシー検討にあたってどういう項目が検討されるべきか、パブリックコメントの募集を開始した。パブリックコメント期間は 2008 年 2 月 15 日までであった。パブリックコメント期間終了後、その要約が ICANN スタッフによって作成され、公開されている。これによると、以下の 7 項目が検討すべきであると提案された事項であった。

- WHOIS の不正使用の実態調査
- 各種のデータ保護法、およびレジストラ認定契約のコンプライアンス調査
- 現在提供されている WHOIS プライバシー保護サービスの実態調査
- WHOIS プライバシー保護サービスの需要調査
- 犯罪や迷惑行為が発生した場合の、WHOIS データ保護が与える影響調査
- レジストラが法執行機関の要請や紛争処理要請に応えているかの調査
- WHOIS データがどれくらい正確なものかの調査

GNSO 評議会はこれらのコメントをもとに、どの調査を行うかを検討するため小規模のグループ (WHOIS 調査グループ、WHOIS Study Group) を 2008 年 3 月 27 日に招集した。その後、2008 年 5 月 22 日付で GNSO 評議会向けの勧告が WHOIS 調査グループによって提出された。グループ構成員はこれ以上の WHOIS に関する調査は行うべきでないとする立場と、逆にさらなる WHOIS に関する調査を行うべきであるとする立場に分かれ、前述の勧告も両論併記となった。

2008 年 6 月 26 日、GNSO は投票の結果 WHOIS 調査仮説グループを招集することとなった。同グループは過去のパブリックコメントから得られた調査勧告および政府諮問委員会 (GAC) より要求された調査のレビューを実施する役割を担った。これらの検討結果は同年 8 月 26 日付の報告書として GNSO 評議会に提出された。

●ICANN による WHOIS 問題への取り組み

GNSO による WHOIS 問題とは独立し、ICANN は WHOIS の正確性向上のための方策を検討している。2007 年 4 月 27 日には、ICANN は「WHOIS データの正確性と有効性のためのプログラム」を開始した。このプログラムは、gTLD レジストラによる WHOIS のコンプライアンスを改善し、WHOIS の正確性を向上させることを目的とするものであり、2007 年度においても ICANN が WHOIS の提供に関し、監査を行う予定であることを明らかにした。

その後 2007 年 12 月 21 日には、ICANN は WHOIS の正確性向上に関し 4 つのアップデートがあると発表した。これによると、ICANN はいずれの調査結果についても 2008 年 2 月に報告するとしていた。

1. WHOIS データの正確性に関する調査
2. WHOIS データリマインダポリシー (WDRP) が ICANN 認定レジストラにおいて遵守されているかどうかの調査
3. WDRP に基づいてデータの誤りが判明した際の修正手続が遵守されているかの調査
4. WHOIS サービスが適切に運用されているかどうかの調査

しかし 2009 年 3 月 13 日現在ではこれらの調査結果は公開されておらず、代わりに ICANN blog で一部の経過報告が 2008 年 10 月になされたのみである。

こうした中、一部のレジストリが WHOIS のポリシーを独自に変更する動きも出てきた。tel のレジストリである TELNIC は、WHOIS サービスに関する変更を要請してきており、2007 年 12 月 18 日の ICANN 理事会において、個別の変更が承認された。内容は以下の通りである。

- TELNIC は、WHOIS サービス提供にあたり、自然人と法人とを区別する。
- 自然人は、個人情報を一般公開することを拒否することができる。
- 自然人が個人情報の公開を拒否した場合、以下の情報が一般公開される。
 - ドメイン名、ドメイン名 ID、レジストラ、レジストラ IANA ID、ドメイン名登録状態、登録者 ID、登録者名称、ネームサーバ、登録者による情報更新日、レジストラによる更新日、ドメイン名登録日、ドメイン名登録期限日、ドメイン名最終更新日
- 自然人の個人情報にアクセスするために「特別アクセスサービス」を用意するが、こ

れを利用するには正当な理由が必要となる。

- 「特別アクセスサービス」を利用するには、申請者は Web 上のフォームを記入すれば良い。記入すれば、そのサービスのアクセスできる URL が郵便で送付される。アクセスは 24 時間以内に 5 回までという制限がある。

TELNIC の WHOIS サービス変更は、GNSO におけるポリシー策定プロセスとは独立した個別の動きであるが、今後の議論の参考とされる可能性がある。

一旦は終了した WHOIS に関するポリシー策定プロセスであるが、引き続き実態調査や様々な検討が行われており、完全に WHOIS に関する議論が消えてしまったわけではなく 2009 年の趨勢は対象を狭めての調査実施となると思われる。2009 年 3 月の ICANN メキシコシティ会合では、WHOIS がタイトルに入ったセッションは At-Large Summit に 1 つあるのみであった。

WHOIS は一般社会のルールとは若干違い、原則は登録者の情報を公開するという運用がなされていることもあり、今後も様々な形で議論が巻き起こることは想像に難くないが、合意に達することが非常に難しいことは過去の議論が証明している。WHOIS に関する議論の中では「WHOIS の提供目的さえ合意できないのであれば、レジストリ契約や認定レジストラ契約から、WHOIS に関する規定を削除すべきではないか」という激しい意見まで飛び出したこともあり、今後も引き続き注目されるテーマであることは確かであろう。

2-4 ドメイン名テストに関する議論の動向

- ドメイン名テストについて

ドメイン名自体を利益を上げるための商品として捉えるドメイン名売買やサイバースクワッティングなどとは異なり、近年ではドメイン名を利用してそこから派生する利益を得ることを目的とした行動がしばしば見受けられるようになっている。よくある例としては、大量のアクセスが見込めるドメイン名を登録し、そのドメイン名を用いて Web サイトを立ち上げ、その Web サイトにオンライン広告を掲載することなどにより、一定の収入を得ようとするのが挙げられる。

もちろん、いわゆる「良いドメイン名」を登録し、それを用いて合法的に利益を上げること自体には特段責められるいわれはない。しかしながら、その「良いドメイン名」を選定・入手するための行為は、インターネット全体に対して過度の負担をかけることになるため、非常に問題視されるようになった。このような行為の代表的なものが「ドメイン名テスト」と呼ばれる行為である。

ドメイン名テストとは、「良いドメイン名」＝「大量のアクセス数が見込めるドメイン名」を選別するために、まず一度に大量のドメイン名を登録し、そこから一定量のアクセスがあるドメイン名だけを残し、それ以外のドメイン名は全て廃止するという行為を指す。

もちろん、ただ普通に「登録→廃止」を行っているだけであれば、その件数が大量とはいえ通常の申請とは特段変わりはなく、とりたてて問題視することもないと言えるだろう。しかしながら、問題視された理由は、その「登録→廃止」という一連の申請に対して費用負担が必要ないこと、そして無料であるが故に常軌を逸していると言えるほどの大量のドメイン名の登録と廃止が日々繰り返されるからである。

このドメイン名の登録が無料で行える理由は、Add Grace Period（登録猶予期間、AGP）という仕組みが利用されることによる。この AGP は、本来はドメイン名テストのためにある仕組みではない。ドメイン名が登録された時点から課金されるまでの間に猶予期間を設けることで、ユーザの文字列の入力間違いなどを理由に、意図しないドメイン名が登録されてしまった場合でも、ユーザに不利益を与えないようにすることを意図した仕組みである。登録者が新規にドメイン名を登録した後、一定期間内（一般的には 5 日間）にその登録を取り消せば登録料が不要となる。そのため、登録者が AGP の期間中に文字列の入力間違いなどに気付けば、誤って登録されたドメイン名の登録料を負担せずに済むこ

とになるのである。

ただし、登録者が本当に間違いで登録したのかどうかをレジストラ側が調べる術はなく、その点がトラフィックの多いドメイン名を選別したい一部の個人・業者に目をつけられ、より少ないコストでドメイン名を選別するための道具として利用されることとなってしまった。

一度このような方法が発見されると、それが広く用いられるまでに多くの時間は要さず、2006年5月の統計では616のレジストラの内、502のレジストラでこのような行為が見られるような事態となった⁷⁵。ドメイン名テストは、さまざまな混乱や不都合をレジストリやレジストラ、ユーザに与えており、その影響はもはや無視できない規模にまで発展した。

たとえば、これまでも短いドメイン名や英単語として意味を持つドメイン名を闇雲に登録していくという行為は存在したし、極端に短いドメイン名であればそれこそ未登録の空いている文字列全てを対象に機械的に登録していくという行為もあったが、それでもドメイン名の登録に費用が発生するのであれば、かかるコストと得られると予想される利益の関係から、実際に登録される文字列にはやはり一定の限度というものが存在した。しかしながら、ドメイン名の登録に費用が発生しないとなると、システム的な限界まで大量のドメイン名の登録が試みられることになり、登録した後でトラフィックの量に基づいてゆっくりと「良いドメイン名」を選別するという行為を行う者が出てきたのである。

このような行為は、後述するドロップキャッチと言われる行為にも影響を与えており、ドメイン名の登録に費用が発生するのであれば、ある程度アクセスが見込めるドメイン名しかキャッチの対象にならなかったものが、費用が不要なことから期限切れとなったドメイン名は全て対象とするような風潮となった感がある。

こうした大量の登録はシステムや回線に対して非常に大きな負荷となり、それらに対応するためのコストを発生させ、レジストリやレジストラに対する負担となった。また、結局はそのコストは回り回って一般的なユーザが負担することにもつながる。

また、この一連の選別によって選ばれなかったドメイン名は結局廃止されることになるわけだが、その廃止されたドメイン名も今度は別の者にとってのドロップキャッチの対象となるなどして、そのドメイン名は短期間に登録と廃止が繰り返されることとなる。これは

⁷⁵ ICANN Meetings in Marrakech, Morocco Domain Name Marketplace Workshop
<http://icann.org/meetings/marrakech/captioning-dn-27jun06.htm>

そのドメイン名を普通に登録したいユーザにとっては非常に迷惑な話であり、登録可能な状態となっているかどうか調べようと WHOIS などを使って検索しても、数日おきにドメイン名の状態が変化しているという分かりにくい状況となってしまう。一方、レジストリやレジストラにとっても、システム的な負荷やコスト負担だけでなく、一般ユーザからの問い合わせ等が増えることも予想され、それらに対応するための余計な人員やコストがさらに必要となるなど、多くの関係者にとってマイナスの影響を与えることとなった。

- ドメイン名のドロップキャッチについて

ドメイン名テストティングと並んで問題とされている「ドロップキャッチ」と呼ばれる行為は、ドメイン名テストティングが登録の際に行われるのに対して、廃止時に行われている行為である。

ドロップキャッチとは、文字通り期限切れなどで廃止される（ドロップする）ドメイン名を登録（キャッチ）する行為である。現登録者が使わなくなりその登録者の意志に基づいて廃止されるドメイン名を新しい登録者が登録するというパターンもあれば、現登録者が登録期限を忘れていてうっかり廃止されてしまった場合のように、登録者の意志に反して廃止となってしまったドメイン名をいわば横取りするようなパターンもある。

このように廃止されるドメイン名が注目されるのには、それなりの理由がある。それは廃止されたドメイン名は過去にウェブサイトなどで実際に使われていたドメイン名であることが多く、そのドメイン名を利用してウェブサイトを立ち上げれば、従来のウェブサイトのユーザなどがそのまま勘違いしてアクセスしてくるなど、ある程度のアクセス数を見込める可能性が非常に高いからである。これはウェブサイトなどに掲載したオンライン広告などで利益をあげることを目的とする者にとっては大きなメリットである。なぜなら、ドメイン名の登録料や維持料は使用歴のあるドメイン名も無いドメイン名も同じであり、同じコストを払って登録するのであれば、そこから得られる利益が大きいと予想される方がより有利だからである。

このドロップキャッチという行為は、従来からもそれなりの頻度で見受けられる行為であったが、前述した AGP という仕組みにより、ドロップキャッチしたドメイン名を数日の内に選別し、アクセス数の見込めないドメイン名は手放してしまえば余計な登録料が発生しないという状況となったため、「登録期限切れで廃止されたドメイン名は全て登録対象とする」というように感じられるような状況にもなった。

このような状況により、従来であれば、それほど大規模なサイトなどで使っていたドメイ

ン名ではなく、また文字列もある程度特異性のあるものであれば、仮にドメイン名を期限切れで取り消されてしまっても再登録可能になるのを待って登録し直すという行為が可能であったが、現在ではほぼ全てのドメイン名において、一度期限切れなどで廃止されてしまうと、RGP⁷⁶（Redemption Grace Period：削除済ドメイン名のための「請戻猶予期間」）を利用すること無しに再び自分の手に取り戻すことはほぼ不可能な状況になりつつある。

● ICANN マラケシュ会議での議論（2006年6月）

このように大きな問題として認識されるようになったドメイン名テストやドロップキャッチという行為については、近年のICANN会議でも大きな問題として取り上げられるようになり、2006年6月にモロッコで行われたICANNマラケシュ会議では、この問題を特別に話し合うためのドメイン名マーケットプレイスワークショップ⁷⁷が開かれるまでになった。

このドメイン名マーケットプレイスワークショップでは、ドメイン名テストやドロップキャッチの概要説明や、ドメイン名の登録から期限切れを経て登録削除に至るまでのサイクルにおいてどのような行為が行われているかの解説が行われた。

会合に出席したパネリストからは、一部の登録者によるドメイン名テストなどの行為が、多くの一般的な顧客に対して大きな影響を与えるとともに混乱を生じさせており、それらの顧客に対応するためのレジストラのサポートコストの増大に繋がっているという意見や、AGPが本来の意図に反した使い方をされていることは明らかであり、AGPの廃止を検討すべきではないかという意見などが発表された。また一方では、現状起こっていることこそがマーケットのニーズであり、闇雲に排除をするのではなく、早急にポリシー策定プロセスの対象としてルール作りを進めるべきではないかという意見も出た。さらに、レジストリ側からは、ドロップキャッチなどではキャッチを試みるコマンドが大量にレジストリ側のシステムに対して発行されていて、それがレジストリに過大な負荷を与えている現状などが説明された。

このような議論を経て、ドメイン名マーケットプレイスに関する問題については継続的に議論していくことが確認され、以降のICANN会議においても引き続きこのドメイン名マーケットプレイスにおける問題について議論されることとなった。

⁷⁶削除済ドメイン名のための「請戻猶予期間」
<http://www.nic.ad.jp/ja/dom/gtld-policy/rgp.html>

⁷⁷ ICANN Meetings in Marrakech, Morocco
Domain Name Marketplace Workshop
<http://www.icann.org/meetings/marrakech/captioning-dn-27jun06.htm>

- ICANN サンパウロ会議での議論（2006年12月）

マラケシュ会議の次に行われた2006年12月のブラジル・サンパウロ会議においても、ドメイン名マーケットプレイスワークショップが開催され⁷⁸、現状についてアップデート報告がなされるとともに、特にAGPに絞って集中的に議論が行われた。この会合では、AGPの見直しを求めるコメントが多数寄せられ、ALACの要請によりICANNスタッフが課題レポートを提出することになった。

- ICANN サンファン会議での議論（2007年6月）

ICANNサンパウロ会議におけるALACの要請に応じて、2007年6月14日にはICANNスタッフより課題レポート⁷⁹が提出され、レポートの内容に基づきサンファン会議で議論が行われた。

課題レポート内では、ICANNスタッフや法律顧問が多面的に検討した結果、ドメイン名テストに関する問題はICANNのポリシープロセスやGNSOのスキープの範囲内にあるものであると考えられ、GNSOでポリシー策定プロセス（PDP）を開始すべきであると勧告している。また、PDPを開始する前には、さらなる事実調査を行うことや、PDP以外にも解決方法がないか検討するようにも伝えている。

GNSO評議会では、GNSOメンバーとICANNスタッフでアドホックグループを結成し、ドメイン名テストについてさらなる情報収集を行うこととした。また、その結果によりPDPを開始すべきかを判断することとなった。

アドホックグループは、事実に基づくデータ収集を行うために、2007年8月10日から9月15日までドメイン名テストに関する情報要請（Request for Information, RFI）⁸⁰を行い、知的財産部会もRFIを同時に行った。情報要請に対して寄せられた内容を反映したレポートは、2007年10月4日までに提出することがGNSOで決定された。

⁷⁸ ICANN Meetings in São Paulo, Brazil
Captioning - Domain Name Marketplace Workshop
<http://www.icann.org/meetings/saopaulo/captioning-dnmarket-06dec06.htm>

⁷⁹ GNSO Issues Report on Domain Tasting - English
<http://gns0.icann.org/issues/domain-tasting/gns0-domain-tasting-report-14jun07.pdf>

⁸⁰ Request for Information on Domain Tasting
<http://www.icann.org/announcements/announcement-2-10aug07.htm>

● ICANN ロサンゼルス会議での議論（2007年10～11月）

RFIには約220の回答が寄せられ、それらをまとめたアドホックグループの報告書⁸¹が2007年10月4日に提出された。

RFIへの回答は、知的所有権者とドメイン名登録者から寄せられたものが大半で、ドメイン名テイスティングは利益よりもはるかに不利益をもたらすものであると明確に主張する内容であった。ドメイン名テイスティングを減らす手段については、他の提案もあったものの、回答者の多くがAGPを廃止することに肯定的であった。回答者の大半が、無料でドメイン名を登録できてしまうことがドメイン名テイスティングを助長すると考えており、また登録に対してICANNがミニマムチャージを課すべきとも考えているが、中にはミニマムチャージの課金はICANNの権限を越えるものであると考える者もあった。

報告書には、レジストリがICANNに提出する月次レポートのデータのうち、ドメイン名テイスティングが最も行われている.comと.netの登録ドメイン数と削除ドメイン数のグラフも掲載された。このグラフからは、登録ドメイン数はほぼ一定のペースで増加していることが分かる。それに比して、削除されるドメイン名については、2005年1月ごろまでは登録されるドメイン数に対して微々たる割合であったが、それ以降急激に増加し、2007年3月時点では登録ドメイン数7,300万件前後に対し削除されるドメイン数が6,000万件に届きそうな勢いにまで伸びていることが分かる。

アドホックグループは、RFIや情報収集で得られた結果を報告書内で客観的に報告するとともに、GNSOからの要請に基づき、PDPを行う際の評価委任事項（Terms of Reference, ToR）のドラフトも掲載している。ドラフトToRの内容は次の通りである。

1. ドメイン名テイスティングとして認識されるすべての行為の影響を見直し評価すること
2. ドメイン名テイスティングがもたらす影響を鑑み、ドメイン名テイスティングを防ぐための手段を導入することが正当化できるかどうか判断すること
3. 上記2.に対する回答が肯定的なものであるならば、様々な手段が各部会にもたらす潜在的インパクトを考慮し、ドメイン名テイスティングを防ぐための手段を提案すること

以上の内容に基づき、ICANN ロサンゼルス会議におけるGNSO評議会にて検討した結果、

⁸¹ Outcomes Report of the GNSO ad hoc group on Domain Tasting
<http://gns0.icann.org/drafts/gns0-domain-tasting-adhoc-outcomes-report-final.pdf>

ドメイン名テストに関する PDP を開始することが決議された。また、GNSO 評議会は、AGP の期間中に登録と削除が行われるドメイン名についても課金する料金体系とするよう、ICANN スタッフに勧告した。

- ICANN ニューデリー会議での議論（2008 年 2 月）

2008 年 1 月 7 日には、ICANN スタッフより初回レポート⁸²が提出され、2008 年 1 月 28 日までパブリックコメントに付された。本レポートには、ドメイン名テストにまつわるこれまでの内容のまとめの他、GNSO 内の各部会から寄せられたドメイン名テストに関する声明文が含まれている。声明の内容は部会により多岐にわたるものの、ドメイン名テストを減らすための手段を講じるべきであるという点についてはコンセンサスが得られている。

また、ロサンゼルス会議において提出された、AGP の期間中に登録と削除が行われるドメイン名に対しても課金する料金体系とすべきであるという内容の GNSO 評議会の勧告に対応して、2008 年 1 月 29 日には、ICANN 理事会からの勧告⁸³が公開された。その内容は、2008 年 7 月 1 日から始まる新年度予算より、ドメイン名が登録されたらすぐに課金するよう提案するものであり、ドメイン名テストの廃止に向けて理事会が大きく動き出したことが見て取れる内容である。

ニューデリー会議の議論においても、ドメイン名テストは否定的に捉えられるのが趨勢であったと言える。しかしながら、登録時の誤入力の修正といった本来の目的に AGP を利用する登録者も依然として存在すると考えられるため、「ドメイン名テストの防止＝AGP の廃止」と結びつけるのはいささか早計との意見も上がった。そこで、GNSO 評議会としては AGP 期間中における一定割合の削除件数を許容した上で、それ以上の登録に対しては課金することと、レジストラ認定契約内の AGP に関する条項の修正を理事会に提案しようとしていることが伝えられた。

ドメイン名テストに関する議論に呼応するように、.biz のレジストリである NewStar と .info のレジストリである Afilias より、レジストリ契約内の AGP に関する条件の修正案が 2008 年 2 月 5 日に提出され、2008 年 2 月 28 日にパブリックコメントに付された。両社とも別々に修正案を提出しているが、内容は似通ったものである。AGP 期間中に削除されるドメイン名のうち、課金が猶予されるドメイン名数の上限を設定しており、月

⁸² GNSO Initial Report on Domain Tasting
<http://www.icann.org/announcements/announcement-07jan08.htm>

⁸³ ICANN Board Recommends Action on Domain Tasting
<http://www.icann.org/announcements/announcement-29jan08.htm>

に 50 件もしくはレジストラにおける月の新規登録数の 10%のうちどちらか大きい方を上限とすることを提案している。レジストラが AGP 期間中に削除するドメイン名数に制限は設けられないが、月締め時点で、上限を超える数のドメイン名すべてに対して課金されることになる。ICANN は、これらの修正案がインターネットの安定性・安全性や競争原理に対して重大な問題を引き起こすことはないと判断し、2008 年 2 月 27 日から 2008 年 3 月 26 日まで修正案に対する意見募集期間が設定された。その後、2008 年 3 月 27 日の理事会で修正案が承認された。なお、ドメイン名テイスティングへの対応に関連して、.org のレジストリである PIR が提示したレジストリ契約の改訂は、すでに 2006 年 1 月に承認されていた。やはり、AGP の期間中に削除されるドメイン名の内、課金が猶予される登録数を制限するものであり、AGP に削除されるドメイン名数が 30 日間の登録数の 90%を超える場合、AGP の間に削除されたドメイン名に課金するという内容で、2007 年 6 月に導入されている。

2008 年 3 月 6 日のGNSO評議会では、ドメイン名テイスティングを抑制するために、AGP の仕組みがドメイン名テイスティングに利用されるのを阻止するため方策をICANN理事会に勧告するための動議が特別多数で可決された。勧告の内容は、AGPを実装しているgTLD運用者は、AGPの期間に削除されるドメイン名が、新規の月間ドメイン名登録数の総数の 10%もしくは 50 個のどちらか多い方を超えた場合、超えた分について返金を行えないようにするが、特殊な状況については例外も認められるという内容である。GNSO評議会においては、前述のNewStarやAfiliasの修正案を参考に議論が行われていただけに、それらの内容と似通っていると言える。このGNSOの勧告は 2008 年 4 月 30 日から 2008 年 5 月 21 日まで意見募集に付され⁸⁴、その後理事会の最終検討に付されることになった。

2008 年 5 月 22 日には、上記意見募集で寄せられたコメントのサマリ⁸⁵が掲載された(2008 年 5 月 29 日に修正されている)。寄せられたコメントは 11 件と多くはなく、AGPをなくせばドメイン名テイスティングの問題を解決できるわけではないというコメントがあったり、レジストリやレジストラの中にはAGPの制限に反対している人が依然として存在するということが分かるものであったが、AGPに制限値を設けて運用するというのが妥当な解決策となるという雰囲気が漂う内容であった。

● ICANN パリ会議での議論 (2008 年 6 月)

ICANN パリ会議において開催された 2008 年 6 月 26 日の ICANN 理事会において、前述

⁸⁴ Public Comment - May 2008 archive Domain Tasting
http://www.icann.org/public_comment/public-comment-200805.html#dt-motion-21may08

⁸⁵ CORRECTED summary of public comments on domain tasting
<http://forum.icann.org/lists/dt-motion-21may08/msg00013.html>

の GNSO 評議会が提出した勧告は採択され、2007 年 11 月に開始された PDP が終息した。理事会の指示により、レジストリ・レジストラが実装に必要な時間等を考慮して、ICANN スタッフが実装を進めることとなった。

- ポリシーの実装

2008 年 10 月 20 日には、ICANN スタッフより AGP 制限ポリシーおよび実装計画案が公開され⁸⁶、2008 年 11 月 20 日まで意見募集が行われた。2008 年 12 月 1 日に提出されたコメントの要約および分析によると、寄せられたコメント 14 件の内訳は、賛成 7 件、条件付きの賛成 1 件、ポリシーとして実装するには時期尚早との意見 1 件、賛成か反対かは述べていない質問と修正案を記したものの 1 件、重複投稿 1 件、実装計画案にコメントしていないものの 1 件、スパム 2 件となっており、実質的には AGP 制限ポリシーおよび実装計画案への賛成意見が過半数となったようである。コメントの要約および分析の文書には、次のステップとして、実装計画案の最終版は 2008 年 12 月に gTLD レジストリやコミュニティに対して告知し、2009 年 4 月 15 日までは gTLD レジストリによって実装される予定であることも記している。

2008 年 11 月 13 日の ICANN によるアナウンスメント⁸⁷によれば、AGP の間のドメイン名削除件数が 84% 減少したことが伝えられている。これは、AGP 制限ポリシーが実装されるまでの短期的な解決方法として、新規の月間ドメイン名登録総数の 10% もしくは 50 ドメイン名のどちらか多い方を超えた場合、超えた分は登録されたドメイン名とみなして現行の 1 ドメイン名につき US\$0.20 という取引手数料を課すことになる予算を理事会が承認したことが奏功したものである。予算執行により、AGP の間に登録と削除が行われたドメイン名数は、2008 年 6 月の約 1,760 万件から 2008 年 7 月の約 280 万件に減少しており、約 280 万件の内、約 260 万件に対して取引手数料が課されることになり、AGP の間に登録と削除が行われて取引手数料が課されるドメイン名数は、わずかになるまで減るかもしれないのではないかと見ていることが伝えられた。

2008 年 12 月 17 日には、ついに ICANN より AGP 制限ポリシーの実装計画が告知された⁸⁸。実装計画には、ドメイン名テストに関する GNSO のポリシー策定プロセスでの検討やレジストリ・レジストラへのアウトリーチ活動、実装計画案に寄せられた意見等が反映されている。gTLD 運用者は AGP 制限ポリシーについて 21 日以内に認定レジストラに知

⁸⁶ Public Comment: AGP Limits Policy

<http://www.icann.org/en/announcements/announcement-20oct08-en.htm>

⁸⁷ AGP Deletes Down by 84 percent

<http://www.icann.org/en/announcements/announcement-13nov08-en.htm>

⁸⁸ Advisory: Add Grace Period Limits Policy

<http://www.icann.org/en/announcements/announcement-17dec08-en.htm>

らせ、それ以降 2009 年 3 月 31 日までの間に速やかに実装するようとの内容が実装計画に記されている。2008 年 11 月 23 日の ICANN からのアナウンスメントでは、予算の引き当てにより 2008 年 6 月から 7 月の AGP 中のドメイン名削除件数が 84% 減少したことが伝えられたが、AGP 制限ポリシーが実装されればより高額のパナルティが課されることになるため、AGP 中のドメイン名削除件数の減少にさらに拍車をかけると見ていることが伝えられている。

2-5 ドメイン名のフロントランニングに関する議論の動向

- かねてより寄せられていた懸念

あるドメイン名を登録しようとする場合、そのドメイン名が登録可能かどうかを確認するために、WHOIS 等を利用して検索することが考えられる。未登録の状態、つまり登録可能な状態であることが確認でき、実際にそのドメイン名を登録することに決めれば、登録手続きへと進むことになり、場合によっては、多少の時間をおいてから改めて登録手続きを行うこともあるだろう。ところが、WHOIS 等で確認した時点で直ぐに登録せず、時間をおいてから登録しようとする、少し前まで未登録であったドメイン名が既に登録済みの状態に変わっていた、という場面に遭遇したケースを時折耳にする。

ドメイン名の登録を考えているユーザがそのようなケースに直面すれば、これまで登録されていなかったドメイン名が、ステータスの確認後に直ちに登録されてしまうのは、WHOIS 等で検索したことがきっかけとなっているのではないかと疑念を持つことも不思議ではない。WHOIS 等で検索した情報がモニタリングされ、その情報を利用してサイバースクワッティング等の不正の目的を伴う行為を企てる第三者によりドメイン名が登録されたのではないかと考えられてしまうことも無理はない。

WHOIS 等で検索した情報が利用され、他人が登録しそうなドメイン名が先回りして登録されていると疑われているこれらのケースは、ドメイン名の横取り (domain name grabbing) や先行予約 (preemptive registration) と呼ばれ、かねてよりクレームとして ICANN、レジストラ、知的財産を専門とする弁護士に対しある程度の頻度で寄せられていたようである。

- セキュリティと安全性に関する諮問委員会 (SSAC) の勧告書と報告書

セキュリティと安全性に関する諮問委員会 (SSAC) としては、これらのケースが行われているという確証はないものの、コミュニティ内にそのような疑念が存在するという事実を鑑み、事前研究およびコミュニティへの問題提起のために、2007年10月に勧告書⁸⁹を提出した。勧告書では、ドメイン名が先回りして登録される状況が証券取引の世界で言われるフロントランニングの状況と似ていることから、それになぞらえドメイン名フロントランニング (domain name front running) と呼ぶこととしている。

⁸⁹ SAC 022 SSAC Advisory on Domain Name Front Running
<http://www.icann.org/committees/security/sac022.pdf>

ドメイン名フロントランニングが行われる理由としては、インターネットユーザが関心をもつドメイン名をペイパークリックサイトに使って、ユーザをおびき寄せ広告費を稼ぐ目的であったり、ドメイン名の商品価値に目をつけセカンダリマーケットで売ることなどが考えられている。また、ドメイン名フロントランニングと思われても、実はドメイン名テストの結果として、ドメイン名が登録されてしまっているとも考えうるという。

ドメイン名フロントランニングがどのようにして行われるのかについては、DNS 運用者、レジストリ、レジストラ、リセラが行っていることも考えうるし、現状では WHOIS で検索された情報を外部に提供することが禁止されていないため、ドメイン名フロントランニングを行う者（勧告書では、ドメイン名フロントランナーと呼んでいる）に売っていることも考えられるとしている。その他にも数例が挙げられているが、いずれも考えうるものを検討のための例示として記しているもので、この限りではないと考えられるし、例示したものがドメイン名フロントランニングの方法として利用されていると明言しているわけでもない。

SSAC としては、ドメイン名フロントランニングが行われている事実があると断言することは避けているものの、苦情が寄せられたりドメイン名フロントランニングが行われていると疑念を持たれているという状況は、ドメイン名事業に対する信頼感を失わせているとしている。また、WHOIS 等を用いて希望するドメイン名を確認することは、そのドメイン名に関心があるということを知者に知らせてしまう可能性につながるため、慎重に行うよう忠告している。この時点では、WHOIS 等の検索情報をモニタリングすることが容認されるものかそうでないかを結論付けるだけの状況証拠などを持ち合わせていないため、次の 10 項目を掲げ事例報告を呼びかけ勧告書の結びとしている。

- ・ ドメイン名が登録可能であるかを確認した方法（例：ウェブブラウザ、アプリケーション）
- ・ 利用している ISP
- ・ ドメイン名の確認サービスを提供するプロバイダもしくは運用者
- ・ ドメイン名が登録可能であるかを確認した日時
- ・ ドメイン名が登録可能であるかを確認した際の回答（例：WHOIS クエリへのレスポンス）の写し
- ・ ドメイン名が登録可能であるかを確認した際の回答に、当該ドメイン名がこれまでに登録されたことがある、もしくは登録されていないと記されていたか
- ・ これまでに当該ドメイン名が登録されていたことを伝える回答（例：WHOIS クエリへのレスポンス）の写し
- ・ ドメイン名フロントランナーと思しき者との通信内容の写し

- ・ レジストラもしくはドメイン名の確認サービスを提供する業者との通信内容
- ・ ドメイン名の確認サービスを提供する業者とドメイン名を先取りした者との関係していると思われることが分かる情報

事例報告の呼びかけに対しては、2007年10月20日から2008年1月5日までの間に約170の回答があり、そのうちの120件はドメイン名フロントランニングに関する内容であったという。これらの回答を分析した結果として、2008年2月にSSACから報告書⁹⁰が提出された。

回答の分析にあたり、SSACメンバーは、情報が不十分と思われる点については回答者に追って確認した上で、WHOISやドメイン名登録情報を確認し、ウェブホスティングの履歴等も検証した。しかしながら、やはりこの段階でも、ドメイン名の確認サービスを提供する業者により何かしらの手段を用いてドメイン名フロントランニングが行われていると結論付けるには情報が乏しいとしている。ただ、ドメイン名フロントランニングは行われているかもしれないが、その証拠を捉えることは難しいとしつつも、その可能性が疑われていることはコミュニティがドメイン名登録のプロセスの中で感じる不満の表明と認識できることにも触れている。

回答結果からは、ドメイン名登録プロセスやそこに関係するマーケットが、インターネットユーザの理解を超えて複雑なものとなっている現状が浮かび上がっている。平均的なエンドユーザにとってはドメイン名フロントランニング、ドメイン名ハイジャック、ドメイン名テスト等が意味するところの違いを区別できず、それがゆえに登録プロセスは信頼できないものであるという印象を与えているとしている。ドメイン名登録に関わる業者は、ドメイン名登録に関わってくる様々な事柄についてユーザへ啓蒙したり、業界特有の専門用語の使用をできるだけ控えるよう勧告している。また、ユーザは、ドメイン名のキャンセル待ちサービスを使えば、希望するドメイン名が期限切れとなり更新されないと、代わりに登録してくれるはずと思い込んでいるので、そのようなサービスを提供するレジストラやリセラーはユーザの誤解を正す手段を講じるよう勧告している。

また、レジストラやリセラーとドメイン名登録のための手続きを進める際には、登録者からすれば、契約に明示されていようとなかろうと、一連の手続きに関する情報が断りもなしに第三者に公開されることなどないだろうし、ましてや登録者が費用を負担して提供した情報が、レジストラやリセラー自身のために使われることもないと考えerはずである。このようなことを業者が行うとしたら、ユーザとの信頼関係を破ることとなり、また登録者

⁹⁰ Report on Domain Name Front Running
<http://www.icann.org/committees/security/sac024.pdf>

が費用を負担して提供した情報を利用して業者がドメイン名市場において優位性を獲得しようとするれば、さらに事態を悪化させることになるかと危惧している。SSAC は、登録者とレジストラとの信頼関係が損なわれつつある状況を感じており、ICANN やコミュニティは登録プロセスにおける信頼関係の喪失について検討すべきであると勧告している。また、レジストラは、ドメイン名の登録可否が検索された際の情報をどのように扱うかについての注意事項を、ユーザに対して明確に伝えるべきであると勧告している。

ドメイン名の登録可否が検索され登録されれば、他者がそのドメイン名に関心を持つ可能性も高くなる。そこで、ドメイン名の登録可否を検索し登録した登録者は、そのドメイン名を大切に思うならばなおさら、ドメイン名をチェックし登録する際に得られる次の情報を記録しておくべきであるとしている。

- ・ ドメイン名が登録可能であるかを確認した方法（例：ウェブブラウザ、アプリケーション）
- ・ 利用している ISP
- ・ ドメイン名の確認サービスを提供するプロバイダもしくは運用者
- ・ ドメイン名が登録可能であるかを確認した日時
- ・ ドメイン名が登録可能であるかを確認した際の回答（例：WHOIS クエリへのレスポンス）の写し
- ・ ドメイン名が登録可能であるかを確認した際の回答に、当該ドメイン名がこれまでに登録されたことがある、もしくは登録されていないと記されていたか
- ・ これまでに当該ドメイン名が登録されていたことを伝える回答（例：WHOIS クエリへのレスポンス）の写し
- ・ レジストラもしくはドメイン名の確認サービスを提供する業者との通信内容

また、登録しているドメイン名が登録期限を越えてしまうと、そのドメイン名を登録していたレジストラで更新手続きを取るか、失効させるかのどちらかの方法しかなくなるので、登録しているドメイン名を失うと困る場合には、登録期限を迎える前に事前の対処を行うよう注意を喚起している。⁹¹

なお、同報告書の冒頭の注記には、Network Solutions 社（NSI）が 2008 年 1 月 8 日に導入したドメイン名登録サービスの改定について触れられているが、SSAC の報告書の内容が完成した段階での改定リリースであったため、分析内容に NSI のサービスは含まれていない。NSI の新内容のサービスでは、ユーザがドメイン名の登録可否を同社のサービスを利

⁹¹ 参考文書：SAC 010 Renewal Considerations for Domain Name Registrants
<http://www.icann.org/committees/security/renewal-advisory-29jun06.pdf>

用して検索し、登録可能であるものの登録しない場合、NSI がそのドメイン名を 4 日間予約しておくとするものである。NSI としては、これはユーザのためのサービスであり、ドメイン名の登録可否を検索したためにドメイン名フロントランニングの対象になることがないようにするためと説明している。しかしながら、このサービスが果たしてユーザのためのものであるかどうかについては、議論が分かれるところであるとしている。

.info のレジストリである Afilias 社は、2008 年 1 月 14 日にプレスリリースを発表し、同社はドメイン名の登録可否が検索された際のデータを売ったことはなく、.info についてドメイン名フロントランニングが行われているという事実を認めない、とドメイン名フロントランニングに反対の姿勢を示していることを伝えている。

● GNSO 評議会における議論

その後、2008 年 5 月 8 日の GNSO 評議会会議において、ドメイン名フロントランニングに関する議論が行われ、フロントランニングドラフティングチームを結成し、ドメイン名フロントランニングがどのように定義されるか、ドメイン名フロントランニングの問題がどれくらい広がっているか、ドメイン名テストングに関連する手法がドメイン名フロントランニングに影響しているか、レジストラ認定契約 (RAA) にはドメイン名フロントランニングに適用できるルールが含まれているか、といったことを検討することになった。その結果として、課題レポートを要請すべきか、もしくは更に調査を進めるべきかといった点について、2008 年 6 月のパリ会議での検討に間に合うよう、2008 年 6 月 7 日までに GNSO 評議会に勧告を行うことになった。

なお、2008 年 5 月 8 日の GNSO 評議会会議では、ドメイン名フロントランニングは RAA に包含されるのか、またドメイン名フロントランニングを対象としたコンプライアンスの活動があるのかという質問が ICANN スタッフに対して投げかけられ、それらについては ICANN スタッフより 2008 年 5 月 29 日に回答⁹²が寄せられている。回答においては、RAA では明示的にドメイン名フロントランニングには対応していないということを伝えるのに加えて、ドメイン名フロントランニングがどの程度起こっているかを評価すると共に、ドメイン名フロントランニングはインターネットの安全性や安定性を脅かすものであるかを判断するための調査を事前に行うべきであると勧告している。

ICANN スタッフからの勧告を受けて、ICANN パリ会議期間中の 2008 年 6 月 25 日の GNSO 評議会での検討が行われた。その当時、ドメイン名テストングへの対応策として登録猶

⁹² ICANN staff response to the GNSO Council question on domain name front running
<http://gns0.icann.org/correspondence/front-running-staff-response-to-gns0-council-08may-request-29may08.pdf>

予期間 (AGP) に削除できるドメイン名数に制限値を設けて運用する提案が出されており、その変更がドメイン名フロントランニングに影響を与えるかどうかを判断するために情報が必要となるとの判断を下した。よって、GNSO 評議会は情報収集が完了するまで、ドラフティングチームの活動を一時保留することとした。

その後は、GNSO 評議会内においても特段の進捗はなく、ポリシー議論に持ち込まれることなく 2009 年を迎えており、今後の議論の進展が気になるところである。

2-6 ドメイン名を巡る紛争および紛争処理体制の動向

2-6-1 2008 年におけるドメイン名紛争の概況

登録者と商標権者等との間に起こるドメイン名紛争解決のために、ICANNは1999年10月にUniform Domain Name Dispute Resolution Policy⁹³（統一ドメイン名紛争処理方針、以下「UDRP」という）及びRules for Uniform Domain Name Dispute Resolution Policy⁹⁴（統一ドメイン名紛争処理方針のための手続規則、以下「UDRP Rules」という）を採択した。gTLDおよび一部のccTLDドメイン名紛争解決のために導入され、今日まで運用されている。

UDRPに関する申立は、ICANN認定紛争処理機関⁹⁵で受け付けられる。例年の傾向として、gTLDのドメイン名に関する紛争の申立先は、World Intellectual Property Organization（WIPO）⁹⁶のArbitration and Mediation Center（スイス共和国ジュネーブ）とNational Arbitration Forum（NAF、米国ミネソタ州ミネアポリス）⁹⁷の2機関に集中している。2008年のWIPOとNAFの取り扱い件数を見ると、前年対比でWIPOにおいては約2%減っているものの、NAFにおいては約4%増えており、申立数全体としては2004年以降増加傾向にあると言える。

更に、紛争処理機関からのプレスリリースより、近況を確認してみたい。

NAFのブログ⁹⁸における2008年10月27日付けの投稿”Launch of New Domain Name Extensions May Mean More Disputes”からリンクされている弁護士Kristina Fordahl Dorrain氏の記事”Changes To The Internet Space: Is Your Client Ready?”においては、ICANNにおいて新gTLDやIDN ccTLDの導入が決議され、今後ドメイン名空間が広がることに伴う懸念が述べられている。新gTLDやIDN ccTLDの導入は、投機的にドメイン名を登録する者にとっては喜ばしいことかもしれないが、商標権の所有者にとっては監視の目を光らせなければならない範囲が広がり、インターネットユーザを混乱させることもあり得ると考えているとのことである。インターネットは今後もよりグローバルなコミュニティ

⁹³ UDRP 原文： <http://www.icann.org/dndr/udrp/policy.htm>

UDRP 日本語訳： <http://www.nic.ad.jp/ja/translation/icann/icann-udrp-policy-j.html>

⁹⁴ UDRP Rules 原文： <http://www.icann.org/dndr/udrp/uniform-rules.htm>

UDRP Rules 日本語訳： <http://www.nic.ad.jp/ja/translation/icann/icann-udrp-rules-j.html>

⁹⁵ <http://www.icann.org/dndr/udrp/approved-providers.htm>

⁹⁶ <http://www.wipo.int/amc/en/domains/>

⁹⁷ <http://domains.adrforum.com/>

⁹⁸ <http://arbitration-forum.blogspot.com/>

に広がっていくものであるため、企業やその弁護士らは引き続きインターネットの今後の展開や新gTLDおよびIDN ccTLDの導入に注視することが大切であると警鐘を鳴らしている。

NAF のリリースの内容や各紛争処理機関に対する申立件数の堅調な推移を見ると、商標権者等にとってはドメイン名は引き続き一定の価値を持ち続けているように考えられる。新たな gTLD が増えれば、それに伴い UDRP による紛争解決に持ち込まれるケースも増えていくものと推察される。

WIPOからICANN宛ての 2008 年 12 月 30 日付けのレター“WIPO eUDRP Initiative”⁹⁹ では、ペーパーレスのUDRPを目指して検討していくことをICANNに対して提案している。2009 年にはUDRP施行から 10 周年という節目を迎えることとなり、その間にはインターネット経由のコミュニケーションが至る所で用いられるようになっていたり、環境問題への取り組みがグローバルに意識されるようになるなど、UDRPを取り巻く環境が大きく変化してきた。そこで、ペーパーレスに向けて真剣に検討を行うタイミングを迎えたと考えられるということが説明されている。ちなみに、2008 年にWIPOに寄せられた申立書と答弁書のハードコピーは、100 万ページをはるかに超える量であったとのことである。インターネット業界の動向のみならず、様々な国際動向がUDRPを変化させていく可能性もあることが感じられる提案内容である。

次に、JPドメイン名紛争処理方針（以下、「JP-DRP」という）及びJPドメイン名紛争処理方針のための手続規則（以下、「JP-DRP手続規則」という）¹⁰⁰に基づき行われるJPドメイン名の紛争処理の近況についても確認したい。

申立件数については、2006 年の件数は 8 件で、過去最多の 11 件の申立があった 2005 年より減ったが、2007 年は 10 件の申立があり増加傾向に転じたかに見えた。しかしながら、その後 2008 年においては 3 件に留まっている。

2006 年度には JP-DRP および JP-DRP 手続規則の改訂が行われ、2007 年 6 月 1 日より実施された。JP-DRP および JP-DRP 手続規則の改訂では、JP-DRP の策定当初からの理念は変えることなく、利用者にとってより簡易、迅速な手続を容易にすることを主要な目的として、不明確な規程の書きぶりの見直しと実務を進める過程で判明した不具合の修正がされた。その内容を受けて、2007 年度には、改訂版 JP-DRP をより理解してもらうための解説の作成が行われた。解説の内容は、パネリストや法曹関係者といった法律の専門家だ

⁹⁹ <http://www.wipo.int/export/sites/www/amc/en/docs/icann301208.pdf>

¹⁰⁰ JP-DRP および JP-DRP 手続規則は、以下のページで確認できる。

<http://www.nic.ad.jp/ja/drp/index.html>

けではなく、JP ドメイン名紛争処理の当事者ともなり得るエンドユーザも読み手となることを意識した構成となっている。2008 年度にはこの解説が公開され、JP-DRP の理念の浸透が図られた。

以下では、gTLD、ccTLD、JP ドメイン名におけるドメイン名紛争に関する近年の動向を統計等と共に概観する。

2-6-2 gTLDにおけるドメイン名紛争

2-6-2-1 gTLDにおけるドメイン名紛争の概況

ICANN により認定され、UDRP 及び UDRP Rules に基づきドメイン名紛争を扱う紛争処理機関は、下記の 4 機関である。かつては、eRes (eResolution) および CPR (International Institute for Conflict Prevention and Resolution) も ICANN 認定の紛争処理機関として機能していたが、eRes は 2001 年 11 月の活動停止以降は稼動しておらず、CPR は 2000 年 5 月 22 日に ICANN より認定され、同年 6 月以降ドメイン名紛争処理に携わっていたが、2007 年 1 月以降はドメイン名紛争処理を行っていない。

ADNDRCが認定されてから以降、新たな紛争処理機関が認定されるまでは時間が開いたが、2007 年 5 月 25 日に ICANN のアナウンスメントにて、Czech Arbitration Court (CAC) が UDRP の認定紛争処理機関となることに関心表明を ICANN に提出したことが通知され、提案書等は 2007 年 6 月 25 日までパブリックコメントに付された。寄せられたコメントやその後の ICANN 会議における議論などを反映した修正版の提案書等をもって、2007 年 11 月 12 日から 12 月 2 日まで再度パブリックコメント期間が設定された。2008 年 1 月 23 日の ICANN 理事会で CAC の申請が承認され、紛争処理機関としてのサービス提供に向けて法律顧問と CAC は検討に入るよう ICANN 理事会は要請した。2009 年 2 月中旬時点において、UDRP の認定紛争処理機関を掲載する ICANN のウェブページ“Approved Providers for Uniform Domain-Name Dispute-Resolution Policy”¹⁰¹ において CAC の名前が確認でき、2008 年末前には UDRP の申立の受け付けを開始する予定にあることが記されている。しかしながら、CAC のウェブサイト¹⁰²を見る限りでは、UDRP の裁定結果は公表されておらず、UDRP の申立を受け付けているかどうかとも判明しない。

各紛争処理機関の名称と活動開始時期は以下の通りである。

¹⁰¹ <http://www.icann.org/en/dndr/udrp/approved-providers.htm>

¹⁰² <http://www.adr.eu/>

表 14 紛争処理機関と活動開始時期

紛争処理機関名	活動開始時期
WIPO (World Intellectual Property Organization)	1999/12/01
NAF (The National Arbitration Forum)	1999/12/23
ADNDRC (Asian Domain Name Dispute Resolution Centre)	2002/02/28
Czech Arbitration Court (CAC)	(2008/12 予定)

また、各紛争処理機関の活動開始以降の処理件数は、以下の通りである¹⁰³。

表 15 紛争処理機関別処理件数推移

	WIPO	NAF	ADNDRC ¹⁰⁴	CAC	CPR	eRes	合計
1999 年	1	-----	-----	-----	-----	-----	1
2000 年	1,857	860	-----	-----	19	250	2,986
2001 年	1,557	836	-----	-----	14	96	2,503
2002 年	1,207	870	22	-----	32	-----	2,131
2003 年	1,100	854	32	-----	24	-----	2,010
2004 年	1,176	931	40	-----	9	-----	2,156
2005 年	1,456	1,119	48	-----	25	-----	2,648
2006 年	1,824	1,428	62	-----	24 ¹⁰⁵	-----	3,338
2007 年	2,156	1,539	66	-----	-----	-----	3,761
2008 年	2,107	1,607	135	-----	-----	-----	3,849
合計	14,441	10,044	405	-----	147	346	25,383

2000 年以降 2003 年前後までは、各紛争処理機関の処理件数は減少傾向にあったが、2005 年から 2007 年は 3 機関の処理件数が増加した。なお、ADNDRC の数値については、2009 年 2 月中旬時点において“Case Statistics”のページの情報が 2008 年 6 月 11 日付け KR-0800026 事件以降の情報が更新されていないように見受けられることと、“Decisions”のページについては北京事務所と香港事務所の情報は確認できるものの、ソウル事務所の情報が掲載されていないため、いずれにしても正確な総数を確認できない。ただ、北京事

¹⁰³ 処理件数は、各紛争処理機関の Web サイトを基に集計したものである。

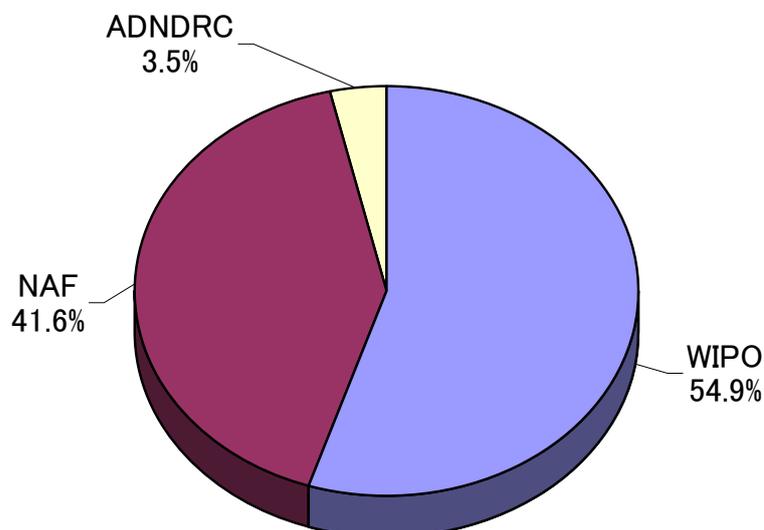
¹⁰⁴ ソウル事務所の件数が確認できず ADNDRC の総数が算出できないため、北京事務所と香港事務所の処理件数の合計数となるが、参考のために記す。

¹⁰⁵ CPR のウェブサイトの記述によると、ドメイン名の紛争処理機関として活動していたのは 2000 年 6 月から 2007 年 1 月となっているが、申立の受理は 2006 年内に受け付けたものが最後となっている。

務所と香港事務所の合計処理件数を見るだけでも増加傾向にあり、2008年の処理件数では大きな伸びを見せていることから、ADNDRC全体の処理件数も増加しているように推察される。2008年のWIPOの処理件数は若干減少したが、NAFにおいては増えており、ドメイン名紛争が全体として増加傾向にあると見て差し支えないだろう。

2008年の申立先を紛争処理機関ごとに分けると以下の通りとなる。なお、上述の「紛争処理機関別処理件数推移」と同様に、ADNDRCについては北京事務所と香港事務所が公開している内容から確認できる135件を参考数値として掲載する。

図 2 2008年の申立先



例年の傾向として、WIPO、NAFの順に割合が高く、両方で95%以上の割合を占めている。ADNDRCの正確な数値が把握できないため確証は得られないが、2008年についても似た傾向があるように想像される。

2-6-2-2 紛争処理機関の比較

2-6-2-2-1 手数料

申立人は、申立先の機関に手数料の全額を支払わなければならない。ただし、申立人が 1 名パネル（1 名のパネリストによる裁定）を希望し、1 名パネル分の料金を納付した後、被申立人（ドメイン名の登録者）が 3 名パネルを希望する場合には、すべての料金を申立人と被申立人で均等に負担することになる（UDRP 第 4 節 g.項）。

料金は、各紛争処理機関が定める補則等により定められている。以下のごとく、紛争処理機関ごとに料金設定に若干の差がある。

表 16 各紛争処理機関の料金設定

(1) WIPO

紛争対象のドメイン名の数	裁定パネルの構成 (1 名パネル)	裁定パネルの構成 (3 名パネル)
1 – 5	US\$1,500	US\$4,000
6 – 10	US\$2,000	US\$5,000
11 以上	相談により決定	相談により決定

(2) NAF

紛争対象のドメイン名の数	裁定パネルの構成 (1 名パネル)	裁定パネルの構成 (3 名パネル)
1 – 2	US\$1,300	US\$2,600
3 – 5	US\$1,450	US\$2,900
6 – 10	US\$1,800	US\$3,600
11 – 15	US\$2,250	US\$5,000
16 以上	相談により決定	相談により決定

(3) ADNDRC

紛争対象のドメイン名の数	裁定パネルの構成 (1 名パネル)	裁定パネルの構成 (3 名パネル)
1 – 2	US\$1,000	US\$2,500
3 – 5	US\$1,200	US\$3,000
6 – 9	US\$1,600	US\$3,600
10 以上	US\$3,000	US\$7,000

(4) CAC

紛争対象のドメイン名の数	裁定パネルの構成	裁定パネルの構成
--------------	----------	----------

	(1名パネル)	(3名パネル)
1 – 5	EUR 1,300	EUR 3,100
6 – 10	EUR 1,600	EUR 4,000
11 – 20	EUR 1,900	EUR 4,700
21 – 30	EUR 2,200	EUR 5,500
31 – 40	EUR 2,500	EUR 6,300
41 – 50	EUR 2,800	EUR 7,100
51 以上	相談により決定	相談により決定

2008 年末までに紛争処理手続きを取り扱っており、かつ料金設定が US\$ で設定されている WIPO、NAF、ADNDRC の 3 機関を比較してみると、紛争の対象となるドメイン名が 1 つである場合、1 名パネルでも 3 名パネルでも、手数料が高い順に WIPO > NAF > ADNDRC となる。これまでに最も多くの申立を扱ってきたのは WIPO であるが、WIPO に申立が集中する理由が価格面でのメリットを感じているわけではないことがうかがえる。

料金面については、いずれの紛争処理機関も比較的廉価であり、各紛争処理機関ともドメイン名紛争を引き受けることが収益に貢献しているとは考えづらい。

WIPO、ADNDRC、CAC は、パネリストとセンター側の分配割合も公表している。そこで、WIPO の「Schedule of Fees under UDRP¹⁰⁶」を見てみると、申立の対象となるドメイン名が 1 つで、かつ単独パネルで審理される場合、センターの取り分は US\$500 で、3 名パネルの場合でも US\$1,000 である。WIPO のドメイン名紛争取り扱い部門には 20 人ほどの職員が在籍すると聞いたことがあり、年間の取り扱い件数が減少していないことから、現在も同数程度の構成であると仮定すると、2007 年に年間取り扱い件数が 2,000 件を超えて 2008 年も増加しているとはいえ、その手数料では必要な人件費すら充当することが難しいことが予想される。実際には人件費以外の費用も運営に必要となるため、ドメイン名紛争取り扱い部門に限って言えば収益を確保できない体質であることが推察される。

¹⁰⁶ <http://www.wipo.int/amc/en/domains/fees/index.html>

2-6-2-2-2 Supplemental Rules (補則)

各紛争処理機関の補則比較を以下に示す。

表 17 各紛争処理機関の補則比較

	WIPO	NAF	ADNDRC	CAC
紙媒体の場合の 申請書式送付 部数	4部	1名パネルの場合3 部、3名パネルの場 合5部	4部（原本に “Original”と記す）	4部（1部は原本）
字数制限	申立書・答弁書と もに主張部分（手 続規則の第3条 (b)(ix)及び第5条 (b)(i)に関する部 分）は5,000ワー ド以内	申立書・答弁書と もに主張部分（手 続規則の第3条 (b)(ix)及び第5条 (b)(i)に関する部 分）は10ページ以 内	申立書・答弁書と もに主張部分（手 続規則の第3条 (b)(ix)及び第5条 (b)(i)に関する部 分）は3,000ワー ド以内	申立書・答弁書と もに主張部分（手 続規則の第3条 (b)(ix)及び第5条 (b)(i)に関する部 分）は5,000ワー ド以内
事件管理者の 選出方法	センターにより任 命	明確な記載はない が事件管理者は置 く	センターにより任 命	明確な記載はない が事件管理者は置 く
答弁書提出期限 の延長	記載なし	答弁書の提出期限 までに、延長に関 する両当事者の合 意を書面にて提出 （延長が必要な事 情も記載）すれば、 100\$の支払いによ り最長20日の延長 が可能	記載なし	特別な場合にの み、パネル（パネ ルが選出されてい ない場合はCAC） により認められ る。
追加提出物	記載なし	答弁書の提出より 5日以内に提出し、 US400\$を支払う。	記載なし	提出可能

ADNDRC の supplemental rules (3つとも内容は同じ) :

北京事務所 : http://www.adndrc.org/adndrc/bj_supplemental_rules.html

香港事務所 : http://www.adndrc.org/adndrc/hk_supplemental_rules.html

ソウル事務所：http://www.adndrc.org/adndrc/kre_supplemental_rules.html

NAF の supplemental rules：

<http://domains.adrforum.com/main.aspx?itemID=631&hideBar=False&navID=237&news=26>

WIPO の Supplemental Rules：

<http://www.wipo.int/amc/en/domains/rules/supplemental/index.html>

CAC の Supplemental Rules：

http://www.adr.eu/arbitration_platform/udrp_supplemental_rules.php

この中で特徴的なのは、NAF において料金を支払うことで答弁書の提出期限を延長させることができたり、US\$400 の料金を支払えば申立書・答弁書の内容を修正できるものではないが追加の提出物が認められるという点である。ただ、実際にはどの程度利用されているのかについては不明である。

2-6-2-2-3 勝敗率と紛争処理機関の選択

各紛争処理機関における勝敗率の統計を調査した。各紛争処理機関の Web サイトに公表されている裁定結果を集計したもので、以下の方法で移転率を計算している。

$$\text{移転率(\%)} = \frac{\text{[移転及び取消しの数]}}{\text{[全裁定数]}} \times 100$$

表 18 ICANN 認定紛争処理機関「移転」率一覧表

● ADNDRC

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	合計
① Transferred	9	14	20	33	51	60	122	309
② Cancelled	0	0	0	2	0	1	3	6
③ Rejected	5	5	0	4	7	5	10	36
④ Withdrawn	8	13	20	9	4	0	0	54
合計	22	32	40	48	62	66	135	405

①+②	9	14	20	35	51	61	125	315
①+②+③	14	19	20	39	58	66	135	351
移転率 (%)	64.3%	73.7%	100.0%	89.7%	87.9%	92.4%	92.6%	89.7%

● NAF

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	合計
① Transferred	614	632	683	650	669	838	1,131	1,173	1,242	7,632
② Split Decision	2	3	7	6	3	4	2	4	7	38
③ Cancelled	12	7	0	0	2	2	0	2	0	25
④ Claim Denied	133	109	88	100	125	121	113	157	167	1,113
Withdrawn	99	85	90	98	112	188	182	203	178	1,235
Recommended	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	860	836	868	854	911	1,153	1,428	1,539	1,594	10,043

①+②+③	628	642	690	656	674	844	1,133	1,179	1,249	7,695
①~④の合計	761	751	778	756	799	965	1,246	1,336	1,416	8,808
移転率 (%)	82.5%	85.5%	88.7%	86.8%	84.4%	87.5%	90.9%	88.2%	88.2%	87.4%

● WIPO

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	合計
① Transfer	1	1,183	983	792	753	770	927	1,125	1,326	1,280	9,140
② Transfer, cancellation in part	0	1	0	1	1	1	3	1	0	3	11
③ Transfer with dissenting opinion	0	7	10	6	3	2	2	5	3	4	42
④ Transfer, denied in part	0	7	6	5	5	5	7	8	6	6	55
⑤ Transfer, denied in part with dissenting opinion	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
⑥ Cancellation	0	7	12	11	8	9	7	11	25	31	121
⑦ Cancellation, denied in part	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
⑧ Cancellation, transfer in part	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
⑨ denied	0	262	245	148	110	108	142	183	211	194	1,603
⑩ denied with dissenting opinion	0	11	3	4	2	3	0	4	3	5	35
⑪ denied, transfer in part	0	4	6	3	3	0	1	0	1	1	19
⑫ denied, transfer in part with dissenting opinion	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
Terminated	0	375	292	236	215	278	364	486	581	582	3,409
合計	1	1,857	1,557	1,207	1,100	1,176	1,456	1,824	2,156	2,107	14,441

①～⑧の合計	1	1,205	1,011	815	770	787	948	1,151	1,360	1,325	6,688
①～⑫の合計	1	1,482	1,265	971	885	898	1,092	1,338	1,575	1,525	7,932
移転率 (%)	100.0%	81.3%	79.9%	83.9%	87.0%	87.6%	86.8%	86.0%	86.3%	86.9%	84.3%

ADNDRC については、やはり参考数値として掲載しているため、分析を避けたい。NAF と WIPO について集計結果を見ると、移転や取消しといった申立人側に有利な裁定結果となった割合が高い傾向が続いていると言え、2008 年についても 2007 年までと大差ない勝敗率の推移と言える。

2-6-2-2-4 パネリスト

いずれの紛争処理機関も、Web サイト上でパネリスト候補者を公表している。2009 年 2 月中旬時点で、最も多くのパネリスト候補者を有しているのは WIPO であり、その人数は 438 人で、2008 年同時期の 395 人、2007 年同時期の 389 人と比較すると年々増加しているこ

と分かる。このうち、日本人は8人含まれており、昨年と変わらない。NAFのパネリスト候補者は145人（2008年同時期145人、2007年同時期147名）で、そのうち日本人が1人含まれている。ADNDRCは、北京、香港、ソウルの各事務所のページにパネリスト候補一覧を掲載しているが、内容は同一であり、67人（2008年同時期66人、2007年同時期は60人）のパネリスト候補者が掲載されている。ADNDRCの一覧には、日本在住のパネリスト候補者の氏名は見られない。CACのパネリスト候補者は、37名となっている。パネリスト候補者の中には、複数の紛争処理機関に重複して登録されている者もいる。

紛争処理機関とパネリスト候補者との連絡方法等、各紛争処理機関内の業務内容は外部からは伺い知れない。また、各事件に対してパネリストを指名する方法等についても、内部では何らかの基準があると思われるが、公開されていないため不明である。

また、ADNDRCのWebサイトには「Procedures for Inclusion on the Asian Domain Name Dispute Resolution Centre Administrative Panel¹⁰⁷」というページがあり、パネリスト候補者の評価システムが存在することが分かる。これは、他の2機関では見当たらないため、ADNDRCの特徴の1つと言えるだろう。このパネリスト評価システムは、UDRP、UDRP Rules、ADNDRCの補則に則りドメイン名紛争処理を行うための最低限の基準を定め維持することや、ドメイン名紛争処理に携わる専門家としての質の維持、向上等を目的としている。パネリスト候補者となるための要件は、仲裁や知的財産に関する経験やIT関連の知識といった裁定を行うにあたり最低限必要となるであろう経験、知見のみならず、年齢が75歳以下であることや、ADNDRC Panel Selection Committeeが認定する1日セミナーに参加すること等が含まれている。また、任期は3年で、更新を希望する場合には最新の履歴書を添付して申請を行う必要があり、更新前の3年の間にADNDRCが認定するセミナーを受講しているか、少なくとも3件の裁定を出していないといけないといった要件もある。

2-6-2-3 WIPO II を巡る動き

WIPO II とは、WIPOセカンド・プロセス（the Second WIPO Internet Domain Name Process）の検討プロセスの結果を受けて、WIPOよりICANNに提出された検討要請のことを指す。2003年2月21日付のレター「Letter from Francis Gurry, WIPO, to Vint Cerf and Stuart Lynn」¹⁰⁸が文書による正式要請となる¹⁰⁹。WIPOは、ドメイン名について国際的な

¹⁰⁷ 事務所ごとに URL は異なるが、内容は同一である。

北京：http://www.adndrc.org/adndrc/bj_pip.html

香港：http://www.adndrc.org/adndrc/hk_pip.html

ソウル：http://www.adndrc.org/adndrc/kre_pip.html

¹⁰⁸ <http://www.icann.org/correspondence/gurry-letter-to-cerf-lynn-21feb03.htm>

¹⁰⁹ WIPO が同レターを ICANN に送付するまでの経緯は以下に記述がある。

<http://www.wipo.int/amc/en/processes/process2/index.html>

政府間機関名（International intergovernmental organizations, IGOs）及び国家名を保護すべくUDRPを改訂することを、このレターでICANNに要請している。

このレターを受けて、ICANNでは2003年10月6日にWIPO II 検討のための合同ワーキンググループが組成された。2004年7月14日にはICANNに最終報告書¹¹⁰が提出されたが、合同ワーキンググループ内では合意に至らなかったため、相矛盾する意見が残った内容となっている。

ICANN内におけるWIPO II を巡る動きは、この最終報告書提出までは迅速に進展したが、以降は停滞の一途であった。WIPOは2004年11月中旬に、レター要請の論拠を示す文書とその別紙をICANNに送付し¹¹¹、国連も2005年3月23日付で催促のレターをICANNに送付した¹¹²。このレターは、WHOやILO、IMF、IAEA、WTO等を始めとする24の国際機関（WIPO含む）を代表して送付されたもので、この中で国連は、国際機関名がドメイン名上保護されるべきという、当該機関の法律専門家の集合見解を通知するとしてUDRPの改訂を迫っている。

しかしながら、2005年のICANNの活動においては、本件に関してほとんど進展が見られなかった。WIPOは再度ICANNに2005年11月15日付で催促のレターを送付した¹¹³が、これについては、ICANN側はレターの受領をWIPO側に通知したのみとのことである。更に引き続き、2006年のICANN会議においても、アジェンダ上にWIPO II に関する項目は上がっておらず、WIPOもしくは関連組織からの催促のレターも受信せずに2007年を迎えた。

ところが、2007年の春以降になると流れが変化した。新gTLD導入の議論に関連して、IGOのためのDRPを新たに策定しようとの議論が持ち上がったのである。これは、フィッシング等の詐欺行為にIGOの名称が使われるケースが出てくるようになったことが理由である。工業所有権の保護に関するパリ条約で、政府間国際機関の略称及び名称は商標などに登録できないよう保護されているIGOが使われたドメイン名にはUDRPを適用できないため、IGOのための新たなDRPを作ろうという議論になったのである。

2007年5月24日のGNSO評議会にてスタッフレポートを要請することが決議され、6月15日には既存のURDPを修正してIGO向けの新しいDRPを作ることを提案する“GNSO Issues Report on Dispute Handling for IGO Names and Abbreviations”¹¹⁴が提出された。

¹¹⁰ <http://www.icann.org/committees/JWGW2/final-report/>

¹¹¹ <http://gnso.icann.org/mailing-lists/archives/council/msg00660.html>

¹¹² <http://www.icann.org/correspondence/michel-to-cerf-23mar05.pdf>

¹¹³ http://www.icann.org/correspondence/gurry-to-cerf_twomey-15nov05.pdf

¹¹⁴ <http://gnso.icann.org/issues/igo-names/issues-report-igo-drp-15jun07.pdf>

2007年6月下旬のICANNサンファン会議では、新DRPを導入する場合に必要となる事項について引き続き検討することを要請し、その後の報告の内容によりポリシー策定プロセス（Policy Development Process, PDP）を開始するかを検討することとなった。

その後、検討内容や新DRP案を含む次のスタッフレポートである“Staff Report on Draft IGO Name Dispute Resolution Procedure”¹¹⁵が2007年9月28日に提出された。2007年10月末から11月はじめにかけて開催されたICANNロサンゼルス会議のGNSO評議会では、PDP開始の決議を行う前にアドホックグループを結成して、報告書の検討を行いGNSO評議会に勧告を行うことを知的財産部会が提案したが、否決されてPDPについての決議はペンディングになった。その後、GNSO評議会メンバー内で検討が進められたが、2007年12月20日のGNSO評議会においてもPDPの開始は否決された。ただ、PDPの開始がこれまでに否決された理由は、議論が熟していないことによるものが大きく、IGO向けの新しいDRPを作ることは引き続き議論を要すると考えられているように思われる。2008年には、新gTLD導入の議論は進み、RFPのドラフト版となる「New gTLD Draft Applicant Guidebook¹¹⁶」が公開されるまでに至った。しかしながら、新gTLDの申請から選定までのプロセスについては多くの議論が行われたものの、新gTLDが運用されてから以降については多くの議論がなされておらず、2008年にはIGO向けの新しいDRPに関する進捗は見られなかった。

2-6-2-4 ドメイン名の移転に関する紛争処理（TDRP）

ドメイン名登録者がレジストラ変更を行おうとする際、レジストラ間のトラブルが生じた場合に、それを解決する手段としてTDRP（Transfer Dispute Resolution Policy）がある。TDRPは、「Policy on Transfer of Registrations between Registrars（レジストラ変更（レジストラ間のドメイン名移転）に関するポリシー）¹¹⁷」の一部であり、ICANNにより2004年7月12日に策定され、同年11月12日に施行された。登録者と商標権者等とのドメイン名紛争の解決手段であるUDRPとは根本的な性質は異なるが、TDRPもまた、ドメイン名に関する紛争のための規定である。

ICANNがTDRPに基づくレジストラ間のドメイン名移転に関する紛争処理機関を募ったところ、下記の2機関が応募し、承認された。TDRPの施行以降は、紛争処理機関が増えることなく、今日に至っている。

¹¹⁵ <http://gnso.icann.org/drafts/gnso-igo-drp-report-v2-28sep07.pdf>

¹¹⁶ <http://www.icann.org/en/topics/new-gtlds/draft-rfp-24oct08-en.pdf>

¹¹⁷ <http://www.icann.org/transfers/policy-12jul04.htm>

- NAF (The National Arbitration Forum¹¹⁸)
- ADNDRC (Asian Domain Name Dispute Resolution Centre¹¹⁹)

いずれの機関も、ウェブサイトにて TDRP に関する情報の他に補則や書式等を掲載している。なお、ADNDRC は北京、香港、ソウルの 3 ヶ所に事務所を有するが、TDRP の紛争処理を取り扱うのは北京事務所と香港事務所の 2 ヶ所である。

2009 年 2 月中旬時点において、いずれの紛争処理機関においても、これまでに TDRP に基づくドメイン名紛争があったことは確認できない。レジストラ移転をめぐるトラブルの対応に Policy on Transfer of Registrations between Registrars が奏功しているとも考えられるが、TDRP が利用されていない理由は明らかではない。

2-6-2-5 ccTLDにおけるドメイン名紛争

その他、主要 ccTLD におけるドメイン名紛争処理システムの概要は以下の通りとなっている。

2-6-2-5-1 .au (オーストラリア)

UDRP をモデルにした .au Dispute Resolution Policy (auDRP) に基づいて処理されており、手続きは WIPO を含む 4 つの紛争処理機関に委任している。UDRP は商標をベースにしているが、auDRP は人名等の申立者が権利を有する名称も保護の対象としている点が、UDRP と auDRP の違いの一つとして上げられる。また、不正の目的は、ドメイン名の登録時または使用時のどちらかにあれば auDRP の適用対象になるとされている。

2-6-2-5-2 .us (アメリカ合衆国)

USDRP がある。UDRP と異なる点としては、不正の目的はドメイン名の登録時または使用時のどちらかにあれば USDRP の適用対象になることが上げられる。USDRP に基づくドメイン名紛争は、American Arbitration Association (AAA) と NAF が扱っている。

¹¹⁸ The National Arbitration Forum の TDRP に関するページ

<http://domains.adrforum.com/main.aspx?itemID=282&hideBar=False&navID=265&news=26>

¹¹⁹ Asian Domain Name Dispute Resolution Centre

<http://www.adndrc.org/adndrc/index.html>

2-6-2-5-3 .kr (大韓民国)

.krドメイン名登録規則の12項において、Internet Address Dispute Resolution Policy (IDRP) に則りInternet Address Dispute Resolution Committee(IDRC)¹²⁰が.krのドメイン名紛争の申立を受理すると記されている。現在は、Korean Internet address Dispute Resolution Committee (KIDRC)という名称で.krの唯一の紛争処理機関であり、ADNDRCの事務所の1つとなっている。

2-6-2-5-4 .ch (スイス)

Rules of Procedure for Dispute Resolution Proceedings for .ch and .li Domain Names に則り、WIPO のみにより紛争処理が行われている。適用されるルールは調停がモデルになっているため、その手続はUDRPのものとは異なる。例えば、申立があるとまず電話により調停が行われる。調停が不成立や被申立人側が応じない場合等は、申立人側は判断を下すためのパネルの任命を求めることができる。また、申立人は、国家法上における知的財産権の法的侵害を受けたことを立証しなければならない。

2-6-2-5-5 .de (ドイツ)

登録契約上、紛争処理の制度を持たないため、当事者同士の和解が不可能な場合は国家法により裁判所で処理することになる。

2-6-2-5-6 .fr (フランス)

適用されるルールはUDRPをモデルにしており、WIPOが取り扱う。商標以外にもその他の知的財産権や諸権利を申立の根拠として認めており、また、不正の目的はドメイン名の登録時または使用時のどちらかにあれば適用対象と認められる。3人パネルを選択することができない。

なお、他の裁判外紛争処理手続きとして、秘密裏に行われ結果も公開されない CMAP (Centre for Mediation and Arbitration of Paris) による手続きや、無料で個人間もしくは個人対法人の調停を行う FDI (Internet Rights Forum) による手続きに依ることもできる。しかしながら、ドメイン名登録者はこれらの手続きへの参加を拒むことが可能であり、結果も強制力を持たない。

¹²⁰ <http://www.idrc.or.kr/eng/index.htm>

2-6-2-5-7 .nl (オランダ)

2003年1月より適用されていたルールは、仲裁がモデルになっていた。しかしながら、簡易・迅速・低費用を目指し、2008年2月28日以降はWIPOを紛争処理機関とする紛争処理方針を導入した。

2-6-2-5-8 .uk (イギリス)

UKDRPがある。UDRPをモデルとしているが、問題としているのは紛争にかかるドメイン名の登録が「abusive registration (他害的な登録)」であるか否かで、「bad faith」という用語を用いていない。これは、意味合いとしては「bad faith」に近いのかもしれないが、実際にどのように運用されているのかについては把握し切れていない。

その他、WIPO にドメイン名紛争を委任している ccTLD は以下の通りである。

表 19 WIPOがドメイン名紛争を扱うccTLD¹²¹

ccTLD	国名	ccTLD	国名
.ac	アセンション島	.md	モルドバ
.ae	アラブ首長国連邦	.me	モンテネグロ
.ag	アンティグア・バーブーダ	.mp	北マリアナ諸島
.am	アルメニア	.mw	マラウイ
.as	アメリカンサモア	.mx	メキシコ
.au	オーストラリア	.na	ナミビア
.bm	バーミューダ	.nl	オランダ
.bs	バハマ	.nr	ナウル
.bz	ベリーズ	.nu	ニウエ
.cc	ココス諸島	.pa	パナマ
.cd	コンゴ	.pe	ペルー
.ch	スイス	.ph	フィリピン
.co	コロンビア	.pk	パキスタン
.cy	キプロス	.pl	ポーランド
.dj	ジブチ	.pn	ピトケアン島
.ec	エクアドル	.pr	プエルトリコ
.es	スペイン	.re	レユニオン
.fj	フィジー	.ro	ルーマニア
.fr	フランス	.sc	セイシェル
.gt	グアテマラ	.sh	セントヘレナ島
.ie	アイルランド	.sl	シエラレオネ
.io	英領インド洋地域	.tk	トケラウ諸島
.ir	イラン	.tm	トルクメニスタン
.ki	キリバス	.tt	トリニダード・トバゴ
.la	ラオス	.tv	ツバル
.lc	セントルシア	.ug	ウガンダ
.li	リヒテンシュタイン	.ve	ベネズエラ
.ma	モロッコ	.ws	サモア

(以上 56ccTLD、2009 年 2 月中旬時点)

¹²¹ <http://www.wipo.int/amc/en/domains/cctld/>

2-6-3 JPドメイン名におけるドメイン名紛争

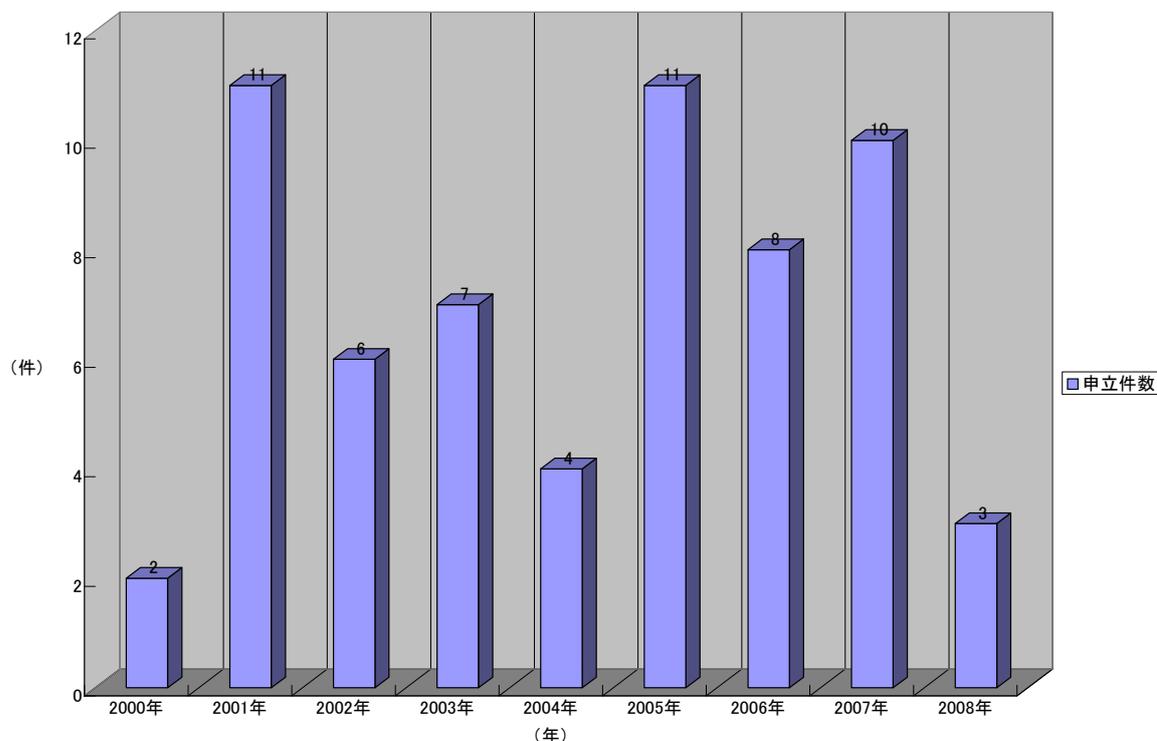
2-6-3-1 JPドメイン名におけるドメイン名紛争と 2008 年の概況

JP ドメイン名の紛争は、社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター（以下、「JPNIC」という）が策定した JP-DRP および JP-DRP 手続規則により処理されている。JP-DRP 及び JP-DRP 手続規則は、UDRP 及び UDRP Rules をモデルとし、2000 年 7 月 19 日に策定され、同年 10 月 10 日に施行された。

JP-DRP の紛争処理手続きは、JP-DRP 手続規則に基づき JPNIC の認定した紛争処理機関により行われる。2000 年 8 月、JPNIC は工業所有権仲裁センター（2001 年 4 月に、組織名を現在の「日本知的財産仲裁センター」に変更）と JP ドメイン名に係わる紛争処理業務を行うことについて協定書の締結を行い、同年 10 月の施行と共に同センターが第 1 号の認定紛争処理機関として JP ドメイン名に関する紛争処理業務を開始した。現在も唯一の認定紛争処理機関として、JP-DRP 及び JP-DRP 手続規則に基づくドメイン名紛争に関する手続きを行っている。

同センターにおけるこれまでの処理件数は、次のとおりである。

図 3 日本知的財産仲裁センターの処理件数



2005 年は過去最多の 11 件の申立があり、2006 年は減少した。なお、2005 年には、1 登録者に対して大手 ISP8 社が共同で申立を行った 8 件の事件（事件番号：JP2005-0003～JP2005-0010）が含まれていることに留意する必要がある。2007 年は 10 件の申立があり、増加傾向に転じたかに見えたが、2008 年は 3 件に留まった。

2-6-3-2 手数料

JP ドメイン名紛争処理手数料規則により以下のように定められている。

表 20 JP-DRP の手数料（税込）

申立にかかる ドメイン名の数	1 名パネル	3 名パネル
3 ドメインまで	¥189,000	¥378,000
4 ドメイン以上	1 ドメイン名につき、¥10,500 追加	1 ドメイン名につき、¥21,000 追加

UDRP に基づくドメイン名を処理する 3 紛争処理機関と比べて、金額設定にそれ程大きな開きはない。申立を取り下げる場合、センターがパネルを指名する前であれば、これらの手数料のうち¥31,500 を差し引いた額が、パネリスト指名後は、審理の進捗状況を勘案した金額を差し引いた額が払い戻される（同規則第 2 条）。

審問が発生する場合については、審問手数料¥15,750 を追加納付する（同規則第 3 条）。ただし、これまでに審問が行われたことはない。

2-6-3-3 JPドメイン名紛争処理方針のための手続規則の補則

JPドメイン名紛争処理手続を行う際の細則を定めた「JPドメイン名紛争処理方針のための手続規則の補則」は、日本知的財産仲裁センターのWebサイト内¹²²で確認することができる。

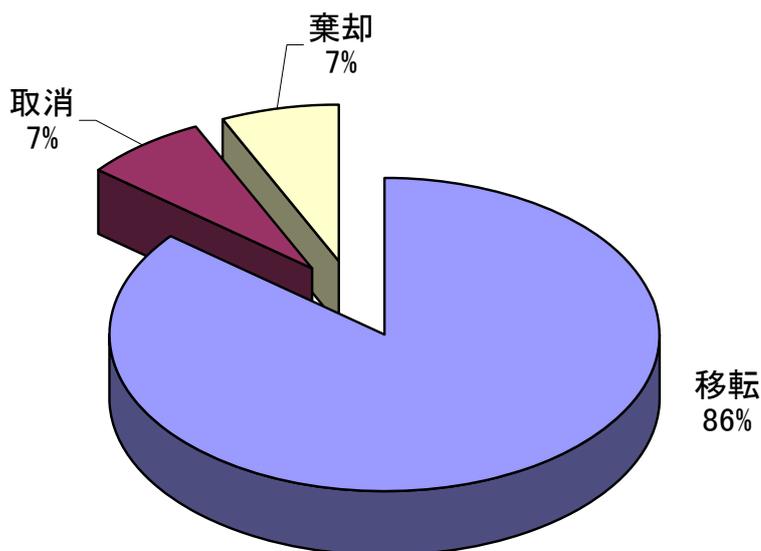
この中では、書類提出方法などの他、第 10 条にて申立書及び答弁書の字数制限の規定が設けられている（申立書のうち申立の理由は 1 万字以内、答弁書は全体で 1 万字以内にて作成されなければならない、とされている）。

¹²² 日本知的財産仲裁センターWeb サイト (<http://www.ip-adr.gr.jp/>) 内にて、次の階層を辿って確認できる。「D 業務の詳細」→「6. JP ドメイン名紛争処理」→「6. 8 JP ドメイン名紛争処理の規則等」

2-6-3-4 裁定結果の割合

これまでの裁定結果（移転/取消し/棄却）の割合は以下の通りとなっている¹²³。

図 4 JP-DRP における過去の裁定結果



裁定結果を件数で表すと、過去の裁定（61件）のうち、49件が移転を命じ、残りは4件が取消し、4件が棄却となっている。移転と取消の割合を足すと93%であり、圧倒的に申立人側に有利な裁定結果となる傾向があることが見て取れる。これまでに棄却されたのは、2004年の申立（事件番号：JP2004-0001、紛争にかかるドメイン名：enemagra.co.jp）、2006年の申立（事件番号：JP2006-006、紛争にかかるドメイン名：rabiton.co.jp）、2007年の申立（事件番号：JP2007-008、紛争にかかるドメイン名：firefox.jp）、2008年の申立（事件番号：JP2008-002、紛争にかかるドメイン名：alfaromeo.jp、alfaromeo.co.jp）の4件となっている。

¹²³ 取下げは、これまでに4件あったが、それらは含まれていない。また、2009年2月中旬までに裁定が実施された事件のみを含めている。

2007年には10件の申立があり、そのうち移転が命じられた裁定結果が9件、棄却が1件、という結果となっており、2007年も前述の過去の傾向と同様に申立人に対して有利な結果で終わっている。2008年については、申立そのものが3件のみで、そのうち移転が命じられた裁定結果が1件、棄却が1件、係属中が1件という状況であるため、状況の分析はし難い。

なお、かつては、UDRPの裁定に比してJP-DRPの裁定結果は圧倒的に申立人側に有利な結果となることが多かった。しかしながら、UDRPの認定紛争処理機関におけるここ数年の傾向を見ると、JP-DRPに基づく裁定の結果が突出して申立人側に有利であるとも言えない結果となっている。ただ、JP-DRPの場合は、申立件数そのものが多くはなく、1件の差が割合の計算に与える影響が大きいため、申立件数が伸びた場合に状況が変化する余地も残していると言える。

2-6-3-5 パネリスト

日本知的財産仲裁センターに登録され、JPドメイン名紛争の解決に取り組むパネリスト候補者の一覧および詳細は、同センターのWebサイト内¹²⁴で確認することができる。2009年2月中旬現在、35名が登録されており、構成は次の通りである。

弁護士	7名
弁理士	7名
弁護士および弁理士	14名
大学教員	1名
大学教員および弁護士	1名
大学教員および弁理士	1名
大学教員、弁護士および弁理士	1名
大学院教員	2名
大学院教員および弁護士	1名

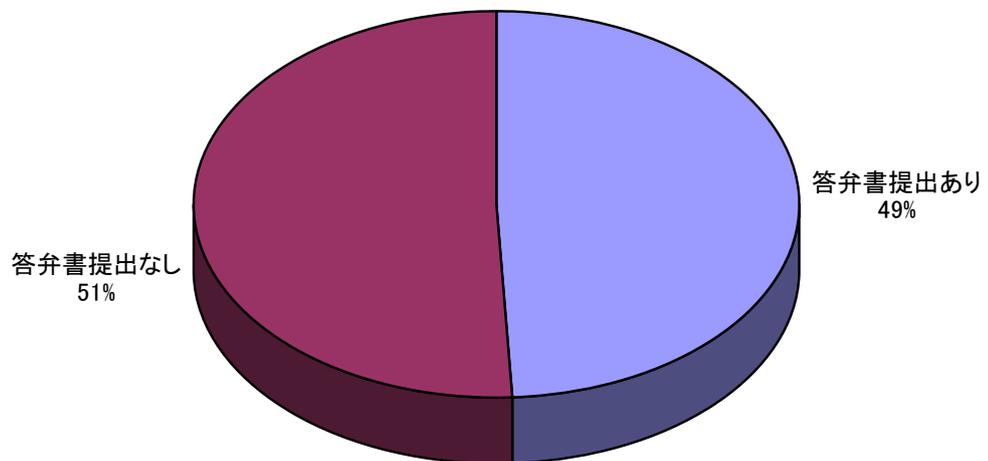
¹²⁴ 日本知的財産仲裁センターWebサイト (<http://www.ip-adr.gr.jp/>) 内にて、次の階層を辿って確認できる。「D業務の詳細」→「6. JPドメイン名紛争処理」→「6. 4 パネリスト」

2-6-3-6 答弁書提出割合

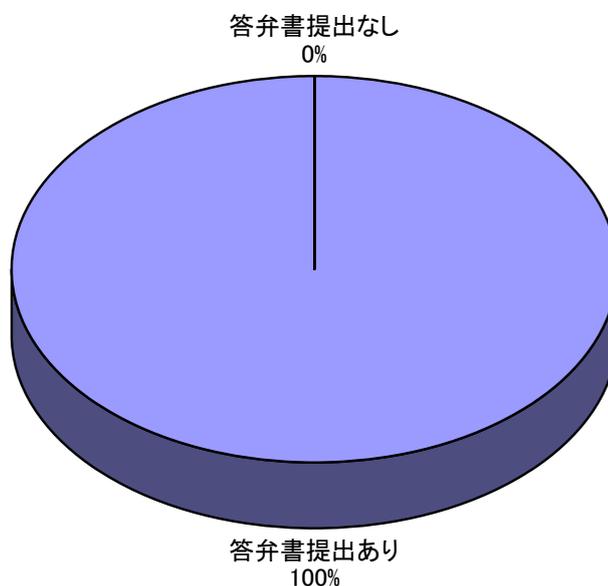
これまで行われた裁定の答弁書提出割合と、2008年（2009年2月中旬までに裁定が下されたもの）における答弁書提出割合は次の通りである。

図 5 JP-DRP における答弁書の提出割合

これまでの答弁書提出の割合



2008年における答弁書提出の割合



2008年の紛争処理手続3件のうち、2009年2月中旬時点で裁定結果が出ている2件については、いずれも答弁書が提出されている。なお、答弁書の提出がないケースは、単に提出期限までに提出されなかったものがほとんどであるが、中には、登録者が裁判所に申立を行ったため、当該ドメイン名に係わる内容を裁判手続以外でコメントすることを差し控えるため、などの理由によるものも数件含まれる。

2-6-3-7 JP-DRPの改訂

UDRP及びUDRP Rulesをモデルとして策定されたJP-DRP及びJP-DRP手続規則は、2000年10月に施行されて以降、8年余りが経過した。2007年までの間に数回の改訂があったものの、それらは実質的な変更を伴うものではなく、基本的には策定時の内容で運用されてきた。ところが、JP-DRP及びJP-DRP手続規則に基づき下されたこれまでの裁定結果を見てみると、規定類の改訂が行われなかったにも関わらず、策定時の理念とは乖離して運用されるケースも見られるようになってきた。

その問題は、2004年11月から2006年2月まで活動した「JP-DRP裁定例検討専門家チーム」における検討により強く認識されるようになった。この専門家チームでそれまでの裁定例を検討するきっかけとなったのは、JP-DRPとUDRPの勝敗率を比較した場合に、JP-DRPの方が圧倒的に申立者側に有利な裁定が下りている率が高いという事実であった。

JP-DRP は UDRP をモデルとしているため、判断基準などが UDRP に準ずるものであると想像できるわけだが、実際の状況は異なっていたことに疑問を感じたことに端を発する。

同専門家チームでは、JP-DRP と UDRP との裁定結果の違いを生み出す理由、つまり JP-DRP の裁定が申立人側に有利となる理由を探るために過去の裁定例の検討を行ったわけだが、その結果として、JP-DRP には策定当初に意図していた内容とは異なって理解される余地を含んでいることに気付くに至ったのである。

そこで、策定当初に意図していた内容とは異なって理解される余地があるという問題に対応すべく、JPNIC では 2006 年 8 月に DRP 検討委員会を設立し、JP-DRP 及び JP-DRP 手続規則の在り方について検討を行うこととなった。

では、JP-DRP 及び JP-DRP 手続規則「策定時の理念」とは何であるのか。それは、JP-DRP 及び JP-DRP 手続規則が手本とした UDRP 及び UDRP Rules の流れを汲んでいる。

そもそも、UDRP 及び UDRP Rules は、なぜ策定されたのだろうか。1999 年 10 月に ICANN において UDRP 及び UDRP Rules が策定された背景には、インターネットの飛躍的な発展・普及に伴うドメイン名の役割の変化が影響している。ドメイン名は本来、インターネット上のいわば住所を表す識別子としての機能を持つに過ぎなかった。ところが、商取引においてインターネットが利用されるようになるにつれて、ドメイン名は識別子としての機能のみならず、商業的な価値を有すると見なされるようになり、gTLD の利用においてドメイン名と商標を巡る紛争が国際的な問題に発展するケースが見られるようになった。

ドメイン名紛争が起こる理由の 1 つとして、ドメイン名登録の原則の悪用が挙げられる。ドメイン名を登録する行為そのものには、法的な権利が付随することはない。ドメイン名の登録には、登録を希望するドメイン名が未登録であれば誰でもが先着順に登録することができる「先願主義」が採られており、この原則が悪用されるのである。他人の商標等と同一または類似したドメイン名を登録し、サイバースクワッティングと呼ばれる不正な行為（商標権者に不当に高い額で転売を持ちかけたり、商標権者等を中傷するようなウェブサイトのドメイン名として使用する等）が頻繁に発生するようになった。

紛争処理手続には、既存の裁判や仲裁といった手段もあったが、それらはドメイン名紛争の解決手段としては煩雑で時間と費用が膨大にかかるなどの問題があり、使い勝手が良いとは言えなかった。そこで、低費用・短期間・簡易な手続きで対応できるようにするために、UDRP 及び UDRP Rules が策定されたのである。日々、膨大な数のドメイン名が登録されるため、個々の登録について詳細な審査を行うことは現実的ではない。そのため、あ

くまでもドメイン名の登録は先願主義とした上で、不正の目的によるドメイン名の登録・使用のみを対象として、移転もしくは取消の申立を行える仕組みとしたのが UDRP 及び UDRP Rules である。この特徴は、「ミニマル・アプローチ」と呼ばれており、JP-DRP 及び JP-DRP 手続規則の特徴でもある。

つまり、今回の改訂では、策定時からの理念であるミニマル・アプローチを追求すべく、策定当初に意図していた内容とは異なって理解される部分の見直しを行い、当事者・パネルともに判断に迷う部分を最小にしようと試みたのである。

2006 年度 DRP 検討委員会を設立して以降、以下のスケジュールで改訂が行われ、改訂 JP-DRP は、2007 年 6 月 1 日に実施された。

2006 年 8 月	2006 年度 DRP 検討委員会を設立
	2007 年 1 月まで、7 回の会議を開催し改訂案を検討
2007 年 1 月 23 日	JP-DRP 改訂案を公開
	JPNIC のウェブサイト上にて、意見募集開始 ¹²⁵
2007 年 2 月 19 日	意見募集締め切り
2007 年 2 月 21 日	DRP 検討委員会にて JP-DRP 最終改訂案を作成
2007 年 3 月 9 日	JPNIC 理事会にて JP-DRP 最終改訂案を承認
2007 年 6 月 1 日	改訂 JP-DRP 実施

2007 年度も引き続き DRP 検討委員会が設立され、2006 年度の JP-DRP 及び JP-DRP 手続規則の改訂案検討の経験を踏まえて、JP-DRP への理解促進を図るための方策が検討されてきた。特に、改訂版 JP-DRP をより理解してもらうための解説の作成に注力し、2008 年 3 月には答申と共に JPNIC 理事会に提出されている。パネリストや法曹関係者といった法律の専門家だけではなく、JP ドメイン名紛争処理の当事者ともなり得るエンドユーザが読み手になることを意識した内容構成になっており、JP-DRP 改訂の目的がより一層実現されるツールとなっている。

¹²⁵ 「JP ドメイン名紛争処理方針等改訂案」に対するご意見募集のお知らせ
<http://www.nic.ad.jp/ja/pressrelease/2007/20070123-01.html>

3 国際化ドメイン名の導入及び実装に関する
取り組み状況

3 国際化ドメイン名の導入及び実装に関する取り組み状況

3-1 国際化ドメイン名(IDN)とは

国際化ドメイン名とは、従来は英数字とハイフン（いわゆる 7bit ASCII）という限られた文字しか使えなかったドメイン名に、漢字やひらがな、カタカナといった日本語や、中国語、ハングル文字、アラビア文字などといったマルチバイト文字を利用できるように国際化拡張するための技術のことを指す。また、これらのマルチバイト文字を使ったドメイン名そのものことも国際化ドメイン名と呼ぶ。この国際化ドメイン名を導入することによって、ドメイン名のラベルに使用できる文字の種類が従来と比べて飛躍的に増加することになった。

また、国際化ドメイン名のメリットとしては、ドメイン名に利用できる文字が増えたというだけではなく、ドメイン名に各国の言語や文化を反映したものを利用できるようになるという点が挙げられる。特に西欧圏以外の国においては、日常生活においてアルファベットと全く接点が無いというユーザも存在し、そのようなユーザにとっては従来の ASCII 文字のみからなるドメイン名は決して馴染みやすいものではなかった。しかし、国際化ドメイン名であればこのようなユーザにとってより馴染みやすいドメイン名を利用することができる。また、国際化ドメイン名の技術自体も、様々な文字セットや様々な表記法（アラビア文字のように右から筆記する言語など）に対応できるように設計されている。

なお、かつては多言語ドメイン名という呼び方もされていたが、複数の言語を使えることにするというよりも、これまでシングルバイトの ASCII しか利用できなかった DNS 上で、マルチバイトのドメイン名を扱えるように拡張することが目的であり、そういう意味では複数の言語などで利用できるようにするためにローカライズすることを指すことが多い多言語化(m17n: Multilingualization)よりも、国際化(i18n: Internationalization)という表現の方が正確であり、現在では国際化ドメイン名と呼ぶ方が一般的である。また、特定の言語を用いて登録されたドメイン名を「〇〇ドメイン名」と呼ぶこともあり、例としては「日本語ドメイン名」や「中国語ドメイン名」などが挙げられる。

3-2 国際化ドメイン名導入のための前提とその仕組み

まず、国際化ドメイン名の実現において大きなウェイトを占めている技術標準について簡単に説明する。

国際化ドメイン名を実現するための方法およびそのために必要となる個々の技術は、IETFにおいて標準化が進められ、2003年3月7日、それぞれRFCとして発行された。それらRFCの内訳は、国際化ドメイン名全体の枠組みを規定するIDNA (RFC3490)、国際化ドメイン名における文字列の正規化のための方法としてのNAMEPREP (RFC3491)、入力された国際化ドメイン名をASCII文字列にエンコードするための技術としてのPunycode (RFC3492)である。国際化ドメイン名に関連した技術が標準化されるまでは、少数のレジストリが試験的なサービスとして提供するのみであったが、これらのRFCの発行により、各レジストリが国際化ドメイン名を本格的に導入することが可能となった。なお、STRINGPREP(RFC3454)を国際化ドメイン名関連の技術標準のひとつに数えることもあるが、STRINGPREPはUnicode文字列を扱う際に、文字コードとしては異なる文字だがインターネットのプロトコルにおいては同じ文字として扱いたい文字を同一のものとして扱うための技術標準であり、国際化ドメイン名の実現には必要不可欠ではあるものの、国際化ドメイン名の技術標準ではないため、ここでは技術標準として含めていない。ただし、NAMEPREPを実現するためには必要不可欠な技術であり、国際化ドメイン名で重要な意味を持つ「文字列の正規化」を理解するためにはSTRINGPREPを理解することも必要であるため、後述の解説ではSTRINGPREPも併せて解説している。

これらの技術をRFCとして標準化する際には、既存のインターネット空間、特にDNS名前空間に大きな影響を与えないことが何よりも重視された。もし、国際化ドメイン名の実現に必要な技術が、既存のインターネット空間に大きな変更を伴うものであっては、導入に際して無用な混乱や、最悪の場合、DNSによる名前解決が不可能になるなどといった事故を引き起こし、現在無事に動いているインターネットの仕組みを壊してしまう可能性が出てきてしまう。これではレジストリ、ユーザともに導入には慎重にならざるをえず、国際化ドメイン名普及の妨げとなってしまう。したがって、国際化ドメイン名関連技術の標準化作業を行う際には、既存の枠組みへの影響を最小限に抑えることが重要な課題とされた。

このような目標を達成するために、国際化ドメイン名を実現するための具体的な仕組みとして、ネームサーバ側でマルチバイトの国際化ドメイン名を直接扱うのではなく、ユーザ側のアプリケーションにおいて、その国際化ドメイン名を一定の法則に従って従来同様の英数字のみから成るドメイン名に変換するという方法が採用された。ネームサーバとの通

信には、これまで通り 7bit ASCII だけで構成される文字列を用い、国際化ドメイン名から 7bit ASCII への変換は各アプリケーションに任せることとした。こうすることによって、既存のネームサーバソフトウェアに変更を加える必要はなくなり、またネームサーバから見た場合、扱うドメイン名は従来通りの 7bit ASCII の文字列として扱うことができ、既存のドメイン名空間に影響を与える影響は最小限で済む。この技術は、ACE (ASCII Compatible Encoding) と呼ばれる。

この ACE という技術の導入によって、既存の DNS プロトコルと互換性を持たせたまま、国際化ドメイン名を実現することが可能となった。このため、TLD のネームサーバを管理するレジストリにおける実装、また、個々のドメイン名のネームサーバにおける実装は、純粹に技術的な観点から見れば、大雑把な言い方をすれば各レコードの情報量が若干増える程度であり、それほど困難なものではないと言える。

一方、各アプリケーションにドメイン名の変換をまかせる実装を採用したことによって、サーバ側への問題は比較的少なく抑えることが出来た一方、技術的な観点から見た場合の課題がユーザ環境に多く発生することとなった。ACE を用いることによって、ユーザ側のアプリケーションに国際化ドメイン名対応の仕組みを加えるだけで、国際化ドメイン名が利用できるよくなるると同時に、そのような方式の導入は、各アプリケーション・ベンダーが実装を行わない限り、ユーザが国際化ドメイン名を利用できるようにはならないことを意味することとなった。国際化ドメイン名に関する技術標準化が完了した時点で、技術的には実用化された技術となったわけだが、実際にユーザが一般的に使うようになり、真に「使える技術」となるためには、各アプリケーションへの実装がより一層進んでいくことが大変重要であると言える。

3-3 国際化ドメイン名の技術標準

次に、国際化ドメイン名の技術標準について、それぞれの概要を説明する。

国際化ドメイン名は次の三つの技術標準によって実現されている。また、先に述べた通り、厳密には国際化ドメイン名の技術標準とは言えないが、国際化ドメイン名に深く関わる技術標準であるため、STRINGPREP についても併せて取り上げる。それら技術標準の標準の概要は次のとおりである。

(1) IDNA (RFC3490) ¹²⁶

国際化ドメイン名を使って通信を行う際には、ASCII 文字列からなるドメイン名に変換を行った上で通信が行われることになるが、この変換の際に使われる技術と処理手順を規定しているものが IDNA(Internationalizing Domain Name in Application)と呼ばれる技術である。

この IDNA では、ユーザ側のアプリケーションで国際化ドメイン名の解釈を行うことや、入力された文字列を NAMEPREP という仕組みで正規化すること、既存の DNS との互換性を保つために国際化ドメイン名を Punycode と呼ばれるアルゴリズムで ASCII 文字列に変換することなどが定められている。

国際化ドメイン名を利用する際には、各アプリケーションはこの IDNA に従って国際化ドメイン名をネットワークに送出することになる。

(2) NAMEPREP (RFC3491) ¹²⁷

STRINGPREP (RFC3454) を国際化ドメイン名に対して適用するため、その具体的な方法を規定したものが NAMEPREP である。

文字列の文字種や互換文字の統一、ラベル区切り文字の変換などが行われる。具体的な例を挙げると、たとえば日本語の場合は、アルファベットの大文字・小文字は全

¹²⁶ RFC3490

<http://www.ietf.org/rfc/rfc3490.txt> (原文)

<http://www.jdna.jp/survey/rfc/rfc3490j.html> (日本語訳)

¹²⁷ RFC3491

<http://www.ietf.org/rfc/rfc3491.txt> (原文)

<http://www.jdna.jp/survey/rfc/rfc3491j.html> (日本語訳)

て小文字に、全角英数字は半角に、半角カナは全角カナに統一される。また、全角の「。」や句点「。」は半角の「.」に変換されるなど、文字の正規化が行われる。

(3) STRINGPREP (RFC3454) ¹²⁸

国際化ドメイン名で使用される **Unicode** という規格ではアクセント記号などは他の文字と組み合わせて合成することになっているが、よく使われるものについては最初から合成済みの文字も定義されており、その場合は同じ文字を表すのに二つの方法(文字コード) が存在することになる。また、他の文字セットとの互換性のために一つの文字に複数の文字コードが割り当てられていることもある。

このように、表示上は同じ文字であってもコンピュータの内部では異なる文字コードとなっていることがありえるわけだが、インターネットのプロトコルにおいてそれら文字列が識別子として利用される場合には、そのような文字を同一のものとして扱えないと混乱が生じてしまうことになる。

このような、「文字コードとしては異なる文字だがインターネットのプロトコルにおいては同じ文字として扱いたい文字」について、あらかじめ設定しておいた基準に従って標準形へと変換(文字列の正規化) するための枠組みを規定したものが **STRINGPREP** である。

(4) Punycode (RFC3492) ¹²⁹

国際化ドメイン名で使用される **Unicode** による文字列を、**ASCII** 文字のみからなる文字列に変換するためのアルゴリズムを **Punycode** と呼ぶ。

国際化ドメイン名の検討段階では、**ACE (ASCII Compatible Encoding)** 変換のための方式の一つである **RACE (Row-based ACE)** と呼ばれるアルゴリズムが利用されていたが、**RACE** よりも優れた方式として **AMC-ACE-Z (Adam M Costello 氏が考案した 26 番目の変換方式の意)** と呼ばれる方式が提案され、標準として採用されることになった。その後、この **AMC-ACE-Z** は考案者により **Punycode** と名付けられた。

国際化ドメイン名を表すプレフィックスとして、**RACE** では「bq-」(例：日本語ドメイン

¹²⁸ RFC3454

<http://www.ietf.org/rfc/rfc3454.txt> (原文)

<http://www.jdna.jp/survey/rfc/rfc3454j.html> (日本語訳)

¹²⁹ RFC3492

<http://www.ietf.org/rfc/rfc3492.txt> (原文)

<http://www.jdna.jp/survey/rfc/rfc3492j.html> (日本語訳)

名 EXAMPLE.com/bq--3bs6kzzmrkpdbsjq4eykimhtkqgqaziapaagcadnabyaa3aamu.com) が使われていたが、Punycode では「xn--」(例: 日本語ドメイン名 EXAMPLE.com/xn--example-6q4fyliikhk162btq3b2zd4y2o.com) が国際化ドメイン名を表すプレフィックスとして規定されている。

なお、国際化ドメイン名の技術標準では無いが、非常に関係の深いURIの国際化に関連した技術標準として、RFC3986¹³⁰とRFC3987¹³¹があり、特にRFC3987が国際化ドメイン名との関連が深いRFCである。このRFCではIRI (Internationalized URI) が規定されており、URIに日本語などのマルチバイト文字を利用するための技術標準が定められている。

また、メールアドレスの国際化についても検討が進められており、ローカルパートの国際化に向けてIETFなどで標準化策定に向けて議論が続けられている。このローカルパートの国際化に関するRFCとしては、現在のところRFC4952¹³²が発行されている。

¹³⁰ RFC3986

<http://www.ietf.org/rfc/rfc3986.txt>

¹³¹ RFC3987

<http://www.ietf.org/rfc/rfc3987.txt>

¹³² RFC4952

<http://www.ietf.org/rfc/rfc4952.txt>

3-4 国際化ドメイン名における言語問題

IETFにおける国際化ドメイン名の標準化作業が進められた結果、2003年3月7日にIDNA (RFC3490)、NAMEPREP (RFC3491)、Punycode (RFC3492) の計三つの RFC が発行され、国際化ドメイン名の利用開始に必要な条件は、技術的には全て整ったことになった。

とはいえ、上記三つの RFC は、「文字」が持つ性質にのみ基づいた技術標準であり、「言語」の概念に対する配慮はなされていない。(ドメイン名は本来「言語」の概念を含まない「識別子」として設計されている。) これは技術標準としての性格から当然といえば当然ではあるのだが、実際に国際化ドメイン名の運用を行うにあたってはこれだけでは問題が発生してしまう可能性がある。これは、現在ではユーザがドメイン名の文字列自体に意味を見出しつつあることに加え、従来の ASCII 文字列のみからなるドメイン名に対して国際化ドメイン名が強く持つ、言語的・文化的側面が大きく影響している。

例を挙げると、言語の中には等価または等価に近い意味を持つ文字が存在する場合があります、このような中で国際化ドメイン名の登録に特段の制約も設けない場合には、サイバースクワッティング、あるいは、誤解や混乱を招くような文字の組み合わせで登録がなされるとの懸念がある。

特に、中国、台湾においては、繁体字 (e.g. 國) と簡体字 (e.g. 国) の問題があり、どの文字とどの文字を等価とすべきかについても、国際化ドメイン名の技術標準策定の際に大いに議論となった。また、ccTLD と異なり「国」との関連性を持たない gTLD においても、「言語」概念をどのように扱うべきかについても大きな問題となっていた。

これらの問題の解決については技術標準に頼るべきではない(技術標準に言語や文化に基づいた問題を持ち込むべきではない。技術標準は純粹に技術的要件についてのみ規定すべき。) という考えが強く、上記のような問題は、技術標準に関する議論に含めるべきではなく、技術標準とは別の形で解決を図る方が望ましいという結論になった。その解決策として示されたのが IDN-admin ガイドラインおよび ICANN ガイドラインである。この IDN-admin ガイドラインの内容については後述するので、ここでは詳細には触れないこととする。

3-5 各国の導入状況

本項では gTLD、ccTLD の順に、各 TLD における国際化ドメイン名の導入状況について説明する。

まず各レジストリへの国際化ドメイン名への対応を見ると、対応 TLD 数の増加という点では 2006 年度の調査時点までは急速に増加していたものの、それ以降はそれほどの増加を見せておらず、今年度の調査においてもその傾向に特に変化は無い。これは国際化ドメイン名の導入に積極的な TLD については既にレジストラがほぼ対応を終えているからだとも考えてもよいのではないだろうか。

しかしながら、本年の調査より新たに国際化ドメイン名に対応した TLD もあり、やはり国際化ドメイン名の普及は着実に進んでいると言える。特に対応する言語が増えていない TLD においても、これまで追加されていなかった IANA への言語テーブルの追加が、新たに行われた TLD もある。また、従来はヨーロッパ系言語の登録を受け付けている TLD においては、それぞれの言語について個別の言語テーブルを IANA に登録している TLD が全てであったが、今年度の調査では、そのような方式ではなく、ラテン文字やキリル文字など、使用可能な言語ではなく使用可能な文字という括りで登録している TLD が出てきたのも新たな特徴である。

国際化ドメイン名への対応方法には、大きく分けて二つの傾向があり、Unicode を元にしてその国や地域の言語に関係無くほぼ全ての文字を登録可能とするレジストリと、ウムラウトなどに代表されるようなその国や地域などで使用されている言語独特の文字を追加的に利用可能としているレジストリに大別できるが、今回の調査によって新たに国際化ドメイン名への対応が判明した TLD は全て後者であった。これは 2006 年度以降の調査結果と同様である。

これはやはり、国際化ドメイン名の導入がより進んできたことにより、国際化ドメイン名が、単に「どんな文字でも登録できるサービス」ではなく、「その国・地域の文化的・言語的背景を反映した文字列が利用できるサービス」として考えられている傾向が、ますます強まってきていると考えてよいのではないだろうか。

また、今回の調査でも、少しずつではあるが、中東圏で国際化ドメイン名のテストが開始されたことが確認できた。全体の傾向としては、昨年度までと同様にヨーロッパ系の言語を中心にサービスが展開されてきた国際化ドメイン名ではあるが、それ以外の言語圏についても、国際化ドメイン名のサービスが着実に広がりを見せてきており、この傾向は国際

化ドメイン名導入の目的の一つでもある、地域ごとの言語や文化を反映した文字列を登録できるという特徴から考えても、ごく当然の流れだと思われる。

また、ユーザへの情報提供の一環として、国際化ドメイン名で使用する言語テーブルをIANAに登録することがレジストリの義務として掲げられているが、この言語テーブルの登録に関しても、徐々にではあるが各レジストリによるIANAへの言語テーブルの登録が進んでいる。

3-5-1 .com/.net (VeriSign, Inc) の導入状況

昨年度の調査以降、.com/.netにおける国際化ドメイン名関連の大きな動きは特にない。

ただし、.com/.netは.jpと並び、最も早くから国際化ドメイン名の登録サービスが提供されたTLDのひとつである。したがって、導入に際してはテストベッドの下での試行錯誤が行われるなど、他のTLDとは若干異なる経緯をたどっている。以下で、その導入の状況について説明する。

VeriSign, Incは、2000年11月、テストベッドという位置付けにて.com/.net/.orgの国際化ドメイン名の登録を開始した(その後、.orgの国際化ドメイン名は、.orgレジストリのPIR移管に伴い、VeriSign, Incの管理下ではなくなる)。このテストベッドの第一目的は、IETFにおける国際化ドメイン名の標準化作業への貢献とされたが、登録料は通常どおりに課金された。なお、IETFにおける標準化作業が当初の予想よりも長引いたこともあり、登録された国際化ドメイン名のその後の更新料請求は、数度にわたって延期された。

テストベッドは三つのフェーズに分けて進められた。第1フェーズは「レジストラの準備期間」である。国際化ドメイン名を扱うレジストラは別途そのための認可をVeriSign, Incから受けなければならず、運用のためのテストを受けた後、認可されるという手続きがとられた。(2007年2月現在、VeriSign, Incの下で国際化ドメイン名を取り扱うレジストラの数は58社であり、昨年調査時の62社¹³³からは微減となっている)。第2フェーズは「国際化ドメイン名の登録」である。これは文字どおり国際化ドメイン名の登録であるが、その一方でDNSのゾーンファイルへの設定はまだされないという段階である。登録されたドメイン名は「Registry Hold」というステータスとなり、他の人が登録できないものとの位

¹³³ VeriSign, Inc Find IDN Registrars

http://www.verisign.com/information-services/naming-services/internationalized-domain-names/page_001397.html

置付けがなされた。第 3 フェーズは「国際化ドメイン名の名前解決」である。これは、登録された国際化ドメイン名をDNSゾーンファイルに設定し、実利用できる状態に置くということを意味するが、既存のインターネットの名前空間への影響を考慮し、<国際化ドメイン名>.mltbd.com という形で第 3 レベルに登録された文字列（国際化ドメイン名）を置くという措置がとられた。

第 3 フェーズに入った後、VeriSign, Inc は国際化ドメイン名を促進するために、二つの対策をとっている。

(1) i-Nav プラグイン

国際化ドメイン名は、レジストリ側が対応しても、エンドユーザのクライアント側（各種のアプリケーションソフトウェア）が対応しなければ利用することができない。国際化ドメイン名の標準化が定まらない段階においては、アプリケーション・ベンダーが対応する可能性も小さく、この状態では、国際化ドメイン名を登録し、DNS のゾーンファイルに設定したとしても実際には使えないものとなってしまう。VeriSign, Inc はこの状況に対して、自ら「i-Nav」というプラグインを開発。利用できる環境は一部に限定されているものの、そのプラグインをブラウザ（Windows 98, ME, NT, 2000, XP 環境下の Internet Explorer 5.0, 5.5, 6.0）にインストールすることにより、アドレスバーへの国際化ドメイン名の入力、目的の Web サイトにアクセスできる環境づくりを実現した。また、同プラグインを利用することで、Outlook, Outlook Express を使って国際化ドメイン名を使ったメールアドレスにメール送信ができるという環境も実現した。

なお、Internet Explorer 7 のリリースにより、今後は i-Nav プラグインを必要としないユーザが増えてくると思われるが、一方で Windows Vista および XP 以外の Windows OS には現在のところ Internet Explorer 7 はリリースされない予定であるため、そのような OS を使っているユーザにとっては、i-Nav を利用する状況はしばらくは続くものと思われる。ただし、各 OS に対するサポート期間の終了や、Windows Update 等の自動更新での Internet Explorer 7 の配布などが始まっていることから、i-Nav を必要とするユーザは、徐々に減っていくことが予想される。

(2) Web Based Navigation

VeriSign, Inc は 2003 年 1 月より .com/.net を対象に Web Based Navigation というサービスを開始した。これは、国際化ドメイン名に対応していないブラウザから <国際化ドメイン名>.com、<国際化ドメイン名>.net へのアクセスがあった場合、DNS を管理するレジス

トリ側でそれを感知し、そのアクセスユーザに対して、国際化ドメイン名対応環境 (i-Nav プラグイン) を案内する Web ページを表示するというものである。

その後、国際化ドメイン名は、2003年2月に、3つの RFC の発行によって標準化作業が完了したが、先に述べた言語問題があるため、レジストリは、技術標準への準拠とは別に ICANN ガイドラインへの対応が迫られることとなった。

これに対して VeriSign, Inc は、その対応作業を進め、2003年10月13日、ICANN に対して、対応方針を伝えると共に国際化ドメイン名の正式サービス開始の認可を求めるレターを送った。この結果、ICANN は2003年12月に VeriSign, Inc を認可。VeriSign, Inc は、12月13日より RACE から Punycode への移行作業を開始した。2004年4月23日には従来の RACE でのドメイン名の登録受付を終了、Punycode でのみ登録を受け付けるようになった。

一方、VeriSign, Inc が運用するネームサーバの応答に関しては、Punycode への移行開始と共に、Punycode による名前解決の要求に応答するように変更が加えられたが、RACE による名前解決要求にも応答するように並行した運用が行われており、移行作業が完了してからかなり経つと見られる現時点においても、一部のドメイン名に関しては RACE での名前解決がまだ可能な状態となっている。

なお、ICANN が定めるガイドラインへの対応についてであるが、2003年10月13日に国際化ドメイン名の登録をユーザに提供するための承認要請を ICANN に提出したものの、ICANN からは2009年2月時点においても承認は下りておらず、そのため IANA のデータベースにも .com および .net の言語テーブルは登録されていない状況である。

3-5-2 .org (Public Interest Registry) の導入状況

2006年度の調査までは大幅に対応言語を増やしていた .org だが、昨年の調査に引き続き、今回の調査においても .org の国際化ドメイン名を巡る状況に大きな変化はなかった。

このように現在でこそ落ち着いた動きを見せているが、.org の登録者は国際化ドメイン名導入当初、激しい混乱に見舞われた。以下でその状況について説明する。

.org は、国際化ドメイン名の導入当初はまだ VeriSign, Inc が登録管理業務を行っており、そのような状況から .com/.net と同様の状況であった。しかし、.org の登録管理業務が PIR

に移管されたことから、その後は.com/.net とは異なる展開を辿ることとなった。

2003年1月の VeriSign, Inc から PIR への登録管理業務の移管後、.org の国際化ドメイン名は新規の登録受付および既存の登録ドメイン名の変更が一切できない状態とされていた。

その後、2003年12月、レジストラに対して、既存の国際化ドメイン名を一切廃止し、今後その登録はしない旨のアナウンスが突然出されるという事態が発生したが、レジストラ等の強い反対により、その方針が覆されるという状況になっている。

このように紆余曲折のあった.org の国際化ドメイン名だが、2005年1月18日付のプレスリリースでドイツ語文字のウムラウト(“a” “o” および “u” の変音文字)を使用した国際化ドメイン名の登録を開始したと発表した。PIR では、さらに対応言語を増やし、現在では、ドイツ語、デンマーク語、ハンガリー語、アイスランド語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、ポーランド語、スウェーデン語、スペイン語を使用した国際化ドメイン名の登録を受け付けている。なお、これらの言語のうち、IANA に言語テーブルが登録されているのは、デンマーク語、ハンガリー語、リトアニア後、ラトビア語、スウェーデン語のみとなっている。

3-5-3 .info (Afilias) の導入状況

昨年度の調査以降、.info における国際化ドメイン名関連の大きな動きは無い。以下で.info への国際化ドメイン名の導入状況について説明する。

2004年3月16日、.info を管理している Afilias 社は、ドイツ語文字のウムラウト(“a” “o” および “u” の変音文字)を使用したドメイン名の登録を開始、翌日3月17日13:00(協定世界時)の時点で、13,000件を超えるドイツ語文字を使用したドメイン名が登録されたことが発表された。

なお、3月16日から4月14日の間に登録されたドメイン名については、紛争の発生に備え、レジストリによりロック状態に置かれた。紛争が発生しなかったドメイン名については、その後ロック状態が解除され通常の使用が可能になるという仕組みである。また、4月14日以降に登録されたドメイン名については、ロックされることなく通常の登録が行われた。

その後、2006年10月に、ポーランド語、スウェーデン語、デンマーク語、ハンガリー語、

アイスランド語、ラトビア語、リトアニア語、韓国語の登録受け付けが開始され、現在に至っている。

ただし、現在のところ IANA に登録されている言語テーブルはドイツ語のみとなっている。

3-5-4 .museum (MuseDoma) の導入状況

.museum は国際化ドメイン名の導入に積極的なレジストリであり、2006 年度の調査まではかなりの勢いで対応言語を増やしていたが、昨年度の調査では特に新しい動きはなかった。ただし、今年度の調査では再び登録可能な言語が大幅に増えており、昨年度の調査時点で対応予定とされていた、アラビア語、中国語、日本語、韓国語、キリル文字、ギリシャ文字、ヘブライ文字などが利用可能となった。

これまでの経緯であるが、.museum を管理している Museum Domain Management Association (MuseDoma) は、2004 年 1 月 22 日、国際化ドメイン名の登録を開始したと発表した。

当初対応するのは、一部のヨーロッパ系言語（デンマーク語、ノルウェー語、スウェーデン語）のみだが、MuseDoma では、グローバルコミュニティのニーズにこたえるため、できるだけ早急に対応する文字を拡大する姿勢を見せていて、2007 年度の調査時点ではドイツ語、フランス語、ポーランド語、スペイン語など、計 25 の言語をサポートする状況となっていた。

現在では、MuseDoma の Web サイトでは登録可能な言語ではなく、利用可能な文字という紹介をしており、ラテン文字、ヘブライ文字、アラビア文字、漢字、キリル文字、ギリシャ文字が挙げられている。

なお、IANA への言語テーブルの登録であるが、2006 年度の調査時点ではデンマーク語、アイスランド語、ノルウェー語の三つが登録されていたが、その後、昨年調査時点でスウェーデン語が削除され、現在では「〇〇語」という形ではなく、「ラテン文字」として登録されている。

3-5-5 .biz (NeuLevel) の導入状況

.biz の導入状況だが、昨年度の調査以降、国際化ドメイン名関連の大きな動きは無い。以下、.biz のこれまでの状況について説明する。

.biz を管理している NeuLevel,Inc.は、ドイツ語文字のウムラウト（“a” “o” および “u” の変音文字）を使用した国際化ドメイン名の登録を 2004 年 10 月 12 日より開始した。.museum、.info に続き、ICANN の定めるガイドラインに沿った形での国際化ドメイン名が導入される gTLD としては、この.biz が 3 番目の TLD となった。その後、登録可能な文字の追加が次々に行われた。2007 年には大幅に文字の追加が行われ、まず 4 月には従来のドイツ語、デンマーク語、アイスランド語、ノルウェー語、スペイン語、スウェーデン語の六つの言語に加え、中国語と日本語が登録可能となった。続いて、8 月には韓国語の登録受け付けが開始された。また、2008 年 1 月からは、フィンランド語、ハンガリー語、ラトビア語、リトアニア語、ポーランド語、ポルトガル語の文字が登録可能となっている。

当初、IANA には言語テーブルとしてドイツ語のみが登録されていたが、現在ではそれに加えデンマーク語、スペイン語、フィンランド語、ハンガリー語、アイスランド語、日本語、韓国語、リトアニア語、ラトビア語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、スウェーデン語、中国語が登録されている。フィンランド語、ハンガリー語、リトアニア語、ラトビア語、ポーランド語、ポルトガル語の六つは、この 1 年間で新たに登録された言語である。

3-5-6 .cat (Fundacio puntCat) の導入状況

.cat の導入状況だが、昨年度の調査以降大きな動きはない。

.cat は新しく承認された gTLD であり、言語および文化的特徴の強い gTLD である。

.cat はカタロニアの言語／文化用のドメイン名との位置付けから、.cat を管理している Fundacio puntCat では、カタロニア語でのドメイン名登録をサポートしている。

2006 年の調査で国際化ドメイン名への対応を予定していることが新しく判明したものの、その時点においては特に具体的な動きは判明していなかった。その後、2007 年度の調査で

11 のカタロニア文字のサポートが開始されていることが判明した¹³⁴。ただし、具体的な登録開始時期は不明である。

IANA への言語テーブルの登録については、本年度の調査でカタロニア語の言語テーブルが登録されていることが判明した。

3-5-7 .jp（日本）（JPRS）の導入状況

.jp については、昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

.jp も .com/.net と並び、もっとも早くから国際化ドメイン名に取り組んできた TLD のひとつである。技術標準などへの対応についても他のレジストリに先駆けて取り組みを行っており、そのような意味で、.jp における導入状況という点では昨年度と比較して特に大きな動きは無い。技術的な要素については既に対応を終えており、また懸念事項であった Internet Explorer の国際化ドメイン名対応も完了したことから、ユーザへの周知や新しい利用法の提案などに対応の比重を移しているように見受けられる。現在、JPRS は国際化ドメイン名のユーザへの普及・啓発という点に非常に力を入れている。

.jp の国際化ドメイン名への取組みは、JP ドメイン名の登録管理業務が社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）によって行われていた時代にまで遡ることが出来る。

1999 年 5 月に JPNIC 内に iDNS 調査研究タスクフォースが設立されたのを皮切りに、本格的に国際化ドメイン名実現に向けた取組みが開始されることになる。

JPNIC ではその後も検討を進め、2000 年の 11 月には、「汎用 JP ドメイン名登録等に関する技術細則」が制定され、日本語 JP ドメイン名として利用可能な文字が明確に定義された。このことにより、国際化ドメイン名を導入するための前提がまず一つ整ったことになる。

続いて同じく 11 月に、日本語 JP ドメイン名のエンコード方式として ACE（ASCII Compatible Encoding）という変換方式の一種である RACE（Row-based ACE）と呼ばれる技術を用いる方式で、日本語 JP ドメイン名運用試験のフェーズ 1 が開始された。

¹³⁴ Frequently Asked Questions
http://domini.cat/en_faq/index.php#p4.3.

もつとも、このフェーズ 1 においては、実際に各種アプリケーションを利用して日本語 JP ドメイン名を利用するというものではなく、日本語 JP ドメイン名が DNS にどのような形で設定・運用されるのかを確認するための環境を提供するという基本的なものであった。

そして、このフェーズ 1 の結果を受けて、2001 年には日本語 JP ドメイン名の登録が開始された。日本語 JP ドメイン名は汎用 JP ドメイン名として受け付けられ、2001 年 2 月には優先登録が、4 月には同時登録が開始され、実験段階から実際に登録が可能となるという次のステップへと移行した。

しかし、登録は開始されたものの、IETF などによる国際化ドメイン名の技術標準化にはまだ時間がかかっており、そのためまだテスト的な意味合いも強い部分が残っていたのも事実であり、検討と運用が同時に行われるような状態がしばらく続くこととなった。

その後、2001 年 3 月には ICANN に IDN Committee が設立されるなど、IDN に関する検討も徐々に進展し、現在標準となっている ACE や NAMEPREP、IDNA といった技術が主流とみなされるような状況となったことから、徐々にではあるが国際化ドメイン名の実用化に向けた環境が整うようになってきた。

そして、JPNIC は 2001 年 5 月に日本語ドメイン名運用試験のフェーズ 1 を終了し、フェーズ 2 を開始した。このフェーズ 2 では、汎用 JP ドメイン名として登録された日本語 JP ドメイン名について、RACE を用いた方式での名前解決が可能となり、実際に登録した国際化ドメイン名を使って名前解決をすることが可能となった。

その後、JPNIC から JPRS へと JP ドメイン名の登録管理業務が移管された後も、JPRS において日本語ドメイン名に関する検討は続けられ、2003 年 3 月の国際化ドメイン名の技術標準を規定した 3 本の RFC (IDNA:RFC3490、NAMEPREP:RFC3491、Punycode:RFC3492) の発行、および 2003 年 6 月に ICANN から発表された「IDN 実装のためのガイドライン」を受け、2003 年 6 月 30 日に日本語ドメイン名運用試験のフェーズ 2 終了をアナウンスした。

実際のフェーズ 2 終了は 2003 年 7 月 10 日に行われ、9 月 3 日までかけて日本語 JP ドメイン名のサービスを RFC に準拠したサービスへと移行させるための作業が行われた。移行にあたっては、次の 3 つのステップを踏むことによって、ユーザの混乱を最小限に抑えるための努力が払われた。

(1) JP DNS での RACE と Punycode の併用期間開始 (7 月 10 日)

JPRS が運用している.jp の DNS サーバに、これまでの RACE に加えて Punycode でもド

メイン名が登録されるようになった。これにより、RFC に完全準拠した、Punycode で名前解決を行うアプリケーションからも日本語 JP ドメイン名の利用が可能となった。

(2) Internet Explorer 用 plug-in ソフト(i-Nav)の内部動作切り替え (7月30日)

JPRS が配布しているブラウザ用のプラグインソフトである i-Nav の内部動作について、RACE 優先から Punycode 優先へと切り替えが行われた。

(3) JP DNS での RACE の運用終了 (9月3日)

.jp の DNS サーバから RACE の設定の削除が行われた。

これにより、JP ドメイン名の RFC への準拠作業は完全に終了したことになる。

現在、.jp では携帯電話からの国際化ドメイン名を使ったアクセスのためのサイトを用意したり、駅名でアクセスできる駅周辺の情報提供ポータルサイトを用意するほか、登録者が希望した場合に、国際化ドメイン名に対応していないブラウザからアクセスしたユーザーを、国際化ドメイン名のナビゲーションサイトに誘導するように出来るサービスを提供するなど、国際化ドメイン名の普及に大変力を入れている。またこれらの他にもレジストリ自らが国際化ドメイン名を用いた新しいサービスを積極的に展開しており、コミュニティに対して国際化ドメイン名ならではの利用方法を積極的に示し続けている。また、VeriSign 社とならんで技術情報の公開などにも積極的である。

このように、.jp は世界でも最も国際化ドメイン名を利用する環境が整っている TLD のひとつであると思われる。実際、登録数の方にもその結果は反映されており、JPRS の発表によると、2009 年 2 月時点での国際化ドメイン名の登録数は約 13 万件であり、全体の登録数約 106 万件のうちの約 8 分の 1 を占めるまでになっている。¹³⁵

なお、IANA の言語テーブルには日本語が登録されている。

3-5-8 .kr (韓国) (Korea Network Information Center) の導入状況

.kr では昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

.kr を管理している KRNIC(NIDA:韓国情報通信開発振興庁)は、2003 年 8 月 19 日から国際化ドメイン名の登録を開始した。

¹³⁵ JP ドメイン名の累計登録数
<http://jpinfo.jp/stats/domains.html>

国際化ドメイン名の登録にあたっては、混乱を避けるために 3 段階の登録期間が設けられた。

まず、1 段階目の期間(8 月 19 日から 6 週間)には公共機関、ブランド、商号名などを元にしたドメイン名の登録が受け付けられた。

次に、2 段階目の期間(10 月 7 日から 2 週間)には、住民登録証や事業者登録証を元にドメイン名の登録を受け付けた。

この 1 段階目と 2 段階目で重複した申込みがあれば抽選で登録者を決める方式を取り、これらの手順が全て完了してから、最後に 3 段階目として通常の実先願制による登録受付が開始された。

IANA の言語テーブルには韓国語が登録されている。

3-5-9 .pl (ポーランド) (NASK : Research and Academic Computer Network) の導入状況

.pl は国際化ドメイン名の導入に積極的な TLD である。

2006 年度の調査まではかなりの勢いで対応言語を増やしていたが、対応が一通り終了したのか、昨年に引き続き、今回の調査でも特に新しい動きはなかった。

2003 年 9 月 11 日に国際化ドメイン名の登録を開始。当初はポーランド語のみの登録受付であったが、2003 年 10 月 6 日にはドイツ語文字のウムラウト (“a” “o” および “u” の変音文字)を利用したドメイン名の登録受付も開始した。

その後もラテン文字やギリシャ文字、ヘブライ文字、アラビア文字など次々とサポートする言語を増やしており、2004 年 2 月 26 日にはキリル文字のサポートも開始している。現在 IANA に登録されている言語テーブルは 37 (アルバニア語、ベラルーシ語、ブルガリア語、カタロニア語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、エスペラント語、エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ヘブライ語、ハンガリー語、ギリシャ語、アイスランド語、アイルランド語、イタリア語、ラトビア語、リトアニア語、ルクセンブルグ語、マケドニア語、マルタ語、モルダビア語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、セルビア語、スロバキア語、スロベニア語、

スペイン語、スウェーデン語、トルコ語、ウクライナ語) となっており、gTLD、ccTLD を併せた全ての TLD の中で最も多い登録となっている。ただし、2006 年度の調査時点からは特に増えておらず、そういう意味では予定していた言語をほぼ全てサポートし終えた考えてもよいのかもしれない。

3-5-10 .th (タイ) (ThNIC) の導入状況

.th では昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

2004 年 7 月からタイ語での国際化ドメイン名の登録を開始している。
IANA にはタイ語の言語テーブルが登録されている。

3-5-11 .de (ドイツ) (DENIC eG) の導入状況

.de では昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

2004 年 3 月から国際化ドメイン名の登録を開始、従来の 7bit ASCII で表現される 37 文字に加え、新たに 92 文字がドメイン名のラベルとして利用できるようになった。利用可能な文字の一覧は、DENIC の Web ページ¹³⁶で公開されている。

現時点では IANA に言語テーブルは登録されていない。

3-5-12 .ch/.li (スイス/リヒテンシュタイン) (SWITCH Teleinformatics Services) の導入状況

.ch および .li の双方とも、昨年度の調査以降特に大きな動きはない。

SWITCH は .ch (スイス) と .li (リヒテンシュタイン) のレジストリを兼ねており、2004 年 3 月から双方で国際化ドメイン名の登録を開始している。

¹³⁶ IDN character list
<http://www.denic.de/en/domains/idns/liste.html>

国際化ドメイン名の登録受付開始にともない新たに登録可能となった文字として、SWITCH の Web サイトでは 31 文字の変音文字が挙げられている。

現時点では IANA に言語テーブルは追加されていない。

3-5-13 .at (オーストリア) (NIC.AT Internet Verwaltungs und Betriebsgesellschaft m.b.H) の導入状況

.at では、昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

2004 年 3 月から国際化ドメイン名の登録を開始している。
従来の 7bit ASCII の文字に加え、新たに 34 文字がドメイン名のラベルとして利用可能になっている。

現時点では IANA に言語テーブルは追加されていない。

3-5-14 .dk (デンマーク) (DK Hostmaster A/S) の導入状況

.dk では昨年度の調査以降、特に大きな動きは無い。

dk の登録規則 (General conditions for the assignment, registration and administration of domain names under the .dk top level domain (Version 04 March 1, 2008))¹³⁷ の「12.1 文字セットを拡張する権利」によると、登録可能文字の追加については次のようなルールとなっている。

¹³⁷ http://www.dk-hostmaster.dk/fileadmin/filer/pdf/generelle_vilkaar/generelle_vilkaar_EN04.pdf

12.1 文字セットを拡張する権利

デンマークドメイン名の文字セットは、www.dk-hostmaster.dk の Web サイトにていつでも一般に見られるものとする。文字セットの拡張は、DIFO (Dansk Internet Forum) との協議の上、最低 1 ヶ月の予告期間をもって、DK Hostmaster によって行われる。なお、変更部分が有効とされるにあたっては、事前に新規文字セットが十分な技術力によって確実にサポートされることとする。また、正当な疑義の申し立てであると認められる範囲内において、提案されている変更に対して一般の人々がコメントを述べる機会を設けるものとする。

現在、登録可能な文字としては 7 文字(å, æ, ø, ä, ö, ü, é)が挙げられている。¹³⁸

また、現時点では IANA に言語テーブルは追加されていない。

3-5-15 .lt (リトアニア) (KTU Information Technology Development Institute) の導入状況

.lt では昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

2003 年 3 月 30 日から国際化ドメイン名の登録を開始しており、リトアニア語として 9 文字(a, č, e, é, i, š, u, ū, ž)の登録が可能となっている。

登録可能な 9 文字については、Kaunas University of TechnologyのWebサイトにて示されている。¹³⁹

なお、現時点では IANA に言語テーブルは追加されていない。

¹³⁸ Et domænenavn er en navngivet og afgrænset del af internettet
<http://www.dk-hostmaster.dk/index.php?id=21>

¹³⁹ Allowed characters in .lt second level IDN domain name Unicode representation
http://www.domreg.lt/static/doc/public/idn_symbols-en.pdf

3-5-16 .se (スウェーデン) (NIC-SE) の導入状況

.se の導入状況については、昨年度の調査以降、時に大きな動きはない。

2003 年 10 月より、5 つの文字 (å, ä, ö, é, ü) を登録可能文字として追加する形で IDN の登録を開始していたが、2007 年 9 月に新たにデンマーク語、フェロー語、アイスランド語、ノルウェー語の登録が可能となった。これらの言語は、フィンランドに住む五つの少数民族の公用語である。

IANA に登録されている言語テーブルは、2007 年度の調査時点ではスウェーデン語の言語テーブルのみだったが、今年度の調査では新たにラテン文字とイディッシュ語が登録されていることが判明した。

3-5-17 .tw (台湾) (TWNIC) の導入状況

.tw では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

2003 年 11 月 17 日より、Punycode を用いる形での、RFC に準拠した IDN 登録サービスへの移行を行った。

IANA には言語テーブルとして繁体中国語が登録されている。

3-5-18 .cn (中国) (CNNIC) の導入状況

.cn では昨年度以降、大きな動きは特にない。

.cn では、従来から「.中国」、「.公司」、「.网络」という 3 つの中国語 TLD の下に CDN (Chinese Domain Name : 中国語ドメイン名) が登録できるようになっており、さらに、「.中国」には「.CN」の CDN がバンドルされる形になっていた。

しかし、国際化ドメイン名のトップレベルドメインはまだ ICANN で承認されておらず、したがって上記三つの中国語 TLD はルートゾーンには含まれていないものと考えられる。

このように、国際化ドメイン名に関してはやや独自の路線を取っていた中国であるが、2005年1月17日から海外からの「中国語.cn」の形での国際化ドメイン名の登録を開始したと発表した。これにより、他のTLDで行われている国際化ドメイン名のサービスと同様に、セカンドレベル以下にマルチバイト文字列を登録出来るようになった。

なお、この登録受付開始に関しては、CNドメイン名の国外での登録受付を行っているNeulevelからプレスリリースが出されている。¹⁴⁰

また、IANAには言語テーブルとして中国語が登録されている。

3-5-19 .hu (ハンガリー) (ISZT Kht) の導入状況

.huでは昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

登録規則によると、通常のASCII文字に加えて9文字(á, é, í, ó, ö, ő, ú, ü, ű)のハンガリー語の文字が登録可能となっている。¹⁴¹

なお、現時点ではIANAに言語テーブルは追加されていない。

3-5-20 .is (アイスランド) (ISNIC - Internet Iceland ltd.) の導入状況

.isでは昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

以下に.isでの国際化ドメイン名の導入時の状況について説明する。

2004年7月1日から国際化ドメイン名の登録受付を開始。登録が認められる文字として、従来のASCII文字に加えて新たに10文字(þ, á, í, æ, é, ó, ö, ý, ð, ú)が追加された。なお、通常の登録に先立って、2005年1月1日までがサンライズ登録期間とされた。

なお、現時点ではIANAに言語テーブルは追加されていない。

¹⁴⁰ NeuLevel Introduces Chinese Language Internationalized Domain Names (IDNs) In China's .CN Domain

http://www.neulevel.BIZ/press/press_release/IDN.CNrelease1-18-05.pdf

¹⁴¹ DOMAIN REGISTRATION RULES AND PROCEDURES

<http://www.domain.hu/domain/English/szabalyzat/szabalyzat.html>

3-5-21 .ac (アセンション島) (Ascension Island Network Information Centre) の導入状況

.ac では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

現在、NIC.ACのサイトでは、登録可能な文字として 84 文字が挙げられている。¹⁴²

なお、現時点では IANA に言語テーブルは追加されていない。

3-5-22 .br (ブラジル) (Comite Gestor da Internet no Brasil) の導入状況

.br では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

2005 年 5 月 4 日に Registro.br は、ポルトガル語でのドメイン名の登録受付を開始する旨の発表を行い、5 月 9 日より実際に登録の受付を開始した。

IANA にはポルトガル語の言語テーブルが登録されている。

3-5-23 .cl (チリ) (NIC Chile) の導入状況

.cl の導入状況については、IANA への言語テーブルの登録に関して若干の変更があったことを除けば、昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

NIC Chileは 2005 年 9 月 21 日よりスペイン語でのIDNの登録を開始しており、¹⁴³

Webサイトでは、登録可能な文字として 7 文字(a, é, í, ó, ú, ü, ñ) が挙げられている。¹⁴⁴

IANA には、昨年度の調査時点ではスペイン語の言語テーブルが登録されていたが、今年の調査ではラテン文字という形での登録に変更されていることが判明した。

¹⁴² IDN Code Points Policy for the .AC Top Level Domain
<http://www.nic.ac/AC-IDN-Policy.pdf>

¹⁴³ Comenzo la inscripcion de dominios IDN en .CL
<http://www.nic.cl/anuncios/2005-09-21.html>

¹⁴⁴ SYNTAX RULES FOR DOMAIN NAMES UNDER .CL
<http://www.nic.cl/CL-IDN-policy.html>

3-5-24 .fi (フィンランド) (Finnish Communications Regulatory Authority) の導入状況

.fi では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

FICORAは2005年9月1日より、登録可能な文字として新たに3文字(å,ä,ö)を追加すると発表した¹⁴⁵。

現時点ではIANAに言語テーブルは追加されていない。

3-5-25 .gr (ギリシャ) (ICS-FORTH GR) の導入状況

.gr では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

ICS-FORTH GR は、2005年7月4日よりギリシャ文字でのドメイン名登録を開始すると発表した。Webサイトでは登録可能な文字として22文字が挙げられている¹⁴⁶。

現時点ではIANAに言語テーブルは追加されていない。

3-5-26 .io (英領インド洋地域) (IO Top Level Domain Registry) の導入状況

.io では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

登録の開始時期は不明であるが、現在、NIC.IOのサイトでは、登録可能な文字として84文字が挙げられて¹⁴⁷いる。

現時点ではIANAに言語テーブルは追加されていない。

¹⁴⁵ <http://www.ficora.fi/en/index/viestintavirasto/lehdistotiedotteet/2005/letters.html>

¹⁴⁶ GREEK HOMOGRAPH CHARACTER TABLE
https://grweb.ics.forth.gr/CharacterTable2_en.jsp

¹⁴⁷ IDN Code Points Policy for the .IO Top Level Domain
<http://www.nic.io/IO-IDN-Policy.pdf>

3-5-27 .lv（ラトビア）（University of Latvia）の導入状況

.lv では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

NIC.LVは、2004年3月1日よりラトビア語でのドメイン名登録の受付を開始したと発表した。現在、登録可能な文字として13文字(ā, ē, ī, ū, ō, ķ, ļ, ņ, ŀ, ģ, š, č, ž)が挙げられて¹⁴⁸いる。

現時点ではIANAに言語テーブルは追加されていない。

3-5-28 .no（ノルウェー）（UNINETT Norid A/S）の導入状況

.no では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

Noridは2004年2月9日に登録規則の改訂を行い¹⁴⁹、ノルウェー語でのドメイン名登録の受付を開始した。現在、Webサイトでは、登録可能な文字として23文字が挙げられている¹⁵⁰。

現時点ではIANAに言語テーブルは追加されていない。

3-5-29 .nu（ニウエ）（Internet Users Society - Niue）の導入状況

.nu では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

.nu では、厳密には国際化ドメイン名とは言えないものの、類似のサービスを提供している。ただし、サービスの開始時期は不明である。

¹⁴⁸ Vispārīgie noteikumi domēna vārda lietošanas tiesību iegūšanai
<http://www.nic.lv/resource/show/15>

¹⁴⁹ Change of regulations February 9th 2004
<http://www.norid.no/regelverk/forslag/idn-2003/2004-02-09.en.html>

¹⁵⁰ New characters permitted under .no
http://www.norid.no/domeneregistrering/idn/idn_nyetegn.en.html

.nuドメイン名では、Multi-Lingual Web Addressesというサービス名で、UNICODE - ISO-10646 に準拠したドメイン名の登録を受け付けており¹⁵¹、スウェーデン語やデンマーク語、ノルウェー語、ドイツ語、スペイン語などでのドメイン名の登録が可能と謳っている。

また、それ以外の日本語や中国語、韓国語、アラビア語、キリル文字、ヘブライ文字を用いたドメイン名登録についても、WorldNames 社が提供しているサービスを用いることによって登録が可能としている。

なお、IANA への言語テーブルの登録は行われていない。

3-5-30 .sh (セントヘレナ島) (Government of St. Helena) の導入状況

.sh では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

登録開始時期は不明であるが、現在、NIC.SHのWebサイトでは、登録可能な文字として 84 文字が挙げられている¹⁵²。

現時点では IANA に言語テーブルは追加されていない。

3-5-31 .hk (香港) (Hong Kong Internet Registration Corporation Ltd.)の導入状況

.hk では、昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

HKIR&HKDNR(Hong Kong Domain Name Registration Company Limited)では、2006 年 10 月より、中国語ドメイン名の登録を受け付けている。

IANA に言語テーブルは登録されていないが、HKIR の Web サイトに掲載されている FAQ によると、.cn および.tw の言語テーブルをベースとした言語テーブルを用意しているとのことで、繁体字および簡体字を用いたドメイン名の登録が可能と思われる。

¹⁵¹ .NU Domain Multi-Lingual Web Addresses
<http://www.nunames.nu/Local-Language.cfm>

¹⁵² IDN Code Points Policy for the .SH Top Level Domain
<http://www.nic.sh/SH-IDN-Policy.pdf>

なお、現時点では IANA に言語テーブルは追加されていない。

3-5-32 .vn (ベトナム) (VNNIC)の導入状況

.vn は今年度の調査で、IANA へベトナム語の言語テーブルが登録されていることが判明した。それ以外には、特に大きな動きは特にない。

登録開始時期は不明であるが、.vn では国際化ドメイン名の登録を受け付けており、VNNIC のサイトでは、ベトナム語の登録可能な文字が公開されている。¹⁵³

なお、IANA にはベトナム語の言語テーブルが登録されている。

3-5-33 .ae (アラブ首長国連邦) (UAEnic)の導入状況

.ae では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

.ae では、登録開始時期は不明であるが、国際化ドメイン名のテストサービスを行っている。

UAEnic では、現在アラビア語ドメイン名のテストを行っており、UAEnic の Web サイトで詳細を見ることができる。¹⁵⁴ 現在は 18 のアラビア語ドメイン名が使用可能となっている。

¹⁵⁵

なお、現時点では IANA に言語テーブルは登録されていない。

3-5-34 .tm (トルクメニスタン) (TM Domain Registry Limited)の導入状況

.tm では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

.tm では、登録開始時期は不明であるが、国際化ドメイン名の登録を受け付けており、TM

¹⁵³ Các ký tự dùng cho tên miền tiếng Việt (<http://www.vnnic.vn/tenmientv/bangma.htm>)

¹⁵⁴ Trial of Arabic Domain Names (<http://nic.ae/english/arabicdomain/index.jsp>)

¹⁵⁵ <http://idn.nic.ae/daleel/>

Domain RegistryのWebサイトでは、登録可能な文字として 84 文字が挙げられている。¹⁵⁶

なお、現時点では IANA に言語テーブルは登録されていない。

3-5-35 .tr (トルコ) (Middle East Technical University)の導入状況

.tr では昨年度の調査以降、大きな動きは特にない。

.trでは、2006 年 11 月から、登録可能な文字列にトルコ語が追加された¹⁵⁷。現在のところ、登録可能な文字は 6 文字(ğ, ı, ü, ş, ö, ç)となっている。

なお、現時点では IANA に言語テーブルは登録されていない。

3-5-36 .es (スペイン) (Red.es) の導入状況

.es の導入状況については、昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

.esでの国際化ドメイン名の登録は 2007 年 10 月より開始され、登録可能な文字列にスペイン語が追加された。登録可能な文字として、Red.esのWebサイトで 13 文字が公開されている。¹⁵⁸

なお、現時点では IANA に言語テーブルは登録されていない。

¹⁵⁶ IDN Code Points Policy for the .TM Top Level Domain
<http://www.nic.tm/TM-IDN-Policy.pdf>

¹⁵⁷ Turkish character encoded domain name system is launched!
https://www.nic.tr/announcebox.php?PHPSESSID=11709197332021230161210880&ann_id=221

¹⁵⁸ FAQs IDN
<https://www.nic.es/media/2008-05/1210147705287.pdf>

3-5-37 .ir (イラン) (Institute for Studies in Theoretical Physics & Mathematics) の導入状況

.ir については、昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

.ir は 2007 年度の調査で、国際化ドメイン名の登録を開始していることが判明した。ただし、従来の TLD (.ir) での登録は受け付けておらず、IPM(Institute for Studies in Theoretical Physics & Mathematics)が行っている、「dot-iran (.ایران) 」と呼ばれる IDN TLD のサービスでのみ登録を受け付けている。

登録が可能な文字については、IPMのWebサイトで公開されている。¹⁵⁹

また、IANA にも言語テーブルとしてペルシャ語が登録されている。

3-5-38 .pe (ペルー) (Red Científica Peruana) の導入状況

.pe の導入状況については、昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

登録の開始時期は不明であるが、2007 年 9 月に解放されたセカンドレベルにおいて、スペイン語の登録が可能となっており、Red Científica PeruanaのWebサイトでは、登録可能な文字として「á, é, í, ó, ú, ñ, ü」が公開されている。¹⁶⁰

なお、現時点では IANA に言語テーブルは登録されていない。

3-5-39 .pt (ポルトガル) (Fundacao para a Computacao Cientifica Nacional) の導入状況

.pt の導入状況については、昨年度の調査以降、特に大きな動きはない。

Fundacao para a Computacao Cientifica Nacionalでは、2005 年 7 月よりポルトガル語の

¹⁵⁹ Allowable Characters (under dot-iran)
http://www.nic.ir/Allowable_Characters_dot-iran

¹⁶⁰ COMISION MULTISECTORIAL DE POLITICAS DE NOMBRES DE DOMINIO
<http://www.nic.pe/InformeFinalComision.pdf>

登録を受け付けている。¹⁶¹

また、Web サイトでは、登録可能な文字として「à, á, â, ã, ç, é, ê, í, ó, ô, õ, ú」の12文字が公開されている。

なお、現時点で IANA への言語テーブルの登録は行われていない。

3-5-40 .ar (アルゼンチン) (MRECIC (Ministerio de Relaciones Exteriores, Comercio Internacional y Culto)) の導入状況

.arは、正確な登録開始時期は不明であるが、今年度の調査で国際化ドメイン名に対応していることが判明した。アナウンスによると「á, â, ã, à, é, ê, í, ó, ô, õ, ú, ü, ñ, ç」の14文字が利用可能となっている。¹⁶²

なお、現時点では IANA への言語テーブルの追加は行われていない。

3-5-41 .md (モルドバ) (MoldData S.E.) の導入状況

.md は登録開始時期は不明であるが、今年度の調査で国際化ドメイン名に対応していることが判明した。

MoldData S.E.のWebサイトでは、登録可能な文字として「ă, â, î, ș, ț」の5文字が挙げられている。¹⁶³

なお、現時点では IANA への言語テーブルの登録は行われていない。

¹⁶¹ Domínios IDN (Internationalized Domain Names)

[https://online.dns.pt/dns_2008/do?com=DS:3068250627;111;+PAGE\(4000002\)+K-NOTICIA\(714\)+K-CAT-CODIGO\(C.128\)+RCNT\(1\);](https://online.dns.pt/dns_2008/do?com=DS:3068250627;111;+PAGE(4000002)+K-NOTICIA(714)+K-CAT-CODIGO(C.128)+RCNT(1);)

¹⁶² Incorporación de caracteres multilingües Resolución Ministerial 616/2008

<http://www.nic.ar/616.html>

¹⁶³ <http://www.register.md/RO/idn-cerere.php>

3-5-42 .pr (プエルトリコ) (Gauss Research Laboratory Inc.) の導入状況

.pr は、今年度の調査で、国際化ドメイン名に対応していることが判明した。

2008年3月14日から国際化ドメイン名の登録が開始され、Gauss Research Laboratory Inc. のWebサイトでは、登録可能な文字として「á, é, í, ó, ú, ñ, ä, ë, ï, ü, ö, â, ê, î, ô, û, à, è, ù, æ, ç, œ, ã, õ」の24文字が挙げられている。¹⁶⁴

なお、現時点ではIANAへの言語テーブルの登録は行われていない。

3-5-43 .sa (サウジアラビア) (Communications and Information Technology Commission) の導入状況

.saは、登録開始時期は不明であるが、今年度の調査で国際化ドメイン名に対応していることが新たに判明した。¹⁶⁵

IANAには、アラビア語の言語テーブルが登録されている。

¹⁶⁴ Internationalized Domain Names Rules for Registration
http://www.nic.pr/idn_rules.asp

¹⁶⁵ Arabic Domain Names
<http://www.nic.net.sa/page.php?page=8&lang=1>

3-6 IDNに関する動向

IDN に関しては、昨年に引き続き、主に ICANN においてトップレベルドメインの国際化 (IDN TLD) が検討された。以下では、IDN TLD のポリシーに関する検討状況および技術と運用に関する検討状況を述べる。

3-6-1 IDN TLDのポリシーに関する検討状況

3-6-1-1 IDN gTLD

IDN gTLD については、ICANN における新 gTLD 導入の一環として、ASCII の新 gTLD とともに IDN による gTLD の導入方法が、GNSO (Generic Names Supporting Organisation) を中心に検討されている。

■ 新 gTLD 応募者向けガイドブック (案) の公開と議論

2008 年 10 月 23 日、ICANN は「New gTLD Program: Draft Applicant Guidebook (以下「ガイドブック案)」の初版を公開した。そして、2008 年 10 月 24 日から 2009 年 1 月 7 日まで、このガイドブック案に対する最初の意見募集が行われた。

ICANN はこれまで 2000 年と 2003 年の 2 回にわたり新 gTLD の追加募集を行ったが、いわゆる「Sponsored TLD」と呼ばれる、登録要件を制限した gTLD の追加が主流であったことから、実際に追加された gTLD の数は合計 13 と限定的なものとなった。

しかし、今回の募集においては、創設する gTLD の数にあらかじめ上限は設けられなかった。また、ICANN は、新 gTLD として「Open」および「Community-based」の 2 種類を定義し、いずれの種類についても、一定の審査を通過すれば数の上限なく導入できることとした。なお、「Open」とは、基本的に誰でもドメイン名の登録が可能な gTLD であり、従来の Un-sponsored TLD に相当する。他方、「Community-based」は、特定のコミュニティにおいて使われることを前提としたものであり、ドメイン名の登録に資格要件を設けることが想定され、従来の「Sponsored TLD」に相当する。

ガイドブック案では、以下が説明されている。

- ・ gTLD 申請プロセスの紹介
- ・ 審査手続き

- ・紛争処理手続き
- ・申請文字列が衝突した場合の手続き
- ・委任プロセスへの移行手順
- ・gTLD 申請の条件

2009 年 1 月 7 日までの意見募集期間を通じ、24 カ国から 300 以上の意見が寄せられた。手続きの具体化および明確化の要望を除いた主要な意見としては、以下に集約できる。

- a) 商標、地理的名称の保護および消費者の混乱への懸念
 - ・ TLD そのものがもたらす権利侵害、混乱
 - ・ 第 2 レベルへのドメイン名登録時に生じる権利侵害、混乱
- b) gTLD 増加とともに詐欺などの不正行為が増える懸念
- c) 新 gTLD への本来の需要とは何なのか、新 gTLD が市場にどのような影響を与えるかという疑問
- d) ルートゾーンへの TLD 追加がもたらす技術的影響への懸念
 - IDN、IPv6、DNSSEC の追加と並行した実装に問題はないのか
- e) 「新 gTLD は 3 文字以上」という制限への懸念
 - IDN では不合理。漢字などでは、1～2 文字でも意味ある単語を成す
- f) 「Open」と「Community-based」で扱いを変えるべきか
 - 「Community-based」TLD (例:少数民族を対象としたもの)は早期に導入し、ICANN へ支払うレジストリ料金額も少なく抑えるべき、などの意見が出ている

ICANN は、2009 年 2 月 18 日にガイドブック案の第 2 版を公開したが、上記の課題については明確な回答を提示しなかった。ICANN は、関係者との相談を引き続き行い、今後第 3 版（または最終版）に盛り込んでいく予定としている。

第 2 版の意見募集は、2009 年 2 月 18 日から同年 4 月 13 日まで行われている。新 gTLD の導入にむけた今後の予定については若干流動的となっているが、2009 年 3 月初旬の ICANN メキシコ会合時点では、2009 年 12 月から 2010 年 2 月にかけて提案受付が始まると ICANN から説明されたところである。

3-6-1-2 IDN ccTLD

IDN ccTLD に関する議論および調整は、ICANN ccNSO (Country Names Supporting Organization) を中心として進められている。

(1) IDN ccTLD の恒久的ポリシーの検討状況

IDN ccTLD に恒久的に適用されるポリシーは、ICANN 付属定款に定義された、ccNSO の PDP (Policy Development Process。以下「ccPDP」) にしたがって検討されている。この検討の一環として、2007年6月頃から、ccNSO と GAC が共同して IDN ccTLD 導入にあたり考慮すべき課題を洗い出し、リストを作成した。その課題リストは公開され、2007年12月から2008年2月下旬まで意見募集にかけられた。

その後現在まで、課題の再整理および課題解決のスケジュール案が検討されている。以下が主な課題である。

a) TLD 文字列について

- ・ TLD 文字列として許容されるものの一覧が存在すべきか
- ・ TLD 文字列は意味ある文字列であるべきか
- ・ 国（地域）毎に幾つの TLD を許容するか
- ・ 特定のスク립ト（用字）に何らかの権利は付随するか

b) 手続きについて

- ・ どのような必須条件が必要か
- ・ 一覧が存在しないとき、誰が TLD 文字列を決めるか
- ・ 種々の関係者がどうやって協力し合うか

c) スケジュールについて

- ・ 現在、基本検討を 2011 年に終える計画案を作成中
- ・ その後の実現にはさらに時間がかかることになる

(2) Fast Track アプローチによる早期導入ポリシーの検討状況

上述の IDN ccTLD の恒久的ポリシーは、周到な検討を要することから、実装に 数年以上かかると目されている。そのため、IDN ccTLD 導入に対する緊急性の高い需要に時宜を得て応えるため、2007 年前半以来、恒久的ポリシーの検討に並行して「Fast Track」と呼ばれるアプローチによる IDN ccTLD の限定的導入も検討されている。Fast Track アプローチでは、技術、運用、ポリシーなどの面で問題が生じない範囲で、限定数の IDN ccTLD を早期に導入することを目指している。

ICANN 理事会は 2007 年、ccTLD レジストリ、政府、At-Large 関係者、技術コミュニティなどによって構成される IDNC WG を設置し、Fast Track の検討を委ねた。そして、IDNC は、考慮しなければならない課題として以下を洗い出した。

- a) 文字列選定のメカニズム
- b) 管理者委任のメカニズム

IDNC WG はその後、上記課題に対する考え方の選択肢などを記した Initial Report を 2008 年前半に公開し、意見募集を行った。

さらに、IDNC WG による Initial Report を引き継ぐ形で、2008 年 10 月 23 日、ICANN が「IDN ccTLD Fast Track Draft Implementation Plan（以下「実装計画案）」を、2008 年 11 月 26 日にはその更新版を公開して意見募集を行った。

実装計画案では、申請および審査のプロセスとして、以下の 3 つの段階が提示された。

1) 準備

申請者は文字列の言語・スクリプト（文字種）を決め「IDN テーブル」を作成する

申請者は以下を記したエンドース（裏書き）文書を作成する必要がある

- ・文字列に意味があることについての該当国または地域の支持
- ・レジストリオペレータに対する国または地域の支持
- ・使う IDN テーブルに対する関連コミュニティの支持

2) 申請と審査

申請は ICANN が準備する定型フォームにより、文書で提出する必要がある

申請は ICANN による以下の審査を経る必要がある

- ・申請の形式審査
- ・文字列の確定プロセスの審査
- ・文字列と委任準備状況確認プロセスの審査

3) 委任プロセス

- ・全ての申請は、ICANN 理事会の承認を得る必要がある

すなわち、1)において、使用文字列、申請者がレジストリ業務を行うこと、そして使用するテーブルが適切であることの全てについて、国または地域、および関連コミュニティの支持を得ていることが条件となる。この条件を満たしていない場合、Fast Track に基づいた IDN ccTLD 導入の申請を行うことはできない。

また、2)において、申請が正当なものであるか、その文字列が DNS をはじめとするインターネットに影響を与えないかが審査される。全ての審査結果は公開される。

さらに、3)において、全ての申請は ICANN 理事会による最終的な承認を得る必要がある。

ICANN 理事会では、提出された書類に基づき、以下の審査を行う。

- a) 運用および技術に関する能力、IP 接続性があること
- b) オペレータ、運用責任者の連絡先がその国または地域内に存在すること
- c) すべての申請者を公平に扱うこと
- d) 関連コミュニティ／該当国または地域の政府の支持を得ていること

そのうえで申請者は、申請書において「RFC 1591 (DNS の構造と権限委任に関する技術要件)」、「ICP-1 (ccTLD の管理と委任についての要件)」および「GAC 原則 (ccTLD の管理と委任についての「GAC 原則」)」の準拠状況を明示する必要があるとされる。

なお、Fast Track による IDN ccTLD の導入では、以下のような未解決の問題が指摘されている。これらについては、今後 ICANN の場でさらに議論が深められる予定となっている。

- a) レジストリと ICANN との契約を必須とするか
ASCII ccTLD では、契約するかどうかは任意となっている。2009 年 3 月 2 日現在、ICANN と何らかの形態で契約関係にある ccTLD は 65 にとどまっている。また、法制度上、米国企業である ICANN と契約を結べない ccTLD レジストリもある
- b) ICANN への支払いを必須とするか
ASCII ccTLD では、(スポンサ契約によって支払額の計算式が確定している .au、.jp、.tw などの一部を除き) 支払うかどうかは任意であり、支払う場合でもその額は任意である。2008 年の時点で、支払いを行った ccTLD は約 50 であった。
- c) IDN ccTLD レジストリは ASCII ccTLD レジストリと同等に ICANN へ参加するか
- d) 申請された IDN ccTLD の文字列が既存 TLD や新 gTLD と同一または類似であるという問題が生じた場合、どのように解決するか
- e) 使用可能文字や等価文字の定義と共有をどのように行うか
例えば、「国」と「國」が同じ文字であるとみなすかどうか、それをどのように共有するか、など

また、上述の Fast Track アプローチによる国際的な検討を受け、日本においては、政府（総務省）の情報通信審議会 情報通信政策部会 インターネット基盤委員会などにおいて、日本のコミュニティとしてどのような IDN ccTLD を選定し、どのようなレジストリを推薦すべきかについて検討が進められている。

同委員会は、2008 年 11 月から会合を開いて検討を重ねており、2009 年 6 月には答申を出す予定となっている。

3-6-2 IDN TLDの技術および運用に関する検討状況

3-6-2-1 「.test」試験プログラム

2007年10月9日、評価を目的とした11のIDN TLD（「.test」を11の言語に翻訳したものがルートゾーンに追加され、13のルートサーバにも配布された。その後、2008年3月、2008年6月、2008年10月にそれぞれ2言語ずつルートゾーンへの追加が行われ、2009年3月現在17の言語で試験が行われている。

(1) 設備

「.test」の試験は、以下の設備を用いて行われている。

- a) 2006年後半から2007年前半にかけて Autonomica による試験(後述)で使用された、逐次に同期する複製 DNS サーバ
- b) エンドユーザ、アプリケーション開発者、レジストリその他の参加者が IDN を試験しフィードバックできるオンラインの評価設備

また、「.test」試験プログラムは、以下の活動で構成されている。

- a) Autonomica による研究室試験
スウェーデンの Autonomica 社が、研究室環境において、IDN TLD を DNS ルートゾーンの NS-record として挿入する試験を行った。試験は完了し、2007年2月の報告で悪影響がないことが示された。
- b) ルートゾーンへの IDN TLD 挿入に関する IANA での手続きの作成
評価を目的とした IDN TLD の DNS 挿入、管理、緊急削除の手続きが作成された。この手続きは、RSSAC (Root Server System Advisory Committee : ルートサーバシステム諮問委員会) からの意見および勧告を考慮した上で、2007年8月から実施された。
- c) ルートサーバのパフォーマンスと耐久性維持に関する文書の作成
この文書は、上述の緊急削除の手続き、すなわち、ルート DNS に何らかの技術的な問題が発生した際、すみやかに当該 IDN TLD を削除するための手順が説明されたものである。IDN TLD がルートゾーンに追加された後に実際のルートサーバでこの手順が試験された結果、2008年1月、悪影響を生じないことが Autonomica から報告された。
- d) IDN TLD アプリケーションの評価
各種のアプリケーションにおいて、以下の方式で IDN TLD の試験および評価を行っている。

- 1) Autonomica 社による研究室試験のライブ・レプリケーション
- 2) オンライン試験と評価（エンドユーザ、アプリケーション開発者、TLD 管理者および関心を持つ参加者が IDN TLD を使い、使いやすさを評価し持ち寄る）

なお、上記のオンライン評価は、IDNwiki (<http://idn.icann.org>) により評価内容を共有しつつ進められている。

e) IDNwiki への機能追加

ルートゾーンに追加された試験用の IDN TLD に対し、機能追加が行われた。

- 1) DNSSEC による署名（2008 年 3 月）
- 2) IPv6 アドレスの追加（2008 年 5 月）
- 3) IDNwiki へのサーバ証明書の追加（2008 年 6 月）

(2) 民間における活動

IDN TLD の試験開始にともない、民間でもアプリケーションの評価が開始された。具体的には、IDN を扱う主なアプリケーションである Web ブラウザおよびメール（メールクライアント）での IDN TLD 対応状況が、いくつかの言語で評価されレポートが公表された。

- 1) アラビア語 (Arabic) (2008 年 1 月)
<http://www.arabic-domains.org/docs/IDN-ADNPP-Report.pdf>
- 2) 中国語・日本語・韓国語 (Simplified Chinese、Japanese、Korean、Traditional Chinese) (2008 年 3 月)
<http://jprs.co.jp/topics/Report-20080331-v1.0.pdf>
- 3) ロシア語 (Cyrillic) (2008 年 8 月)
(URL なし)

3-6-2-2 IDN、DNSSEC、IPv6 などの影響重畳の実証

IDN TLD が、DNSSEC、IPv6、新しい多くの ASCII gTLD と共存する形で導入されたときに、ルートサーバをはじめとする DNS 全体に悪影響を及ぼさないかどうかの検討が、2009 年 3 月現在、ICANN の SSAC および RSSAC で進められている。

3-6-3 IDN標準およびアプリケーションの対応に関する状況

3-6-3-1 IDNAプロトコルの見直し

IETF において、「デザインチーム」と称される専門家の非公式パネルが、2003 年以來の IDNA の導入に関する報告を評価し、今後の作業の核となる数件の課題を特定した。そして、これをきっかけにして、IDNA プロトコルの修正が行われることになった。

IDNA プロトコルの主な修正点は、以下の通りである。

- a) 有効な IDN ラベルの定義
- b) Unicode におけるスクリプトの分類を考慮した上で、IDN で使える文字を選ぶモデルの採用（現在のモデルは IDN で使えない文字を除外するモデル）
- c) 混乱を招く、もしくは非可逆な文字マッピングの排除
- d) Stringprep (RFC 3454) の「右から左への横書き」に関する誤りの修正
- e) Unicode のバージョンへ非依存化

この修正の目的は、IDN でより多くのスクリプトが使えるようにすることである。今回の修正の動きに繋がった現在の IDN モデルの課題は、RFC 4690 で検討されている。

この活動は 2008 年 4 月に IETF において正式に WG（ワーキンググループ）化され、より広い範囲からメンバが参加して議論が継続されている。

最新の IDNA 改定案は、以下の通りである。

<http://tools.ietf.org/html/draft-ietf-idnabis-rationale>

<http://tools.ietf.org/html/draft-ietf-idnabis-defs>

<http://tools.ietf.org/html/draft-ietf-idnabis-protocol>

<http://tools.ietf.org/html/draft-ietf-idnabis-tables>

<http://tools.ietf.org/html/draft-ietf-idnabis-bidi>

また、過去の議論が繰り返し行われることを避けるため、これまでにどのような提案があり、なぜ現在の IDNA 方式が選択されたのかを記した以下の文書も検討されている。

<http://tools.ietf.org/html/draft-klensin-idna-alternatives>

3-6-3-2 IDN実装ガイドラインの更新

IDN 実装ガイドラインは、サイバースクワッティングのリスクや利用者の混乱を最小限にとどめることを目的として、IDN 登録における一般則や経験則を ICANN のワーキンググループがまとめたものであり、2003 年 6 月にその初版が発行された。その後、gTLD や ccTLD での IDN の実装経験をもとにガイドライン更新が行われており、2006 年 2 月には、2.1 版、2007 年 4 月には 2.2 版が出され、それが 2009 年 3 月現在最新版となっている。

さらに、前述のように、IETF では、ICANN が作成したこのガイドラインの考えを取り入れつつ IDNA の修正に関する検討がなされている。しかし、予定より討に時間を要しているため、IDNA の修正が完了する前に IDN TLD の創設が開始される可能性も出てきた。このため、IDN TLD に対応でき、かつ IDNA 修正版を先取りするためのガイドライン検討が ICANN にて開始された。

3-6-3-3 IDN対応アプリケーションの状況

アプリケーションにおいては、Web ブラウザの IDN 対応は進んでいる。PC 用の主要な Web ブラウザでは、現在までに IDN の直接入力やリンククリックによるサイトアクセスなどの基本的な機能の実装が終了している。今後、電子証明書や JavaScript などの高度な機能の IDN 対応が進むと考えられる。携帯電話用の Web ブラウザでも IDN 対応は進んでいるが、携帯電話への標準搭載はまだ少数にとどまっている。

メーラ（メールクライアント）の IDN 対応は、メール本文内に記載された IDN を含む URL の自動認識が進み始めている。メールアドレスの IDN 対応は、ユーザ名（メールアドレスの@の左側）部分を国際化する規格が確定していないため、進んでいない。また、PC 用の主要なオフィスソフトでは、メーラと同様に、本文内に記載された IDN を含む URL の自動認識が進み始めている。

3-6-3-4 メールアドレスの国際化

メールアドレスの国際化は、IETF EAI WG（Email Address Internationalization Working Group）において実験規格が検討されており、現在までに以下の RFC が発行されている。

RFC 4952（全体アーキテクチャ）

RFC 5335（メールヘッダ拡張）

RFC 5336 (SMTP 拡張)

RFC 5337 (配送状態通知拡張)

また、以下の方式について提案が行われており、実験規格 (RFC) 化にむけた作業が進んでいる。

downgrade (下位互換性維持のための方式)

IMAP (IMAP 拡張)

POP (POP3 拡張)

Mailing List (メーリングリスト管理拡張)

downgrade display (downgrade されたメッセージの表示方式)

2008年7月に、RFC化された実験規格および downgrade の相互接続性が IETF で確認された。

<http://cslab.kr/eai-test/>

3-7 アプリケーションの国際化ドメイン名への対応

国際化ドメイン名が普及していくためには、技術仕様の策定、管理方法の標準化、各アプリケーションの国際化ドメイン名への対応などの問題を解決していく必要がある。このうち、技術仕様に関しては、RFC3490,3491,3492 の発行により、既に国際化ドメイン名を使用するための技術標準は策定されている。また管理方法の標準化に関しても、既に ICANN によるガイドラインが策定されている。したがって、残された課題は各アプリケーションの国際化ドメイン名への対応だけであり、近年においてはこの分野に最も力が注がれている。

2006 年頃までは、このアプリケーションの対応が国際化ドメイン名普及に関しての一番のネックと考えられおり、その中でも特に Web ブラウザの対応が遅れていることが問題視されていた。実際には、主要な各ブラウザにおいては、Mozilla や Firefox、Opera、Safari などといったブラウザはそれ以前から国際化ドメイン名に対応していたわけだが、おそらく世界で最も大きなシェアを持つであろう Microsoft 社の Internet Explorer については、当時の最新バージョンであるバージョン 6 であっても追加プラグインが必要であった。しかし、一般的なユーザにとってプラグインを追加でインストールすることはかなりの敷居の高さであり、これが国際化ドメイン名の使いにくさや、ひいては「国際化ドメイン名はまだ使えない」などというような誤解すら生む背景となっていた。

しかし、2006 年の 11 月に行われた Microsoft 社の Internet Explorer 7 のリリースにより、状況は大きく変わった。国際化ドメイン名を利用する上で、ユーザが最も目にする機会が多く、また利用する機会も多いであろう Web 関連のサービスにおいて、世間一般で最もシェアを持っていると思われる Internet Explorer が標準で国際化ドメイン名に対応したことは非常に大きな出来事である。これまでも i-Nav と呼ばれるプラグインをインストールすることによって国際化ドメイン名は利用できたが、標準で対応しているのと追加の作業が必要となるのでは大きな違いがある。また、現時点(2009 年 2 月)の最新の i-Navi では、IDN TLD に対応していないという問題もあるが、Internet Explorer7 は標準で IDN TLD にも対応しており、そのような問題は発生しない。

Internet Explorer の国際化ドメイン名対応は、国際化ドメイン名に関係するものにとってずっと要望してきたことであり、Internet Explorer 7 の標準対応によって、国際化ドメイン名の普及に大きな弾みがつくと期待されている。現在、Internet Explorer 7 は Windows Update を利用することでインストールが可能であり、わざわざ Microsoft 社のダウンロードセンターなどからダウンロードしてインストーラーを実行しなくても、Internet Explorer 7 にアップグレードすることが可能である。また、初期状態から Internet Explorer

7がインストールされている、Windows Vistaも徐々にシェアを増やしつつある。Internet Explorer 自体も、さらに次のバージョンとなる Internet Explorer 8 のリリースが近々予定されており、Internet Explorer 6 以前のシェアは、今後減ることはあっても増えることは無いと思われる。全ての国際化ドメイン名非対応ブラウザが無くなるまでには、確かにまだまだ時間がかかるものとは思われるが、大多数のユーザが国際化ドメイン名を標準的に利用できる状況になるのは、それほど先の話では無いだろう。

このように Web ブラウザをはじめ、国際化ドメイン名の普及に向けて何よりも必要なのは、各アプリケーションの国際化ドメイン名への対応であり、これはサーバ側でなく、アプリケーション側で対応する方式を選択した現在の国際化ドメイン名の技術標準から、避けては通れないことである。そして、いくら国際化ドメイン名の登録が増加しようとも、実際にそのドメイン名を利用できないのであれば利用者にとって魅力的なものとはなりようもなく、またそのような状況で登録者が増加し続けるということも考えにくい。

したがって、国際化ドメイン名の普及にあたっては、各アプリケーションの対応は非常に重要な要素であるが、その対応具合はアプリケーションによってまちまちな状況となっている。

現在、国際化ドメイン名への対応が最も進んでいるのは Web ブラウザである。これはインターネットユーザの多くにとって、最もドメイン名に接する機会が多いのが URL の一部としてのドメイン名であろうことを考えると、ある意味最も国際化ドメイン名への対応が望まれるソフトウェアであると言える。また、最近では、広告などにそれを見た人間が Web サイトにアクセス出来るように URL を表示する事も多く、そのような際に漢字のようなユーザにとってわかりやすいドメイン名を使えることもメリットであろう。

その Web ブラウザの対応状況であるが、Microsoft Windows 上で動くブラウザとしては、Microsoft 社の Internet Explorer もバージョン 7 より国際化ドメイン名に対応しており、The Mozilla Foundation が提供している Mozilla と Firefox、Mozilla の成果物を利用して Netscape 社の Netscape、Opera Software 社が提供する Opera など、主要なブラウザは全て標準で国際化ドメイン名に対応している。

一方、Mac OS 上で動く Web ブラウザとしては、OS に標準で提供されている Safari、The Mozilla Foundation が提供している Firefox や Camino など国際化ドメイン名を利用することが可能である。

上記以外の OS としては、Linux や FreeBSD といった PC-UNIX 系の OS でも上記 Mozilla

や Firefox などを利用することが可能であり、国際化ドメイン名の利用にあたって特段の不都合は無いと言えよう。

最近では、携帯電話などを使っての Web ブラウズも一般的になってきているが、日本国内で使われている携帯電話向けの各種 Web ブラウザについても、国際化ドメイン名対応がほぼ完了している。

このように Web ブラウザの分野においては、国際化ドメイン名を利用するための障壁はほぼ無くなったといえ、今後はユーザへの周知や普及とともに、利用が促進されていくものと考えられる。もちろん、Internet Explorer のバージョン 5 や 6 を始めとした、各種ブラウザの古いバージョンを使っているユーザはある程度確実に存在し、また使っている OS の制限からそれら全てのユーザが新しいバージョンにアップグレード出来るわけではない。ただし、各 OS のサポート期間終了の影響や、機器の買い換え需要などにより、そのようなユーザについても、緩やかではあるが状況の改善が進んでいくものと思われる。

また、携帯電話についても、PC 以上に古い世代の端末を利用するユーザが比較的多く存在し、さらにほとんどの携帯電話では、ブラウザのみをアップグレードすることはできないという問題がある。国際化ドメイン名に対応したブラウザを搭載してない携帯電話を使っているユーザにとっては、「ブラウザを国際化ドメイン名に対応したものにする＝携帯電話を買い換える」ということになることから、PC 環境での国際化ドメイン名対応とは違った難しさがあるのもまた確かである。とはいえ、こちらでも PC での OS 更新と同様に、今後国際化ドメイン名に対応した端末の総数が増えることはあっても減ることはないわけで、時間が解決してくれる問題であるとは言えよう。

一方、Web ブラウザ以外のアプリケーションにおける、国際化ドメイン名への対応状況については、Web ブラウザほど進んでいないのが現状である。一部の FTP クライアントやメールクライアントソフトなどで対応しているものが見受けられるが、Web ブラウザほどの対応状況になるにはもう少し時間がかかるものと思われる。

特に、欧米などを中心とした国々では、国際化ドメイン名以前に、マルチバイトの文字を扱う前提でソフトウェアが設計されていないことも多く、それらのソフトウェアについてはまずソフトウェア自体の国際化を行った後に、国際化ドメイン名に必要な実装を行う必要がある、そのような点からも対応にはやや時間が必要であると言えよう。

そのような状況と比較して、日本などのマルチバイトの文字を使うことが一般的な国にお

いては、普及しているソフトウェアはマルチバイトの扱いに問題が無いことが多く、そのようなソフトウェアに関しては国際化ドメイン名と Punycode を変換する仕組みを追加することによって、比較的容易に対応が可能であると考えられる。とはいえ、これも国際化ドメイン名に対するユーザの要望が少なければ、わざわざ手間をかけて実装しようというソフトウェア制作者も少ないであろうし、そういう点から考えると、ユーザが利用しないから対応しないのか、ソフトウェアが対応しないからユーザが利用しないのかといった、「鶏が先か卵が先か」という話にもなってしまいなかなか難しい点があるのも事実である。

とはいえ、国際化ドメイン名の普及というものを考えた場合、まずはユーザが容易に利用できる環境を整備することは必要不可欠であり、そのような点から考えると、やや先行投資的に各ソフトウェア会社が国際化ドメイン名への対応を進めることが重要であり、そのような動きを進めるためにも、レジストリ等は継続的にソフトウェア業界への働きかけを行っていくことが必要であろう。事実、Internet Explorer の国際化ドメイン名対応に向けては、JET のメンバーが Microsoft 社に書簡を送付して要望を出すなど、コミュニティやレジストリが積極的に働きかけた影響も大きい。

また、現在は Web ブラウザの対応が中心であるが、これは一般ユーザにとっての国際化ドメイン名の利用目的を考えた場合、まずは Web の URL としての利用が最も要望が高いと思われることから当然の状況とは言える。とはいえ、URL として国際化ドメイン名を利用するようになれば、次にそのドメイン名をメールアドレスとしても利用したいという要望が出てくると考えるのが自然であり、そういう意味では、Web ブラウザの対応が進むと同時に、メールクライアントソフトにおいても国際化ドメイン名への対応が進むことが、国際化ドメイン名の普及に向けて非常に重要である。

現在、メールアドレスの国際化については、IETFなどで標準化策定に向けて議論が続けられており、関連したRFCとしてはRFC4952¹⁶⁶などが発行されている。また、国際化ドメイン名の場合と異なり、メールアドレスの国際化については、メールアドレス全体をUTF-8で取り扱うこととし、関連プロトコルの拡張などの作業が進んでいるところである。IDN TLDでトップレベルが国際化されることとなったが、メールアドレスが国際化されることにより、一般的なユーザがよく目にするドメイン名およびそれに関連した文字列に、全て日本語などのマルチバイト文字が使えるようになる。そういう意味で、メールアドレスの国際化は、国際化ドメイン名の普及にとっても大変重要な意味を持つと言える。

ただし、国際化ドメイン名の場合と同様、技術標準の策定が終わってもそれがすぐにソフ

¹⁶⁶ RFC4952 (<http://www.ietf.org/rfc/rfc4952.txt>)

トウェアに反映されるわけではなく、またそのソフトウェアがユーザに浸透するまでにはさらに時間がかかることから、実際にユーザが国際化されたメールアドレスを一般的に使えるようになるまでには、まだもう少し時を待つ必要があると思われる。

もちろん、国際化ドメイン名の登録サービスを提供する各レジストリにおいても、このような状況を時間の経過による解決にまかせて座視しているわけではなく、.jpを管理するJPRSのように、メールを利用するユーザやメールクライアントソフトウェア作者向けのガイドラインを発表する¹⁶⁷など、環境を整えるために積極的に活動しているレジストリも存在する。

なお、VeriSign, Inc が国際化ドメイン名に対応しているアプリケーションの情報を Web サイトで提供しているが、そのサイトの情報によると、現在国際化ドメイン名に対応している主なアプリケーションは以下のものとなっている。もちろん、ここに挙げられているのは主要なソフトのみであり、これ以外にも対応しているソフトウェアは多くあると思われる。

とはいえ、国際化ドメイン名の対応に関する傾向を見て取ることは可能であり、対応表を見てもわかるように、国際化ドメイン名に積極的に対応しているのは、Microsoft Windows 上で動くアプリケーションが多いようである。

表 21 国際化ドメイン名に対応している主なアプリケーション

ソフトウェア種別	製品名	サポート OS
Web ブラウザ用 Plug-in	i-Nav	Windows
Web ブラウザ	Camino	Mac OS X
	Epiphany	Linux 等
	Firefox	Windows Mac OS X, Linux 等
	Galeon	Linux 等
	Konqueror	Linux 等
	Internet Explorer	Windows
	Netscape Navigator	Windows Mac OS X, Linux 等

¹⁶⁷ JPRS 「電子メール本文中の日本語ドメイン名 URL をクリックできるようにするには」
http://xn--wgv71a119e.jp/support/mail_guide/

ソフトウェア種別	製品名	サポート OS
	Opera	Windows Mac OS X, Linux 等
	Safari	Mac OS X
電子メールソフト	Foxmail	Windows
FTP クライアント	Core FTP	Windows
	FTP Voyager	Windows
	Secure FTP	Windows
	Smart FTP	Windows
	NextFTP	Windows
TELNET/SSH クライアント	Absolute Telnet	Windows
	Secure NetTerm	Windows
電子メールサーバソフト	Merak MailServer	Windows
	PHlyMail	Windows
	VisNetic MailServer	Windows
プログラム言語	Active Server Pages /ActiveX	Windows
	C/C++	Windows Mac OS X, Linux 等
	Java	Windows Mac OS X, Linux 等
	PERL	Windows Mac OS X, Linux 等
	PHP	Windows Mac OS X, Linux 等
	Python	Windows Mac OS X, Linux 等
ユーティリティ/その他	3d Traceroute	Windows
	Curl	Windows Mac OS X, Linux 等
	JabberD	Linux 等
	Hiki	Windows Mac OS X, Linux 等

(参考 : IDN-Enabled Applications

http://www.verisign.com/information-services/naming-services/internationalized-domain-names/page_

002201.html)

第3部 IP アドレスの管理と活用に関する世界的な
動向

1 IPv4 アドレスの消費状況と、枯渇に関する
議論の動向

1 IPv4 アドレスの消費状況と、枯渇に関する議論の動向

1-1 IPv4 アドレスの消費状況と今後の予測

IPv4 アドレスの枯渇予測は過去に何回も議論の対象となってきた。古くは 1994 年に IETF の ALE(Address Lifetime Expectations) ワーキンググループによって、2008 年±3 年に枯渇するという予測¹⁶⁸がされたのを始めとして、2001 年には Jawad Khaki 氏が 2009 年に枯渇するとの予測を発表¹⁶⁹、他にも様々な予想が提示されたが、2003 年に APNIC の Geoff Huston 氏の独自予測が発表され、結果として RIR 関係者により信頼の置ける予想として広く受け入れられた。この後、Huston 氏の予測は IANA からの割り振り量の増加等の要因に伴い何回か見直されたが、現在（2009 年 3 月）に至るまで広く RIR 関係者の支持を得ている。この Huston 氏の予測によると、IANA の IPv4 アドレス在庫が尽きるのは 2011 年 4 月、RIR の IPv4 アドレス在庫が尽きるのは 2012 年 7 月とされている。現在世界各地で IPv4 アドレス在庫枯渇にどう対応するか議論が活発化しているが、そのほとんどはこの予測をもとに行われていると言える。

Huston 氏は、日々更新される割り振りデータを基に自身の枯渇時期予測を毎日自身のウェブサイト上¹⁷⁰で更新している。2007 年 3 月時点では IANA 在庫アドレス枯渇時期 2012 年 7 月 15 日とされていたので、IANA における IPv4 アドレス枯渇の予測時期は、この 2 年で 1 年ほど早まったということになる。

IPv4 アドレスの消費ペースが落ちている兆しは今のところ見られない。IANA から RIR への割り振り状況を見ても、2004 年には 8 が 9 個、2005 年には 13 個が割り振られている。2006 年には 10 個、2007 年には 13 個が割り振られ、概ね年間で 10 個前後の 8 が消費し続けられている状況と言える。2008 年は 8 が 9 個、2009 年 3 月現在では同 2 個割り振られており、実際にグローバルアドレスとして利用できる 8 の IANA における在庫数は 2009 年 3 月現在で 32 個となった。過去の割り振り状況から将来の枯渇時期を予測するという Huston 氏の予測手法に立脚した予測時期が 2006 年まではだんだん早まっていたものの、2008 年以降は少しずつ後ろへずれてきたこと、およびいわゆる「駆け込み需要」などが発生する可能性もあることから消費状況の予測は容易ではなく、今後の割り振り状況が注目される。

¹⁶⁸ <http://www3.ietf.org/proceedings/94dec/ipng/ale.html>

¹⁶⁹ <http://www.jp.ipv6forum.com/2001/program/slides/K1.ppt>

¹⁷⁰ <http://www.potaroo.net/tools/ipv4/>

こうした中、JPNICではHuston氏の予測手法とは別の方法でIPv4アドレスの在庫枯渇時期の予測、再検証を行った。情報通信技術関連の需要要因を示すさまざまな経済指標を基にJPNIC独自の予測を行ったものであるが、この独自予測も2010年から2011年にIPv4アドレスの在庫枯渇に到達するという結果を得て、Huston氏の予測の信頼性を確認している。JPNICの予測手法の詳細については、「IPv4アドレス在庫枯渇問題に関する検討報告書(第一次)」¹⁷¹を参照いただきたい。

同報告書では、分配済みのIPv4アドレスの回収可能性についても検討している。歴史的PIアドレスをはじめとする既存(分配済み)アドレスの中には未利用の状態であるものが相当数存在しており、それらを回収すればIPv4アドレスの在庫枯渇時期を遅らせることができるという意見が多く出ている。歴史的PIアドレスに関する取り組みは既に開始されているものの、在庫枯渇対応といった大きな目的を持って未利用アドレスを回収することに関して本格的な検討が行われていなかったことを背景に、在庫枯渇問題に大きく寄与できるほどの回収量が期待できるのかどうかについて、および回収できたアドレスについて本当に利用しやすい状態となっているのかどうかについて検討したものである。

検討によると、未利用アドレスを回収し活用することの可能性、課題は以下のようにまとめられる。

- 小分けされた形の返納を許すことで、回収再利用の可能性は高まる。
- 一方で、回収により再度割り振り供給に回せるアドレス量は最大でも/8が数個程度と考えられる。
- 上記アドレス量は、直近2年間で見たとき、数ヶ月分のアドレス需要を満たす分量に過ぎない。
- したがって、未利用アドレス空間の回収、再利用は短期的には有効かつ不可欠の活動ではあっても、長期的に見たときの有効な解決策にはならないものと考えられる。
- 小分けにされたルーティングが増えることで、事業者にとっては設備増強等の負担増が必要となる。コミュニティ全体として、このコスト負担が可能かは不確実であり、到達性において不安定なアドレスブロックが発生する可能性がある。
- 積極的なIPアドレス返納を可能とする新たな仕組み作りが必要であり、IPアドレス在庫が深刻な状況になる前に、短期間の間に世界的コンセンサスを形成する必要がある。

この見方はJPNICのものだけではなく、IANAの担当者も同様な見方をしている。IANAの

¹⁷¹ <http://www.nic.ad.jp/ja/ip/ipv4pool/ipv4exh-report-071207.pdf>

担当者がICANN blogに投稿した記事¹⁷²によると、これ以上歴史的PIアドレスの返却が進むとは考えにくく、返却されたとしても長期にわたる需要を支えるには圧倒的に供給が不足するだろうとの見方が示されている。

一方、2008年2月のAPNICミーティングでは、非常に限られた数のISPが、2007年に割り振られたアドレスの大部分を消費しており、今後もそれらISPの割り振り申請が続くのか、もしくは新興国の需要が今後活発化してきた際に同様の需要の伸びを示すのか、慎重に見極める必要がある、との指摘もなされている。

IPv4アドレスの駆け込み需要が既に発生しているという可能性もあり、なお実際の枯渇時期は流動的であるともいえるだろう。しかし、複数の予測がIANAにおける在庫枯渇を2011年前後としており、残された時間は多いとは言えない状況であることは確かである。

以下参考として、2009年3月11日現在でIANA予約アドレスまたは在庫とされているIPv4アドレスを示す。この空間には実際にはグローバルアドレスとして利用できない空間が含まれている。グローバルアドレスとして使えないものにはその旨注記したので確認いただきたい。

アドレスブロック	利用状況、備考
0.0.0.0 – 0.255.255.255	IANA 予約空間。グローバルアドレスとしては利用不可。
1.0.0.0 – 2.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(2 * /8)
5.0.0.0 – 5.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
10.0.0.0 – 10.255.255.255	IANA 予約空間 (プライベートアドレス用)。グローバルアドレスとしては利用不可。
14.0.0.0 – 14.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
23.0.0.0 – 23.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
27.0.0.0 – 27.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
31.0.0.0 – 31.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
36.0.0.0 – 37.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(2 * /8)
39.0.0.0 – 39.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
42.0.0.0 – 42.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
49.0.0.0 – 50.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(2 * /8)
100.0.0.0 – 107.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(8 * /8)
127.0.0.0 – 127.255.255.255	IANA 予約空間 (ループバックアドレス用)。グローバルアドレスとしては利用不可。

¹⁷² <http://blog.icann.org/?p=271>

アドレスブロック	利用状況、備考
175.0.0.0 – 177.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(3 * /8)
179.0.0.0 – 183.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(5 * /8)
185.0.0.0 – 185.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
223.0.0.0 – 223.255.255.255	IANA 在庫。利用可。(1 * /8)
224.0.0.0 – 239.255.255.255	IANA 予約空間 (マルチキャスト用)。グローバルアドレスとしては利用不可。
240.0.0.0 – 255.255.255.255	IANA 予約空間。グローバルアドレスとしては利用不可。

上記で示すとおり、240.0.0.0 – 255.255.255.255 はいわゆるクラスEとして実際にはグローバルアドレスとしては使えない空間である。しかし、これを大規模ISPの内部ネットワーク用として、プライベートアドレス的に使う空間に指定しようという動きがある。2007年9月に行われたAPNICミーティングでこの活動が紹介され¹⁷³、インターネットドラフトとなっている¹⁷⁴。仮にこの空間の使用をポリシーで定めたとしても、使える状態にするにはそのアドレスを扱う全てのホスト、ノード、ネットワーク機器が対応しなければならないため実現は難しく、2009年3月現在、この空間はまだ内部ネットワーク用途に使えるような状態にはなっていない。

1-2 IPv4 アドレス在庫の枯渇に関する議論の状況

各地域においてどのようなIPアドレス管理ポリシーが提案され、議論されているかについては本報告書内の第1部3-1で概説したが、本項では特にIPv4アドレス在庫の枯渇に関するポリシー提案について詳しく触れる。また、アドレスポリシーの議論とは別にIPv4アドレス在庫の枯渇に関してどのような議論が行われているかもあわせて触れる。

1-2-1 IPv4 アドレス在庫の枯渇に関するポリシー提案とその議論

- グローバルポリシー

IPv4アドレスの在庫の枯渇が迫る中、IANAが管理するグローバルIPv4アドレスの最後の割り振り方式を今のうちに決めておこうという動機から、残存IPv4アドレスのIANAか

¹⁷³ <http://www.apnic.net/meetings/24/program/sigs/policy/presentations/wilson-class-e.pdf>

¹⁷⁴ <http://tools.ietf.org/html/draft-wilson-class-e-02>

ら RIR への割り振りポリシー（グローバルポリシー）が提案され、全 RIR および ICANN 理事会にて承認された。内容については第 1 部 3-1-1 で詳述したのでそちらを参照いただきたい。

- 地域ポリシー

2008 年度は 2007 年度に引き続き、現行ポリシーでは禁止されている IPv4 アドレスの移転関連のポリシー提案および議論が中心となった。

[APNIC : IPv4 アドレス移転]

2007 年 9 月に開催された APNIC 24 ミーティングでは、IPv4 アドレス枯渇関連ポリシーとして「IPv4 アドレスの移転を認める」という提案が提出された。提案の全文訳を以下に示す。

■ 提案日本語訳¹⁷⁵

(1) 序論

この提案は、APNIC ポリシー中の、APNIC アカウント保持者間での IPv4 アドレス割り振り登録及び IPv4 PI アドレス登録の移転禁止の制限を撤廃するものである。この提案は、歴史的 PI アドレス移転ポリシーの改良版であり、現在の APNIC アカウント保持者が持っている IPv4 資源に適用される。

(2) 要約

アドレス保持者の移転登録に関する現在の APNIC ポリシーでは、移転の資格を、運用されているネットワークを管理する組織の合併、買収の場合に制限している。

割り振られていない IPv4 アドレスプールは 2009 年から 2011 年という時間に枯渇することが予想されている。アジア太平洋地域では、大変な量の投資が IPv4 ベースのサービスになされており、IPv6 ベースのサービス提供への移行はおそらく IPv4 アドレスプールが枯渇するまでよりも時間がかかると思われる。従って、IPv4 アドレスへの需要は IPv4 アドレスプール枯渇後も続き、その需要を満たすため、アドレス保持者間のアドレス移動が起こる期間が到来すると思われる。

¹⁷⁵ 原文は <http://www.apnic.net/policy/proposals/prop-050-v001.html> を参照。

現在のアドレス配布状況を正確に記録することが、APNIC アドレスレジストリの目的である。

この提案は、APNIC が現在の APNIC アカウント保持者間のアドレス移転を認めることを唱えるもので、APNIC によって IPv4 アドレス移転の登録がなされるよう、移転を行う者に前提条件としていくつかの制限を設けるものである。

(3) 他 RIR の状況

現在どの RIR も、移転を認めるポリシーは施行していない。

(4) 提案詳細

このポリシーが採用されると、APNIC は以下の条件に従い、IPv4 アドレスの移転申請を進める。

[IPv4 アドレスブロックの条件]

- /24 もしくは/24 より大きい IPv4 アドレスブロックのみが移転できる。
- アドレスブロックは、APNIC によって管理されているレンジでなければならない。これは、IANA が APNIC に割り当てた/8 ブロックの一部か、歴史的経緯を持つアドレスで現在 APNIC が管理しているアドレスのいずれかである。
- アドレスブロックは、現在 APNIC アカウント保持者へ割り振り、もしくは割り当てられているものでなければならない。
- アドレスブロックは、移転後は現在の APNIC ポリシー全てが適用される。これは、「歴史的経緯を持つ」とされていたアドレスブロックも同様である。

[移転元に関する条件]

- 移転元は現在の APNIC アカウント保持者でなければならない。
- 移転元は現在 IPv4 アドレス資源の保持者として登録されていなければならない、それらの資源の状況について、何ら紛争に巻き込まれていないこと。
- 移転元は、移転後 24 ヶ月は APNIC から追加の IPv4 割り振りもしくは割り当てを受けることはできない。

- APNIC から IPv4 アドレスが入手可能である限りにおいて、24 ヶ月の割り振り、割り当て禁止期間の後、APNIC へ IPv4 アドレスの申請を将来行う際は、移転元は IPv4 アドレス割り振りを必要とする理由を文書で示さなければならない。

[移転先に関する条件]

- 移転先は、現在の APNIC アカウント保持者でなければならない。
- 移転先組織は、現在の APNIC ポリシーの適用を受ける。特に、APNIC へ追加の IPv4 割り振り申請を行う場合、移転先は移転を受けたアドレスを含め全てのアドレスについて説明を求められる。
- APNIC へ払う維持料は、全ての保持資源をベースに計算される。

[アドレス移転プロセス]

APNIC が移転元及び移転先双方から通知を受けた後、

1. 移転の対象となったアドレスに関する登録記録を APNIC が更新する。
- APNIC が移転元のアドレス保持を、移転の時点で調整する。メンバーシップ料金及び（もしくは）サービス料金の観点からは、その時点で APNIC に返却があった場合と同様に取り扱われる。
 - APNIC が移転先のアドレス保持を、移転の時点で調整する。メンバーシップ料金及び（もしくは）サービス料金の観点からは、その時点で APNIC が割り振りもしくは割り当てを行った場合と同様に取り扱われる。
 - 以下の移転に関する詳細情報は、APNIC によって資源移転の記録として公開される。
 - 移転元
 - 移転先
 - アドレス資源
 - 移転日

[移転費用]

APNIC は移転のトランザクション毎に移転先に対し課金を行うことができる。課金額は移

転されるアドレスブロックの量に応じて決定される。

移転費用は、このポリシーの採用時には当初 APNIC 理事会によって決定される。移転費用は将来 APNIC の料金レビューの対象に含まれる。

(5) 提案の長所・短所

[長所]

APNIC アカウント保持者が持っている IPv4 アドレスの実際の状況を、APNIC レジストリが反映し続けることができる。

登録されない IPv4 アドレス移転から生じる、ネットワークの完全性、ルーティングやアドレスリングのインフラへのリスクを軽減することができる。この提案は、アドレス移転の存在を認め、その結果を登録することで、APNIC アドレスレジストリが資源及び資源保持者の正確なデータを維持し続けられるようにするものである。この提案はまた、この登録の正確性に依拠している者も、現状及びその情報の正確性に今後も依拠し続けられるようにする提案である。

使われていない IPv4 アドレスを、使えるようにするより強いインセンティブを与え、IPv6 への移行に向けた残りの IPv4 アドレス需要を満たすための一助となる。

[短所]

将来において IPv4 アドレス空間を得るための唯一の手段として市場ベースのシステムができることに関する懸念が表明されている。また、出し惜しみや投機、価格操作などの市場が失敗する可能性への懸念も表明されている。

これらのリスクを低減させる要因は多数ある。IPv6 への移行が進むにつれ、IPv4 アドレスの市場価値は下がり、増加する IPv6 ネットワークにおける IPv4 ベースのサービスという、低価値のサービスと同等にまでになる。また、APNIC にまだ IPv4 アドレス空間があるうちにこのポリシーを採用すれば、APNIC の現在確立された IPv4 アドレス割り振りプロセスが続くので、これが市場へ供給される代替物となり得る。

(6) APNIC メンバーへ及ぼす効果

APNIC メンバーは、APNIC アカウント保持者間での IPv4 アドレス移転を登録することが

できる。

(7) NIR へ及ぼす効果

本提案は、NIR で管理されている IPv4 アドレスについてはその範囲外である。また、移転元、移転先が NIR 管理の組織である場合も同様である。

この提案は現在原則として認められていない IPv4 アドレスの移転を認めるものである。提案では、移転元と移転先の当事者同士がどのようなルールで移転を取り決めるかについては何も規定していないため、実質的には「売買」を黙認するだと捉える見方もある。

提案者としては「アドレス売買といった移転は IPv4 アドレスの在庫が少なくなるにつれ必ず起こるものであり、現に起こっているケースも見られる。そうであれば、今のうちから移転を通常ルールの下で可能にし、使用の実態が正しく WHOIS データベースに反映するようにルールを整備するべきだ」と主張している。

2007 年 9 月の会場での議論では、IP アドレスは売買されるべきではないが、現実それが起こる可能性がある以上、こういったポリシーを施行するのはやむを得ないとする意見がある一方で、移転が現実化することをポリシー面が後押しすることに躊躇する意見もあった。移転ポリシーの制定に積極的な意見の中でも、RIR 間での移転を認めるべきではないかとする意見や、移転可能なサイズを/24 に限定すべきではないのではないかといった条件面での異論が出てきたため、2007 年 9 月の APNIC ミーティングでは、提案自体に対してコンセンサスを求めることはせず、継続議論の扱いとなった。

この提案は引き続き 2008 年 2 月の APNIC 25 ミーティングでも議論された。提案は一部変更がなされていたが、その変更内容は以下の通り¹⁷⁶である。

(3) 他 RIR の状況

(前回から追加)RIR 間での移転を認めることは提案者の目的ではない。RIPE では同様な提案が提出されている。

[アドレス移転プロセス]

(前回から追加)集約可能性を保つため、移転先組織は APNIC に対し、移転を受けたアドレスを未割り振りプールに返却することを通告し、同じ大きさのアドレスブロックを移転先組織に登録することができる。このオプションは、移転先組織の判断により、移転先組織が利用することができる。

¹⁷⁶ 修正提案の全文 (原文) は <http://www.apnic.net/policy/proposals/prop-050-v002.html> を参照。

上記の通り修正は最小限にとどまっております、主要部分に変更はない。2008年2月のAPNICミーティングでは、「この提案は実質的にIPアドレスの市場化を生む。市場化はされるが規制は実質的に無いということであれば、規制当局が必ず介入してくる。規制当局に対して、この提案がIPv4アドレスのみに適用され、IPv6には適用されないなどということの説明することは非常に困難である。結局、今のIPアドレス管理体制が様変わりする危険もはらんでおり、パンドラの箱を開けるようなものだ。」という強い懸念が表明された。また、「リースという概念を維持するよう提案を見直すべき。」という意見や「/24以上の大きさのアドレスに限定する、ということはポリシーではなく、実際の運用に任せるべき」という意見も出された。一方で「こうした枠組みは絶対に必要。大枠は正しいのだからまずは施行して、細部は必要に応じて変えていけばよい」という意見や、「RIPEで提出されているような（注：後述）一時的な移転という考えと取り入れるべきだ」という意見も出た。全体として、移転を認めることもやむなしとする意見が多数となり、その実装方法に様々な異論があるという状況になってきている。

この議論を受け、2008年2月のAPNIC 25ミーティングでも結論を出すのは避け、継続議論を行うこととなった。

2008年9月に開催されたAPNIC 26ミーティングでは、同年7月に提出された提案第3版について議論が行われた。この版でなされた変更点は、提案内容自体は変わらず移転によるメリット、デメリットの記載の追加が中心であった。議論においては、移転に伴うアドレス管理以外の影響の検討について、及び施行時期についてAPNIC在庫枯渇後でよいのではないかという疑問が表明された。また、日本の参加者より、アドレス管理外の影響検討のためのワーキンググループ設立が提案されたが支持は得られなかった。挙手の結果はおよそ3:2で賛成のほうが多く確認されたものの、議論で十分に合意が得られていないこと、賛成数が圧倒的多数ではなかったことから継続議論となった。

2009年2月に行われたAPNIC 27ミーティングでは、議論の結果次の3点がポリシー第4版¹⁷⁷に盛り込まれた上でコンセンサスに至った。

[移転範囲]

- NIRとAPNICアカウントホルダー間の移転を認める
- APNICと他のRIR間の移転を認める
(どちらも当該NIR/RIRでAPNICとの移転を認めた場合)

¹⁷⁷修正提案の全文(原文)は<http://www.apnic.net/policy/proposals/prop-050-v004.html>を参照。

[実装時期]

事務局での準備が整い次第施行（在庫枯渇時期まで待つことはしない）

[移転後割り振り申請禁止期間の撤廃]

「移転元が移転後 24 ヶ月は APNIC から追加の IPv4 割り振りもしくは割り当てを受けることはできない」とした規制は撤廃された。

なおコメント期間中である 2009 年 3 月現在、メーリングリストでは本ポリシーを実施した場合の影響についての想定などが活発に議論されている。

[APNIC-RIR 間で IPv4 アドレスの在庫を融通し合う提案]

2008 年 2 月の APNIC ミーティングに、RIR 間で IPv4 アドレスの在庫を融通し合う提案が提出された。概要を以下に示す。

■ 提案概要¹⁷⁸

いずれかの RIR の IPv4 アドレスの在庫が残り 30 日分になった時点で、他の 4RIR の在庫が何日分あるかの調査を行う。在庫枯渇まで最も時間的余裕がある RIR は、他 RIR へ IPv4 アドレスの割り振りを行う。割り振り手順は、割り振り元の RIR の手順に従う。

割り振りを受ける RIR は、3 ヶ月の需要を満たすだけの割り振りを要請することができるが、その量は割り振り元 RIR の総在庫の 8 分の 1 を超えてはならない。

割り振り元 RIR の在庫の 8 分の 1 が、割り振り先となる RIR の 30 日分に達しない場合は、割り振り先の RIR は配下の LIR からの割り振り申請をまとめて毎週 1 回、割り振り元の RIR へ提出するものとする。

この提案は、IANA における IPv4 アドレスの在庫が枯渇した後なお残っている RIR の在庫を RIR 同士で融通し合い、全 RIR における在庫の枯渇を同時期に揃えようというものである。2008 年 2 月の APNIC ミーティングでは、「この提案は本質的に、先進国が発展途上国から在庫アドレスを奪いに行くようなものだ」という強い反対意見、「手順が複雑すぎて実施できないのではないか」という懸念、「何を解決しようとしているのか理解できない」などという意見が出され、支持されることなく却下となった。

¹⁷⁸ 提案本文（原文）は <http://www.apnic.net/policy/proposals/prop-052-v001.html> を参照。

[ARIN/APNIC : ソフトランディングポリシー]

ARIN および APNIC には、IPv4 アドレスの在庫が少なくなるにしたがって追加 IPv4 アドレス申請の要件を厳格化し、あわせて IPv6 の実装を義務づけ、円滑な IPv6 への移行につなげようという「ソフトランディングポリシー」が提案された。提案の概要は以下の通りである。

■ 提案概要

IPv6 への円滑な移行を図るため、IANA の IPv4 アドレス在庫が減少するに従い、LIR への IPv4 割り振り要件を順次厳しくする。IANA の /8 の在庫がそれぞれ 40、25、10 を切ったときで 3 つのフェーズに分けられており、最も厳しいケース(10 を切ったとき)の要件は以下の通り。

- IPv6 の移行計画に関する調査に対し回答すること。
- 過去に割り振りを受けたアドレスの 100%を効率的に使っていること、かつ、一番最近に割り振りを受けたアドレスの 90%を使用していること。
- 割り当てを行う場合、その割り当ての 75%を直後に、90%を 1 年後に使うこと。
- 自社インフラに使用しているグローバルアドレスのプライベートアドレスもしくは IPv6 への移行計画を提示すること。移行不可の場合、その理由を提示すること。
- IPv6 インフラ及び接続サービスを提供していること。

この提案の目的の一つに、「IPv4 アドレスの延命を図る」というものがあったが、APNIC の Geoff Huston 氏がこの提案が実施されたと仮定して在庫がどれほど延命できるか独自の予測モデルにあてはめて試算したところ、約 1 ヶ月という答えが出た。提案者はこの予測結果を聞き、それではこの提案の目的の半分が達成できないということで APNIC/ARIN へ提出した提案を撤回し、取り消している。

[RIPE : IPv4 アドレスの再割り振り (reallocation) を認める提案]

2007 年 10 月に、IPv4 アドレスの全部もしくは一部の第三者への再割り振りを認める提案が RIPE に提出された。概要を以下に示す。

■ IPv4 アドレスの再割り振りを認める提案¹⁷⁹

いかなる LIR も、それまでに RIPE NCC もしくは IANA から割り振りを受けた IPv4 アドレス空間 (現在割り当てが行われていないアドレス) の全部もしくは一部を再割り振り (re-allocate) することができる。

再割り振りは、RIPE NCC のサービス提供エリア内の LIR に対してのみ行うことができる。再割り振りするアドレス空間は、その時点における最小割り振りサイズを下回る大きさであってはならない。

再割り振りは RIPE データベースに反映される。この再割り振りは、恒久的でも良いし、一時的でも良い。この再割り振りは RIPE NCC に通知され、RIPE NCC が割り振り先の変更を記録する。

再割り振りされたアドレス空間は、現在の割り振り先を明確にするためその旨表示される。

この提案は一見 LIR が別の LIR に対して「インターネットサービスを提供して」IP アドレスの割り振りを行うことを可能にするものであるかのように見えるが、実はそうではなく、「インターネットサービスを提供することなく」IP アドレスのみを再割り振りすることを可能にするものである。実質は移転と同じ効果を持つとも言える。

本提案は 2008 年 5 月の RIPE 56 ミーティングでも議論されたが継続議論となり、2008 年 10 月の RIPE ミーティングで議論された上で同年 12 月に承認された。

RIPE ミーティングまたはメーリングリストにて表明された主な懸念事項は、以下の 3 点であった。

1) IP アドレスに金銭的な価値が発生する

¹⁷⁹ 原文は <http://www.ripe.net/ripe/policies/proposals/2007-08.html> を参照。

2) IP アドレスの取引市場の創出

3) 移転の承認よりも回収再分配を行うべき

RIPE ミーティングにおいて、1 点目と 2 点目の懸念に対して、提案者は実際にアドレスが売買されている事例を、事業者がどのようにアドレスの分配先へコンタクトをとり、最終的に移転を実現するのかという流れも含めて紹介した上で、アドレスの売買は本提案の有無に関わらず現在既に行われており、従ってアドレスに金銭的な価値は今でも付けられている、とした。3 点目の懸念に対しては、RIPE NCC よりこれまで回収された IPv4 アドレスの統計が提供され、回収されたアドレス数が微量であることの説明があった。このようにコミュニティからの懸念への対策を提案者が示したことから、納得する参加者が大勢となり、メーリングリストでの議論を経て承認、施行に至った。

[ARIN : アドレス移転提案]

ARIN 地域においても、IPv4 アドレスの移転を認める提案が提出されている。

以下に詳細を示す。

■ IPv4 アドレスの単純移転を認める提案¹⁸⁰

IANA の IPv4 未割り振り空間が枯渇した後、ARIN は以下の条件で IPv4 アドレス移転の申請審査を進める。

[移転元の要件]

- 移転元が ARIN サービス提供エリアに存在していること。
- 移転元が IPv4 アドレス移転の記載がなされている契約書にサインしていること。
- 移転元が ARIN に対し未払い債務がないこと。
- 移転元が過去 24 ヶ月の間に ARIN から割り振り、割り当て、アドレス移転を受けていないこと。
- 移転元は移転を行ってから 24 ヶ月の間は ARIN に対し IPv4 アドレス割り振り申請、割り当て申請、移転申請を行うことができない。

[移転先の要件]

- 移転先が ARIN サービス提供エリアに存在しており、移転を受けた IPv4 アドレスを ARIN サービス提供エリアで使用すること。
- 移転先が ARIN に対し未払い債務がないこと。
- 移転先のアドレス必要性は、現在の ARIN ポリシーにしたがって ARIN が判断を行う。その際には過去の IPv4 アドレス割り振りの利用率、割り当ての利用率、過去に移転を受けたアドレスの利用率の確認を含むが、これに限らない。
- 移転先が IPv4 アドレス移転の記載がなされている契約書にサインする（している）こと。
- 移転先が過去 24 ヶ月の間に ARIN から割り振り、割り当て、アドレス移転を受けていないこと。
- 移転先は移転を受けてから 24 ヶ月の間はさらなる移転を行うことはできない。ただし、倒産などの場合を除く。
- 移転先は、6 ヶ月に 1 個の IPv4 アドレス移転のみ受けられる。

[移転される IPv4 アドレス空間に関する条件]

¹⁸⁰ 原文は http://www.arin.net/policy/proposals/2008_2.html を参照。

- IPv4 アドレスブロックは、最小割り振りサイズの規定を満たすものでなければならない。ただし、/24 より大きく、最小割り振りサイズより小さいアドレスについてはそのまま移転はできるが、分割してはならない。
- IPv4 アドレスブロックは ARIN サービス提供エリア内での使用として登録されていなければならない。これは、IANA から ARIN に割り当てられたアドレスの一部であるか、ARIN サービス提供地域への歴史的割り当てである必要がある。
- 移転元の IPv4 アドレスブロックの割り振り、割り当ての状態において紛争があってはならない。
- 移転元は、自己利用のために当初受けた割り振りもしくは割り当てのうち、1つの連続した空間を保持し続けることができ、その他の空間を移転することができる。移転されるアドレス空間が複数の集約不能な CIDR ブロックからなる場合は、それぞれを個別に移転することができる。保持し続けるアドレスは 12 ヶ月の間、分割を行ったり移転を行うことはできない。

[料金]

- 移転完了に伴い、ARIN 料金体系に基づく移転費用支払いが発生する。
- 移転先は、移転先が保持するアドレス総量に応じ、将来の ARIN メンバーシップと費用の規定の適用を受ける。

[事前審査]

- 移転先は移転を受ける前に、移転を受ける資格があることを ARIN に証明する必要がある（現在の ARIN ポリシーに従った必要性を満たしていることの証明を含む）。事前審査が終了次第、ARIN は移転を受けることができる最大のアドレスサイズを含んだ証明書を提供する。
- 移転元は、移転の申し出を行う前に、移転を申し出る資格があることを ARIN に証明する必要がある（未払い債務がないこと、契約にサインしていることを含む）。事前審査が終了次第、ARIN は移転元が移転することができるネットワークアドレスとサイズ、及び移転を行うことのできる期日を含んだ証明書を提供する。

[本プロセスによる IPv4 アドレス移転のセーフハーバールール]

移転できると認められた IPv4 アドレスについては、事前審査によって定められた移転期日の到来もしくは移転の完了まで、ARIN の監査の対象から外れる。事前審査によって定められた期日が到来した場合、さらに事前申請を受けて監査対象から外れるまでに、監査実施のため 90 日までの期間待つことができる。これは監査免除の終了期日を延長しない。

[IPv4 アドレスを共同保有、管理している組織へ（から）の移転]

(略)

[単純 IPv4 移転の記録管理と公開]

ARIN は移転先と移転元の便宜を図るため、事前審査を通過した移転可能 IPv4 アドレスブロックおよび事前審査を通過した IPv4 アドレス需要を中央管理するリスティングサービスを提供する。

移転完了後、ARIN は IPv4 アドレスの登録情報を更新する。ARIN は移転先および移転元の情報も更新する。

移転後、ARIN は移転されたアドレスブロックについて現在の割り振りもしくは割当先を反映した WHOIS データを公開する。ARIN はまた、当該アドレスブロックの過去の割り振り先、割当先も公開する。全ての移転、アドレスブロック、移転先、移転元、日付についても同様である。

この提案は 2008 年 2 月に ARIN のメーリングリストに提出された。当初の議論では、移転の細かい条件に関して異論を唱える意見が多数見られるものの、移転を認めること自体を問題視する意見は少数派のようであった。APNIC や RIPE に提出された提案に比べ、かなり厳しい、かつ細かい要件を課していることもあり、今後の議論が注目されたが本提案は 2008 年 4 月の ARIN ミーティングで議論された後廃案となった。

別の提案が 2008 年 8 月に ARIN のメーリングリストに提出された後、同年 10 月の ARIN ミーティングにて議論された。後者で実施された賛否の挙手ではおよそ賛成 3 : 反対 2 の割合となり、理事会による承認も間近であると思われる。本提案の概要は次の通り。

■ IPv4 アドレス暫定移転ポリシー

[移転の要件]

- ARIN から利用状況を承認されたうえで移転が認められる
- 移転先は ARIN と契約締結をしていることが必要
- 期間は 3 年間に限定

[分配サイズ]

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">- 割り振りサイズから最大 4 ビットまでは分割可能- ただし、ARIN の承認が必要 |
|--|

なお、これらの移転に関する提案は 3 地域でそれぞれ別の提案者から提出されており、2009 年 3 月現在これらの提案を統合しようという動きは出てきていない。

[APNIC 地域におけるその他の枯渇期ポリシー提案]

2009 年 9 月開催の APNIC 26 ミーティングでは、次のポリシーが提案されコンセンサスに至った。

APNIC における最後の IPv4 /8 在庫の利用を次の通り限定：

- ◇ /16 1 個を予想外の事態のために予約
- ◇ 新規、既存とも事業者への割り振りは最小サイズ(/22)に限定

2009 年 2 月開催の APNIC 27 ミーティングでは、次の 2 点のポリシーが提案されたが、いずれもコンセンサスには至らずに終わっている。

- IPv4 割り振り承認期間の短縮：割り振り申請時に現在は最大 1 年分まで承認されている需要を、6 カ月分に短縮
- IANA の IPv4 アドレスの在庫が少なくなるに従い、IPv4 アドレスの最大割り振りサイズを小さくする

- その他の議論

[ICANN、RIR、NIR 等の声明]

2007 年の RIR ミーティングは、IPv4 アドレス枯渇対策が主要な議題とも呼べる状態での RIR に行っても IPv4 アドレス枯渇の議論の紹介、ポリシー議論が行われていた。そんな中、各組織から続々と IPv4 枯渇に関する声明が発表された。主なものを以下に示す。

発表組織	発表日	主な内容
ARIN ¹⁸¹	2007/5/21	1. 2010 年前後に IPv4 アドレスの在庫は枯渇する。 2. 将来のインターネットの成長を支えるのは IPv6 である。 3. IPv6 の採用を広く推奨する。 4. 在庫枯渇及び IPv6 の採用に関する周知活動に注力する。 5. 既存の意思決定プロセスを尊重し、今後もボトムアップで IP アドレスポリシーの策定を行っていく。
LACNIC ¹⁸²	2007/6/20	
AfriNIC ¹⁸³	2007/7/1	
APNIC ¹⁸⁴	2007/9/7	
RIPE NCC ¹⁸⁵	2007/10/26	

この他にも、ICANN 理事会決議やメキシコの NIR である NIC Mexico¹⁸⁶、APNIC 地域の NIR である TWNIC¹⁸⁷ や CNNIC¹⁸⁸ も声明を発表している。いずれの組織も IPv4 アドレス在庫枯渇に対応する策は IPv6 の採用であるということが共通している。

JPNIC も 2007 年には独自の検討チームによる検討を重ね、2007 年 12 月 7 日に「IPv4 アドレス在庫枯渇問題に関する検討報告書」を公開¹⁸⁹した。これによると、IPv4 アドレスの需要予測を各種経済指標から再検討し、在庫枯渇が 2010 年から 2011 年になることが再確認された。また、IPv4 アドレス在庫枯渇への対応策としては、(1) 自網内からの捻出など何らかの方法で IPv4 アドレスを確保する、(2) プライベート IPv4 アドレスを利用して新規顧客を収容し、NAT（ネットワークアドレス変換機構）を介してインターネットに接続する、(3) IPv6 を利用して新規顧客を収容することの 3 つの方法が考えられることという見解を示した。また、それら 3 つの解の中では、長期的なインターネットの発展を考えた場合、

¹⁸¹ <http://www.arin.net/announcements/20070521.html>

¹⁸² http://lacnic.net/en/anuncios/2007_agotamiento_ipv4.html

¹⁸³ <http://www.afrinic.net/news/position-on-the-future-of-IP.htm>

¹⁸⁴ <http://www.apnic.net/meetings/24/program/sigs/policy/presentations/wilson-resolution.pdf>

¹⁸⁵ <http://www.ripe.net/news/community-statement.html>

¹⁸⁶ http://www.nic.mx/es/Noticias_2?NEWS=220

¹⁸⁷ <http://www.twnic.net.tw/file/07801b.htm>

¹⁸⁸ <http://www.cnnic.cn/html/Dir/2007/07/09/4698.htm>

¹⁸⁹ <http://www.nic.ad.jp/ja/pressrelease/2007/20071207-01.html>

(3) が唯一の解となり得る、という踏み込んだ見方を示している。ただし、IPv6 の普及推進に関する検討、分配済み未利用IPv4 アドレスの回収・再在庫化、再分配の検討、利用者の意見を反映するための施策の検討など残された課題は多く、JPNICは今後それらの課題に対し、関連各組織と連携した取り組みを進める、としている。

この報告書は2008年2月のAPNIC ミーティングで紹介され、英訳版が出席者に配布された。会場の反応は非常に好意的なものであったが、そろそろ技術的検討から、いかにしてIPv6 へ移行させる経済的インセンティブを設計するかの検討に入る時期に来ているのではないか、という指摘もあった。

IPv6 への移行はレジストリだけで解決できる問題ではなく、様々なステークホルダー間の対話が今後も引き続き必要となると思われるため、日本が先鞭をつけた形となり、2008年9月に総務省およびテレコム／インターネット関連13団体により「IPv4 アドレス枯渇対応タスクフォース¹⁹⁰」が発足した。同タスクフォースは2009年2月に「IPv4 アドレス枯渇対応アクションプラン」を発表し、日本におけるインターネット関連事業者がとるべき対応について業種別に指針を示したものである。

[アドレスの回収]

IPv4 アドレスの在庫枯渇の議論で必ず出てくる意見として、「未利用のアドレスを回収すれば、在庫は枯渇しない」というものがある。IANA や RIR では未利用のアドレスを回収するべくあらゆる努力を行っているが、2007年はこれまでになくまとまったアドレスが回収される年になったと言える。

2008年2月にIANAの担当者であるLeo Vegoda氏がICANN blogに投稿した記事¹⁹¹によると、IANAは2007年から2008年にかけて4つの/8を回収している(46.0.0.0/8、49.0.0.0/8、50.0.0.0/8、14.0.0.0/8)。しかし同時に、IANAの調査によればあとのアドレスブロックは少なくとも一部は使われているということがわかっており、/8 がまとまった形でこれ以上戻ってくるのは望み薄であること。仮に一部が戻ってきたとしても、現在の消費ペースだと/8を1個使い切るのに1ヶ月かからない状況であり、延命にはほとんどつながらないであろうという見解が示されている。

また、Leo Vegoda氏の別のレポート¹⁹²によれば、使えるとされている未割り振りのグローバルアドレス在庫の中にも、実際には使えない可能性の高いアドレスが含まれているという。1.0.0.0/8、5.0.0.0/8、42.0.0.0/8 がそれであり、1.0.0.0/8 は大規模組織でプライベートアドレス代わりに使われているケースが多く、5.0.0.0/8 はVPNサービスなどのアプリケー

¹⁹⁰ <http://www.kokatsu.jp/>

¹⁹¹ <http://blog.icann.org/?p=271>

¹⁹² <http://www.apnic.net/docs/apster/issues/apster24-200712.pdf>

ションで使われているケースがあり、42.0.0.0/8 については、アプライアンスサーバの NAT 構成に使われているケースがあることが報告されている。これらのアドレスがグローバルアドレスとして実際に割り振りが行われたときの影響は不明だが、いよいよ最後のアドレスを割り振りするという際に問題になる可能性はあるだろう。

[歴史的プロバイダ非依存アドレスの有効利用提案]

在庫枯渇が近づいた IPv4 アドレスを少しでも有効利用しようと、歴史的プロバイダ非依存アドレス（歴史的 PI アドレス）の有効利用を目指した提案が下記 2 点提案された。

1. 2008 年 9 月の APNIC ミーティングにおいては提案「歴史的 PI アドレスの効率的な利用」がなされた。この提案の要点は次の通りである。

- LIR が歴史的 PI アドレスを保有している場合、追加割り振り申請時に RIR により通常の PA アドレスに加えてその歴史的 PI アドレスの利用確認も併せて行われる
- APNIC の IPv4 在庫を本当に必要とする対象者へ分配するため、歴史的 PI を保有する場合、その有効利用を促す

2. 2008 年 10 月の ARIN ミーティングにおいて提案「歴史的 PI アドレスの返却促進」があった。提案の要旨は、次の 2 点に代表される返却を促進する対策の施行を求めるものである。

- 歴史的 PI アドレスの部分返却を認める
- 返却を行った組織へは無料で IPv6 アドレスの分配を認める

両提案とも、コンセンサスに至っている。

2 IPv6 アドレスの導入状況と、普及に関する
議論の動向

2 IPv6 アドレスの導入状況と、普及に関する議論の動向

2-1 IPv6 アドレスの導入状況

日本国内への IPv6 アドレスの割り振りは、2009 年 1 月 31 日現在で 216 件が割り振られている。JPNIC からの分配状況を見ても、2006 年度は 2 件、2007 年度は 4 件の割り振りが行われたのに対し、2008 年度は 2009 年 3 月 11 日までに 20 件と、割り振り件数が大幅に増加していることが分かる。

IPv6 アドレスの最小割り振りサイズは/32 (IX 用は当初/64、後に/48。プロバイダ非依存アドレスについては/48。)であるが、その大きさを越える割り振りについては以下の 6 件がある。中には IPv6 アドレスの最小割り振りサイズである/32 を大きく超える割り振りを受けている ISP も見受けられる。

アドレスレンジ	割り振り年月日
2400:2000::/20	2005 年 7 月 12 日
2001:a000::/21	2004 年 12 月 1 日
2400:4000::/22	2005 年 8 月 15 日
2408::/22	2007 年 11 月 2 日
2001:f60::/28	2004 年 8 月 23 日
2001:d70::/30	2003 年 9 月 12 日

JPNICでは、2008 年 8 月 15 日にIPv6 アドレスの初期割り振り基準を変更¹⁹³し、LIRであれば2年以内に200の割り当てを行う計画がなくともIPv6 アドレスの割り振りを受けられるようになった。2008 年 8 月 15 日から 2009 年 3 月 6 日までに完了したIPv6 アドレス割り振り申請 12 件の内訳を見ると、このうち 5 件は 2 年以内の割り当て数が 200 に満たない計画となっており、2008 年 8 月 15 日の初期割り振り基準変更により、新たに割り振りを受けることが可能となったことが分かる。このことから、当該ポリシー変更はLIRの需要に応えるものであり、IPv6 アドレス割り振りが受けやすくしたことは、IPv6 アドレス普及の裾野を広げる一助となったと言えよう。

また、2008 年 2 月 8 日より IPv6 PIアドレスの割り当てが開始された¹⁹⁴。PIアドレスの割り当てを受ける資格は、IPv4 アドレスと同様、(1)マルチホーム接続を行うため、(2)IXP(Internet Exchange Point)の相互接続セグメントにて使用するため、(3)クリティカ

¹⁹³ <http://www.nic.ad.jp/ja/topics/2008/20080815-01.html>

¹⁹⁴ <http://www.nic.ad.jp/ja/topics/2008/20080208-02.html>

ルインフラストラクチャーをインターネットに接続するため、の3つのうちいずれかの目的を有するネットワークを運用する者である。2008年2月8日以降3月6日までに5件の割り当てが行われ、うち3件はマルチホーム接続を行うため、2件はIXPの相互接続を行うためのネットワークを運用する者への割り当てであった。

2-2 IPv6 普及に関する議論の動向

1-2において、ICANN や RIR をはじめとする各レジストリが「IPv6 の採用を推奨する」という内容の声明を行ったことを報告したが、実際の推奨策や採用に向けた取り組みはどのように進められているのか、以下、声明の詳細に触れつつ見ていく。

● ICANN

ICANNはRIRコミュニティでの残存IPv4 アドレスの分配ポリシーに関する議論の高まりを受け、2007年6月29日の理事会において「On the Deployment of IPv6」という決議を採択¹⁹⁵した。内容は以下の通りである。

[IPv6 の実装に関して]

IANA 及び地域インターネットレジストリが保有している未割り振り IPv4 アドレス空間は、ここ数年のうちに全て分配されることが予測されている。

したが、インターネットの将来の成長は IPv6 の入手性と時宜にかなった採用にますます依存していくことになる。

ICANN 理事会とコミュニティは、アドレス支持組織 (ASO)、NRO、地域インターネットレジストリ、政府諮問委員会その他からの、この事項に関する認知度向上と解決策の推進への行動要求に関し合意する。

理事会はインターネットコミュニティが、インターネットの将来の可能性に対する課題に立ち向かうことを確信しており、ボトムアップで包括的、ステークホルダー主導のプロセスが機能し、必要なポリシー変更がなされることを確信している。

¹⁹⁵ <http://www.icann.org/minutes/resolutions-29jun07.htm#n>

さらに理事会は、地域インターネットレジストリ及び他のステークホルダーと共に、IPv6の時宜にかなった採用を奨励することでインターネットの将来の成長をサポートすることを目的として、教育、アウトリーチ活動に取り組むことを決議する。

IPv6の採用に関し、ICANNが積極的に取り組む意思を見せたのはこれが初めてではないかと思われる。その後2007年12月18日の理事会会議では以下の決議が採択¹⁹⁶され、ルートサーバシステムにおいてIPv6の採用が進むこととなった。

[ルートサーバシステムにおけるIPv6採用に関する議論]

IPv6の採用を手助けするという関心において、ICANN理事会はルートサーバシステムに対しIPv6の機能を必要以上の遅れなく追加するべきであると信じている。

RSSAC（ルートサーバシステム諮問委員会）及びSSAC（セキュリティと安定に関する諮問委員会）の報告書では、ルートへIPv6アドレスを追加することに関する技術的課題の注意深い検討がなされている。

ここに、理事会はIANAスタッフに対し、個々のIPv4ルートサーバ運用者からの申し出に応じ、IPv4アドレスの追加や変更の際になされる手法と同様に、45日の周知期間の後、既存のルートネームサーバに対しIPv6機能を追加することを要請する。

この後実際に、A、F、H、J、K、Mの6つのルートサーバに対し、IPv6アドレスが追加されることとなり、ICANNは2008年2月4日のアナウンス¹⁹⁷でその旨周知した。その後ICANNは自身のインフラ（Lルートサーバ）のIPv6対応を進め、2008年12月に対応を完了した¹⁹⁸。2009年3月現在、IPv6対応がなされたルートサーバはA、F、H、J、K、L、Mの7つである。

¹⁹⁶ <http://www.icann.org/minutes/minutes-18dec07.htm>

¹⁹⁷ <http://www.icann.org/announcements/announcement-04feb08.htm>

¹⁹⁸ <http://blog.icann.org/2008/12/lroot-serversnet-goes-ipv6/>

- NRO

2008年6月に韓国ソウルで行われた経済協力開発機構(Organisation for Economic Co-operation and Development, OECD)主催の「インターネット経済の将来 (The Future of the Internet Economy)¹⁹⁹」に参加し、IPv6への投資を訴えた²⁰⁰。なお、同会合に先立ち2008年5月にはOECDが「政府と民間が共同でIPv4アドレスの不足およびIPv6の普及について取り組むべき」という趣旨の報告書²⁰¹を発表した。

- ARIN

ARINの理事会は2007年5月21日付けで声明を発表²⁰²し、コミュニティに対しIPv6への移行を呼びかけた。決議内容は以下の通りである。

[インターネットプロトコル番号資源の在庫に関する ARIN 理事会決議]

コミュニティがインターネットプロトコル(IP)番号資源を利用できることは、インターネットの良好な成長に不可欠である。

一方、コミュニティが今後もインターネットプロトコルバージョン4(IPv4)番号資源を利用できるかについて、無期限の保証をすることはできない。

また、インターネットプロトコルバージョン6(IPv6)番号資源は利用可能であり、様々なインターネットのアプリケーションに適したものである。

これらに鑑み、本理事会はここにインターネットコミュニティに対し、今後も ARIN に対し連続した IP 番号資源の申請が必要であれば、IPv6 番号資源への移行が必要になることを助言することを決議する。

また、本理事会はここに ARIN スタッフに対し、ARIN に対してなされる IPv4 番号資源申請の信憑性を保証するために必要なあらゆる手段を講じることを命じる。

¹⁹⁹ <http://www.oecd.org/FutureInternet>

²⁰⁰ http://www.nro.net/news/RIR_release_final_2.html

²⁰¹ http://www.oecd.org/document/29/0,3343,en_2649_201185_40542045_1_1_1_1,00.html

²⁰² <http://www.arin.net/announcements/2007/20070521.html>

さらに、本理事会はここに ARIN 評議会(Advisory Council)に対し、可能な限りにおいて IPv6 番号資源への移行を促進するためのインターネット番号資源ポリシー変更が勧告可能かの検討を要請することを決議する。

ARINはその後、2007年7月19日にIPv6の実装に役立つと思われる情報を集積したサイトを開設²⁰³した。このサイト²⁰⁴はwiki形式で作成されており、関心のある者は誰でも情報の投稿を行うことができる。2008年3月現在では、IPv6実装に関するプレゼンテーション、アドレス割り当て方法の情報、実装計画の立て方、IPv6の管理ツールの情報などが投稿されている。

● APNIC

APNICは2007年9月7日に、コミュニティ全体として決議文を採択²⁰⁵した。IPv6の奨励に関する部分を以下に抜粋する。

...我々はインターネットの未来における成功のために、IPv6が決定的に重要であることを認識している。我々は、アジア太平洋地域におけるIPv6の包括的な採用に向け我々の努力を集中する。

我々は、開かれたボトムアップのコンセンサスをベースとした意思決定への支持を確認する。しかし、我々はまたこのコミュニティの先達メンバーや専門家に対し、アジア太平洋地域にとどまらず全世界において、IPv4アドレス管理とIPv6への移行という問題解決のための調査検討を行うための強いリーダーシップを要請する。

その後、APNICは2009年2月に会員及び利害関係者にアンケート²⁰⁶を行った。その結果のうち、IPv6に関連した設問および回答のうち主なものの抜粋は以下の通りである²⁰⁷。

IPv6をすでに導入済み、または直ちに導入する準備が整っているか

- Yes: 回答者の37%
- No: 回答者の63%

IPv6アドレス導入のための社内リソースを予算化しているか

²⁰³ http://www.arin.net/announcements/2007/20070719_wiki.html

²⁰⁴ <http://www.getipv6.info/>

²⁰⁵ <http://www.apnic.net/meetings/24/program/sigs/policy/presentations/wilson-resolution.pdf>

²⁰⁶ <http://www.apnic.net/survey/2009/>

²⁰⁷ アンケート結果は会員と利害関係者とを分けているが、ここでは会員の結果のみを取り上げた。

- Yes: 回答者の 37%
- No: 回答者の 63%

IPv6 アドレス導入のために社内リソース（金銭的および人的）を割り当てたか

- Yes: 回答者の 38%
- No: 回答者の 62%

IPv6 への移行に必要な知識と専門家としての技能はあるか

- Yes: 回答者の 53%
- No: 回答者の 47%

IPv6 普及には政府のサポートが重要と考えるか

- Yes: 回答者の 87%
- No: 回答者の 13%

この結果によれば、IPv6 導入への準備は、技術者の知識・スキル向上などでは進んでいるものの実際の導入には至っていない事業者が 7 割程度となっている。

アンケート以外の活動としては、IPv6 Program という IPv6 普及活動を開始し、ISP 向けの Wiki による情報公開などを行っている。

● RIPE NCC

2007 年 10 月に行われた RIPE ミーティングの中で、APNIC と同じようにコミュニティ全体としての決議文を採択した。内容は以下の通りである。

...IPv6 は将来の成長に必要なアドレス空間を提供する。したがって、我々はより広範な IPv6 アドレスの採用を奨励する必要がある。既存の IPv4 インターネットは現在と同様機能し続けるが、将来 IP ネットワークが成長するためには IPv6 の採用が必要である。...我々は、サービス提供者がそれぞれのサービスを IPv6 上で提供可能にするよう勧告する。我々は、非常に多くの新しいアドレス資源を必要とする者は、IPv6 を採用することを要求する。我々は政府に対し IPv6 の採用において政府の役割を果たすことを奨励する。特に、全ての市民が将来の情報社会に参加できるよう保証することを奨励する。我々は、全ての利害関係者が IPv6 の広範な採用を優先課題とすることを要求する。

RIPE 地域においては以前から IPv6 の割り振り量が多かったが、2007 年 10 月には 24 回の割り振りが行われ、さらに 11 月には 31 回の割り振りが行われた。RIPE NCC によると、これらは従来の月間割り振り回数の記録を抜き、過去最高だとのことである。こうした旺盛な需要を反映してか、2009 年 3 月現在特に RIPE NCC における IPv6 の採用に関して特筆すべき事項は見当たらない。

● LACNIC

LACNIC は 2007 年 6 月 20 日に声明を発表²⁰⁸した。IPv6 の採用に関しては以下のように述べている。

複数名の調査者による予想により、2011 年までに IPv4 アドレスの中央在庫が完全に枯渇するということが示されているが、これに対応して LACNIC は 2011 年 1 月 1 日までに地域内の全てのネットワークが IPv6 を採用するよう地域キャンペーンを実施することを発表した。

Raul Echeberria 氏は、...政府、そして公共機関はできるだけ早期に IPv6 を採用するための必要な準備を行うべきだとも述べている。

...Echeberria 氏はまた、LACNIC 理事会の決定に基づき、当組織が IPv6 利用を推奨するための地域内でのイベントや会議からなるキャンペーンを開始すると述べた。このキャンペーンの補完として、この問題に関する関連情報を継続的に公開する。キャンペーンの目標は、ラテンアメリカ及びカリブ海地域が 2011 年 1 月 1 日までに IPv6 採用プロセスを終了することである。

...地域内のネットワークが移行及び対応を行うことを推奨するため、LACNIC による IPv6 割り振りは費用無しで行われる。

LACNIC 地域では、レジストリが目標期日（2011 年 1 月 1 日）を設定して IPv6 採用を働きかけ、費用の面からも積極的に IPv6 の採用を促す施策をとっていることがその特徴といえるだろう。また、IPv6 への移行に関する情報を集めた「portal IPv6」という専用ページ²⁰⁹も設けられており、レジストリ自ら積極的に IPv6 の採用を働きかけようという姿勢が見て取れる。

²⁰⁸ http://lacnic.net/en/anuncios/2007_agotamiento_ipv4.html

²⁰⁹ <http://portalipv6.lacnic.net/en>

- AfriNIC

AfriNICは2007年7月25日付けの会員向けレターの中で、IPv6の採用を呼びかけている。内容は以下の通りである。

...アフリカ地域におけるネットワーク運用者に対して、ネットワークインフラにIPv4と同時にIPv6を採用することへ明確なアクションを取ってもらうことは我々の責務である。パニックになるほど切羽詰まっていはいないが、後から緊急事態になることを避けるため、今そのアクションを起こすことが重要である。

AfriNICでは会員向けのIPv6割り振りは、初回割り振りへの課金免除を続けている。また、AfriNICにおいてもIPv6に関する基本情報を提供するポータルサイトを開設²¹⁰している。報道機関向けの資料²¹¹では、「2011年1月1日までに、全てのアフリカ地域にIPv6が配布されていることが必要である」と明確な目標を設定している。

²¹⁰ <http://www.afrinic.net/IPv6/index.htm>

²¹¹ http://www.afrinic.net/news/press/press_release_ipv4_exhaustion_press.pdf

第 4 部 參考資料

1 ドメイン名に関する各種統計資料

1 ドメイン名関連統計資料

1-1 gTLDレジストラ間のマーケットシェア状況

現在のレジストリ・レジストラモデルは、1999年4月にICANNが共有レジストリシステム（Shared Registry System: SRS）でのテストベッドレジストラ5社を選定したことに始まり、その後本格運用に入ったのであるが、ICANNが認定するレジストラの数は年々増加しており、2009年2月10日現在では959社に上っている²¹²。（そのうち、日本国内のレジストラは10社である。）

gTLD	レジストラの数	参照 URL
.com/.net	886 社	http://www.verisign.com/information-services/naming-services/com-net-registry/page_002166.html
.org	317 社	http://www.pir.org/index.php?db=content/Website&tbl=Registrants&id=2
.info	308 社	http://www.nic.info/register/find/alphabetical
.biz	180 社	http://www.neustarregistry.biz/content/registrar_information
.name	591 社	http://www.nic.name/registrarlist.html
.aero	20 社	http://www.information.aero/cgi-bin/registrar_list.cgi
.coop	9 社	http://www.nic.coop/registrarlist.asp
.museum	3 社	http://about.museum/registrars/
.pro	25 社	http://www.registrypro.pro/partners_findaregistrar.htm
.jobs	23 社	http://www.goto.jobs/buy_now.asp
.travel	29 社	http://www.travel.travel/index.php/authorized-registrars/
.cat	19 社	http://www.domini.cat/registrar.html
.mobi	166 社	http://mtld.mobi/domain/find
.asia	134 社	http://www.registry.asia/about/register.html

²¹² ICANN 認定レジストラ一覧：<http://www.icann.org/registrars/accredited-list.html>

1-2 レジストラ別ドメイン名登録数一覧

レジストラのマーケットシェア状況については、各レジストリが ICANN に提出する月間報告書に記載されているレジストラ別ドメイン名登録数一覧を以下に添付する。(主要 gTLD のみ)

● .com レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

ICANN Monthly Consolidated Data Report for .com and .net - October 2008																				
<TLD>	<registrar-name>	<na-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>	
COM	!!! BB Bulk Inc. dba My f	635	108	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	! S ! Bid It Win It Inc.	623	106	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	! 1 Host Israel Inc	978	184	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
COM	! 1 Host Japan Inc	980	205	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
COM	! 1 Host Korea Inc	981	189	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
COM	! 1 Host Kuwait Inc	982	324	8	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
COM	! 1 Host Malaysia Inc	983	322	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0
COM	! 1 Host United Kingdom	979	445	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0
COM	! AlohaNIC LLC	452	364	14	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0
COM	!!!50 Cost Domain and H	710	448	10	20	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0
COM	!56.25 DOMAINS! Netwo	624	1008	22	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0
COM	555 Private Label Interne	670	195	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
COM	5PPC Marketing llc	994	236	9	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
COM	007Names Inc.	91	11405	529	267	23	2	0	0	0	0	0	0	1	1294	7	2	1	2	2
COM	0101 INTERNET INC.	816	3912	72	71	0	1	0	0	0	0	0	0	1	153	1	1	1	1	0
COM	1 & 1 INTERNET AG	83	3273992	27696	73706	0	0	0	0	0	0	0	0	0	155992	0	0	0	0	0
COM	1 API GmbH	1387	38663	1088	1494	21	6	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	1	0	0
COM	1 Domain Source Ltd. dba	1368	169	3	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	1 eNameCo.	66	7796	732	40	15	0	0	2	0	0	0	0	1	336	32	0	1	14	0
COM	1 Host Australia Inc.	967	208	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
COM	1 Host Brazil Inc.	969	200	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
COM	1 HOST CANADA INC.	971	197	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
COM	1 HOST CHINA INC.	970	178	4	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
COM	1 HOST GERMANY INC.	968	167	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0
COM	1 Host Russia Inc	1068	194	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
COM	1 INTERNET SERVICES INT	1334	81	12	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0
COM	1 More Name LLC	997	304	2	15	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
COM	10dencehispahard SL	1403	815	24	731	28	10	0	14	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
COM	12 Registrar BV	839	28900	334	1308	0	0	0	0	0	0	0	0	0	891	0	0	0	0	0
COM	123 Registration Inc.	245	2634	204	32	6	1	0	1	0	0	0	0	2	55	7	7	0	0	3
COM	123domainrenewals LLC	846	321	8	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0
COM	1800-website LLC	845	347	3	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	1	0	0	0
COM	1-877NameBid.com LLC c	664	308	26	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
COM	1st Registrar Inc.	937	197	128	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
COM	1stDomain LLC	133	2949	1372	12	4	0	0	2	0	0	0	0	0	53	9	0	0	0	8
COM	1st-for-domain-names LL	856	330	9	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	1	0	0	0
COM	2003300 Ontario Inc. dba	756	287	3	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0
COM	2030138 Ontario Inc. dba	378	5099	317	67	5	0	0	1	0	0	0	0	0	145	6	4	3	2	2
COM	21Company Inc. dba 21-4	897	80	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	24x7domains LLC	855	294	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0
COM	3349608 Canada Inc. dba	757	275	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0
COM	35 TECHNOLOGY CO. LTD	1316	78091	209	5672	77	106	10	102	2	0	0	0	18	157	63	27	27	3
COM	3597245 Canada Inc. dba	713	264	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
COM	3684458 Canada Inc. dba	714	321	4	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
COM	4domains inc.	278	20265	726	308	40	9	3	6	0	0	0	0	0	15	24	9	7	0
COM	6230544 Canada Inc. dba	758	294	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0
COM	8068 Registrar Inc.	672	76	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	89AM Web Services Inc.	1033	77	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	89Dian Registrar Inc.	1034	91	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	995discountdomains LLC	854	365	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	13	1	0	0	0	0
COM	A Mountain Domains Inc.	647	91	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	A Rite Tern LLC	950	133	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	A Technology Company I	53	1872	230	32	1	0	0	1	0	0	0	0	0	66	2	0	0	0
COM	A.W.B. Trading Inc.	654	87	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	AB CONNECT	1378	2848	8	340	23	2	0	0	0	0	0	0	0	26	3	0	1	0
COM	AB NameISP	1371	5398	70	260	2	0	0	6	0	0	0	1	0	51	5	1	1	0
COM	Abacus America Inc. dba	52	297681	12241	4078	433	41	0	94	0	0	0	0	42	15228	627	66	52	65
COM	Abdominations.ca Inc.	741	7249	14	354	0	0	0	0	0	0	0	0	0	580	0	0	0	0
COM	About Domain Dot Com	810	90237	147	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
COM	Above Inc.	940	124906	4	4382	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	0	0	0	0
COM	ABSystems Inc.	1261	675	194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0
COM	Abu-Ghazaleh Intellectua	360	450	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
COM	Ace of Domains Inc.	678	437	35	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0
COM	Active 24 AS	247	149234	1762	3614	80	0	0	0	0	0	0	0	0	7347	27	0	0	0
COM	Active Insider Inc.	1089	634	4	14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Active Registrar Inc.	1090	26177	796	1671	141	68	11	73	1	0	0	0	13	209	39	6	39	1
COM	Address Creation LLC	270	4568	509	48	4	0	0	0	0	0	0	0	0	212	21	0	0	11
COM	AddressontheWeb LLC	851	313	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	2	0	0
COM	Adomainofyourrown.com	1158	345	3	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0
COM	AdoptADomain.net inc.	722	7160	26	350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	727	0	0	0	0
COM	Advanced Internet Techn	57	120548	6318	1332	55	21	0	14	1	0	0	0	11	5936	202	45	24	55
COM	Advantage Interactive Ltd	602	65460	939	121	1686	8	1	9	0	0	0	0	16	731	566	6	15	0
COM	Affordable Computer Sol	695	1332	7	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
COM	AFIREGISTER S.A.	1381	28	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Afterdark Domains Incont	922	2302	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Aim High! Inc. dba Get Y	644	1666	47	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	44	1	1	0
COM	AirNames.com Inc.	901	220	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	Alantron BLTD.	898	13597	943	706	7	2	2	5	0	0	0	0	0	291	8	0	1	2
COM	Alfena LLC	1241	34	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Alibaba (China) Technolo	1377	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Alices Registry Inc.	275	857	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0
COM	Allaccessdomains LLC	850	320	14	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	Allearthdomains.com LLC	1159	1251	3	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0
COM	AllGlobaNames S.A.	453	2907	154	49	0	0	0	2	0	0	0	0	0	282	9	1	0	1
COM	Allindomains LLC	849	28115	1923	162	25	0	0	1	0	0	0	0	0	1194	86	1	9	19
COM	Allworldnames.com LLC	1167	1307	2	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0
COM	Annuet Inc.	607	44929	9	349	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1374	0	0	0	0
COM	ANO Regional Network In	463	59540	12406	2714	62	30	0	18	0	0	0	0	7	2785	33	14	2	4
COM	Answerable.com (I) Pvt. L	630	40941	3386	468	29	7	1	11	0	0	0	0	9	1114	44	6	11	5
COM	Anytime Sites Inc.	829	545	89	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0
COM	AO Domains Incorporate	661	80	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	AOL LLC	16	82198	152	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5304	0	0	0	0
COM	Arab Internet Names Inc.	902	2050	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Arctic Names Inc.	1340	3168	122	98	9	9	2	9	0	0	0	0	0	197	8	1	2	0
COM	Arsys Internet S.L d/b/a	379	286682	10068	6677	340	39	15	59	0	0	2	0	16	13106	53	13	5	16
COM	Aruba SpA	896	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Asadal Inc.	632	26895	2244	362	12	0	0	0	0	0	0	0	0	1323	7	3	0	0
COM	Asio Technologies Inc.	106	300442	4920	6126	531	10	0	12	0	0	0	0	1	12732	351	5	1	7
COM	AsiaDomains Incorporate	903	2292	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	AtlanticFriendNames.com	1157	1335	2	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
COM	Atomicdomainsnames.com	1160	1368	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0
COM	Atozdomainsmarket LLC	852	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
COM	AusRegistry Group Pty. Lt	353	745	33	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0
COM	Australian Style Pty Ltd	965	37543	1513	1148	194	12	1	4	0	0	0	0	1	475	28	4	2	2
COM	Austriadomains LLC	853	438	4	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0
COM	Austriandomains LLC	885	294	8	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0
COM	AvailableDomains.ca Inc.	759	7571	18	285	0	0	0	0	0	0	0	0	0	690	0	0	0	0
COM	AvidDomains.com Inc.	904	185	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
COM	AZ PL Inc.	1006	15160	865	1061	17	7	1	3	0	0	0	0	2	435	3	2	0	1
COM	azdomains LLC	1391	2024	3	314	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Asprivatex LLC	1392	1589	0	309	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Backup Domains Inc.	1018	27784	182	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
COM	BackUp.ca Inc.	740	288	1	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
COM	Bargin Register Inc.	1081	10172	32	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Baronondomains.com LLC	1161	1357	7	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0
COM	Basic Fusion Inc.	813	663891	150	7421	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38107	0	1	0	0
COM	BatDomains.com Inc.	838	257	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	BB Online UK Ltd.	134	11751	505	117	108	0	0	0	0	0	0	0	1	647	26	1	0	5
COM	Bearsdomain LLC	886	283	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1	1	0	0
COM	Beartrapdomains.com LL	1162	1277	1	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0
COM	Beijing Innovativelinkag	633	288398	12324	9736	133	130	6	74	2	0	0	0	10	11413	319	109	94	52
COM	Belgiumdomains LLC	860	281201	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5973	0	0	0	0
COM	Belmontdomains.com LL	1163	1261	2	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0
COM	BeMyDomain.net Inc.	717</																	

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	enom425 Incorporated	1294	2239	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom427 Incorporated	1393	2181	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom429 Incorporated	1308	2173	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom431 Incorporated	1281	2161	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom433 Incorporated	1282	2216	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	enom435 Incorporated	1283	2207	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	enom437 Incorporated	1284	2285	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
COM	enom439 Incorporated	1285	317	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom441 Incorporated	1286	2410	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	enom443 Incorporated	1301	2647	0	477	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom445 Incorporated	1296	319	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom447 Incorporated	1312	2121	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	enom449 Incorporated	1287	329	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom451 Incorporated	1288	2081	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	enom453 Incorporated	1289	2111	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom455 Incorporated	1300	3196	0	461	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom457 Incorporated	1314	2162	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	enom459 Incorporated	1297	3259	0	539	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	enom461 Incorporated	1303	2124	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	enom463 Incorporated	1306	2084	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	enom465 Incorporated	1299	2186	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	enom467 Incorporated	1313	2272	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	enom469 Incorporated	1311	2072	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	Enom5 Inc	1051	31612	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	Enom1 Inc	1057	34488	1	496	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	EnomAte Inc	1061	30064	2	499	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	EnomAU Inc.	1065	35056	0	490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	eNembre Corporation	704	2115	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	EnomEU Inc.	1066	30087	0	517	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
COM	Enomfor Inc	1067	31801	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	EnomMx Inc.	1063	29942	2	538	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Enomnz Inc	1064	31209	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	eNomsky Inc.	1062	5717	0	515	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
COM	EnomTen Inc.	1058	35457	0	526	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	EnomToo Inc	1059	35484	0	496	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	EnomV Inc	1060	35085	0	505	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	EnomX Inc.	1053	35708	0	521	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
COM	Entertainment Names Inc	910	2154	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	EnterTheDomain.com	726	295	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0
COM	Entorno Digital S.A.	696	4296	273	66	2	0	1	0	0	0	0	0	0	337	3	0	0	4
COM	EPAG DOMAINS SERVICES	85	45004	920	1070	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2102	0	1	0	0
COM	ESTDomains Inc.	832	147355	88785	5887	45	38	2	25	0	19	0	2	4012	110	59	6	4	4
COM	EUNameFlood.com LLC	1203	1569	12	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	EUNamesOregon LLC	1204	1512	4	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	0	0	0	0
COM	EuroDNS S.A	1052	18083	421	1231	0	0	0	0	0	0	0	0	0	391	0	0	0	0
COM	Europe Domains LLC	995	247	24	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
COM	European NIC Inc.	1095	5545	58	138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	202	0	0	0	0
COM	EuropeanConnectionOnline	1205	1511	1	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0
COM	EurotrashNames.com LLC	1206	1321	4	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0
COM	EUTurbo.com LLC	1207	347	0	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
COM	Ever Ready Names Inc	1130	165	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Everyones Internet Ltd. d	925	44604	2133	2067	162	24	3	30	0	0	0	0	9	1366	48	3	9	12
COM	EvoPlus Ltd.	1418	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Experian Services Corp.	1131	1320	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0
COM	Experinom Inc.	1332	165	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Extend Names Inc.	1129	168	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Extra Threads Corporatio	705	2195	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	ExtremeDomains.ca Inc.	676	289	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
COM	Extremely Wild Inc.	1119	205	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	eHosting.ca Inc	780	302	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
COM	FabDomains.ca Inc	747	186	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
COM	Fabulous.com Pty Ltd.	411	1203059	7177	12568	6	2	0	1	0	0	0	0	0	69486	48	74	41	6
COM	FastDomain Inc.	1154	499580	2873	23671	228	65	1	27	1	0	0	0	6	15987	11	3	8	2
COM	Fenominal Inc.	1056	5558	2	527	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	Fiducia LLC Latvijas Parst	620	1042	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	0
COM	Find Good Domains Inc.	1096	180	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	FindUName.com LLC	932	1766	7	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0
COM	FindYouADomain.com LL	946	1824	4	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0
COM	FindYouAName.com LLC	947	1825	2	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0
COM	Firstserver Inc.	474	26646	1724	472	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1546	0	0	0	0
COM	Flancrestdomains.com LL	1208	1353	2	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0
COM	Flatme Networks Inc	1035	72	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	France Telecom	14	28378	699	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1652	0	0	0	0
COM	FREEPARKING DOMAIN R	837	6803	49	172	588	0	0	0	0	0	0	0	24	107	73	3	14	0
COM	Freshbreweddomains.co	1209	1318	3	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0
COM	FromStreetDomains.com	1210	1358	3	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0
COM	FUNFEAS MEDIA VENTUR	363	2908	193	45	4	0	0	0	0	0	0	0	0	82	1	2	2	0
COM	Fushi Tarazu Incorporate	707	2336	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
COM	Gabia Inc.	244	116233	17055	2502	470	342	1	41	1	0	1	1	19	2561	686	100	8	43
COM	Galcomm Inc.	888	1895	2	319	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	Game For Names Inc.	1120	170	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Gandi SAS	81	362536	32221	8346	403	134	124	139	1	0	0	1	31	16746	983	285	80	112
COM	GateKeeperDomains.net	1352	1243	0	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
COM	Gee Whiz Domains Inc	1016	3171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
COM	General Names Inc	1134	183	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Genuine Names Inc	1142	157																

<TLD>	<registrar-name>	<name-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	Jumbo Names Inc	1148	178	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Kansas University of Tech	1335	248	61	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
COM	Key Registrar Inc	1122	176	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Key-Systems GmbH	269	865503	40035	36426	204	72	2	57	0	0	1	0	15	38878	190	55	22	58
COM	Kingdomains Incorporate	912	2265	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
COM	Kiaatudomains.com LLC	1360	1226	3	81	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0
COM	Kookycondundrum.ca Inc	785	271	8	19	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
COM	Korea Information Certifi	449	58533	741	761	3	1	0	0	0	0	0	0	3102	47	22	0	0	11
COM	KuwaitNet General Tradit	835	1497	95	18	1	0	1	0	2	0	0	0	41	0	1	0	0	1
COM	Ladas Domains LLC	642	1359	24	74	0	0	0	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0
COM	Lakeodomains.com LLC	1359	1296	4	79	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0
COM	Launchpad Inc.	955	275	3	13	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
COM	Lazy Dog Domains Inc	1014	63	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Le Grand Nom Inc	652	82	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Lead Networks Domains	668	123852	345	228	0	0	0	0	0	0	0	0	383	1	0	4	1	1
COM	LEDL.NET GMBH	809	2042	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	125	0	0	0	0	0
COM	Lime Labs LLC	1421	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	livedoor Co. Ltd.	467	9813	650	1772	8	9	0	1	0	0	0	0	3	1221	15	5	0	0
COM	Locoweb Services De Inte	1080	57994	7252	3240	0	0	0	0	0	0	0	0	2738	0	0	0	0	0
COM	LuckyDomains.ca Inc	721	298	26	11	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0
COM	M.G. Infocom Pvt. Ltd. Of	1339	66189	967	4371	6	1	0	0	0	0	0	1	102	0	0	1	0	0
COM	Magic Friday Inc.	1123	171	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Maindomain.ca inc.	786	293	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0
COM	Marcaria.com Internatio	1086	1033	35	120	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0
COM	Mark Barker Incorporate	752	2184	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	MarkMonitor Inc.	292	272291	4249	823	1483	12	2	57	1	0	0	6	9608	5240	33	7	54	0
COM	MasterofMyDomains.net	1358	296	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
COM	Matchnames.ca inc	737	324	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0
COM	Maxim Internet Inc	1002	18726	27	1273	0	0	0	0	0	0	0	0	49	0	0	0	0	0
COM	Melbourne IT Ltd. d/b/a	13	4008461	186048	59421	5353	1432	15	2267	1	2	3	1	375	200058	3435	473	398	904
COM	Mesh Digital Limited	1390	3654	104	965	138	6	0	9	0	0	0	0	11	18	0	2	0	0
COM	Microbroweddomains.co	1357	334	2	84	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0
COM	Misk.com Inc.	401	33090	3263	655	130	10	2	6	0	0	0	3	1038	143	9	11	13	0
COM	Mister Name	1319	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	MISTERINC LLC	1255	6628	0	2044	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0
COM	Mobile Name Services In	640	111	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
COM	Mobile USA Inc. DBA D	999	215	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
COM	Moniker Online Services	228	2130419	86236	32059	267	65	13	63	1	0	0	5	67492	656	87	2491	117	0
COM	Mouzz Interactive Inc.	827	1129	75	82	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
COM	Mypdomainnames.com L	1356	287	2	69	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0
COM	MyDomain Inc.	105	385801	23475	10624	1764	0	0	167	0	0	0	35	14206	1112	261	79	198	0
COM	MyNameOnline.ca Inc.	746	283	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
COM	Myprecloudomain.com	1217	1600	12	76	0	0	0	0	0	0	0	0	49	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<name-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>	
COM	Name Intelligence Inc	627	191	13	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Name Nelly Corporation	755	2460	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
COM	Name Perfections Inc.	1125	222	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Name Share Inc	667	318	24	13	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
COM	Name Thread Corporatio	753	5015	1	560	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
COM	Name To Fame Inc	1104	169	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Name.com LLC	625	422884	12475	16685	259	76	9	62	0	0	0	13	9071	0	0	0	0	1	0
COM	Name.net LLC	826	86638	602	28	0	0	0	2	0	0	0	0	5210	2	1	1	1	2	0
COM	Name2Host Inc. dba nam	464	7764	8	125	0	0	0	0	0	0	0	0	381	0	0	0	0	0	0
COM	Namearsenal.com LLC	1218	1342	6	81	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0	0	0
COM	NAMEBAY	88	110604	3942	2305	65	17	755	4	0	0	0	0	6238	167	33	11	9	0	0
COM	Namecroc.com LLC	1219	1608	5	85	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0
COM	Nameemperor.com LLC	1220	1651	4	83	0	0	0	0	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0	0
COM	Namefinder.com LLC	1221	1306	5	68	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0	0	0
COM	NameGame.ca Internet S	682	280	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0
COM	Namejumper.com Inc	1025	81	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	NameKing.com Inc.	609	684924	570	14421	0	0	0	0	0	0	0	0	8185	9	1	1	1	1	0
COM	NamePanther.com LLC	1344	352	0	87	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0
COM	NameQueen.com Inc.	617	92	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Names Bond Inc.	1139	173	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0
COM	Names In Motion Inc.	1394	11	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Names Real Inc	1138	188	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	NamesAlaCarte.com LLC	1343	1519	0	86	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0
COM	NameScout Corp	186	92088	9397	1518	174	40	0	32	0	0	0	13	4619	0	0	0	0	0	0
COM	NameSecure.com	30	180697	5058	2097	243	138	0	196	0	0	0	0	29	4377	496	164	56	311	0
COM	NameStream.com Inc.	725	5129	2	511	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Nametellers.com Inc	1026	77	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	NameTorrent.ca inc.	787	290	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0
COM	Nameview Inc.	622	423094	192	324	0	1	0	0	0	0	0	0	39562	1	0	0	0	0	0
COM	NameVolcano.com LLC	1342	1241	5	73	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0
COM	Nameswhite.com Inc	1029	83	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
COM	Naming Associate Inc	1137	161	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
COM	Naming Web Inc.	942	172	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0
COM	Navigus Limited LLC.	899	4098	52	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
COM	Need Servers Inc	1124	176	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	NeoNIC OY	626	948	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0
COM	Nerd Names Corporation	750	2195	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
COM	Net 4 India Limited	1007	65400	995	1823	171	57	4	134	0	0	0	44	1834	113	44	35	80	0	0
COM	Net Juggler Inc.	1100	185	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
COM	Net-Chinese Co. Ltd.	1336	3496	1085	91	21	12	0	16	0	0	0	4	74	15					

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	NetFirms Inc.	892	222895	4481	8923	33	0	0	0	22	0	0	0	0	8951	22	0	4	15
COM	NetHeads.ca Inc.	788	259	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
COM	Netjms Inc.	1004	2627	108	110	6	2	0	3	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0
COM	Netpia.com Inc.	130	25825	3508	374	21	25	0	3	0	0	0	0	0	869	68	13	4	3
COM	NetraCorp LLC dba Globa	893	2837	119	29	3	0	0	1	0	0	0	0	0	3	52	0	0	1
COM	NetRegistry Pty. Ltd.	677	37486	1644	944	435	27	8	27	0	0	0	0	19	742	217	18	10	10
COM	Nettica Domains Inc.	1097	166	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	NetTuner Corp. dba Web	634	11243	413	281	4	3	0	3	0	0	0	0	0	449	0	3	9	0
COM	Network Savior Inc.	1102	174	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	Network Solutions LLC.	2	4970124	377220	29017	5770	4674	13	8338	1	0	0	7	1433	104627	12872	8925	3558	16474
COM	NEUDOMAIN LLC	1254	5354	0	1916	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0
COM	New Dream Network LLC	431	298742	3379	10159	413	135	0	62	0	0	0	31	11405	327	108	22	52	0
COM	NIC1 Inc	986	199	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Nicco Ltd.	840	49047	168	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2458	0	0	0	0
COM	Nireg LLC	1253	47442	4	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1985	0	0	0	0
COM	Nictrade Internet Identit	649	25220	31	462	0	0	0	0	0	0	0	0	0	175	566	0	0	2
COM	Nihao Communications I	1037	80	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Niuedomains LLC	870	345	3	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	1	1	0	0
COM	NI Tech Solutions Inc.	673	6649	430	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	Nom Infitum Incorpora	703	2227	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Nom IQ Ltd (DBA Com La	470	2412	71	82	1	0	0	2	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
COM	Nomer Registro de Domi	927	11574	2395	311	0	0	0	0	0	0	0	0	0	556	0	0	0	0
COM	Nominalla Internet S.L	76	73441	2659	1484	47	9	4	27	0	0	0	0	0	3554	52	8	6	16
COM	NORDNET	68	123605	481	2468	13	1	27	4	0	0	0	2	5238	14	2	5	7	0
COM	Nordreg AB	638	2416	3	22	26	0	0	0	0	0	0	0	0	91	14	1	0	0
COM	Notablenames.ca Inc	789	288	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
COM	NotSoFamousNames.com	1222	355	2	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0
COM	Octopusdomains.net LLC	1223	1384	9	92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0
COM	Oil Change Domains Inc.	1013	56	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	OldTownDomains.com LL	1224	430	0	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0
COM	OldWorldAliases.com LLC	1225	1515	4	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0
COM	Omnis Network LLC	143	91497	7655	2236	121	41	2	9	2	0	1	0	11	3478	232	49	14	39
COM	Online SAS	74	94740	2917	2612	55	11	1	10	0	1	0	0	11	4996	66	16	12	9
COM	OnlineNIC Inc.	62	940851	73987	27654	383	97	10	72	1	0	0	18	39938	788	310	242	254	
COM	OOO RUSSIAN REGISTRAR	1228	317	2	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0
COM	Open System Ltd.	1365	475	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Openname LLC.	1252	6443	0	1864	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0
COM	OregonEU.com LLC	1226	1279	4	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0
COM	OregonURLs.com LLC	1227	1330	5	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0
COM	OVH	433	432775	50042	16466	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20470	699	483	24	20
COM	Own Identity Inc	985	1380	25	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0	0	0	0
COM	Pacnames Ltd.	103	14597	2465	76	8	4	0	3	0	0	0	1	470	34	2	9	7	0
COM	pairNIC	99	67895	1905	617	93	29	19	217	6	0	0	0	16	1105	147	50	101	300

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	PakNIC (Private) Limited	1367	686	45	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
COM	Parava Networks Inc dba	94	29489	2208	357	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1947	5	2	1	1
COM	PDPrivateNames.com LL	1228	1292	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0
COM	PeariNamingService.com	1229	1345	8	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0
COM	Pitchback Domains Inc.	1012	72	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Planet Online Corp.	815	40969	70697	5498	12	0	2	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	2
COM	Planetdomain Pty Ltd.	240	167047	13038	4578	1398	79	10	100	3	0	0	38	3043	851	54	17	34	0
COM	Platinum Registrar Inc.	1117	165	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	PocketDomain.com Inc	913	2356	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	0	0	0	0
COM	PopularDomains.ca Inc.	720	247	4	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
COM	PortlandNames.com LLC	1230	1316	3	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0
COM	PostalDomains Incorpora	914	2540	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
COM	Power Brand Center LLC	1155	214	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0
COM	Power Brand Solutions LL	1156	202	4	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	Power Carrier Inc.	1101	177	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Power Namers Inc.	1138	176	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Premiername.ca Inc	790	283	7	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
COM	Premium Registrations S	1386	4665	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	PRICEDOMAIN.CA INTERN	686	318	3	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
COM	PrimeDomain.ca Inc.	688	331	4	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
COM	PrimeRegistrar.ca Inc	791	288	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0
COM	PrivacyPost Inc.	848	396	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	0	0
COM	Private Domains Incorpor	915	4878	0	513	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
COM	ProtonDomains.com LLC	1231	1283	2	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0
COM	PSI-Japan Inc.	78	24423	5490	145	2	0	0	0	0	0	0	4	1167	33	11	3	14	0
COM	PSI-USA Inc. dba Domain	151	364158	12000	6430	2	1	0	0	0	0	0	2	22424	1	1	0	0	0
COM	QuantumPages Technolo	1250	6938	554	240	1	0	0	2	0	0	0	0	0	246	6	1	5	0
COM	R. Lee Chambers Compar	475	535	41	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	1	0	0
COM	R.B. Datanet Ltd	988	61	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Rainydaydomains.com LL	1351	347	2	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0
COM	Rallydomains.com Inc.	916	180	4	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
COM	Randomname.ca Inc	792	293	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
COM	Ranger Registration (Mac	241	207	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Rank USA Inc.	961	199	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Rebel.com Corp.	600	144330	1375	153	1	1	0	0	0	0	0	2	6384	1	2	0	0	0
COM	Red Pillar Inc.	1092	2782	99	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Red Register Inc.	962	12156	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
COM	Redomainder.com Inc	793	290	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
COM	REG2C.COM INC.	819	54869	1220	2212	118	27	6	45	0	0	0	9	320	73	20	60	7	0
COM	Register Fox Inc.	1110	347	26	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Register Names LLC	658	2448	76	29	9	0	0	7	0	0	0	1	58	4	0	0	2	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	TotalRegistrations	131	45197	3974	501	179	5	0	4	0	0	0	0	4	1953	324	6	10	7
COM	TPP Domains Pty Ltd tr	972	15290	624	176	334	2	0	9	0	0	0	0	2	211	184	2	1	2
COM	Trade Starter Inc.	1109	169	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Traffic Names Incorporat	919	2276	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	TravelDomains Incorporat	920	2269	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Triple.com Inc.	1115	3237	732	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0
COM	Tucows Inc.	69	4934876	253992	97435	21104	1697	86	948	13	5	7	15	391	198867	15326	2825	747	2104
COM	Tuonome.it Sri	380	12256	501	114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	589	0	0	0	0
COM	Tuvaludomains LLC	872	295	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0
COM	Udmain.com LLC	945	1660	2	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0
COM	UdomainName.com LLC	931	42981	375	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1908	27	4	10	4
COM	UK2 Group Ltd.	84	128951	11068	2884	45	14	1	10	1	0	0	1	9	6400	121	21	5	19
COM	Ultra Registrar Inc.	1108	173	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	UltraRPM Inc. DBA Meta	1338	19450	2	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
COM	Unified Servers Inc.	1106	190	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	Uniport Net Services Inc	1038	71	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	UNITED DOMAIN REGIST	959	416	39	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
COM	UnitedKingdomdomains	873	299	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	1	1
COM	Universal Registration Se	448	2346	94	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	128	2	0	0	1
COM	Universo Online S.A	1389	4729	224	1528	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	Unpower Inc	1105	167	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	USA Webhost	439	373	5	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0
COM	UsefulDomains.net Inc.	733	276	2	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
COM	Valley Apples Inc.	662	86	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Variomedia AG dba pure	1257	7037	276	198	0	0	0	0	0	0	0	0	0	366	0	0	0	0
COM	Vedacore.com Inc.	628	116	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	Vishesh Infotronics Ltd	249	14497	588	281	43	14	1	14	0	0	0	0	1	407	21	12	2	4
COM	Vista.com Inc.	660	82	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Vitalwerks Internet Solut	1327	7307	232	481	10	10	1	1	0	0	0	0	0	46	9	1	4	0
COM	Vivid Domains Inc	615	395	8	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0
COM	Volusion Inc.	1335	1753	0	244	26	5	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
COM	W. G. B. Registry Inc.	650	92	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Walela Brook Inc	666	98	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Want Domain Names Inc	1103	193	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Web Business LLC	966	262	7	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
COM	Web Commerce Commun	460	216839	13058	2772	322	87	1	128	1	0	1	0	19	8220	559	145	73	120
COM	Web Werks India Pvt. Ltd	1337	3552	92	195	1	0	0	0	0	0	0	0	1	36	0	0	4	0
COM	Web.com Holding Comp	631	91	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Webagentur.at Internet	648	35644	128	1220	6	2	0	9	0	0	0	1	0	796	1	0	1	0
COM	Webair Internet Develop	1326	4720	203	177	10	0	0	2	0	0	0	0	1	213	3	0	0	0
COM	Webnames.ca Inc.	456	18182	479	206	393	10	0	7	0	0	0	0	7	498	82	42	3	17
COM	WebZero Inc.	960	14977	13326	2630	1	0	0	0	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0
COM	WeRegisterit.ca Inc.	801	308	9	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
COM	What'sYourName.ca Inc.	802	248	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
COM	White Socks Domains Inc	1008	70	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Whitecowdomains.com l	1245	179	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
COM	Whiteglove Domains Inc.	921	2446	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Whoistoolbar.com Corp	694	327	4	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
COM	Wild West Domains Inc.	440	2357462	83023	54968	8385	869	0	812	0	0	0	0	223	90905	5082	484	401	447
COM	WillametteNames.com L	1234	1331	4	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0
COM	Wired Website Inc	1087	575	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
COM	Wisdomain.ca Inc.	803	314	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
COM	WooHo T&C Co. Ltd. c/b	300	7421	1339	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	339	9	6	0	0
COM	WorldNames.ca Inc.	683	263	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0
COM	Xiamen Chinasource Inte	1366	37481	30	3723	180	62	6	87	1	0	0	0	38	54	19	5	31	4
COM	Xiamen eName Network	1331	73751	129	3575	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2946	25	8	7	7
COM	Xin Net Technology Corp	120	916624	56845	37981	572	598	27	392	6	1	1	0	61	29119	1292	576	274	278
COM	Yellow Start Inc	1126	179	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	Yenkos Inc.	1243	27	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	YesNIC Co. Ltd.	100	126205	27239	1096	235	334	0	49	0	0	0	0	11	2604	354	337	9	67
COM	Ynot Domains Corp	924	433	5	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
COM	YourDomain.com LLC	933	1672	2	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0
COM	Your Domain King Inc	1143	174	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
COM	YourDomainCo.com Inc.	728	279	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
COM	Z-Core Inc.	923	122	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
COM	Zidodomain.ca Inc.	804	306	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
COM	ZigZagNames.com LLC	1235	367	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0
COM	ZippyDomains.ca Inc	730	308	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
COM	Zone Casting Inc	1127	182	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Totals			79898475	4142283	1621745	210567	29734	1572	31582	108	29	43	90	9221	2954877	141372	31000	15988	33550
NET	!!! BB Bulk Inc. dba My f	635	14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	! S I Bid It Win It Inc.	623	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	! Host Israel Inc	978	20	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	! Host Japan Inc	980	39	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	! Host Korea Inc	981	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	! Host Kuwait Inc	982	52	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	! Host Malaysia Inc	983	39	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	! Host United Kingdom	979	51	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	! AlohaNIC LLC	452	61	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	! ISO Cost Domain and H	710	94	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
NET	! 56.25 DOMAINS! Netwo	624	153	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0
NET	! 55 Private Label Interne	670	31	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	! 5PPC Marketing Ilc	994	62	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	! 007Names Inc.	91	2057	99	69	0	1	0	0	0	0	0	0	0	23	3	0	0	1
NET	! 0101 INTERNET INC.	816	328																

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	1 & 1 INTERNET AG	633	538556	3774	10589	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2559	0	0	0	0
NET	14PI GmbH	1387	13793	638	572	2	2	0	0	1	0	0	0	0	23	0	0	0	0
NET	1 Domain Source Ltd. dba	1368	25	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	1 eNameCo.	66	1375	129	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	42	4	0	0	0
NET	1 Host Australia Inc.	967	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	1 Host Brazil Inc.	969	28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	1 HOST CANADA INC.	971	14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	1 HOST CHINA INC.	970	31	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	1 HOST GERMANY INC.	968	32	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	1 Host Russia Inc	1068	19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	1 INTERNET SERVICES INT	1334	20	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	1 More Name LLC	997	18	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	10denchispahard SL	1403	97	3	92	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	12 Register BV	839	3779	59	171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	0	0	0	0
NET	123 Registration Inc.	245	677	21	8	2	0	0	0	0	0	0	0	1	8	1	1	1	1
NET	123domainrenewals LLC	846	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	1800-website LLC	845	46	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	1-877NameBid.com LLC	664	38	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	1st Registrar Inc.	937	25	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	1stDomain LLC	133	756	145	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	4	0	0	0
NET	1st-for-domain-names LL	856	40	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	2003300 Ontario Inc. dba	756	29	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	2030138 Ontario Inc. dba	378	643	31	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1	0	0	0
NET	21Company Inc. dba 21-c	897	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	24x7domains LLC	855	37	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	3349608 Canada Inc. dba	757	37	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	35 TECHNOLOGY CO. LTD	1316	8439	53	517	11	19	0	18	0	0	0	0	2	31	4	1	3	3
NET	3597245 Canada Inc. dba	713	26	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	3684458 Canada Inc. dba	714	35	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	4Domains Inc.	278	2949	101	55	4	1	2	1	0	0	0	0	0	141	1	0	1	0
NET	6230644 Canada Inc. dba	758	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	8068 Registrar Inc.	672	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	89AM Web Services Inc.	1033	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	890ian Registrar Inc.	1034	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	995discountdomains LLC	854	47	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	A Mountain Domains Inc	647	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	A Rite Tern LLC	950	18	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	A Technology Company k	53	509	59	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
NET	A.W.B. Trading Inc.	654	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	AB CONNECT	1378	529	0	86	4	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0
NET	AB NameISP	1371	3081	37	183	1	1	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
NET	Abacus America Inc. dba	52	49227	2174	807	62	6	0	12	0	0	0	0	3	2332	101	7	6	20
NET	Abdomainstions.ca Inc.	741	922	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	About Domain Dot Com	810	5509	42	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Above Inc.	940	10157	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	ABSystems Inc	1261	24258	1473	2355	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Abu-Ghazaleh Intellectual	360	328	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	Ace of Domains Inc	678	77	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Active 24 AS	247	35931	333	677	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1931	7	0	0	0
NET	Active Insider Inc	1089	43	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Active Registrar Inc.	1090	5377	208	368	40	11	0	8	0	0	0	0	1	38	5	3	10	1
NET	Address Creation LLC	270	715	62	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	44	5	0	0	3
NET	AddressontheWeb LLC	851	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	Adomainofyourrown.com	1158	79	2	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
NET	AdoptADomain.net Inc.	722	802	4	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96	0	0	0	0
NET	Advanced Internet Techn	57	17874	1708	201	8	7	0	3	0	0	0	0	2	824	27	10	2	5
NET	Advantage Interactive Lta	602	8594	102	13	190	1	0	4	0	0	0	0	0	1	89	86	1	0
NET	Affordable Computer Sol	695	561	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0
NET	ARRIREGISTER S.A.	1381	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Afterdark Domains Incon	922	272	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Aim High Inc. dba Get Ye	644	204	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	AirNames.com Inc.	901	39	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Alantron BLTD.	898	2627	336	177	0	0	0	2	0	0	0	0	0	56	2	0	0	0
NET	Alfena LLC	1241	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Alibaba (China) Technolo	1377	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Alices Registry Inc.	275	190	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0
NET	Allaccessdomains LLC	850	41	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Allearthdomains.com LLC	1159	229	3	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	AllGlobalNames S.A.	453	1115	15	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95	5	0	0	0
NET	Allindomains LLC	849	4680	364	33	16	0	0	0	0	0	0	0	0	191	19	1	3	3
NET	Allworldnames.com LLC	1167	245	2	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	AnnuLet Inc	607	9809	0	155	0	0	0	0	0	0	0	0	0	401	0	0	0	0
NET	ANO Regional Network Ir	463	19409	2175	1010	23	5	0	2	0	0	0	0	1	884	4	7	0	2
NET	Answerable.com (I) Pvt. L	630	5798	509	53	2	1	0	0	0	0	0	0	0	125	8	0	0	0
NET	Anytime Sites Inc.	829	120	36	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	AO Domains Incorporate	661	33	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	AOL LLC	16	24753	22	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1629	0	0	0	0
NET	Arab Internet Names Inc	902	254	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Arctic Names Inc.	1340	532	41	23	0	5	0	3	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0
NET	Arsys Internet S.L d/b/a	379	41890	1559	891	42	9	3	3	0	0	0	0	2	1897	11	1	0	1
NET	Asadal Inc.	632	7445	768	91	2	0	1	0	0	0	0	0	0	395	6	0	0	0
NET	Ascio Technologies Inc.	106	64462	782	1068	91	0	0	1	0	0	0	0	0	2962	55	2	0	0
NET	AsiaDomains Incorporate	903	269	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	AtlanticFriendNames.com	1157	196	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Atomicdomainsnames.co	1160	207	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	Atozdomainsmarket LLC	852	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	AusRegistry Group Pty. Lt	353	108	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Australian Style Pty Ltd	965	5895	224	209	43	0	0	0	0	0	0	0	0	63	0	0	0	0
NET	Austradomains LLC	853	79	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Austrandomains LLC	885	36	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	AvailableDomains.ca Inc.	759	796	4	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	0	0	0
NET	AvidDomains.com Inc.	904	31	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	AZ PL Inc.	1006	4878	182	298	10	0	0	1	0	0	0	0	0	122	2	0	0	0
NET	azdomains LLC	1391	1166	2	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Azprivatz LLC	1392	842	0	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Backslap Domains Inc	1018	115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	BackUp.ca Inc.	740	25	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Bargin Register Inc.	1081	435	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Baronofdomains.com LLC	1161	223	2	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	Basic Fusion Inc.	813	27576	46	96	0	0	0	0	0	0	0	0	1077	0	0	0	0	0
NET	BatDomains.com Inc.	838	29	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	BB Online UK Ltd	134	1932	150	15	18	0	0	0	0	0	0	0	0	131	2	1	0	1
NET	Bearsdomain LLC	886	34	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	Beartraddomains.com LL	1162	331	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
NET	Beijing Innovative Linkag	633	40957	1657	1301	35	10	3	17	1	0	0	0	1	1348	62	14	13	1
NET	Belgiumdomains LLC	860	19570	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	392	0	0	0	0
NET	Belmontdomains.com LL	1163	186	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
NET	BeMyDomain.net Inc	717	29	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Best Site Names Inc	1135	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Betterthanaveragedoma	1164	224	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	Bidfordomainnames LLC	861	46	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Big Domain Shop Inc	1145	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Big House Services Inc.	1042	578	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Bigizarddomains.com LL	1165	52	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Bignamesdomain.com In	1247	33	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	BINDROP LLC	1383	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Bizcn.com Inc.	471	45234	2237	1930	25	27	3	22	0	0	0	1	33	1364	53	46	18	11
NET	Black Ice Domains Inc	1017	10471	0	1166	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Blissterm Incorporated	700	420	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Blue Razor Domains Inc	612	8884	370	102	11	0	0	2	0	0	0	0	0	466	23	5	0	0
NET	Boitie Domains Inc.	836	1488	102	38	17	0	0	0	0	0	0	0	0	54	14	2	1	1
NET	BP Holdings Group Inc. d	825	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Brandon Gray Internet S4	636	18071	289	137	93	3	0	25	0	0	0	0	2	238	81	13	34	32
NET	Broadspire Inc.	977	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	BullRunDomains.com LLC	1166	208	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	BurnsideDomains.com LL	1168	61	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	C I Host Inc.	404	280	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
NET	CADiware AG	603	1016	45	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	26	0	0	1
NET	Capitaldomains LLC	862	80	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Capitoldomains LLC	857	6183	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	202	0	0	0	0
NET	CAT Inc. d/b/a Namezere	606	1712	106	12	6	0	0	1	0	0	0	0	0	68	5	0	0	0
NET	Catalog.com Inc.	112	3506	24	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	225	5	0	0	1
NET	Central Registrar Inc. d/b	282	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	CHEAPIES.COM INC.	1039	1852	108	26	2	0	0	0	0	0	0	0	0	108	0	3	0	0
NET	Chinesedomains LLC	858	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Chocolatecovereddomai	874	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Claimeddomains LLC	875	34	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Classdomainnames.com	1244	30	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Click Registrar Inc	1085	22	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Cocosislandsdomains LLC	859	46	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	CodyCorp.com Inc	905	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Colorado Names Domain	663	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Colossal Names Inc	1084	17	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Columbiadomains LLC	878	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	ColumbiaNames.com LLC	1169	262	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	Commerce Island Inc.	935	27	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	CommuniGal Communica	418	6108	579	320	2	0	0	0	0	0	0	0	0	215	6	0	0	0
NET	Compana LLC	679	22815	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	CompuGlobalHypermega	1170	207	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	Computer Services Lange	113	90160	7430	1043	282	28	2	27	0	0	1	0	3238	366	51	25	42	0
NET	Condomainium.com Inc.	760	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Cool Ocean Inc.	1093	29	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	CoolHandle Hosting LLC	812	133	15	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	CoolHosting.ca Inc.	761	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	CORE Internet Council of	15	39091	1321	461	56	2	0	3	0	0	0	2	2239	21	2	4	5	0
NET	Cotton Water Inc	1082	21	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	CPS-Datensysteme GmbH	1239	5556	151	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	394	0	0	0	0
NET	Crazy8Domains.com Inc.	744	26	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Crisp Names Inc.	831	201	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Cronon AG Berlin Nieder	141	156339	1935	2849	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9653	0	0	0	0
NET	Crystal Cool Inc	1118	23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	CSC Corporate Domains I	299	43068	1041	81	354	6	0	4	0	0	0	0	0	1614	138	3	21	0
NET	CSIRegistry.com Inc.	906	21	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Curious Net Inc.	1083	20	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	CVO.ca Inc.	674	36	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Cyidentity Inc. d/b/a Cyp	457	5196	591	79	1	0	0	1	0	0	0	1	346	4	0	1	1	1
NET	Dagnabit Incorporated	698	253	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Dattatec.com Belonging t	1388	1604	30	146	8	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
NET	Decentdomains LLC	877	34	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0
NET	Department-of-domains	876	45	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Deschutesdomains.com I	1171	205	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
NET	Desert Devil Inc.	939	39	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Deutschdomains LLC	883	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Deutsche Telekom AG	226	15708	249	279	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1151	0	0	0	0
NET	Digitydot LLC	884	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	DIGIRATI INFORMATICA S	1240	108	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Dinahosting SL	1262	4931	167	127	11	3	0	1	0	0	0	0	0	250	3	2	1	1
NET	Direct Internet Solutions	303	245100	38025	9505	327	72	5	51	0	0	0	0	17	6710	150	41	22	31
NET	Discount Domains Ltd	1369	54	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Discountdomainservices	883	42	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Distribute it Pty Ltd	900	3504	426	100	20	1	0	1	0	0	0	0	0	83	7	2	0	2
NET	DNGLOBE LLC	1032	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	DNS NET Internet Service	643	764	52	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0
NET	DNSvillage.com	907	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Documentdata anstalt	1317	256	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domain Band Inc.	1099	29	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domain Contender LLC	637	4843	112	14	1	1	0	1	0	0	0	0	0	284	1	0	0	0
NET	Domain Jamboree LLC	894	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domain Jingles Inc.	834	81	17	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domain Mantra Inc.	1088	25	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domain Monarch Inc.	1146	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domain Monkeys LLC	459	92	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domain Name Sales Corp	665	30488	246	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3472	0	0	0	0
NET	Domain Pro LLC	413	44	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Domain Registration Ser	64	2629	285	8	22	0	0	1	0	0	0	0	0	38	27	0	2	3
NET	Domain Rouge Inc.	1043	264	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domain Systems Inc.	711	240	17	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3	0	0	0
NET	Domain The Net Technol	10007	1008	19	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5	0	0	0
NET	DomainAdministration.ca	996	8670	76	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0
NET	Domain-A-Go-Go LLC	882	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainAllies.com Inc.	709	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domainania.com LLC	1172	210	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	Domainarmada.com LLC	1173	239	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	Domainator.ca Inc.	762	13	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DomainAuthority.ca Inc.	739	27	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domainbillsregistration L	881	37	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Domainbills LLC dba D	880	2914	0	409	0	0	0	0	0	0	0	0	0	202	0	0	0	0
NET	Domainbusinessnames L	879	35	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	DomainBuzz.ca Inc.	718	20	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domaincamping LLC	864	39	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	DomainCannon.com LLC	1174	1839	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domaincapitan.com LLC	1175	245	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainCentral.ca Inc.	749	39	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	DomainCentre.ca Inc.	675	30	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domainclip Domains Inc	889	3612	0	39	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Domainconairsound.com	1176	56	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	DOMAINCONTEXT INC.	1111	617	83	106	5	2	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0
NET	DomainDiscover	86	143122	2825	627	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9418	12	2	9	4
NET	Domaindorman LLC	865	19512	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	424	0	0	0	0
NET	Domainducks Inc. d/b/a f	619	161	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domaineered.ca Inc.	763	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domainestic.com Inc	764	31	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainEvent.ca Inc.	719	25	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domainfighter.ca Inc.	765	32	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	Domaingazelle.com LLC	1177	206	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Domaingrabber.ca Inc.	766	20	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domainhawk.net LLC	1178	217	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	DomainHeadz.ca Inc.	767	33	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	DomainHip.com Inc.	908	19	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domainhostingweb LLC	866	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domainhysteria.com LLC	1179	238	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	Domainiac.ca Inc.	805	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domainideas.ca Inc.	768	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domaininfo AB d/b/a dot	73	5631	568	0	48	1	0	0	0	0	0	0	1	49	99	6	3	12
NET	Domaininternetname LLC	867	34	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
NET	Domaininthebasket.com	1180	215	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0
NET	Domaininthehole.com LL	1181	237	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Domain-it Inc.	412	3370	16	100	6	0	0	6	0	0	0	0	0	79	7	0	0	2
NET	Domainjungle.net LLC	1182	224	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Domainlink.ca Inc.	769	27	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainLuminary.ca Inc.	770	31	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainMall.ca Inc	738	25	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DomainMania.ca Inc	771	33	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainMarketPlace.ca I	691	18	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainName Inc.	450	1251	5	20	2	4	0	1	0	0	0	0	0	32	3	0	0	2
NET	Domainnamebidder LLC	868	37	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	Domainnamelookup LLC	869	46	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DomainNetwork.ca Inc.	743	24	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domaininnovations Incorp	701	258	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domainos.ca Inc.	772	20	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainParadise.ca Inc.	773	26	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	DomainParkblock.com LL	1183	236	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
NET	DomainPeople Inc.	65	62384	4200	904	108	20	1	14	0	0	0	0	13	2666	146	34	13	56
NET	DomainPlaza.ca Inc.	681	56	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domainraker.net LLC	1184	248	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	DomainRegistry.com Inc.	128	1028	27	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	23	1	3	0	1
NET	Domainreign.ca Inc.	774	28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainRoyale.com LLC	1185	211	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Domains Only Inc.	644	21	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domains2be.com Inc.	689	467	2	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domains2go.ca Inc.	745	32	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domains2register.com	748	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domains4u.ca Inc.	775	34	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domains4u.net LLC	1186	243	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domains4u.com LLC	1187	203	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	DomainsAreForever.net	1188	219	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	DomainsAtCost.ca Corp	735	24	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domainscape.ca Inc.	684	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainsCostLess.ca Inc.	685	450	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	Domainscout.com Inc.	776	31	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	DomainsFirst.ca Inc.	716	32	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	DomainsForMe.ca Inc.	734	24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domainsinthebag.com LL	1189	230	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Domainsofcourse.com LL	1190	195	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
NET	Domainsoftheday.net LL	1191	205	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domainsoftheworld.net L	1192	208	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Domainsofvalue.com LLC	1193	46	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Domainsouffle.com LLC	1194	267	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
NET	Domainsoverboard.com	1195	50	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
NET	Domainsovereigns.com L	1196	217	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	DomainSprouts.com LLC	1197	183	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	DomainStream.ca Inc.	777	34	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomainStreet.ca Inc.	742	46	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domainstreetdirect.com	1198	61	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	Domainsurgeon.com LLC	1199	58	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Domaintimemachine.com	1200	197	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	DomainUtopia.ca Inc.	778	29	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	Domainventures.ca Inc	779	30	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Domainyeti.com LLC	1201	229	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Domainz Limited	629	23	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domieneshop AS	1001	10049	299	373	0	0	0	0	0	0	0	0	0	545	0	0	0	0
NET	DOMERATI INC.	1116	42	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DomReg Ltd.	381	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Domus Enterprises LLC d	731	55	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Dontaskwhy.com Inc.	1246	22	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Dootall Inc.	958	521	3	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
NET	DotAlliance Inc	1249	191	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	0
NET	DotAral Co. Ltd.	1373	165	36	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Dotname Korea Corp	1132	26297	2096	730	43	35	1	4	0	0	0	0	1	842	47	18	3	11
NET	Dotregistr LLC.	121	66837	3598	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3983	165	15	14	10
NET	DotSpeedy LLC dba dotsp	943	44	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Dotster Inc.	72	131043	11448	2088	753	0	0	0	81	0	0	0	16	4932	301	46	20	63
NET	DOTTED VENTURES INC	833	75	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	DropExtra.com Inc	1069	22	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Dropfall.com Inc	1070	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DropHub.com Inc.	1071	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DropLump.com Inc.	1072	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DropLabel.com Inc	1073	24	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DropLimited.com Inc	1074	180	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DropNation.com Inc	1076	28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Dropoutlet Incorporated	702	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DropSave.com Inc	1075	35	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DropWalk.com Inc.	1077	21	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DropWeek.com	1078	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	DSTR Acquisition II LLC d	144	33	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	DSTR Acquisition PA LLC	31	13082	624	69	32	0	3	0	0	0	0	0	1	458	24	5	1	11
NET	DSTR Acquisition I LLC d	301	15146	1191	131	54	0	2	0	0	0	0	0	1	699	83	0	1	15
NET	DvckbiliedDomains.com	1202	208	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
NET	DYNADOT LLC	472	39828	1383	2139	101	9	0	1	0	0	0	0	0	1584	1	2	1	5
NET	Dynamic Dolphin Inc.	941	5836	131	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
NET	Dynamic Network Service	1040	8269	1147	187	16	0	10	0	0	0	0	0	0	285	19	2	5	3
NET	Dyanames.com Inc	909	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	easyDNS Technologies In	469	6135	424	102	1	4	0	5	0	0	0	0	0	252	21	1	1	25
NET	EASYSFACE LTD.	79	18267	456	132	116	1	0	2	0	0	0	0	7	503	190	3	3	3
NET	eBrandSecure	671	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EKADOS INC. D/B/A GRO	1003	154	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
NET	ELB Group Inc.	820	2062	15	75	7	2	0	1	0	0	0	0	0	63	9	0	0	0
NET	Emily Names Domains In	646	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Encirca Inc	455	245	16	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Enetica PTY Ltd	618	5003	442	64	130	4	0	3	0	0	0	0	4	78	38	2	1	2
NET	Enetregistry Inc	608	25	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Enom Corporate Inc.	1044	4340	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Enom GMP Services Inc.	1045	4939	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	eNom World Inc.	1046	4793	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	eNom Inc.	48	1051682	89274	20574	1202	139	19	101	0	1	2	1	43	45706	952	228	65	125
NET	Enom1 Inc.	1047	4989	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Enom2 Inc.	1048	5053	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Enom3 Inc.	1049	5003	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom371 Incorporated	1263	359	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom373 Incorporated	1264	271	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom375 Incorporated	1265	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom377 Incorporated	1266	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom379 Incorporated	1295	303	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom381 Incorporated	1267	247	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	enom383 Incorporated	1268	463	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom385 Incorporated	1269	514	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom387 Incorporated	1270	281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom389 Incorporated	1271	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom391 Incorporated	1272	262	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom393 Incorporated	1273	460	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom395 Incorporated	1274	256	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom397 Incorporated	1275	259	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom399 Incorporated	1276	239	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Enom4 Inc.	1050	5221	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom403 Incorporated	1277	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom405 Incorporated	1278	295	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom407 Incorporated	1279	265	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom409 Incorporated	1302	261	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom411 Incorporated	1280	261	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom413 Incorporated	1304	461	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom415 Incorporated	1309	298	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom417 Incorporated	1310	242	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom419 Incorporated	1292	247	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom421 Incorporated	1305	277	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom423 Incorporated	1307	267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom425 Incorporated	1294	274	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom427 Incorporated	1293	252	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom429 Incorporated	1308	250	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom431 Incorporated	1281	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom433 Incorporated	1282	298	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom435 Incorporated	1283	271	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom437 Incorporated	1284	239	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom439 Incorporated	1285	36	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom441 Incorporated	1286	276	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom443 Incorporated	1301	267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom445 Incorporated	1296	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom447 Incorporated	1312	246	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	enom449 Incorporated	1287	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom451 Incorporated	1288	235	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom453 Incorporated	1289	227	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	enom455 Incorporated	1300	305	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom457 Incorporated	1314	266	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom459 Incorporated	1297	300	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	enom461 Incorporated	1303	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom463 Incorporated	1306	225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	enom465 Incorporated	1299	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	enom467 Incorporated	1313	296	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	enom469 Incorporated	1311	257	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Enom5 Inc	1051	4717	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Enom1 Inc	1057	5034	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnomAte Inc	1061	4370	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnomAU Inc.	1065	4963	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	eNombre Corporation	704	261	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnomEU Inc.	1066	4183	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Enomfor Inc	1067	4754	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnomMx Inc.	1063	4285	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Enomnz Inc	1064	4777	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	eNomsky Inc.	1062	630	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnomTen Inc.	1058	5186	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnomToo Inc	1059	5078	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnomV Inc.	1060	5071	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnomX Inc.	1053	5026	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Entertainment Names Inc	910	253	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	EnterTheDomain.com	726	39	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
NET	Entorno Digital S.A.	696	920	48	20	1	0	0	0	0	0	0	0	46	1	0	0	0	3
NET	EPAG DOMAINSERVICES	85	13142	295	258	0	0	0	0	0	0	0	0	690	0	0	0	0	0
NET	ESTDomains Inc.	832	57097	15668	2918	18	35	1	2	0	0	0	1	1200	41	10	1	0	0
NET	EUNameFlood.com LLC	1203	254	2	15	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
NET	EUNamesOregon LLC	1204	272	2	19	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0
NET	EuroDNS S.A	1052	3848	56	284	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0	0
NET	Europe Domains LLC	995	37	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	European NIC Inc.	1095	1400	32	24	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	0	0
NET	EuropeanConnectionOnl	1205	250	2	19	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
NET	EurotrashNames.com LLC	1206	210	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
NET	EUTurbo.com LLC	1207	60	4	20	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
NET	Ever Ready Names Inc	1130	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Everyones Internet Ltd. d	925	7425	692	327	20	2	0	0	0	0	0	0	208	9	0	3	1	1
NET	EvoPlus Ltd.	1418	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Experian Services Corp.	1131	365	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
NET	Experiom Inc.	1332	11	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Extend Names Inc.	1129	19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Extra Threads Corporatio	705	244	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	ExtremeDomains.ca Inc.	676	29	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Extremely Wild Inc.	1119	20	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	ezHosting.ca Inc	780	27	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	FabDomains.ca Inc	747	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Fabulous.com Pty Ltd.	411	117061	392	1971	2	0	0	0	0	0	0	0	2741	2	1	0	0	1
NET	FastDomain Inc.	1154	62419	395	2759	31	10	1	3	0	0	0	1	2109	3	0	0	0	0
NET	Fenomial Inc.	1056	607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Fiducia LLC Latvijas Parst	620	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Interlink Co. Ltd.	277	1353	131	20	1	4	0	0	0	0	0	0	0	82	0	0	2	0
NET	Internet Group do Brasil	1380	223	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Internet Internal Affairs C	699	217	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	INTERNET INVEST LTD. DI	1112	992	41	136	9	3	0	2	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0
NET	Internet Service Registrar	823	830	67	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	0
NET	Internet Viennaweb Serv	1370	71	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	INTERNET.bs Corp.	814	1996	220	88	13	0	0	1	0	0	0	0	0	16	1	0	0	0
NET	Interneters LTD.	424	7684	34	83	2	0	0	0	0	0	0	0	0	368	39	0	0	0
NET	InterNetWire Communic	1328	22812	183	533	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	InterNetworX Ltd. & Co.	1420	378	34	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Invisibledomains.com Inc	1248	22	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	IP Mirror Pte Ltd. dba IP	890	1171	68	21	2	0	0	0	0	0	0	0	0	50	3	0	0	0
NET	IPNIC Inc.	830	613	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0
NET	IPXcess.com SDN BHD	693	60	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	IServeYourDomain.com L	944	300	2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	ISReg Ltd.	1260	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	ipspan.com Inc.	911	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Jaz Domain Names Ltd	991	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Jetpack Domains Inc	1015	2456	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	JH Investments LLC	655	12	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Jumbo Names Inc	1148	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Kaunas University of Tech	1318	61	14	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Key Registrar Inc	1122	18	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Key-Systems GmbH	269	275982	11532	7298	75	39	2	17	0	0	0	0	2	14862	138	40	11	40
NET	Kingdomains Incorporated	912	278	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Kiaatdomains.com LLC	1360	213	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Kookycondundrum.ca Inc	785	34	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Korea Information Certifi	449	4244	140	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245	3	1	0	0
NET	KuwaitNet General Tradit	835	436	71	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1
NET	Ladas Domains LLC	642	343	9	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0
NET	Lakeodomains.com LLC	1359	193	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
NET	Launchpad Inc.	955	40	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Lazy Dog Domains Inc	1014	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Le Grand Nom Inc	652	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Lead Networks Domains	668	5268	68	89	19	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
NET	LEDL.NET GMBH	809	412	18	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0
NET	Lime Labs LLC	1421	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	livedoor Co. Ltd.	467	2859	135	969	2	2	0	0	0	0	0	0	0	361	3	3	0	0
NET	Locaweb Servicos De Inte	1080	10495	951	472	0	0	0	0	0	0	0	0	0	524	0	0	0	0
NET	LuckyDomains.ca Inc.	721	29	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
NET	M.G. Infocom Pvt. Ltd. Dd	1339	5034	171	251	0	0	0	0	0	0	0	1	15	0	0	0	0	0
NET	Magic Friday Inc.	1123	17	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Maindomain.ca Inc.	786	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Marcaria.com Internatio	1086	213	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Mark Barker Incorporate	752	299	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	MarkMonitor Inc.	292	68334	1020	151	372	3	0	27	0	0	0	0	0	1520	1022	7	4	7
NET	MasterofMyDomains.net	1358	64	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Matchnames.ca Inc	737	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Maxim Internet Inc	1002	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	McBourne IT Ltd. d/b/a	13	522728	15443	6092	748	177	4	349	0	0	0	0	160	24695	490	96	70	131
NET	Mesh Digital Limited	1390	543	27	125	19	1	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
NET	Microbreveddomains.co	1357	61	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Misk.com Inc.	401	6864	491	130	22	0	0	0	0	0	0	1	197	26	0	0	0	1
NET	Mister Name	1319	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Mobile Name Services Im	640	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Mobile USA Inc. DBA D	999	26	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Moniker Online Services	228	274686	11385	8055	41	10	5	19	0	0	0	0	0	7448	84	13	3	5
NET	Mouzz Interactive Inc.	827	473	24	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Mydomainnames.com L	1356	56	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
NET	MyDomain Inc	105	79711	6286	1929	371	0	0	26	0	0	0	0	7	2493	225	45	16	35
NET	MyNameOnline.ca Inc.	746	27	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Mypreciousdomain.com	1217	271	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
NET	Name Intelligence Inc.	627	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Name Nelly Corporation	755	269	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Name Perfections Inc.	1125	26	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Name Share Inc	667	81	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
NET	Name Thread Corporatio	753	425	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Name To Fame Inc	1104	16	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Name.com LLC	625	67313	3391	3936	84	20	3	9	0	0	0	2	1593	0	0	0	0	0
NET	Name.net LLC	826	4980	115	8	0	0	0	0	0	0	0	0	388	0	0	0	0	0
NET	Name2Host Inc. dba nam	464	1471	21	24	0	0	0	0	0	0	0	0	66	0	0	0	0	0
NET	Namesenal.com LLC	1218	231	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0
NET	NAMEBAY	88	16336	1513	277	20	4	8	0	0	0	0	0	899	40	9	2	1	1
NET	Namescroc.com LLC	1219	239	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
NET	Namesemporer.com LLC	1220	261	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
NET	NameFinger.com LLC	1221	235	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0
NET	NameGame.ca Internet S	682	26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Namejumper.com Inc	1025	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Nameking.com Inc.	609	46265	48	1151	0	0	0	0	0	0	0	0	458	0	0	0	0	0
NET	NamePanther.com LLC	1344	62	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
NET	NameQueen.com Inc.	617	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Names Bond Inc	1139	21	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Names In Motion Inc.	1394	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Names Real Inc	1138	28	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	NamesAlaCarte.com LLC	1343	221	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
NET	NameScout Corp	186	14443	1024	237	36	6	0	14	0	0	0	1	747	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Rainydaydomains.com LL	1351	53	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Rainydaydomains.com Inc.	736	32	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Randomain.ca Inc	792	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Ranger Registration (Mac	241	29	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Rank USA Inc.	961	24	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Rebel.com Corp.	600	50192	110	48	1	1	0	2	0	0	0	0	0	189	0	0	0	0
NET	Red Pillar Inc.	1092	3220	211	539	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Red Register Inc.	962	565	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Redomainder.com Inc	793	30	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	REG2C.COM INC.	819	11582	364	1373	41	16	5	17	0	0	0	0	12	49	7	2	5	0
NET	Register Fox Inc.	1110	84	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Register Names LLC	658	432	19	7	4	0	0	3	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
NET	Register.ca Inc.	1375	1309	2	32	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	register.com Inc.	9	299167	13430	3541	615	547	1	190	1	0	0	0	171	8789	925	285	46	200
NET	Register.it SPA	168	33145	315	880	207	0	8	0	2	0	0	0	8	1316	1	12	0	3
NET	Register365 Inc.	956	467	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	REGISTERMATRIX.COM C	1114	79	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	RegisterMyDomains.ca Ir	794	42	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Registerone.ca Inc	795	41	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	REGISTRAR COMPANY IN	808	17	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Registrar Label Inc.	822	33	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Registration Technolog	321	59823	54	248	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3503	7	1	0	2
NET	Regnow.ca Inc.	729	30	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Regtime Ltd.	1362	5818	625	380	2	1	1	0	0	0	0	0	0	119	7	1	0	0
NET	Rerun Domains Inc.	1011	79	0	8	14	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Reseller Services Inc. dba	926	61	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	ResellerSR5 Inc.	669	26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Retail Domains Inc.	1054	548	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	RIG Ventures L.L.C.	656	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	rockenstein AG	605	856	15	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	0	0	0	0
NET	Romel Corporation	736	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	SafeNames Ltd	447	6123	98	50	33	0	0	0	0	0	0	0	35	110	63	0	0	0
NET	SAMUUNG DATA SERVICE	1333	869	112	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0
NET	Samnamishdomains.com	1350	248	2	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Samsoadomains LLC	871	43	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	SamtiamDomains.com LL	1349	199	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	SAVEMORENAMES.COM	952	6755	0	182	0	0	0	0	0	0	0	0	0	246	0	0	0	0
NET	Savethename.com LLC	1348	206	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
NET	SBNames Ltd.	1259	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	SBSNames Incorporated	917	287	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	SCHUECHTERNET LTD DB	953	134	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	ScoopDomain.ca Inc.	796	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	SearchName.ca Internet	680	28	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Searchnrsq Inc.	1055	570	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Secura GmbH	111	977	26	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	71	0	0	0	0
NET	SecuraDomain.ca Inc.	797	28	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	SecureDomain.ca Intern	723	20	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Sibername.com Inc.	938	1534	30	63	1	0	0	0	0	0	0	0	1	57	3	0	0	0
NET	SicherRegister Incorporat	751	240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Signature Domains LLC	54	4322	47	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	24	5	0	0	1
NET	SilverbackDomains.com L	1347	60	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NET	Simply Named Inc. dba S	807	46	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Sipence Inc.	639	4104	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Sitefrenzy.com LLC	1346	264	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Sitename.com LLC	437	680	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Skykomishdomains.com	1232	56	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
NET	Slaphappy Domains Inc.	1010	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Small Business Names an	918	238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Snappyregistrar.com LLC	1355	214	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	Snooulamedomains.com	1354	193	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	Snowflake Domains Inc.	1009	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	South America Domains	724	41	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	SoYouWantaDomain.com	1353	56	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
NET	Specific Name Inc	1136	27	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Spot Domain LLC dba Do	466	72127	2540	534	72	10	2	3	0	0	0	0	3	3070	56	6	4	2
NET	Ssasss Incorporated	754	213	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Standard Names LLC	1374	2697	6	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Submit.ca Inc	798	24	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
NET	Super Name World Inc.	1147	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Tahoe Domains Inc.	712	26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	TARTON DOMAIN NAME	989	20	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Tech Tyrants Inc.	1107	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	That Damn Name Inc.	653	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	THE BLACK COW CORP	990	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NET	The Names Registration	1133	26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	The Planet Internet Servi	842	3782	638	129	5	1	0	0	0	0	0	0	0	124	2	2	0	0
NET	The Registrar Service Inc.	1144	34	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	The Registry at Info Aven	123	3699	352	81	1	0	1	1	0	0	0	0	0	148	7	5	0	1
NET	TheDomainNameStore.ca	799	23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	TheDomainShop.ca Inc.	800	22	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	TheGreatDomain.ca Inc.	687	30	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	ThirdFloorDNS.com LLC	1233	215	2	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
NET	Threadagent.com Inc.	1019	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
NET	Threadbot.com Inc	1028	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Threadexchange.com Inc	1022	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Threadfactory.com Inc.	1024	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Threadshare.com Inc	1031	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Threadsupply.com Inc.	1023	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Threadtrade.com Inc	1027	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Threadwalker.com Inc	1020	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Threadwatch.com Inc.	1021	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Threadwise.com Inc	1030	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Tiger Technologies LLC	841	859	11	7	1	0	0	0	0	0	0	0	54	1	0	0	0	1
NET	Titanic Hosting Inc.	957	28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	TLDs LLC dba SRplus	320	44239	4818	510	97	19	1	9	0	0	0	0	1908	59	24	7	29	
NET	Today and Tomorrow Co.	441	3552	1647	33	3	3	1	0	0	0	0	0	105	7	1	2	0	
NET	Todaynic.com Inc.	697	11497	176	393	14	5	0	3	1	0	0	6	295	12	4	1	1	
NET	Topsystem LLC	975	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
NET	Total Calories Inc.	651	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
NET	TotalRegistrations	131	7989	833	77	13	2	0	1	0	0	0	0	346	63	2	0	0	0
NET	TPP Domains Pty Ltd tr	972	1929	88	16	45	0	0	0	0	0	0	0	18	18	0	2	0	0
NET	Trade Starter Inc.	1109	26	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Traffic Names Incorporat	919	278	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	TravelDomains Incorpora	920	296	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Triple.com Inc.	1115	597	109	5	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0
NET	Tucows Inc.	69	815732	46488	14618	2484	224	13	135	2	0	1	4	55	34680	2172	420	92	301
NET	Tuonome.it Srl	380	2947	105	39	0	0	0	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0
NET	Tuvaludomains LLC	872	33	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Udmain.com LLC	945	255	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0
NET	UdomainName.com LLC	931	4503	102	2	0	0	0	0	0	0	0	0	70	4	0	3	0	0
NET	UK2 Group Ltd.	84	15194	3590	380	11	4	0	4	0	0	2	1	3	569	22	8	6	0
NET	Ultra Registrar Inc.	1108	15	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	UltraRPM Inc. DBA Meta	1338	1018	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Unified Servers Inc.	1106	32	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Uniport Net Services Inc	1038	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	UNITED DOMAIN REGIST	959	45	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Unitedkingdomdomains f	873	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Universal Registration Se	448	277	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	1	0	0	0
NET	Univero Online S.A	1389	1865	14	701	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
NET	Unpower Inc	1105	29	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	USA Webhost	439	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
NET	UsefulDomains.net inc.	733	29	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Valley Apples Inc.	662	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Variomedia AG dba pure	1257	2218	82	55	0	0	0	0	0	0	0	0	109	0	0	0	0	0
NET	Vedacore.com Inc	628	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Vishesh Infotecnics Ltd	249	1812	50	52	2	1	0	2	0	0	0	0	45	2	0	0	0	1
NET	Vista.com Inc.	660	18	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Vitalwerks Internet Solut	1327	1879	50	120	4	2	0	0	0	0	0	0	12	4	0	0	0	0
NET	Vivid Domains Inc	615	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0

<TLD>	<registrar-name>	<iana-ab>	<total-domains>	<total-nameservers>	<net-adds-1-yr>	<net-adds-2-yr>	<net-adds-3-yr>	<net-adds-4-yr>	<net-adds-5-yr>	<net-adds-6-yr>	<net-adds-7-yr>	<net-adds-8-yr>	<net-adds-9-yr>	<net-adds-10-yr>	<net-renews-1-yr>	<net-renews-2-yr>	<net-renews-3-yr>	<net-renews-4-yr>	<net-renews-5-yr>
NET	Volusion Inc.	1335	220	0	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	W. G. B. Registry Inc.	650	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Walela Brook Inc.	666	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Want Domain Names Inc	1103	35	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Web Business LLC.	966	31	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Web Commerce Commu	460	34951	1490	349	33	11	0	0	0	0	0	0	964	55	21	19	11	
NET	Web Werks India Pvt. Ltd	1337	318	11	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0
NET	Web.com Holding Comp	631	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Webagentur.at Internet	648	8150	30	435	2	0	0	4	0	0	0	0	149	1	0	0	0	0
NET	Webair Internet Develop	1326	807	61	18	2	0	0	0	0	0	0	0	21	1	0	0	0	0
NET	Webnames.ca Inc.	456	2734	82	33	42	0	0	2	0	0	0	2	50	8	2	0	0	0
NET	WebZero Inc.	960	77	32	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	WebRegisterIt.ca Inc.	801	32	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	WhatsYourName.ca Inc.	802	28	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	White Socks Domains Inc	1008	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Whitescovdomains.com	1245	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Whitieglove Domains Inc.	921	304	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	Whoistoolbar.com Corp	694	35	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
NET	Wild West Domains Inc.	440	291913	13277	6171	1121	124	0	122	0	0	0	0	39	11507	651	66	36	50
NET	WillametteNames.com L	1234	215	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0
NET	Wired Website Inc	1087	47	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Wisdomain.ca Inc.	803	46	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	WooHo T&C Co. Ltd. d/by	300	2206	159	11	0	1	0	0	0	0	0	0	74	7	2	0	0	0
NET	WorldNames.ca Inc.	683	29	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
NET	Xiamen Chinasource Inte	1366	4917	6	468	19	13	0	21	0	0	0	0	19	17	6	1	11	0
NET	Xiamen eName Network	1331	9423	29	513	0	0	0	0	0	0	0	0	376	3	1	0	0	0
NET	Xin Net Technology Corp	120	124403	5786	4458	115	79	6	74	0	0	0	1	14	4007	201	73	40	74
NET	Yellow Start Inc	1126	16	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Yenkos Inc.	1243	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	YesNIC Co. Ltd.	100	54629	4084	264	81	137	0	9	0	0	0	0	1323	91	74	0	18	
NET	Ynot Domains Corp	924	27	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
NET	YouDamain.com LLC	933	276	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
NET	Your Domain King Inc	1143	24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
NET	YourDomainCo.com Inc.	738	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Z-Core Inc.	933	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Zidodomain.ca Inc.	804	31	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
NET	ZigzagNames.com LLC	1235	34	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
NET	ZippyDomains.ca Inc	730	35	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NET	Zone Casting Inc	1127	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Totals			12185364	671634	245660	35086	5504	128	6064	17	3	8	22	1743	438762	22391	4995	1837	4720

● .org レジストラ別ドメイン名登録数一覧（2008年10月時点）

Registrar Name	IANA ID	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
Korea Information Certifi	449	834	31	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	1	0	0	0
Domain Registration Serv	64	2393	182	1	11	0	0	2	0	0	0	0	0	33	18	0	0	2
Xin Net Technology Corp	120	23654	264	907	25	24	0	27	1	0	0	0	1	670	27	17	4	11
Register.com Inc.	9	200807	5351	1842	245	469	2	143	0	0	0	0	164	5796	691	212	37	170
Baronofdomains.com LLC	1161	224	1	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Compuglobalhypermega	1170	219	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Gabia Inc.	244	6431	856	100	22	19	1	1	0	0	0	0	1	140	48	11	3	2
Enet Registry, Inc.	608	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
HyperStreet.com, Inc.	817	281	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0
DomainMarketPlace.ca I	691	152	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
R Lee Chambers Co. LLC	475	78	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
Interdominos, Inc.	818	100	15	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
Nordreg AB	638	356	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	0	0	0
DomainInfo AB	73	4325	116	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	48	89	7	2	14
PrimeDomain.ca Inc.	688	103	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
NameSecure, L.L.C.	30	27158	202	376	30	22	0	28	0	0	0	0	4	573	73	21	6	35
Address Creation, LLC	270	648	42	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3	0	0	1
azprivatez, LLC	1392	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Omnis Network LLC	143	9181	264	200	6	8	0	1	0	0	0	0	0	325	34	10	2	7
http.net Internet GmbH	976	3136	37	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201	0	0	0	0
ASCIO Technologies, Inc.	106	38574	160	697	56	2	0	0	0	0	0	0	0	1798	26	1	2	1
Nordnet	68	7773	73	89	0	0	1	2	0	0	0	0	0	405	2	1	5	0
Universal Registration Se	448	170	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0
Net-Chinese Co. Ltd.	1336	237	62	7	3	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	0	0	0
DotArai Co., Ltd.	1373	57	9	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EstDomains, Inc.	832	24380	552	794	10	4	0	0	0	0	0	0	1	628	13	1	0	1
Brandon Gray Internet Se	636	12274	202	49	85	4	1	11	0	0	0	0	0	152	49	10	45	15
OVH SARL	433	58662	1588	2311	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3389	97	60	10	8
Abacus America Inc dba f	52	32463	430	417	40	4	0	12	0	0	0	0	4	1699	54	11	12	44
Moniker Online Services	228	121244	1314	1584	22	10	1	6	0	0	0	0	0	6875	45	28	4	3
Interdomain S.A.	140	7355	41	46	1	1	0	0	0	0	0	0	0	550	5	3	1	0
Register.IT SPA	168	20465	193	604	155	2	12	1	2	0	0	0	6	847	0	9	0	0
ResellerSRS Inc dba http	669	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CORE Internet Council of	15	27595	362	220	37	2	0	3	0	0	0	0	1	1647	6	4	3	6
Webair Internet Develop	1326	87	0	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
IP Mirror Pte Ltd dba IP A	890	854	21	45	2	1	0	1	0	0	0	0	0	32	0	1	1	0
007 Names, Inc	91	1391	22	43	1	1	0	1	0	0	0	0	0	44	1	0	0	0
Catalog.com, Inc	112	3903	15	32	2	0	0	2	0	0	0	0	0	237	6	0	0	2
livedoor Co., Ltd.	467	245	17	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0

Registrar Name	IANA ID	total-domains	total-nameservers	net.adds-1-yr	net.adds-2-yr	net.adds-3-yr	net.adds-4-yr	net.adds-5-yr	net.adds-6-yr	net.adds-7-yr	net.adds-8-yr	net.adds-9-yr	net.adds-10-yr	net.renews-1-yr	net.renews-2-yr	net.renews-3-yr	net.renews-4-yr	net.renews-5-yr
Everyones Internet, Ltd.	925	4407	165	176	9	3	0	2	0	0	0	0	1	138	6	0	0	0
GMO Internet, Inc. dba O	49	22075	2027	313	16	15	0	3	0	1	0	0	2	535	24	40	2	6
WorldNames.ca INC	683	135	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
QuantumPages Technolo	1250	657	75	20	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
Misk.com, Inc.	401	4235	195	76	18	0	0	0	0	0	0	0	1	121	17	1	1	0
Go France Domains, Inc.	1153	607	5	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	1	1	0
Alfena LLC	1241	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
AsiaDomains, Incorporat	903	547	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Rockenstein AG	605	477	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0
Dynadot, LLC	472	18665	439	1451	16	4	0	3	0	0	0	0	0	345	5	5	0	0
Beijing Innovative Linkag	633	8426	2196	271	7	1	0	3	0	0	0	0	0	664	9	5	3	7
PacNames Ltd.	103	1422	142	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	40	4	0	0	0
Spot Domain LLC dba Dor	466	15045	681	298	45	8	0	10	0	0	0	0	3	547	35	13	0	6
A Technology Company, I	53	252	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
12 Register BV	839	3081	19	0	120	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0
eNom, Inc.	48	528816	17154	11629	836	98	16	76	1	1	0	0	27	25241	652	173	62	82
OnlineNIC Inc.	82	70303	2410	1734	26	11	1	5	0	0	0	0	0	3289	47	11	11	8
documentdata Anstalt	1317	144	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
Hangang Systems Inc. db	87	3141	315	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	10	2	0	1
Internet Invest. Ltd. dba I	1112	778	25	122	5	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0
azdomains, LLC	1391	24470	53	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain The Net Technol	10007	713	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5	0	0	0
Deutsche Telekom AG	226	8459	87	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	687	0	0	0	0
Arsys Internet, S.L. dba n	379	27955	521	578	36	2	2	2	0	0	0	0	0	1254	4	1	0	1
Afterdark Domains, Incor	922	532	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Internetters Limited	424	2583	4	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	183	11	0	0	0
Domenshop AS dba dort	1001	5790	111	251	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247	0	0	0	0
Cheapies.com, Inc.	1039	758	14	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	45	1	0	0	0
Wild West Domains, Inc.	440	193491	3348	5308	756	88	1	93	0	0	0	0	25	7439	504	50	32	43
Cvo.ca	674	109	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
Bottle Domains, Inc.	836	2633	48	69	18	0	1	0	0	0	0	0	0	32	5	1	0	0
ELB Group Inc.	820	1071	18	32	3	0	0	0	0	0	0	0	1	33	3	0	0	0
Domainscottless.ca Inc	685	184	2	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
easyDNS Technologies In	469	5697	170	72	2	6	0	6	0	0	0	0	3	257	22	3	2	7
Az.pl, Inc.	1006	1448	32	149	8	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
Gandi SAS	81	70353	5991	1187	50	32	4	12	1	0	0	0	9	3110	202	142	20	43
Register Names, LLC	658	286	7	3	5	0	0	2	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
NetDorm Inc	887	608	17	13	3	0	0	1	0	0	0	0	0	12	3	0	0	0
Key-Systems GmbH	269	121042	1912	2380	21	3	0	24	0	0	0	0	1	5177	29	8	2	10
Dynamic Network Service	1040	5646	634	102	10	0	0	12	0	0	0	0	0	198	16	3	3	6

Registrar Name	IANA ID	total-domains	total-nameservers	net.adds-1-yr	net.adds-2-yr	net.adds-3-yr	net.adds-4-yr	net.adds-5-yr	net.adds-6-yr	net.adds-7-yr	net.adds-8-yr	net.adds-9-yr	net.adds-10-yr	net.renews-1-yr	net.renews-2-yr	net.renews-3-yr	net.renews-4-yr	net.renews-5-yr
Freeparking Domain Regi	837	896	2	14	70	0	0	0	0	0	0	0	1	7	5	0	1	0
Directi Internet Solutions	303	171778	11100	5956	230	61	4	47	0	0	0	0	10	5707	137	39	31	39
Dinahosting S.L.	1262	3756	96	106	1	1	0	1	0	0	0	0	2	144	3	0	0	1
BB Online UK Limited	134	1852	30	9	6	0	1	0	0	0	0	0	0	121	2	1	1	1
Blue Razor Domains, Inc.	612	7593	138	90	11	2	0	1	0	0	0	0	0	385	11	1	1	1
Nettuner Corp. dba Web	634	1040	28	17	3	2	0	0	0	0	0	0	0	44	1	1	0	0
Netpia.com Inc.	130	1360	134	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	47	4	1	0	1
Abu-Ghazaleh Intellectual	360	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
enomEU Incorporated	1066	530	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Advantage Interactive LT	602	6498	27	17	211	2	0	1	0	0	1	0	4	79	44	1	3	0
TLDs L.L.C. d/b/a SRSPPlus	320	28556	887	342	71	8	0	10	0	0	0	0	2	1318	37	26	3	13
Domains Only, Inc.	844	28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Go Montenegro Domains	1152	561	8	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0
Vitalwerks Internet Solut	1327	760	8	49	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0
Domain Name Inc.	450	660	5	4	3	1	0	2	0	0	0	0	0	17	1	2	0	0
Group NBT plc aka NetNa	70	20303	71	38	176	0	0	1	0	0	0	0	5	757	73	3	6	16
Dootail, Inc.	958	151	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
InterNetwork Ltd. & Co. f	1420	432	36	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domainplaza.ca Inc	681	188	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
Sibername.com Inc	938	1171	20	29	4	2	0	2	0	0	0	0	2	44	0	0	0	0
Samsung Data Service Co	1333	166	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
Emetica PTY LTD	618	1868	44	23	25	2	0	0	0	0	0	0	0	35	15	2	0	4
Entorno Digital, S.A.	696	845	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	3
CADware AG	603	769	19	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	10	2	0	1
YesNIC Co., Ltd.	100	15882	834	60	9	20	0	1	0	0	0	0	1	209	12	20	2	5
Cronon AG Berlim Niederf	141	84976	386	1480	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5320	0	0	0	0
Internet.bs Corp.	814	440	34	18	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
Funpeas Media Ventures	363	347	19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	1
000Domains, LLC	301	10819	530	134	33	0	0	7	0	0	0	0	1	499	64	0	1	19
ABSYSTEMS INC dba you	1261	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IS6.25 DOMAINS! Netwo	624	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TotalRegistrations dba Tc	131	5148	84	43	16	0	0	3	0	0	0	0	0	196	35	2	0	0
FeNomINAL, Inc.	1056	497	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Arctic Names, Inc.	1340	490	44	18	0	2	0	3	0	0	0	0	0	35	0	0	0	1
Answerable.com (I) Pvt. L	630	4246	452	50	2	0	1	1	0	0	0	0	0	94	1	1	0	1
Name.com, LLC	625	27120	692	1268	69	13	3	10	0	0	0	0	1	277	0	0	0	0
Columbianames.com LLC	1169	163	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Web Werks India pvt	1337	242	13	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0
DomainRegistry.com Inc.	128	1037	26	8	1	0	0	0	0	0	0	0	1	13	1	3	0	1
Go China Domains, Inc.	1149	575	5	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	3	0	0	1

Registrar Name	IANA ID	total-domains	total-nameservers	net.adds-1-yr	net.adds-2-yr	net.adds-3-yr	net.adds-4-yr	net.adds-5-yr	net.adds-6-yr	net.adds-7-yr	net.adds-8-yr	net.adds-9-yr	net.adds-10-yr	net.renews-1-yr	net.renews-2-yr	net.renews-3-yr	net.renews-4-yr	net.renews-5-yr
Xiamen eName Network	1331	563	1	271	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Online SAS	74	11543	277	344	4	3	1	0	0	0	0	0	0	596	13	6	3	4
Registration Technologie	321	1707	17	18	8	1	3	0	0	0	0	0	2	620	2	1	1	0
Domainhawks.net LLC	1178	184	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AB NameISP	1371	2044	6	87	0	0	0	3	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
Advanced Internet Techn	57	12905	442	150	8	7	0	1	0	0	0	0	0	603	16	3	2	6
Tiger Technologies LLC	841	1057	23	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	47	1	2	0	0
Domainarmada.com LLC	1173	207	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Planet Online Corp.	815	141	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
Today and Tomorrow Co.	441	906	73	11	1	0	0	0	0	0	1	0	0	37	3	0	0	1
ALANTRON BLTD	898	910	81	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1	0	0	0
Intercosmos Media Grou	291	80130	2837	719	51	15	0	22	0	0	0	0	0	4451	136	37	16	65
PakNic Private Limited	1367	101	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
Rebel.com Corp.	600	15333	79	43	2	1	0	4	0	0	0	0	0	213	0	0	0	0
Aim High!, Inc.	644	257	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0
Big House Services, Inc.	1042	538	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kaunas University of Tech	1318	76	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BullRunDomains.com LLC	1166	207	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IAPI GmbH	1387	5382	122	264	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
DSTR Acquisition PA I, LL	31	9509	300	51	14	0	0	3	0	0	0	0	0	325	22	8	4	8
EPAG Domainservices Gr	85	7733	50	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	435	0	0	0	0
Internet Service Registr	823	675	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Safenames Ltd.	447	4096	24	31	31	0	0	0	0	0	0	0	36	64	36	0	0	0
Hichina Zhicheng Techno	420	17351	117	417	30	22	1	18	0	0	0	0	4	407	29	11	8	9
Nameking.com Inc.	608	3435	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	914	0	0	0	0
Gotnames.ca Inc.	698	156	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
Crisp Names, Inc.	831	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Reg3C.com Inc.	819	3787	61	207	3	4	0	9	0	0	0	0	2	17	4	2	3	1
InnerWise Inc. dba ItsYou	142	26693	454	203	43	3	0	2	0	0	0	0	0	1524	49	37	12	10
Signature Domains, LLC	54	2712	20	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1862	3	0	0	0
Go Canada Domains, Inc.	1150	524	3	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	4	0	0	0
Dotster, Inc.	72	93755	4909	1230	497	0	0	71	0	0	0	0	8	5307	287	61	16	78
35 Technology Co., Ltd.	1316	1574	0	74	2	3	0	1	0	0	0	0	0	6	1	2	0	0
Net 4 India Limited	1007	8324	24	229	21	11	0	20	0	0	0	0	9	210	16	0	5	6
Alice's Registry, Inc.	275	108	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
0101 Internet, Inc.	816	159	0	5	11	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0
Domainmania.com LLC	1172	186	5	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NameScout Corp.	186	10939	381	160	28	3	0	2	0	0	0	0	1	581	0	0	0	0
Whoistoolbar Corp.	694	134	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
Nominalia Internet	76	8040	118	174	10	3	0	2	0	0	0	0	0	446	6	4	1	3

Registrar Name	IANA ID	total-domains	total-nameservers	net.adds-1-yr	net.adds-2-yr	net.adds-3-yr	net.adds-4-yr	net.adds-5-yr	net.adds-6-yr	net.adds-7-yr	net.adds-8-yr	net.adds-9-yr	net.adds-10-yr	net.renews-1-yr	net.renews-2-yr	net.renews-3-yr	net.renews-4-yr	net.renews-5-yr
NetraCorp LLC dba Globa	893	32	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
Tucows Inc.	69	567443	17367	9306	1670	196	16	91	2	0	0	0	32	23670	1707	408	80	261
Asadal, Inc.	632	1495	169	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79	1	0	0	0
Allworldnames.com LLC	1167	234	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain Rouge Inc.	1043	543	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dotregistrar, LLC	121	41878	729	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2763	106	8	8	6
Ladas Domains LLC.	642	267	4	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0
1 & 1 Internet AG	83	340345	1292	7306	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109996	0	0	0	0
Dattatec.com Belonging t	1388	440	4	108	12	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
PSJ Japan	78	1659	148	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	53	3	5	0	1
Basic Fusion Inc	813	43286	10	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1257	0	0	0	0
INDOM	954	2552	5	77	11	0	0	9	0	0	0	0	0	7	3	0	2	0
Capitoldomains LLC	857	3830	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	226	0	0	0	0
Fiducia LLC, Latvijas Pars	620	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
M.G. Infocom Pvt. Ltd.	1339	626	47	46	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
CSC Corporate Domains,	299	30600	140	48	272	5	0	1	0	0	0	0	0	848	61	0	5	0
Web Commerce Commu	460	8692	508	202	15	1	0	5	0	0	0	0	3	304	18	7	4	5
4domains, Inc.	278	2368	33	53	2	0	1	0	0	0	0	0	0	108	2	0	1	0
Name.net LLC	826	39	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
Enrica Inc.	455	242	2	7	0	6	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
Initials Online Limited	616	312	20	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	1	0	0	0
InterNetWire Communiz	1328	7957	30	237	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Go Australia Domains, Int	1151	671	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1	0	0	0
Variomedica AG dba pure	1257	1187	37	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0
DotAlliance Inc.	1249	137	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0
Distribute.IT Pty Ltd	900	1434	58	40	13	1	0	0	0	0	0	0	0	27	3	2	0	0
Ignitela LLC	1242	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
I.D.R. Internet Domain R	127	44	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Netfirms, Inc.	892	19835	396	764	2	0	0	0	0	0	0	0	0	790	1	0	0	1
MarkMonitor Inc.	292	40492	113	86	199	5	0	27	0	0	0	0	0	1079	605	3	0	2
Netymx, Inc.	1004	278	4	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	2	0
Regtime Ltd	1362	2429	112	117	1	1	0	1	0	0	0	0	0	35	1	0	0	0
Secura GmbH	111	683	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0
DomainCentre.ca Inc	675	138	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
pair Networks Inc. dba ps	99	11865	248	68	17	9	8	42	3	0	0	0	1	168	29	8	13	50
Name Intelligence	627	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1-877namebid.com LLC	664	32	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Domains2be.com Inc.	689	137	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
AnyTime Sites, Inc.	829	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domaindoorman, LLC	865	4037	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	217	0	0	0	0

Registrar Name	IANA ID	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
Firstserver, Inc.	474	1263	88	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69	0	0	0	0
GoDaddy.com, Inc.	146	1939253	41441	42085	14977	1154	5	1343	0	0	2	2	417	57642	6148	797	458	620
UDomainName.com LLC	931	1687	27	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	4	2	9	0
Register.ca Inc.	1375	1508	5	24	11	1	0	0	0	0	0	0	0	1361	0	0	0	0
Gal Communication (Com	418	11357	192	300	1	0	0	0	0	0	0	0	0	131	1	0	0	0
Melbourne IT, Ltd. dba In	13	348250	8976	4171	515	92	1	173	0	0	0	0	11	17215	364	39	44	74
Sipence, Inc.	639	474	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PSI-USA, Inc. dba Domain	151	70029	1310	1103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4519	0	0	0	0
Interlink Co., Ltd.	277	104	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
Belmontdomains.com LLC	1163	230	4	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CSL Computer Service Ltd	113	50924	2133	541	236	7	2	15	0	0	0	0	0	1642	308	18	15	28
123 Registration, Inc.	245	481	3	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
Dotname Korea Corp.	1132	60	0	42	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
CPS-Datensysteme GmbH	1239	2194	25	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101	0	0	0	0
Domaincomesaround.com	1176	230	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Tuonline.it srl	380	1566	37	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	0	0	0	0
#1 Domain Names Intern	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
Todaynic.com, Inc.	697	2425	43	127	4	0	0	0	0	0	0	0	0	59	1	1	0	0
Webagentur.at Internet S	648	37744	7	1083	2	0	0	4	0	0	0	2	0	678	0	0	0	0
Domainhysteria.com LLC	1179	225	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Easyspace Limited	79	12746	79	75	168	2	1	3	0	0	0	0	5	284	131	0	1	4
AtlanticFriendNames.com	1157	204	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PocketDomain.com, Inc.	913	838	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nameview Inc.	622	6134	13	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	486	0	20	0	20
Cydenity, Inc. dba CyPac	457	878	32	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40	0	0	0	0
Internet Vienstweb Serv	1370	343	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NI Tech Solutions Inc.	673	586	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TPP Domain Pty Ltd. dba	972	784	6	9	24	0	0	1	1	0	0	0	0	14	3	0	0	0
AFRIREGISTER S.A.	1381	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AW Registry, Inc.	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	0
Belgiumdomains, LLC	860	2922	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	135	0	0	0	0
Globedom Datenkommun	276	1092	13	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0
Active 24 AS	247	21476	138	436	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1514	0	0	0	0
GP Domains Inc.	1322	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ANO Regional Network In	463	10167	779	460	12	4	0	2	0	0	0	0	2	465	2	0	0	0
IPNIC, Inc	830	2242	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	158	0	0	0	0
Domain - IT, Inc	412	2341	15	85	9	0	0	7	0	0	0	0	0	60	6	0	0	0
Parava Networks, Inc. db	94	2492	53	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	184	0	0	0	0
Wooho Technology CO., L	300	529	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	1	0	0
TierraNet Inc. dba Doma	86	38800	1149	407	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3879	8	5	8	0

Registrar Name	IANA ID	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
Mobile Name Services, In	640	415	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bizcn.com, Inc.	471	9023	143	434	8	4	0	0	0	0	0	0	0	217	11	8	0	0
Domaingazelle.com LLC	1177	183	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Beartrapdomains.com LL	1162	199	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
AllGlobalNames, S.A.	453	954	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	5	0	0	0
Active Registrar, Inc.	1090	3786	48	258	16	13	0	10	0	0	0	0	2	19	3	1	8	0
IHS Telekom, Inc.	1091	3463	220	219	4	1	0	5	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1
Domain Contender, LLC	637	18189	15	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1121	0	0	0	0
Guangzhou Ming Yang In	1417	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EnomAte, Inc.	1061	493	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
In2net Network, Inc.	604	9727	17	105	26	0	19	0	0	0	0	0	0	257	23	0	20	13
AB CONNECT	1378	235	0	36	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain Jingles, Inc.	834	23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Imperial Registrations, In	987	106	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TheGreatDomain.ca	687	167	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
United Domain Registry,	959	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Mister Name	1319	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2030138 Ontario Inc. dba	378	616	16	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	1	0
Nictrade Internet Identity	649	597	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	0	0	0
Network Solutions LLC	2	663533	29168	3323	670	700	1	1290	0	0	0	0	221	12947	1768	1238	480	2203
Atomicdomainnames.com	1160	227	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EuroDNS S.A.	1052	1564	9	206	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Mouzz Interactive	827	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MyDomain, Inc.	105	48534	1737	871	218	0	0	21	0	0	0	0	9	1914	183	31	13	30
Deschutesdomains.com ll	1171	183	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1stDomain LLC	133	540	60	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	1	0	0	5
Biglizarddomains.com LL	1165	219	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Rerun Domains, Inc.	1011	23	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
#1 Internet Services Inter	1334	14	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Fabulous.com Pty Ltd.	411	66365	122	1276	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3585	166	12	0	1
UK2 Group Ltd.	84	9451	552	194	4	2	0	2	0	0	0	0	0	328	26	6	1	1
Enom Corporate, Inc.	1044	498	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
New Dream Network, LLC	431	38327	649	1156	38	23	0	12	0	0	0	0	8	1649	40	24	3	7
Visech Infotecs Ltd	249	1902	7	27	9	4	0	5	0	0	0	0	0	171	4	2	2	0
ADL LLC	16	1602	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	0	0	0	0
Namebay	88	10960	228	249	9	1	1	0	0	0	0	0	0	570	37	3	0	1
Domain Monkeys, LLC	459	51	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
eNormMX Incorporated	1063	561	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain People Inc.	65	43125	1266	529	70	15	0	21	0	0	0	0	12	1996	89	33	27	45
European NIC Inc.	1095	817	2	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-numservers	metadds-1-yr	metadds-2-yr	metadds-3-yr	metadds-4-yr	metadds-5-yr	metadds-6-yr	metadds-7-yr	metadds-8-yr	metadds-9-yr	metadds-10-yr	metrenews-1-yr	metrenews-2-yr	metrenews-3-yr	metrenews-4-yr	metrenews-5-yr
PlanetDomain Pty Ltd	240	11823	271	236	116	13	2	10	1	0	0	0	0	5	213	61	3	2
Ledl.net GmbH dba doma	809	347	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0
Extreme Domains.ca Inc.	676	177	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
FastDomain Inc.	1154	52914	294	2358	25	17	1	1	0	0	0	0	0	2031	2	0	1	0
DomainContext, Inc.	1111	204	14	67	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Domain Directors Pty Ltd	1376	346	1	0	35	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Allindomains LLC	849	3888	189	23	10	0	0	2	0	0	0	0	0	169	13	0	1	5
Yenkos LLC	1243	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
The Registry at Info Aven	123	3155	125	24	2	0	0	3	0	0	0	0	0	172	9	4	3	2
Inames Co. Ltd.	444	3443	417	25	5	12	0	2	0	0	0	0	0	98	14	9	1	4
KuwaitNET General Tradi	835	155	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
Enamaco, LLC	66	1069	74	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	30	6	0	0	4
GKG.NET, INC. (Formerly	93	17963	997	211	12	54	1	13	0	0	0	0	3	633	32	14	3	16
Totals		7277897	197448	134159	24044	3389	97	3891	13	2	4	6	1082	371511	16021	3859	1614	4263

● .info レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains
Domain Registration Serv	64	1196	37	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	71	4	0	0	0
Domain Monkeys LLC	459	77	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
The Great Domain.ca Inc.	687	104	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Parava Networks Inc.	94	1203	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	175	0	0	1	0
Domain The Net	10007	349	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0
PocketDomain.com	913	4054	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Azdomain, LLC	1391	5341	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dynadot LLC	472	28130	564	527	3	0	0	0	0	0	0	0	0	680	2	0	0	0
Az.pl, Inc	1006	3764	90	177	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	3	0	1	0
Go Montenegro Domains	1152	277	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
Cheapies.com, Inc.	1039	277	35	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0	0	0
NameKing.com Inc.	609	1806	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	286	0	0	0	0
Primal Store Inc.	818	43	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
Discount Domains Ltd.	1369	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Entorno Digital S.A.	696	395	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15	0	0	0	0
12 REGISTER B.V.	839	3272	4	0	120	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0
Domain ITI Inc	412	351	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1	0	0	0
Allindomains, LLC	849	1192	44	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	71	4	0	0	0
FunPeas Media Ventures	363	111	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
Tiger Technologies LLC	841	101	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0
Extremedomains.ca Inc.	676	88	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
Cronon AG	141	98728	280	1717	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6874	0	0	0	0
Kaunus University of Tec	1318	37	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Globedom Datenkommun	276	2007	26	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	430	0	0	0	0
HiChina Web Solutions Li	420	1812	3	32	11	1	0	0	0	0	0	0	0	28	4	2	0	1
BullRunDomains.com LLC	1166	87	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
livedoor Co. Ltd.	467	480	17	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	0	0	2
Bumper Jumper Inc.	815	63	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
Arsys Internet S.L. dba NI	379	15156	260	309	11	1	1	1	0	0	0	0	0	596	1	1	1	0
Tucows Inc.	69	192725	3048	5719	626	50	6	32	0	1	0	0	14	8626	553	43	14	64
Active 24 ASA	247	19118	29	349	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1218	0	0	0	0
Corporate Domains	299	19008	7	16	76	5	0	1	0	0	0	0	0	280	340	1	38	0
Initials Online LTD.	616	60	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
Brandon Gray Internet Se	636	1164	3	9	5	3	0	0	0	0	0	0	0	34	9	1	0	5
NetraCorp, LLC	893	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
Sipence, Inc.	639	507	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0
Domaincomesaround.com	1176	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1-877Namebid.com LLC	664	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
http.net Internet gmbh	976	3377	20	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
PakNIC (Private) Limited	1367	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PacNames Ltd.	103	249	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
CORE Internet Council of	15	24618	122	208	34	0	0	0	0	0	0	0	0	2116	1	2	2	6
Nuclear Names Inc	960	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Innerwise	142	8078	70	73	1	0	0	0	0	0	0	0	0	649	9	49	6	2

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains
Todaynic.com, Inc.	697	900	7	25	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2	1	1	0
Register.com	9	40531	600	595	78	183	0	0	30	0	0	0	0	81	1102	148	35	3	25
Key-Systems GmbH	269	145968	1684	1969	21	1	0	15	0	0	0	0	1	13603	38	7	2	15	
Hangang System Inc.	87	167	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	
Alice's Registry Inc.	275	178	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Omni Network, LLC	143	1753	89	34	1	0	0	0	0	0	0	0	0	81	2	0	1	1	
Compuglobalhypermega	1170	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Web Commerce Comm. I	460	1621	113	33	4	1	1	1	0	0	0	0	0	40	3	0	0	4	
CPS-Datensysteme GmbH	1239	2351	8	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137	0	0	0	0	
Nordreg AB	638	108	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
Name Churner Inc.	817	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
Gabia, Inc	244	1071	196	16	4	4	0	0	0	0	0	0	0	32	6	0	1	0	
Aiffena LLC	1241	212	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Directi Internet Solutions	303	137910	17113	1896	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2561	61	12	21	21	
Distribute.IT Pty Ltd	900	779	6	19	5	1	0	1	0	0	0	0	0	92	1	0	0	0	
Nominalia Internet S.L.	76	4369	47	99	0	2	0	4	0	0	0	0	0	285	38	1	0	1	
IAPI GmbH	1387	7927	91	304	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
Domenshop AS	1001	2690	22	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157	0	0	0	0	
Desert Devil, Inc	939	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Ladas Domains LLC	642	255	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	
Best Registration Service	473	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DotAlliance Inc.	1249	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
Guangzhou Ming Yang In	1417	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DomainContext Inc.	1111	528	29	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	
R. Lee Chambers Compar	475	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
Netlynx, Inc.	1004	86	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
NameEngine	124	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Internet Viennaweb Serv	1370	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
MyDomain, Inc.	105	55182	971	265	52	0	0	5	0	0	0	0	0	1187	49	62	3	4	
Tuonome IT	380	1208	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	0	0	0	0	
Rockenstein AG	605	1039	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0	
Misk.com, Inc	401	1412	44	39	4	0	0	0	0	0	0	0	0	63	9	0	0	0	
Dynamic Dolphin Inc	941	148	12	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Gotomies.ca	690	102	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
Domain Jingles	834	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Mister Name	1319	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Dynamic Network Service	1040	822	32	17	3	0	0	4	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	
Primedomain.ca Inc	688	129	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	
IDR Internet Domain Reg	127	65	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
NamesBeyond Com	378	1020	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	
Vishesh Infotecnics	249	277	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	
Go Canada Domains, Inc.	1150	245	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Domainarmada.com LLC	1173	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1&1 Internet AG	83	269679	467	3030	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100802	0	0	0	0	
Intercosmos Media Grou	291	18681	654	176	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1429	37	16	2	7	

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains
4Domains, Inc.	278	1180	7	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	154	0	0	0	0	
Modern Grid	956	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Arctic Names Inc.	1340	72	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
EstDomains, Inc.	832	40514	10893	537	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1460	10	2	0	0	
Whoistoolbar.com Corp.	694	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DSTR Acquisition PA I, LLC	31	4039	71	7	5	0	0	1	0	0	0	0	0	119	5	3	0	2	
INDOMCO dba INDOM	954	2622	3	15	1	0	0	3	0	0	0	0	0	8	3	2	1	0	
Domain Registry.com Inc	128	179	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	1	
Worldnames.ca Inc.	683	97	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Register.ca Inc.	1375	1407	0	13	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1339	0	0	0	0	
0101 Internet, Inc.	816	244	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6.25 Domains	624	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
GKG.NET,Inc.	93	2740	117	43	2	6	0	3	0	0	0	0	0	124	4	1	1	0	
Beartrapdomains.com LL	1162	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Safe Names LTD	447	1936	0	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	49	24	0	0	0	
Internet Invest, Ltd. dba	1112	260	9	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	
AusRegistry Group Pty Ltd	353	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	0	0	1	
Registrar Company, INC	808	196566	15932	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
AtlanticFriendNames.com	1157	110	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DSTR Holdings, Inc.	72	91846	1691	317	143	0	0	10	0	0	0	0	1	2489	95	21	2	36	
Easyspace Ltd.	79	9345	27	25	42	0	0	3	0	0	0	0	0	587	63	0	1	2	
NameSecure L.L.C.	30	9574	65	94	7	0	0	7	0	0	0	0	1	442	28	5	3	18	
AllGlobalNames, S.A.	453	351	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	2	0	0	0	
Ledi.net GmbH	809	525	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	
Freeparking Domain Regi	837	419	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	12	0	1	1	
Advantage Interactive De	602	3380	11	5	82	1	0	0	0	0	0	0	0	19	26	0	2	0	
QuantumPages Technolo	1250	147	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	
Address Creation, LLC	270	108	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	
A Technology Company, I	53	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Everyone's Internet, LTD	925	1728	29	42	6	2	0	0	0	0	0	0	0	35	2	0	0	0	
PlanetDomain Pty Ltd	240	7091	126	165	52	12	1	3	0	0	0	0	7	164	79	4	2	3	
Network Solutions	2	113390	1401	549	137	67	0	182	0	0	0	0	33	6722	408	214	246	334	
Wooho	300	111	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	
YesNIC Co., Ltd	100	1839	113	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	187	3	1	0	0	
Pair Networks Inc.	99	1671	9	11	1	0	0	1	0	0	0	0	0	38	2	0	1	4	
Name Intelligence, Inc.	627	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Mobile Name Services, In	640	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
M.G. Infocom PVT. Ltd.	1339	105	11	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KuwaitNET General Trad	835	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
UDomainName.com LLC	931	1433	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91	1	1	0	0	
documentdata Anstalt	1317	124	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild West Domains	440	266640	4755	8095	432	38	0	41	0	0	0	0	5	5149	178	35	7	8	
Domain Discover	86	57699	2192	0	0	155	0	0	0	0	0	0	0	1114	3	3	2	0	
DomainPlaza.ca Inc.	681	108	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
ELB Group Inc.	820	2162	6	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	1	1	0	0	

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains
Atomic Giant	830	767	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0
Bizcn.com, Inc.	471	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Total Web Solutions	131	3422	21	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172	23	0	0	0	0
ColumbiaNames.com LLC	1169	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Imperial Registrations, In	987	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
GoDaddy.com Inc.	146	2001953	21562	97757	8614	620	0	427	0	0	0	1	157	35894	2516	226	79	155		
Ignitel LLC	1242	174	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
InterNetworX Ltd. & Co. f	1420	546	7	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
DomainCentre.ca Inc.	675	88	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
iHoldings.com	121	20394	142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1534	214	2	6	0	0	0
Netdorm Inc.	887	92	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Net 4 India Limited	1007	2650	17	70	7	5	0	3	0	0	0	0	0	2	68	1	1	0	0	1
Nom-IO Ltd DBA Com Lau	470	14	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Interdomain, S.A.U.	140	3781	12	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	294	3	0	0	0	0
SiberName.com Inc.	938	151	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
CSL Computer Service La	113	48491	5632	6240	104	24	0	2	0	0	0	0	0	2807	148	8	4	10		
Crisp Names, Inc.	831	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Reg2C.com Inc.	819	2461	23	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	3	0	0	0	0	1
Domainname Inc.	450	301	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
Encirca Inc.	455	145	2	7	1	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
Markmonitor Inc.	292	27856	81	36	137	5	0	16	0	0	0	0	0	614	369	0	1	0	0	0
NameScout Corp	186	4749	44	48	14	4	0	0	0	0	0	0	0	1	168	0	0	0	0	0
Red Register	962	191	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Net-Chinese Co., Ltd.	1336	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Domain Contender, LLC	637	140	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
Domains2BE.com Inc.	689	71	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Deschutesdomains.com L	1171	99	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Fastdomain Inc.	1154	8610	40	485	4	2	0	0	0	0	0	0	0	270	0	0	0	0	0	0
Mouzz Interactive	827	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nictrade Internet Identit	649	937	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	7	0	0	0	0	0
Abacus America, Inc. dba	52	11926	121	70	11	0	0	3	0	0	0	0	2	348	42	0	0	0	0	0
Vitalwerks Internet Solut	1327	142	8	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
Book My Name SAS	74	4232	76	176	1	0	0	0	0	0	0	0	0	137	2	0	1	0	0	0
Transpac	14	424	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0
Cadiware AG	603	495	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	10	0	0	0	0	0
1stDomain LLC	133	406	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0
Nettuner Corp	634	189	7	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
NetEarth One Inc. d/b/a	1005	65	12	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Fabulous.com Pty Ltd.	411	8965	37	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	595	1	0	0	0	0	0
In2net Network Inc., A Br	604	1481	4	15	2	0	0	1	0	0	0	0	0	42	6	0	0	0	0	1
Internettz LTD	424	2166	2	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	145	9	1	1	0	0	0
123 Registration Inc.	245	154	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	3
Solid Hub, Inc	958	218	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0
Allworldnames.com LLC	1167	88	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Go France Domains, Inc.	1153	212	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains
TLDs, Inc.	320	9297	227	77	13	0	0	2	0	0	0	0	0	559	17	9	0	0	0	0
GMO Internet Inc.	49	20623	1467	431	24	24	0	7	0	2	0	0	0	8	606	39	61	0	0	17
Registration Technologie	321	808	2	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	52	4	0	0	0	0	1
Register IT SPA	168	9561	37	292	66	0	3	2	0	0	0	0	0	377	0	2	0	0	0	1
OVH	433	45994	9861	1214	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2648	32	21	1	6		
SiteName.com LLC	437	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BB Online UK Ltd.	134	702	7	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	69	0	0	0	0	0	0
About Domain Dotcom S	810	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Gandi Sari	81	27320	1098	544	23	17	0	7	0	0	0	0	7	1147	49	18	5	3		
Enameco, LLC	66	343	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1
Baronofdomains.com LLC	1161	95	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Active Insider, Inc.	1089	19	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Domainscostless.ca Inc.	685	107	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Fiducia LLC Latvijas Parst	620	646	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0
Rebel.com Services Corp	600	6733	29	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0
Domainhawks.net LLC	1178	101	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NordNet	68	2474	9	14	3	0	1	0	0	0	0	0	0	139	1	0	1	4		
UK2 Group Ltd.	84	4683	267	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139	5	3	4	0	0	0
Rank USA, Inc.	961	46	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
European NIC, Inc.	1095	1181	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0	0
eNom, Inc.	48	254300	11410	10297	248	17	4	17	0	0	0	0	3	11564	226	40	11	23		
Cydney, Inc	457	171	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0
Go China Domains, Inc.	1149	268	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
Name.com LLC	625	28684	1004	366	19	2	0	2	0	0	0	0	0	205	0	0	0	0	0	0
DomainMarketPlace.ca M	691	104	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Variomedia AG dba pure	1257	1345	39	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Xin Net Technology Corp	120	574	19	8	6	0	2	0	0	0	0	0	0	22	2	0	0	0	0	0
ASCIO Technologies, Inc.	106	41428	214	550	56	1	0	1	0	0	0	0	0	2589	33	2	0	0	0	0
OnlineNIC, Inc.	82	26079	345	1596	14	0	1	0	0	0	0	0	0	847	4	0	1	0	0	0
InterNetWire Communica	1328	14712	31	223	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1278	0	0	0	0	0	0
Regtime Ltd.	1362	3784	287	129	3	1	0	0	0	0	0	0	0	82	3	1	0	0	0	0
Blue Fractal, Inc.	937	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Internet.bs Corp.	814	1372	70	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DevelopersNetwork.com	409	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ru-Center	463	7883	521	421	4	4	0	1	0	0	0	0	1	262	3	1	0	0	0	0
New Dream LLC	431	4880	64	168	8	4	0	0	0	0	0	0	0	197	4	2	0	0	0	0
Anytime Sites	829	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
The Name IT Corporation	57	2349	54	23	1	2	0	0	0	0	0	0	0	169	12	0	0	0	0	1
Webagentur at	648	20995	5	136	3	0	0	4	0	0	0	0	0	359	0	0	0	0	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains
AB Systems Inc.	1261	5419	11221	981	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EuroDNS SA	1052	1089	10	141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TPP Domains Pty Ltd, t/a	972	476	3	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	0	0	0	0
Domaingazelle.com LLC	1177	71	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Epag Domainservices GM	85	9498	16	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	812	0	0	0	0	0
NetNames/NetBenefit	70	14589	13	135	85	0	0	1	0	0	0	0	0	1	461	56	5	4	5	5
NAMEBAY	88	3813	68	124	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	265	15	0	0	0	0
IP Mirror PTE LTD	890	465	2	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0
Belmontdomains.com LL	1163	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dinahosting S.L.	1262	1490	24	60	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	51	1	0	1	1	1
Blue Razor Domains	612	3032	7	22	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	280	2	0	0	0	0
Domain Directors Pty Ltd	1376	226	7	0	36	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Rerun Domains Inc.	1011	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AB NameISp	1371	2521	7	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0
CVO.ca Inc.	674	86	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
INames Corp.	444	264	25	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2	0	0	0	0
Mobiline USA, Inc. dba d	999	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bottle Domains Inc.	836	1006	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	4	0	0	0	0
Alantron BLTD	898	304	21	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Active Registrar, Inc.	1090	66	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0
MIT	13	76482	2071	1111	134	18	0	49	0	0	0	0	0	6	3073	171	33	1	26	26
Domain People, Inc.	65	15363	323	94	19	5	1	3	0	0	0	0	0	0	1016	30	2	1	13	13
Atomicdomainnames.com	1160	103	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Own Identity, Inc.	985	140	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
PSI-Japan, Inc.	78	951	74	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	3	6	0	0	1
Answerbar Inc	823	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
Firstserver Inc.	474	1096	59	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0
Netpia.com, Inc.	190	516	30	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0
Domainhysteria.com LLC	1179	89	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Web Werks India Pvt. Ltd	1337	24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
Aim High Inc.	644	295	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0
Webair Internet Develop	1326	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
007 Names	91	627	11	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0
Register Names, LLC	658	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
Yenkos LLC	1243	197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Moniker Online Services	228	111652	1292	1303	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5081	7	2	1	5	5
Deutsche Telekom AG, Z	226	11197	81	159	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	933	0	0	0	0	0
IHS Telekom, Inc.	1091	677	9	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Domaininfo AB aka doma	73	3685	26	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	45	5	1	2	2
Central Registrar	282	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Gal Communications Ltd.	418	12674	39	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	488	1	0	0	0	0
Go Australia Domains, In	1151	206	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
BigLizarddomains.com LL	1165	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Catalog.com	112	595	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	3	0	0	0	1
000Domains, LLC	301	3302	69	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	293	11	0	0	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains	total-domains
easyDNS Technologies In	469	713	7	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	48	1	0	0	0	0
Totals		5029779	136662	155503	11794	1297	21	907	0	2	1	1	339	251668	6457	984	491	868		

● .biz レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

Registrar Name	IANA ID	Total Domains	Total Name Servers	Net Adds 1 yr	Net Adds 2 yr	Net Adds 3 yr	Net Adds 4 yr	Net Adds 5 yr	Net Adds 6 yr	Net Adds 7 yr	Net Adds 8 yr	Net Adds 9 yr	Net Add 10 yr	Net Renews 1 yr	Net Renews 2 yr	Net Renews 3 yr	Net Renews 4 yr	Net Renews 5 yr
IS6.25 DOMAINS! Netwo	624	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
007 Names, Inc.	91	922	9	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0
0101 Internet Inc.	816	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 eName Co	66	412	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	2
1&1 Internet AG	83	121422	189	18,805	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,875	0	0	0	0
12 Register B.V.	839	1294	1	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0
123 Registration, Inc.	245	307	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1
1-877 Namebid.com LLC	664	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1API GmbH	1387	2233	55	192	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
1stDomain LLC	133	351	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
4Domains, Inc.	278	1969	16	14	1	1	3	0	0	0	0	0	0	28	2	1	0	0
AB Name!SP	1371	1268	0	73	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
Abacus America, Inc. d/b	52	5894	100	80	12	0	0	0	0	0	0	0	0	169	41	3	2	3
About Domain Dot Com S	810	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Absystems Inc. dba Yourr	1261	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Active 24 ASA	247	9283	20	206	5	0	0	0	0	0	0	0	0	506	0	0	0	0
Active Insider, Inc.	1089	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Active Registrar, Inc.	1090	1309	10	116	10	8	0	3	0	0	0	0	0	11	1	1	2	0
Address Creation	270	121	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0
Advanced Internet Techn	57	2577	160	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141	10	0	0	1
Advantage Interactive LT	602	3510	19	6	67	0	0	1	0	0	0	0	0	24	32	0	1	0
Aim High!, Inc.	644	16	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Alantron BLTD	898	269	4	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
Alice's Registry, Inc.	275	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
Allgobainames SA	453	317	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	4	0	0	0
Allindomains, LLC	849	1022	32	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	53	5	0	2	6
ANO Regional Network Ir	463	6694	381	306	7	4	0	1	0	0	0	0	0	241	1	1	0	0
Anytime Sites, Inc.	829	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Arctic Names, Inc.	1340	59	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
Arsys Internet SL dba Nic	379	5846	108	113	1	0	0	0	0	0	0	0	1	279	0	0	0	0
Ascio Technologies Inc.	106	23235	98	258	42	0	0	0	0	0	0	0	0	895	27	1	0	0
AusRegistry Group Pty Lt	353	76	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0
AW Registry, Inc.	58	230	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
Az.pl, Inc.	1006	2256	13	134	4	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0
BB Online UK Limited	134	525	5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4	0	0	0
Blue Fractal, Inc.	937	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Blue Razor Domains, Inc.	612	3432	27	20	1	0	0	2	0	0	0	0	0	200	4	2	0	0
Bottle Domains Inc.	836	1025	4	18	9	0	0	0	0	0	0	0	0	28	5	0	0	1
Bumper Jumper, Inc.	815	53	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
CTHost	404	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Registrar Name	IANA ID	Total Domains	Total Name Servers	Net Adds 1 yr	Net Adds 2 yr	Net Adds 3 yr	Net Adds 4 yr	Net Adds 5 yr	Net Adds 6 yr	Net Adds 7 yr	Net Adds 8 yr	Net Adds 9 yr	Net Add 10 yr	Net Renew 1 yr	Net Renew 2 yr	Net Renew 3 yr	Net Renew 4 yr	Net Renew 5 yr
CADware AG	603	380	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	42	0	3	0
Capital Networks Pty, Ltd	103	130	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3	0	0	0
Catalog.com, Inc.	112	693	2	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	31	1	0	0	0
Cheaples.com Inc	1039	131	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
China Springboard Inc.	1412	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Communi Gal Communica	418	2948	117	18	2	1	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0
CORE Internet Council of	15	12831	82	106	12	0	0	0	0	0	0	0	0	540	1	0	0	1
Corporate Domains, Inc.	299	19222	68	7	51	4	0	1	0	0	0	0	0	638	628	9	4	33
CPS-Datensysteme GmbH	1239	902	10	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	0	0	0	0
Crisp Names, Inc	831	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Cronon AG	141	39714	173	690	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,167	0	0	0	0
CSL Computer Service (d	113	20028	319	257	81	3	1	4	0	0	0	0	0	964	125	6	0	9
Cydenity, Inc.	457	1102	13	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	44	0	0	0	0
Deutsche Telekom AG	226	7139	33	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	346	0	0	0	0
Digup Domains, Inc	833	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dinahosting SL	1262	125	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Directi Internet Solutions	303	46057	4197	1,448	68	12	0	12	0	0	0	1	2	1,108	38	9	2	17
Discount Domains Ltd	1369	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Distribute IT PTY LTD	900	631	22	18	7	0	0	2	0	0	0	0	0	18	2	2	0	0
documentdata anstalt	1317	114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain Bank, Inc.	31	2732	50	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	96	6	3	0	5
Domain Jingles, Inc	834	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain People	65	12625	544	137	13	5	1	4	0	0	0	0	0	531	39	3	1	13
Domain Registration Serv	64	864	13	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	81	6	0	0	0
Domain The Net Technol	10007	479	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	7	0	0	0
DomainContext, Inc.	1111	247	17	55	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
Domaininfo AB	73	2607	29	0	19	1	0	0	0	0	0	0	0	8	60	2	4	9
Domain-It, Inc.	412	578	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	2	0	0	0
Domainname, Inc.	450	336	0	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
Domains At Cost	735	32	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domeneshop AS dba dom	1001	1740	13	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	0	0	0	0
Dootall, Inc	958	52	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
DotAlliance, Inc.	1249	27	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Dotster	72	17347	525	239	89	0	0	12	0	0	0	0	1	702	41	9	0	12
Dynadot LLC	472	5422	62	158	1	0	0	1	0	0	0	0	0	230	2	0	0	0
Dynamic Network Service	1040	877	45	18	1	0	0	1	0	0	0	0	0	22	3	0	0	1
easyDNS Technologies, In	469	843	18	12	0	0	0	1	0	0	0	0	0	51	5	0	0	0
EasySpace Ltd.	79	6185	29	32	17	0	0	3	0	0	0	0	6	164	89	1	1	0
ELB Group, Inc.	820	352	0	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	0	0	0
Encirca, Inc	455	129	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0

Registrar Name	IANA ID	Total Domains	Total Name Servers	Net Adds 1 yr	Net Adds 2 yr	Net Adds 3 yr	Net Adds 4 yr	Net Adds 5 yr	Net Adds 6 yr	Net Adds 7 yr	Net Adds 8 yr	Net Adds 9 yr	Net Add 10 yr	Net Renew 1 yr	Net Renew 2 yr	Net Renew 3 yr	Net Renew 4 yr	Net Renew 5 yr
eNom, Inc.	48	147254	7287	3,001	228	20	0	18	0	0	0	0	8	10,698	433	31	8	20
Entorno Digital, SA	696	199	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
EPAG Domainservices Gr	85	4433	21	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	252	0	0	0	0
Estdomains Inc	832	10724	1575	444	4	1	0	1	0	0	0	0	1	301	4	4	0	1
European NIC, Inc.	1095	594	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0
Everyone's Internet Ltd.	925	1425	34	51	7	3	0	1	0	0	0	0	0	48	3	0	3	0
Fast Domain Inc.	1154	8886	33	472	9	2	0	0	0	0	0	0	0	331	0	0	1	0
Firstserver, Inc.	474	1115	74	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	0	0	0	0
Freeparking Domain Reg	837	219	2	0	13	0	0	2	0	0	0	0	0	6	12	0	0	0
Funpeas Media Ventures	363	216	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	1
Gabia Inc.	244	3478	715	55	9	7	0	1	0	0	0	0	0	92	37	2	1	2
Gandi SAS	81	12277	1066	330	6	4	0	3	0	0	0	0	0	638	25	1	1	0
GKG.Net, Inc.	93	2458	99	39	6	12	0	0	0	0	0	0	1	70	3	1	0	2
Globedom Datenkommun	276	375	5	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0
GMO Internet, Inc.	49	15444	922	399	27	31	0	6	0	0	0	0	6	507	31	32	2	5
Go Australia Domains Inc	1151	214	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
Go Canada Domains Inc	1150	192	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
Go China Domains Inc	1149	198	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
Go France Domains Inc	1153	200	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
Go Italy Domains Inc	1152	223	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
GoDaddy.com, Inc.	146	553167	7448	7,236	2,581	183	0	229	0	0	0	0	78	14,588	3,295	206	55	126
Ground Internet, Inc.	936	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Hangang Systems, Inc. d/	87	360	36	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	2	1	0	1
HiChina Zhicheng Techno	420	3942	6	68	5	2	0	3	0	0	0	0	1	47	3	3	2	2
http.net Internet gmbH	976	484	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HyperStreet.com, Inc.	817	112	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
I.D.R. Internet Domain Re	127	63	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IHoldings.com, Inc. d/b/a	121	13214	180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,043	28	1	0	1
Imperial Registrations, In	987	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
In2Net Network Inc.	604	1168	0	26	2	0	0	2	0	0	0	0	0	16	4	0	0	0
Inames Co. Ltd.	444	1544	89	13	3	4	0	0	0	0	0	0	0	45	4	2	0	0
INDOM	954	1488	1	10	2	0	0	5	0	0	0	0	0	22	2	0	5	0
Initial's Online Ltd.	616	47	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
InnetWise, Inc. d.b.a. ItH	142	6101	77	43	11	0	0	1	0	0	0	0	0	397	17	3	12	0
Instra Corporation Pty Ltd	1376	38	0	18	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Intercomos Media Grou	291	12555	479	163	6	1	0	3	0	0	0	0	0	883	23	18	0	12
Interdomain S.A.	140	2813	5	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253	8	0	0	0
Interdomios, Inc.	818	21	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Internet Invest, Ltd.	1112	173	3	27	2	0	0	1	0	0	0	0	0	9	1	0	0	0
Internet Service Registr	823	106	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0

Registrar Name	IANA ID	Total Domains	Total Name Servers	Net Adds 1 yr	Net Adds 2 yr	Net Adds 3 yr	Net Adds 4 yr	Net Adds 5 yr	Net Adds 6 yr	Net Adds 7 yr	Net Adds 8 yr	Net Adds 9 yr	Net Add 10 yr	Net Renew 1 yr	Net Renew 2 yr	Net Renew 3 yr	Net Renew 4 yr	Net Renew 5 yr
Internet.bs Corp.	814	9	2	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Internetters Limited	424	2584	6	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	215	13	1	1	0
InterNetworX Ltd. & Co.	1420	170	7	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IP Mirror Pte Ltd	890	906	15	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	0	0	0
IPNIC, Inc.	830	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
Key-Systems GmbH	269	61666	1016	1,266	4	10	0	13	0	0	0	0	1	2,980	24	7	1	4
KuwaitNET General Trad	835	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Ladas Domains LLC	642	216	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0
M.G Infocom Pvt. Ltd. db	1339	150	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
MarkMonitor, Inc.	292	27233	33	43	83	2	0	14	0	0	0	0	0	3,596	1,890	0	3	5
Melbourne IT Ltd	13	100940	963	1,202	184	23	1	70	0	0	0	0	7	4,227	168	18	4	72
Misk.com, Inc.	401	1249	53	35	2	0	0	0	0	0	0	0	0	39	6	3	0	0
Mister Name	1319	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Mobile Name Services In	640	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Modern Grid Inc	956	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Moniker Online Services,	228	32003	256	205	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4,043	14	1	0	0
Name.com	625	12635	217	488	18	7	0	4	0	0	0	0	0	120	0	0	0	0
Namebay SAM	88	3012	136	43	1	0	0	1	0	0	0	0	0	266	33	4	1	0
Nameking, Inc.	609	136	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0
NamesBeyond.com	378	73	13	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Namescout.com	186	4464	109	13	30	1	0	3	0	0	0	0	2	121	0	0	0	0
Namesdirect.com, Inc.	105	11482	221	249	26	0	0	4	0	0	0	0	1	345	11	6	0	3
NameSecure.com, Inc.	30	7849	66	73	4	2	0	20	0	0	0	0	0	147	27	7	0	13
Net 4 India	1007	1957	6	47	3	4	0	2	0	0	0	0	5	27	3	0	0	0
Net Tuner Corp. dba Wet	634	214	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	1	0	0
NetBenefit d/b/a NetNan	70	11913	17	13	90	0	0	1	0	0	0	0	0	1,460	44	0	5	3
Net-Chinese Co., Ltd.	1336	41	3	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Netdorm Inc	887	108	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
Netlynx, Inc.	1004	103	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Netpia.com, Inc.	130	1727	65	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	90	0	1	0	0
NetraCorp, LLC	893	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Network Solutions Inc.	2	126880	1882	596	135	139	0	241	0	0	0	0	39	5,460	554	397	19	708
Nictrade Internet Identit	649	471	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	0	0	0
Nominalla Internet SL	76	3166	20	20	2	2	0	3	0	0	0	0	0	263	28	2	0	3
Nordnet	68	1860	3	20	0	0	1	0	0	0	0	0	0	91	2	0	0	1
Omni Networks, LLC.	143	2016	67	36	3	0	1	2	0	0	0	0	0	65	2	1	0	0
Online Orders Network L	658	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Online SAS	74	2479	24	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	1	2	0	0
OnlineNIC, Inc. d/b/a Chi	82	14786	524	564	0	0	0	0	0	0	0	0	0	601	4	2	1	0
OVH SARL	433	22477	208	998	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,638	7	8	1	0

Registrar Name	IANA ID	Total Domains	Total Name Servers	Net Adds 1 yr	Net Adds 2 yr	Net Adds 3 yr	Net Adds 4 yr	Net Adds 5 yr	Net Adds 6 yr	Net Adds 7 yr	Net Adds 8 yr	Net Adds 9 yr	Net Add 10 yr	Net Renew 1 yr	Net Renew 2 yr	Net Renew 3 yr	Net Renew 4 yr	Net Renew 5 yr
Own Identity, Inc	985	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Pair Networks Inc.	99	1502	18	5	0	0	0	2	1	0	0	0	0	28	1	1	0	6
PakNIC Limited	1367	17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Parava Networks, Inc.	94	1367	39	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0
PlanetDomain Pty Ltd	240	5251	118	79	57	1	0	1	0	0	0	0	3	79	33	4	0	0
PSI-Japan, Inc.	78	1194	51	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	3	2	1	1
PSI-USA, Inc. dba Domai	151	23788	246	336	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1,161	0	0	0	0
QuantumPages Technolo	1250	176	10	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
R&K Global Business Serv	301	2197	77	19	14	0	0	1	0	0	0	0	0	124	12	0	0	1
Rebel.com Corp	600	2344	1	76	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Reg2C.com Inc.	819	1010	15	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	1	1	0
Register .IT Spa	168	8717	126	240	61	0	1	0	1	0	0	0	3	215	1	1	0	0
Register.ca	1375	1736	0	11	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Register.com	9	53085	817	525	138	103	2	52	0	0	0	0	31	1,686	340	81	1	38
Registration Technologie	321	686	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0
Regtime Ltd.	1362	1897	112	146	2	0	0	0	0	0	0	0	1	49	4	1	0	0
Rockenstein AG	605	198	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
Safenames Ltd	447	1849	6	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	43	14	0	0	0
Secura GmbH	111	1213	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0
Sibername.com Inc.	938	106	0	18	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0
Signature Domains	54	298	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	0	0	0
Sipence Incorporated	639	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SiteName.com, LLC	437	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
Spot Domain LLC	466	11080	235	49	9	1	0	2	0	0	0	0	0	110	6	0	0	0
The Registry at Info Aven	123	636	30	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	2	1	1	2
Tierra Net Inc. dba Doma	86	11016	202	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	450	3	2	2	0
Tiger Technologies LLC	841	108	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
TLDs Inc.	320	8975	847	68	9	0	1	0	0	0	0	0	0	483	22	3	1	15
Todaynic.com Inc.	697	2264	18	60	6	0	0	1	0	0	0	0	0	38	1	0	0	0
Total Web Solutions d.b.a	131	2678	34	10	5	0	0	0	0	0	0	0	0	183	37	1	0	0
TPP Domains dba TPP Int	972	640	5	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21	0	0	0
TRANSFAC	14	520	5	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0
Tucows Inc.	68	159524	2910	2,982	605	49	3	28	0	0	0	0	20	9,808	541	48	9	60
UDomainName.com LLC	931	886	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
UK2 Group Ltd.	84	1478	93	34	4	1	0	0	0	0	0	0	0	35	0	1	0	2
Variomedia AG	1257	575	33	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Vishesh Infotronics Ltd. d/	249	473	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
Vitalwerks Internet Solut	1327	122	7	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Volution, Inc.	1335	92	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Web Commerce Commu	460	5264	142	70	5	3	0	8	0	0	0	0	2	88	14	6	5	2

Registrar Name	IANA ID	Total Domains	Total Name Servers	Net Adds 1 yr	Net Adds 2 yr	Net Adds 3 yr	Net Adds 4 yr	Net Adds 5 yr	Net Adds 6 yr	Net Adds 7 yr	Net Adds 8 yr	Net Adds 9 yr	Net Add 10 yr	Net Renews 1 yr	Net Renews 2 yr	Net Renews 3 yr	Net Renews 4 yr	Net Renews 5 yr
Web Werks India Pvt Ltd	1337	42	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Webair Internet Develop	1326	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Webgentur.at Internet S	648	4430	2	133	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	0
Wild West Domains, Inc.	440	82898	1334	1,571	307	33	0	17	0	0	0	0	8	2,986	297	18	19	13
Wooho T&C Co. d/b/a RC	300	346	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0
Xin Net Corp	120	1835	58	21	3	5	2	0	0	0	0	0	0	39	2	0	0	1
YesNIC Co., Ltd.	100	13458	521	39	0	6	0	0	0	0	0	0	1	734	4	6	0	1
Totals		2086460	41967	49,289	5,417	706	16	821	2	0	0	1	236	90953	9397	998	190	1365

● .aero レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年9月時点)

	Jul-2008		Aug-2008		Sep-2008	
	Airline Code	Airport Code	Airline Code	Airport Code	Airline Code	Airport Code
Activated by Sponsor	6,861	18,110	6,868	18,101	6,868	18,099
CPS-Datensysteme GmbH	0	0	0	0	0	1
Ascio Technologies Inc.	1	0	1	0	1	0
Core Internet Council of Registrars	0	2	0	2	0	2
Domain Bank, Inc.	14	65	14	64	14	64
EPAG Domainservices GmbH	0	1	1	2	1	2
Key-Systems GmbH	1	4	1	4	1	4
NAMEBAY SAM	0	2	0	3	0	3
Namesbeyond.com	5	29	6	37	6	38
Nominalia Internet S.L	4	23	4	23	4	23
Safenames Ltd	1	0	1	0	1	0
PSI-USA, Inc. dba Domain Robot	0	1	0	1	0	1
Regtime Ltd.	0	1	0	1	0	2
Secura GMBH	18	25	18	25	18	24
Tuonome IT	10	25	10	25	10	25
Total	6,915	18,288	6,924	18,288	6,924	18,288

● .museum レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

registrar-name	iana-id	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
Secura GmbH	111	104	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
TUONOME.IT SRL	380	35	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Domainbank, Inc.	31	381	409	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	11	0	0	0
Nominalia	76	24	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Totals		544	593	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	11	0	0	0

● .coop レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月)

registrar-name	iana-id	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
domains.coop	465	4633	5312	21	19	2	1	2	0	0	0	0	3	62	23	8	0	4
Secura GmbH	111	201	567	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
CORE Internet Council of	15	26	189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Tuonome	380	67	114	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain Bank Inc.	31	742	1296	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	9	6	0	0	0
Firstserver, Inc.	474	109	114	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
NamesBeyond dba good	378	101	45	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Good Luck Internet Servi	1041	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Totals		5917	7675	28	27	2	1	2	0	0	0	0	3	78	31	8	0	4

● .pro レジストラ別ドメイン名登録数一覧（2008年10月）

CustomerId	Number of Domains
007names	21
123registration	2
1api	39
abnameisp	122
alldomains	0
allindomains	4
ascio	16
bulkregister	17
csc_corporate	187
domainpeople	4022
domainsite	0
encirca	7165
epag	15
gandi	2457
hangang	0
idr	0
indom	650
mailclub	97
markmonitor	184
name	7
namebay	231
netnames	91
netsol	6545
ovh	1851
psi-usa	34
register.com	109
register.it	242
safenames	0
secura	40
verisign	0

● .name レジストラ別ドメイン名登録数一覧（2008年10月）

01 registrar- name	02 iana-id	03 total- domains	04 total- name- servers	05 net- adds- 1-yr	06 net- adds- 2-yr	07 net- adds- 3-yr	08 net- adds- 4-yr	09 net- adds- 5-yr	10 net- adds- 6-yr	11 net- adds- 7-yr	12 net- adds- 8-yr	13 net- adds- 9-yr	14 net- adds- 10-yr	15 net- renews- 1-yr
000domains, LLC	301	283	488	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9
007Names, Inc.	91	531	719	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
0101 Internet, Inc.	816	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1&1 Internet AG	83	29,516	3,579	279	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,397
123 Registration, Inc.	245	189	263	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12 Register B.V.	839	19	19	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1-877NameBid.com LLC	664	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1API GmbH	1387	79	105	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
# 1 DotMobi Registrar, Inc.	939	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1stDomain LLC	133	68	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1st Registrar, Inc.	937	0	161	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Abacus America, Inc. d/b/a Names4ever	52	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AB NameISP	1371	858	55	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Above, Inc.	940	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ABSYSTEMS INC dba yournamemonkey.com	1261	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Abu-Ghazaleh Intellectual Property dba TAGIdomains.com	360	96	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
Active 24 AS	247	3,441	248	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	183
Alantron BLTD.	898	58	60	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Alldomains, LLC	144	0	1,944	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AllGlobalNames, S.A. dba Cyberegistro.com	453	18	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Allindomains, LLC	849	1214	660	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
Anytime Sites, Inc.	829	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ascio Technologies, Inc. - Denmark	106	3,422	865	43	5	0	0	0	0	0	0	0	0	107
BB Online UK Limited	134	122	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
Blue Razor Domains, Inc.	612	358	317	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
Bottle Domains, Inc.	836	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

01 registrar- name	02 iana-id	03 total- domains	04 total- name- servers	05 net- adds- 1-yr	06 net- adds- 2-yr	07 net- adds- 3-yr	08 net- adds- 4-yr	09 net- adds- 5-yr	10 net- adds- 6-yr	11 net- adds- 7-yr	12 net- adds- 8-yr	13 net- adds- 9-yr	14 net- adds- 10-yr	15 net- renews- 1-yr
Catalog.com	112	81	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
Commerce Island, Inc.	935	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
@Com Technology, LLC	400	0	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CORE Internet Council of Registrars	15	1,522	1,442	7	13	0	0	0	0	0	0	0	0	54
CPS-Datensysteme GmbH	1239	148	163	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
Crisp Names, Inc.	831	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Cronon AG Berlin, Niederlassung Regensburg	141	1,829	1,361	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85
CSC Corporate Domains, Inc.	299	1,099	350	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13
CSL Computer Service Langenbach GmbH d/b/a joker.com	113	1,039	733	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
Cydentify, Inc. dba CyPack	457	22	6,173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DBMS, Incorporated	1298	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dinahosting s.l.	1262	8	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Directi Internet Solutions Pvt. Ltd. d/b/a PublicDomainRegistry.com	303	8,410	14,986	297	8	3	0	0	0	0	0	0	1	436
documentdata Anstalt	1317	22	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DomainContext, Inc.	1111	135	164	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domainducks, Inc. dba Personalnames.com	619	411	599	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
Domaininfo AB, aka domaininfo.com	73	250	2,661	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	5
Domain-It!, Inc.	412	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain Jingles, Inc.	834	3	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DomainPeople, Inc.	65	1,804	1,204	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	51
Domain The Net Technologies Ltd.	10007	213	123	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Domeneshop AS dba domainnameshop.com	1001	667	181	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
DotAlliance Inc.	1249	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dotregistrar, LLC	121	1,213	1,676	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
Dotster, Inc.	72	3,537	4,663	64	15	0	0	0	0	0	0	0	0	110
Dotted Ventures, Inc.	833	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dynadot, LLC	472	882	281	45	1	0	0	0	0	0	0	0	0	38
Dynamic Dolphin, Inc.	941	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

01 registrar- name	02 iana-id	03 total- domains	04 total- name- servers	05 net- adds- 1-yr	06 net- adds- 2-yr	07 net- adds- 3-yr	08 net- adds- 4-yr	09 net- adds- 5-yr	10 net- adds- 6-yr	11 net- adds- 7-yr	12 net- adds- 8-yr	13 net- adds- 9-yr	14 net- adds- 10-yr	15 net- renews- 1-yr
Dynamic Network Services, Inc.	1040	4	5,780	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Easyspace Limited	79	494	2,924	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
ELB Group Inc	820	2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EnCirca, Inc.	455	563	352	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
eNom401, Incorporated	63	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
eNom, Inc.	48	7,839	7,380	113	17	0	0	0	0	0	0	0	0	2,070
EPAG Domainservices GmbH	85	333	258	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
EstDomains, Inc.	832	3,766	5,057	231	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103
European NIC Inc.	1095	84	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
Firstserver, Inc.	474	21	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
FreeParking Domain Registrars, Inc.	837	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
French Connexion dba Domaine.fr	601	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Funpeas Media Ventures, LLC dba DomainProcessor.com	363	63	100	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
Gabia, Inc.	244	289	455	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
Gal Communication (CommuniGal) Ltd.	418	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Gandj SAS	81	4,471	3,211	52	2	4	0	1	0	0	0	0	0	151
GKG.NET, INC.	93	568	24,539	9	0	2	0	1	0	0	0	0	0	21
Globedom Datenkommunikations GmbH, d/b/a Globedom	276	48	28	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
GMO Internet, Inc. d/b/a Discount-Domain.com and Onamae.com	49	616	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
GoDaddy.com, Inc.	146	102,325	26,777	313	159	10	0	13	0	0	0	0	2	3,412
Ground Internet, Inc.	936	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Group NBT plc aka NetNames	70	584	148	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12
Guangzhou Ming Yang Information Technology Co., Ltd	1417	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HANGANG Systems, Inc. dba Doregl.com	87	70	252	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
HiChina Zhicheng Technology Limited	420	4,543	160	112	3	2	0	2	0	0	0	0	0	94
HyperStreet.com, Inc.	817	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I.D.R Internet Domain Registry LTD.	127	51	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Imperial Registrations, Inc.	987	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

01 registrar- name	02 iana-id	03 total- domains	04 total- name- servers	05 net- adds- 1-yr	06 net- adds- 2-yr	07 net- adds- 3-yr	08 net- adds- 4-yr	09 net- adds- 5-yr	10 net- adds- 6-yr	11 net- adds- 7-yr	12 net- adds- 8-yr	13 net- adds- 9-yr	14 net- adds- 10-yr	15 net- renews- 1-yr
In2net Network Inc.	604	1	313	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Inames Co., Ltd.	444	197	24,586	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
InnerWise, Inc. d/b/a ItsYourDomain.com	142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Intercosmos Media Group, Inc.	291	3,145	4,402	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	181
Interdomain S.A.	140	1639	129	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69
Interdominos, Inc.	818	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Internet Service Registrar, Inc.	823	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Intermetters Limited	424	124	440	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
InterNetworX Ltd. & Co. KG	1420	41	55	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IP Mirror Pte Ltd dba IP MIRROR	890	70	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IPNIC, Inc	830	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Key-Systems GmbH	269	10,434	4,867	156	3	1	0	23	0	0	0	0	0	617
KuwaitNET General Trading Co.	835	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MarkMonitor Inc.	292	831	477	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	36
Melbourne IT Ltd	13	32,192	1,556	445	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,340
MyDomain, Inc.	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Namebay	88	490	747	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
Name.com LLC	625	1,781	927	165	3	0	0	5	0	0	0	0	0	20
NameEngine, Inc.	124	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NameScout Corp.	186	1,542	1,688	14	9	0	0	0	0	0	0	0	0	53
NameSecure L.L.C.	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Namezero.com, Inc.	136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Naming Web, Inc.	942	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Net 4 India Limited	1007	395	148	10	2	0	0	2	0	0	0	0	0	8
Netpia.com, Inc.	130	179	144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
Network Solutions, LLC	2	11,975	5,193	38	12	7	0	15	0	0	0	0	2	244
New Dream Network, LLC dba DreamHost Web Hosting	431	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NIC1, Inc.	986	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nominalia Internet S.L.	76	282	352	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
Nom-ig Ltd. dba COM LAUDE	470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

01 registrar- name	02 iana-id	03 total- domains	04 total- name- servers	05 net- adds- 1-yr	06 net- adds- 2-yr	07 net- adds- 3-yr	08 net- adds- 4-yr	09 net- adds- 5-yr	10 net- adds- 6-yr	11 net- adds- 7-yr	12 net- adds- 8-yr	13 net- adds- 9-yr	14 net- adds- 10-yr	15 net- renews- 1-yr
OnlineNIC, Inc.	82	1,224	1,473	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	38
Online SAS	74	925	230	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
OVH	433	23	9,291	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Own Identity, Inc.	985	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Paknic (Private) Limited	1367	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Planet Online Corp.	815	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PSI Japan	78	8	23	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PSI-USA, Inc.	151	3,893	2,527	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133
QuantumPages Technologies Pvt. Ltd. d/b/a OwnRegistrar.com	1250	12	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Reg2C.com Inc.	819	22	24	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Register.com, Inc.	9	6,532	3,481	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110
REGISTER.IT SPA	168	175	36	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
Registrar Company, Inc.	808	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Registrar Label, Inc.	822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Registration Technologies, Inc.	321	119	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Regtime Ltd.	1362	940	582	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
R. Lee Chambers Company LLC d/b/a DomainsToBeSeen.com	475	31	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
rockenstein AG	605	95	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SafeNames Ltd.	447	34	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Secura GmbH	111	165	123	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
SiberName.com, Inc.	938	36	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
Spot Domain LLC dba Domainsite.com	466	1,357	913	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
TierraNet Inc. d/b/a DomainDiscover	86	558	573	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
TLDS L.L.C. d/b/a SRSPlus	320	444	1,447	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
Todaynic.com, Inc.	697	503	239	7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	14
Total Web Solutions Limited trading as TotalRegistrations	131	336	434	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
Tucows Inc.	69	8,330	157,889	277	25	0	0	1	0	0	0	0	1	272
UK2 Group Ltd.	84	252	541	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
Web Commerce Communications Limited	460	407	5,032	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12

01 registrar- name	02 iana-id	03 total- domains	04 total- name- servers	05 net- adds- 1-yr	06 net- adds- 2-yr	07 net- adds- 3-yr	08 net- adds- 4-yr	09 net- adds- 5-yr	10 net- adds- 6-yr	11 net- adds- 7-yr	12 net- adds- 8-yr	13 net- adds- 9-yr	14 net- adds- 10-yr	15 net- renews- 1-yr
dba WebNic.cc														
Web Werks India Pvt. Ltd	1337	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild West Domains, Inc.	440	10,971	6,379	74	16	1	0	0	0	0	0	0	1	314
Wooho Technology Co., Ltd. d/b/a RGNames.com	300	50	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Yesnic Co., Ltd.	100	953	976	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3

● .travel レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

Registrar	IANA ID	Total Domains	Total Name Servers	Net Adds 1-YR	Net Adds 2-YR	Net Adds 3-YR	Net Adds 4-YR	Net Adds 5-YR	Net Adds 6-YR	Net Adds 7-YR	Net Adds 8-YR	Net Adds 9-YR	Net Adds 10-YR	Net Renewals 1-YR	Net Renewals 2-YR	Net Renewals 3-YR	Net Renewals 4-YR	Net Renewals 5-YR
Affordable Computer Sol	695	2351	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ascio Technologies Inc.	106	186	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
Communi Gal Communic	418	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CORE Internet Council of	15	49	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
Corporate Domains, Inc.	299	863	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	0	0	0
CPS-Datensysteme GmbH	1239	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Direct Internet Solutions	303	632	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	32	1	0	0	0
EasySpace Ltd.	79	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Encirca, Inc	455	17196	25	81	9	1	0	0	0	0	0	0	0	1,319	50	3	0	0
IP Mirror Pte Ltd	890	76	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
Key-Systems GmbH	269	683	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
MarkMonitor, Inc.	292	718	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	17	0	0	0
Melbourne IT Ltd	13	1048	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	145	1	0	7
Name.com	625	406	5	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Namebay SAM	88	122	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
NamesBeyond.com	378	176644	21	48	0	1	0	0	0	0	0	0	0	63	0	0	0	0
NetBenefit d/b/a NetNar	70	1122	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0
Nominialia Internet SL	76	318	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
PSI-USA, Inc. dba Domair	151	209	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
Register.com	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Safenames Ltd	447	229	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	2	0	0	0
Secura GmbH	111	307	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
Todaynic.com Inc.	697	107	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
UK2 Group Ltd.	84	260	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0
Web Commerce Commu	460	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wooho T&C Co. d/b/a RG	300	48	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
Xin Net Corp	120	28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Totals		203670	69	186	15	3	0	0	0	0	0	0	0	1666	217	5	0	7

● .cat レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

registrar-name	iana-id	total-domains	total-name-servers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renewals-1-yr	net-renewals-2-yr	net-renewals-3-yr	net-renewals-4-yr	net-renewals-5-yr
Domaine.fr	601	12	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Active24	247	787	106	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	0	0	0	0
OVH	433	21	10618	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Variomedia AG	1257	24	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
Dinahosting s.l.	1262	1473	266	97	8	4	0	1	0	0	0	0	1	39	2	0	0	0
Interdomain	140	2074	196	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	173	0	0	0	0
Entorno.es	696	6823	2321	103	2	1	0	0	0	0	0	0	0	198	8	0	0	5
InterNetX	151	9	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MelbourneIT	13	60	42	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
MarkMonitor	292	57	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EnCirca	455	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Safenames Ltd.	447	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Arsys	379	5843	7317	155	3	1	1	5	0	0	0	0	1	172	0	0	0	0
Ascio	106	284	53	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
Nominialia	76	14072	3073	412	0	0	0	0	0	0	0	0	0	287	0	0	0	0
10dencehispahard S.L (C	1403	371	63	83	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SW Hosting & Communic	1407	139	6	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Secura	111	13	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Totals		32065	24113	937	16	6	1	7	0	0	0	0	2	940	10	0	0	5

● .mobi レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

MOBI - ICANN Transactional Data Monthly Report for 2008-10-01 to 2008-10-31																		
Registrar Name	JANA ID	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
Nom Infinitum, Incorpore	703	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Moniker Online Services	228	39202	277	302	13	4	0	2	0	0	0	0	0	2320	12	1	0	0
Secura GmbH	111	54	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
Entorno Digital, S.A.	696	697	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0
Arsys Internet, SL dba nic	379	4774	6	109	2	1	0	0	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0
Domaininfo AB	73	511	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	25	35	4	2	9
Hichina Zhicheng Techno	420	24488	7	361	30	252	0	7	0	0	0	0	1	660	44	10	7	3
Register.com	9	4237	12	72	13	13	0	0	0	0	0	0	3	163	15	0	0	4
IAPI GmbH	1387	2095	0	1	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Blue Fractal, Inc.	937	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OnlineNIC Inc.	82	3835	4	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172	9	0	0	0
Cronon AG Berlin	141	24331	5	444	0	0	0	0	0	0	0	0	0	322	0	0	0	0
Melbourne IT Ltd	13	8123	8	15	46	0	0	3	0	0	0	0	0	231	55	0	23	21
PSI Japan	78	961	167	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	2	0	0	1
Go China Domains Inc.	1149	3212	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	554	4	2	0	0
IP Mirror Pte Ltd dba IP N	890	233	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
QuantumPages Technolo	1250	122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0
1&1 Internet AG	83	25628	12	426	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1360	0	0	0	0
Catalog.com Inc.	112	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
YesNIC Co. Ltd.	100	345	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
Safenames Ltd.	447	583	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	59	0	0	0
Big House Services, Inc.	1042	227	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Guangzhou Ming Yang Im	1417	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
documentdata Anstalt	1317	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Network Solutions LLC	2	25593	96	377	84	130	0	81	0	0	0	0	12	399	32	16	4	8
Dontaskwhy.ca Inc.	1246	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain The Net Technol	10007	915	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0	0	0
Xin Net Corp.	120	2004	51	56	0	0	1	7	0	0	0	0	0	72	0	0	0	0
Gal Communication (Com	418	819	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
BigNamesDomain.com In	1247	107	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domain-IT Inc.	412	965	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0
eNlmsky, Inc.	1062	198	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RegisterMatrix.com Corp	1114	238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EuroDNS S.A.	1052	11254	26	124	0	0	0	0	0	0	0	0	0	855	1	0	0	0
In2net Network Inc. DBA	604	723	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0
Rebel.com Corp.	600	171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Namescout Corp.	186	536	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0
CSL GmbH Computer Ser	113	2932	6	43	13	0	0	2	0	0	0	0	0	112	27	1	0	2
REGISTER.IT SPA	168	3962	9	128	13	2	0	0	0	0	0	0	0	46	0	0	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-nameservers	net.adds-1-yr	net.adds-2-yr	net.adds-3-yr	net.adds-4-yr	net.adds-5-yr	net.adds-6-yr	net.adds-7-yr	net.adds-8-yr	net.adds-9-yr	net.adds-10-yr	net.renews-1-yr	net.renews-2-yr	net.renews-3-yr	net.renews-4-yr	net.renews-5-yr	
eNom, Inc	48	20955	109	632	137	6	0	0	0	0	0	0	0	1	993	33	2	0	0
Directi Internet Solutions	303	31240	223	547	30	4	0	0	0	0	0	0	0	3	740	10	2	1	0
Gandi SAS	81	3769	50	156	8	4	0	0	0	0	0	0	0	4	213	3	1	0	1
Variomedia AG dba pure	1257	670	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69	0	0	0	0
Alfena, LLC	1241	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Pocketdomain.com	913	129	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dot Alliance, Inc.	1249	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wooho Technology CO., L	300	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Go France Domains Inc.	1153	3494	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	614	8	1	0	0	0
Mobile Name Services, In	640	235	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BBONLINE UK LTD.	134	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Tuonome.it srl	380	348	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dynadot, LLC	472	2464	4	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0
Namebay	88	1291	6	15	3	1	0	0	0	0	0	0	0	83	4	2	0	0	0
Answerable.com (I) Pvt. L	630	6403	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nominalia Internet S.L.	76	1424	0	25	0	0	0	2	0	0	0	0	0	65	1	0	0	2	0
PakNIC (Private) Limited	1367	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Xiamen ChinaSource Inte	1366	417	0	14	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PlanetDomain Pty Ltd	240	380	0	31	24	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Xiamen Bizcn Computer &	471	388	45	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0
Vishesh Infotronics Ltd. d/	249	447	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
OVH	433	1307	5	154	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Ignitel, LLC	1242	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Hangang Systems, Inc. db	87	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Deutsche Telekom AG	226	690	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Interlink Co., Ltd.	277	43	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Web Werks India Pvt. Ltd	1357	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CSC Corporate Domains,	299	4990	2	4	28	0	0	1	0	0	0	0	0	97	86	0	0	0	0
Tucows Inc	69	26790	136	171	437	2	1	2	0	0	0	0	0	829	124	2	1	1	1
Enidra, Inc.	455	4632	0	2	22	0	0	0	0	0	0	0	0	155	0	0	0	0	0
EIB Group, Inc.	820	101	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
Go Montenegro Domains	1152	3429	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	572	15	3	2	1	1
MarkMonitor Inc.	292	6442	5	13	15	0	0	9	0	0	0	0	0	48	72	0	0	0	0
DomainContext Inc.	1111	55	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kingdomains, Incorporat	912	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EBrandSecure, LLC	671	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Invisibledomains.com Inc	1248	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Group NBT plc aka Netna	70	4077	2	7	51	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0	0
007Names, Inc.	91	1110	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	56	5	1	0	0	0
Net-Chinese Co., Ltd.	1336	94	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-nameservers	net.adds-1-yr	net.adds-2-yr	net.adds-3-yr	net.adds-4-yr	net.adds-5-yr	net.adds-6-yr	net.adds-7-yr	net.adds-8-yr	net.adds-9-yr	net.adds-10-yr	net.renews-1-yr	net.renews-2-yr	net.renews-3-yr	net.renews-4-yr	net.renews-5-yr	
Go Australia Domains Inc	1151	3574	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	597	9	1	2	0	0
Beijing Innovative Linkag	633	25107	220	167	17	17	0	1	0	0	0	0	0	19	637	94	3	7	0
Indom	954	1189	0	17	3	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
Wild West Domains Inc.	440	20768	131	320	35	5	0	7	0	0	0	0	0	1372	49	3	1	1	1
Active 24 ASA	247	6526	0	201	1	0	0	0	0	0	0	0	0	139	0	0	0	0	0
Iron Mountain, Inc.	891	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
European NIC Inc.	1095	18	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Internet.bs Corp	814	23	1	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EPAG Domainservices Gr	85	1329	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0
12 Register B.V.	839	549	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0
InterNetworX Ltd & Co. K	1420	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
webnames.ca	456	1205	0	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	24	17	0	0	0	0
Atozdomainsmarket LLC	852	144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domeshop AS	1001	625	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0
Reg2c.com Inc.	819	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dynamic Network Service	1040	248	11	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Domains Only Inc	844	30	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Name Nelly Corporation	755	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Estdomains Inc	832	1274	38	40	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0
Yenkos, LLC	1243	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Name.com LLC	625	2056	2	197	9	0	1	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0
Core Internet Council of F	15	1862	25	12	20	0	0	0	0	0	0	0	0	102	138	0	0	0	0
AB NameISP	1371	908	0	53	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Go Daddy Software, Inc	146	468434	1221	8682	2821	259	1	187	0	0	0	0	0	57	17241	967	62	24	40
Net 4 India Limited	1007	988	0	13	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	39	0	0	0	0
Go Canada Domains Inc.	1150	3225	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	565	6	1	1	0	0
Dinahosting S.L.	1262	148	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
Tierranet Inc.	86	2525	7	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	155	1	0	1	0	0
DomainPeople, Inc.	65	5706	4	25	9	0	0	0	0	0	0	0	0	152	40	2	0	0	15
WhiteCowDomains.com	1245	159	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Interdomain S.A.	140	405	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
CPS-Datensysteme GmbH	1239	80	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Dotster Inc.	72	16134	55	411	71	0	0	36	0	0	0	0	2	595	52	0	1	8	8
Web Commerce Commu	460	359	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
Ascio Technologies Inc-D	106	3779	5	69	27	0	0	0	0	0	0	0	0	54	4	0	0	0	0
PSI-USA, Inc	151	5561	10	116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	128	0	0	0	0	0
Domain Registration Serv	64	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Abacus America Inc / d.b	52	2636	7	0	14	1	0	0	0	0	0	0	0	7	3	0	0	0	0
Key-Systems GmbH	269	31681	66	535	169	1	0	1	0	0	0	0	1	712	22	3	4	0	0
Name.net LLC	826	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
Fushi Tarazu, Incorporated	707	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
INAMES Co. Ltd.	444	684	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	4	0	0
GMO Internet Inc	49	8806	666	118	14	15	0	42	0	0	0	0	1	289	140	18	1	8
ClassDomainNames.com	1244	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Distribute.IT Pty Limited	900	1506	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	3	0	0	0
Mesh Digital Limited	1390	1888	61	47	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Spot Domain LLC dba Dom	466	949	1	11	4	2	0	0	0	0	0	0	0	52	0	1	1	0
Regtime LTD	1362	1323	26	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	1	0	0
First Server, Inc.	474	126	7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Gunga Galunga, Incorpor	708	233	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nordnet	68	655	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	0	0	1
Advantage interactive Ltd	602	118	0	3	55	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Blue Razor Domains Inc.	612	4645	12	8	1	0	0	2	0	0	0	0	0	601	15	2	1	0
TodayNIC.com Inc.	697	2928	6	14	1	0	0	1	0	0	0	0	0	341	2	2	0	0
Online SAS	74	1047	4	41	1	2	0	0	0	0	0	0	0	21	1	0	0	0
Sipence, Inc.	639	269	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Namesbeyond dba Good	378	804	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	70	8	1	2	0
Totals		958976	3959	15734	4362	721	4	408	0	0	0	0	104	36561	2231	153	89	135

● .jobs レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

Registrar Name	IANA ID	Total Domains	Total Name Servers	Net Adds 1-YR	Net Adds 2-YR	Net Adds 3-YR	Net Adds 4-YR	Net Adds 5-YR	Net Adds 6-YR	Net Adds 7-YR	Net Adds 8-YR	Net Adds 9-YR	Net Adds 10-YR	Net Renewals 1-YR	Net Renewals 2-YR	Net Renewals 3-YR	Net Renewals 4-YR	Net Renewals 5-YR	Net Renewals 6-YR	Net Renewals 7-YR	Net Renewals 8-YR	Net Renewals 9-YR	Net Renewals 10-YR	Transfer Gaining-Successful	Transfer Gaining-Nacked	Transfer Losing-Successful	Transfer Losing-Nacked	Transfer Disputed-Won	Transfer Disputed-Lost	Transfer Disputed-No Decision	Deleted Domains-Grace	Deleted Domains-No Grace	Restored Domains			
1 API GmbH	1387	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
12 Register BV	839	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Ascio Technologies, Inc.	106	618	108	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Blue Razor Domains, Inc	612	161	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
BulkRegister, LLC	83	88	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Corporate Domains, Inc.	289	218	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Direct Information Pvt Ltd d/b/a PublicDomainRegistry.com	303	133	66	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Domain The Net Technologies Ltd.	10007	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
DomainInfo.com	73	22	22	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
DomainPeople, Inc.	65	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Dotster, Inc.	72	844	85	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	
DSTR Acquisition PA I, LLC dba DomainBank.com	31	291	138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	
Easyspace LTD	79	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
eMarkmonitor Inc. dba Markmonitor	292	787	229	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	14	0	
EnCirca Inc	455	5969	6	25	2	2	0	5	0	0	0	0	0	86	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	66	0	
eNom, Inc.	48	107	29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
FRENCH-CONNEXION, SARL, DBA WWW.DOMAINE.FR	601	14	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Go Daddy Software, Inc.	146	3343	357	82	16	1	0	0	0	0	0	0	0	1	98	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	0
IP Mirror Pte Ltd. dba IP MIRROR	890	9	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
Key-Systems GmbH	269	341	147	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
Name.com LLC	625	65	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
Namesbeyond.com dba GoodLuckDomain.com	378	256	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
Netbenefit PLC aka NetNames	70	466	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nominia Internet S.L.	76	64	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
PSI-JUSA, Inc. dba Domain Robot	151	101	84	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
register.com, Inc.	9	480	162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SafeNames Ltd	447	41	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
Secura GmbH	111	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Spot Domain LLC dba Domainsite.com	466	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Todaynic.com, Inc.	697	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
UK2 Group Ltd.	84	29	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild West Domains, Inc.	440	203	62	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
Wooho T&C Co., Ltd. d/b/a rgnames.com	300	48	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

● .asia レジストラ別ドメイン名登録数一覧 (2008年10月時点)

ASIA - ICANN Transactional Data Monthly Report for 2008-10-01 to 2008-10-31																		
Registrar Name	IANA ID	total-domains	total-nameservers	netadds-1-yr	netadds-2-yr	netadds-3-yr	netadds-4-yr	netadds-5-yr	netadds-6-yr	netadds-7-yr	netadds-8-yr	netadds-9-yr	netadds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
ELB Group Inc.	820	78	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dotalliance Inc.	1249	971	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
DSTR Acquisition PA I, LLC	31	307	3	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Secura GmbH	111	133	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Gandi SAS	81	1517	26	134	3	3	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
AB Name ISP	1371	451	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Moniker Online Services	228	4183	4	42	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DBMS Incorporated	1298	2126	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0101 Internet Inc.	816	2415	1	83	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PakNIC (Private) Limited	1367	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wooho Technolog CO., Ltd	300	154	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Namescout Corp	186	169	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ascio Technologies Inc	106	2616	0	39	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MyDomain, Inc.	105	409	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Bizcn.com, Inc.	471	73	0	43	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Asadal, Inc.	632	195	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DomainPeople Inc.	65	5077	7	14	26	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EPAG Domainservices GmbH	85	2625	0	31	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Enom Inc.	48	2763	10	79	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
OnlineNIC, Inc.	82	1527	14	111	13	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
Name.com	625	329	4	17	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Korea Information Certification Authority	449	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PSI USA	151	3867	10	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Distribute. IT Pty Ltd	900	1057	2	36	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Arctic Names Inc.	1340	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Instira Corporation Pty Ltd	1376	4136	69	71	59	1	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nameshield	1251	758	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Cronon AG Berlin Nieder	141	5167	4	185	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Vishesh Infotronics Ltd.	249	449	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Netfirms, Inc.	892	689	4	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Net Chinese Co. Ltd.	1336	789	36	17	10	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Todaynic.com Inc.	697	1889	0	82	9	4	0	5	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
Wild West Domains, Inc.	440	4017	6	47	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
QuantumPages Technology	1250	56	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nom - iq Ltd. Dba COM Ltd	470	2383	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Rebel.com	600	2149	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I-API GmbH	1387	6373	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
documentdata Anstalt	1317	36	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Netpia.com, Inc.	130	329	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
TierraNet Inc. DBA Doma	86	35	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Safenames	447	533	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Indomco dba Indom	954	1036	0	5	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CPS-Datensysteme GmbH	1239	63	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Regtime Ltd.	1362	648	12	17	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Register.com Inc.	9	18	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
In2network Inc.	604	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dotname Korea Corp.	1132	179	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CORE Internet Council of	15	1517	6	41	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
XinNet Technologies	120	417	0	0	11	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Online SAS	74	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Group NBT Plc dba Netna	70	3101	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BB Online UK Limited	134	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
French Connexion dba Dc	601	53	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Blue Razor Domains, Inc.	612	79	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nordnet	68	55	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CSL Computer Service Gr	113	867	0	31	6	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Inames Co. Ltd.	444	420	6	23	2	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DotArai Co., Ltd.	1373	315	4	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bottle Domains Inc.	836	602	0	20	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
Variomedia AG dba pure	1257	1125	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Xiamen eName Network	1331	4264	0	215	0	0	0	0	0	0	0	0	18	3	1	1	1	2
35 Technology Co., Ltd.	1316	338	0	19	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
Hangang Systems, Inc. db	87	94	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dotster, Inc.	72	1176	21	10	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Marcara.com Internatio	1086	21	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HiChina Web Solutions Li	420	4658	11	74	9	3	0	7	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
Entorno Digital S.A.	696	309	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Yesnic Co. Ltd	100	1319	19	23	4	10	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0
DomainContext Inc.	1111	26	0	17	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Interlink Co., Ltd.	277	184	23	12	2	6	0	5	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
InterNetWire Communica	1328	771	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
GMO Internet, Inc. d/b/a	49	2915	104	43	38	14	0	31	1	0	0	0	21	0	0	2	2	0
Planete Marselle, dba M	1269	425	0	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Key-Systems GmbH	269	14690	50	334	18	2	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0
Az.pl	1006	234	0	38	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NamesBeyond.com	378	273	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
GoDaddy.com, Inc.	146	36534	80	423	174	9	0	10	0	0	0	0	5	2	4	0	0	0
PSI-JAPAN	78	373	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Answerable.com (I) Pvt L	630	530	0	35	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Registrar Name	IANA-ID	total-domains	total-nameservers	net-adds-1-yr	net-adds-2-yr	net-adds-3-yr	net-adds-4-yr	net-adds-5-yr	net-adds-6-yr	net-adds-7-yr	net-adds-8-yr	net-adds-9-yr	net-adds-10-yr	net-renews-1-yr	net-renews-2-yr	net-renews-3-yr	net-renews-4-yr	net-renews-5-yr
MelbourneIT	13	5429	5	29	60	1	0	36	0	0	0	0	7	2	0	0	0	0
Register.it S.p.A.	168	1338	0	26	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
European NIC Inc.	1095	30	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Imperial Registrations Inc	987	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nethynx, Inc.	1004	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Webnames.ca	456	951	0	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DomainINFO AB	73	630	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Domain The Net Technol	10007	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CSC Corporate Domains	299	4511	0	10	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Directi Internet Solutions	303	7709	82	239	13	2	1	6	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
Web Werks India Pvt Ltd.	1337	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Dynadot LLC	472	1804	8	76	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Tucows Inc.	69	1485	9	40	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
Web Commerce Commu	460	1934	6	65	4	1	0	5	0	0	0	0	2	4	0	0	1	10
Net 4 India Ltd.	1007	1881	0	0	37	4	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
Mesh Digital Limited	1390	10278	35	164	7	0	0	6	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
PlanetDomain Pty Ltd	240	3983	12	51	50	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
MarkMonitor	292	6510	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	10	47	0	0	0
Communigal Communica	418	6464	0	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1	0	0	0
Today and Tomorrow Co.	441	113	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Good Luck Internet Servi	1041	31	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
M.G. Infocom Pvt. Ltd.	1339	20	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Firstserver Inc.	474	307	32	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EuroDNS S.A.	1052	31040	95	176	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
007Names, Inc.	91	1811	9	8	33	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IP Mirror	890	3151	9	48	22	4	1	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	18
Register.ca Inc.	1375	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Gabia, Inc.	244	1373	13	11	7	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Encirca, Inc	455	1219	0	13	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Totals		236805	882	3660	840	104	10	148	2	0	0	0	67	74	62	5	5	31

1-3 ccTLD別ドメイン名登録数一覧²¹³ (2009年1月時点)

	ccTLD	国／地域		登録数
1	cn	中国	China	13,572,326
2	de	ドイツ	Germany	12,590,112
3	uk	イギリス	United Kingdom	7,312,276
4	nl	オランダ	Netherlands	3,234,134
5	eu	欧州連合	European Union	3,025,548
6	ru	ロシア連邦	Russian Federation	1,714,682
7	it	イタリア	Italy	1,635,500
8	br	ブラジル	Brazil	1,551,184
9	us	アメリカ合衆国	United States	1,436,713
10	fr	フランス	France	1,322,351
11	pl	ポーランド	Poland	1,320,345
12	au	オーストラリア	Australia	1,303,887
13	ch	スイス	Switzerland	1,244,567
14	ca	カナダ	Canada	1,148,798
15	es	スペイン	Spain	1,115,777
16	jp	日本	Japan	1,069,117
17	kr	大韓民国	Korea, Republic of	1,006,544
18	dk	デンマーク	Denmark	973,751
19	be	ベルギー	Belgium	867,715
20	se	スウェーデン	Sweden	844,746
21	at	オーストリア	Austria	806,696
22	cc	ココス諸島	Cocos (Keeling) Islands	581,147
23	cz	チェコ	Czech Republic	517,069
24	ar	アルゼンチン	Argentina	479,549
25	tv	ツバル	Tuvalu	473,168
26	no	ノルウェー	Norway	419,008
27	tw	台湾	Taiwan	406,669
28	hu	ハンガリー	Hungary	400,000

²¹³ 登録数が公表されていない ccTLD は除く。

また、登録数データは各レジストリの公開データに基づく（レジストリによる公開データが存在しない ccTLD は一般の統計情報に基づく）。

29	in	インド	India	400,000
30	ua	ウクライナ	Ukraine	389,430
31	nz	ニュージーランド	New Zealand	348,769
32	mx	メキシコ	Mexico	277,652
33	ws	西サモア	Western Samoa	253,029
34	cl	チリ	Chile	234,503
35	me	モンテネグロ	Montenegro	200,000
36	fi	フィンランド	Finland	199,700
37	tr	トルコ	Turkey	184,145
38	sk	スロバキア	Slovakia (Slovak Republic)	176,467
39	hk	香港	Hong Kong	173,751
40	ie	アイルランド	Ireland	117,494
41	sg	シンガポール	Singapore	115,039
42	ir	イラン	Iran	108,976
43	vn	ベトナム	Viet Nam	97,266
44	lt	リトアニア	Lithuania	95,852
45	my	マレーシア	Malaysia	80,786
46	lv	ラトビア	Latvia	70,000
47	si	スロベニア	Slovenia	64,505
48	hr	クロアチア	Croatia (Hrvatska)	63,919
49	li	リヒテンシュタイン	Liechtenstein	60,082
50	rs	セルビア	Serbia	47,930
51	lu	ルクセンブルク	Luxembourg	42,693
52	ma	モロッコ	Morocco	29,835
53	co	コロンビア	Colombia	25,101
54	is	アイスランド	Iceland	23,500
55	pe	ペルー	Peru	21,952
56	uy	ウルグアイ	Uruguay	18,115
57	sa	サウジアラビア	Saudi Arabia	15,255
58	cr	コスタリカ	Costa Rica	12,196
59	tn	チュニジア	Tunisia	11,501
60	ba	ボスニア・ヘルツェゴビナ	Bosnia and Herzegovina	8,679
61	py	パラグアイ	Paraguay	8,525
62	uz	ウズベキスタン	Uzbekistan	7,778

63	ps	パレスチナ	Palestinian Territories	5,500
64	bg	ブルガリア	Bulgaria	4,894
65	jo	ヨルダン	Jordan	3,997
66	ni	ニカラグア	Nicaragua	3,432
67	re	レユニオン	Reunion	2,752
68	mt	マルタ	Malta	2,691
69	mo	マカオ	Macau	2,529
70	lb	レバノン	Lebanon	2,500
71	mc	モナコ	Monaco	1,584
72	cu	キューバ	Cuba	1,483
73	bb	バルバドス	Barbados	1,061
74	an	オランダ領アンティル	Netherlands Antilles	793
75	bt	ブータン	Bhutan	84

2 IP アドレス、AS 番号に関する各種統計資料

2 国毎のIPアドレス割当量等、IPアドレスに関する各種統計資料

IPアドレスの管理原則の一つに、「登録」というものがある。これは、「インターネットアドレス空間の割り当てと割り振りは、インターネットコミュニティの全メンバーがアクセス可能な、公開されているレジストリデータベースに登録されなければならない」という原則を表している。

この原則に従い、RIRでは自身の行った割り振り、割り当ての情報をインターネット上に公開している。この章で掲載する統計は、その公開資料を集計したものである。

公開資料の保存箇所は以下の通りである。

AfriNIC : <ftp://ftp.afrinic.net/pub/stats/afrinic/>

APNIC : <ftp://ftp.apnic.net/pub/stats/apnic/>

ARIN : <ftp://ftp.arin.net/pub/stats/arin/>

LACNIC : <ftp://ftp.lacnic.net/pub/stats/lacnic/>

RIPE NCC : <ftp://ftp.ripe.net/ripe/stats/>

ここでは上記で提供されている情報をもとに統計をまとめた。なお、本章で集計した統計は全て2009年1月31日現在のデータを使用した。次ページ以降、資源種別（IPv4アドレス、IPv6アドレス、AS番号）毎に、国・地域別の分配状況を示す。

表 22 割り当て済み IPv4 アドレス分配状況 — 国・地域別 全リスト

順位	国・地域	割当数	順位	国・地域	割当数
1	米国(US)	1,462,783,744	10	オーストラリア(AU)	36,253,440
2	中国(CN)	184,042,240	11	イタリア(IT)	31,585,984
3	日本(JP)	151,578,112	12	ブラジル(BR)	29,754,880
4	欧州連合(EU)	120,141,152	13	台湾(TW)	24,139,008
5	イギリス(GB)	86,539,864	14	ロシア(RU)	23,369,288
6	ドイツ(DE)	82,821,560	15	スペイン(ES)	21,682,592
7	カナダ(CA)	74,765,056	16	メキシコ(MX)	21,504,000
8	フランス(FR)	68,086,720	17	オランダ(NL)	21,091,624
9	韓国(KR)	67,101,184	18	スウェーデン(SE)	18,748,832

順位	国・地域	割当数
19	インド(IN)	18,183,680
20	南アフリカ共和国(ZA)	14,008,576
21	ポーランド(PL)	13,472,616
22	トルコ(TR)	10,031,296
23	デンマーク(DK)	9,253,216
24	フィンランド(FI)	8,859,136
25	ルーマニア(RO)	8,229,376
26	香港(HK)	8,109,312
27	スイス(CH)	7,686,888
28	ノルウェー(NO)	7,227,440
29	オーストリア(AT)	6,955,232
30	アルゼンチン(AR)	6,946,048
31	インドネシア(ID)	6,908,160
32	ベトナム(VN)	6,626,048
33	ベルギー(BE)	6,314,112
34	ニュージーランド(NZ)	6,110,464
35	チェコ(CZ)	5,923,712
36	ウクライナ(UA)	5,274,040
37	チリ(CL)	4,630,784
38	タイ(TH)	4,450,304
39	シンガポール(SG)	4,385,280
40	アイルランド(IE)	4,188,064
41	コロンビア(CO)	4,175,360
42	ポルトガル(PT)	4,171,104
43	マレーシア(MY)	4,125,696
44	イスラエル(IL)	4,069,056
45	ギリシャ(GR)	3,768,576
46	ベネズエラ(VE)	3,660,288
47	ハンガリー(HU)	3,640,192
48	ブルガリア(BG)	3,302,656
49	フィリピン(PH)	3,057,920
50	エジプト(EG)	2,423,552
51	アラブ首長国連邦(AE)	2,286,848
52	サウジアラビア(SA)	2,168,832

順位	国・地域	割当数
53	リトアニア(LT)	2,008,192
54	イラン(IR)	1,853,440
55	ペルー(PE)	1,715,968
56	クロアチア(HR)	1,517,728
57	スロバキア(SK)	1,470,208
58	コスタリカ(CR)	1,451,008
59	パキスタン(PK)	1,381,888
60	ラトビア(LV)	1,377,536
61	スロベニア(SI)	1,265,664
62	パナマ(PA)	1,113,856
63	エストニア(EE)	1,002,008
64	旧チェコスロバキア(CS)	968,960
65	モロッコ(MA)	880,896
66	カザフスタン(KZ)	873,216
67	クウェート(KW)	773,120
68	エクアドル(EC)	768,256
69	ウルグアイ(UY)	663,808
70	プエルトリコ(PR)	635,136
71	チュニジア(TN)	632,064
72	バングラデシュ(BD)	583,936
73	アイスランド(IS)	545,792
74	アジア太平洋地域(AP)	521,728
75	キプロス(CY)	519,712
76	マケドニア(MK)	504,832
77	ゲルジア(GE)	485,888
78	マルタ(MT)	476,160
79	ナイジェリア(NG)	451,072
80	ルクセンブルグ(LU)	442,176
81	スリランカ(LK)	436,736
82	ボリビア(BO)	414,976
83	エルサルバドル(SV)	406,528
84	ドミニカ共和国(DO)	405,248
85	ボスニア・ヘルツェゴビナ(BA)	381,184
86	カタール(QA)	378,880

順位	国・地域	割当数
87	グアテマラ(GT)	354,304
88	ベラルーシ(BY)	330,752
89	レバノン(LB)	306,432
90	リビア(LY)	294,912
91	ヨルダン(JO)	290,560
92	トリニダード・トバゴ(TT)	275,200
93	アルジェリア(DZ)	265,728
94	ケニア(KE)	262,400
95	モルドバ(MD)	254,976
96	パレスチナ(PS)	246,016
97	アゼルバイジャン(AZ)	237,568
98	バーレーン(BH)	236,032
99	オランダ領アンティル(AN)	212,016
100	モーリシャス(MU)	204,544
101	ブルネイ(BN)	191,232
102	シリア(SY)	177,152
103	ウズベキスタン(UZ)	168,192
104	ニカラグア(NI)	166,144
105	オマーン(OM)	163,840
106	マカオ(MO)	163,072
107	ガボン(GA)	155,136
108	ルワンダ(RW)	154,624
109	アルバニア(AL)	150,784
110	アルメニア(AM)	145,952
111	ガーナ(GH)	144,896
112	パラグアイ(PY)	139,520
113	ネパール(NP)	135,680
114	ジャマイカ(JM)	130,048
115	キルギスタン(KG)	129,024
116	セルビア(RS)	127,232
117	ウガンダ(UG)	126,208
118	カンボジア(KH)	120,064
119	バルバドス(BB)	119,552
120	ナミビア(NA)	115,712

順位	国・地域	割当数
121	コートジボワール(CI)	112,896
122	フィジー(FJ)	110,080
123	モンゴル(MN)	109,312
124	キューバ(CU)	105,472
125	タンザニア(TZ)	104,448
126	ホンジュラス(HN)	94,464
127	米領バージン島(VI)	87,040
128	グアム(GU)	82,176
129	バーミューダ(BM)	80,384
130	セネガル(SN)	76,032
131	ボツワナ(BW)	72,960
132	バハマ(BS)	67,584
	スーダン(SD)	67,584
134	モナコ(MC)	65,856
135	アフガニスタン(AF)	65,792
136	ニューカレドニア(NC)	63,488
137	カメルーン(CM)	58,880
138	ジブチ(GI)	57,344
139	リヒテンシュタイン(LI)	53,792
140	ハイチ(HT)	53,248
141	ベリーズ(BZ)	49,664
142	アンゴラ(AO)	49,152
143	アンティグア・バーブーダ(AG)	47,104
144	モザンビーク(MZ)	44,032
	スリナム(SR)	44,032
146	ラオス(LA)	41,216
147	フランス領ポリネシア(PF)	39,424
148	パプアニューギニア(PG)	38,656
149	マダガスカル(MG)	37,888
150	モルディブ(MV)	37,376
	ジンバブエ(ZW)	37,376
152	イラク(IQ)	36,864
153	ザンビア(ZM)	35,072
154	タジキスタン(TJ)	34,816

順位	国・地域	割当数
155	フェロー諸島(FO)	33,792
156	レユニオン島(RE)	32,768
157	モンテネグロ(ME)	28,672
158	ケイマン諸島(KY)	27,648
159	スワジランド(SZ)	25,344
160	アンドラ(AD)	24,576
	マリ(ML)	24,576
	モーリタニア(MR)	24,576
	イエメン(YE)	24,576
164	ブータン(BT)	22,528
164	サンマリノ(SM)	22,528
166	ブルキナファソ(BF)	22,272
167	マラウイ(MW)	19,968
168	アルバニア(AW)	18,432
169	ベナン(BJ)	17,408
	セイシェル(SC)	17,408
171	エチオピア(ET)	16,384
	グリーンランド(GL)	16,384
	ガイアナ(GY)	16,384
	マン島(IM)	16,384
175	シエラレオネ(SL)	15,360
176	レソト(LS)	12,544
	西サモア(WS)	12,544
178	ミャンマー(MM)	12,288
	北マリアナ諸島(MP)	12,288
	トーゴ(TG)	12,288
181	ガンビア(GM)	11,264
182	ニジェール(NE)	9,216
183	ソロモン諸島(SB)	8,704
184	バヌアツ(VU)	8,448
185	クック諸島(CK)	8,192
	カーボベルデ(CV)	8,192
	ナウル(NR)	8,192
	トルクメニスタン(TM)	8,192

順位	国・地域	割当数
	ツバル(TV)	8,192
	バチカン市国(VA)	8,192
191	ジャージー(JE)	6,400
192	グアドループ(GP)	6,144
	セントビンセント・グレナディーン(VC)	6,144
194	セントクリストファー・ネイビス(KN)	5,120
195	コンゴ民主共和国(CD)	4,608
196	トンガ(TO)	4,352
197	アンギラ(AI)	4,096
	アメリカンサモア(AS)	4,096
	オーランド諸島(AX)	4,096
	ジブチ(DJ)	4,096
	エリトリア(ER)	4,096
	ガーンジー(GG)	4,096
	パラオ(PW)	4,096
	タークス・カイコス諸島(TC)	4,096
205	中央アフリカ共和国(CF)	3,328
206	コンゴ(CG)	3,072
	英領インド洋地域(IO)	3,072
	キリバス(KI)	3,072
209	ブルンジ(BI)	2,304
210	ミクロネシア(FM)	2,048
	フランス領ギアナ(GF)	2,048
	赤道ギニア(GQ)	2,048
	マーシャル諸島(MH)	2,048
	ワリス・フテナ諸島(WF)	2,048
	ノーフォーク島(NF)	2,048
216	モントセラト(MS)	1,280
217	ギニアビサウ(GW)	1,024
	ニウエ(NU)	1,024
	米領バージン諸島(VG)	1,024
220	グレナダ(GD)	256

順位	国・地域	割当数
	セントルシア(LC)	256

表 23 割り当て済み IPv6 アドレス分配状況 - 国・地域別 全リスト (/32 単位)

順位	国・地域	割当数	順位	国・地域	割当数
1	ブラジル(BR)	65,728.0		インド(IN)	20.0
2	米国(US)	14,811.0	30	ベルギー(BE)	19.4
3	ドイツ(DE)	9,724.5	31	ウルグアイ(UY)	19.0
4	フランス(FR)	8,318.1	32	トルコ(TR)	17.0
5	日本(JP)	8,306.4	33	マレーシア(MY)	16.5
6	オーストラリア(AU)	8,235.0	34	ポルトガル(PT)	16.4
7	欧州連合(EU)	6,156.8	35	南アフリカ共和国(ZA)	16.0
8	韓国(KR)	5,192.5	36	タイ(TH)	15.5
9	イタリア(IT)	4,154.1	37	香港(HK)	15.5
10	台湾(TW)	2,309.0	38	フィンランド(FI)	15.0
11	ポーランド(PL)	2,098.8	39	メキシコ(MX)	15.0
12	イギリス(GB)	1,189.5	40	シンガポール(SG)	14.5
13	オランダ(NL)	608.5	41	フィリピン(PH)	14.0
14	ノルウェー(NO)	287.4		ベネズエラ(VE)	14.0
15	スウェーデン(SE)	170.8	43	イラン(IR)	13.0
16	スイス(CH)	65.4		ウクライナ(UA)	13.0
17	中国(CN)	56.5	45	ハンガリー(HU)	12.4
18	ロシア(RU)	54.8	46	ルクセンブルグ(LU)	11.4
19	カナダ(CA)	48.0	47	ブルガリア(BG)	11.0
20	チェコ(CZ)	41.4	48	ベトナム(VN)	10.0
21	オーストリア(AT)	40.8		チリ(CL)	10.0
22	アルゼンチン(AR)	38.0		スロベニア(SI)	10.0
23	ニュージーランド(NZ)	32.0	51	エストニア(EE)	8.4
24	スペイン(ES)	26.4	52	スロバキア(SK)	8.0
25	アイルランド(IE)	22.8		コロンビア(CO)	8.0
26	デンマーク(DK)	21.4		ルーマニア(RO)	8.0
27	アジア太平洋(AP)	21.0		パキスタン(PK)	8.0
28	インドネシア(ID)	20.0	56	ペルー(PE)	7.0

順位	国・地域	割当数
57	バングラデシュ(BD)	6.0
	アイスランド(IS)	6.0
	コスタリカ(CR)	6.0
60	ギリシャ(GR)	5.4
61	イスラエル(IL)	5.0
	エジプト(EG)	5.0
63	ラトビア(LV)	5.0
64	エクアドル(EC)	4.0
	ケニア(KE)	4.0
	クロアチア(HR)	4.0
	キューバ(CU)	4.0
	キプロス(CY)	4.0
	グアテマラ(GT)	4.0
	モーリシャス(MU)	4.0
71	オランダ領アンティル(AN)	3.0
	スリランカ(LK)	3.0
	タンザニア(TZ)	3.0
	アラブ首長国連邦(AE)	3.0
	アルメニア(AM)	2.0
	ドミニカ共和国(DO)	3.0
	マルタ(MT)	3.0
	パナマ(PA)	3.0
	サウジアラビア(SA)	3.0
	80	リトアニア(LT)
81	ボスニア・ヘルツェゴビナ(BA)	2.0
	ボリビア(BO)	2.0
	コートジボワール(CI)	2.0
	リヒテンシュタイン(LI)	2.0
	モロッコ(MA)	2.0
	モナコ(MC)	2.0
	マカオ(MO)	2.0
	ニカラグア(NI)	2.0
	トリニダード・トバゴ(TT)	2.0
90	フィジー(FJ)	1.0

順位	国・地域	割当数	
	アンドラ(AD)	1.0	
	アンゴラ(AO)	1.0	
	バーレーン(BH)	1.0	
	ベナン(BJ)	1.0	
	バーミューダ(BM)	1.0	
	バハマ(BS)	1.0	
90	ブータン(BT)	1.0	
	カメルーン(CM)	1.0	
	旧チェコスロバキア(CS)	1.0	
	ジブチ(DJ)	1.0	
	アルジェリア(DZ)	1.0	
	ガーナ(GH)	1.0	
	ジブラルタル(GI)	1.0	
	ハイチ(HT)	1.0	
	マン島(IM)	1.0	
	キルギスタン	1.0	
	モルドバ(MD)	1.0	
	マダガスカル(MG)	1.0	
	マケドニア(MK)	1.0	
	マリ(ML)	1.0	
	マラウイ(MW)	1.0	
	モザンビーク(MZ)	1.0	
	ナイジェリア(NG)	1.0	
	ネパール(NP)	1.0	
	オマーン(OM)	1.0	
	パプアニューギニア(PG)	1.0	
	パラオ(PW)	1.0	
		パラグアイ(PY)	1.0
		カタール(QA)	1.0
セルビア(RS)		1.0	
ルワンダ(RW)		1.0	
セイシェル(SC)		1.0	
スーダン(SD)		1.0	
セネガル(SN)		1.0	

順位	国・地域	割当数
	エルサルバドル(SV)	1.0
	スワジランド(SZ)	1.0
	チュニジア(TN)	1.0
	バチカン市国(VA)	1.0

順位	国・地域	割当数
	ジンバブエ(ZW)	1.0
131	ナミビア(NA)	0.0
131	プエルトリコ(PR)	0.0

表 24 割り当て済み AS 番号分配状況 - 国・地域別 全リスト

順位	国・地域	割当数	順位	国・地域	割当数
1	米国(US)	19,524	27	ニュージーランド(NZ)	247
2	ロシア(RU)	2,572	28	チェコ(CZ)	238
3	イギリス(GB)	1,685	29	メキシコ(MX)	233
4	欧州連合(EU)	1,507	30	イスラエル(IL)	232
5	ウクライナ(UA)	1,420	31	アルゼンチン(AR)	224
6	カナダ(CA)	1,283	32	タイ(TH)	223
7	ドイツ(DE)	1,264	33	台湾(TW)	199
8	ルーマニア(RO)	1,055	34	ラトビア(LV)	193
9	ポーランド(PL)	950	35	ハンガリー(HU)	190
10	オーストラリア(AU)	943	36	フィリピン(PH)	180
11	韓国(KR)	814	37	デンマーク(DK)	173
12	日本(JP)	742	38	ギリシャ(GR)	155
13	フランス(FR)	568		南アフリカ共和国(ZA)	155
14	ブラジル(BR)	564	40	スロベニア(SI)	154
15	イタリア(IT)	555	41	シンガポール(SG)	151
16	オランダ(NL)	449	42	ベルギー(BE)	140
17	中国(CN)	445	43	ノルウェー(NO)	132
18	スイス(CH)	418	44	フィンランド(FI)	128
19	ブルガリア(BG)	407	45	チリ(CL)	110
20	スウェーデン(SE)	399		リトアニア(LT)	110
21	トルコ(TR)	333	47	アイルランド(IE)	97
22	オーストリア(AT)	326	48	コロンビア(CO)	89
23	インドネシア(ID)	320	49	バングラデシュ(BD)	83
24	スペイン(ES)	302	50	イラン(IR)	79
25	香港(HK)	278	51	ベトナム(VN)	77
26	インド(IN)	268		マレーシア(MY)	76

順位	国・地域	割当数	順位	国・地域	割当数
53	スロバキア(SK)	74		タンザニア(TZ)	21
	サウジアラビア(SA)	71	88	アゼルバイジャン(AZ)	20
55	パナマ(PA)	69		マケドニア(MK)	20
	クロアチア(HR)	67	90	ウルグアイ(UY)	19
	旧チェコスロバキア(CS)	64	91	ペルー(PE)	18
58	ポルトガル(PT)	63	92	ガーナ(GH)	17
59	ベネズエラ(VE)	57		ホンジュラス(HN)	17
60	アジア太平洋(AP)	55		ウズベキスタン(UZ)	17
61	カザフスタン(KZ)	54	95	スリランカ(LK)	16
62	キプロス(CY)	49		パレスチナ(PS)	16
63	ベラルーシ(BY)	48	97	セルビア(RS)	15
64	パキスタン(PK)	47	98	エルサルバドル(SV)	14
65	エジプト(EG)	45	99	アラブ首長国連邦(AE)	13
66	ナイジェリア(NG)	44		アンゴラ(AO)	13
67	プエルトリコ(PR)	39		キルギスタン(KG)	13
68	エクアドル(EC)	36		ニカラグア(NI)	13
	レバノン(LB)	36	103	ボリビア(BO)	12
70	アルメニア(AM)	33	104	コスタリカ(CR)	11
71	アイスランド(IS)	32		アルジェリア(DZ)	11
	ケニア(KE)	32	106	アルバニア(AL)	10
	カンボジア(KH)	32		バミューダ(BM)	10
74	クウェート(KW)	31		ジャマイカ(JM)	10
75	エストニア(EE)	29		モーリシャス(MU)	10
76	グルジア(GE)	25	110	モザンビーク(MZ)	9
	モンゴル(MN)	25		パラグアイ(PY)	9
	ネパール(NP)	25	112	ジブラルタル(GI)	8
79	ルクセンブルグ(LU)	24		ナミビア(NA)	8
	マルタ(MT)	24		ウガンダ(UG)	8
81	オランダ領アンティル(AN)	23	115	ボツワナ(BW)	7
82	ボスニア・ヘルツェゴビナ(BA)	22		コートジボアール(CI)	7
	バーレーン(BH)	22		カメルーン(CM)	7
	モルドバ(MD)	22		ドミニカ共和国(DO)	7
85	グアテマラ(GT)	21		ハイチ(HT)	7
	ヨルダン(JO)	21		モロッコ(MA)	7

順位	国・地域	割当数	順位	国・地域	割当数
	トリニダード・トバゴ(TT)	7		モルディブ(MV)	3
122	アフガニスタン(AF)	6		ニューカレドニア(NC)	3
	キューバ(CU)	6		スワジランド(SZ)	3
	フィジー(FJ)	6		バヌアツ(VU)	3
	リヒテンシュタイン(LI)	6		西サモア(WS)	3
	カタール(QA)	6	160	アンティグア・バーブーダ(AG)	2
	米領バージン諸島(VI)	6		アルバ(AW)	2
	ジンバブエ(ZW)	6		ベナン(BJ)	2
129	バルバドス(BB)	5		ドミニカ(DM)	2
	フェロー諸島(FO)	5		ガボン(GA)	2
129	グアム(GU)	5		グレナダ(GD)	2
	イラク(IQ)	5		フランス領ギアナ(GF)	2
	ラオス(LA)	5		マダガスカル(MG)	2
	シエラレオネ(SL)	5		ミャンマー(MM)	2
	シリア(SY)	5		ノーフォーク島(NF)	2
136	ブルネイ(BN)	4		パプアニューギニア(PG)	2
	バハマ(BS)	4		サンマリノ(SM)	2
	ブータン(BT)	4		トルクメニスタン(TM)	2
	ベリーズ(BZ)	4		トンガ(TO)	2
	マン島(IM)	4		英領バージン諸島(VG)	2
	レソト(LS)	4		イエメン(YE)	2
	モンテネグロ(ME)	4	176	アンドラ(AD)	1
	マラウイ(MW)	4		アンギラ(AI)	1
	ルワンダ(RW)	4		オーランド諸島(AX)	1
	セシェル(SC)	4		コンゴ民主共和国(CD)	1
	スーダン(SD)	4		中央アフリカ共和国(CF)	1
	タジキスタン(TJ)	4		コンゴ(CG)	1
	ザンビア(ZM)	4		クック諸島(CK)	1
149	アメリカンサモア(AS)	3		ジブチ(DJ)	1
	ブルキナファソ(BF)	3		エリトリア(ER)	1
	グアドループ(GP)	3		エチオピア(ET)	1
	ケイマン諸島(KY)	3		ミクロネシア(FM)	1
	マリ(ML)	3		ガーンジー(GG)	1
	マカオ(MO)	3		グリーンランド(GL)	1

順位	国・地域	割当数
	ガンビア(GM)	1
	ガイアナ(GY)	1
	英領インド洋地域(IO)	1
	ジャージー(JE)	1
	コモロ(KM)	1
	セントクリストファー・ネイビス(KN)	1
	リビア(LY)	1
	マーシャル諸島(MH)	1
	北マリアナ諸島(MP)	1
	モリタニア(MR)	1
	ニジェール(NE)	1
	オマーン(OM)	1
	フランス領ポリネシア(PF)	1
	パラオ(PW)	1
	レユニオン島(RE)	1
	スリナム(SR)	1
	タークス諸島・カイコス諸島(TC)	1
	トーゴ(TG)	1
	東ティモール(TL)	1
	チュニジア(TN)	1
	セントビンセント・グレナディーン(VC)	1